

1985

樋村遺跡

長野県佐久市平賀樋村遺跡発掘調査報告書

(遺構編)

昭和60年3月

長野県佐久市教育委員会



序 文

佐久市教育委員会
教育長 大井昭二

現代日本の繁栄は、日本大陸出現から築きあげられた祖先の生活文化の一步一步の積み重ねにより生れたものである。

したがって、人類が生存していく上での食糧文化の発達により移動民族から定住民族に移り変わり、その生活様式がこの佐久平においても極めて貴重な文化財として地下に存在することは明らかであり、これらを保護保存し未来に伝承することは、現代に生きる我々の責務である。

昭和47年頃の日本列島改造論によりこの佐久平にもその影響が出、工場の進出や核家族化による宅地化、食糧事情に伴う水田改良事業等々、各種開発事業が進み埋蔵文化財の発掘調査は益々盛んに行なわれるようになってきた。

佐久市大字平賀地籍の樋村遺跡調査は、県営圃場整備事業の施工に先だち第一次を昭和57年に、第二次を昭和58年と二年連続で晴天風雨の中で長期に亘り実施された。

現場は強粘土質のため晴天が続くと岩のように硬くなり、又雨が降ると道具にねばりつくと言った悪条件の中で調査員の方々をはじめ地元協力者の方々も汗と土まみれになり非常に苦勞されました。

遺構は10m×11.6mという県内初の大型住居址を始め312軒、土壇46基、竪穴状遺構11、特殊遺構10、掘立柱建物址19、その他、環濠2、溝、ピット多数、銅環、土鈴、玉類等多数出土し、県下では初現の大集落遺跡であり、これらの調査結果は、考古学の上から佐久の歴史ばかりでなく、長野県の郷土を解明する上で貴重な資料となることを望むものである。

本調査は東信土地改良事務所及び佐久平土地改良区をはじめ、地権者の皆様の並々ならぬ御理解と御協力により行なわれたもので、その御厚意に対し衷心より謝意を表すと共に、藤沢平治団長をはじめとする調査員、調査補助員、協力者の方々の御協力に対しても厚くお礼を申し上げ刊頭の言葉とします。

例 言

1. 本書は、昭和57年9月10日～10月13日にかけて第1次発掘調査を行ない、次年度の5月1日～11月30日にかけて第2次調査を行なった、佐久市大字平賀北耕地に所在する樋村遺跡の調査報告書である。
2. 本調査は、東信土地改良事務所の委託を受けて佐久市教育委員会が実施し、農家負担分は国庫補助事業として実施した。
3. 本調査は、藤沢平治、林幸彦を発掘担当者とし、佐久考古学会員有志を調査員に、地元樋村、荒屋、新町、岸野、岩村田、その他地区の方々の協力を得て実施した。
4. 本書に挿入した遺構の実測図、図版の整理作業は次の分担で行なった。
 - ・遺構実測図整理・点検 島田恵子、早川俊彦
 - ・遺構トレス（住居址）小井土節子（カマド、その他遺構）神部妙子（全体図）島田恵子
 - ・遺構スクリーン貼付他 三石延雄、橋詰勝子、橋詰信子
 - ・住居址一覧表 大井和子、前島弘子
 - ・図版作成 三石宗一、佐々木宗昭
 - ・写真撮影（57年度）林 幸彦（58年度）島田恵子、佐々木宗昭、細萱健一また、原稿執筆分担は、本文末に文責を記した。尚、大遺跡であるにもかかわらず整理作業が短期間であったため、詳細な分析、検討が加えられず、遺構のみの提示として本書をまとめた、不備な点をご理解されたい。
5. 本書の編集は、島田恵子が行ない、林幸彦が校閲した。
6. 本遺跡の資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。尚、本書に掲載できなかった写真、スライドも多数整理されているので活用されたい。

なお、調査にあたり、長野県教育委員会文化課指導主事郷道哲章、小林孚先生に御指導いただいた。また、調査期間中は田中圭一郎・横森道二宅および地元の方々から物心両面にわたる御援助をいただきここに厚く御礼申し上げます。さらに、発掘調査にあたっては、次の研究会・研究者・地元の方々に視察いただき、適切なお指導、ご助言を賜った。記して厚くお礼申し上げます。

- | | |
|------|--|
| 研究会 | 中込郷土史研究会・中込読書クラブ・野沢郷土史研究会・南佐久郡佐久町郷土の歴史を知る会・南佐久郡誌刊行会・小海町文化財調査委員会・群馬県埋文センター |
| 研究者 | 井出正義・岩崎卓也・臼田都雄・沖浦悦夫・唐木孝雄・柿沼恵介・菊地清人・桐原健・小須田盛鳳・小平和夫・児玉卓文・小林公明・小柳義男・佐藤敏・佐藤信之・高林重水・高村博文・土屋忠芳・新村薫・花岡弘・林茂樹・樋口誠司・福島邦男・三上徹也・宮坂光昭・宮沢恒之・宮下健司・森山公一・矢島宏雄・矢口忠良・山根洋子・由井明・横山順一・土屋 積 |
| 学校関係 | 城山小学校郷土クラブ・中込中学校サイクリング社会クラブ・中込中学校郷土クラブ・少年考古学教室参加者（300名） |
| 地元関係 | 青木宮彦・岩下文次・江元恒雄・江元輝雄・江元信明・江元辰雄・片井清人・片井喜春・黒沢庸一・杉岡義人・田中圭一郎・田中和栄・田中好幸・田中秀雄・田中喜好・田中源吉・田中恒雄・田中丑三・田中貞市・田中栄・田中陳雄・田中好一・田中馨・田中八千代・田中行雄・田中紀雄・田中利治・田中泉・田中寛・田中隆幸・田中恵治・田中強・田中勤・田中政三郎・富岡万佐伍・中島春五郎・中島宇女じ・中島享・中島竹子・林芳弘・松下駒吉・武藤一江・武藤那一・武藤茂人・武藤厚・武藤隆輝・柳沢秋功・柳沢宏幸・柳沢恒喜・柳沢一郎・柳沢寛一郎・柳沢平八郎・柳沢為次郎・柳沢運治・山田一夫・横森道二 他の皆さん(敬称略) |

凡 例

1 遺構の略称

弥生時代住居址——Y、古墳～平安時代住居址——H、竪穴状遺構——Ta、土壇——D
特殊遺構——T、掘立柱建物址——Ho、溝状遺構——M

2 挿図の縮尺 住居址——1/80 炉——1/30 カマド——1/40 竪穴状遺構——1/80 土壇——1/40 特殊遺構——1/80 掘立柱建物址——1/80 溝状遺構——1/400 環濠——1/240

各挿図中にはスケールを付し、縮尺を明示した。

3 挿図中におけるスクリーンは下記のものを表わす。

カマド、焼土  住居址断面図  住居址内の  は焼土の散布状態を表わす。

4 挿図中のカマド袖部断面は、使用中における熱の伝導によって生じた変化の記録である。

○袖部の点線は焼土の付着および赤色の焼けこみを表わす。

○a・bの記号は、変化した色の状態をあらわし、各カマド毎に説明を加えた。

5 標高は、東信土地改良事務所が設置したH=673.73を基準点として使用し、各地区毎に基点を設定した。尚、水系レベルは各遺構毎に統一してある。

6 重複住居址の切り合い関係をわかり易くするため、下記のように線の分類をおこなった。

- 遺構が破壊されたり、新しい遺構によって切られてしまった、遺構のプランを想定した線
- 古い遺構を切って存在する新しい遺構のプラン（古い遺構の床面を破壊している場合に使用）
- - - 調査時に検出された新しい遺構のプランで、古い遺構掘り下げ段階で、新しい遺構を取り除いてしまったため、すでに消滅してしまったプランの線（古い遺構の図面を示す場合のみ使用）

7 挿図は、原則として住居址のNo順に掲載した。一部割付けの都合により前後したものがある。

8 図版は、地区別に順を追って掲載したが、A地区2については整理作業過程でのミスから住居址NoにH201、H287を用いているため、このNoのみ前後している。

9 第2表住居址一覧表中における規模は、カマドが所在する側より計測してある。

本文目次

序文

例言

凡例

本文目次

挿図目次

図版目次

I 発掘調査の経緯	1
1. 調査に至る動機	1
2. 調査の概要	1
3. 発掘調査の経緯	3
II 遺跡の環境	7
1. 樋村遺跡付近の地形地質の概要	7
2. 考古学的環境	9
III 層序	13
IV 遺構	14
1. 弥生時代住居址	14
2. 古墳時代、奈良時代、平安時代住居址	24
3. 竪穴状遺構	194
4. 土 壙	196
5. 特殊遺構	197
6. 掘立柱建物址	200
7. 環 濠	208
8. 溝状遺構	209
V まとめ	227

引用参考文献

挿 図 目 次

第1図 樋村遺跡地形図及び発掘区設定図	6	第9図 Y3号住居址実測図	14
第2図 (1)樋村遺跡周辺の地質図	7	第10図 Y3号住居址炉実測図	15
(2)千曲川概念図	8	第11図 Y4号住居址実測図	15
第3図 樋村遺跡周辺の遺跡分布図	10	第12図 Y4号住居址炉実測図	15
第4図 層序模式図	13	第13図 Y5号住居址実測図	15
1. 弥生時代住居址		第14図 Y6号住居址実測図	15
第5図 Y1号住居址実測図	14	第15図 Y6号住居址炉実測図	15
第6図 Y1号住居址炉実測図	14	第16図 Y7号住居址実測図	16
第7図 Y2号住居址実測図	14	第17図 Y7号住居址炉実測図	16
第8図 Y2号住居址炉実測図	14	第18図 Y8号住居址実測図	17

第19図	Y 8号住居址炉実測図	16
第20図	Y 9号住居址実測図	17
第21図	Y 9号住居址炉実測図	16
第22図	Y 10号住居址実測図	18
第23図	Y 10号住居址炉実測図	18
第24図	Y 11号住居址実測図	18
第25図	Y 11号住居址炉 1 実測図	18
第26図	Y 11号住居址炉 2 実測図	18
第27図	Y 12号住居址実測図	19
第28図	Y 12号住居址炉実測図	20
第29図	Y 13号住居址実測図	19
第30図	Y 14号住居址実測図	20
第31図	Y 14号住居址炉実測図	20
第32図	Y 15号住居址実測図	20
第33図	Y 16号住居址実測図	21
第34図	Y 17号住居址実測図	21
第35図	Y 18号住居址実測図	22
第36図	Y 19号住居址実測図	22
第37図	Y 19号住居址炉実測図	22
第38図	Y 20号住居址実測図	23
第39図	Y 21号住居址実測図	23
第40図	Y 22号住居址実測図	24

2. 古墳時代、奈良時代、平安時代住居址

第41図	H 1号住居址実測図	24
第42図	H 2号住居址実測図	24
第43図	H 2号住居址カマド実測図	25
第44図	H 3号住居址実測図	25
第45図	H 3号住居址カマド実測図	25
第46図	H 4号住居址実測図	25
第47図	H 4号住居址カマド実測図	26
第48図	H 5号住居址実測図	26
第49図	H 5号住居址カマド実測図	26
第50図	H 6号住居址実測図	27
第51図	H 6号住居址カマド実測図	26
第52図	H 7号住居址実測図	27
第53図	H 7号住居址カマド実測図	26
第54図	H 8号住居址実測図	28
第55図	H 8号住居址カマド実測図	27
第56図	H 9号・16号住居址実測図	28
第57図	H 9号住居址カマド実測図	27

第58図	H10号住居址実測図	29
第59図	H10号住居址カマド実測図	29
第60図	H11号住居址実測図	29
第61図	H11号住居址カマド実測図	30
第62図	H12号住居址実測図	30
第63図	H13号住居址実測図	30
第64図	H13号住居址カマド実測図	30
第65図	H14号住居址実測図	31
第66図	H14号住居址カマド実測図	31
第67図	H15号住居址実測図	31
第68図	H15号住居址カマド実測図	32
第69図	H17号住居址実測図	32
第70図	H18号住居址実測図	32
第71図	H18号住居址カマド実測図	32
第72図	H19号住居址実測図	33
第73図	H20号住居址実測図	33
第74図	H21号住居址実測図	34
第75図	H22号住居址実測図	34
第76図	H22号住居址カマド実測図	34
第77図	H24号住居址実測図	35
第78図	H23・25号住居址実測図	36
第79図	H25号住居址カマド実測図	35
第80図	H26号住居址実測図	37
第81図	H26号住居址カマド実測図	36
第82図	H27号住居址実測図	38
第83図	H28号住居址実測図	39
第84図	H29号住居址実測図	40
第85図	H29号住居址カマド実測図	39
第86図	H30号住居址実測図	37
第87図	H31号住居址実測図	41
第88図	H31号住居址カマド実測図	40
第89図	H32号住居址実測図	42
第90図	H33号住居址実測図	43
第91図	H33号住居址カマド実測図	41
第92図	H34号住居址実測図	43
第93図	H34号住居址カマド実測図	42
第94図	H35号住居址実測図	44
第95図	H35号住居址カマド実測図	44
第96図	H36号住居址実測図	45
第97図	H36号住居址カマド実測図	44

第98図	H37号住居址実測図	45
第99図	H38号住居址実測図	46
第100図	H38号住居址カマド実測図	46
第101図	H39号住居址実測図	46
第102図	H39号住居址カマド実測図	46
第103図	H40号住居址実測図	47
第104図	H41号住居址実測図	47
第105図	H41号住居址カマド実測図	47
第106図	H42号住居址実測図	48
第107図	H42号住居址カマド実測図	48
第108図	H43号住居址実測図	48
第109図	H44号住居址実測図	49
第110図	H44号住居址カマド実測図	49
第111図	H45号住居址実測図	49
第112図	H45号住居址カマド実測図	50
第113図	H46号住居址実測図	50
第114図	H46号住居址カマド実測図	50
第115図	H47号住居址実測図	51
第116図	H48号住居址実測図	51
第117図	H48号住居址カマド実測図	50
第118図	H49号住居址実測図	52
第119図	H50号住居址実測図	52
第120図	H50号住居址カマド実測図	53
第121図	H51号住居址実測図	53
第122図	H51号住居址カマド実測図	53
第123図	H52号住居址実測図	54
第124図	H53号住居址実測図	54
第125図	H54号住居址実測図	55
第126図	H55号住居址実測図	56
第127図	H55号住居址カマド実測図	56
第128図	H56号住居址実測図	56
第129図	H57号住居址実測図	57
第130図	H57号住居址カマド実測図	57
第131図	H58号住居址実測図	58
第132図	H58号住居址カマド実測図	57
第133図	H59号住居址実測図	58
第134図	H59号住居址カマド実測図	58
第135図	H60号住居址実測図	59
第136図	H60号住居址カマド実測図	59
第137図	H61号住居址実測図	60

第138図	H62号住居址実測図	61
第139図	H62号住居址カマド実測図	59
第140図	H63号住居址実測図	60
第141図	H64号住居址実測図	62
第142図	H65号住居址実測図	61
第143図	H65号住居址カマド実測図	63
第144図	H66号住居址実測図	63
第145図	H66号住居址カマド実測図	63
第146図	H67号住居址実測図	64
第147図	H68号住居址実測図	64
第148図	H68号住居址カマド実測図	64
第149図	H69号住居址実測図	65
第150図	H69号住居址カマド実測図	65
第151図	H70号住居址実測図	65
第152図	H70号住居址カマド実測図	66
第153図	H71号住居址実測図	66
第154図	H71号住居址カマド実測図	66
第155図	H72号住居址実測図	67
第156図	H72号住居址カマド実測図	67
第157図	H73号住居址実測図	67
第158図	H73号住居址カマド実測図	67
第159図	H74号住居址実測図	68
第160図	H75号住居址実測図	68
第161図	H75号住居址カマド実測図	69
第162図	H76号住居址実測図	69
第163図	H76号住居址カマド実測図	69
第164図	H77号住居址実測図	69
第165図	H77号住居址カマド実測図	69
第166図	H78号住居址実測図	70
第167図	H79号住居址実測図	71
第168図	H79号住居址カマド実測図	70
第169図	H80号住居址実測図	71
第170図	H81号住居址実測図	72
第171図	H81号住居址カマド実測図	70
第172図	H82号住居址実測図	72
第173図	H83号住居址実測図	73
第174図	H84号住居址実測図	73
第175図	H85号住居址実測図	73
第176図	H85号住居址カマド実測図	74
第177図	H86号住居址実測図	74

第178図	H86号住居址カマド実測図	74
第179図	H87号住居址実測図	75
第180図	H88号住居址実測図	76
第181図	H88号住居址カマド実測図	75
第182図	H89号住居址実測図	76
第183図	H89号住居址カマド実測図	75
第184図	H90号住居址実測図	77
第185図	H90号住居址カマド実測図	77
第186図	H91号住居址実測図	78
第187図	H91号住居址カマド実測図	77
第188図	H92号住居址実測図	78
第189図	H93号住居址実測図	78
第190図	H94号住居址実測図	79
第191図	H95号住居址実測図	79
第192図	H96号住居址実測図	80
第193図	H96号住居址カマド実測図	80
第194図	H97号住居址実測図	81
第195図	H97号住居址カマド実測図	80
第196図	H98号住居址実測図	81
第197図	H98号住居址カマド実測図	81
第198図	H99号住居址実測図	81
第199図	H99号住居址カマド実測図	81
第200図	H100号住居址実測図	82
第201図	H101号住居址実測図	82
第202図	H101号住居址カマド実測図	82
第203図	H102号住居址実測図	83
第204図	H103号住居址実測図	83
第205図	H104号住居址実測図	84
第206図	H105号住居址実測図	85
第207図	H105号住居址カマド実測図	85
第208図	H106号住居址実測図	85
第209図	H106号住居址カマド実測図	85
第210図	H107号住居址実測図	86
第211図	H107号住居址カマド実測図	86
第212図	H108号住居址実測図	87
第213図	H108号住居址カマド実測図	87
第214図	H109号住居址実測図	88
第215図	H109号住居址カマド実測図	90
第216図	H110号住居址実測図	88
第217図	H111号住居址実測図	89

第218図	H111号住居址カマド実測図	90
第219図	H112号住居址実測図	90
第220図	H112号住居址カマド実測図	91
第221図	H113号住居址実測図	91
第222図	H113号住居址カマド実測図	91
第223図	H114号住居址実測図	91
第224図	H114号住居址カマド実測図	92
第225図	H115号住居址実測図	92
第226図	H116号住居址実測図	92
第227図	H116号住居址カマド実測図	92
第228図	H117号住居址実測図	93
第229図	H117号住居址カマド実測図	93
第230図	H118号住居址実測図	94
第231図	H118号住居址カマド実測図	94
第232図	H119号住居址実測図	95
第233図	H119号住居址カマド実測図	94
第234図	H120号住居址実測図	95
第235図	H120号住居址カマド実測図	96
第236図	H121号住居址実測図	96
第237図	H121号住居址カマド実測図	96
第238図	H122号住居址実測図	97
第239図	H122号住居址カマド実測図	97
第240図	H123号住居址実測図	97
第241図	H123号住居址カマド実測図	99
第242図	H124号・125号住居址実測図	98
第243図	H125号住居址カマド実測図	99
第244図	H126号住居址実測図	99
第245図	H126号住居址カマド実測図	99
第246図	H127号住居址実測図	100
第247図	H127号住居址カマド実測図	101
第248図	H128号住居址実測図	101
第249図	H129号住居址実測図	101
第250図	H129号住居址カマド実測図	101
第251図	H130号住居址実測図	102
第252図	H131号住居址実測図	102
第253図	H132号住居址実測図	103
第254図	H132号住居址カマド実測図	103
第255図	H133号住居址実測図	103
第256図	H133号住居址カマド実測図	103
第257図	H134号住居址実測図	104

第258図	H135号住居址実測図	104	第298図	H157号住居址実測図	116
第259図	H135号住居址カマド実測図	104	第299図	H157号住居址カマド実測図	116
第260図	H136号住居址実測図	105	第300図	H158号住居址実測図	116
第261図	H136号住居址カマド実測図	105	第301図	H158号住居址カマド実測図	117
第262図	H137号住居址実測図	105	第302図	H159号住居址実測図	117
第263図	H137号住居址カマド実測図	106	第303図	H160号住居址実測図	117
第264図	H138号住居址実測図	106	第304図	H160号住居址カマド実測図	118
第265図	H138号住居址カマド実測図	107	第305図	H161号住居址実測図	118
第266図	H139号住居址実測図	106	第306図	H162号住居址実測図	119
第267図	H139号住居址カマド実測図	107	第307図	H162号住居址カマド実測図	120
第268図	H140号住居址実測図	107	第308図	H163号住居址実測図	119
第269図	H140号住居址カマド実測図	107	第309図	H163号住居址カマド実測図	120
第270図	H141号住居址実測図	108	第310図	H164号住居址実測図	120
第271図	H141号住居址カマド実測図	108	第311図	H165号住居址実測図	120
第272図	H142号住居址実測図	108	第312図	H166号住居址実測図	120
第273図	H142号住居址カマド実測図	109	第313図	H167号住居址実測図	121
第274図	H143号住居址実測図	109	第314図	H168号住居址実測図	121
第275図	H143号住居址カマド実測図	109	第315図	H168号住居址カマド実測図	121
第276図	H144号住居址実測図	110	第316図	H169号住居址実測図	122
第277図	H144号住居址カマド実測図	110	第317図	H169号住居址カマド実測図	121
第278図	H145号住居址実測図	110	第318図	H170号住居址実測図	123
第279図	H146号住居址実測図	111	第319図	H170号住居址カマド実測図	122
第280図	H146号住居址カマド実測図	110	第320図	H171号住居址実測図	123
第281図	H147号住居址実測図	111	第321図	H171号住居址カマド実測図	122
第282図	H147号住居址カマド実測図	111	第322図	H172号住居址実測図	124
第283図	H148号住居址実測図	112	第323図	H172号住居址カマド実測図	124
第284図	H148号住居址カマド実測図	112	第324図	H173号住居址実測図	124
第285図	H149号住居址実測図	112	第325図	H173号住居址カマド実測図	124
第286図	H150号住居址実測図	112	第326図	H174号住居址実測図	125
第287図	H150号住居址カマド実測図	113	第327図	H174号住居址カマド実測図	125
第288図	H151号住居址実測図	113	第328図	H175号住居址実測図	126
第289図	H151号住居址カマド実測図	113	第329図	H175号住居址カマド実測図	125
第290図	H152号住居址実測図	113	第330図	H176号住居址実測図	127
第291図	H152号住居址カマド実測図	114	第331図	H176号住居址カマド実測図	125
第292図	H153号住居址実測図	114	第332図	H177号住居址実測図	127
第293図	H153号住居址カマド実測図	114	第333図	H178号住居址実測図	127
第294図	H154号住居址実測図	114	第334図	H179号住居址実測図	127
第295図	H155号住居址実測図	115	第335図	H179号住居址カマド実測図	128
第296図	H156号住居址実測図	115	第336図	H180号住居址実測図	128
第297図	H156号住居址カマド実測図	115	第337図	H180号住居址カマド実測図	128

第338図	H181号住居址実測図	129
第339図	H182号住居址実測図	129
第340図	H182号住居址カマド実測図	129
第341図	H183号住居址実測図	130
第342図	H183号住居址カマド実測図	130
第343図	H184号住居址実測図	130
第344図	H184号住居址カマド実測図	131
第345図	H185号住居址実測図	131
第346図	H186号住居址実測図	132
第347図	H186号住居址カマド実測図	132
第348図	H187号住居址実測図	132
第349図	H187号住居址カマド実測図	133
第350図	H188号住居址実測図	133
第351図	H188号住居址カマド実測図	134
第352図	H189号住居址実測図	133
第353図	H189号住居址カマド実測図	134
第354図	H190号住居址実測図	134
第355図	H190号住居址カマド実測図	134
第356図	H191号住居址実測図	135
第357図	H192号住居址実測図	135
第358図	H192号住居址カマド実測図	136
第359図	H193号住居址実測図	136
第360図	H193号住居址カマド実測図	136
第361図	H194号住居址実測図	137
第362図	H194号住居址カマド実測図	136
第363図	H195号住居址実測図	138
第364図	H195号住居址カマド実測図	137
第365図	H196・197号住居址実測図	138
第366図	H196号住居址カマド実測図	137
第367図	H198号住居址実測図	139
第368図	H199号住居址実測図	139
第369図	H199号住居址カマド実測図	140
第370図	H200号住居址実測図	140
第371図	H200号住居址カマド実測図	140
第372図	H201号住居址実測図	141
第373図	H201号住居址カマド実測図	141
第374図	H202号住居址実測図	141
第375図	H202号住居址カマド実測図	142
第376図	H203号住居址実測図	142
第377図	H203号住居址カマド実測図	142

第378図	H204号住居址実測図	143
第379図	H205号住居址実測図	143
第380図	H205号住居址カマド実測図	142
第381図	H206号住居址実測図	144
第382図	H206号住居址カマド実測図	144
第383図	H207号住居址実測図	144
第384図	H207号住居址カマド実測図	144
第385図	H208号住居址実測図	145
第386図	H208号住居址カマド実測図	145
第387図	H209号住居址実測図	145
第388図	H210号住居址実測図	146
第389図	H210号住居址カマド実測図	146
第390図	H211号住居址実測図	147
第391図	H211号住居址カマド実測図	146
第392図	H212号住居址実測図	147
第393図	H213号住居址実測図	148
第394図	H213号住居址カマド実測図	148
第395図	H214号住居址実測図	149
第396図	H214号住居址カマド実測図	148
第397図	H215号・216号住居址実測図	149
第398図	H216号住居址カマド実測図	150
第399図	H217号住居址実測図	150
第400図	H218号住居址実測図	151
第401図	H219号住居址実測図	150
第402図	H219号住居址カマド実測図	150
第403図	H220号住居址実測図	152
第404図	H220号住居址カマド実測図	153
第405図	H221号住居址実測図	153
第406図	H221号住居址カマド実測図	153
第407図	H222号住居址実測図	154
第408図	H222号住居址カマド実測図	154
第409図	H223号住居址実測図	155
第410図	H223号住居址カマド実測図	154
第411図	H224号住居址実測図	156
第412図	H224号住居址カマド実測図	156
第413図	H225号住居址実測図	156
第414図	H225号住居址カマド実測図	156
第415図	H226号住居址実測図	157
第416図	H226号住居址カマド実測図	157
第417図	H227号住居址実測図	157

第418図	H227号住居址カマド実測図	157	第458図	H253号住居址実測図	172
第419図	H228号住居址実測図	158	第459図	H253号住居址カマド実測図	172
第420図	H228号住居址カマド実測図	158	第460図	H254号住居址実測図	173
第421図	H229号住居址実測図	158	第461図	H254号住居址カマド実測図	172
第422図	H229号住居址カマド実測図	159	第462図	H255号住居址実測図	173
第423図	H230号住居址実測図	159	第463図	H255号住居址カマド実測図	172
第424図	H230号住居址カマド実測図	159	第464図	H256号住居址実測図	174
第425図	H231号住居址実測図	160	第465図	H257号住居址実測図	174
第426図	H231号住居址カマド実測図	160	第466図	H257号住居址カマド実測図	174
第427図	H232号住居址実測図	161	第467図	H258号住居址実測図	175
第428図	H232号住居址カマド実測図	161	第468図	H258号住居址カマド実測図	174
第429図	H234号住居址実測図	161	第469図	H259号住居址実測図	176
第430図	H235号住居址実測図	162	第470図	H259号住居址カマド実測図	174
第431図	H236号住居址実測図	162	第471図	H260号住居址実測図	176
第432図	H236号住居址カマドNo.1実測図	163	第472図	H261号住居址実測図	176
第433図	H236号住居址カマドNo.2実測図	163	第473図	H261号住居址カマド実測図	176
第434図	H237号住居址実測図	163	第474図	H262号住居址実測図	177
第435図	H237号住居址カマド実測図	163	第475図	H262号住居址カマド実測図	177
第436図	H238号住居址実測図	164	第476図	H263号住居址実測図	178
第437図	H238号住居址カマド実測図	164	第477図	H264号住居址実測図	179
第438図	H239号住居址実測図	165	第478図	H264号住居址カマド実測図	177
第439図	H240号住居址実測図	165	第479図	H265号住居址実測図	178
第440図	H240号住居址カマド実測図	165	第480図	H266号住居址実測図	180
第441図	H241号住居址実測図	166	第481図	H266号住居址カマド実測図	180
第442図	H242号・243号住居址実測図	166	第482図	H267号住居址実測図	181
第443図	H243号住居址カマド実測図	166	第483図	H267号住居址カマド実測図	181
第444図	H244号住居址実測図	167	第484図	H268号住居址実測図	180
第445図	H244号住居址カマド実測図	168	第485図	H269号住居址実測図	182
第446図	H245号住居址実測図	167	第486図	H269号住居址カマド実測図	182
第447図	H245号住居址カマドNo.1実測図	168	第487図	H270号・271号住居址実測図	183
第448図	H245号住居址カマドNo.2実測図	168	第488図	H271号住居址カマド実測図	183
第449図	H246号住居址実測図	169	第489図	H272号住居址実測図	183
第450図	H247号住居址実測図	169	第490図	H272号住居址カマド実測図	185
第451図	H247号住居址カマド実測図	168	第491図	H273号住居址実測図	184
第452図	H248号住居址実測図	169	第492図	H273号住居址カマド実測図	185
第453図	H248号住居址カマド実測図	168	第493図	H274号住居址実測図	185
第454図	H249号住居址実測図	170	第494図	H275号住居址実測図	185
第455図	H250号住居址実測図	170	第495図	H275号住居址カマド実測図	186
第456図	H251号住居址実測図	171	第496図	H276号住居址実測図	186
第457図	H252号住居址実測図	171	第497図	H277号住居址実測図	186

第498図	H277号住居址カマド実測図	187
第499図	H278号住居址実測図	187
第500図	H279号住居址実測図	187
第501図	H279号住居址カマド実測図	188
第502図	H280号住居址実測図	188
第503図	H281号住居址実測図	188
第504図	H282号住居址実測図	189
第505図	H282号住居址カマド実測図	189
第506図	H283号住居址実測図	190
第507図	H283号住居址カマド実測図	189
第508図	H284号住居址実測図	191
第509図	H284号住居址カマド実測図	191
第510図	H285号住居址実測図	190
第511図	H285号住居址カマド実測図	190
第512図	H286号住居址実測図	192
第513図	H286号住居址カマド実測図	193
第514図	H287号住居址実測図	193
第515図	H287号住居址カマド実測図	193
第516図	H288号住居址実測図	192
3. 竪穴状遺構		
第517図	Ta1号竪穴状遺構実測図	194
第518図	Ta2号・3号竪穴状遺構実測図	194
第519図	Ta4号竪穴状遺構実測図	194
第520図	Ta5号竪穴状遺構実測図	195
第521図	Ta6号竪穴状遺構実測図	195
第522図	Ta7号竪穴状遺構実測図	195
第523図	Ta8号竪穴状遺構実測図	195
第524図	Ta9号竪穴状遺構実測図	195
第525図	Ta10号竪穴状遺構実測図	195
第526図	Ta11号竪穴状遺構実測図	195
第527図	Ta12号竪穴状遺構実測図	195
4. 土 壙		
第528図	D1号～D38号土壙実測図	196
第529図	D39号～D46号土壙実測図	197
5. 特殊遺構		
第530図	T1号特殊遺構実測図	197

第531図	T2号特殊遺構実測図	197
第532図	T3号特殊遺構実測図	197
第533図	T4号特殊遺構実測図	197
第534図	T5号特殊遺構実測図	198
第535図	T6号特殊遺構実測図	198
第536図	T7号特殊遺構実測図	198
第537図	T8号特殊遺構実測図	198
第538図	T8号特殊遺構カマド石組実測図	199
第539図	T9号特殊遺構実測図	199
第540図	T10号特殊遺構実測図	199

6. 掘立柱建物址

第541図	Ho1号掘立柱建物址実測図	200
第542図	Ho2号掘立柱建物址実測図	200
第543図	Ho3号掘立柱建物址実測図	201
第544図	Ho4号掘立柱建物址実測図	201
第545図	Ho5号掘立柱建物址実測図	201
第546図	Ho6号掘立柱建物址実測図	201
第547図	Ho7号掘立柱建物址実測図	202
第548図	Ho8号掘立柱建物址実測図	202
第549図	Ho9号掘立柱建物址実測図	203
第550図	Ho10号掘立柱建物址実測図	203
第551図	Ho11号掘立柱建物址実測図	204
第552図	Ho12号掘立柱建物址実測図	204
第553図	Ho13号掘立柱建物址実測図	202
第554図	Ho14号掘立柱建物址実測図	205
第555図	Ho15号掘立柱建物址実測図	205
第556図	Ho16号掘立柱建物址実測図	206
第557図	Ho17号掘立柱建物址実測図	206
第558図	Ho18号掘立柱建物址実測図	207
第559図	Ho19号掘立柱建物址実測図	207

7. 環 濠

第560図	環濠1実測図	208
第561図	環濠2実測図	208

8. 溝状遺構

第562図	溝状遺構1・2・3実測図	209
-------	--------------	-----

付表目次

第1表	周辺遺跡一覧表	11
第2表	樋村遺跡検出住居址一覧表	210

図 版 目 次

- 図版 1 遺跡付近航空写真
- 図版 2 1・2 57年度第一次調査区遠景
- 図版 3 1・2 58年度第二次調査区遠景
- 図版 4 1・2 57年度第一次調査区全景
- 図版 5 1 Y 1号住居址 2 Y 2号住居址 3 Y 3号住居址
- 図版 6 1・2 Y 2号住居址遺物出土状況 3 Y 3号住居址炉 4 Y 4号住居址炉
5 Y 4号住居址炭化材出土状況 6 Y 4号住居址
- 図版 7 1 Y 6号住居址 2 Y 7号住居址遺物出土状況 3 Y 7号住居址
- 図版 8 1 Y 8号住居址 2・3 Y 7号住居址遺物出土状況 4 Y 7号住居址炉
5 Y 8号住居址炉 6 Y 9号住居址
- 図版 9 1 Y10号住居址 2 Y 9号住居址遺物出土状況 3 Y 9号住居址炉
4 Y10号住居址遺物出土状況 5 Y10号住居址炉 6 Y11号住居址
- 図版10 1 Y12号住居址 2・3 Y11号住居址炉 4 Y12号住居址出入口ピット掘り方
5 Y12号住居址炉 6 Y13号住居址
- 図版11 1 Y14号住居址遺物出土状況 2 Y14号住居址 3～5 Y14号住居址遺物出土状況
6 Y14号住居址炉
- 図版12 1 Y15号住居址 2 Y16号住居址 3 Y17号住居址
- 図版13 1 Y16号住居址遺物出土状況 2 Y17号住居址遺物出土状況 3 Y18号住居址
4 Y19号住居址
- 図版14 1 Y20号住居址 2 Y21号住居址 3 Y22号住居址
- 図版15 1・2 A地区1全景
- 図版16 1 H 1号住居址 2 H 2号住居址 3 H 3号住居址
- 図版17 1 H 4号住居址 2 H 5号住居址 3 H 2号住居址カマド 4 H 5号住居址カマド
- 図版18 1 H 6号住居址 2 H 7号住居址 3 H 8号住居址
- 図版19 1 H 9号住居址遺物出土状況 2 H 9号住居址 3・4 H 9号住居址遺物出土状況
5 H 8号住居址カマド 6 H 9号住居址カマド
- 図版20 1 H10号住居址遺物出土状況 2 H10号住居址 3 H10号住居址カマド
4 H11号住居址カマド 5・6 H11号住居址遺物出土状況
- 図版21 1 H11号住居址遺物出土状況 2 H11号住居址 3 H12号住居址
- 図版22 1 H13号住居址遺物出土状況 2 H13号住居址 3・4 H13号住居址遺物出土状況
- 図版23 1 H13号住居址カマド 2 H14号住居址カマド 3 H14号住居址
4 H15号住居址遺物出土状況
- 図版24 1 H15号住居址 2～6 H15号住居址遺物出土状況 7 H15号住居址カマド
- 図版25 1 H17号住居址炭化材出土状況 2 H17号住居址 3 H17号住居址炭化材出土状況
- 図版26 A地区2全景
- 図版27 1 H18号住居址遺物出土状況 2 H18号住居址 3 H18号住居址カマド
4 H22号住居址カマド

図版28	1	H19号住居址	2	H21号住居址	3	H20・21・22号住居址				
図版29	1	H22号住居址	2	H24号住居址	3	H25・26号住居址				
図版30	1	H26号住居址	2・3	H25号住居址カマド	4	H26号住居址遺物出土状況				
	5	H26号住居址カマド	6	H27号住居址						
図版31	1	H28号住居址	2	H29号住居址	3・4	H29号住居址遺物出土状況				
図版32	1	H30号住居址	2	H31号住居址	3	H31号住居址カマド				
					4	H32号住居址カマド				
図版33	1	H32号住居址	2	H33号住居址	3・4	H33号住居址カマド				
図版34	1	H34号住居址	2	H35号住居址	3	H34号住居址カマド				
					4	H35号住居址カマド				
図版35	1	H36号住居址	2	H37号住居址	3	H36号住居址カマド				
	4	H37号住居址遺物出土状況								
図版36	1	H38号住居址	2	H39号住居址	3	H37号住居址カマド				
					4	H38号住居址カマド				
図版37	1	H40号住居址	2	H41号住居址	3	H39号住居址カマド				
					4	H41号住居址カマド				
図版38	1	H42号住居址	2	H43号住居址	3	H44号住居址				
					4	H42号住居址カマド				
	5	H44号住居址カマド								
図版39	1	H45号住居址	2	H46号住居址	3	H45号住居址カマド				
					4	H46号住居址カマド				
図版40	1	H47号住居址	2	H48号住居址	3	H201号住居址				
図版41	1	H49・201号住居址	2	H50号住居址	3	H48号住居址カマド				
	4	H49号住居址カマド	5	H201号住居址カマド	6	H50号住居址カマド				
図版42	1	H51号住居址遺物出土状況		2	H51号住居址	3	H52号住居址			
図版43	1	H53号住居址	2	H55号住居址	3	H51号住居址カマド				
					4	H55号住居址カマド				
	5	H56号住居址								
図版44	1	H54・55・57・58号住居址		2	H58号住居址	3	H59・61号住居址			
図版45	1	H60号住居址	2	H62号住居址	3	H58号住居址カマド				
					4	H59号住居址カマド				
	5	H60号住居址カマド	6	H62号住居址カマド						
図版46	1	H63号住居址	2	H64号住居址	3	H65号住居址				
図版47	1	H66号住居址	2	H67号住居址	3	H65号住居址カマド				
					4	H66号住居址カマド				
	5	H67号住居址カマド		6	H68号住居址カマド					
図版48	1	H68号住居址	2	H69号住居址	3	H70号住居址				
図版49	1	H69号住居址カマド		2	H70号住居址カマド		3	H71号住居址		
						4	H72号住居址			
	5	H71号住居址カマド		6	H72号住居址カマド					
図版50	1	H73号住居址	2	H74号住居址	3	H75号住居址				
図版51	1	H76号住居址	2	H73号住居址カマド		3	H75号住居址遺物出土状況			
	4・5	H75号住居址カマド		6	H76号住居址遺物出土状況		7	H76号住居址カマド		
図版52	1	H77号住居址	2	H78・79・80号住居址		3	H80号住居址			
図版53	1	H77号住居址遺物出土状況		2	H79号住居址カマド		3	H81号住居址		
	4	H82・83号住居址		5	H83号住居址					
図版54	1	H85号住居址	2	H86号住居址	3	H87・88号住居址				
図版55	1	H88号住居址	2	H89号住居址	3	H85号住居址カマド		4	H86号住居址カマド	
	5	H88号住居址カマド		6	H89号住居址カマド					
図版56	1	H90号住居址	2	H91号住居址	3	H92号住居址	4	H90号住居址カマド		

- 5 H91号住居址カマド
- 図版57 1 H93号住居址 2 H94号住居址 3 H95号住居址
- 図版58 1 H96・97号住居址 2 H97号住居址 3 H96号住居址カマド
4 H97号住居址カマド
- 図版59 1 H96・97号住居址 2 H287号住居址 3・4 H287号住居址カマド
- 図版60 1・2 E地区1全景
- 図版61 1 H98号住居址 2 H99号住居址 3 H98号住居址カマド 4 H99号住居址カマド
5 H100・102号住居址
- 図版62 1 H100・101・102・103号住居址 2 H101号住居址 3 H102号住居址
- 図版63 1 H103号住居址 2 H101号住居址カマド 3 H102号住居址遺物出土状況
4 H102号住居址カマド 5 H103号住居址カマド 6 H104号住居址
- 図版64 1 H104・105号住居址 2 H105号住居址 3 H106号住居址
- 図版65 1 H107号住居址 2・3 H104号住居址柱痕残存状況 4 H104号住居址張り出しピット
5 H105号住居址カマド 6 H106号住居址カマド 7 H107号住居址遺物出土状況
8・9 H107号住居址カマド
- 図版66 1 H108号住居址 2 H109号住居址 3 H110号住居址
- 図版67 1 H110・111号住居址 2 H112号住居址 3 H108号住居址遺物出土状況
4 H109号住居址カマド 5 H110号住居址遺物出土状況 6 H110号住居址カマド
7 H111号住居址カマド 8 H112号住居址カマド
- 図版68 1 H113号住居址 2 H114号住居址 3 H115号住居址
- 図版69 1 H116号住居址 2 H113号住居址遺物出土状況 3 H113号住居址カマド
4 H114号住居址カマド 5 H116号住居址カマド 6 H117号住居址
- 図版70 1 H117号住居址張り出しピット 2 H117号住居址カマド 3 H118号住居址
4 H119号住居址 5 H118号住居址カマド 6 H119号住居址カマド
- 図版71 1・2 H119号住居址遺物出土状況 3 H120号住居址 4 H120号住居址カマド
5 H120号住居址遺物出土状況 6 H121号住居址
- 図版72 1 H122号住居址 2 H123号住居址 3 H125号住居址
- 図版73 1 H126号住居址 2・3 H122号住居址遺物出土状況 4 H122号住居址カマド
5 H123号住居址カマド 6・7 H123号住居址遺物出土状況 8 H125号住居址カマド
9 H126号住居址カマド
- 図版74 1 H127号住居址 2 H128号住居址 3 H129号住居址
- 図版75 1～4 H127号住居址遺物出土状況 5 H127号住居址カマド 6 H129号住居址カマド
7 H130号住居址
- 図版76 1 H131号住居址 2 H132号住居址 3 H130・131・132号住居址
- 図版77 1 H133号住居址 2 H134・135号住居址 3 H132号住居址遺物出土状況
4 H132号住居址カマド 5 H133号住居址カマド 6 H134・135号住居址カマド
- 図版78 1 H135号住居址 2 H136号住居址 3 H137号住居址
- 図版79 1 H138号住居址 2 H135号住居址カマド 3 H136号住居址カマド
4 H137号住居址カマド 5 H138号住居址カマド 6 H139号住居址
- 図版80 1・2 H139号住居址遺物出土状況 3 H139号住居址カマド 4 H140号住居址カマド

- 5 H140号住居址 6 H141号住居址遺物出土状況
- 図版81 1 H141号住居址 2 H142号住居址 3 H141号住居址カマド
4 H142号住居址カマド
- 図版82 1 H143号住居址 2 H144号住居址 3 H145号住居址
- 図版83 1 H146号住居址 2 H143号住居址カマド 3 H144号住居址遺物出土状況
4 H144号住居址カマド 5 H146号住居址遺物出土状況 6 H146号住居址カマド
7 H148号住居址カマド
- 図版84 1 H147号住居址 2 H148号住居址 3 H149号住居址
- 図版85 1 H150号住居址 2 H147号住居址遺物出土状況 3 H147号住居址カマド
4・5 H150号住居址カマド 6・7 H150号住居址遺物出土状況
- 図版86 1 H151号住居址 2 H152号住居址 3 H153号住居址
- 図版87 1 H151号住居址カマド 2 H152号住居址カマド 3 H153号住居址遺物出土状況
4 H153号住居址カマド 5 H155号住居址 6 H155号住居址カマド
7 H156号住居址カマド 8 H156号住居址
- 図版88 1 H157号住居址 2 H158・160号住居址 3 H159号住居址
- 図版89 1 H160号住居址 2 H161号住居址 3 H158号住居址カマド
4 H159号住居址遺物出土状況 5 H160号住居址カマド 6 H161号住居址カマド
- 図版90 1 H161号住居址張り出しピット 2 H163号住居址カマド 3 H162号住居址カマド
4 H162号住居址カヤ出土状況 5 H162号住居址 6 H163号住居址
- 図版91 1 H166号住居址 2 H167号住居址 3 H168号住居址
- 図版92 1 H168号住居址カマド 2 H169号住居址炭化豆類出土状況
3 H169号住居址炭化材出土状況 4 H169号住居址 5 H170号住居址
- 図版93 1 H169号住居址カマド 2 H170号住居址カマド 3 H171号住居址
4 H172号住居址 5 H171号住居址カマド 6 H172号住居址カマド
- 図版94 1 H173号住居址 2 H174号住居址 3 H175号住居址
- 図版95 1 H176号住居址 2 H173号住居址カマド 3 H174号住居址カマド
4 H175号住居址カマド 5 H176号住居址カマド 6 H179号住居址
- 図版96 1 H179号住居址遺物出土状況 2 H179号住居址カマド 3 H180号住居址
4 H181号住居址 5 H180号住居址カマド 6 H180号住居址遺物出土状況
- 図版97 1 H182号住居址 2 H183号住居址 3 H182号住居址カマド
4 H183号住居址カマド 5 H184号住居址
- 図版98 1 H185号住居址 2 H186号住居址 3 H187号住居址 4 H184号住居址カマド
5 H186号住居址カマド
- 図版99 1 H188号住居址 2 H189号住居址 3 H187号住居址カマド
4 H189号住居址カマド 5 H190号住居址
- 図版100 1・2 H190号住居址遺物出土状況 3 H190号住居址カマド
4 H191号住居址遺物出土状況 5 H191号住居址 6 H192号住居址
- 図版101 1 H192号住居址遺物出土状況 2 H192号住居址カマド 3 H193号住居址
4 H194号住居址 5 H193号住居址カマド 6 H194号住居址遺物出土状況
- 図版102 1 H194号住居址カマド 2 H195号住居址カマド 3 H195号住居址

- 4 H196・197・198号住居址
- 図版103 1 H199号住居址 2 H200号住居址 3 H196号住居址カマド
4 H198号住居址遺物出土状況 5 H199号住居址カマド 6 H200号住居址カマド
- 図版104 1・2 B地区全景
- 図版105 1 H202号住居址 2 H203号住居址 3 H202号住居址カマド
4 H202号住居址遺物出土状況 5 H202号住居址P₅ 6 H203号住居址カマド
- 図版106 1 H204・205号住居址 2 H205号住居址 3 H206号住居址
- 図版107 1 H207号住居址 2 H204号住居址遺物出土状況 3 H205号住居址カマド
4 H206号住居址遺物出土状況 5 H206号住居址カマド 6・7 H207号住居址カマド
- 図版108 1 H208号住居址 2 H209号住居址 3 H210号住居址炭化材出土状況
- 図版109 1 H210号住居址 2・3 H208号住居址遺物出土状況 4 H208号住居址カマド
5・6 H209号住居址遺物出土状況 7～9 H210号住居址カマド
- 図版110 1 H211・212・213号住居址 2 H211号住居址 3 H212号住居址
- 図版111 1 H213号住居址 2 H214号住居址 3 H213号住居址カマド
4 H214号住居址カマド 5・6 H214号住居址遺物出土状況
- 図版112 1 H216号住居址 2 H215・216号住居址 3 H216号住居址カマド
- 図版113 1・2 E地区2全景
- 図版114 1 H217号住居址 2 H218号住居址炭化材出土状況 3 H218号住居址
- 図版115 1 H219号住居址 2 H220号住居址 3 H217号住居址カマド
4 H218号住居址炭化材出土状況 5 H219号住居址カマド 6 H220号住居址カマド
- 図版116 1 H221号住居址 2 H222号住居址 3～5 H222号住居址遺物出土状況
6 H222号住居址カマド
- 図版117 1 H223号住居址 2・3 H223号住居址遺物出土状況 4 H223号住居址張り出しピット
5 H223号住居址カマド 6 H224号住居址
- 図版118 1 H225号住居址 2 H226号住居址 3 H227・228号住居址
- 図版119 1 H228号住居址 2・3 H224号住居址カマド 4 H225号住居址カマド
5 H227号住居址カマド土製支脚 6 H227号住居址カマド 7 H228号住居址カマド
- 図版120 1 H229号住居址炭化材出土状況 2 H229号住居址 3 H229号住居址出入口部施設
4・5 H229号住居址遺物出土状況 6 H229号住居址カマド
- 図版121 1 H230号住居址遺物出土状況 2 H230号住居址 3・4 H230号住居址遺物出土状況
5 H230号住居址カマド
- 図版122 1 H231号住居址 2 H232号住居址 3 H234号住居址
- 図版123 1 H235号住居址 2 H236号住居址 3 H231号住居址カマド
4 H236号住居址カマド 5・6 H236号住居址遺物出土状況
- 図版124 1 H236号住居址 2 H237号住居址 3 H238号住居址
- 図版125 1 H239号住居址 2 H237号住居址遺物出土状況 3 H237号住居址カマド
4 H237号住居址遺物出土状況 5・6 H238号住居址遺物出土状況
7 H238号住居址カマド 8 H238号住居址遺物出土状況 9 H239号住居址カマド
- 図版126 1 H240号住居址 2 H241号住居址 3 H243号住居址
- 図版127 1 H244号住居址 2 H240号住居址遺物出土状況 3 H240号住居址カマド

- 4 H243号住居址遺物出土状況 5 H243号住居址貯蔵穴 6 H243号住居址カマド
7 H244号住居址カマド 8・9 H244号住居址遺物出土状況
- 図版128 1 H245号住居址 2～5 H245号住居址遺物出土状況 6 H245号住居址カマド
- 図版129 1・2 E地区3全景
- 図版130 1 H246号住居址 2 H247号住居址 3 H248号住居址
- 図版131 1 H249号住居址 2 H250号住居址 3 H247号住居址カマド
4・5 H248号住居址遺物出土状況 6 H248号住居址カマド
7・8 H250号住居址遺物出土状況
- 図版132 1 H251号住居址 2 H252・253号住居址 3 H253号住居址
- 図版133 1 H254号住居址 2 H254・255号住居址 3 H252号住居址遺物出土状況
4 H253号住居址カマド 5・6 H254号住居址カマド
- 図版134 1 H256号住居址 2 H257号住居址 3 H258号住居址 4 H257号住居址カマド
5 H258号住居址カマド
- 図版135 1 H259号住居址 2 H260号住居址 3 H261号住居址
- 図版136 1 H262号住居址 2 H262号住居址遺物出土状況 3 H262号住居址カマド
4 H263号住居址 5 H264号住居址
- 図版137 1 H265・267号住居址 2 H266号住居址 3 H263号住居址遺物出土状況
4 H264号住居址カマド 5 H264号住居址遺物出土状況 6 H266号住居址カマド
- 図版138 1 H267号住居址 2 H268号住居址 3 H269号住居址
- 図版139 1 H272号住居址 2 H267号住居址カマド 3 H269号住居址遺物出土状況
4 H269号住居址カマド 5 H271号住居址カマド 6～8 H272号住居址遺物出土状況
9 H272号住居址カマド
- 図版140 1 H273号住居址 2 H274号住居址 3 H275号住居址
- 図版141 1 H276号住居址 2 H277号住居址 3 H273号住居址カマド
4 H275号住居址カマド 5 H277号住居址遺物出土状況 6 H277号住居址カマド
- 図版142 1 H278号住居址 2 H279号住居址 3 H280号住居址
- 図版143 1 H281号住居址 2 H282号住居址 3 H278号住居址カマド
4 H282号住居址カマド 5・6 H281号住居址遺物出土状況
- 図版144 1 H281・282号住居址 2 H283号住居址 3 H284号住居址
- 図版145 1 H285号住居址 2・3 H283号住居址カマド 4・5 H284号住居址遺物出土状況
6 H284号住居址カマド 7 H285号住居址カマド
- 図版146 1 H286号住居址 2 H288号住居址 3 H286号住居址カマド
4 H288号住居址遺物出土状況 5・6 H288号住居址カマド
- 図版147 1 Ta1号竪穴状遺構 2 Ta2・3号竪穴状遺構 3 Ta2号竪穴状遺構遺物出土状況
4 Ta2号竪穴状遺構 5 Ta3号竪穴状遺構遺物出土状況 6 Ta3号竪穴状遺構
7 Ta4号竪穴状遺構 8 Ta5・6号竪穴状遺構 9 Ta5号竪穴状遺構
10 Ta6号竪穴状遺構
- 図版148 1 Ta7号竪穴状遺構 2 Ta8号竪穴状遺構 3 Ta9号竪穴状遺構
4 Ta10号竪穴状遺構 5 Ta11号竪穴状遺構 6 Ta11号竪穴状遺構内施設
7 Ta12号竪穴状遺構

図版149	1 D 2号土壙	2 D 3号土壙	3 D 4号土壙	4 D 5号土壙	5 D 6号土壙
	6 D 7号土壙	7 D 8号土壙	8 D 9号土壙	9 D10号土壙	10 D11号土壙
	11 D12号土壙				
図版150	1 D13・14号土壙	2 D15・16号土壙	3 D18・19・20号土壙	4 D19号土壙	
	5 D20号土壙	6 D22号土壙	7 D25号土壙	8 D26号土壙	9 D28号土壙
	10 D30号土壙	11 D31号土壙	12 D32号土壙		
図版151	1 D33号土壙	2 D34号土壙	3 D35号土壙	4 D36・37号土壙	5 D38号土壙
	6 D39・40号土壙	7 D41・42・43・44号土壙	8 D41号土壙	9 D42・43号土壙	
	10 D44号土壙				
図版152	1 T 1号特殊遺構	2 T 2号特殊遺構	3 T 3号特殊遺構	4 T 4号特殊遺構	
	5 T 5号特殊遺構				
図版153	1 T 6号特殊遺構	2 T 7号特殊遺構	3・4 T 8号特殊遺構	5 T 9号特殊遺構	
	6 T10号特殊遺構				
図版154	1 Ho 1号掘立柱建物址	2 Ho 2号掘立柱建物址	3 Ho 3号掘立柱建物址		
図版155	1 Ho 4号掘立柱建物址	2 Ho 5号掘立柱建物址	3 Ho 6号掘立柱建物址		
図版156	1 Ho 7号掘立柱建物址	2 Ho 8号掘立柱建物址	3 Ho 9号掘立柱建物址		
図版157	1 Ho10号掘立柱建物址	2 Ho11号掘立柱建物址	3 Ho12号掘立柱建物址		
図版158	1 Ho13・14号掘立柱建物址	2 Ho15・16・17号掘立柱建物址	3 Ho16・17号掘立柱建物址		
図版159	1 Ho16号掘立柱建物址	2 Ho17号掘立柱建物址	3 Ho18号掘立柱建物址		
図版160	1 環濠 1	2 環濠 2・溝	3 溝		
図版161	発掘調査スナップ				
図版162	樋村遺跡発掘調査団				

付 図 目 次

付図 1	樋村遺跡時代別集落構成図	230
付図 2	I期の住居址形態	234
付図 3	II期の住居址形態	235
付図 4	III期の住居址形態	236
付図 5	(1)その他の住居址形態 (2)奈良時代(1~4)・平安時代(5~8)の住居址形態	237
付図 6	掘立柱建物址, T 8特殊遺構一覧	238
付図 7	平出遺跡第3号住居址復原図	239
付図 8	I期大形・小形住居址のカマド	243
付図 9	II期小形住居址のカマド	244
付図10	II期中形住居址のカマド	245
付図11	II期大形住居址のカマド	246
付図12	III期住居址のカマド	247
付図13	その他に属する小形・中形住居址のカマド	248
付図14	奈良時代・平安時代のカマド	249
付図15	樋村遺跡玉類出土住居址一覧表	250

I 発掘調査の経緯

1 調査に至る動機

樋村遺跡は、千曲川右岸の南東、旧平賀村の北耕地、樋村地区一帯に広がる水田地帯に所在する大遺跡である。隣接した後家山の縁辺部には、昭和49年に調査された後家山古墳が樋村遺跡を見降すような状態で位置しており、その他多数の古墳が山際に散在している。

本遺跡は、昭和57年～58年度にわたる圃場整備事業に伴ない、破壊を余儀なくされる事態となったため、第1次、第2次にわたって緊急に発掘調査を行ない記録保存することとなった。

1 調査の概要

- 遺跡名 樋村遺跡
- 所在地 長野県佐久市大字平賀字樋村地
- 発掘期間 第1次調査 昭和57年9月10日～10月13日
第2次調査 昭和58年5月1日～11月30日
- 調査委託者 東信土地改良事務所
- 調査受託者 佐久市教育委員会

○調査組織

昭和57年度

(事務局)

教育次長 臼田 幸作
社会教育課長 土屋 四郎
社会教育係長 井出 喜平
社会教育係 堀内美喜男・林 幸彦
社会教育指導員 茂木 智里

(調査団)

調査団長 戸塚平一郎 佐久市教育委員会教育長
調査担当 林 幸彦 社会教育係・日本考古学協会員
調査員 三石延雄、大井今朝太、島田恵子、工藤かよ子、白倉盛男、小山岳夫、三石宗一
調査補助員 原田政信、堺 益子、茂木智里
調査協力者 工藤郷子、橋詰操、牧野こと、篠原つる子、須藤久米子、大井恵美子、田中穂波、依田さき子、小栗源三、並木ことみ、丸山勝子、上原みつ、柳沢麗子、柳沢松子、荻原つたえ、荻原百合子、荻原めぐみ

昭和58年度

(事務局)

教育次長 大井昭二(昭和58年10月退任) 森泉郁太郎(昭和58年11月就任)

社会教育課長 並木 進
社会教育係長 相沢 幸男
社会教育係 関本 功・林 幸彦
// 細萱 健一（昭和58年7月就任）

社会教育指導員 森泉かよ子
庶務担当 三村美穂子・小山 岳夫

（調査団）

顧問 由井 茂也 佐久考古学会長
前島 宗之 佐久市助役
戸塚平一郎 佐久市教育委員会教育長（昭和58年10月退任）
大井 昭二 // （昭和58年11月就任）

参与 白倉 盛男 佐久市文化財保護審議会委員
木内 捷 佐久考古学会事務局長

調査団長 藤沢 平治 北佐久農業高校教諭・日本考古学協会員

調査担当者 藤沢 平治 // //

// 林 幸彦 教育委員会社会教育係・日本考古学協会員

調査主任 島田恵子 調査員 三石延雄、佐々木宗昭、井上行雄、大井今朝太、黒岩忠男、森泉かよ子、小山岳夫、三石宗一、原田政信 調査補助員 堺 益子

発掘調査・遺物整理協力者

片井宗市、柳沢松子、依田さき子、黒沢嘉子、中沢信子、小林きみ、田中夏江、片井きぬ子、田中まさ子、岩下しめ子、関口きく子、橋詰信子、田中静代、小林勇一、内藤てる江、田中丑三、武藤律子、星野あい、内藤春江、内藤まちよ、橋詰勝子、小山いづみ、吉田ゆかり、早川俊彦、大井恵美子、大井夏子、片井裕子、甘利文彦、並木ことみ、丸山勝子、遠藤しづか、大井和子、池田美智子、小林文江、井出百合子、須藤久米子、須藤房子、関口けい子、青木久子、市村はるい、大工原幸子、篠原浩江、御園孝子、津島美由紀、斉藤裕子、羽毛田卓也、小松富美男、小山栄次、掛川祐次、桜山守、森川健一、中島智、小林佐都志、白田悦子、木内篤子、中野秀幸、安藤やす子、荻原定雄、小林元美、須田すい、神部妙子

昭和59年度

（事務局）

教育次長 森泉 郁太郎
社会教育課長 並木 進
社会教育係長 相沢 幸男
社会教育係 関本 功・林 幸彦・細萱 健一
社会教育指導員 森泉 かよ子
庶務担当 小山 岳夫

（調査団）

顧問 由井 茂也 佐久考古学会長
前島 宗之 佐久市助役
大井 昭二 佐久市教育委員会教育長
参与 白倉 盛男 佐久市文化財保護審議会委員

	木内 捷	佐久考古学会事務局長
調査団長	藤沢 平治	北佐久農業高校教諭・日本考古学協会員
調査担当者	藤沢 平治	“ “
	林 幸彦	教育委員会社会教育係・日本考古学協会員
調査主任	島田 恵子	調査員 三石延雄、佐々木宗昭、三石宗一、白倉盛男、小山岳夫、森泉かよ子、森泉定勝、井上行雄、大井今朝太、(以上佐久考古学会員)
協力者	大井和子、神部妙子、小井土節子、堺 益子、橋詰勝子、橋詰信子、早川俊彦、前島弘子、赤池絹子、浅川雅明、足立あけみ、池田美智子、市川早苗、井出百合子、臼田悦子、遠藤しずか、大井恵美子、小沢智恵子、河西えつ子、金井ふくい、勝俣松、木内亜友美、小林清彦、小林房江、小山いずみ、小山栄次、佐々木春蔵、須藤久米子、高橋純子、高橋忠幸、高橋臣文、田中夏江、鷹野敏春、鷹野富美子、津島みゆき、中沢美春、並木ことみ、橋詰けさよ、畠山智、堀込今朝太、丸山勝子、御園孝子、宮沢圭子、桃井澄人、吉田ゆかり	

3 発掘調査の経過

昭和57年度

第1次の発掘調査は、昭和57年9月10日～10月13日までの実質日数30日間にわたって実施された。まず、9月9日・10日に器材を運び入れテントを設営する。並行して9月10日～15日までの5日間は、重機による表土削平およびプラン確認をおこなった。その結果、明確にプラン確認ができた遺構は、住居址10、特殊遺構1、土塙1、環濠とおもわれる落込み2、溝等が検出された。

16日より作業協力者の方々も集り本格的な調査に入る。テント・器材の整備を行なう一方、グリッド設定をする。西から東に向けて1～12、北から南にかけて、あ～つ迄4m×4mの計218グリッドを設ける。掘り下げは、再度プラン確認をおこなった後、落込み状態等の観察のためにY1・Y2住に入る。遺構中央部に十字のセクションベルトを設け、主軸方向よりI～IV区に区分し土層の観察および層位別に遺物を取り上げる。観察終了後より、溝、環濠のプラン再確認を行ない住居址・環濠・溝との切り合う部分を明確に把握する。結果、溝、環濠、住居址の順に時間の差があったことが判明したため、溝から掘り下げを開始する。並行してセクションベルトの部分のみ環濠の掘り下げに入る。

環濠1は、規模が大きく深かったため、9月28日まで日数を費してしまった。このため調査期間が切迫し環濠2と住居址の掘り下げは、大きく分散して入ることとなる。また、再度のプラン確認で住居址は計14棟、特殊遺構2基となり増加する。

住居址・特殊遺構の掘り下げ、実測は、9月28日～10月12日までの15日間を要した。尚、特殊遺構は全体写真撮影後最終日に断ち割りを行ない精査する。

昭和58年度

第2次の発掘調査は、昭和58年5月1日～11月30日までの7ヶ月間を費した。本年度の圃場整備対象地は10万㎡という広範囲の面積であった。そのため、当初よりA～Eの5地点に区分けし、遺物散布地から調査面積は、10,000㎡が予想されていた。しかし、予想外の地区にも遺構が存在する可能性が懸念され、全地区に試掘トレンチを入れる計画が立てられた。

まず5月1日～5日まで、西南端のA地区に入り重機による耕作土の削平を行なう。また、一部の畑には野菜の種が蒔かれていたり、桑が植えられており、作業の進行過程で困惑が生じた。遺構は、住居址10、掘立柱建物

址2、特殊遺構2、土壙5、ピット群等が検出された。昨年の調査から弥生中、後期の集落が予想されていたが、出土土器片はそのほとんどが土師器であった。さらに、E1地点に試掘トレンチを入れたところ、住居址・ピット群が確認され、当初の予想よりも遺構の広がりをはるかに大きいことが想定された。とりあえずこの地点から掘り下げに入ることにして、5月6日に顧問である教育長、助役の出席のもとに打合せ、結団式をおこない、7日より調査が開始された。

その後、全地区の遺構存在を把握するために、6月1日～2日にかけてB～E地区にトレンチを入れる。結果、B、E地区に遺構が確認されたが、C、D地区には広がりは見られなかった。しかし、当初予想の10,000㎡から40,000㎡に調査対象区が拡大された。遺構は住居址だけで250棟が予想される事態となったため、急拠、調査期日の延期を申し入れ、今後の調査方針について三者の話し合いが持たれた。東信土地改良事務所、圃場整備事業請負業者、教育委員会および調査団で話合った結果、圃場整備作業の進行状況に合わせて発掘作業を進める事になり、水路がつくられる地点より先行する事にして、B地区を8月中旬、E地区2・3を9月中旬、E地区1を10月中、A地区2を11月中に終了するよう取り決められた。強粘土であるため作業はきつく、晴天の日は地面が乾燥して固く、散水をしながら掘り下げを行ない、雨天後は地面が粘ばって一輪車が立往生してしまうという悪条件の土層であったため、調査は厳しい日程と重なって一時の猶予も許されない状況であった。そのため重複のはげしい住居や再度のプラン確認作業は全て調査員が雨天の日や休日に行なわなければならなかった。

A地区1 グリッドは4m×4mで北～南にふ～よ、西～東に1～33の計363グリッドを設定した。検出された遺構は、弥生中期竪穴状遺構3、古墳時代後期住居址14、国分期住居址2、国分期竪穴状遺構3、土壙24、掘立柱建物址5、溝状遺構1、ピット群等である。本地区は、古墳時代後期の住居址中、真間期と決定できた住居址が5棟あった。また、焼失住居であるH17号住は、畦道と水路に破壊され $\frac{1}{2}$ の検出であったが、炭化米等の残存の可能性を考え床面上の覆土を2日間にわたって水洗いする。その結果、小粒の滑石製白玉が17個発見された。また、弥生中期の竪穴状遺構Ta2、Ta3は、遺物の出土状態が特異であったため、遺物の取り上げに注意をはらった。協力者は、初心者ほとんどであったため、掘り下げ方法、遺物の取り上げ順序等の説明を繰り返し、繰り返し行いながら調査したため、5月7日～6月11日わたる実質35日を費した。

A地区2 本地区は、5月24日～6月1日まで表土削平および並行してプラン確認を行なったところ、遺構は重複し合って台地の縁辺部までギッシリと連なっている様相である。表土削平は苗間の水田があり60%程であるが、全面削平すると住居址は100棟になる見込みであった。

本地区の掘り下げは、最終に持ち越す予定区であったため、B地区の表土削平が終了するまで住居址7、特殊遺構1の掘り下げを、6月4日～23日まで行なったのみでB地区へ移る。以後、11月5日～11月30日まで調査員、協力者を増員して調査を行なう。遺構は総計して住居址88、特殊遺構3、土壙2の検出であった。追い込みの11月24日・26日は雪が舞い寒い日であった。

B地区 本地区は、6月20日に表土削平およびプラン確認をおこない翌日より掘り下げに入る。北端であったためグリッドの北側はこの地区より出発点とする。あ～こ、49～65の計170グリッドを設定した。時期的に梅雨に入ったため雨量が多く、強粘土であることと特に本地区は水はけが悪く、掘り下げた住居内には水が次から次へと湧き出して作業不可能となったために、梅雨あけを待って再調査にかかることにし、7月6日よりE地区2へ移る。その後8月5日から12日まで行なったが、お盆休みの15日、16日に大雨が降りひどい浸水となる。全体写真の撮影が終らず、約束の期限でもあったため、水のかい出しや、荒れた地点の清掃で非常に困難をきわめたが、8月20日にやっと撮影を終了することができた。遺構は、住居址15、土壙1の検出であった。

E地区1 本地区は、東西に108m、南北に22mを測る細長い地区で、グリッドは、し～に、34～76までの計594グリッドを設定した。遺構は、住居址105、竪穴状遺構4、土壙1、掘立柱建物址2等多数検出された。少しの猶予も許されない期限に悩み、また、圃場整備工事のブルドーザーの騒音に追い立てられながらの作業であった。

そのためこの地区は、遺構中央部に十字に入れたセクションベルトも一本に減らして、土層の観察をおこなわざるを得なくなった。また、9月下旬は雨の日が多く、入念に掘りあげた住居址に廃土の土砂がくずれて住居址を埋めてしまうというアクシデントが生じた。幸に10月に入ると雨量も減り、晴天の日が多くなり、9月19日～11月6日で本地区を終了することができた。

E地区2 本地区は、表土削平・プラン確認を6月24日～30日にかけて行ない、7月6日～8月12日まで掘り下げ作業を行なう。グリッドは、き～と、81～103までの計322グリッドを設定した。遺構は、住居址32、竪穴状遺構1、土壙2、掘立柱建物址2、その他多数のピットが検出された。このうち弥生時代の住居址は5棟を数える。

梅雨があけて8月に入ると急に暑くなり、地面の乾燥はひどく散水したり、夕立により掘り下げた住居内に水が溜りかき出したりと、両者の繰り返しの日々であった。また、この地区より大形住居址が多くなり、比例して深くなったために作業は一段と厳しくなる。

E地区3 本地区のグリッドはぬ～も、86～112の計351グリッドを設定する。表土削平、プラン確認を6日間かけて終了し、8月9日より掘り下げに入り9月19日終了する。

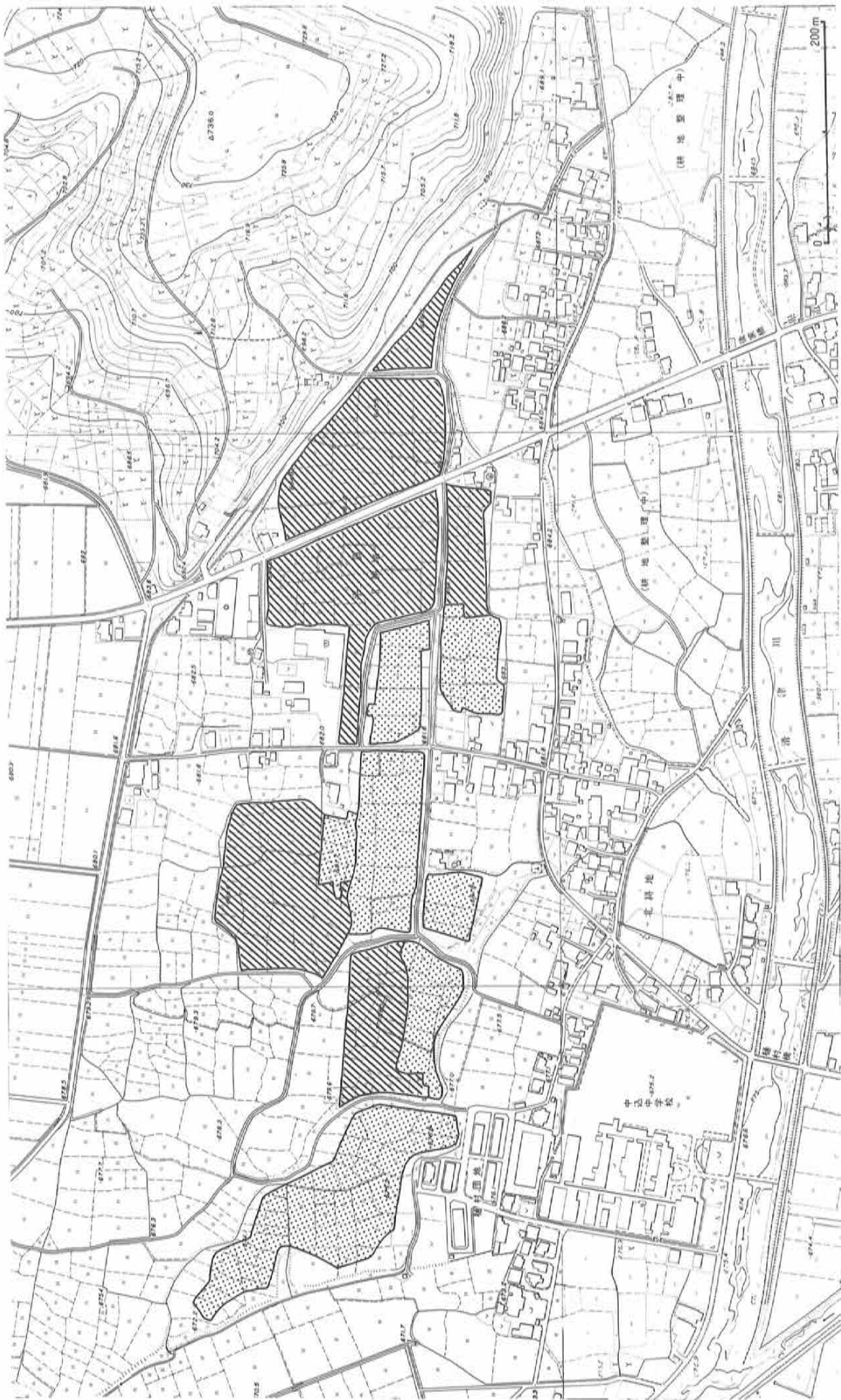
検出遺構は、住居址42、土壙14、特殊遺構3、掘立柱建物址9、その他ピット群等であった。本地区は、一辺11m～12mを測る最大の住居址が存在し、E地区2と続いて大形の住居址が多かった。また、掘立柱建物址が住居址と重複しており、混乱した面もあった。9月に入っても残暑が厳しく、粘土層の固い掘り下げと重なってきつい作業の日々であった。

調査終了後の12月1日～3月30日までの期間は、出土遺物を各遺構毎に区分けし洗浄に入る。また現場実測図の整理及び全体図の作成を行ない概報を発刊する。

昭和59年度

本年度は、報告書作成に向けて整理作業を行なう。312棟の住居址検出という大規模な調査結果となった為、現場作業の厳しさに加えて、整理作業も費用・期限の面で一段と厳しくなり、遺物の復元、実測は年度内だけでは不可能である見通しとなり断念せざるを得なくなった。そのため遺構編のみの報告書となり、不十分なものとなってしまった。貴重な大集落址の調査を完了するため、近い将来遺物編の刊行に向けてさらに努力したい考えである。

- | | |
|--------|--|
| 4月 | 土器洗浄、註記 |
| 5月～12月 | 住居址実測図の整理、トレス、スクリーン貼付、土器復元 |
| 1月 | カマド実測図の整理、トレス、スクリーン貼付、写真整理及び図版作成 |
| 2月 | 竪穴状遺構、土壙、特殊遺構、掘立柱建物址の図面整理、トレス、スクリーン貼付、図版作成、住居址一覧表作成、編集作業 |
| 3月 | 原稿執筆、校正、出版。 |



第1図 榎村遺跡地形図及び発掘区設定図

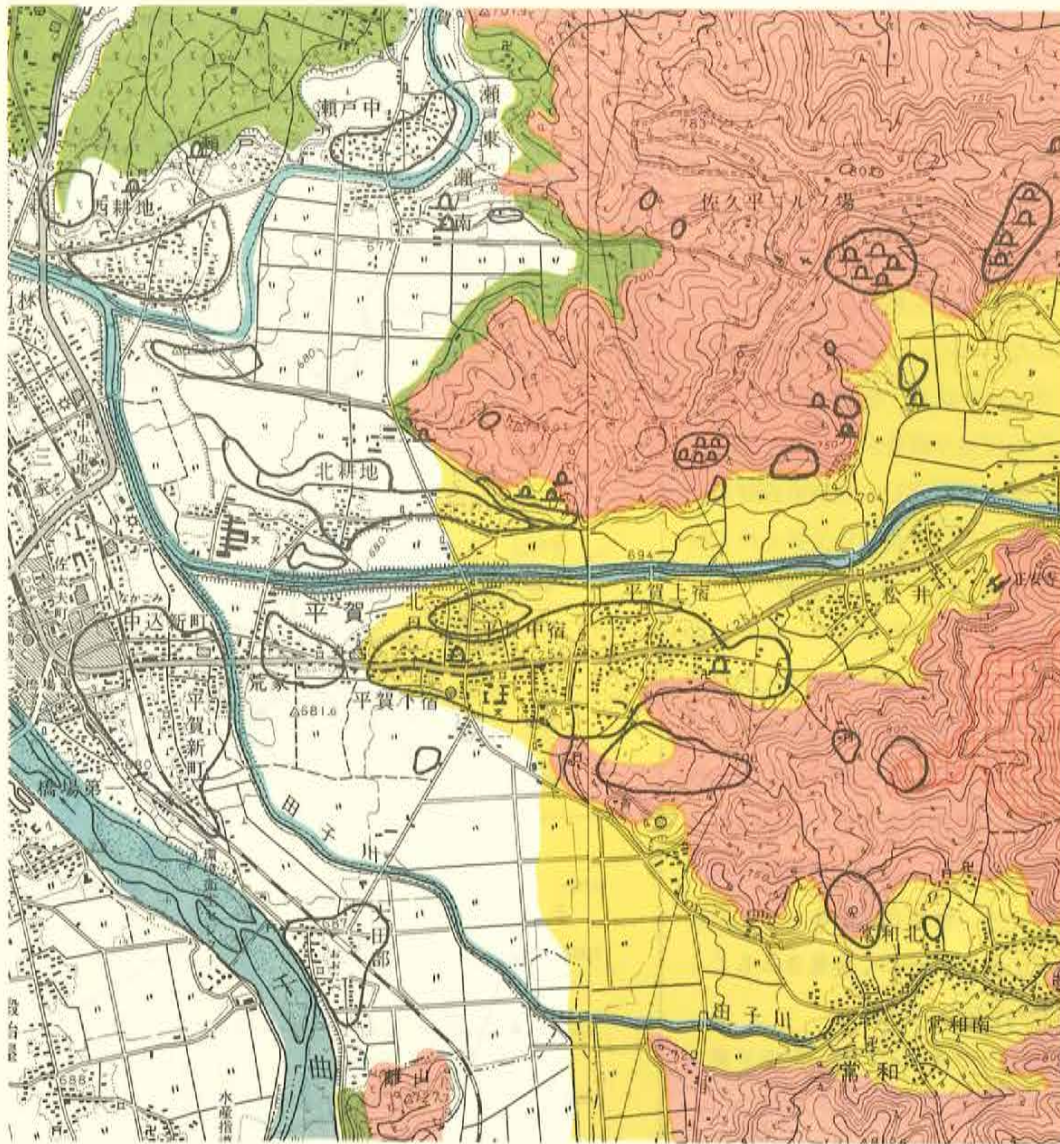
遺構検出調査区

遺構の存在が認められなかった調査区

II 遺跡の環境

1、樋村遺跡付近の地形地質の概要

佐久平は千曲川の上流標高約700m・南北約20km・東西最大約10kmの長菱形の高原盆地で東側群馬・長野県境は関東山地の最西北端部の延長が佐久山地となり、所によっては茂来山(1717m)が尾根のように千曲川沿岸まで迫っており、八風山(1315m)物見山(1375m)荒船山(1422m)を主峯とする妙義荒船佐久高原国定公園、南側は三国山(1850m)甲武信ヶ岳(2468m)金峯山(2595m)の高山地帯の秩父多摩国立公園によって埼玉・山梨県境に接している。西側はホッサマグナ(日本中部地溝帯)中心部に隆起噴出した赤岳(2899m)硫黄岳(2742m)蓼科山(2530m)霧ヶ峯・美ヶ峯台地と続く八ヶ岳蓼科山火山列の八ヶ岳中信高原国定公園によって諏訪郡



第2図 (1)樋村遺跡周辺の地質図

	沖積層
	荒船玄武岩
	扇状地・崖地
	溶結凝灰岩
	湯川層

(1 : 25,000)

界が形成され、北側は活火山浅間山(2560m)を南端とした上信越高原国定公園によって限られ、国立27・国定52公園の中の四つに四方を囲まれた自然風景景観に恵まれた地域である。

従って佐久平は千曲川の流出する西北部小県上田方面だけが平地続きで、他の各方面は何れも山地に囲まれ他地域への交通は全て峠越しをしなければならなかった。現在は余り利用されていないが古代から通過された記録のある峠路を数えて見ると群馬県側18・埼玉県側2・山梨県側6・諏訪郡側7・小県郡側2の計33をあげることが出来る。

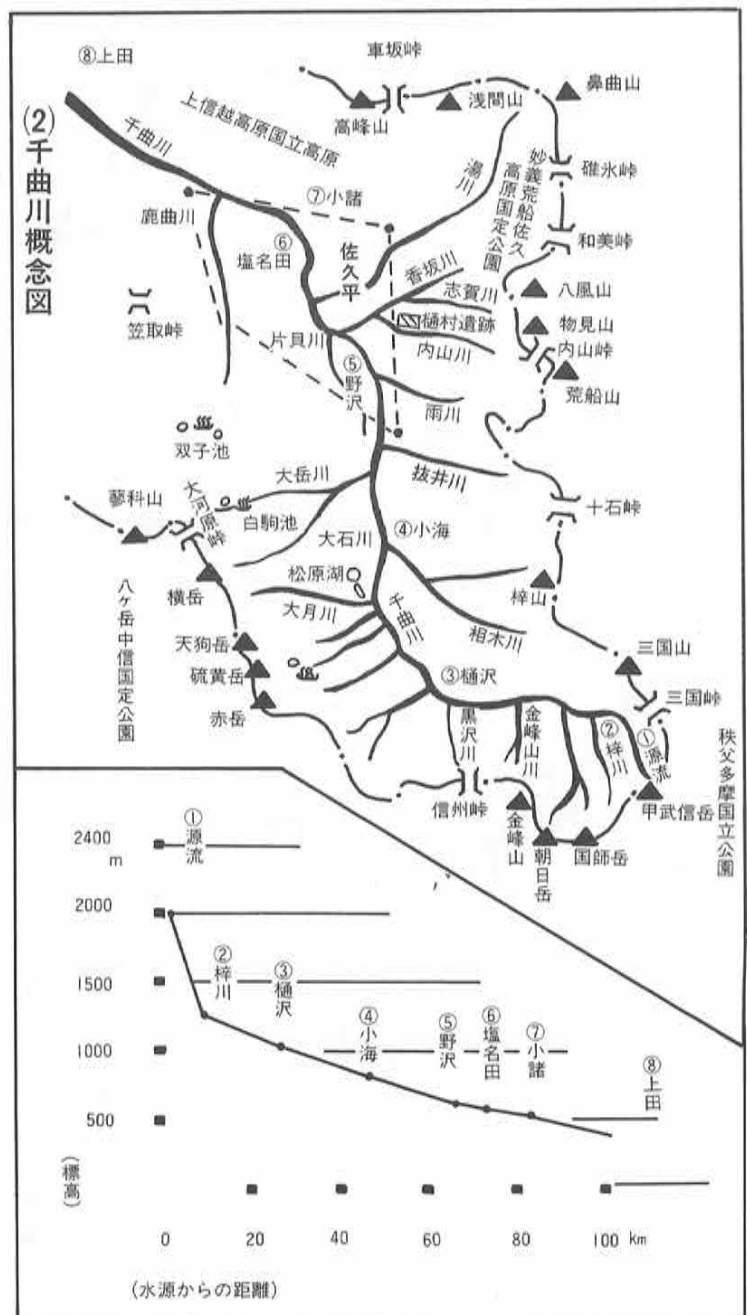
地形や風景を表現する言語に山河とか山水などが用いられているが佐久平の河水は千曲川がすべてを代表している。千曲川は甲武信ヶ岳から源を発し、最上流部の川上地域では西流し、南牧村に入ると岩壁に囲まれた峡谷を北流し、小海町附近でようやく谷巾を広め、佐久町附近では河床の標高750m内外となり兩岸は次第に平地が広がり佐久平がこの附近から開けて、ほぼ北流し小諸市布引で標高550mとなる。この千曲川の流路が長菱形の佐久平の長い対角線に大体一致し、佐久市の中心部附近が東西の巾が最も広く菱形の短い対角線にあたっている。

広葉樹の葉脈の主脈を千曲川とするとその支脈にあたる支流が見事に発達している。右岸には相木川・抜井川

雨川・内山川・湯川・乙女川・深沢川・とその他小支流を合せて15あり、左岸には梓川・金峯山川・失出川・柚添川・支月川・大石川・片貝川・鹿曲川とその他の小支流14が全般的に調和のとれた分布を示し、佐久平とその周辺では天然水に恵まれ干害を受ける事はなかった。この事は弥生式土器や遺跡の分布が実証し、現在では佐久平に於ける稲作の反当り収量が全国的に優れていること、それに関連しての稲田養鯉が古くから佐久鯉として質量共に伝統を持ち続けた要因でもあった。(第2図参照)

千曲川は最上流の花崗岩地帯・秩父古生層中生層地帯・八ヶ岳蓼科山浅間火山麓地帯を貫流し、又それらの地域を流下する多くの支流をも合せて河床礫を運んで来るので千曲川原は岩石の標本室の観を示し、古代人もこれを活用したことが遺跡発掘で確認されている。特に良質のチャートの石鏃・石斧・石匙などが多く発見されることは佐久地方の特徴である。

榑村遺跡はこの佐久平の中心部やや東南寄り内山川と志賀川の氾濫源に立地している。志賀川と内山川と本流千曲川の複合扇状地・氾濫源であり、原始状況の自然堤防の頃、戦国時代のこの附近の古地図には千曲川本流が現在の離れ山の東部田子川の流路を流れていたことを示すものもあり、白



田町境の離れ山は地質構造の上から東部山地（平賀城山・田口城山）の尾根続きのものが河川の浸蝕により切り開かれたものであることは地質図で明らかである。

樋村遺跡を中心とした、北は瀬戸部落から南は太田部部落一帯の現在は基盤整備が完成された水田地であるが、以前この附近で水路改修・井戸掘削の際に埋れ木や泥炭状堆積物・微粒子良質粘土層が厚く堆積していた事を古老が語っている事と、太田部の樋村にはこの粘土を原料として日本瓦製造が昭和初期まで長く行われていた事とを合せ、それに今回の遺跡発掘調査結果からこの地盤の成因は千曲川と支流内山川・志賀川合流点の沿岸一帯は大洪水のたびごとに濁流泥土の氾濫を繰り返し堆積した遊水池であったことを物語っている。

今回の発掘区域内に流路の何回かの変化・洪水量の多少による砂礫粒度差の堆積が数ヶ所に見られ、砂礫の岩質が西側が千曲川河床礫が比較的多く交ざり、東側には内山川河床礫のみとなる傾向が見られた。尚、遺跡出土石器の中には製造過程の破片と見られるものが多量に出土したが、磨製有孔石鏃の千枚岩と大型紡錘車の滑石は東信地方には原産地はないので他地方からの移入と考えるより外はない。その他の出土石器は石質から佐久地方の原材が使用されていた。

（白倉盛男）

2、考古学的環境

樋村遺跡は、小海線中込駅の北東約1.3キロメートルの位置に所在し、北に志賀川が南に内山川が東西に流路をとるその中間に立地した、志賀川と内山川の複合扇状地にあたる。特に志賀川は、遺跡付近で大きく蛇行しながら西耕地で内山川と合流して滑津川となり、やがて今井付近で千曲川に合流する。

樋村遺跡周辺の遺跡分布は、志賀川、内山川、田子川、滑津川、さらに千曲川を包括した、諸河川の複合扇状地、川沿いの微高地上に散在する。これ等の遺跡を時代別に概観してみたい。

先ず、縄文時代の遺跡は、樋村遺跡の南西端部で現在の集落の存在する地点より、縄文中期後半曾利式、後期加曾利B式の遺物が採集されている。今回の発掘調査区からも、中期後半の土器片が2、3片出土している。また、樋村遺跡の北西に隣接した上の台遺跡は、昭和57年度の樋村遺跡第一次調査中先に進行していた圃場整備工事の現場で、考古学に関心のある地元の農家の方が発見した新遺跡で、縄文前期（諸磯期）・縄文中期後半の遺物が採集された。上の台遺跡より東に1.5km入った扇状地に城遺跡があり、ここでも中期後半の土器散布が見られる。また、古墳群が群集する内山地区の長峯遺跡にも中期後半の土器分布がみられる。内山川の左岸平賀地区に入ると宮の前遺跡には中期中葉の勝坂式、後半の曾利式、縄文後期の堀の内式土器、その他石器類が多量に採集されている。さらに、荒屋遺跡からは、八幡一郎氏が「南佐久郡の考古学的調査」の中で凹石が出土していることを記録している。田子川と千曲川にはさまれた太田部には、久禰添遺跡が存在し、打製石斧、凹石が採集されているのみで土器の散布はみられない。

以上のように、縄文時代の遺跡は小規模で遺物は、宮の前遺跡以外はうすい散布状況であり、集落も点的なあり方を示している。

弥生時代に入ると遺跡は急増する。樋村遺跡第1次調査では、中期栗林式の住居址4棟、後期吉田式10棟、環濠2、溝3が検出され、環濠集落址の要素も伺える。第2次調査では、中期1、後期6の住居址が検出された。北西隣りの上の台遺跡は、昭和57年度の調査において後期吉田式の住居址2棟が検出されている。また、樋村遺跡を取り囲むように南西部には、川原田遺跡、北東部には、後家遺跡、後家山遺跡が存在し、共に後期土器片が発見されている。その北部志賀川の左岸には、城遺跡があり後期土器、太形蛤刃石斧等が採集されている。また、北南に流路をとっていた志賀川が東西に大きく蛇行して滑津川と合流する地点に、弥生後期の西耕地遺跡が存在する。その北隣りには、昭和47年発掘調査された深堀遺跡があり、栗林式の住居址2棟が検出された。この他内山川左岸の平賀地区には、荒屋遺跡、荒神遺跡、中屋敷遺跡、久禰添遺跡、宮の前遺跡があり、共に弥生後期の土器片、太形蛤刃石斧等が採集されている。



1 : 25,000



第3図 樋村遺跡周辺の遺跡分布図

第1表 周辺遺跡一覧表

No	遺跡名	所在地	立地	縄	弥	古	歴	備考
1	樋村	平賀字北耕地樋村	段丘	○	○	○	○	
2	後家山古墳	平賀字後家山	丘陵			○		昭49年発掘調査
3	後家山	〃	段丘		○			
4	後家	平賀字後家	〃		○	○	○	昭58年分布調査にて新発見
5	川原田	平賀字川原田	〃		○	○	○	昭58年分布調査にて新発見
6	上の台	瀬戸字上の台	〃	○	○	○	○	昭58年発掘調査(圃場整備中新発見)
7	西耕地	瀬戸字西耕地	段丘		○	○	○	
8	深堀	中込字深堀	台地		○			昭47年発掘調査
9	本郷	瀬戸字中家敷	〃			○		
10	城	瀬戸字城	〃	○	○	○	○	
11	宮の脇	瀬戸字宮の脇	台地				○	昭58年分布調査にて新発見
12	長峯	内山字長峯	台地	○		○	○	
13	長峯古墳群 A	〃	山頂～山麓			○		
14	〃 B	〃	〃			○		
15	坪内	内山字坪内	段丘				○	昭58年分布調査にて新発見
16	東和田	内山字東和田	〃				○	〃
17	西和田	内山字西和田	〃				○	〃
18	月崎古墳群	平賀字月崎	山腹			○		昭42年分布調査実施
19	東姥石古墳群	平賀字東姥石	〃			○		〃
20	東姥石	内山字東姥石	段丘				○	昭58年分布調査にて新発見
21	新町	中込字新町・横道 狐塚・南畑	微高地			○	○	〃
22	荒屋	平賀字荒屋	段丘		○	○	○	
23	荒神	平賀字荒神	〃		○	○	○	昭58年分布調査にて新発見
24	中屋敷	平賀字中屋敷	〃		○	○	○	
25	南谷津	平賀字南谷津	〃			○	○	昭58年分布調査にて新発見
26	滝下古墳群	平賀字滝下	〃			○		
27	平賀城跡	平賀字城平・城下	山頂				○	
28	宮の前	平賀字常和宮の前	山麓	○	○	○	○	
29	西大久保古墳群	平賀字西大久保	山腹			○		
30	中堰	平賀字中堰	微高地				○	昭58年分布調査にて新発見
31	久瀬添	平賀字太田部	段丘	○	○	○	○	昭58年分布調査にて、飯塚も含み広くなる

古墳時代に入ると遺跡はさらに急増し、規模も大きく、密集した大集落が営まれていたことが本調査によって判明した。こうした集落の首長たる人物を埋葬したかのように、後家山、北耕地、東久保、月崎、東姥石、西和田、坪内、長峯A・B等の古墳群が、北東山間部の丘陵に群をなしている。樋村遺跡の中にも、2基の古墳が存在していたことが記録に残されているが、現在は住宅が建ち並びあとかたもない。

昭和49年10月、遺跡の北東に存在する後家山古墳が発掘調査された。この古墳は後家山丘陵斜面の西端に位置し、標高は736mを測る。戦後、盗掘されて石室主体部の岩石はほとんど取り除かれ、農道の石材として使われてしまったため、横穴式の石室は地表に露出しており、側壁の最下段とかまち石、磔床等が検出残存していたのみであった。規模は、墳丘径17.4mを測る円墳で、玄室全長4.8m、玄室及羨道幅2.3m、玄室長さ2.9mを測る。石室プランは長方形で、玄室、羨道は同幅で大形のかまち石で境をなしていた。また、墳丘は自然丘陵を利用しており、丘陵を長方形に掘りこみ、壁を築き、裏積みをなしたと推定されるもので、周辺古墳の中核的規模であるとされている。出土遺物は、水晶製の切子玉8、管玉7、ガラス小玉14、小形白玉12、鉄鏃12、直刀片5、刀子2、鉄片、土師器片多数と須恵器片少量等である。これ等の副葬品と同類のものが樋村遺跡の住居址からも多量に出土している。切子玉、管玉、白玉、勾玉、鉄鏃、刀子、銅環等である。特に白玉は多くの住居址から出土しており、装飾品として一般的であったものとおもわれる。こうした古墳を築造した人々の集落がどのような規模で、どのように存在したのか、過去における調査および遺跡分布のあり方から考えて、とうてい樋村遺跡にみられるような、密集した大集落を形成しているとは想像でき得なかった。しかし、40,000m²の土地に300棟の住居がひしめきあっている現実をみた時、古墳時代後期が2～3期に区分されて存在していた集落であっても、一時期の棟数は相当数にのぼることと、集落はまだ現在宅地にされている樋村地区全体に広がっている可能性もあり、今回の調査によって集落およびムラを考える一つのメルクマールが出来たことは大きな成果である。同時代の遺跡は、内山川左岸および田子川沿いに、新町遺跡、荒屋遺跡、荒神遺跡、中屋敷遺跡、南谷津遺跡、久禰添遺跡が存在しており、対岸には、後家遺跡、川原田遺跡、上の台遺跡、西耕地遺跡、城遺跡、長峯遺跡等が分布している。これ等の遺跡は範囲も広く、現在の集落に劣らぬ大集落が形成されていたものとおもわれる。こうした集落のモニュメントとして古墳群が大きく関わってくるのである。

歴史時代の遺跡は、そのほとんどが古墳時代と連続して集落が形成されている。新たに加わった遺跡は、宮の脇遺跡、坪内遺跡、東和田遺跡、西和田遺跡、東姥石遺跡、中堰遺跡等であるがどれも規模は小さくて大きく分散していることが特徴的である。古墳時代にみられた大集落が縮小したことを伺わせる分布の状態を示している。反面、耕作地の起因した集落の分散も考えられ、水田開発はこの期に入って出来上がってきたものとおもわれる。そして平賀氏がやがて権勢をふるう下地が、この頃より培われていたのであろう。

また、江戸時代末期には遺跡一帯の土層が良質の強粘土層であるため、これに目をつけた三河の瓦製造業者山田伊兵衛が職人を共なってこの地にやって来た。そして、西耕地に工場を建て、江戸時代末期～昭和15年まで瓦製造をおこなっている。

以上が樋村遺跡周辺の遺跡分布状態である。第1表で明記してあるように昭和57・58年度に実施された佐久市遺跡詳細分布調査によって、樋村遺跡周辺からは、12遺跡が新たに発見されより面密な資料提出となった。

(島田恵子)

III 層 序

樋村遺跡は、内山川と志賀川および本流千曲川の複合扇状地・氾濫源に立地している。遺跡一帯の土層は、微粒子状の強粘土層に覆われているが、全体図に図示した如く数ヶ所添黒色土が帯状に層をなしている沈殿池や砂礫層が露出している場所が見られる。この地盤の成因は、たび重なる大洪水の氾濫により、遊水池底での堆積を繰り返した結果、長い期間の沈殿により形成された粘土層は粒度が均質で粘り強く良質である。

また、57年度の第1次調査区では、砂礫の岩質が千曲川河床礫と内山川河床礫とが混入していたが、58年度の第2次調査区では、そのほとんどが内山川河床礫であった。

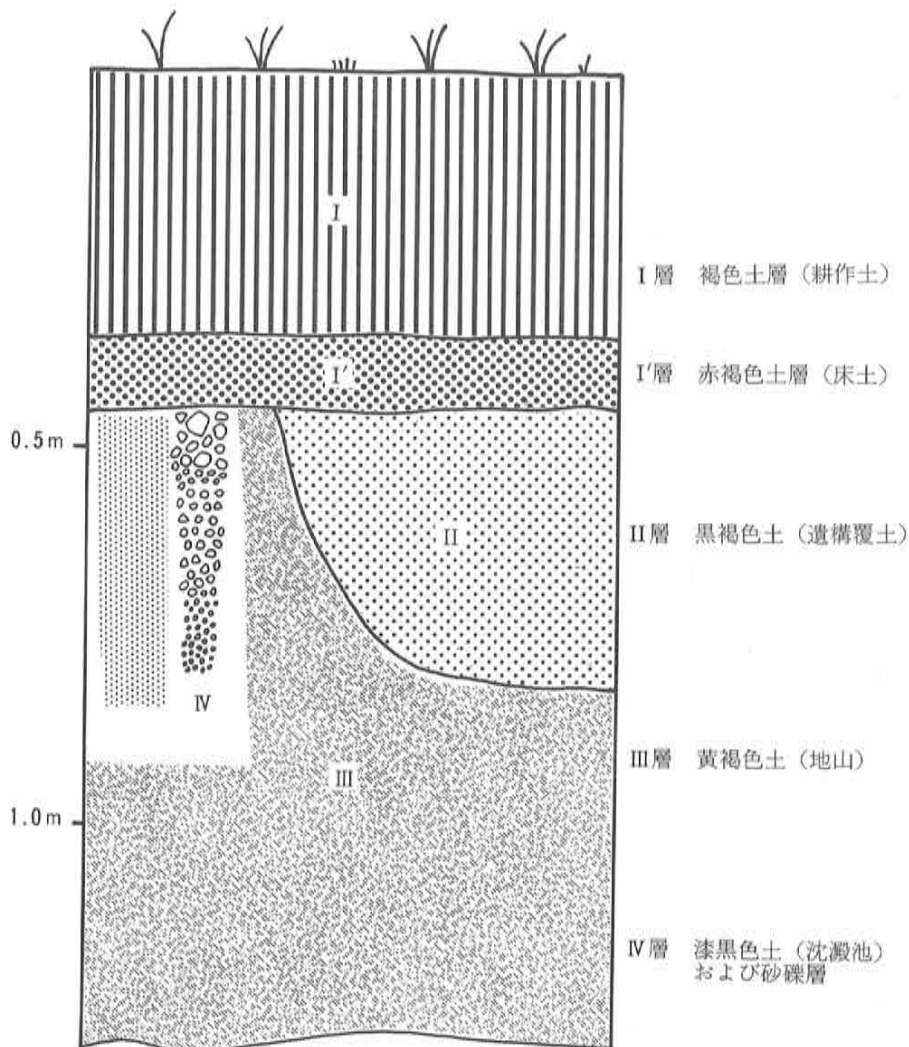
I層は、褐色を呈した耕作土で、粒子の緻密な強粘土層に小石粒を微量含み固い。層厚は35cm前後を測る。

I'層は、水酸化鉄を含んだ水田床土でコチコチに固い。この床土を取り除いた直下より遺構が確認される。

II層は、遺構覆土である。1cm～3cmの黄色粘土ブロックを斑点状乃至2mm～5mm大の粒状に含んだ強粘土層で固く引き締まっている。保水性に富んでいるため、出土土器は磨耗が著しい。

III層は、黄褐色を呈した緻密で良質な強粘土層の地山である。II層に含まれていた黄色粘土ブロックを斑点状に混入する。

IV層は、調査区内のところどころに見られた洪水の氾濫に起因する砂礫層および腐植によって生じた有機質の漆黒色土と砂層の沈殿池である。

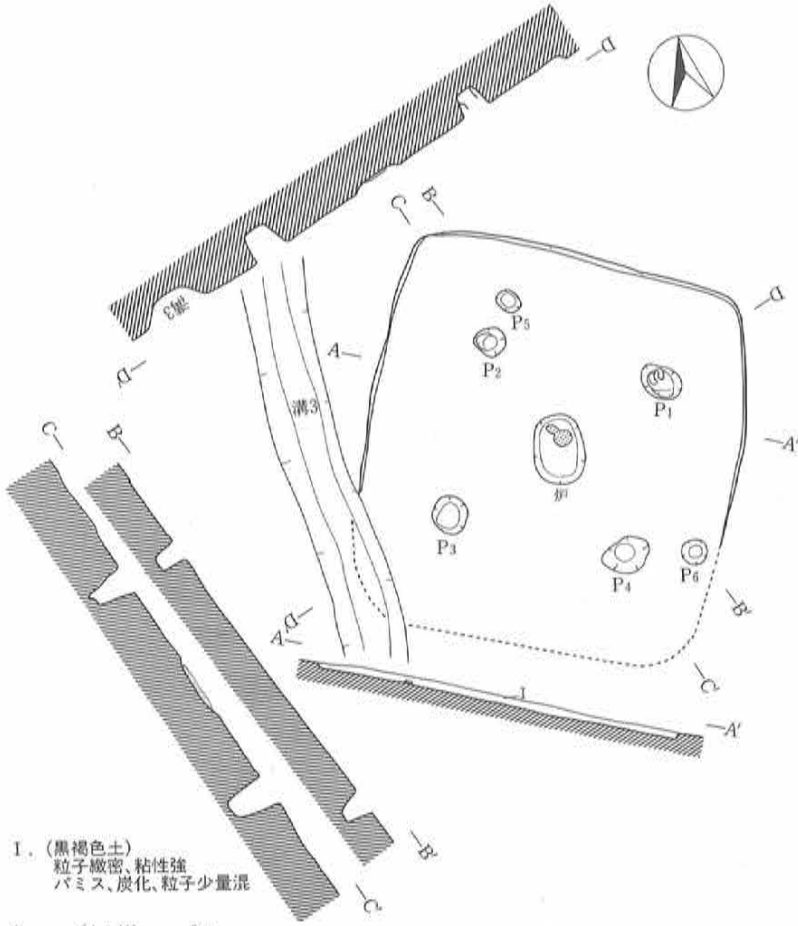


(白倉盛男・島田恵子)

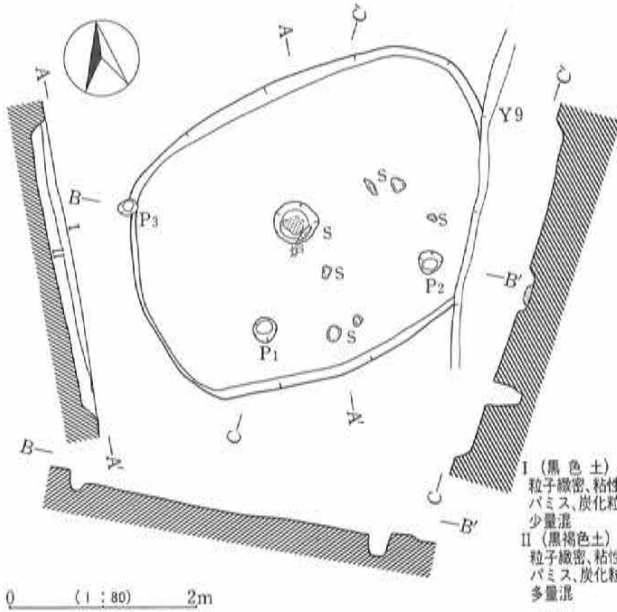
第4図 層序模式図

IV 遺 構

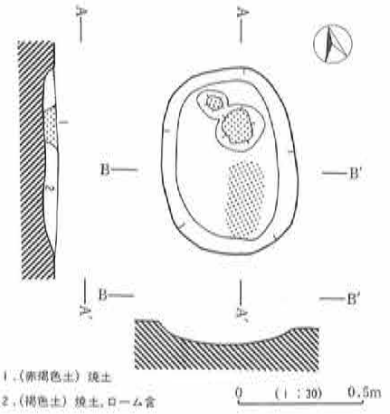
1 弥生時代



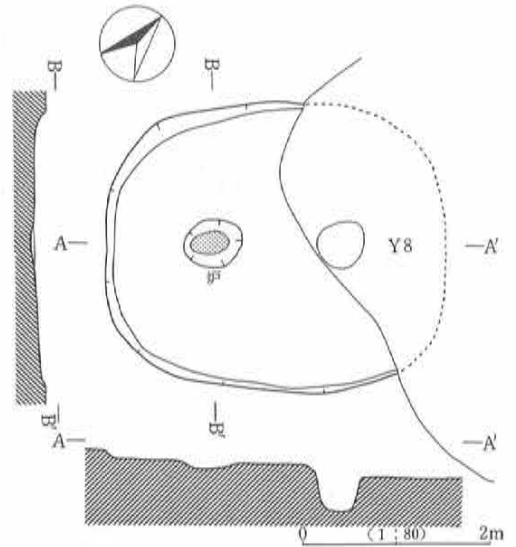
第5図 Y1号住居址実測図



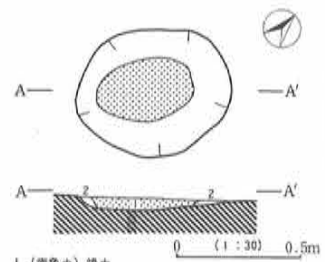
第7図 Y2号住居址実測図



第6図 Y1号住居址実測図



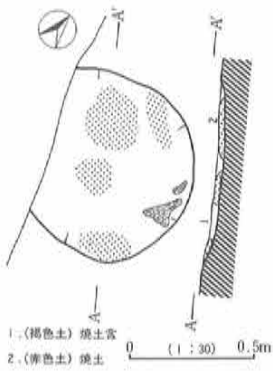
第8図 Y2号住居址実測図



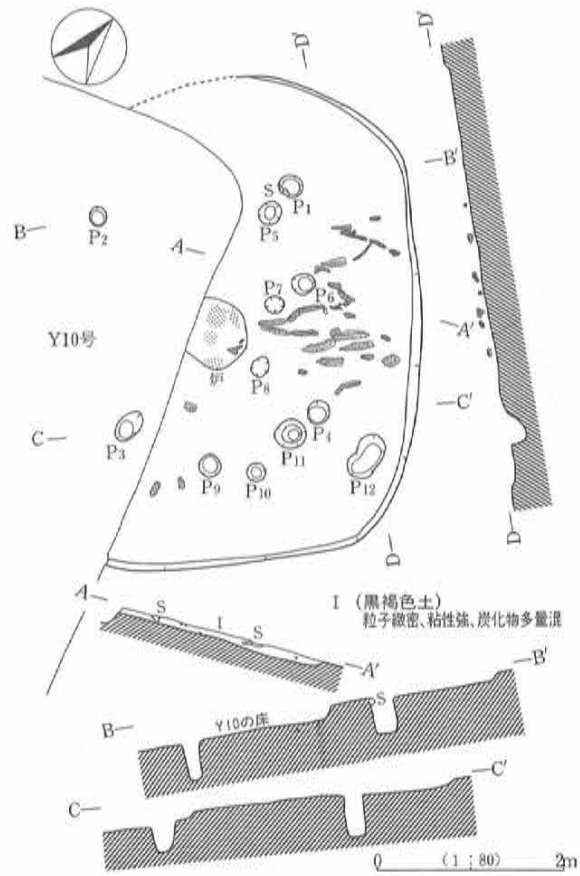
第9図 Y3号住居址実測図



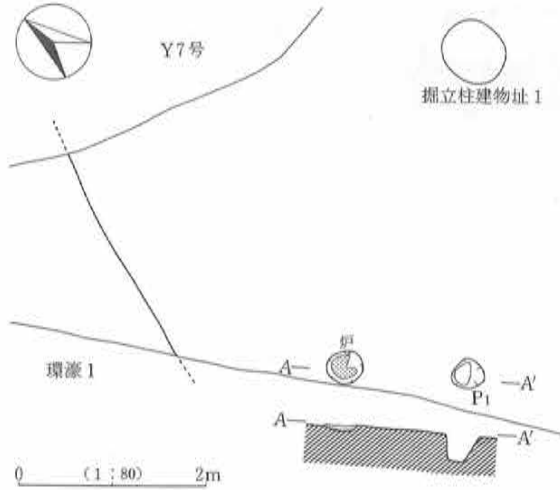
第10図 Y3号住居址炉実測図



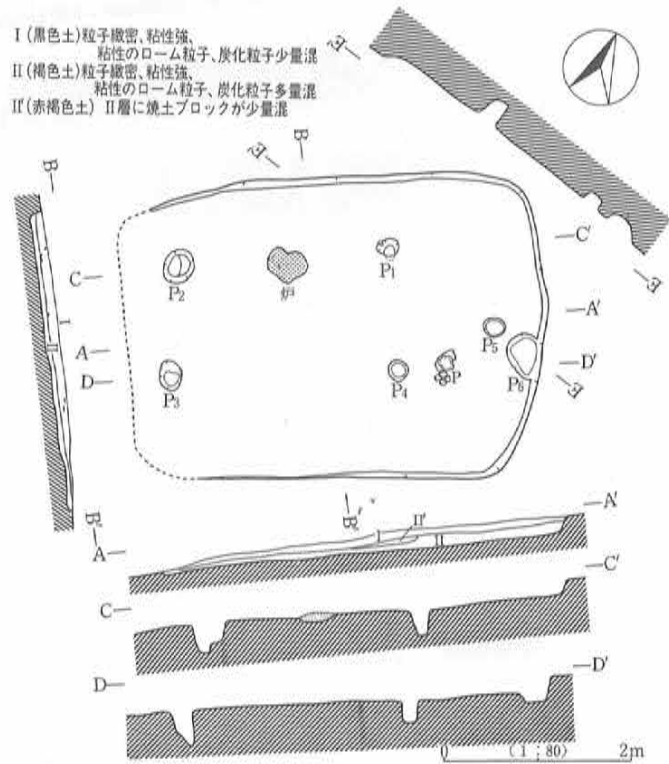
第12図 Y4号住居址炉実測図



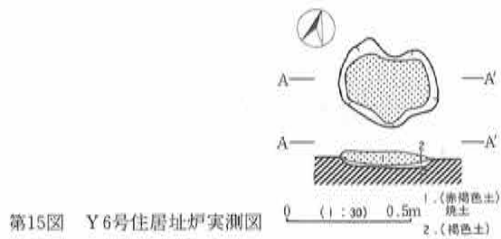
第11図 Y4号住居址実測図



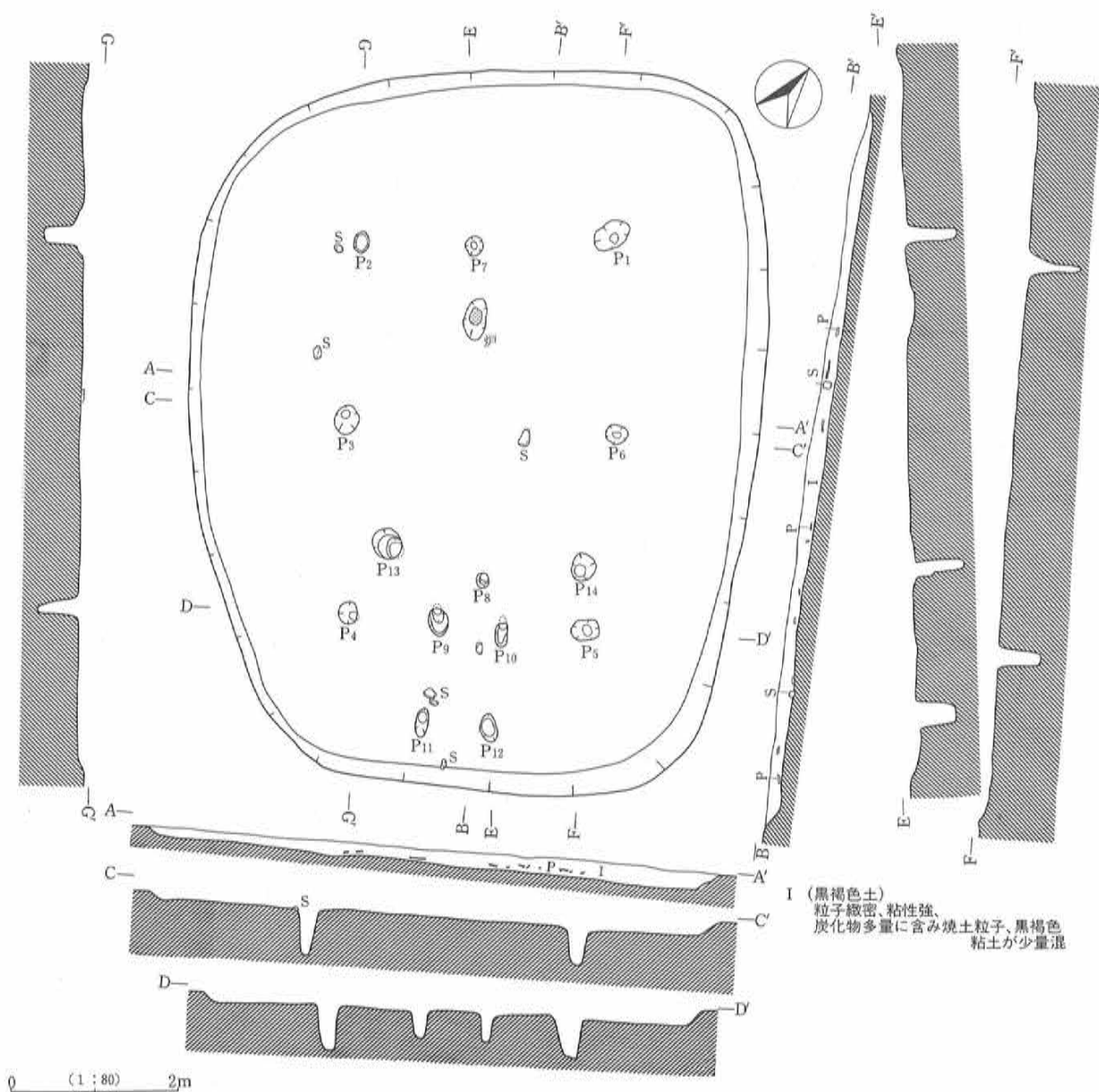
第13図 Y5号住居址実測図



第14図 Y6号住居址実測図

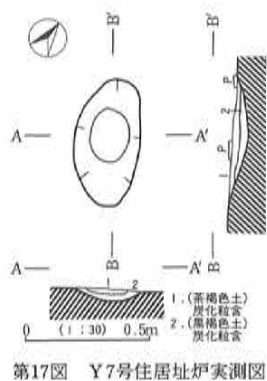


第15図 Y6号住居址炉実測図

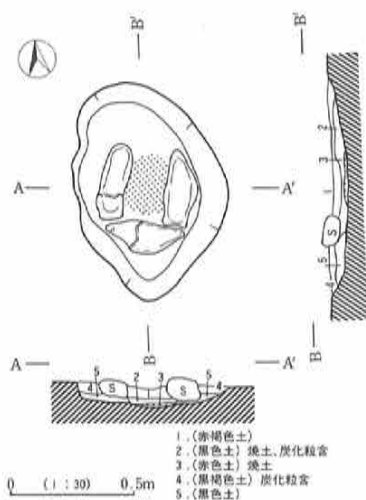


I (黑褐色土)
 粒子緻密、粘性強、
 炭化物多量に含み焼土粒子、黒褐色
 粘土が少量混

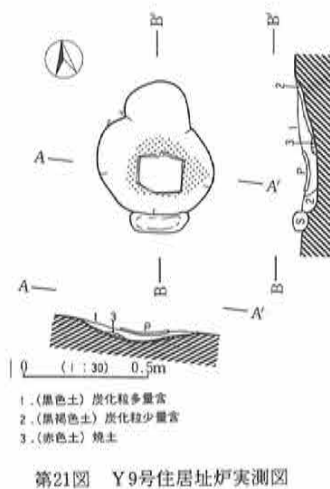
第16图 Y7号住居址実測図



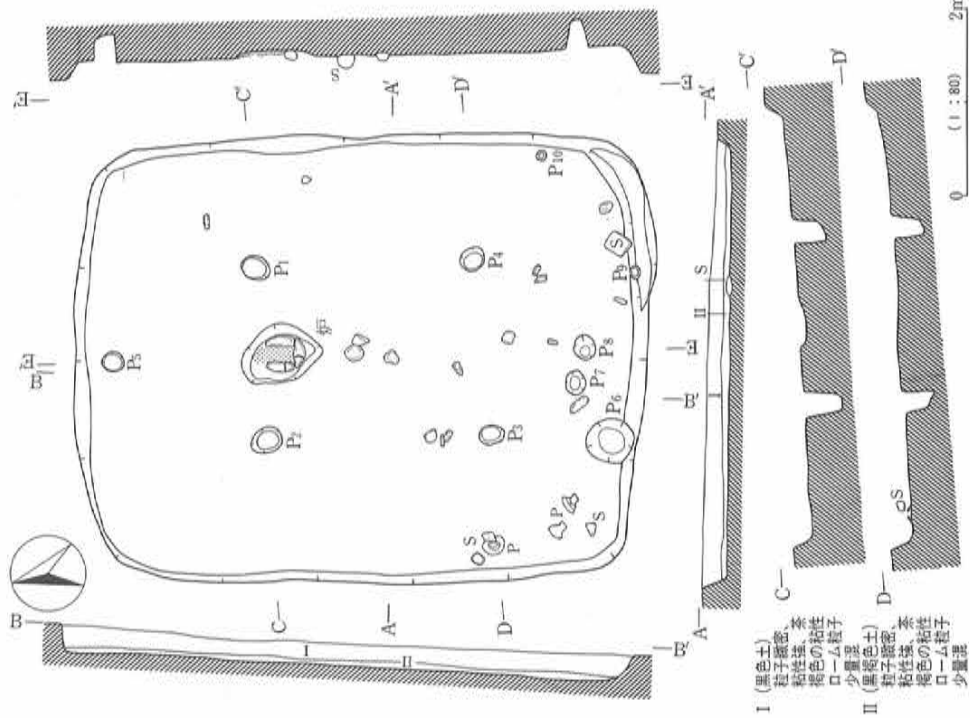
第17图 Y7号住居址炉実測図



第19图 Y8号住居址炉実測図

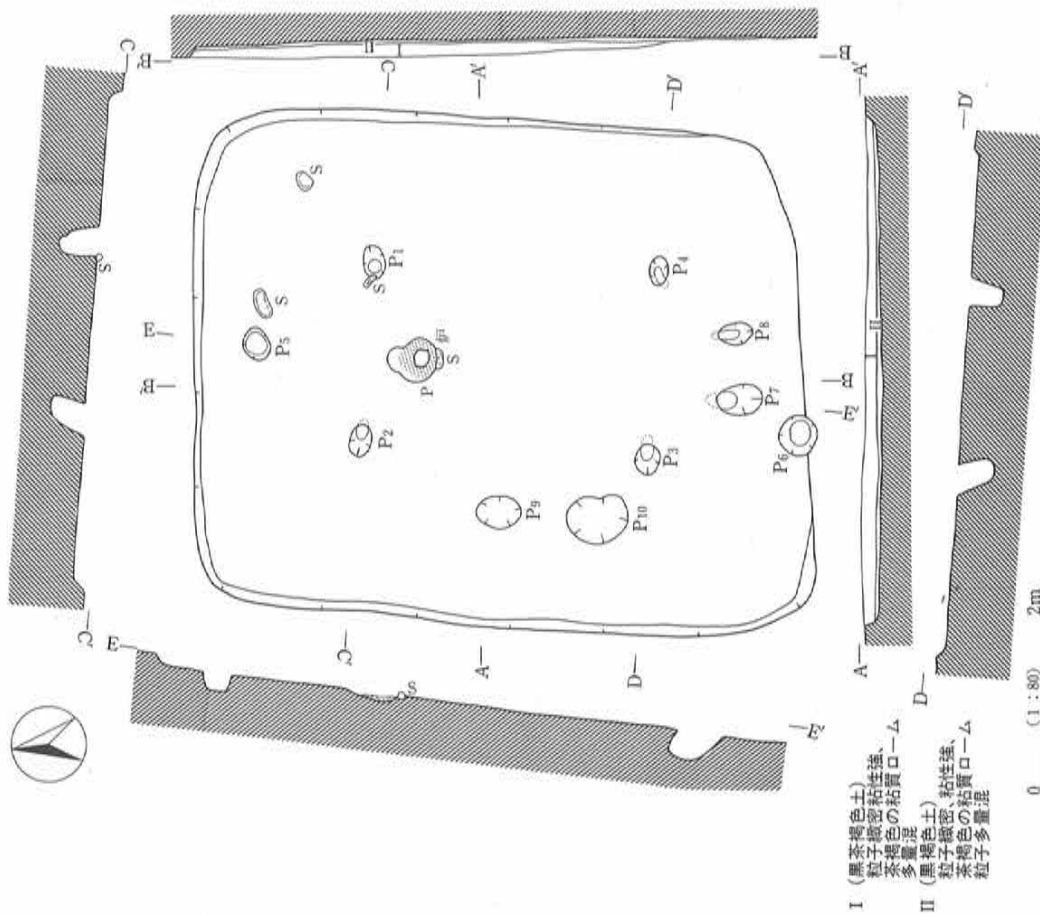


第21图 Y9号住居址炉実測図



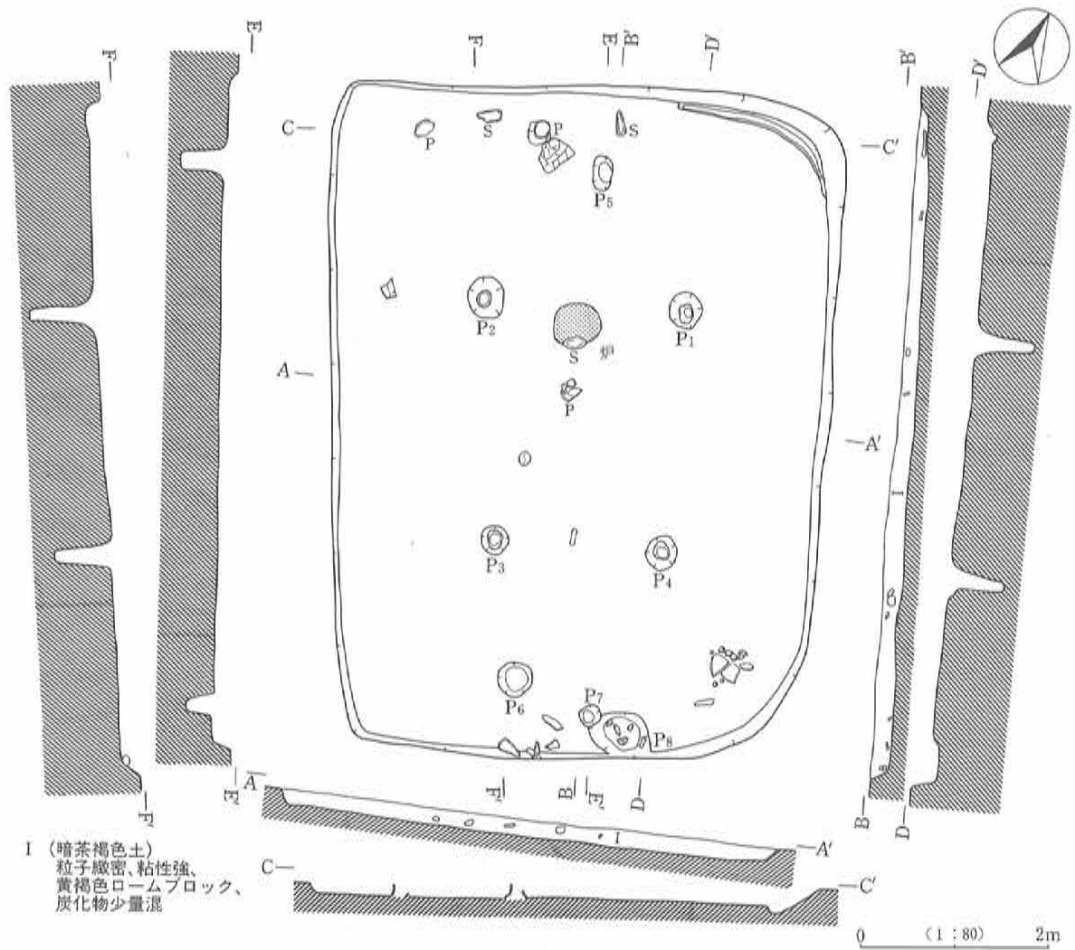
- I (黒色土)
 粘土層密、茶
 粘性強、茶
 褐色の粘性
 口量混
 少量混
- II (黒褐色土)
 粘土層密、茶
 粘性強、茶
 褐色の粘性
 口一人粘土
 少量混

第18図 Y8号住居址実測図

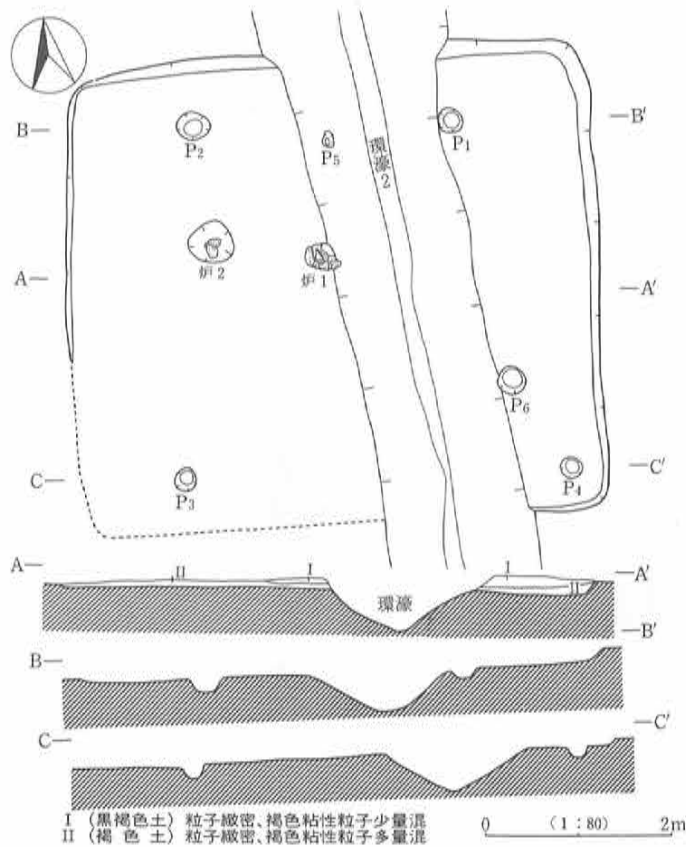


- I (黒茶褐色土)
 粘土層密粘性強、
 茶褐色の粘質ローム
 多量混
- II (黒褐色土)
 粘土層密、粘性強、
 茶褐色の粘質ローム
 粒子多量混

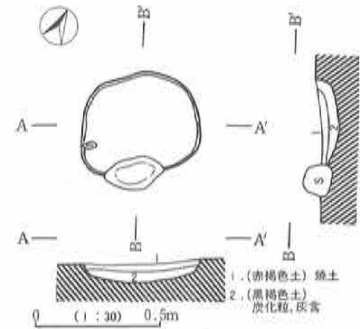
第20図 Y9号住居址実測図



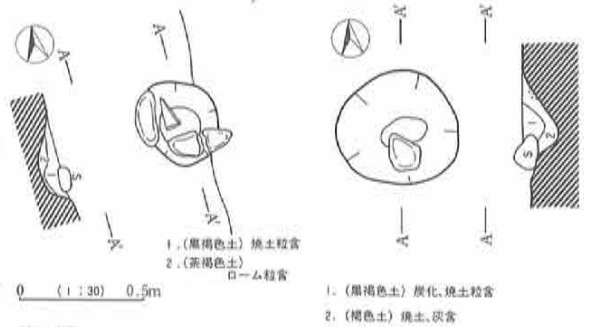
第22図 Y10号住居址実測図



第24図 Y11号住居址実測図



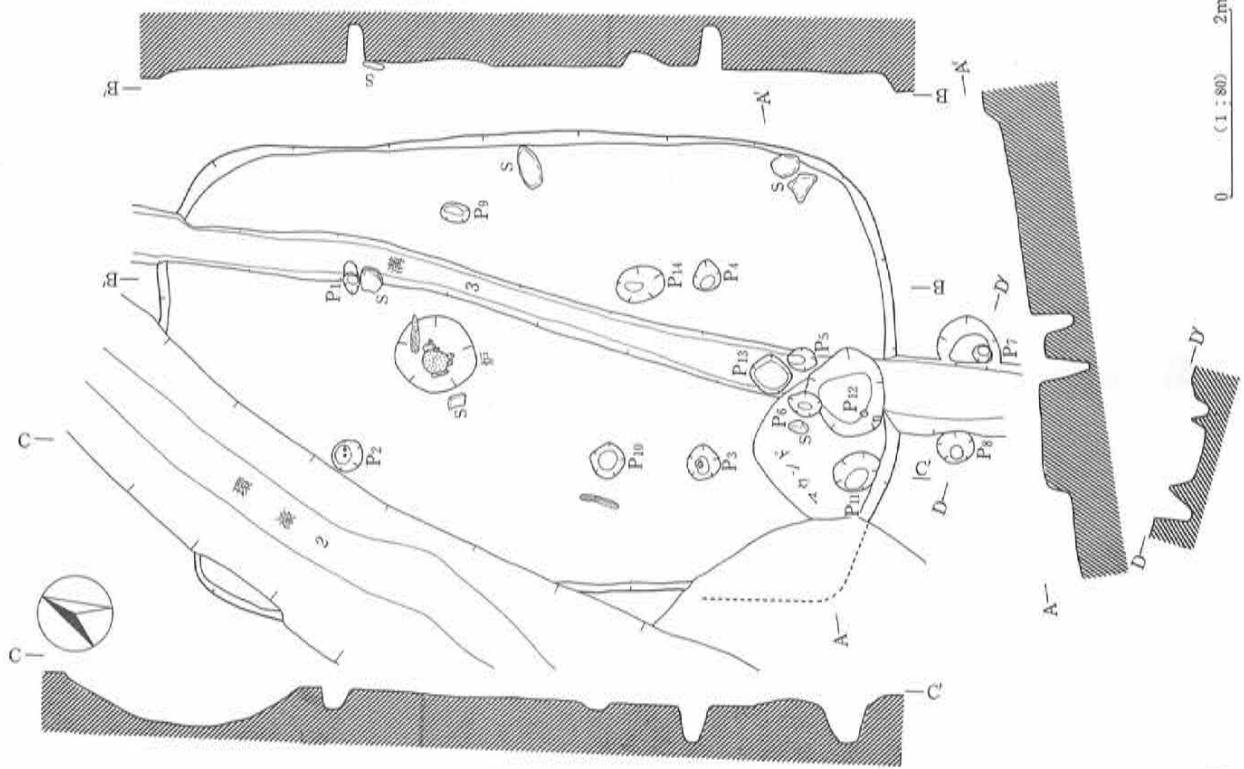
第23図 Y10号住居址炉実測図



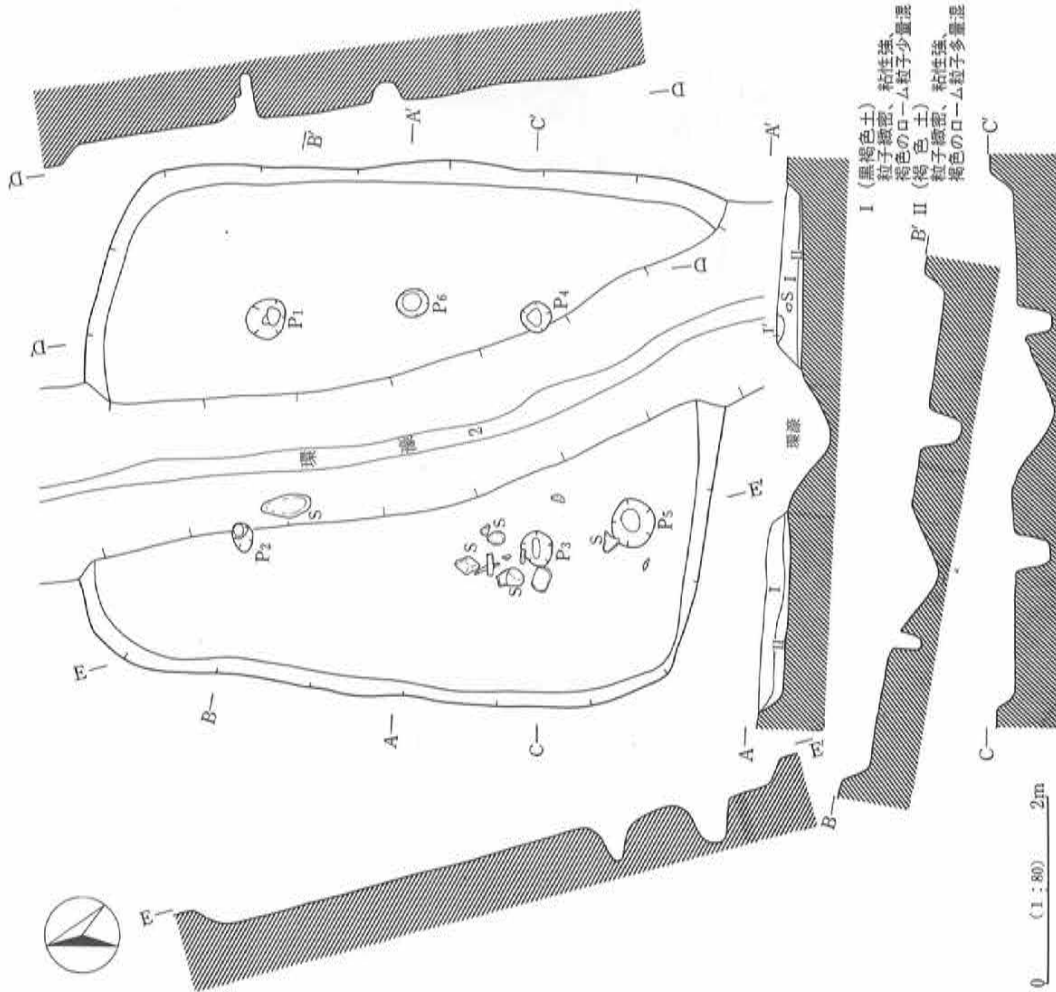
第25図 Y11号住居址炉1実測図



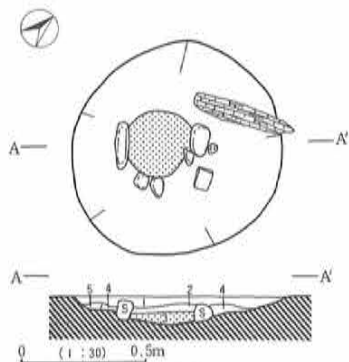
第26図 Y11号住居址炉2実測図



第27图 Y12号住居址实测图

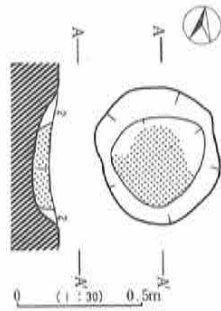


第29图 Y13号住居址实测图



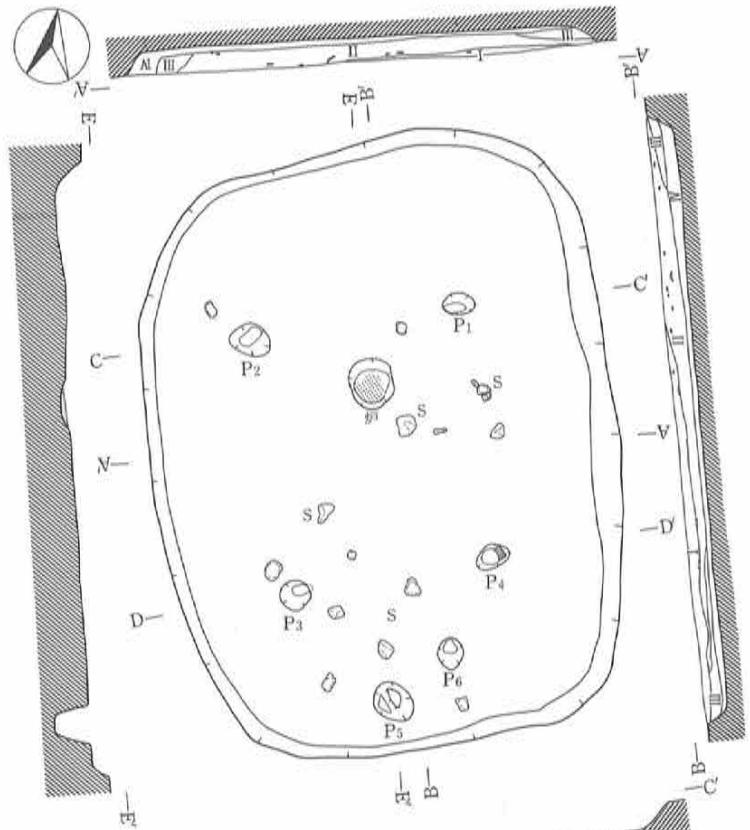
1. (黒褐色土) 炭化、焼土粒少量富
2. (黒色土) 焼土多量富
3. (赤色土) 焼土
4. (黒褐色土) 粘質ローム、炭化粒富
5. (茶褐色土) 粘質ロームブロック富

第28図 Y12号住居址炉実測図



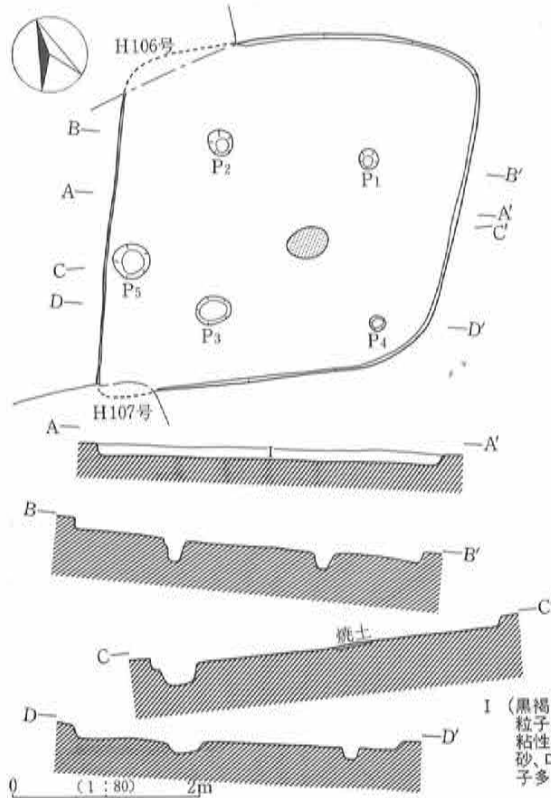
1. (赤色土) 焼土
2. (褐色土) 焼土少量富

第31図 Y14号住居址炉実測図



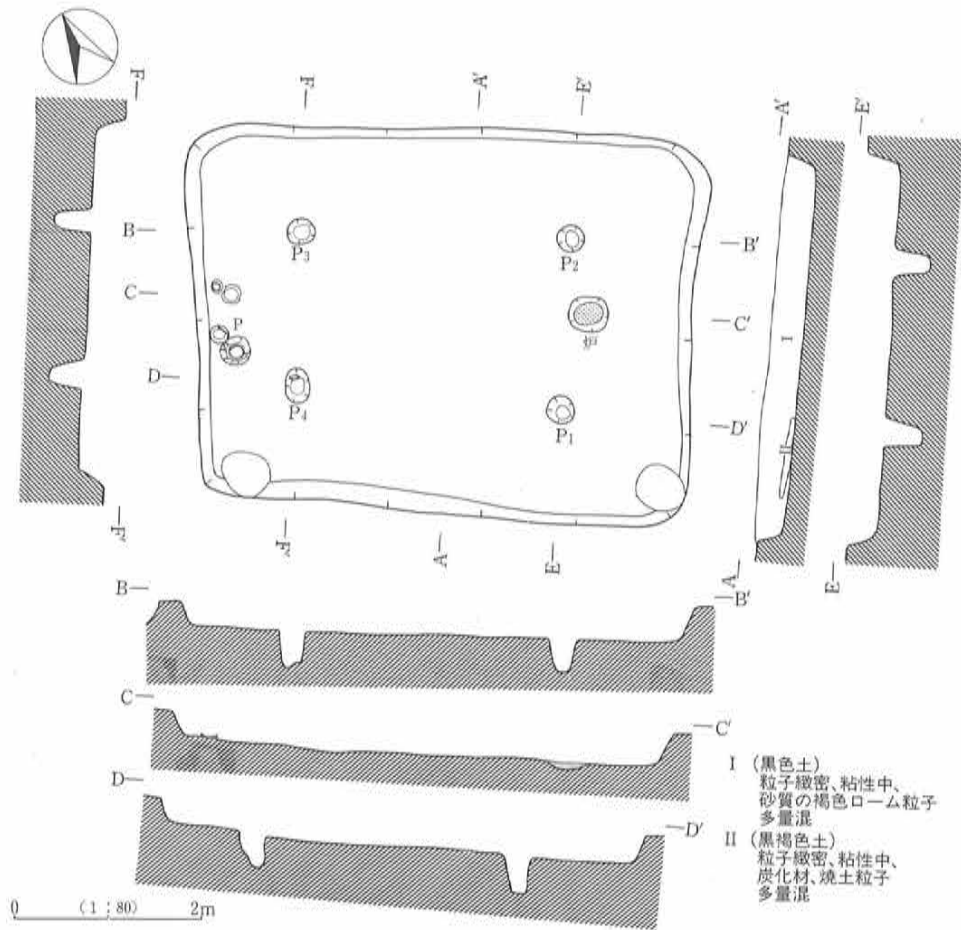
- I (黒褐色土)
粒子緻密、粘性強、
パミス、炭化粒子少量混
- II (黒色土)
粒子緻密、粘性強、
炭化粒子多量混
- III (褐色土)
粒子緻密、粘性強、
茶褐色のローム粒子多量混
- IV (明黒色土)
粒子緻密、粘性強、
茶褐色のローム粒子多量混

第30図 Y14号住居址実測図

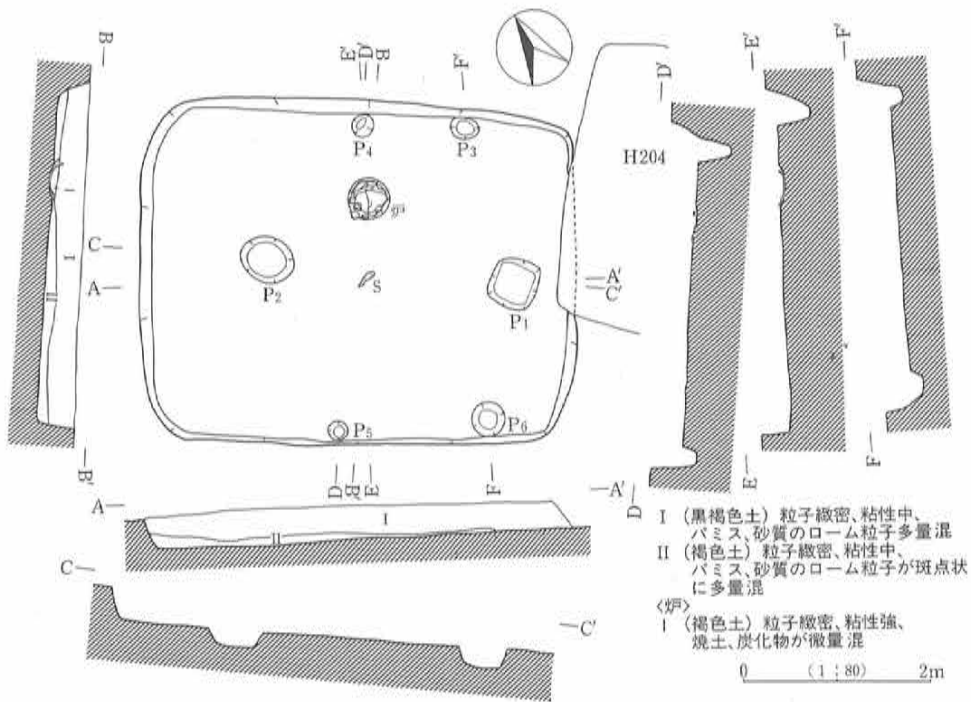


- I (黒褐色土)
粒子緻密、
粘性弱、
砂、ローム粒
子多量混

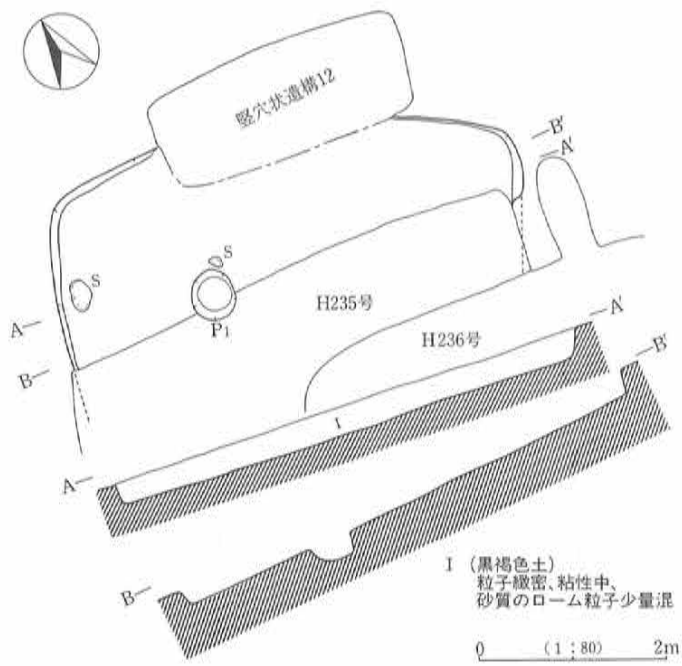
第32図 Y15号住居址実測図



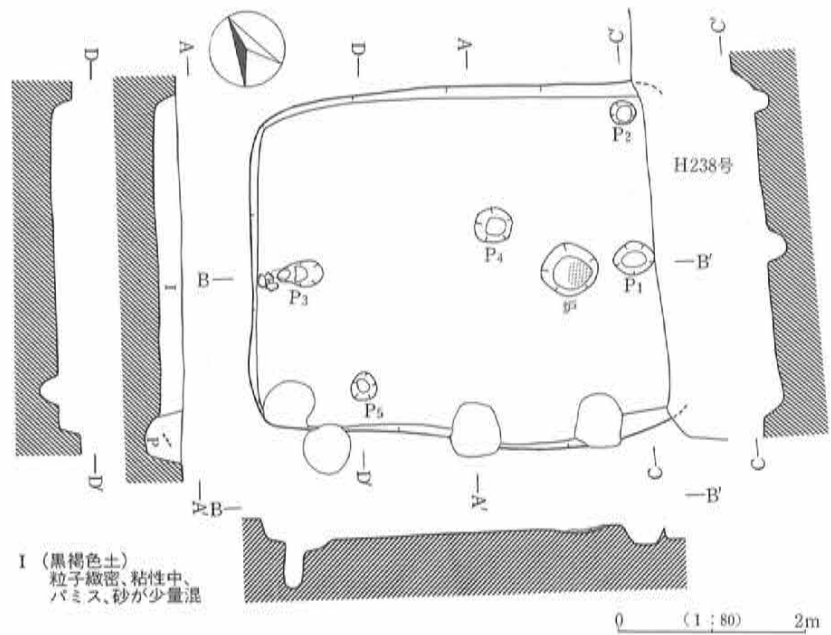
第33図 Y16号住居址実測図



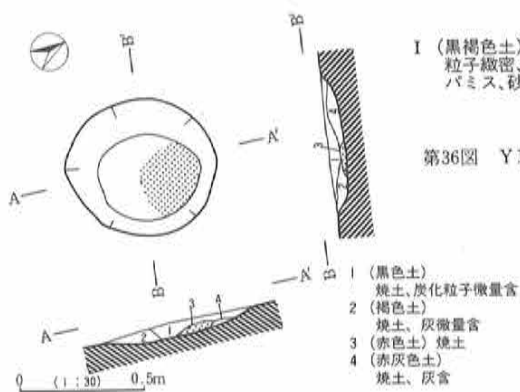
第34図 Y17号住居址実測図



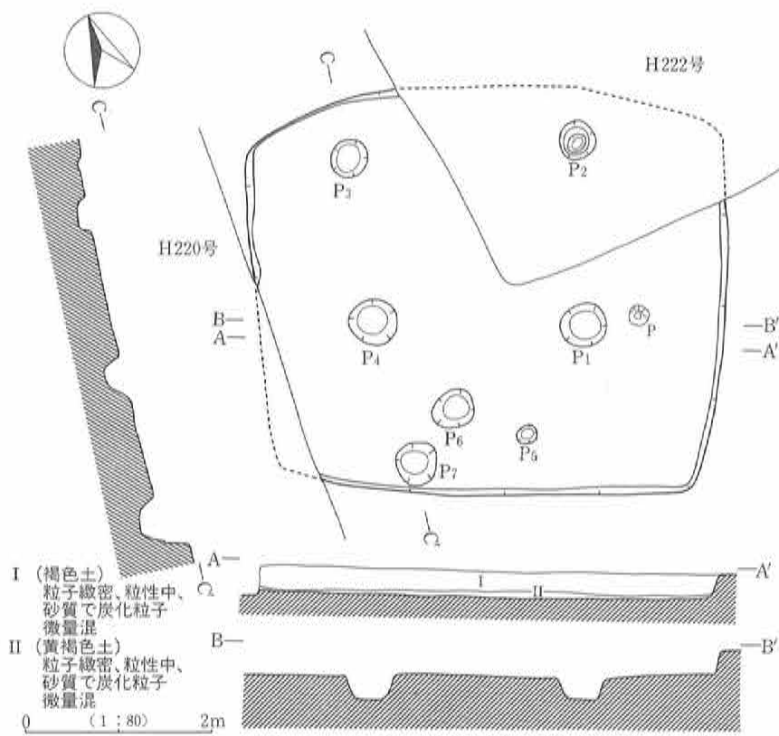
第35図 Y18号住居址実測図



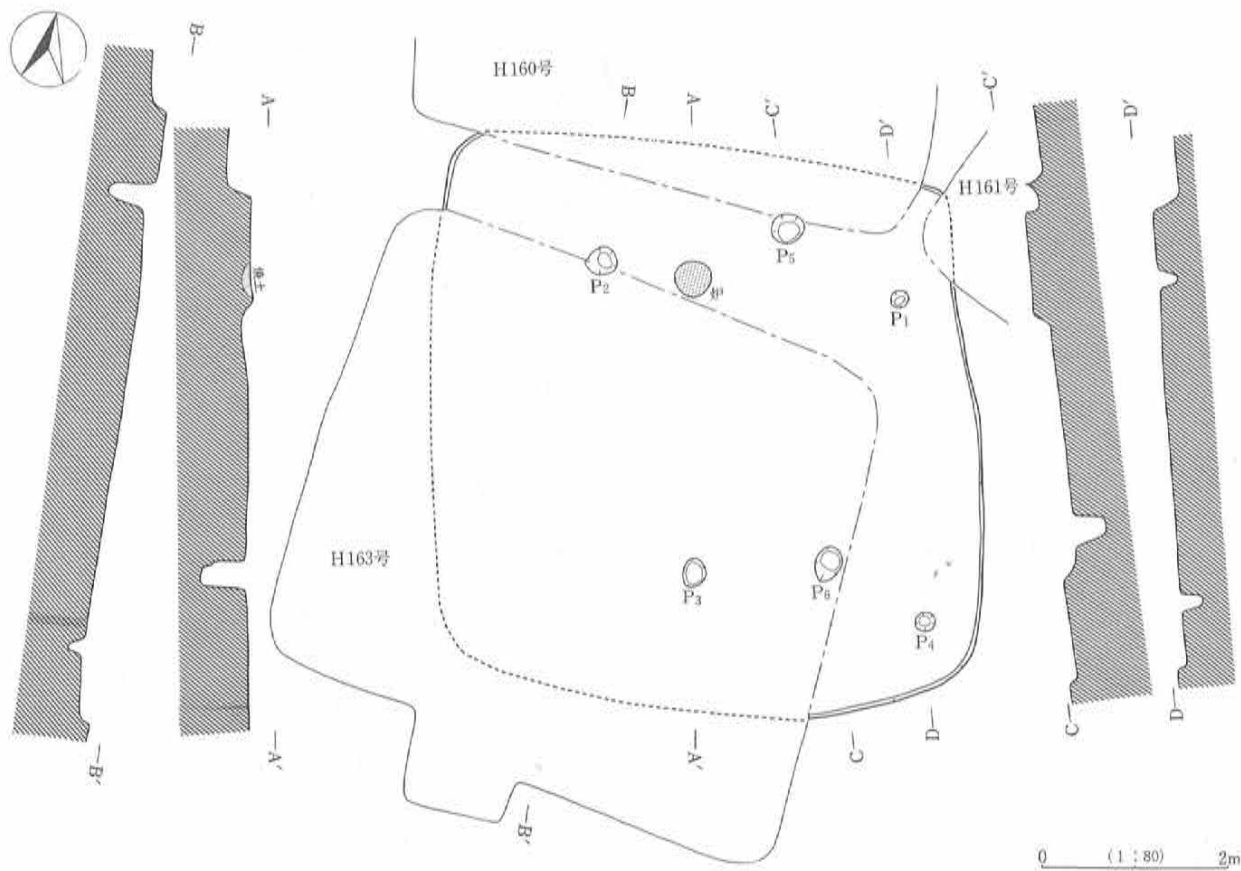
第36図 Y19号住居址実測図



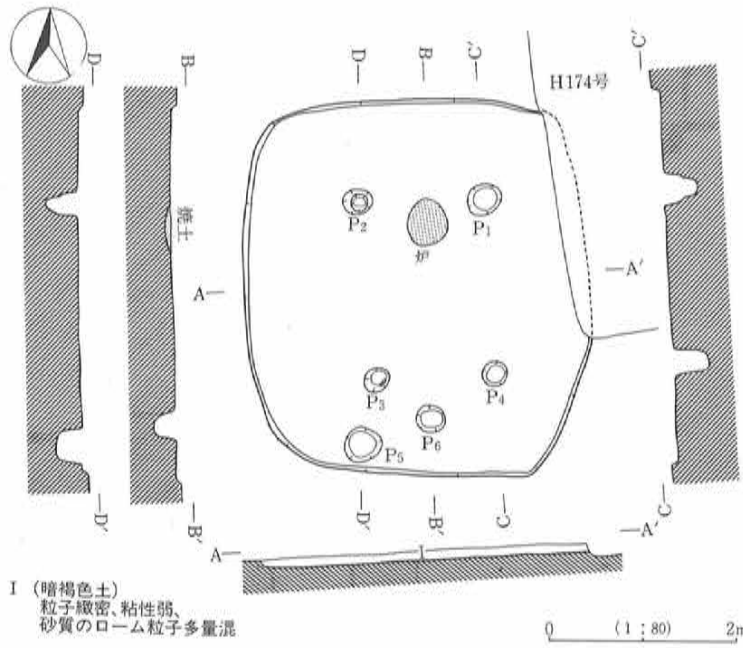
第37図 Y19号住居址炉実測図



第38图 Y20号住居址实测图

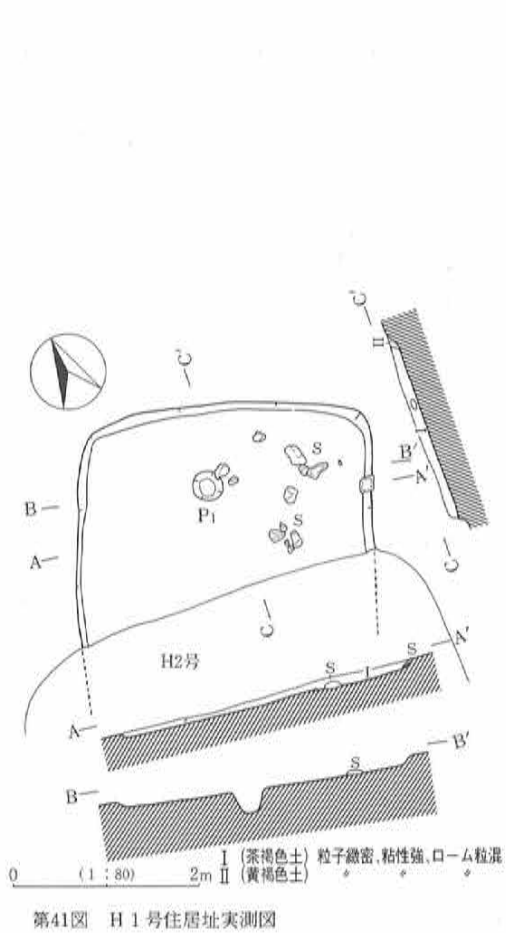


第39图 Y21号住居址实测图

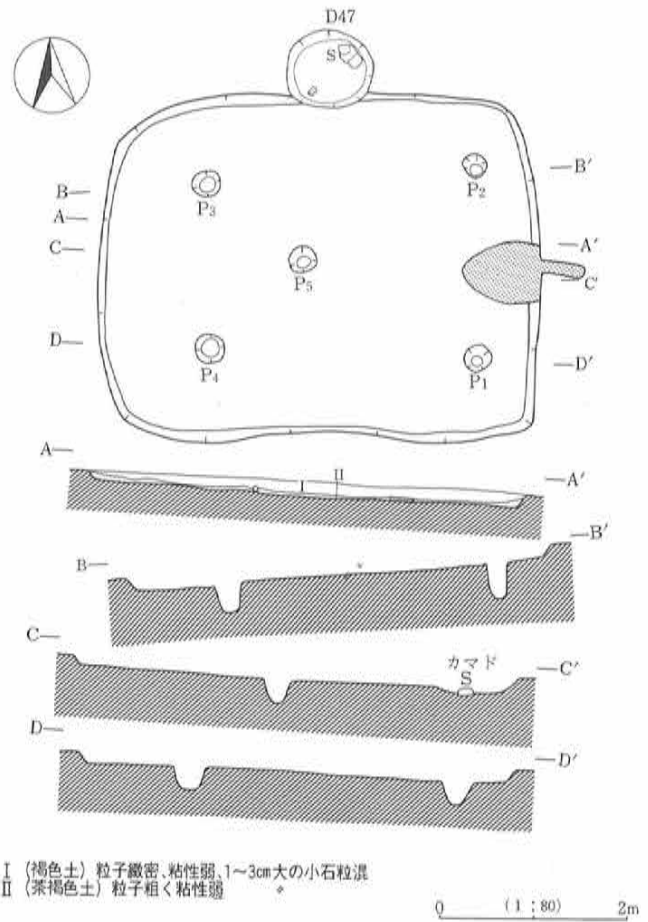


第40図 Y22号住居址実測図

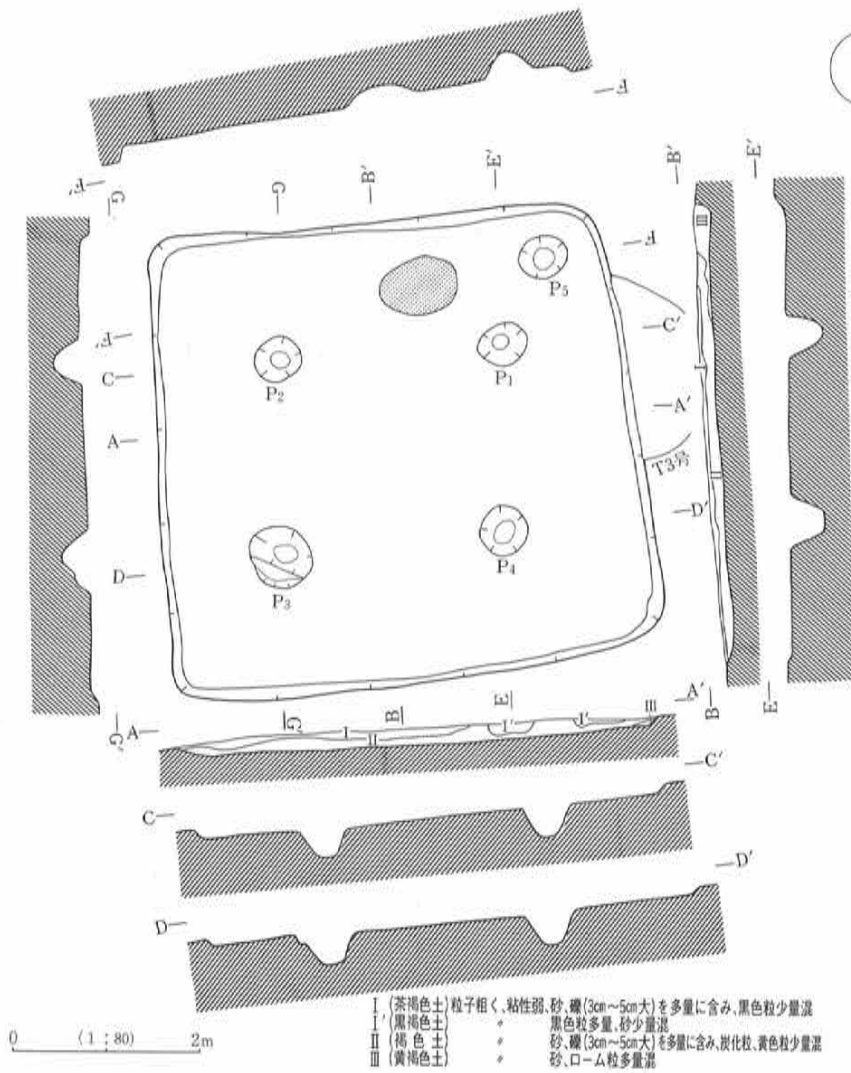
2 古墳時代・奈良時代・平安時代



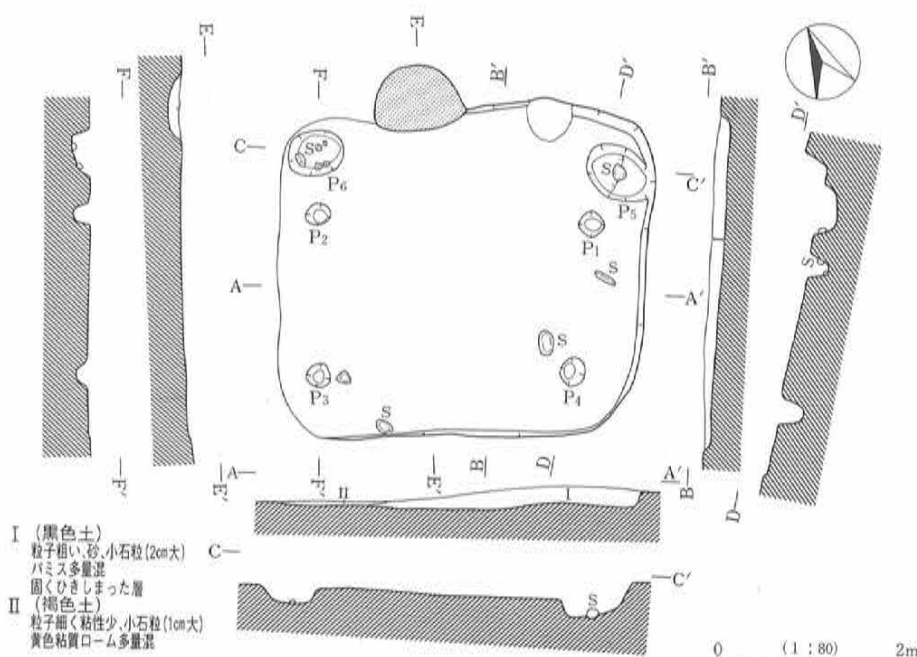
第41図 H1号住居址実測図



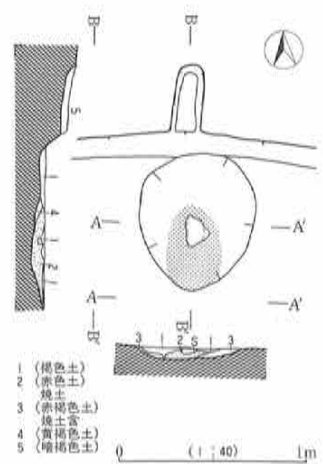
第42図 H2号住居址実測図



第44図 H3号住居址実測図

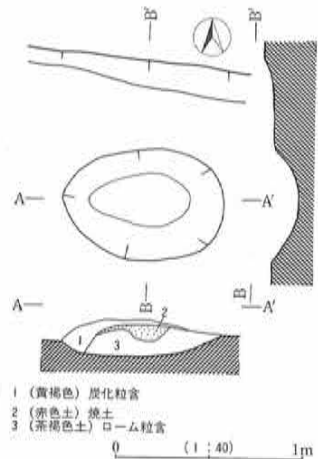


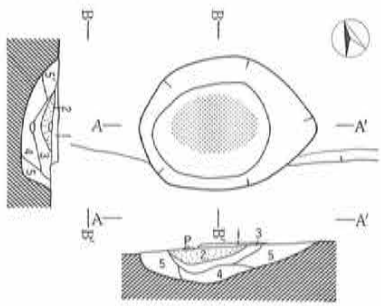
第46図 H4号住居址実測図



第43図 H2号住居址カマド実測図

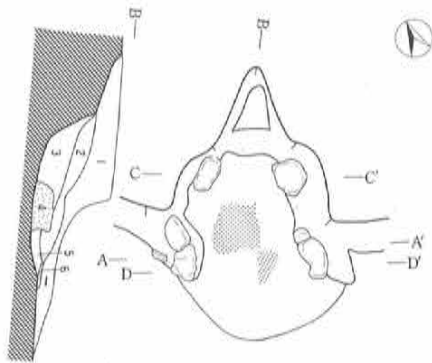
第45図 H3号住居址カマド実測図





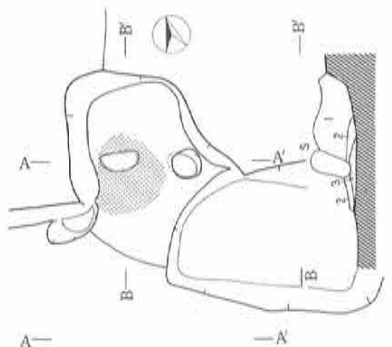
- 1 (黄褐色土) 焼土粒含
2 (赤褐色土) 焼土
3 (暗赤褐色土) 焼土含
4 (黒褐色土)
5 (褐色土)

第47図 H4号住居址カマド実測図



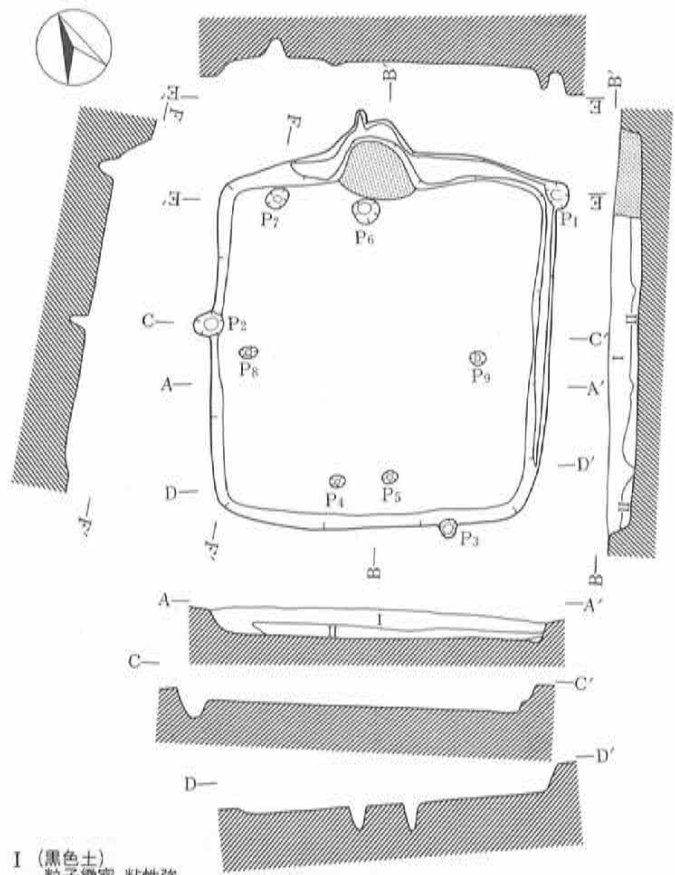
- 1 (淡褐色土)
2 (黒褐色土) 焼土含
3 (茶褐色土) 焼土含
4 (赤色土) 焼土
5 (黄褐色土)
6 (黄色土)

第51図 H6号住居址カマド実測図



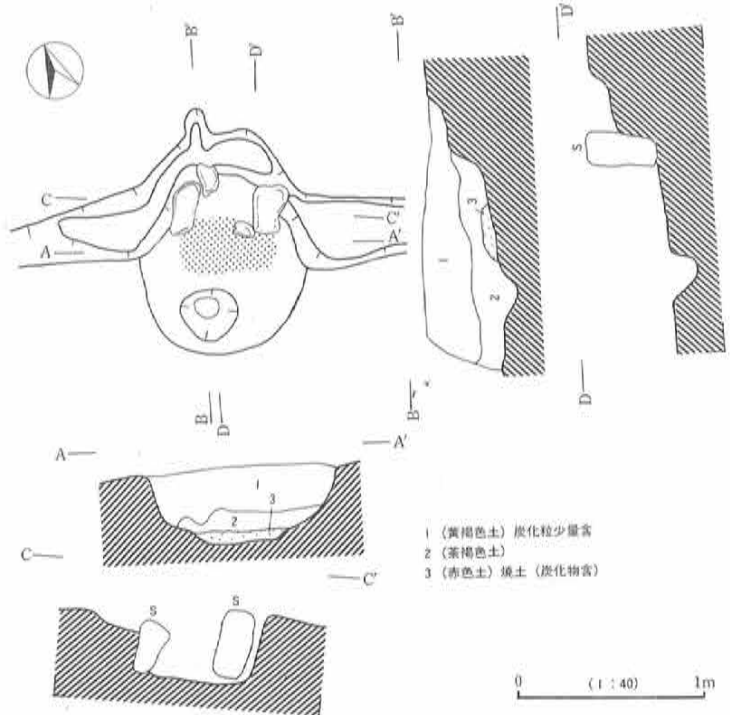
- 1 (茶褐色土) 炭化・焼土粒含
2 (赤褐色土) 炭化・焼土粒含
3 (赤色土) 焼土
4 (黄色土) ロームブロック

第53図 H7号住居址カマド実測図



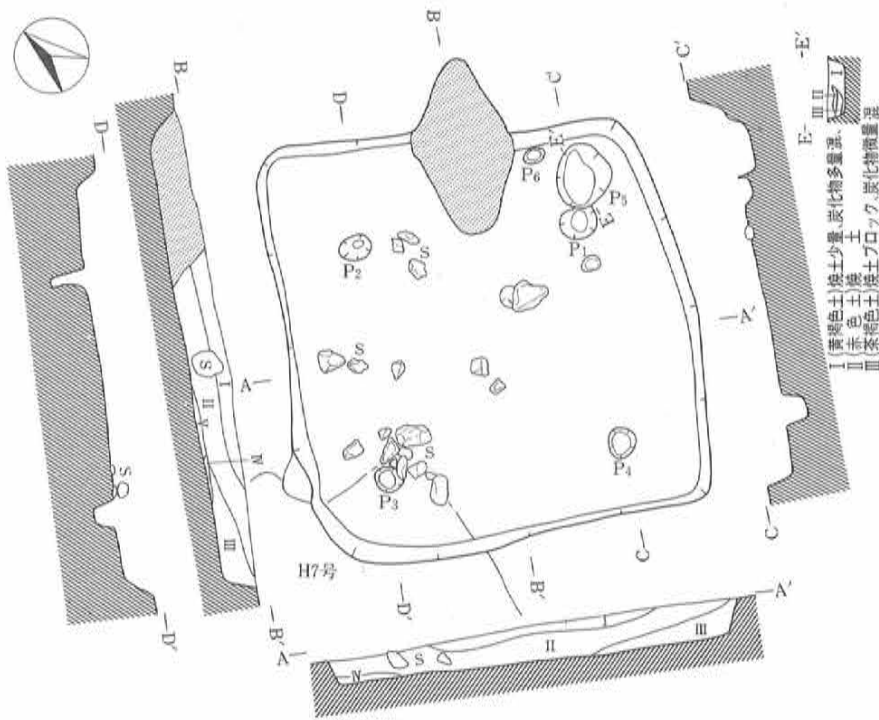
- I (黒色土)
粒子緻密、粘性強
II (黒褐色土)
粒子緻密、粘性強
ロームブロック少量混

第48図 H5号住居址実測図



- 1 (黄褐色土) 炭化粒少量含
2 (茶褐色土)
3 (赤色土) 焼土 (炭化物含)

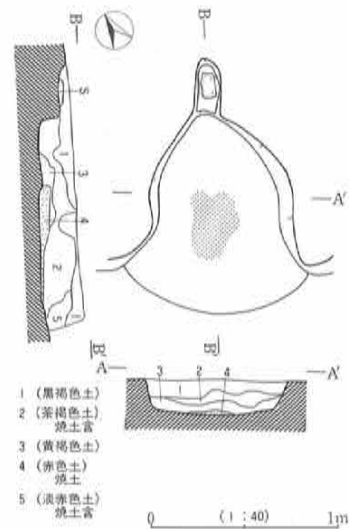
第49図 H5号住居址カマド実測図



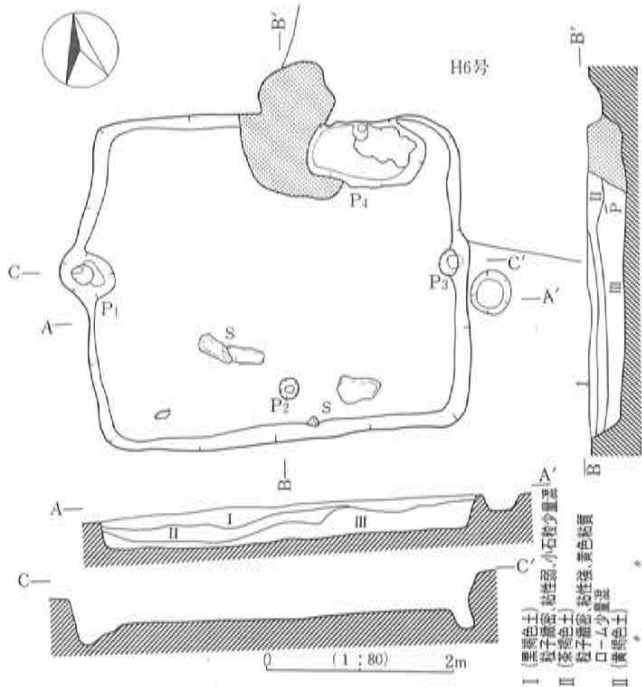
- I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、小石粒、黄色粘質ローム少量混
- II (黄褐色土) 黄色粘質ロームをブロック状に少量混
- III (茶褐色土)
- IV (黒色土)
- V (黄色土) 粒子粗い、砂、小石粒多量混

第50図 H 6 号住居址実測図

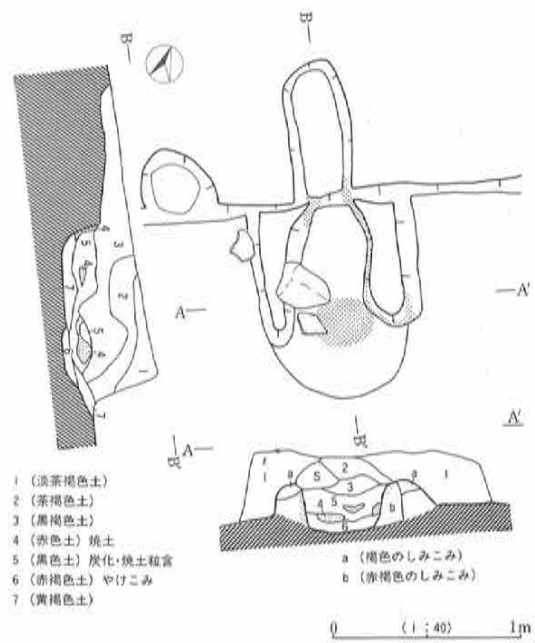
0 (1:80) 2m



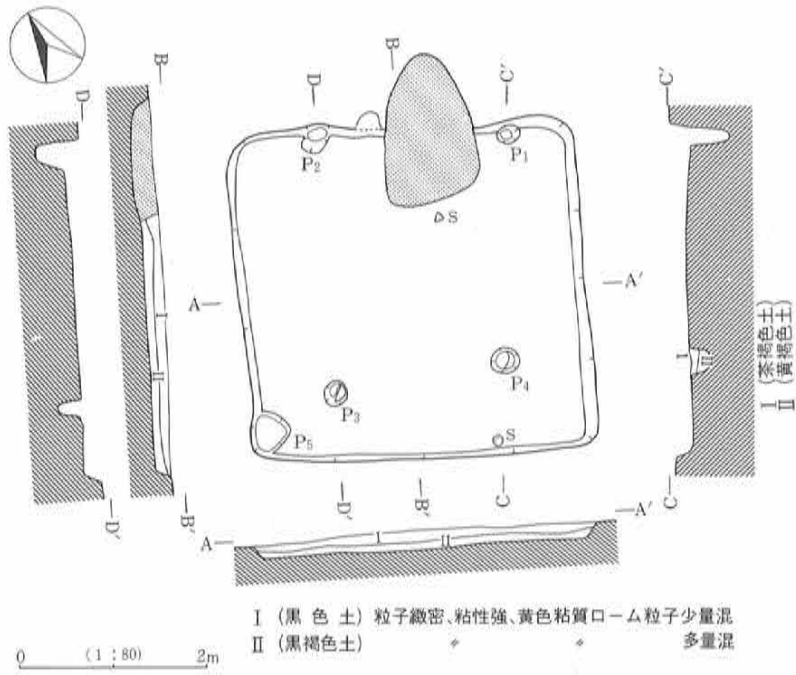
第55図 H 8 号住居址カマド実測図



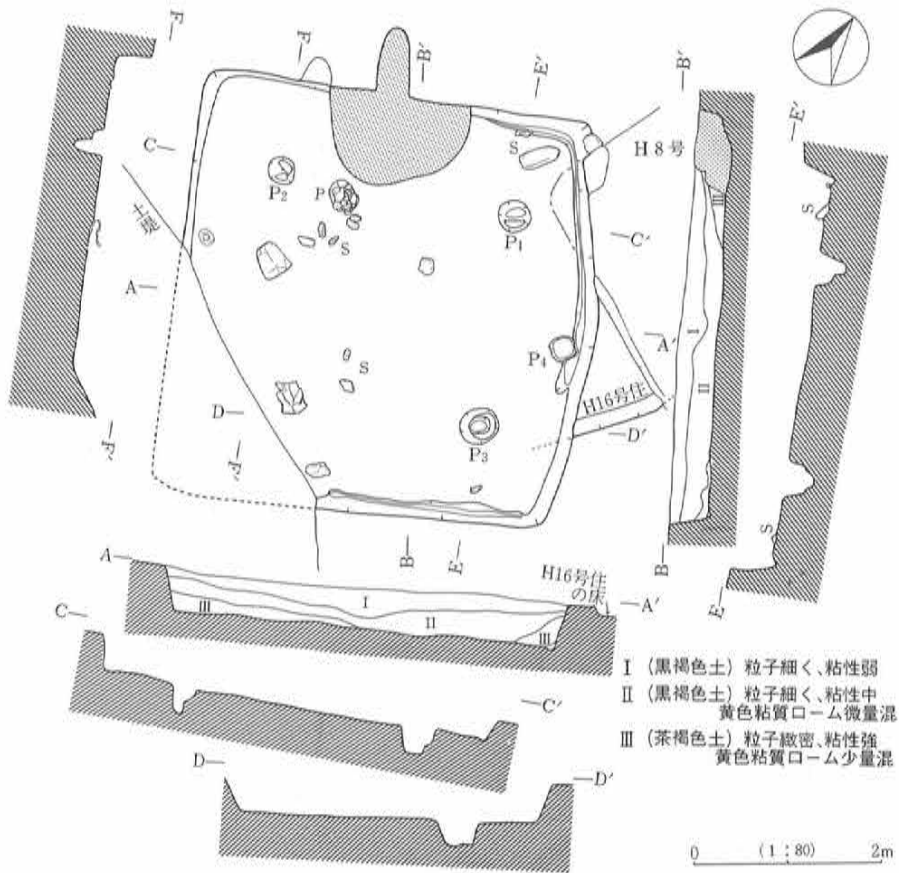
第52図 H 7 号住居址実測図



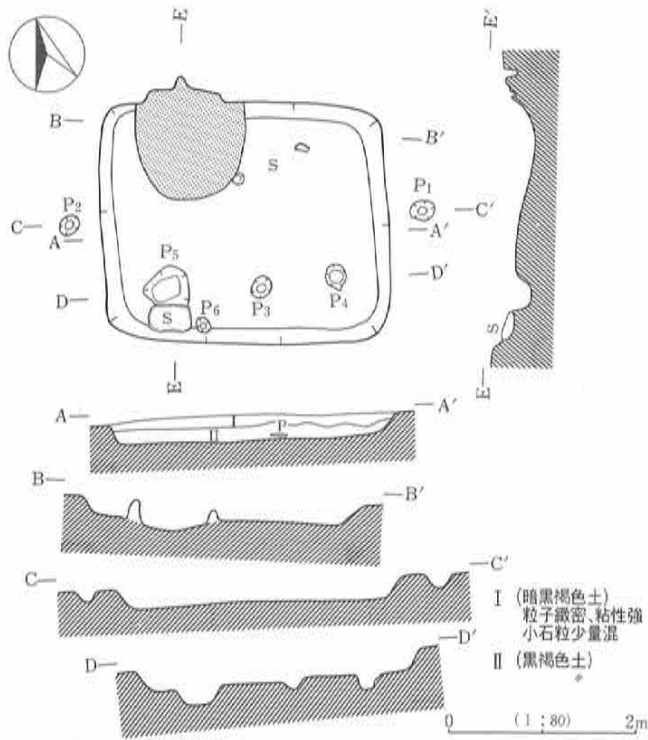
第57図 H 9 号住居址カマド実測図



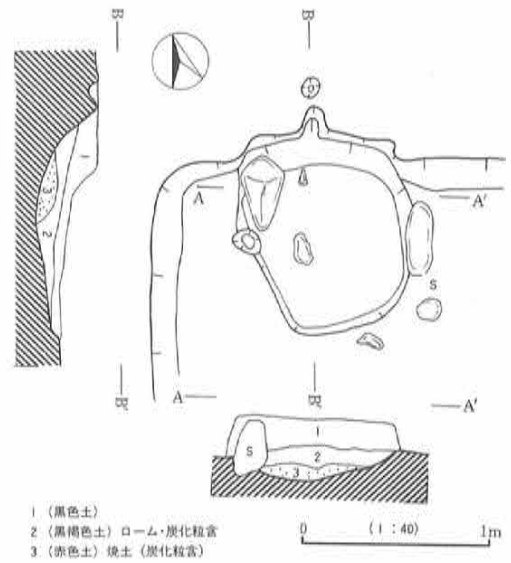
第54図 H 8号住居址実測図



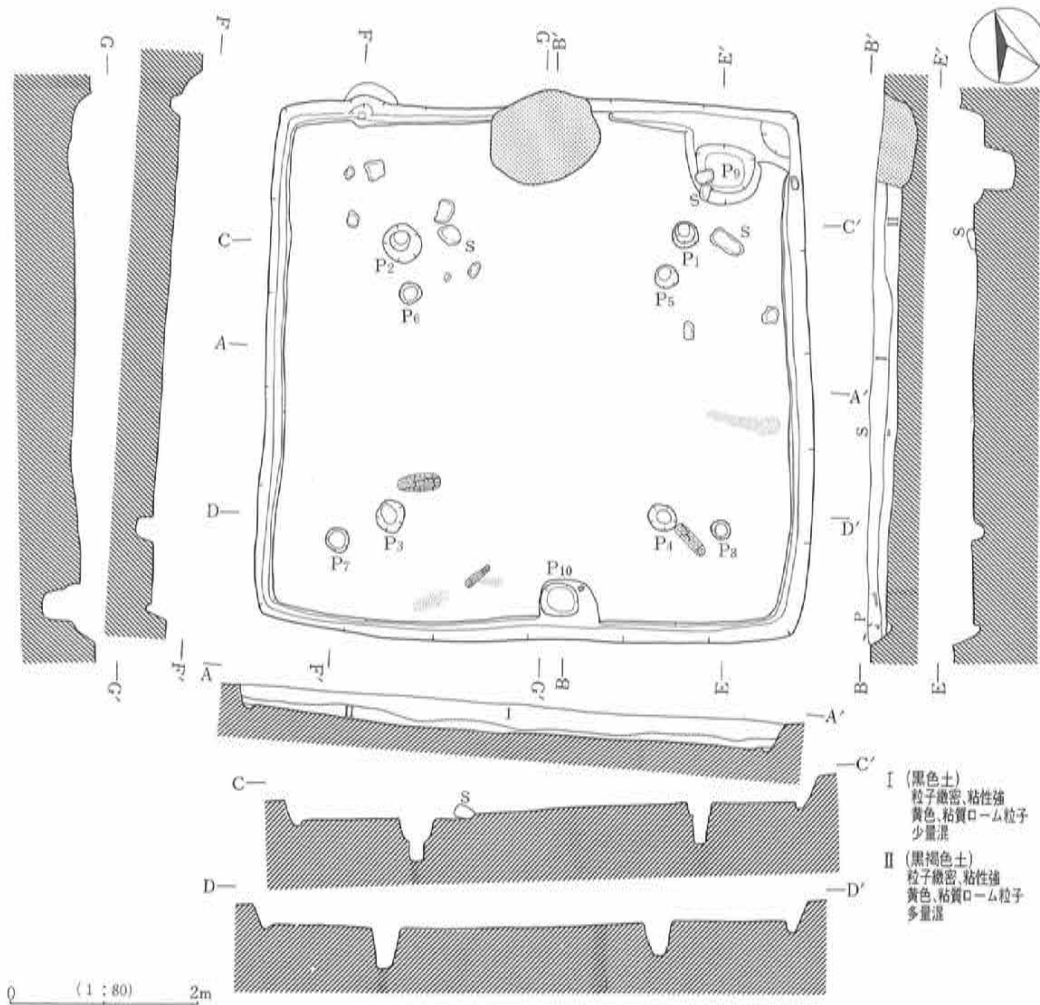
第56図 H 9号・16号住居址実測図



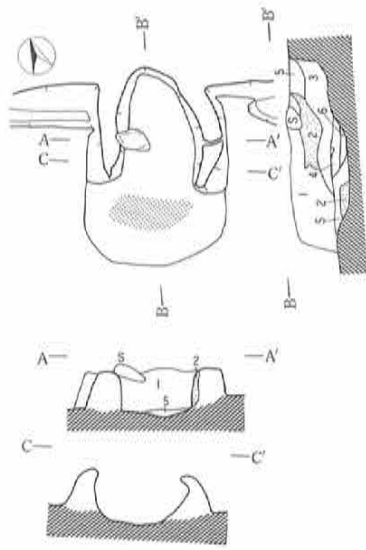
第58図 H10号住居址実測図



第59図 H10号住居址カマド実測図



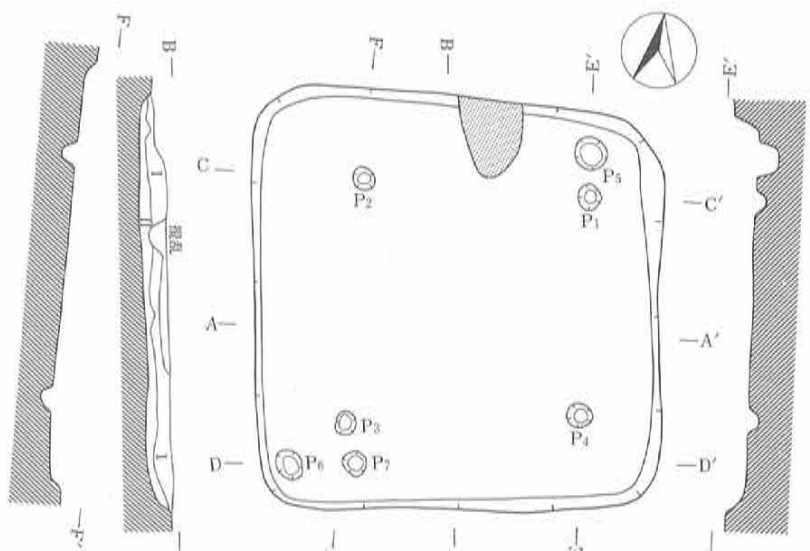
第60図 H11号住居址実測図



- 1 (黒色土) 炭化粒含
- 2 (赤色土) 焼土
- 3 (赤褐色土) 焼土膏
- 4 (黄色土)
- 5 (黒褐色土)
- 6 (灰黒色土) 灰膏

0 (1:40) 1m

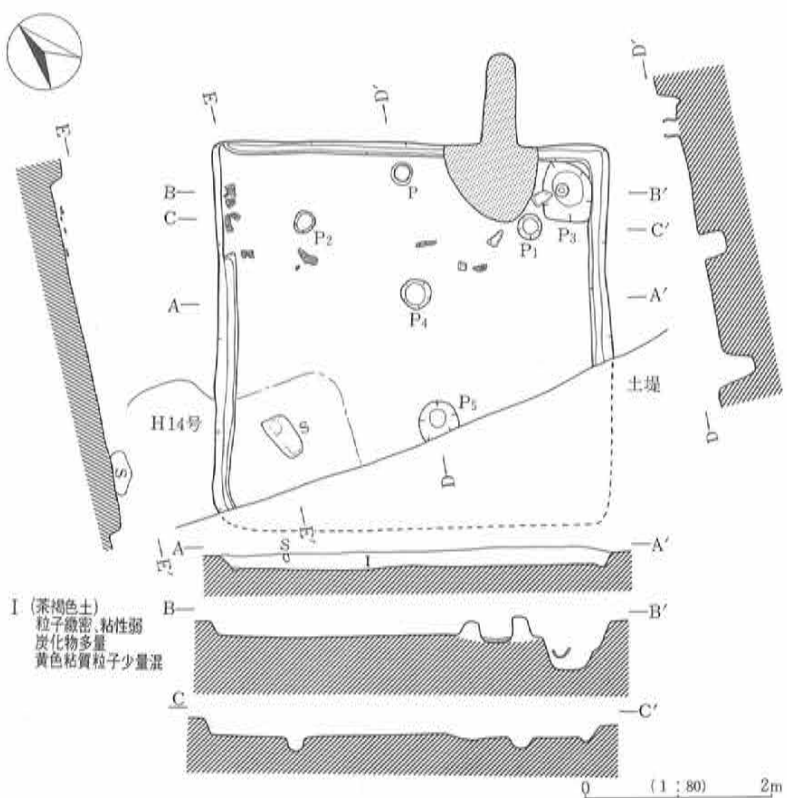
第61図 H11号住居址カマド実測図



- I (茶褐色土) 粒子粗く、砂、礫(5cm大)多量混
- II (黒褐色土) 粒子粗く、砂、礫(5cm大)多量、バミス少量混
- III (灰茶褐色土) 灰色の粘土ブロックを少量含み、砂粒子多量混

0 (1:80) 2m

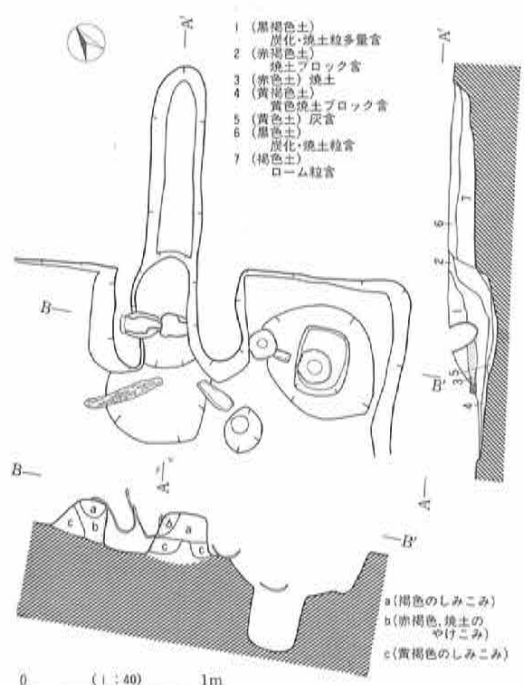
第62図 H12号住居址実測図



- I (茶褐色土) 粒子緻密、粘性弱炭化物多量黄色粘質粒子少量混
- II (黒褐色土) 炭化・焼土粒多量含

0 (1:80) 2m

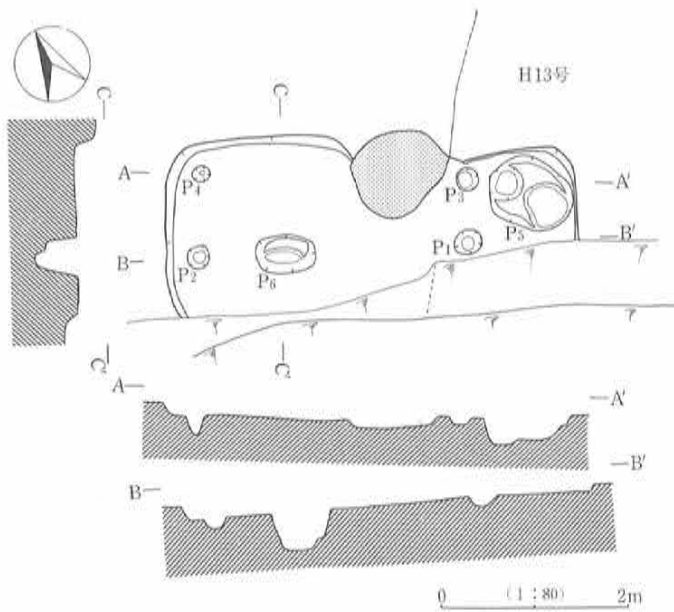
第63図 H13号住居址実測図



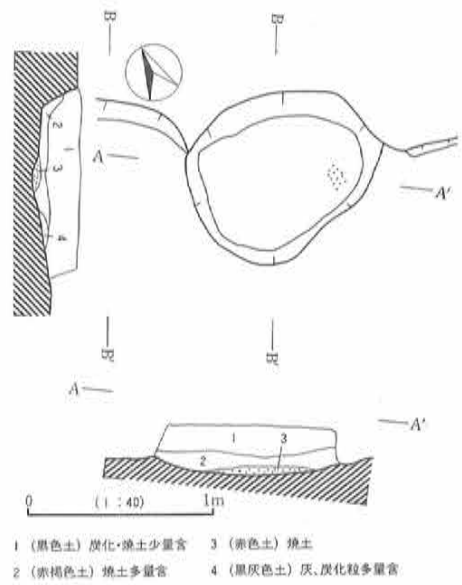
- 1 (黒褐色土) 炭化・焼土粒多量含
- 2 (赤褐色土) 焼土ブロック含
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (黄褐色土) 黄色焼土ブロック含
- 5 (黄色土) 灰膏
- 6 (黒色土) 炭化・焼土粒含
- 7 (褐色土) ローム粒含

0 (1:40) 1m

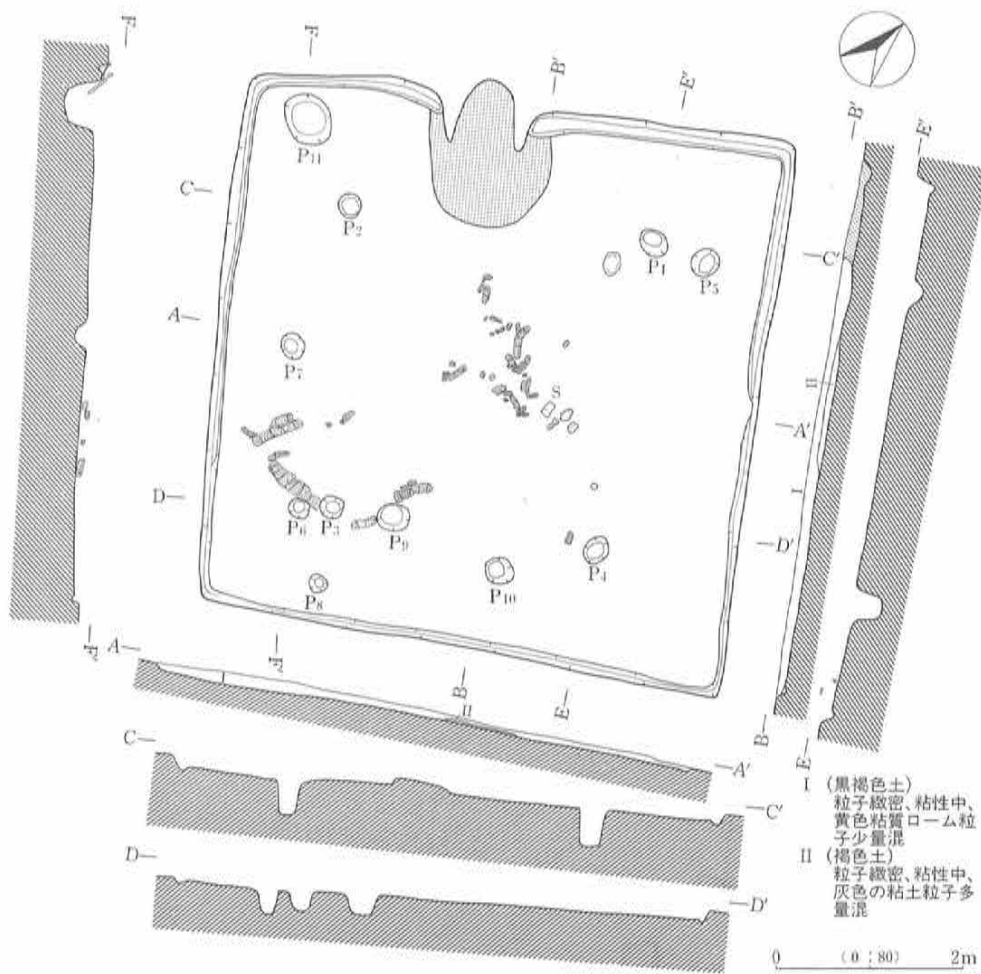
第64図 H14号住居址カマド実測図



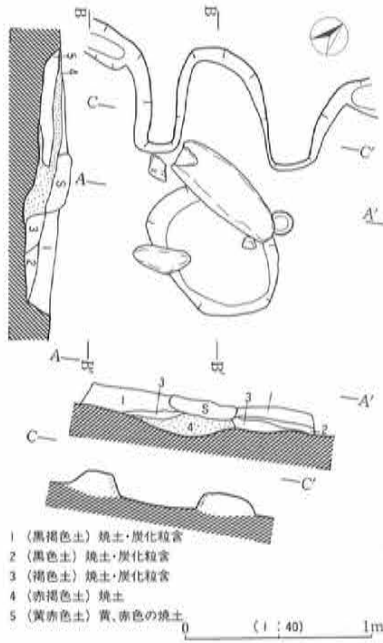
第65図 H14号住居址実測図



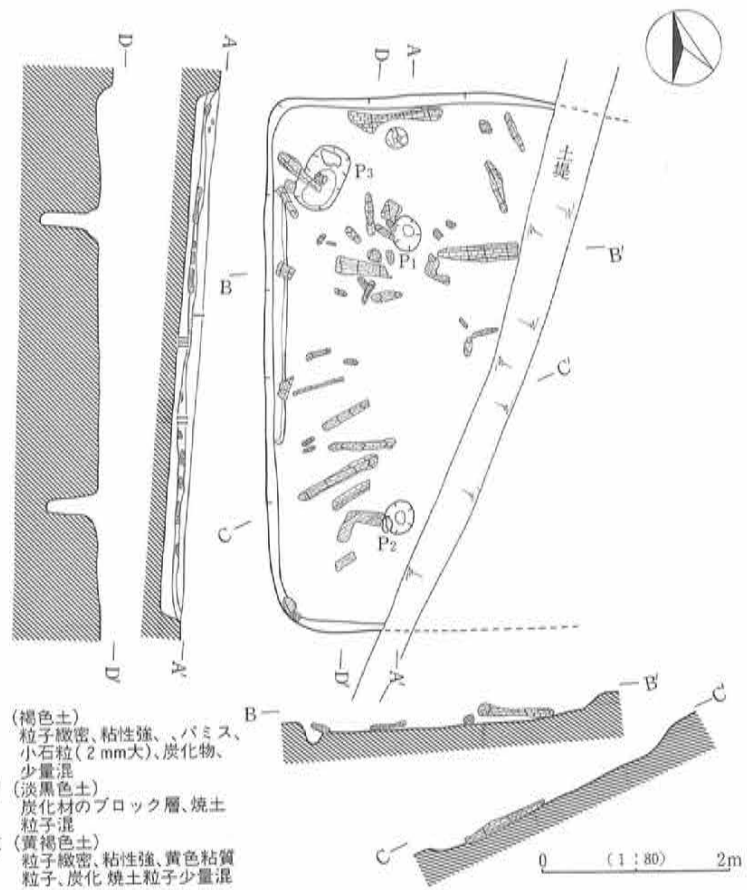
第66図 H14号住居址カマド実測図



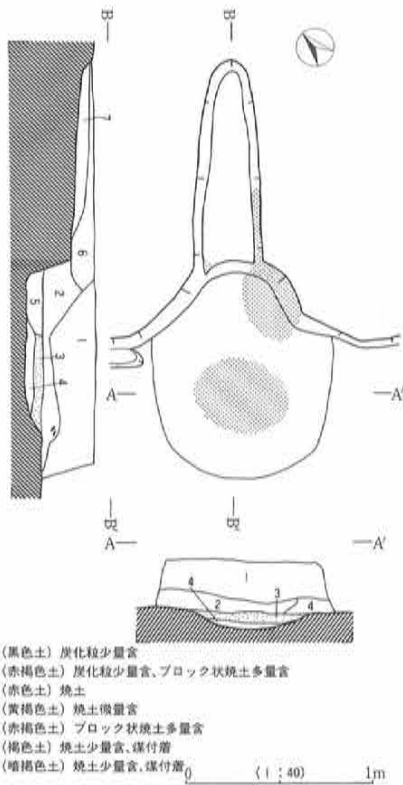
第67図 H15号住居址実測図



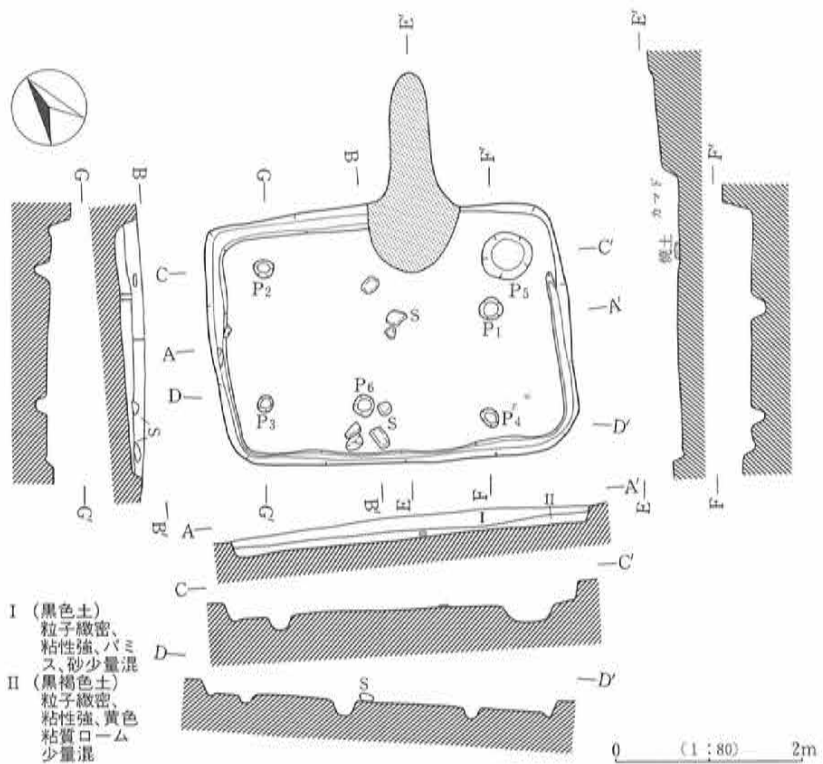
第68図 H15号住居址カマド実測図



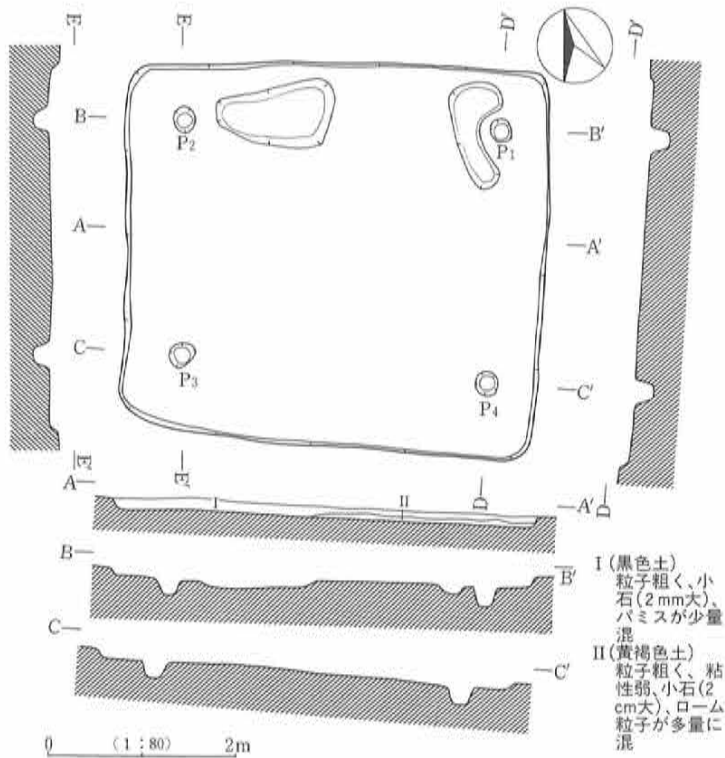
第69図 H17号住居址実測図



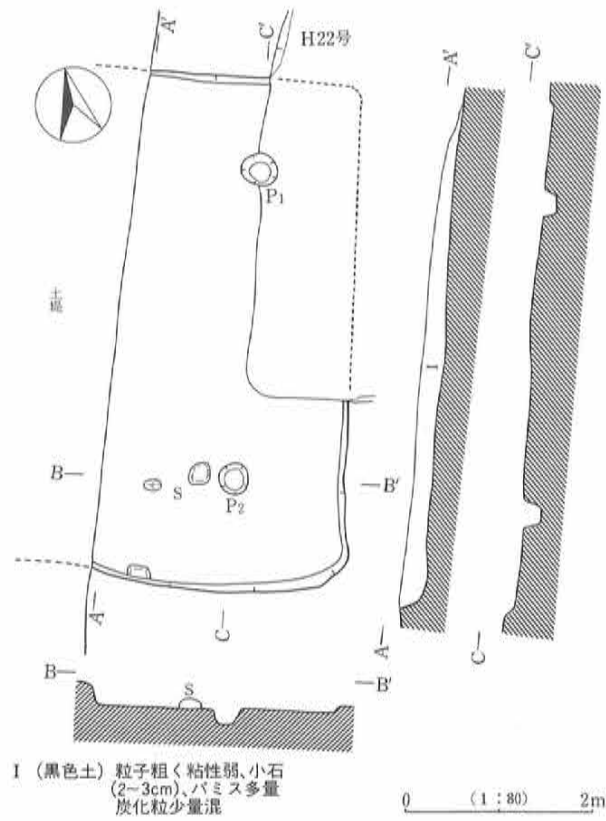
第71図 H18号住居址カマド実測図



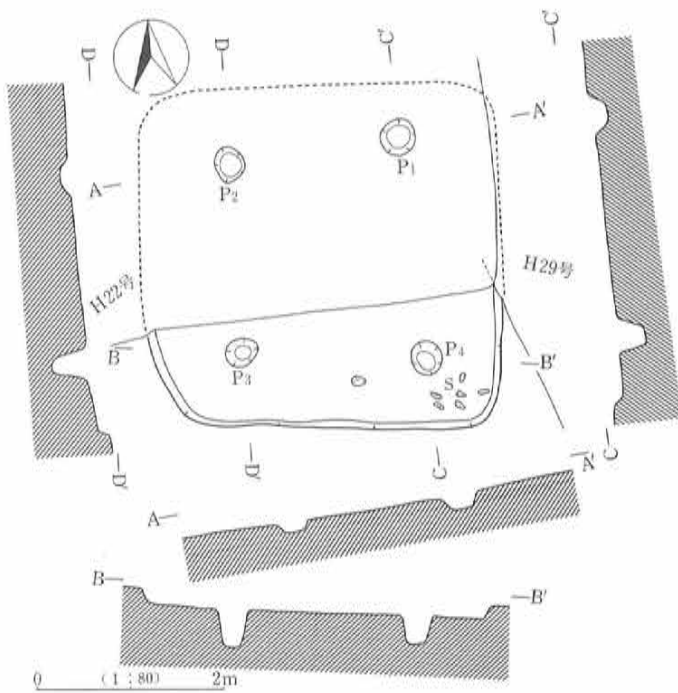
第70図 H18号住居址実測図



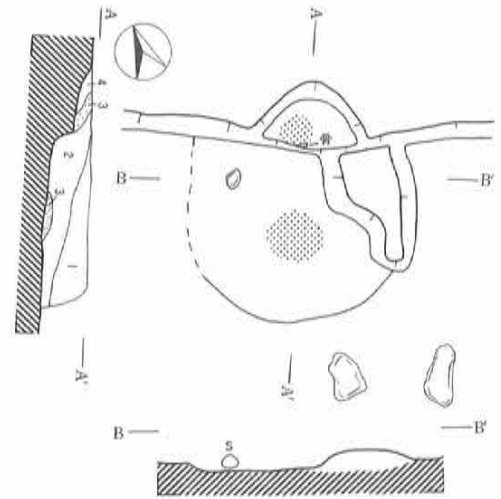
第72図 H19号住居址実測図



第73図 H20号住居址実測図

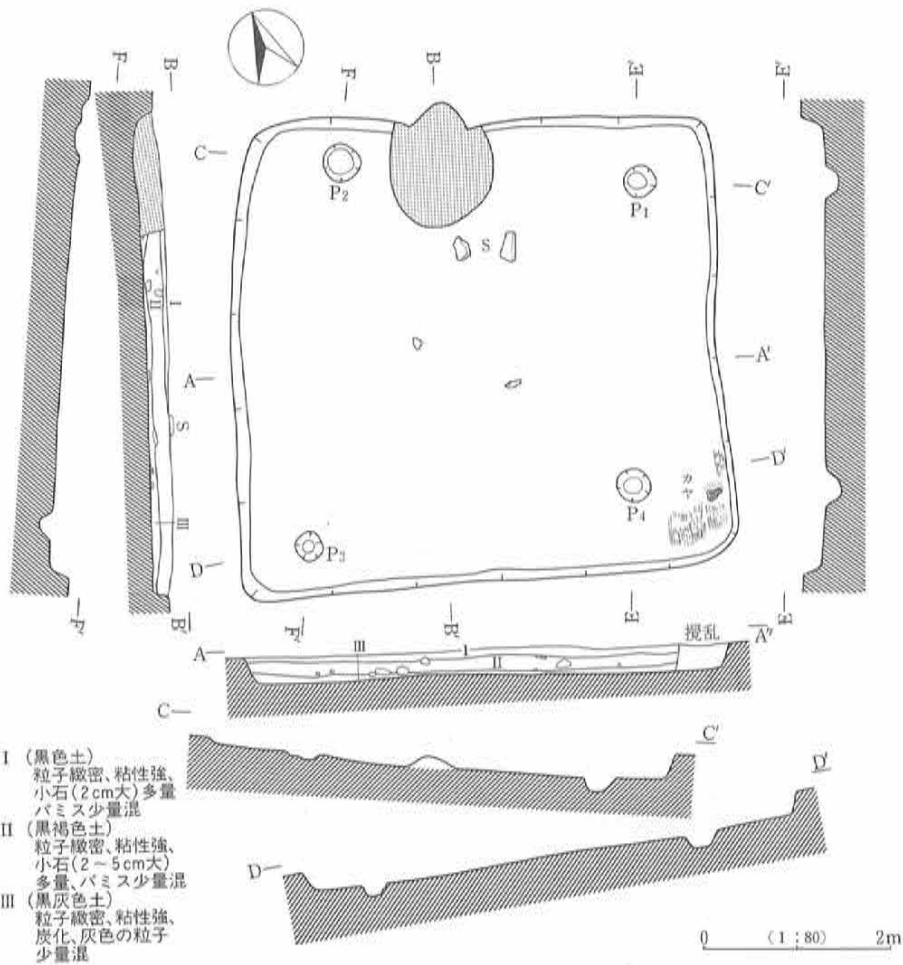


第74図 H21号住居址実測図



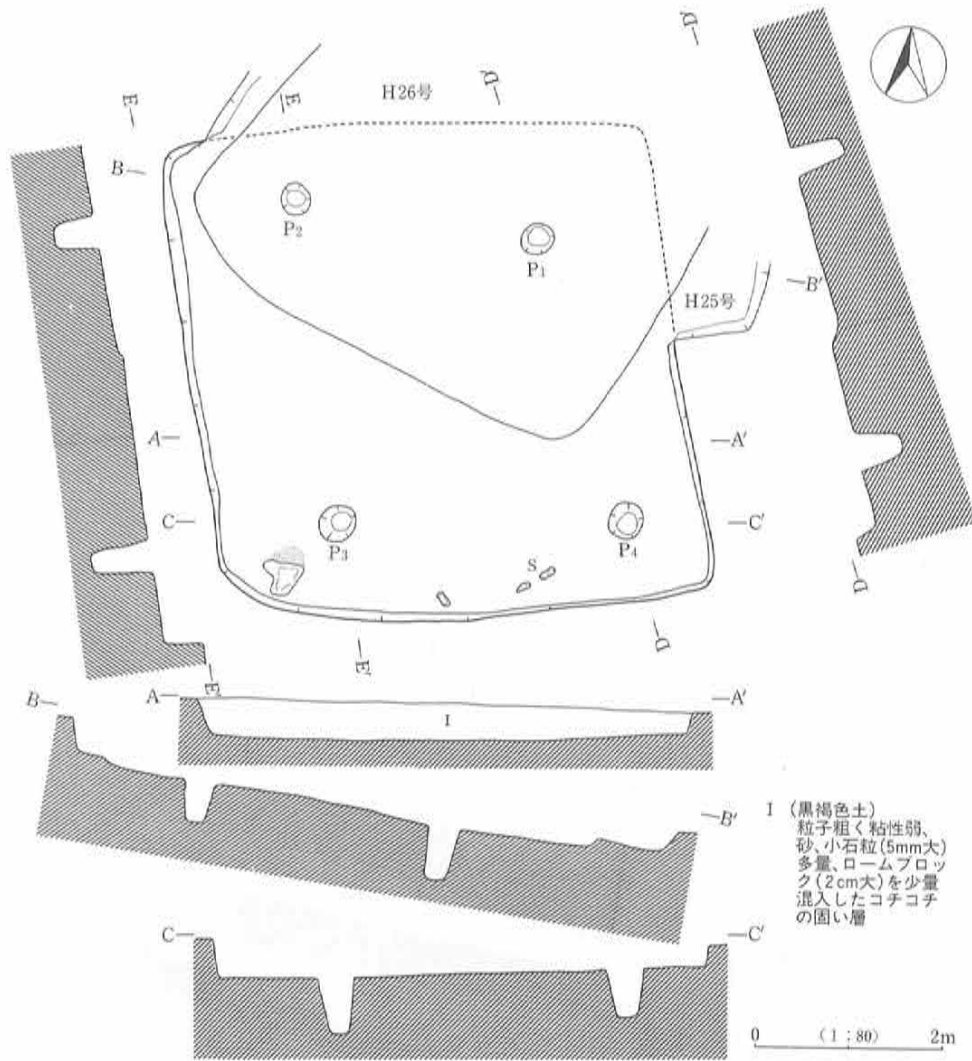
- 1 (黒色土) 焼土、炭化粒少量
- 2 (暗赤色土) 焼土、ブロック状に多量
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (褐色土) ローム少量

第76図 H22号住居址カマド実測図

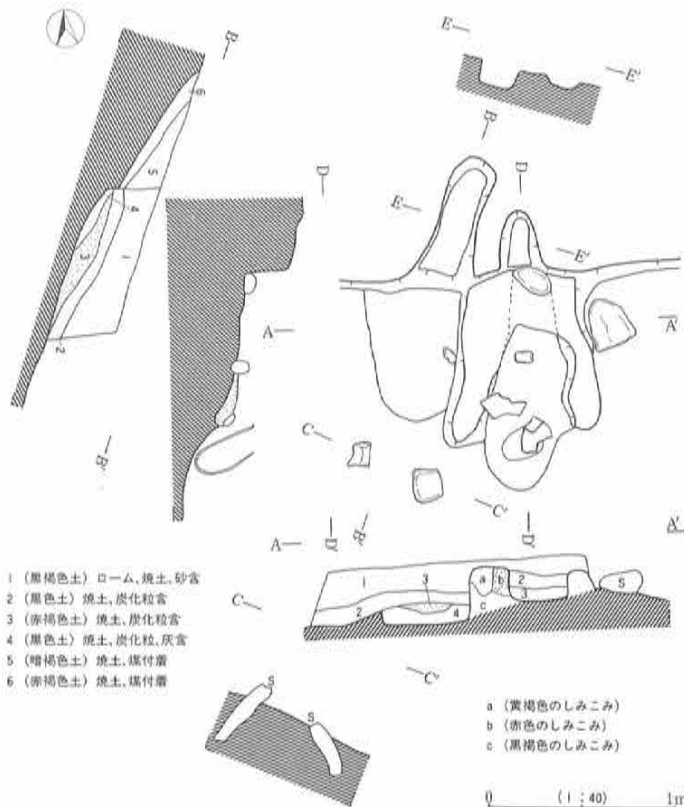


- I (黒色土)
粒子緻密、粘性強、
小石(2cm大)多量
バミス少量混
- II (黒褐色土)
粒子緻密、粘性強、
小石(2-5cm大)
多量、バミス少量混
- III (黒灰色土)
粒子緻密、粘性強、
炭化、灰色の粒子
少量混

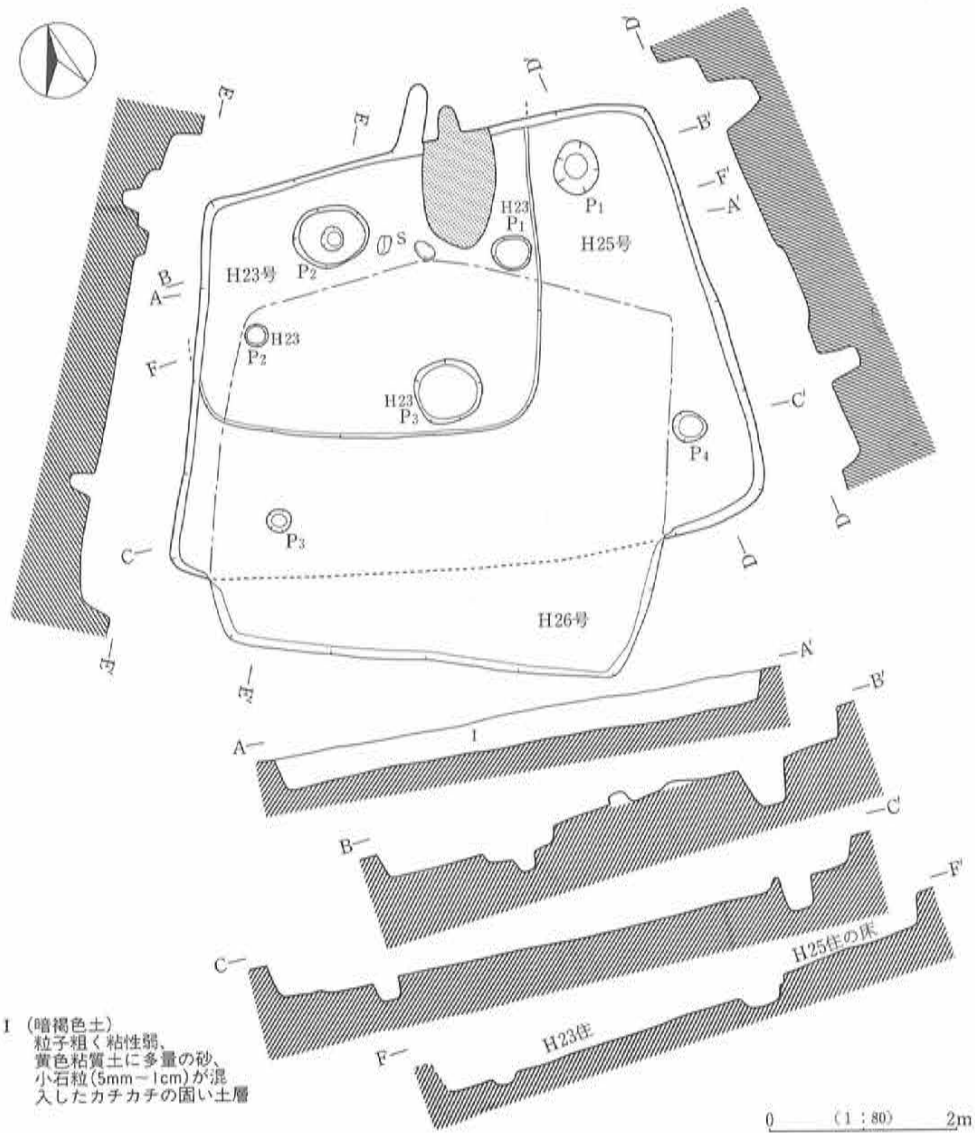
第75図 H22号住居址実測図



第77図 H24号住居址実測図

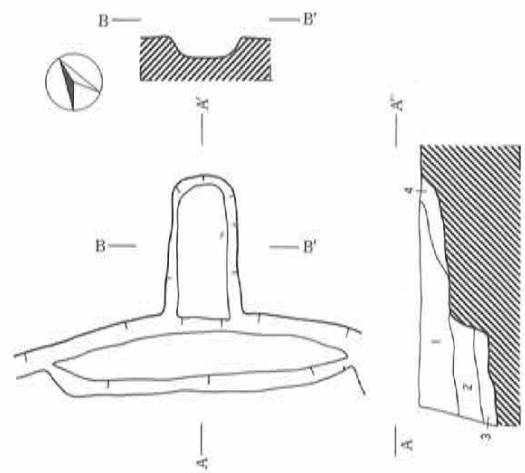


第79図 H25号住居址カマド実測図



I (暗褐色土)
 粒子粗く粘性弱、
 黄色粘質土に多量の砂、
 小石粒(5mm-1cm)が混
 入したカチカチの固い土層

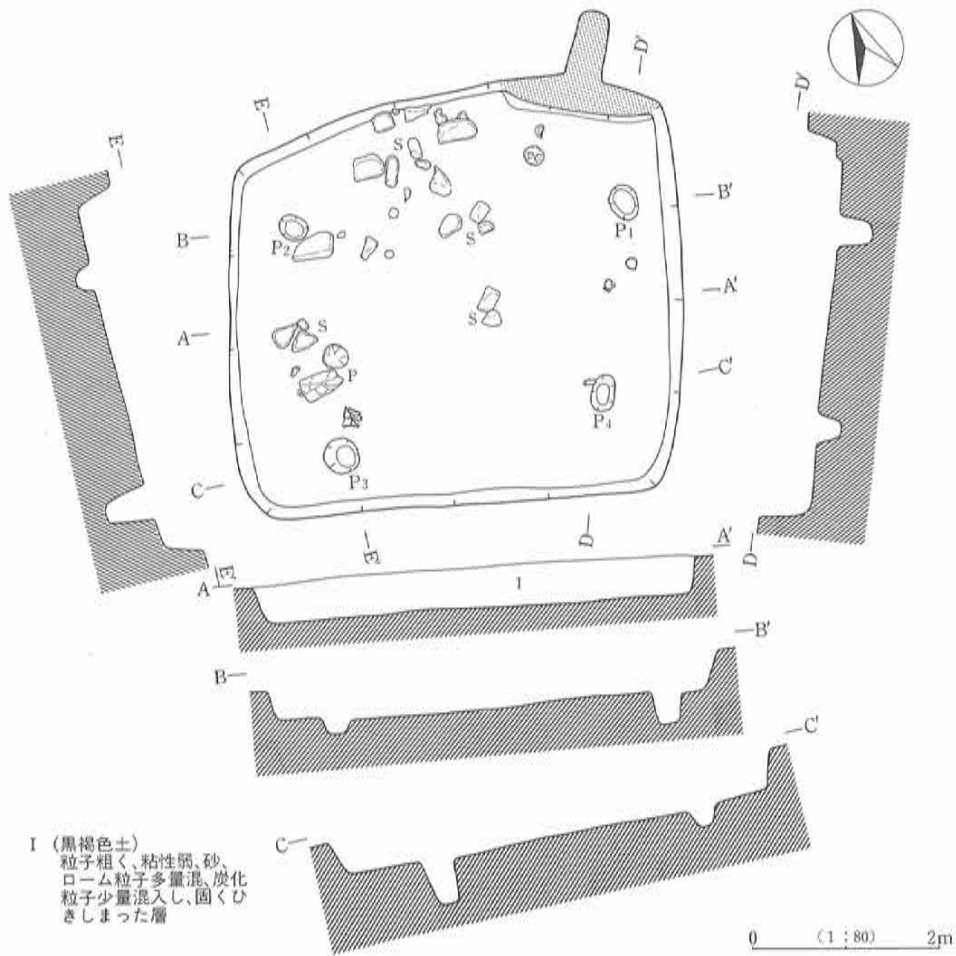
第78図 H23・25号住居址実測図



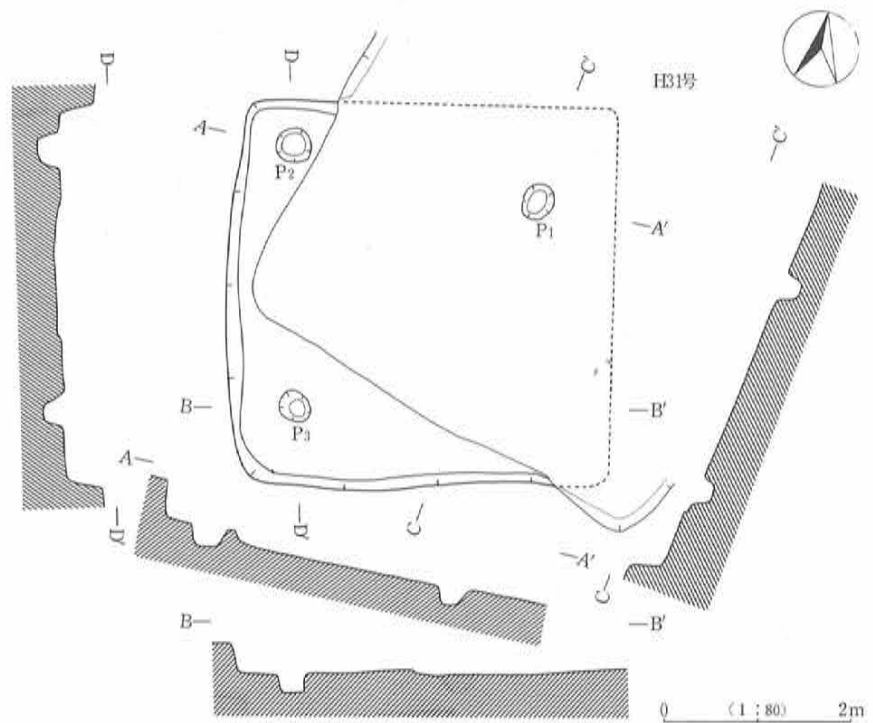
第81図 H26号住居址カマド実測図

1 (赤褐色土) 焼土ブロック、砂、小石粒少量含
 2 (黒褐色土) 砂少量、炭化、焼土微量含
 3 (褐色土) 砂少量、炭化、焼土微量含
 4 (暗褐色土) 砂、焼土微量含

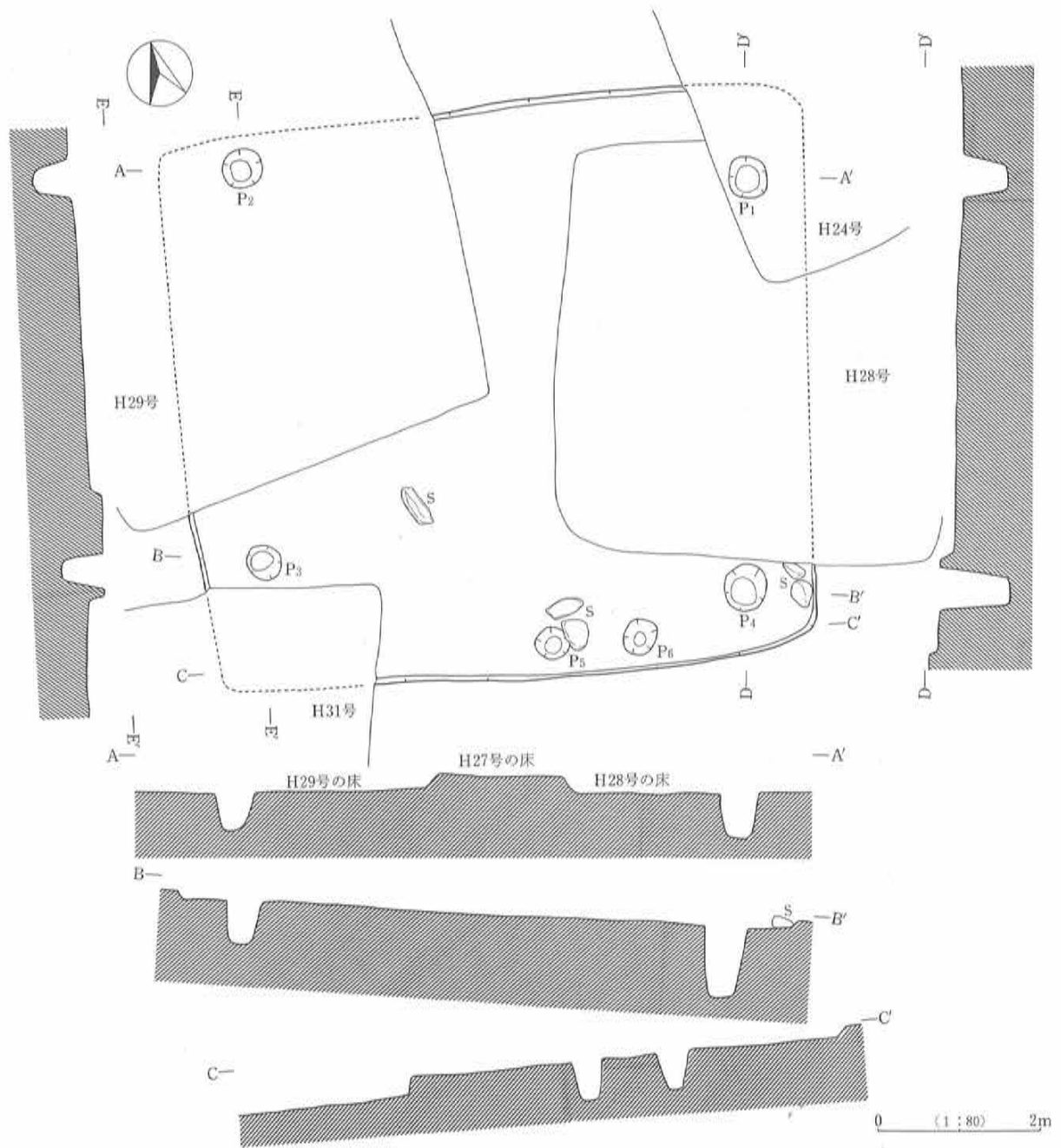
0 (1:40) 1m



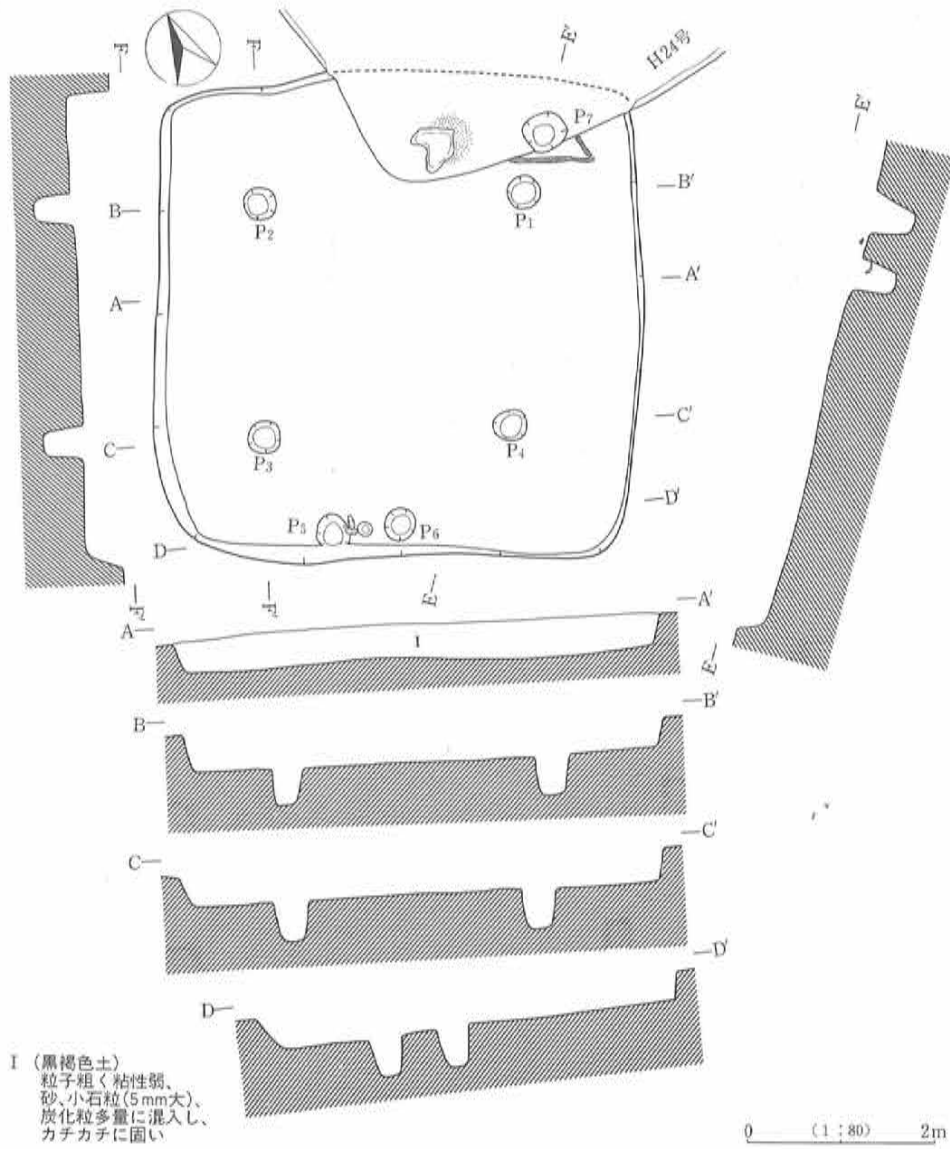
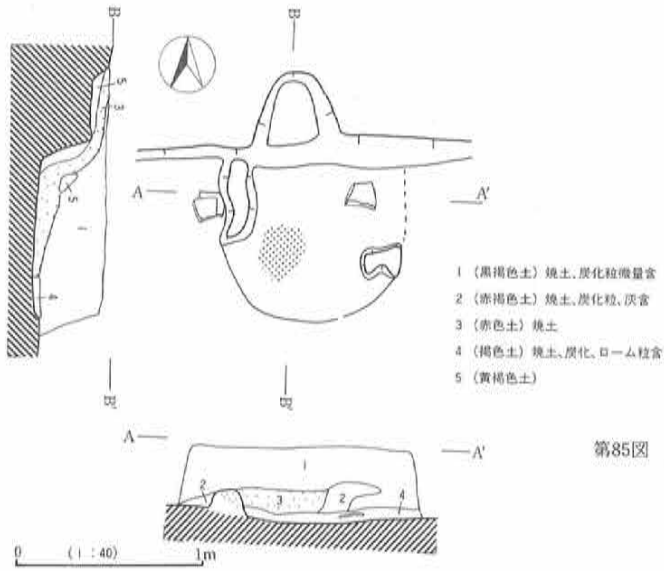
第80図 H26号住居址実測図

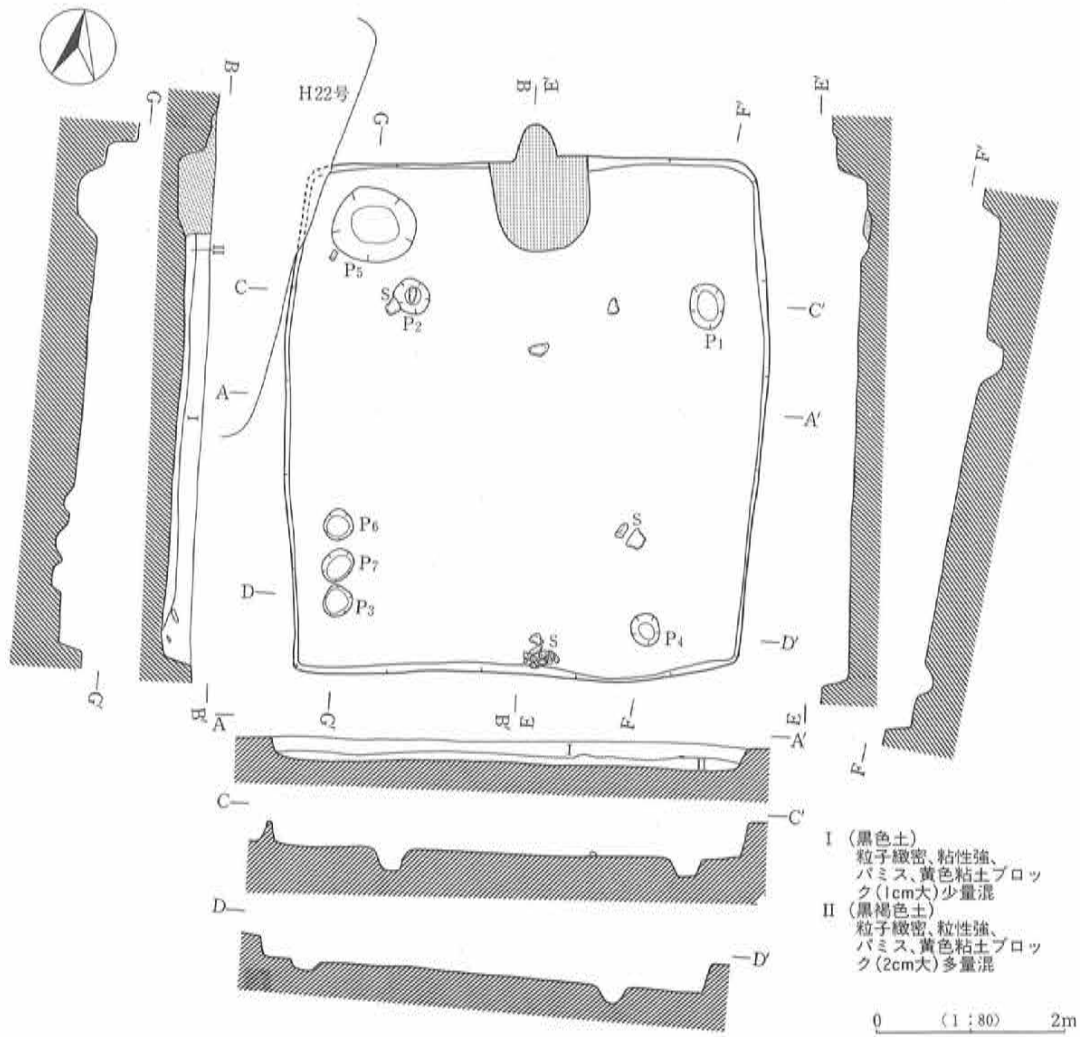


第86図 H30号住居址実測図

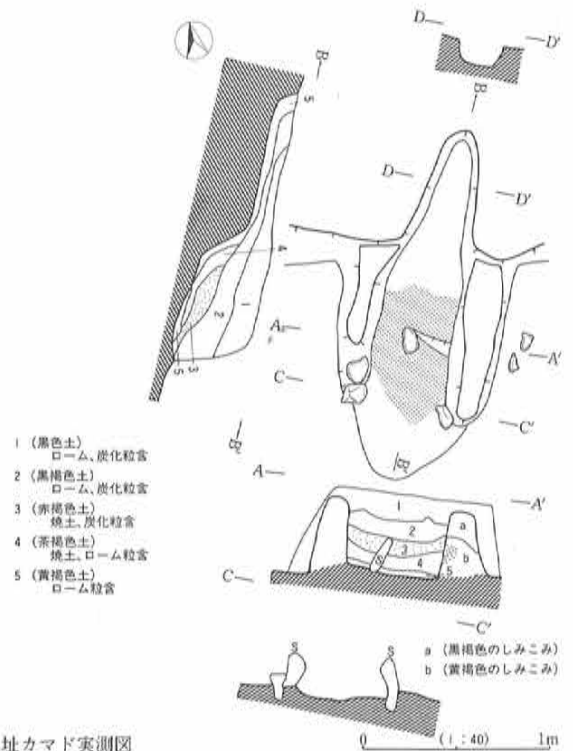


第82図 H27号住居址実測図

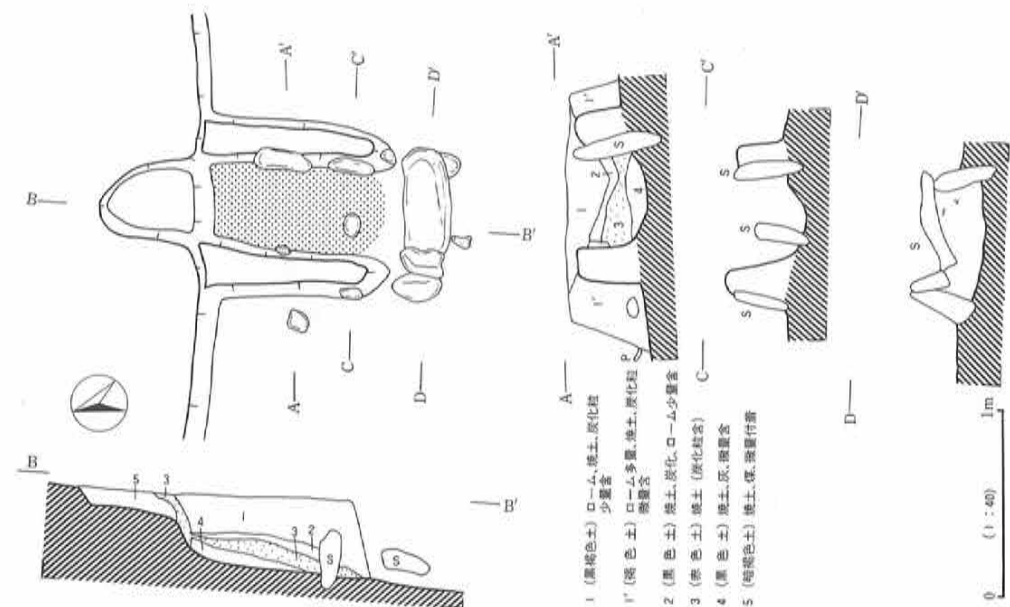




第84図 H29号住居址実測図

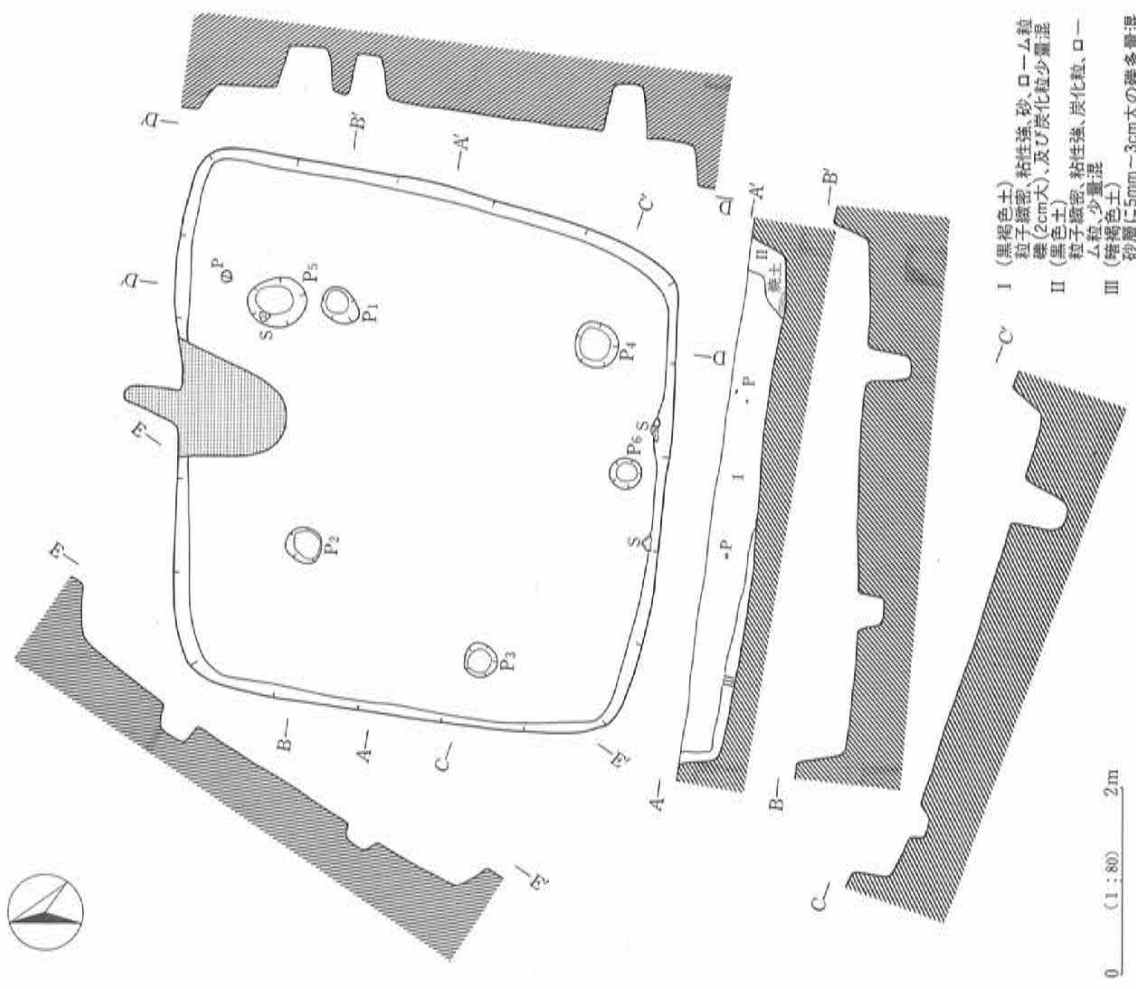


第88図 H31号住居址カマド実測図



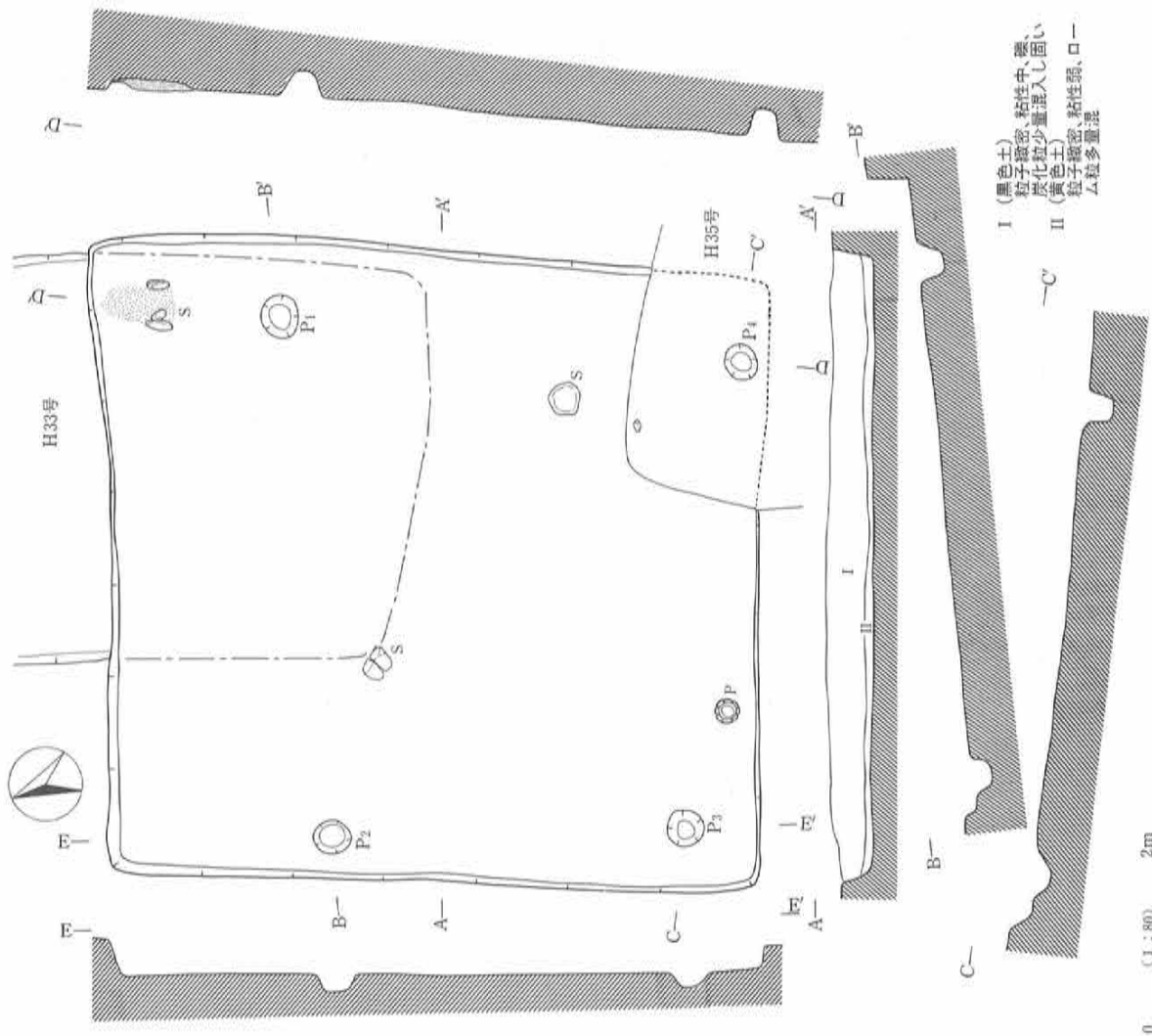
- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量混
- 1' (褐色土) ローム多量、焼土、炭化粒少量混
- 2 (黒色土) 焼土、炭化、ローム少量混
- 3 (褐色土) 焼土 (炭化粒含)
- 4 (黒色土) 焼土、灰、炭屑含
- 5 (暗褐色土) 焼土、灰、炭屑付着

第91図 H33号住居址カマド実測図



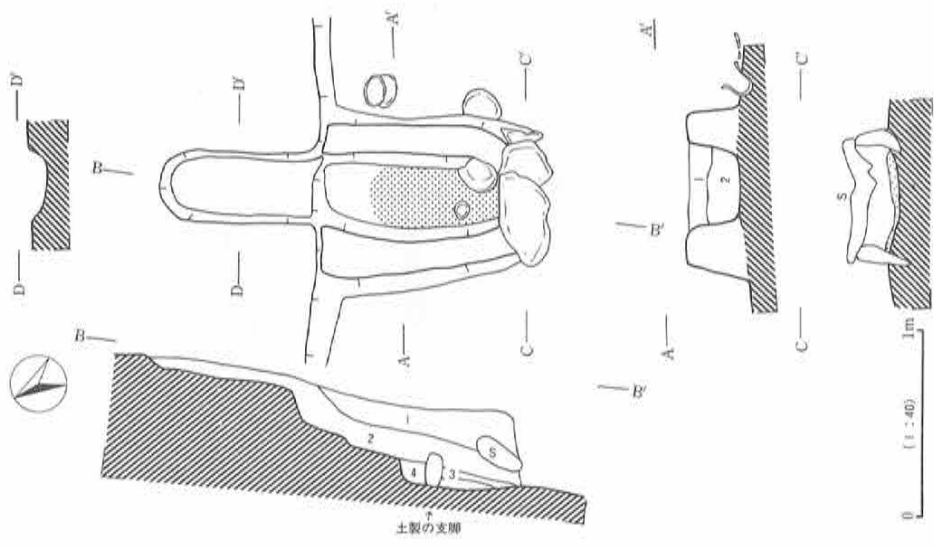
- I (黒褐色土) 粘性强、砂、ローム粒
多量 (2cm大)、及び炭化粒少量混
- II (黒色土) 粘性强、炭化粒、ローム粒少量混
- III (暗褐色土) 粘性强、炭化粒、ローム粒少量混
砂層に5mm~3cm大の礫多量混

第87図 H31号住居址実測図



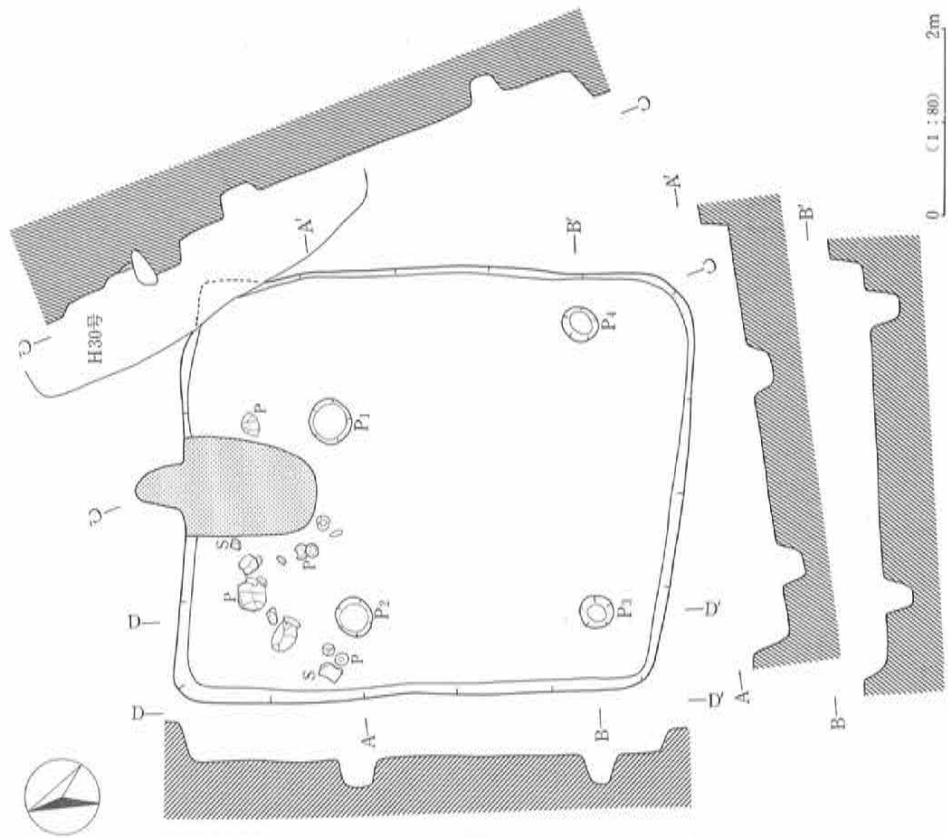
I (黒色土)
 粘土緻密、粘性中、礫
 炭化粒少量混入し固い
 II (黄色土)
 粘土緻密、粘性弱、ロ一
 ン粒多量混入

第89図 H32号住居址実測図

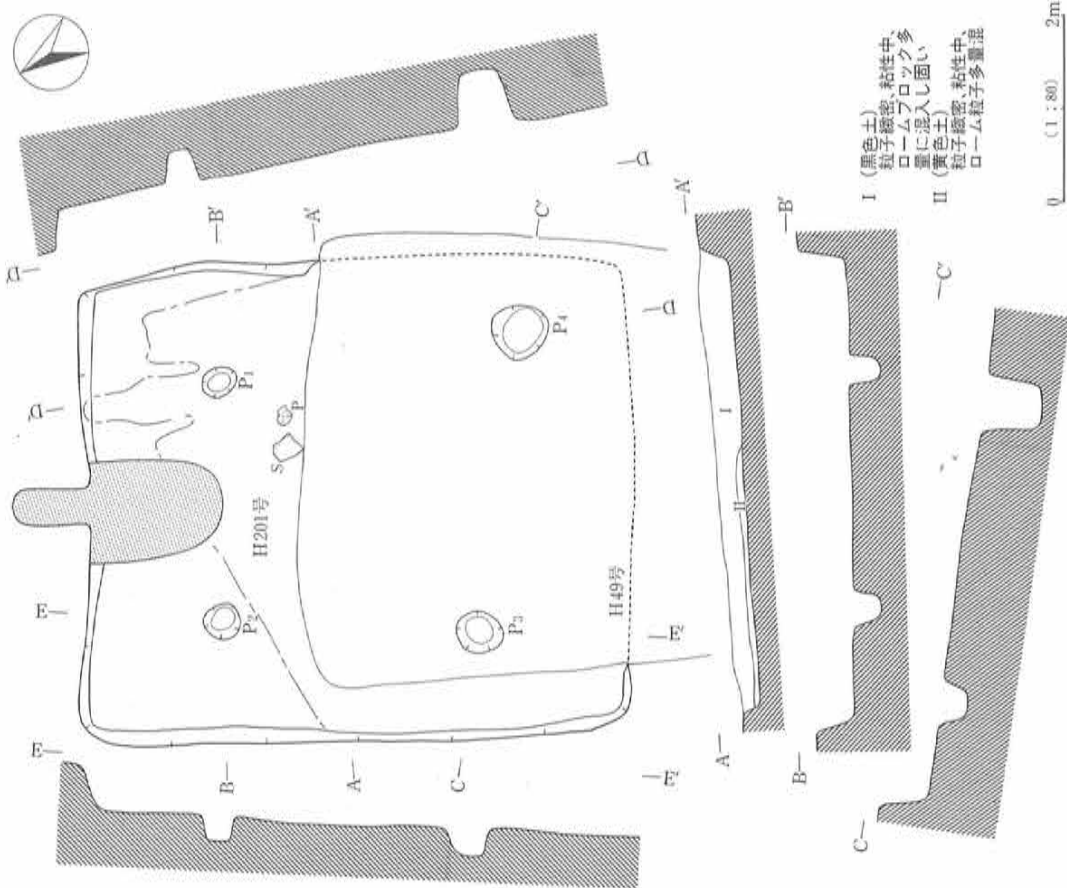


1 (黒褐色土) ローム粒少量含
 2 (黒色土) 炭化、焼土粒少量含
 3 (黒褐色土) 炭化、焼土粒少量含
 4 (赤色土) 焼土、灰、ローム含 (ややこみ)

第93図 H34号住居址カマド実測図

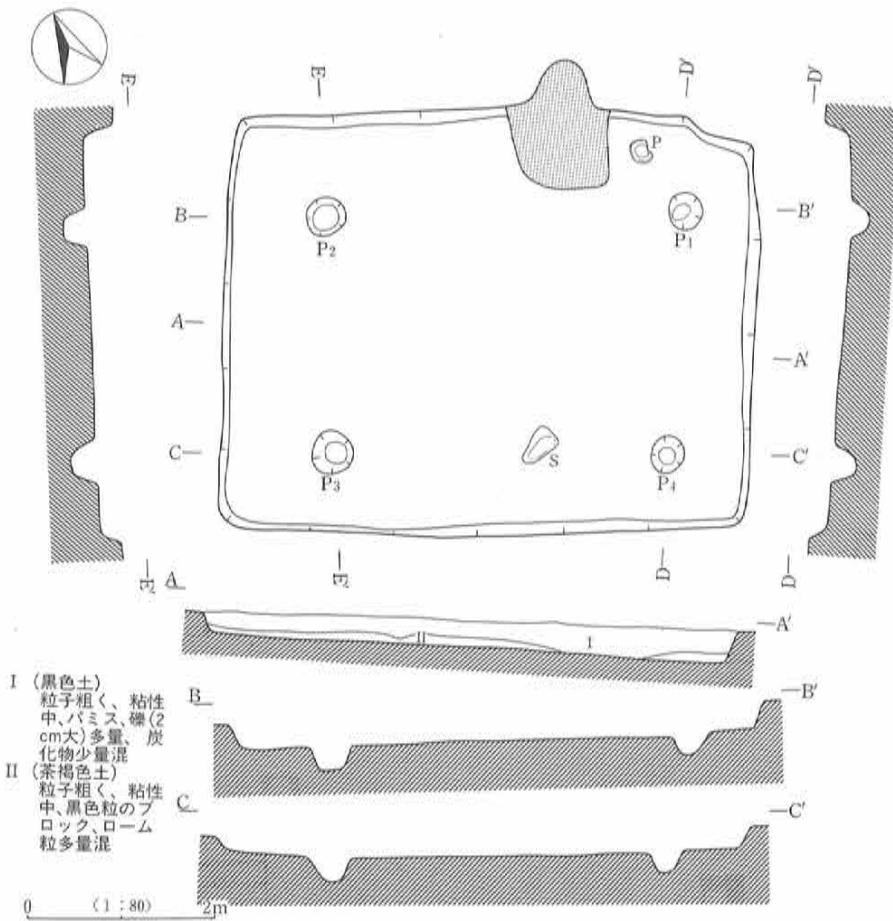


第90図 H33号住居址実測図

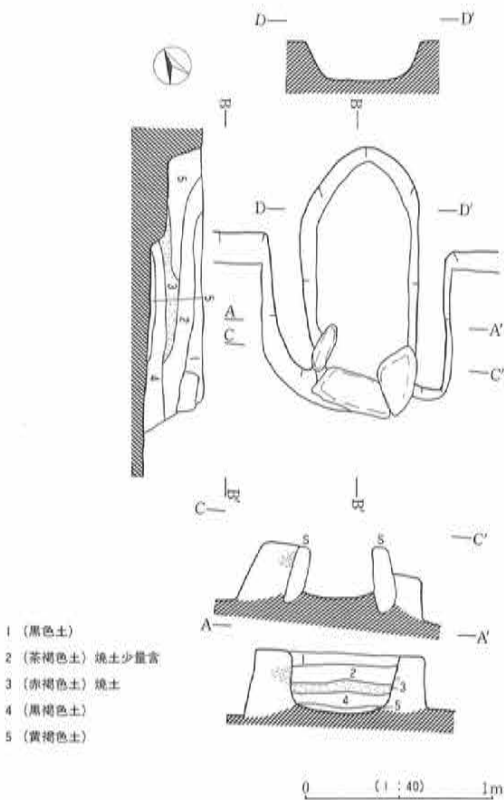


I (黒色土)
 粘土緻密、粘性中、
 ローム粒子多量混
 入、
 量に侵入し固い
 II (黄色土)
 粘土緻密、粘性中、
 ローム粒子多量混
 入、

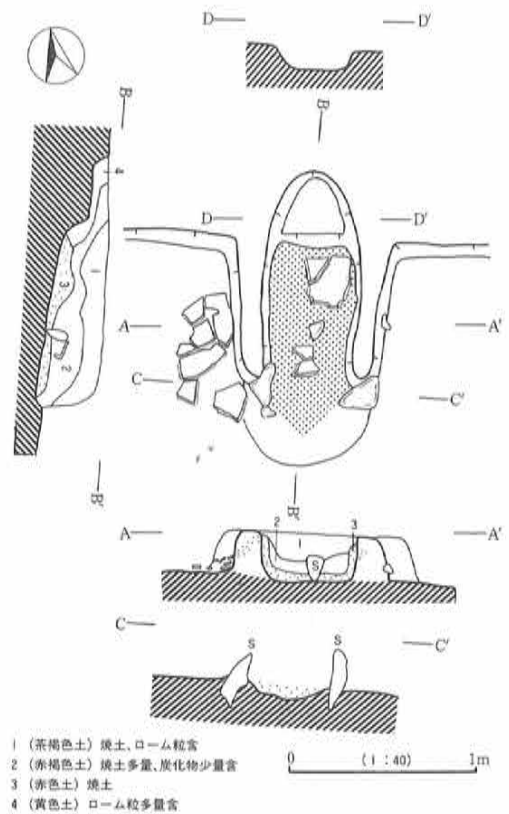
第92図 H34号住居址実測図



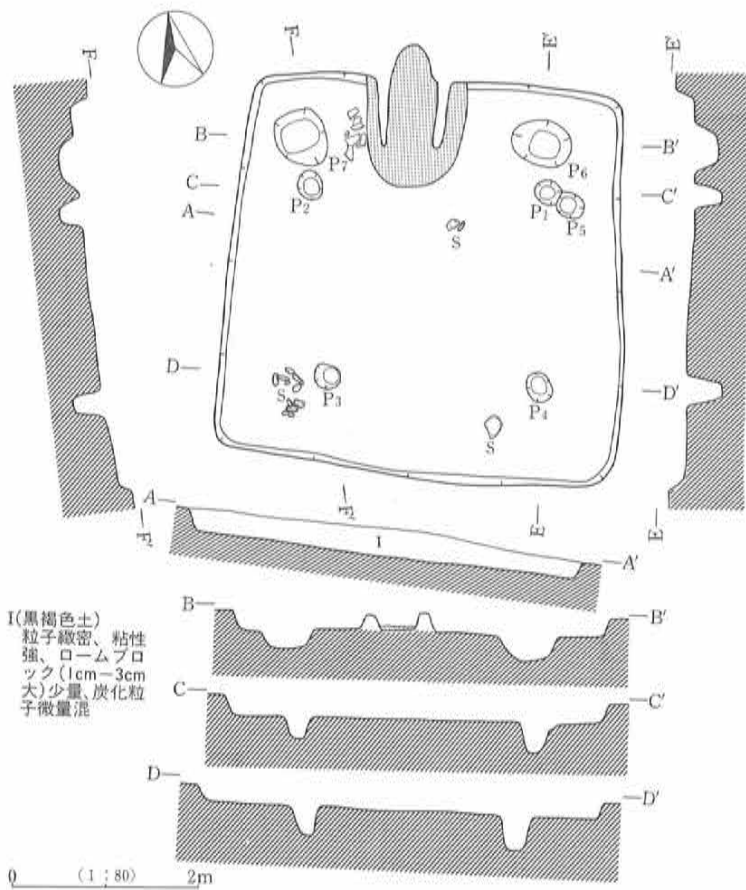
第94図 H35号住居址実測図



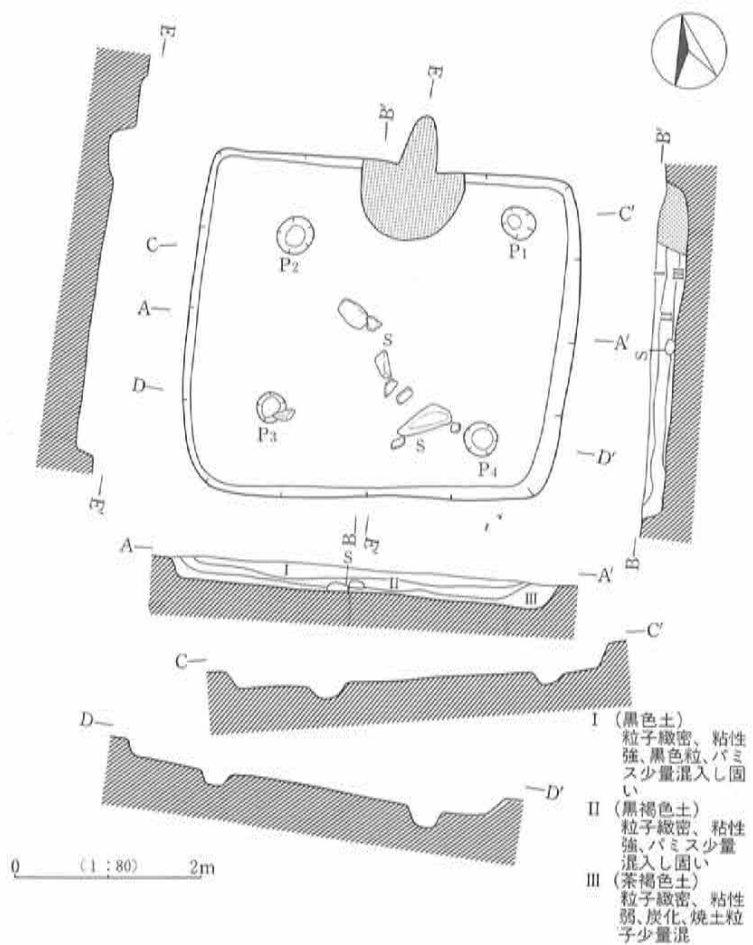
第95図 H35号住居址カマド実測図



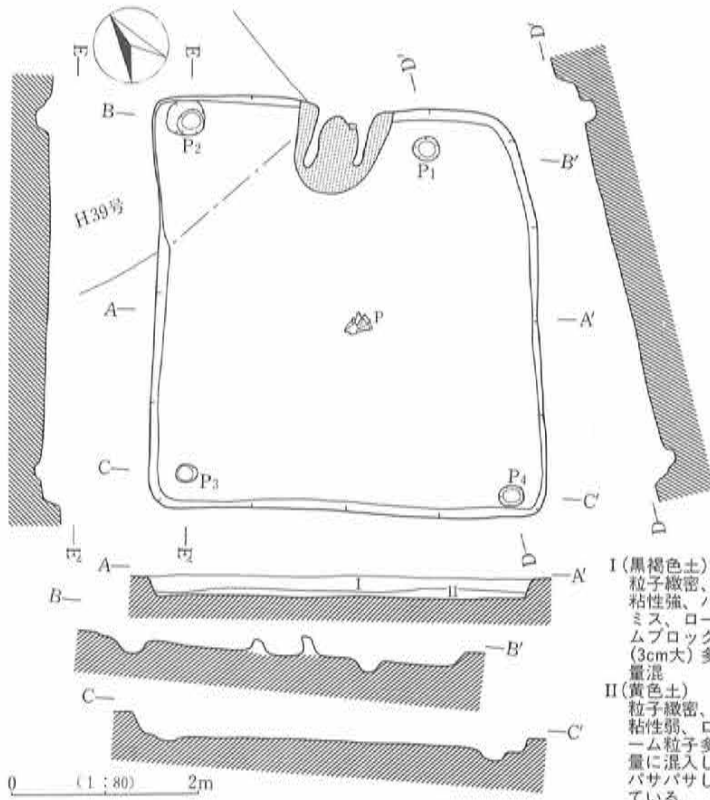
第97図 H36号住居址カマド実測図



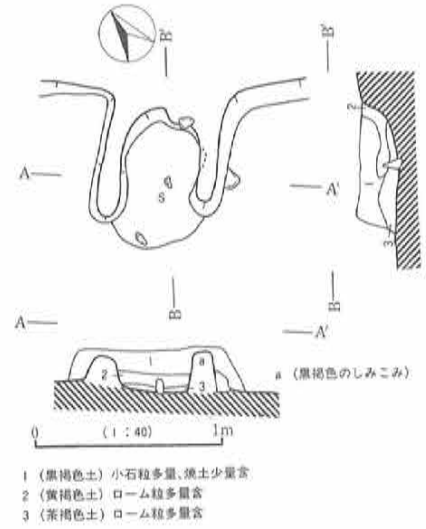
第96図 H36号住居址実測図



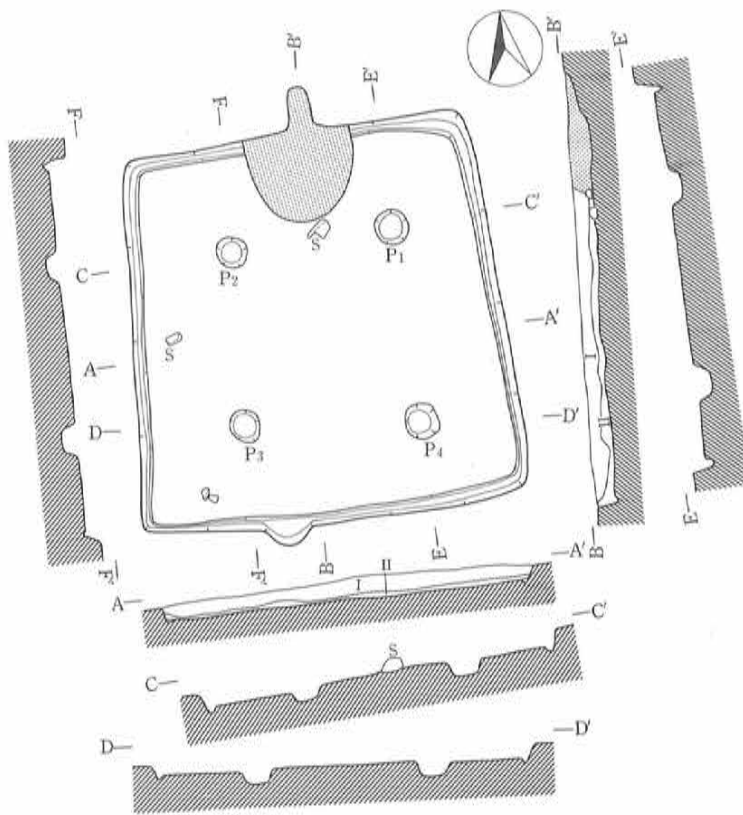
第98図 H37号住居址実測図



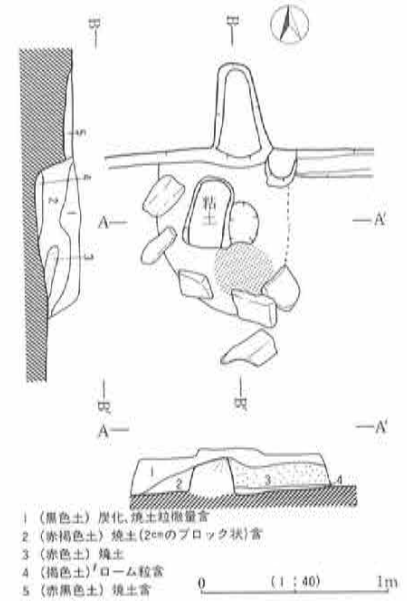
第99図 H38号住居址実測図



第100図 H38号住居址カマド実測図

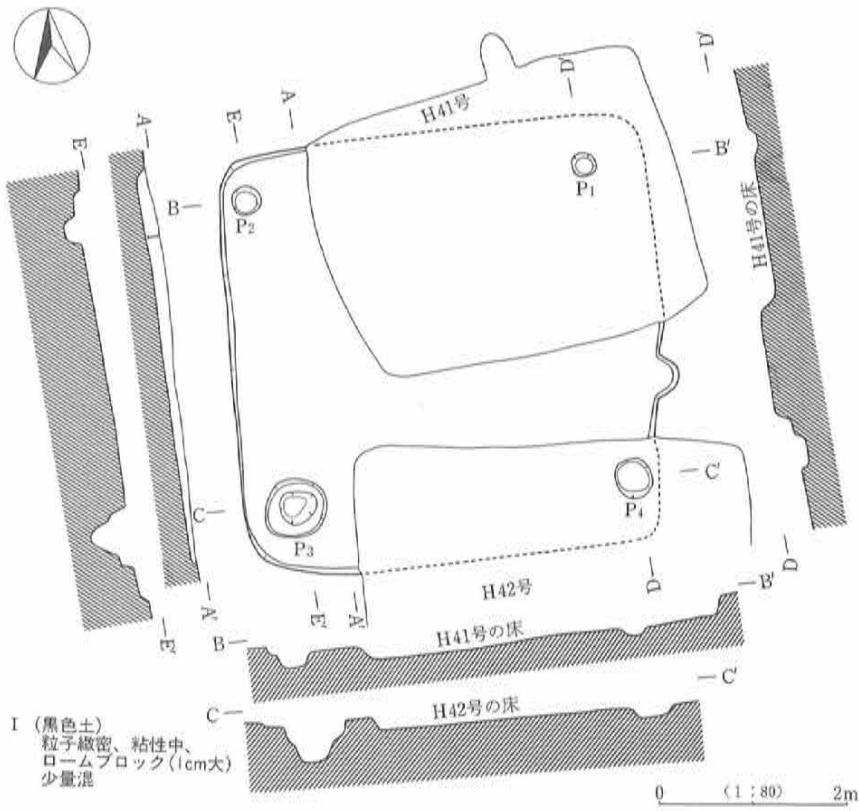


I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ロームブロック多量、パミス少量混
II (褐色土) 粒子緻密、粘性強、ロームブロック多量、炭化物少量混

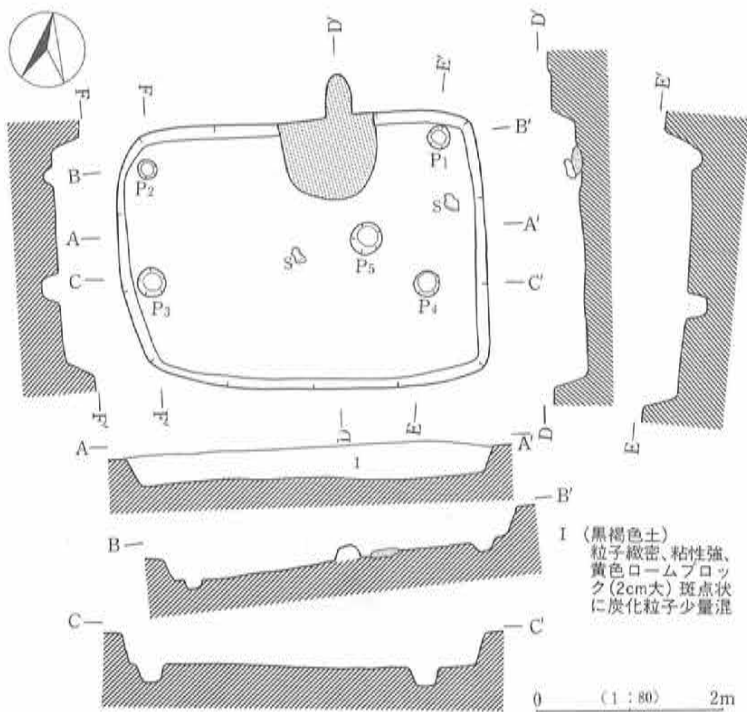


第102図 H39号住居址カマド実測図

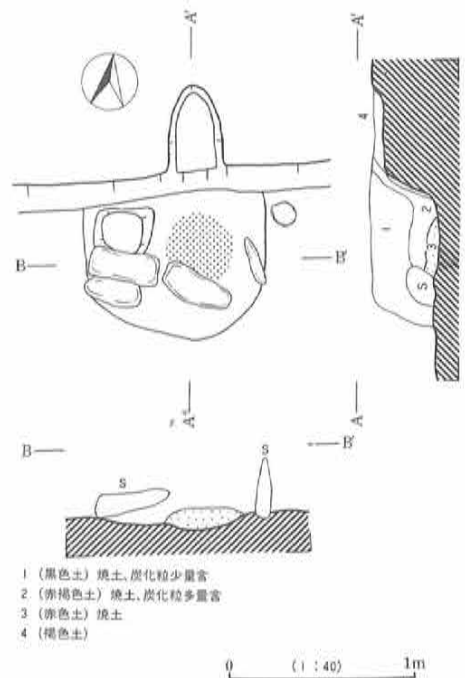
第101図 H39号住居址実測図



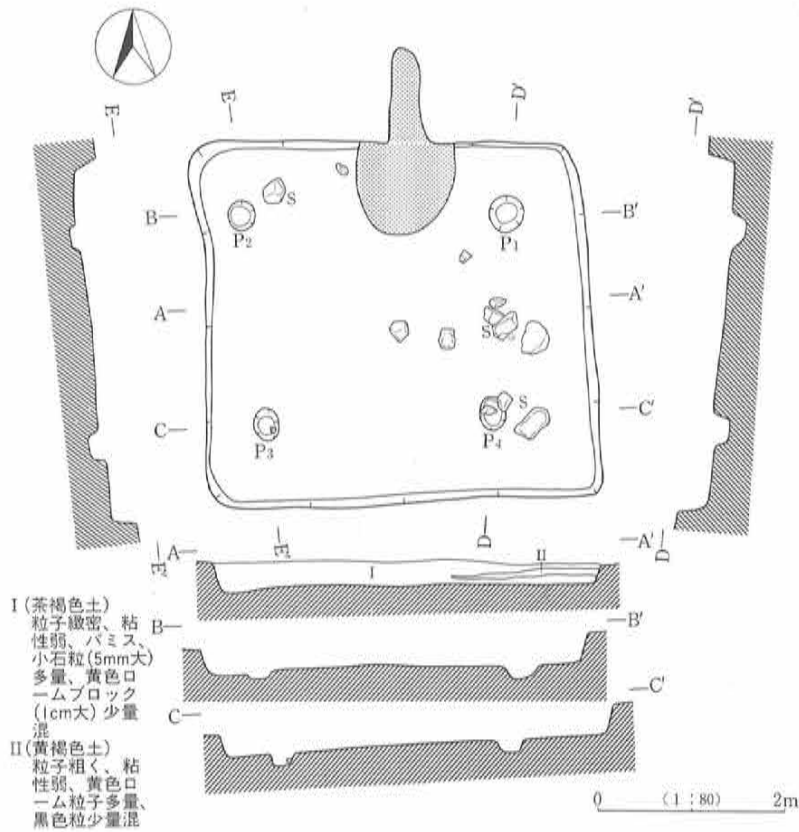
第103図 H40号住居址実測図



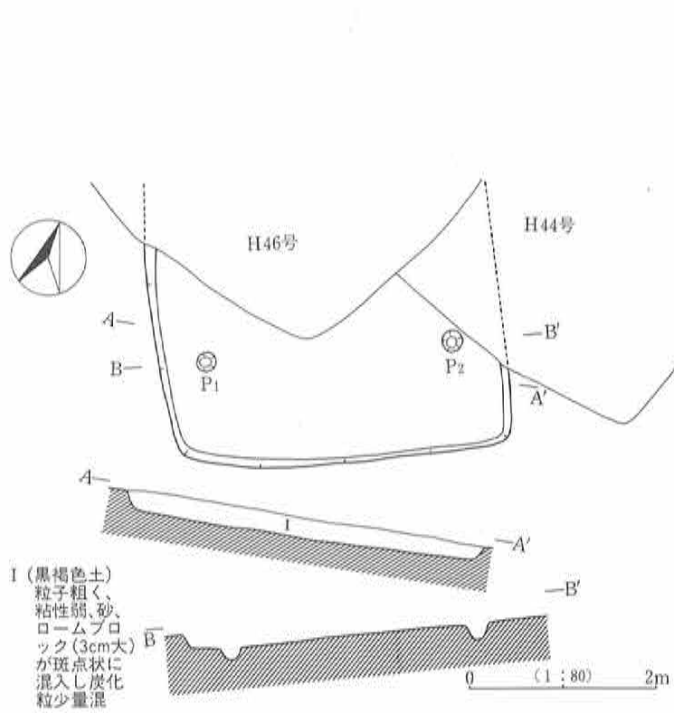
第104図 H41号住居址実測図



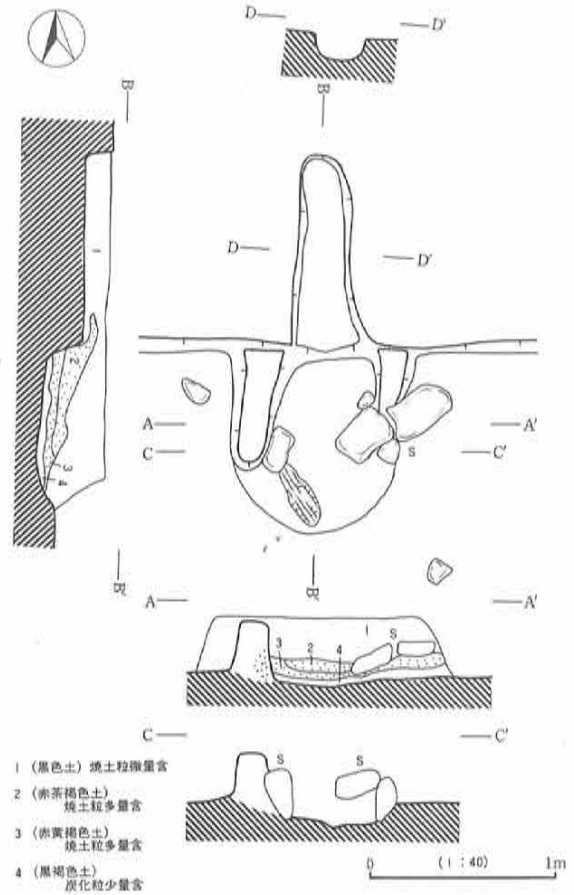
第105図 H41号住居址カマド実測図



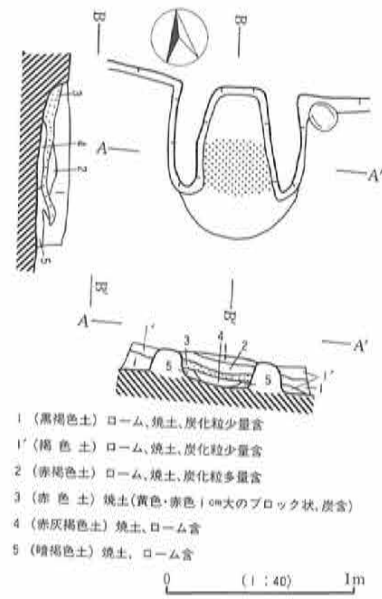
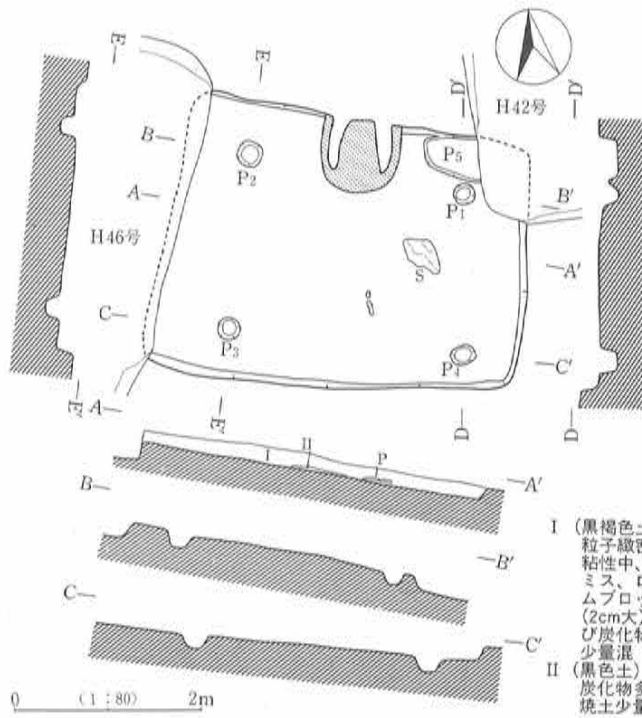
第106図 H42号住居址実測図



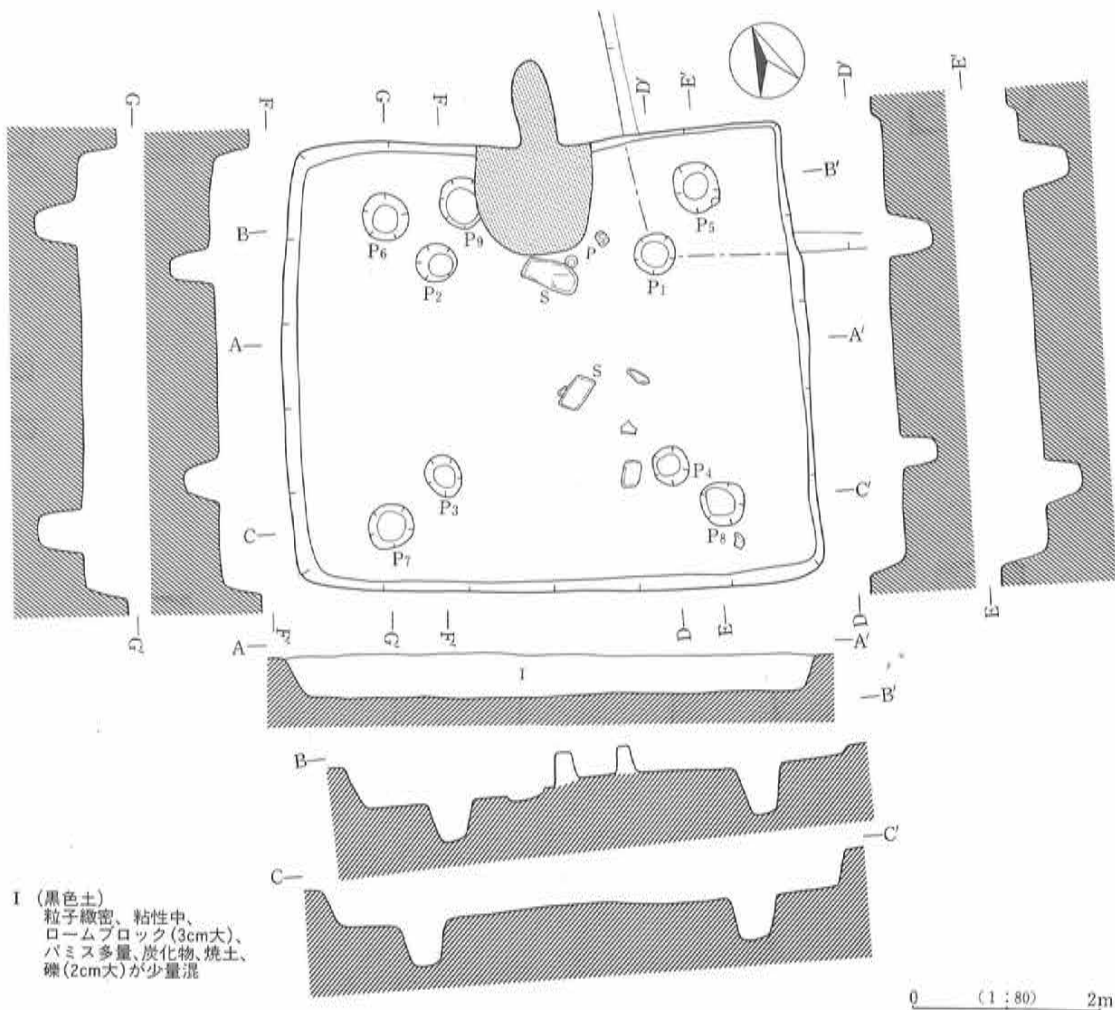
第108図 H43号住居址実測図



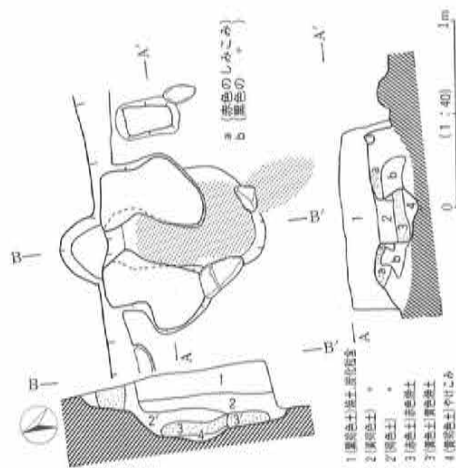
第107図 H42号住居址カマド実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 1' (褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 2 (赤褐色土) ローム、焼土、炭化粒多量含
- 3 (赤土) 焼土(黄色・赤色) 1cm大のブロック状、炭含
- 4 (赤灰褐色土) 焼土、ローム含
- 5 (暗褐色土) 焼土、ローム含



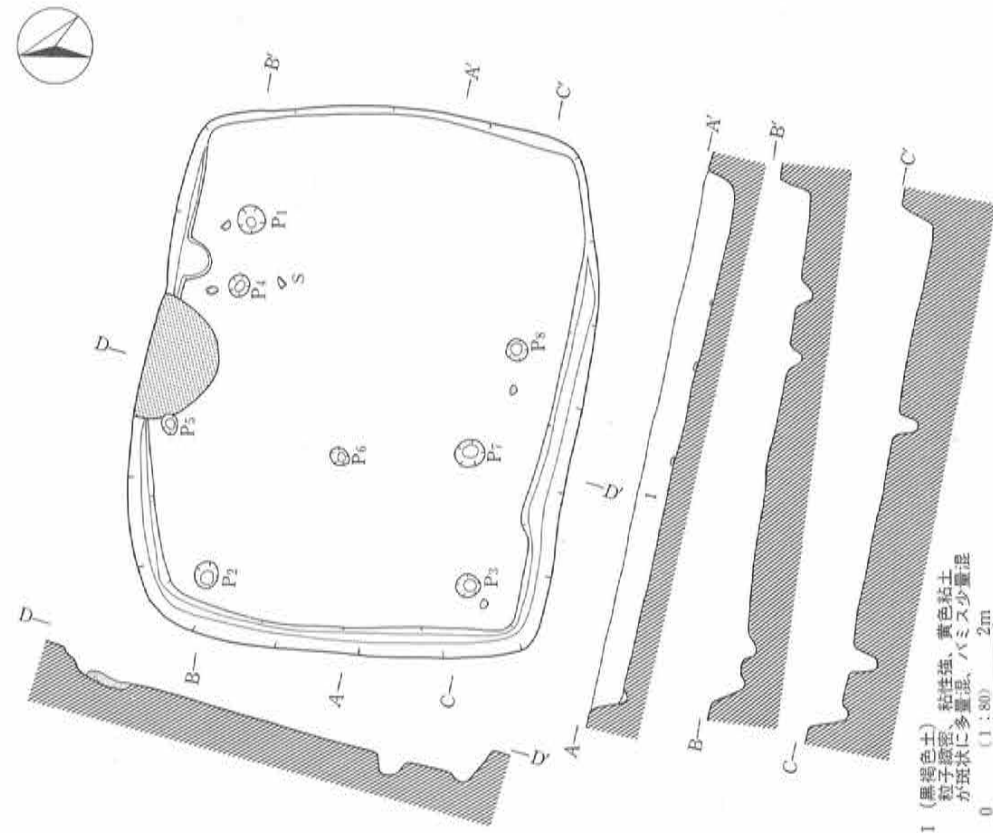
- I (黒色土)
粒子緻密、粘性中、
ロームブロック(3cm大)、
パミス多量、炭化物、焼土、
礫(2cm大)が少量混



第114図 H46号住居址カマド実測図

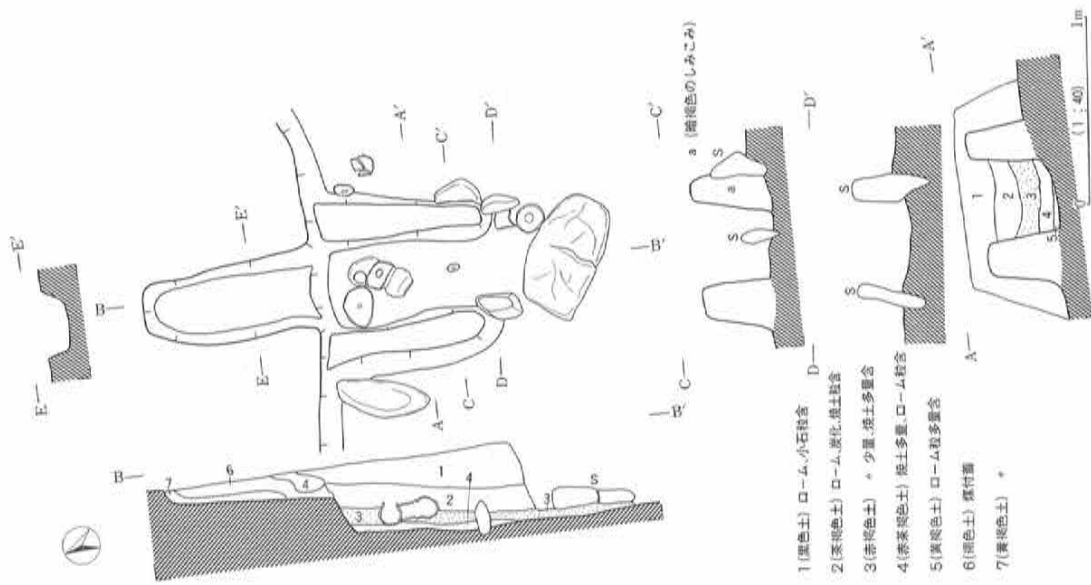
- 1 黒色土 ローム、焼土、炭化灰層を含む
- 2 黒色土 *
- 3 赤褐色土 焼土
- 4 黒色土 焼土

a (黒色のしみこみ)
b (黒色のしみこみ)



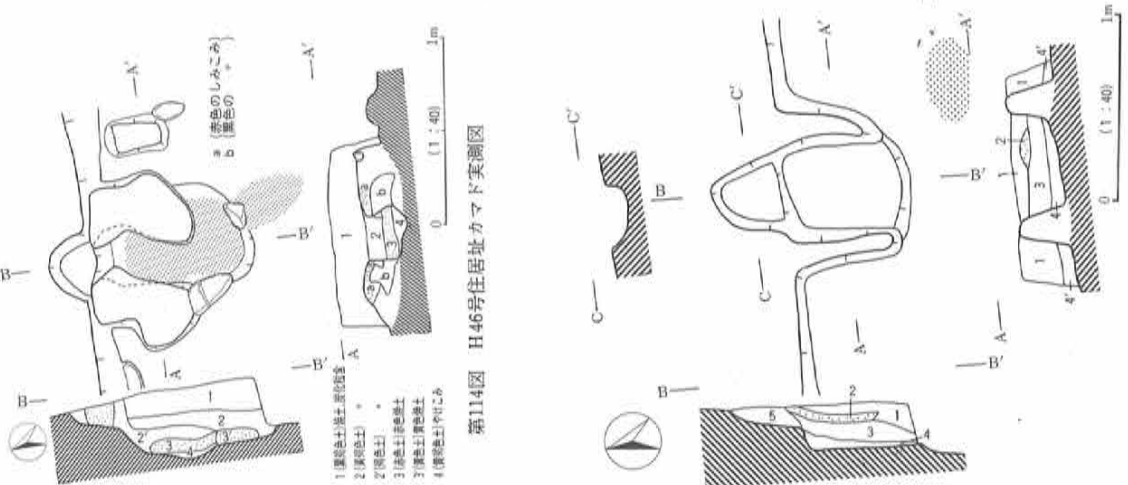
- 1 (黒褐色土) 粘性強、黄色粘土、粘土質、ハミス少量混在、灰状に多量混在

第113図 H46号住居址実測図



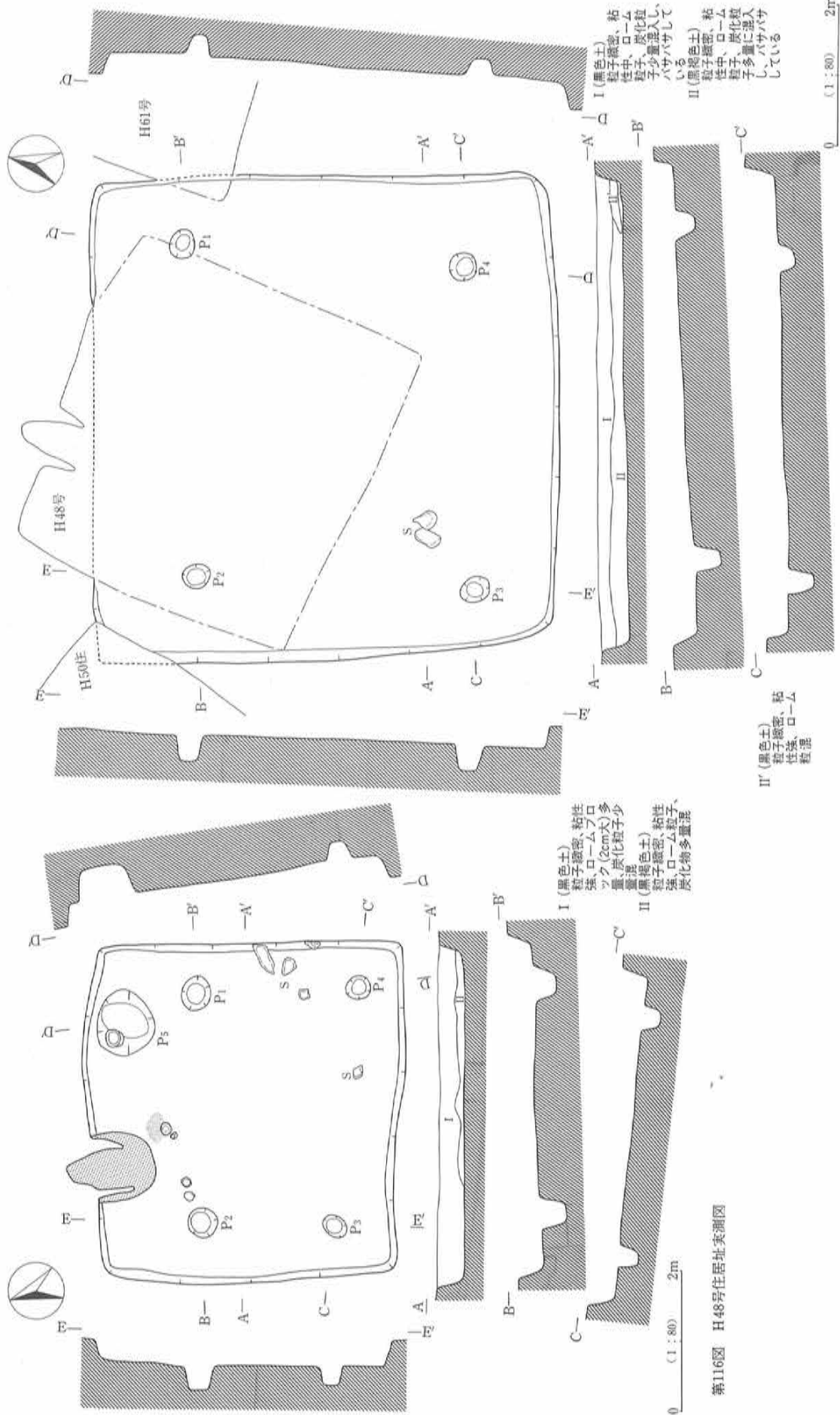
- 1 黒色土) ローム、小石を含む
- 2 赤褐色土) ローム、炭化、焼土を含む
- 3 赤褐色土) * 少量、焼土多量を含む
- 4 赤褐色土) 焼土多量、ロームを含む
- 5 黒褐色土) ローム粒多量を含む
- 6 赤褐色土) 焼土層
- 7 赤褐色土) *

第112図 H45号住居址カマド実測図



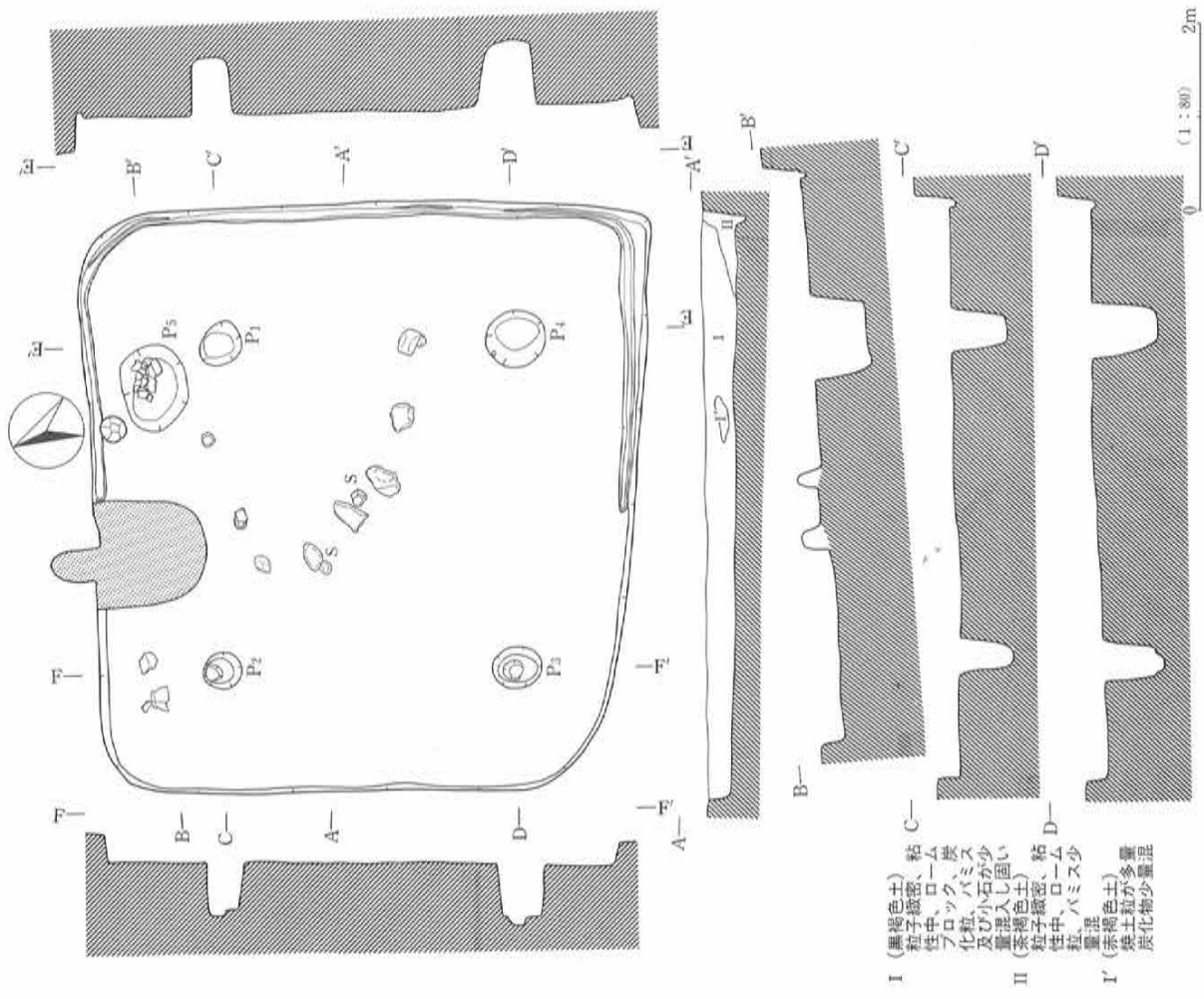
- 1 黒色土) ローム、焼土、炭化灰層を含む
- 2 赤褐色土) 焼土(10cmのブロック状)
- 3 黒褐色土) ローム少量、炭化、焼土、灰層を含む

第117図 H48号住居址カマド実測図

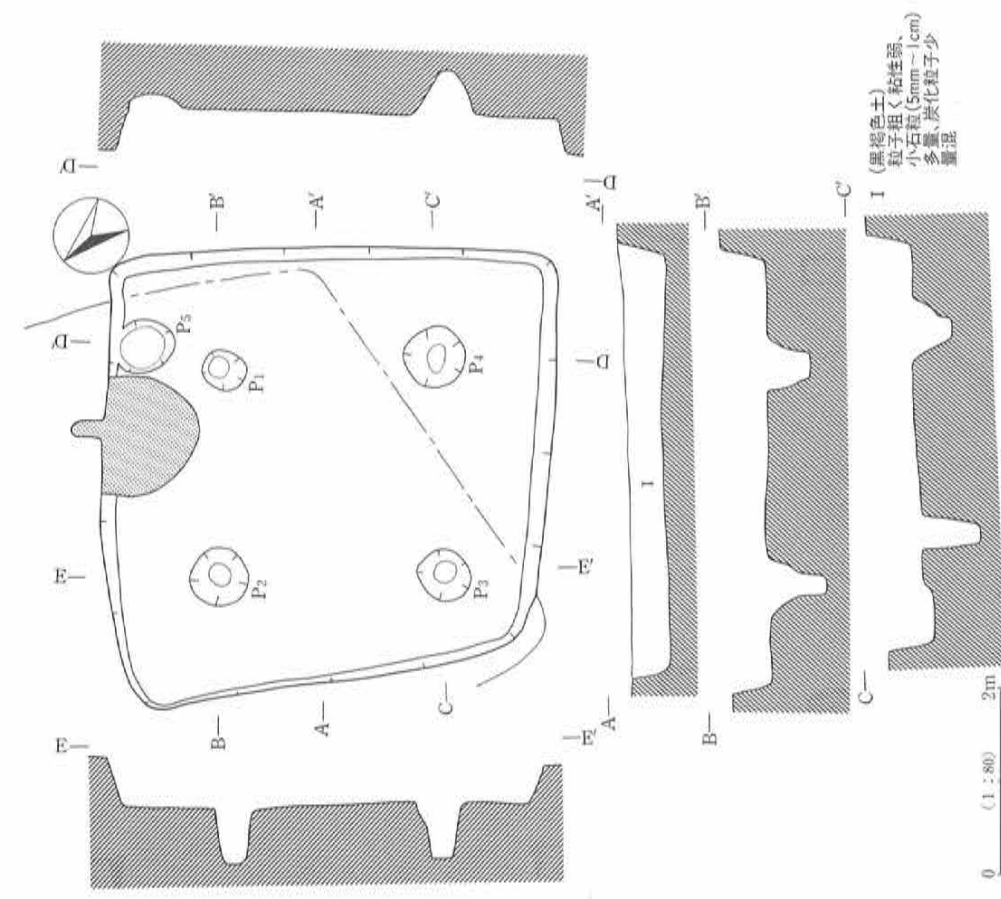


第115図 H47号住居址実測図

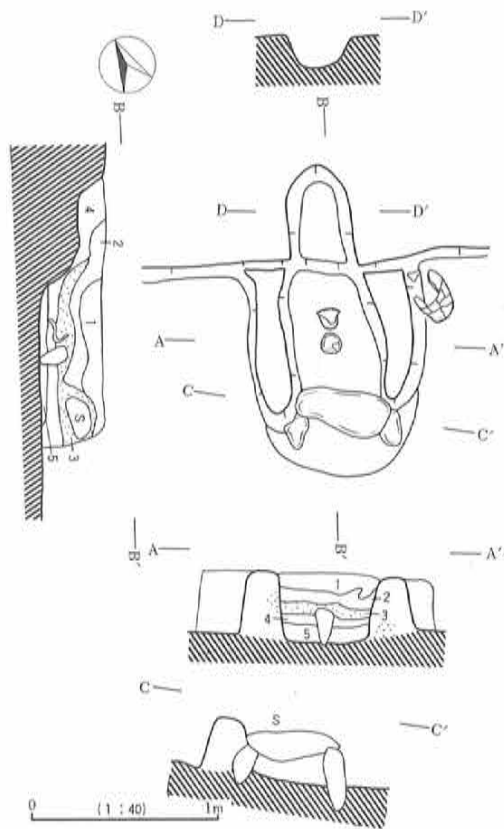
第116図 H48号住居址実測図



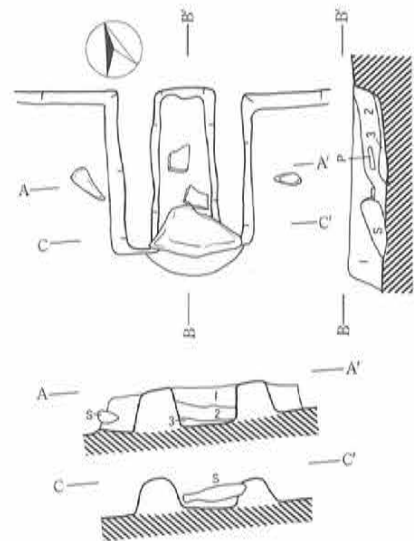
第119図 H50号住居址実測図



第118図 H49号住居址実測図



- 1 (黒褐色土) 焼土, ローム含
- 2 (茶褐色土) 焼土, 炭化粒含
- 3 (赤褐色土) 焼土, 炭化粒含
- 4 (褐色土) 焼土, ローム含
- 5 (黄褐色土)

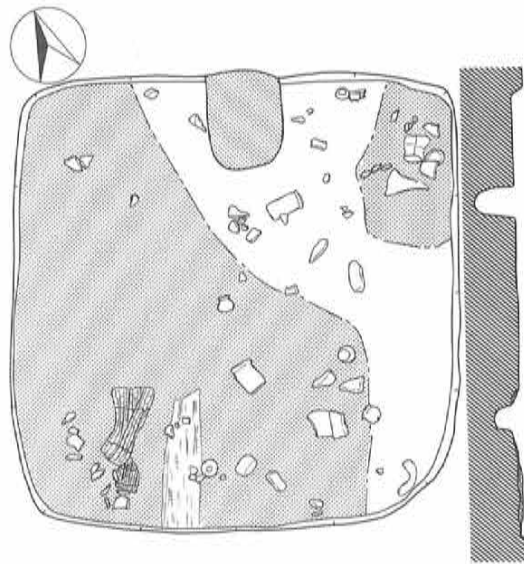


- 1. (暗黄褐色土) 焼土少量含
- 2. (茶褐色土) 焼土多量含
- 3. (黒褐色土) 炭化物多量含

0 (1:40) 1m

第122図 H51号住居址カマド実測図

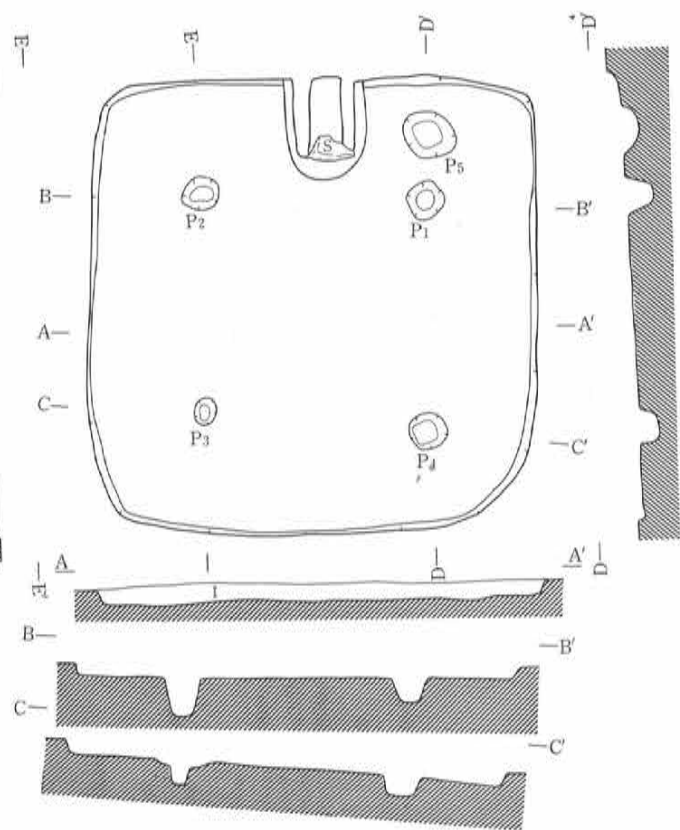
第120図 H50号住居址カマド実測図

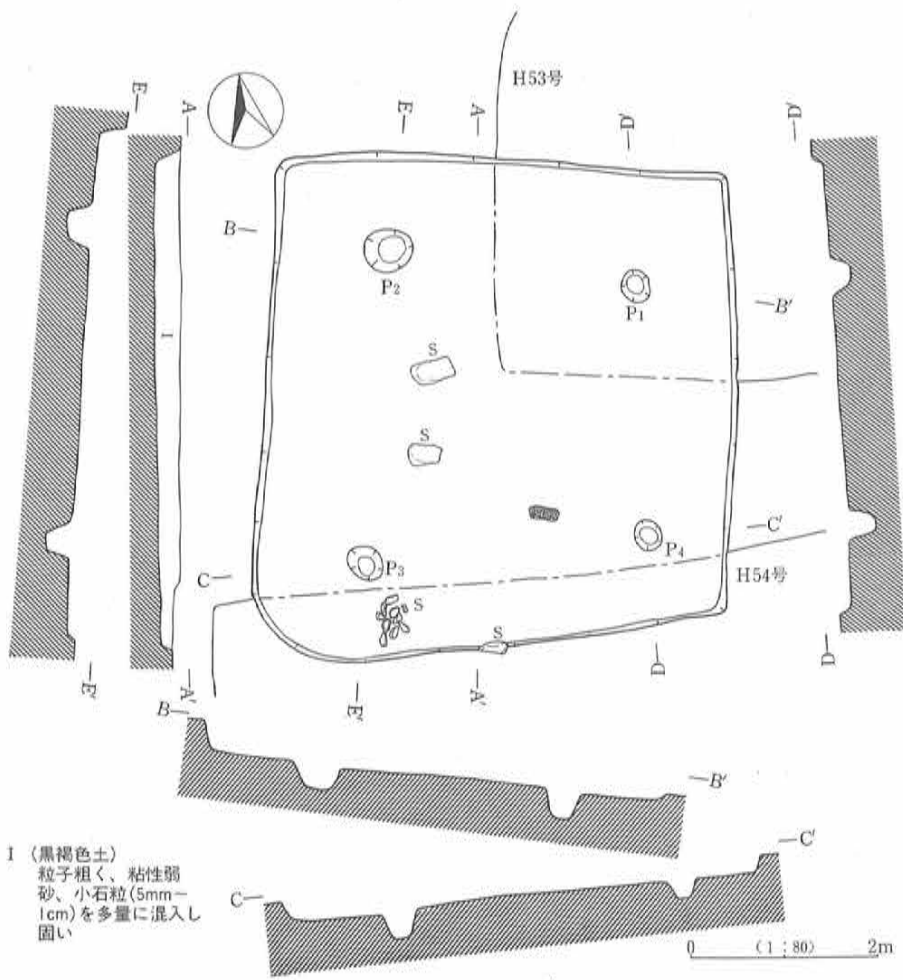


I (暗褐色土) 粒子緻密、粘性強、炭化物多量、ロームブロック(2cm大)少量混

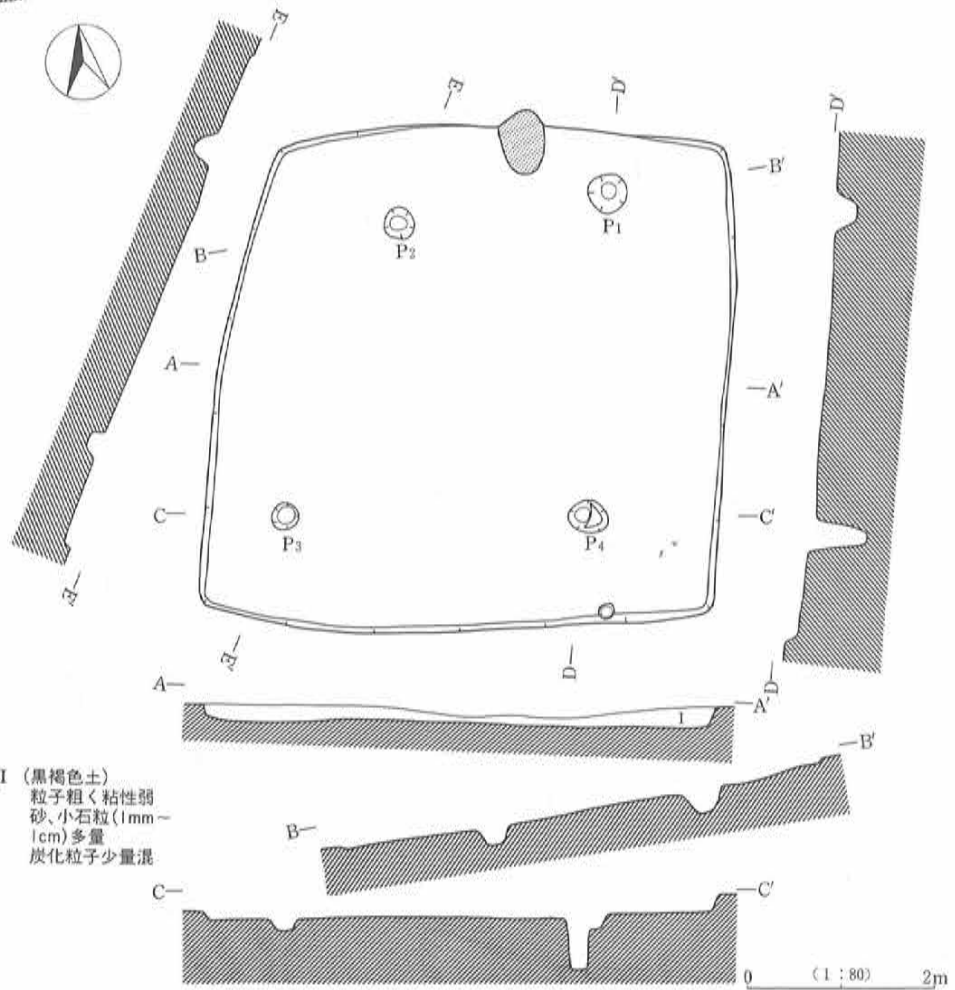
0 (1:80) 2m

第121図 H51号住居址実測図

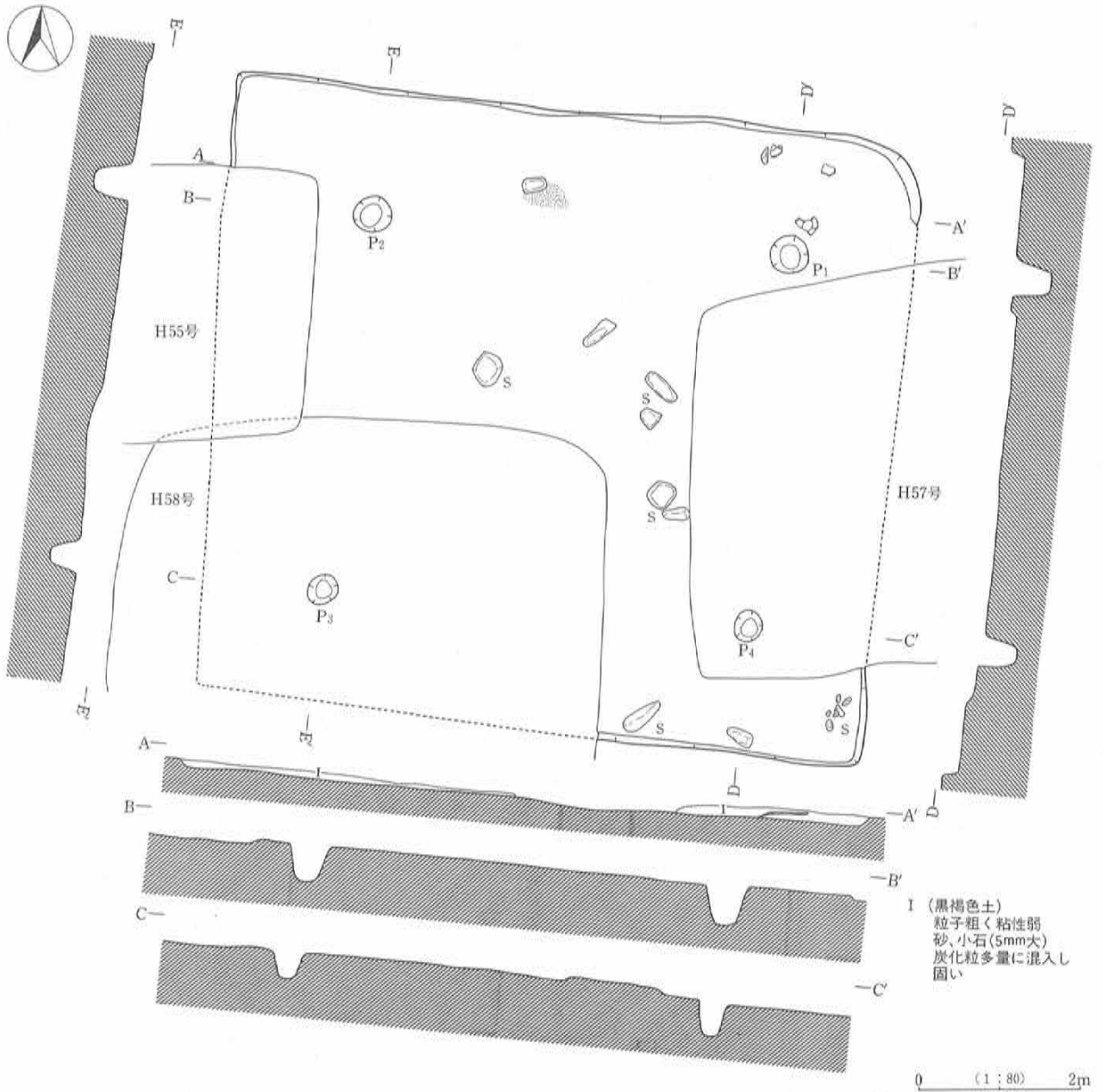




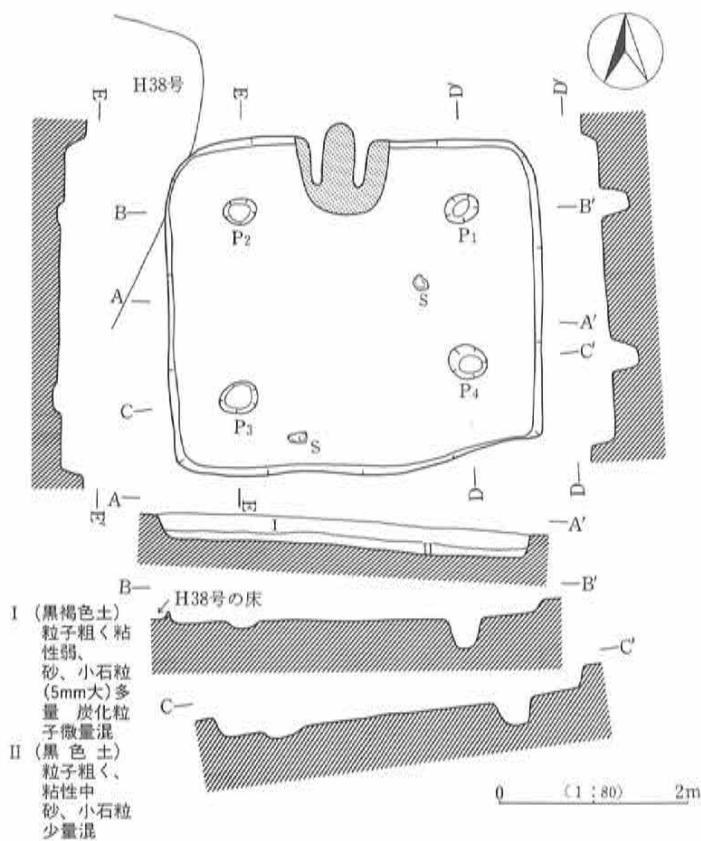
第123図 H52号住居址実測図



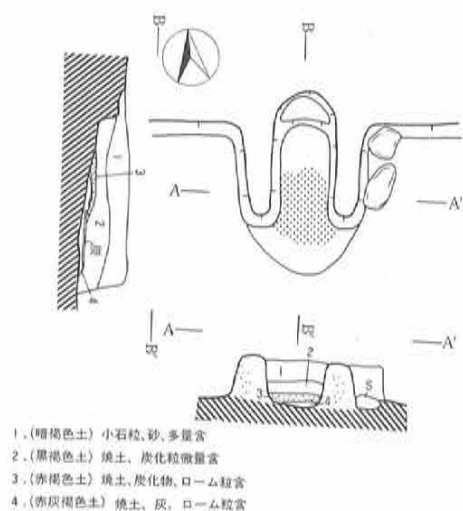
第124図 H53号住居址実測図



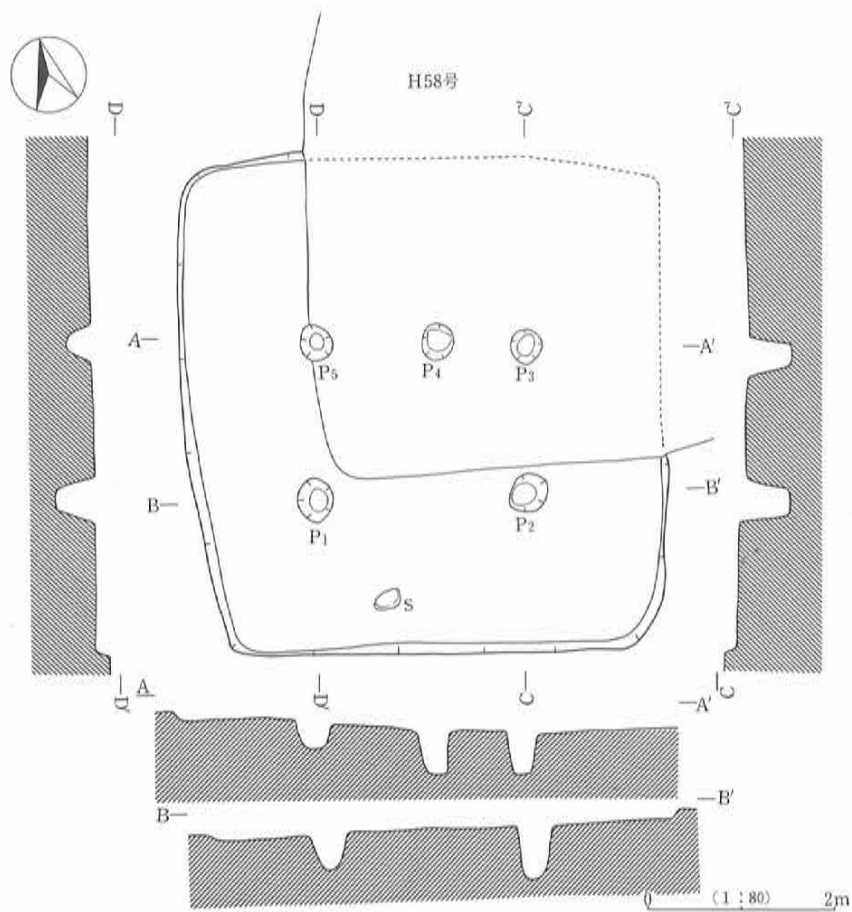
第125図 H54号住居址実測図



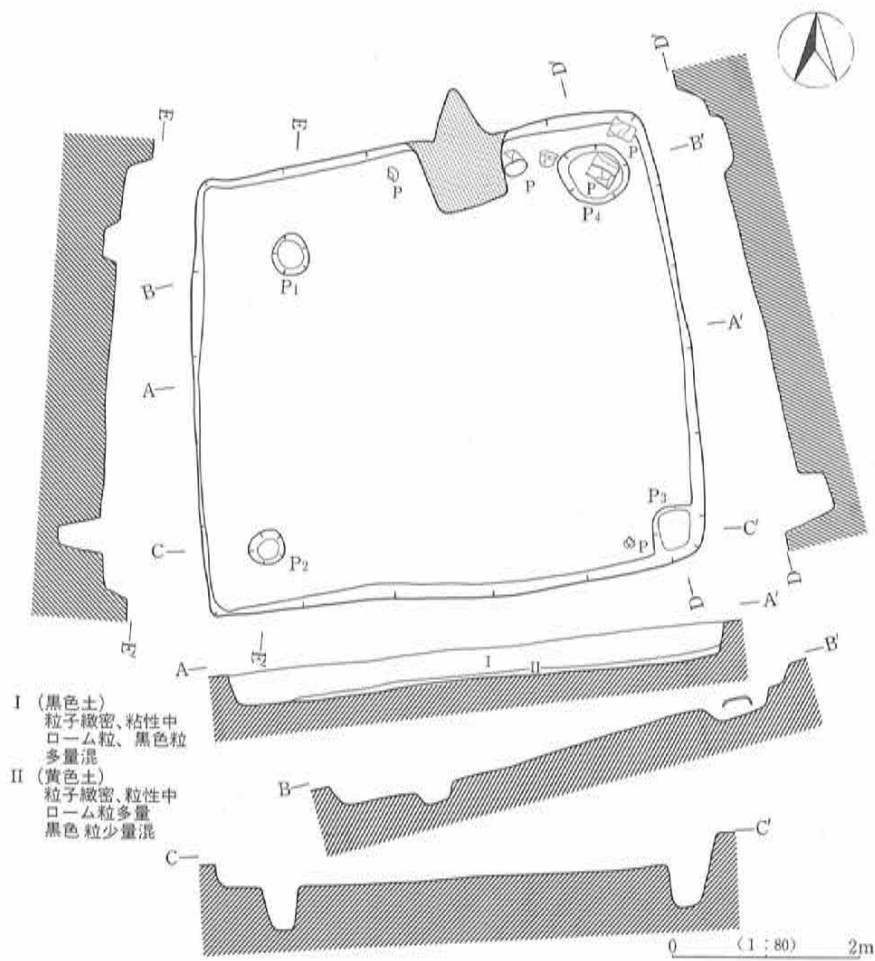
第126図 H55号住居址実測図



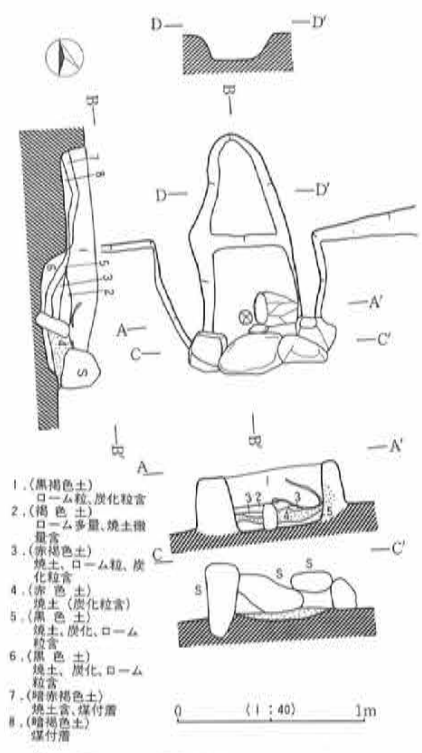
第127図 H55号住居址カマド実測図



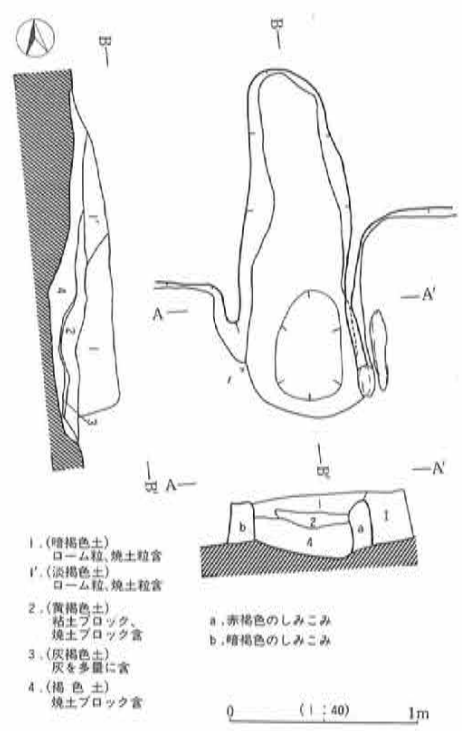
第128図 H56号住居址実測図



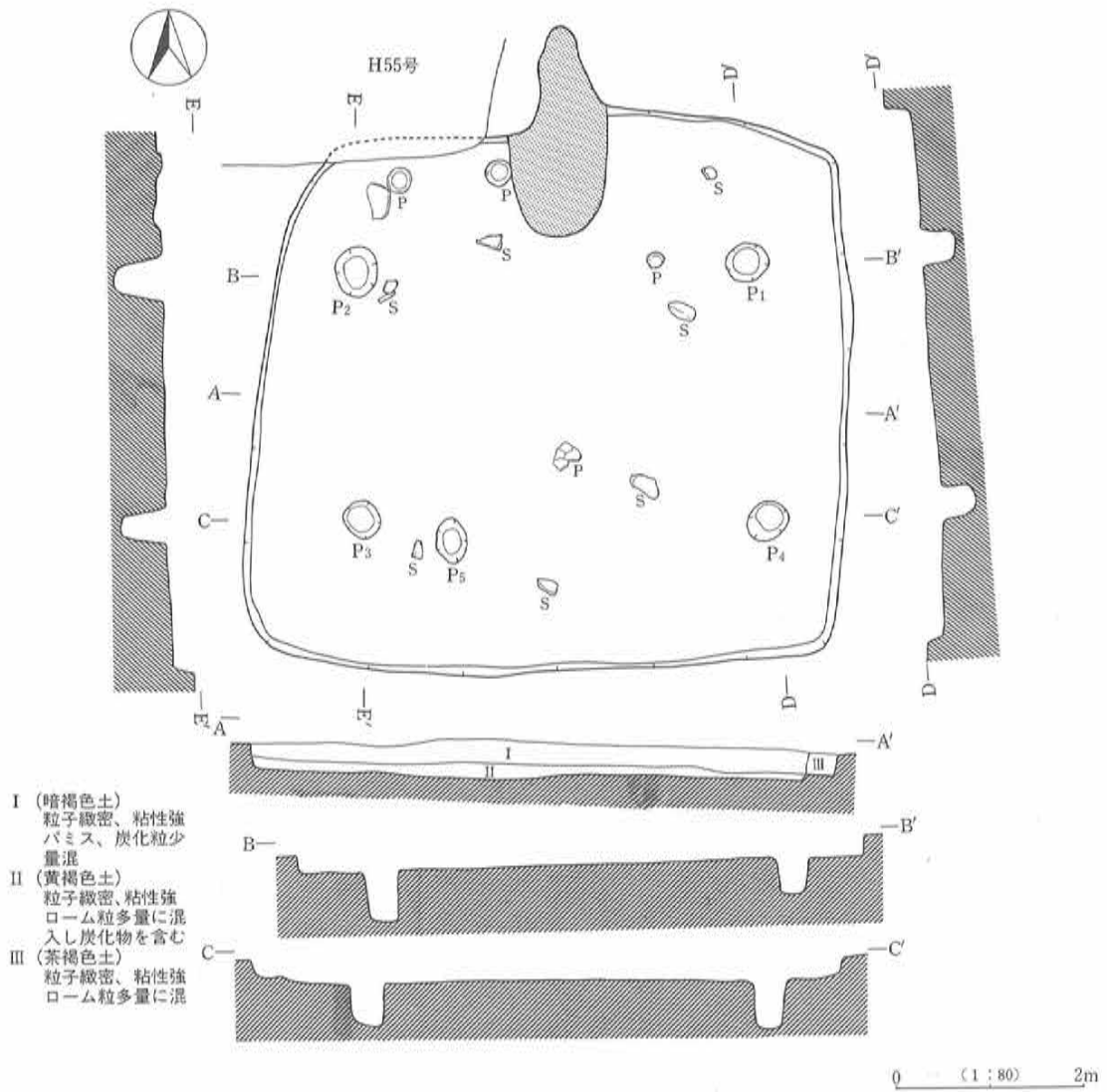
第129図 H57号住居址実測図



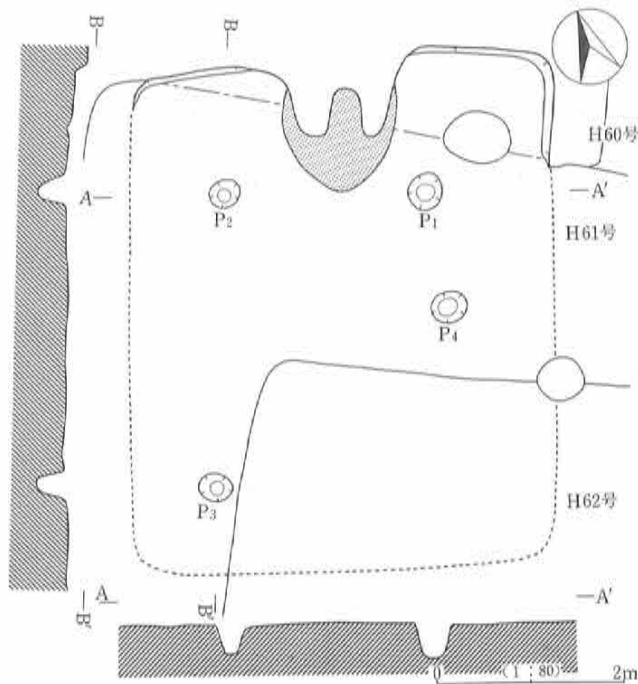
第130図 H57号住居址カマド実測図



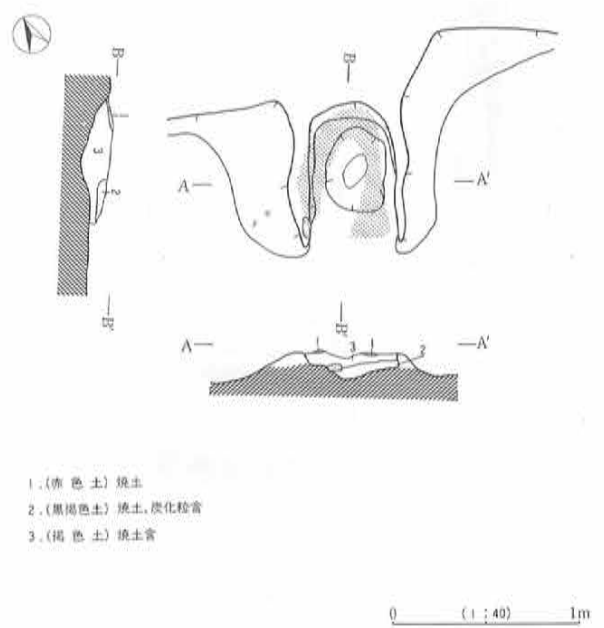
第132図 H58号住居址カマド実測図



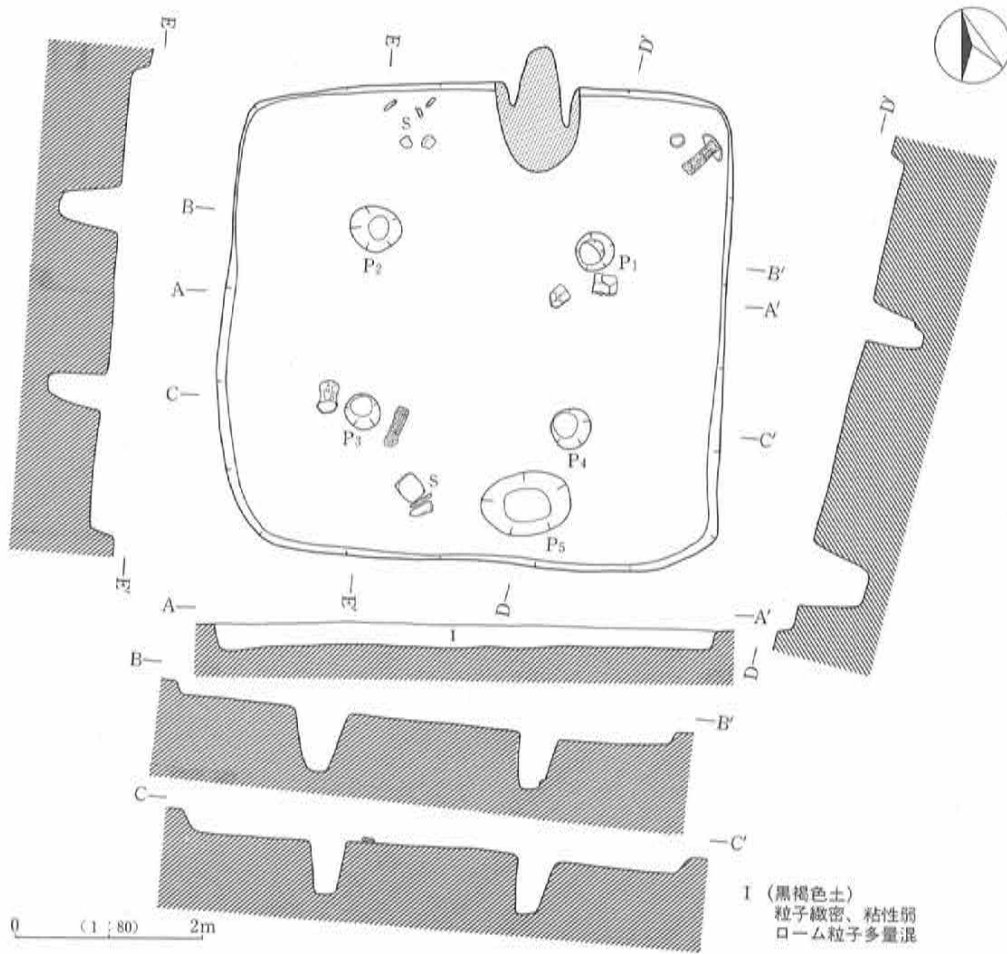
第131図 H58号住居址実測図



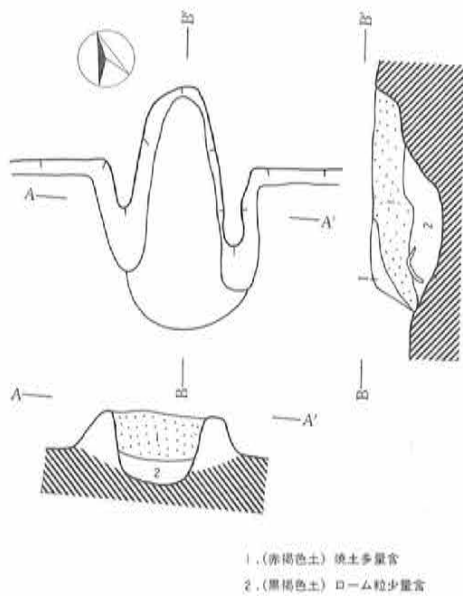
第133図 H59号住居址実測図



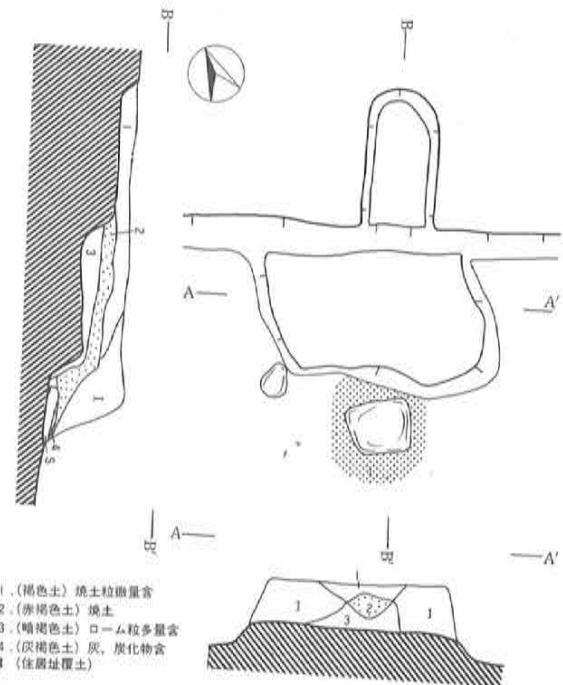
第134図 H59号住居址カマド実測図



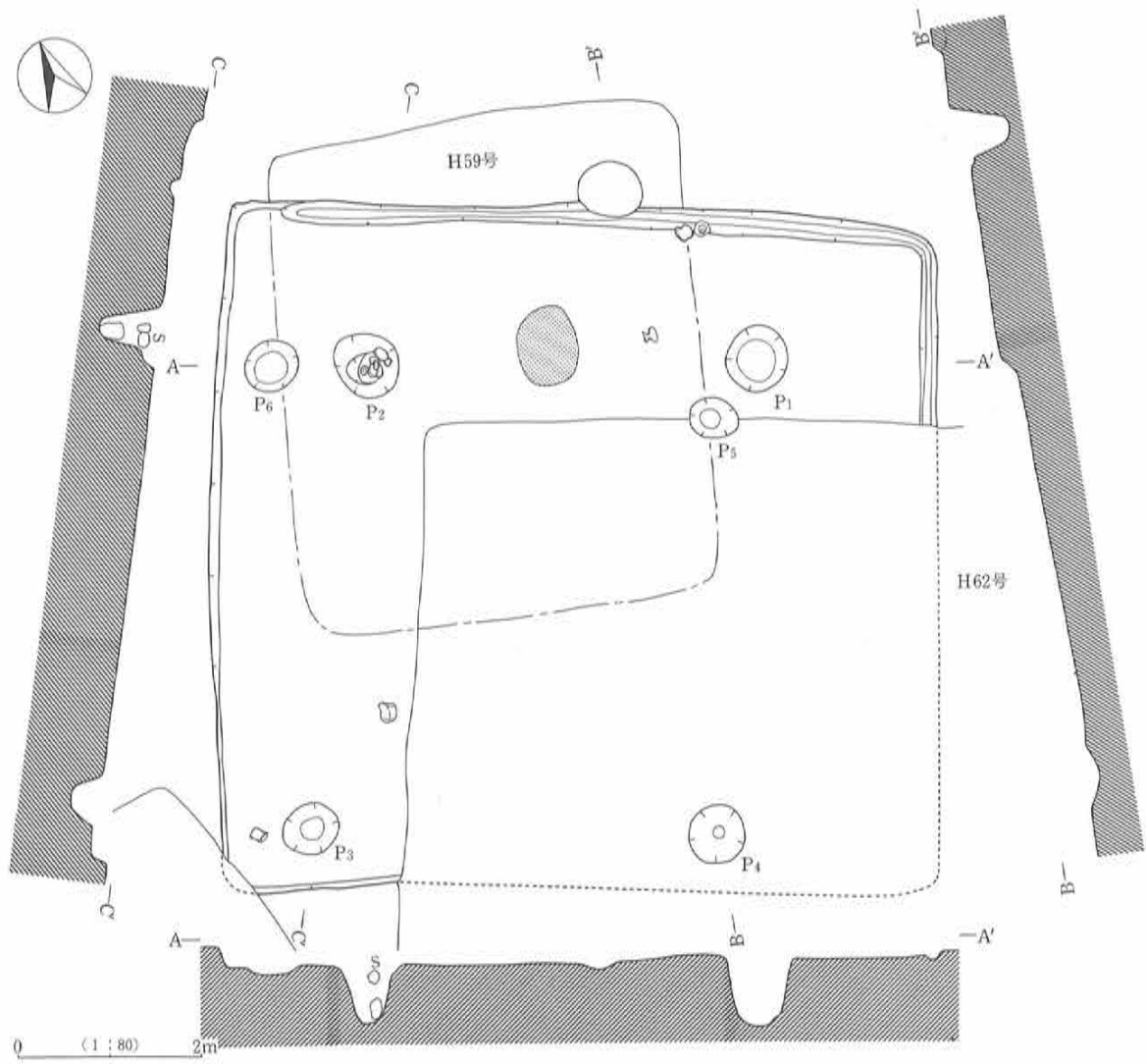
第135図 H60号住居址実測図



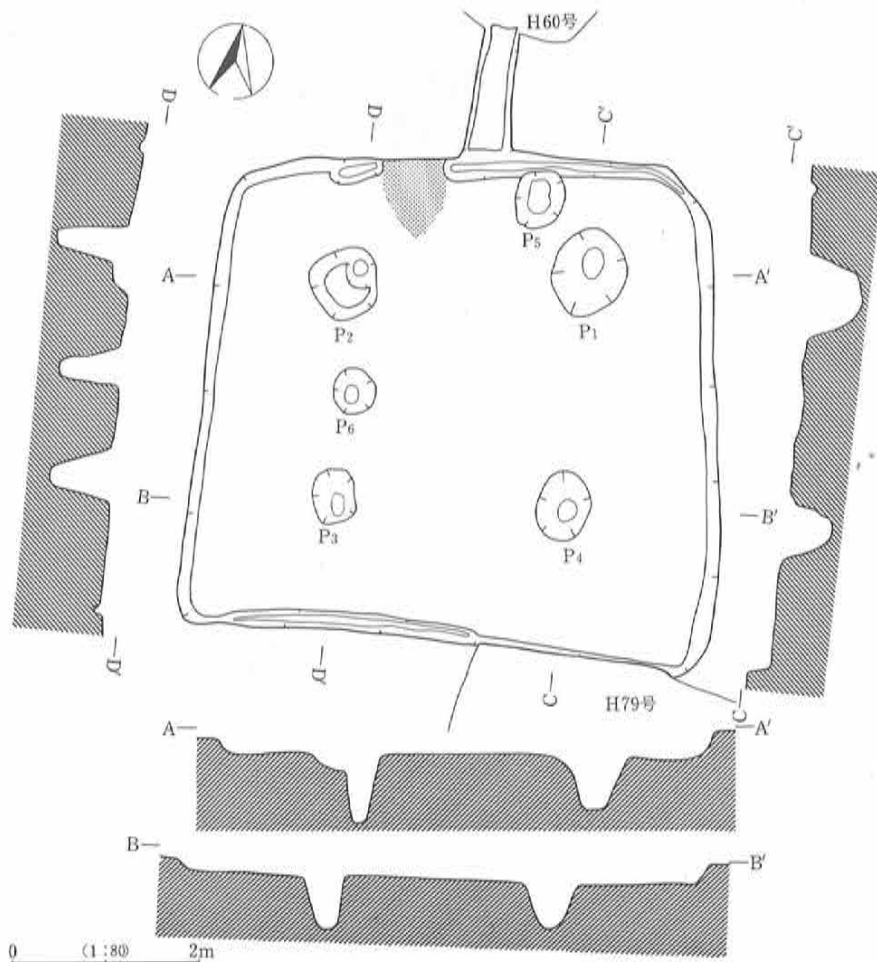
第136図 H60号住居址カマド実測図



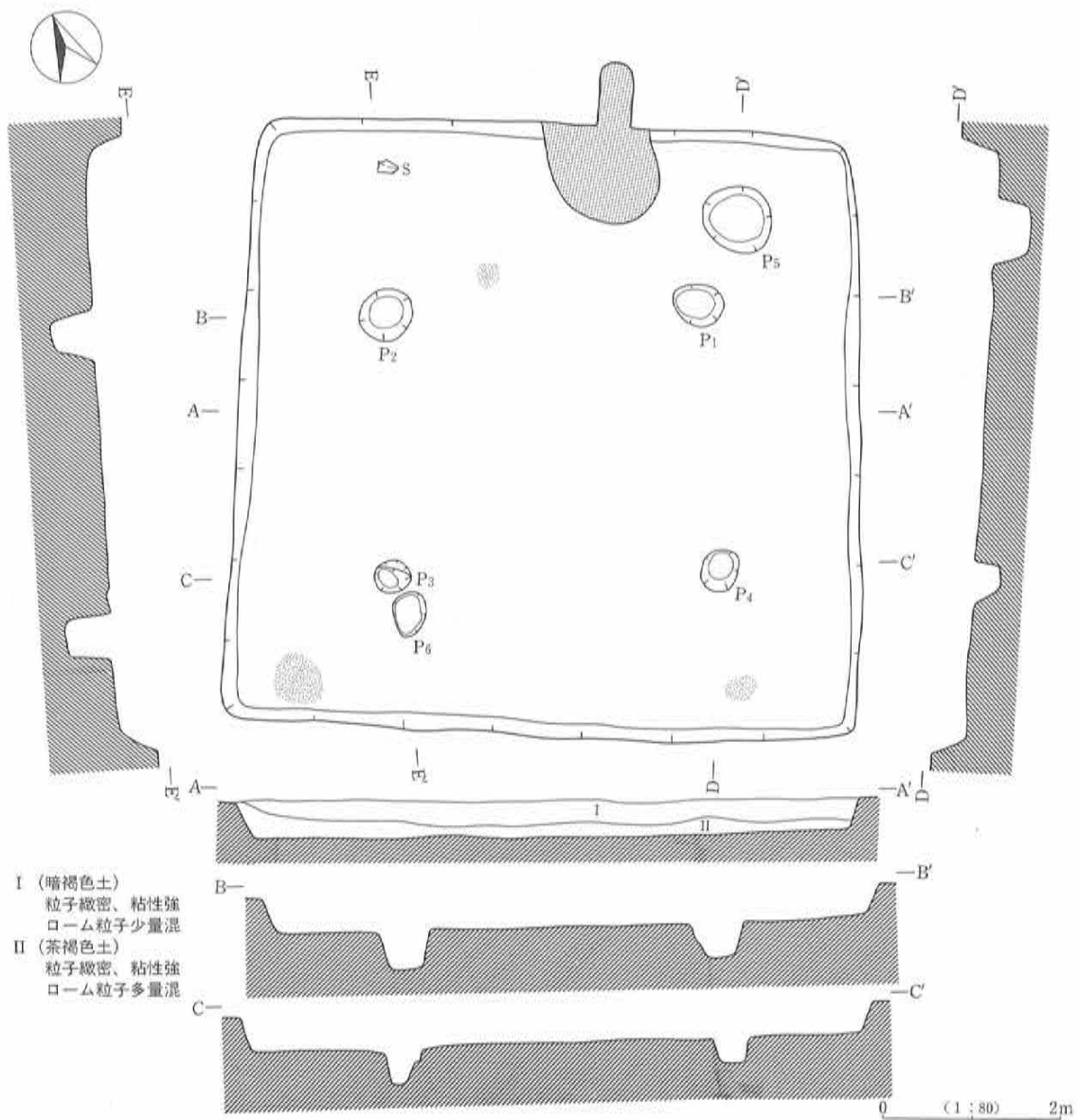
第139図 H62号住居址カマド実測図



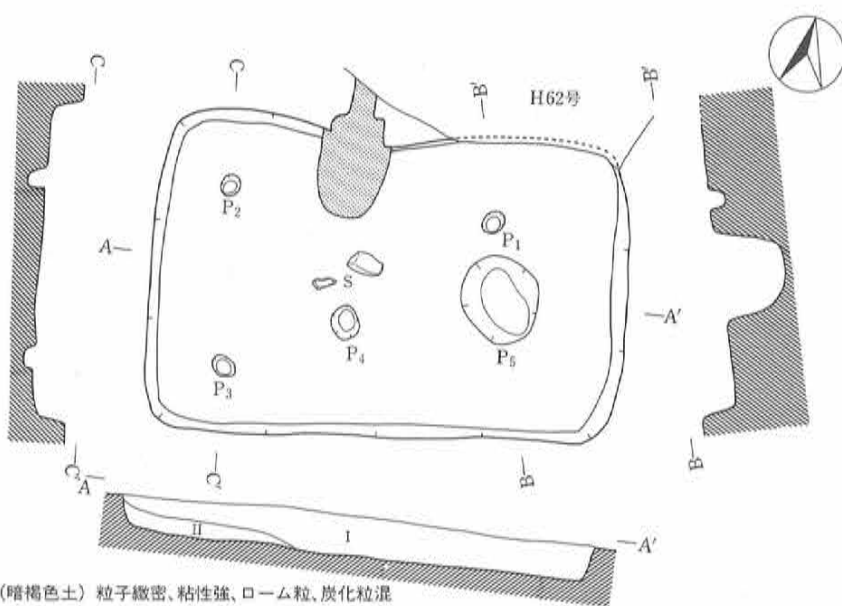
第137图 H61号住居址实测图



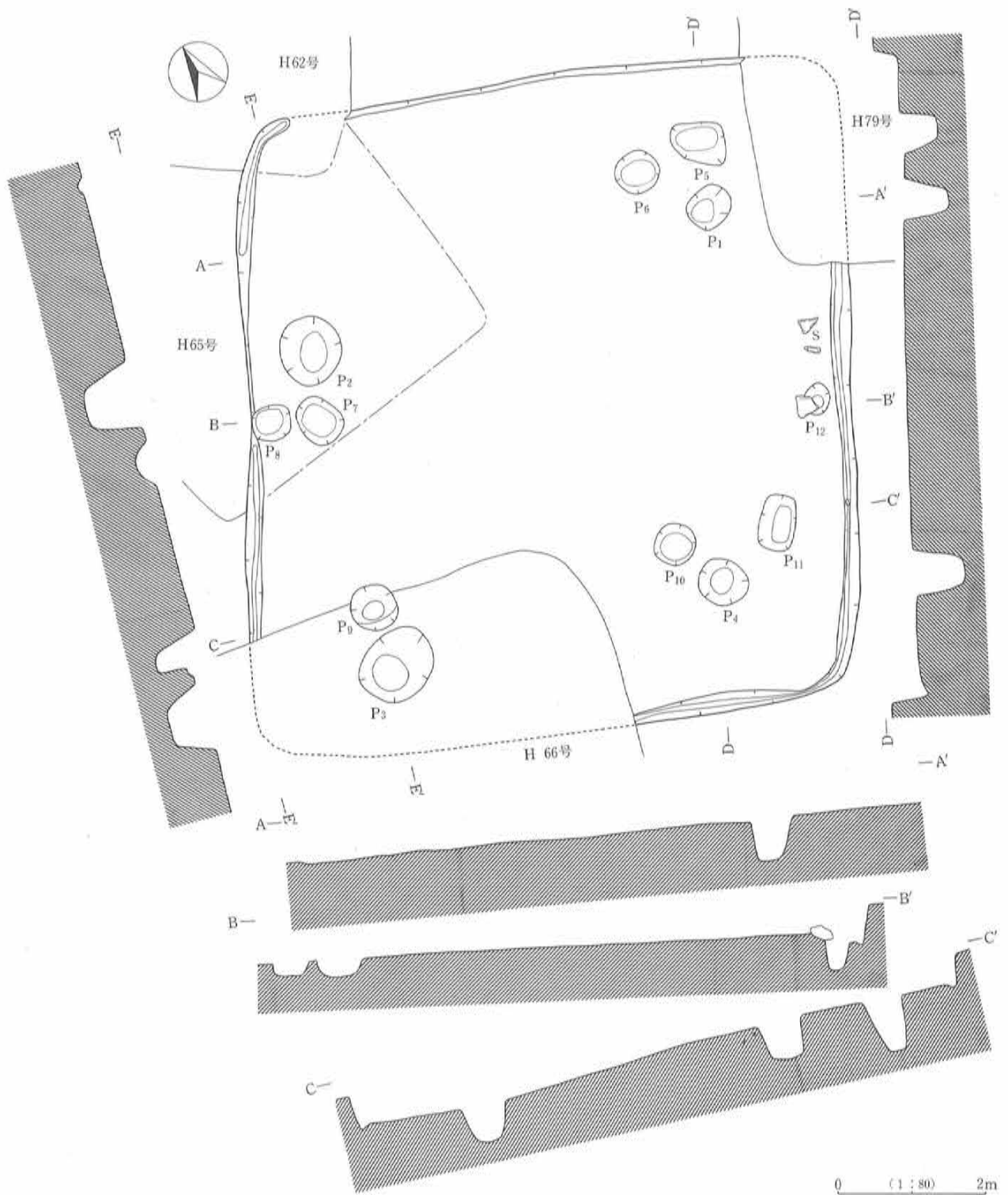
第140图 H63号住居址实测图



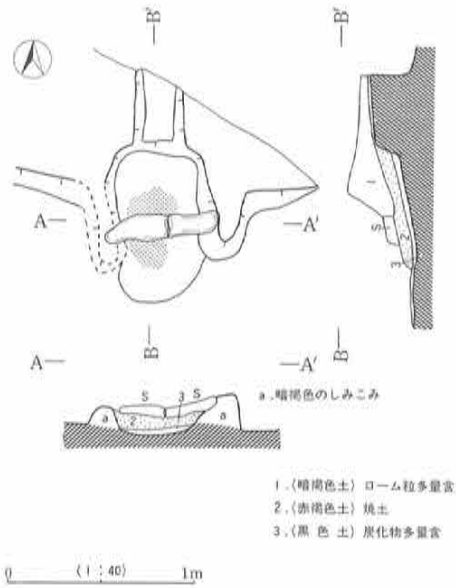
第138図 H62号住居址実測図



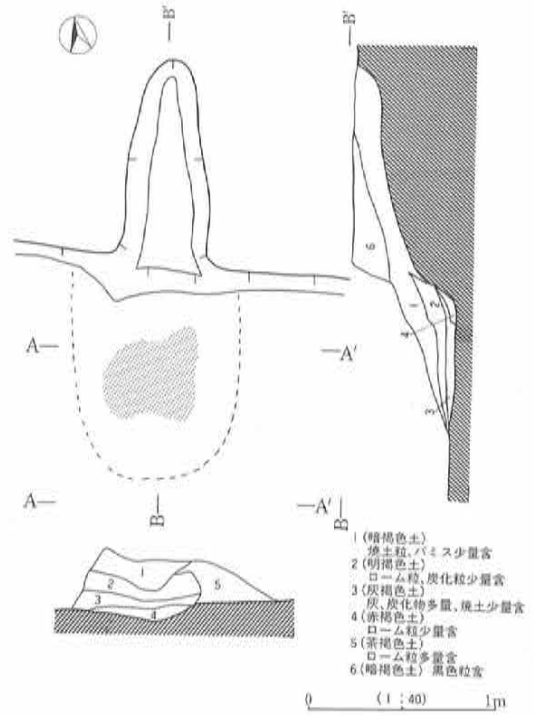
第142図 H65号住居址実測図



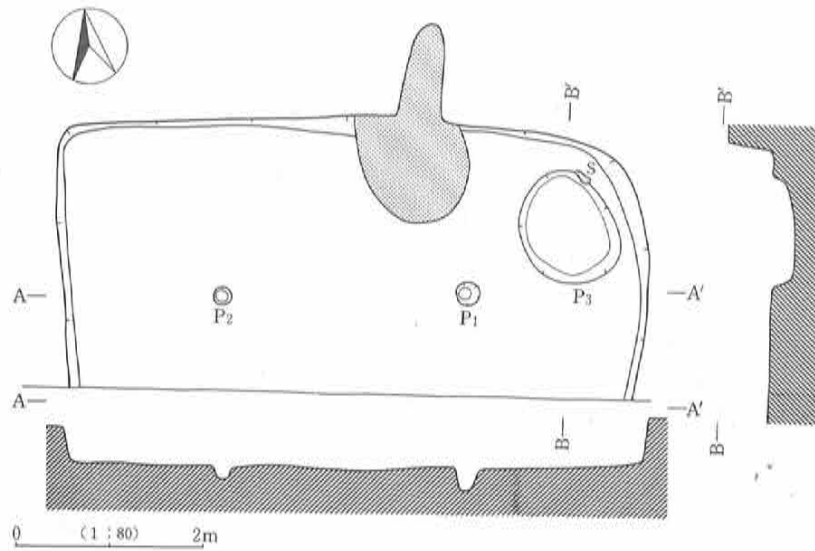
第141图 H64号住居址实测图



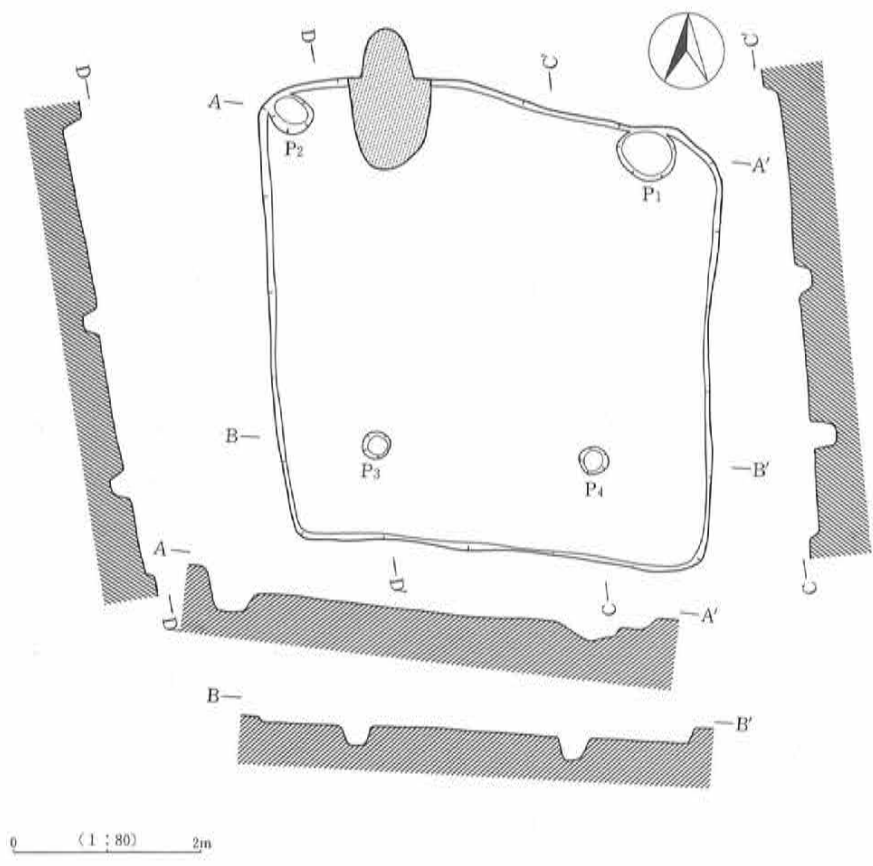
第143図 H65号住居址カマド実測図



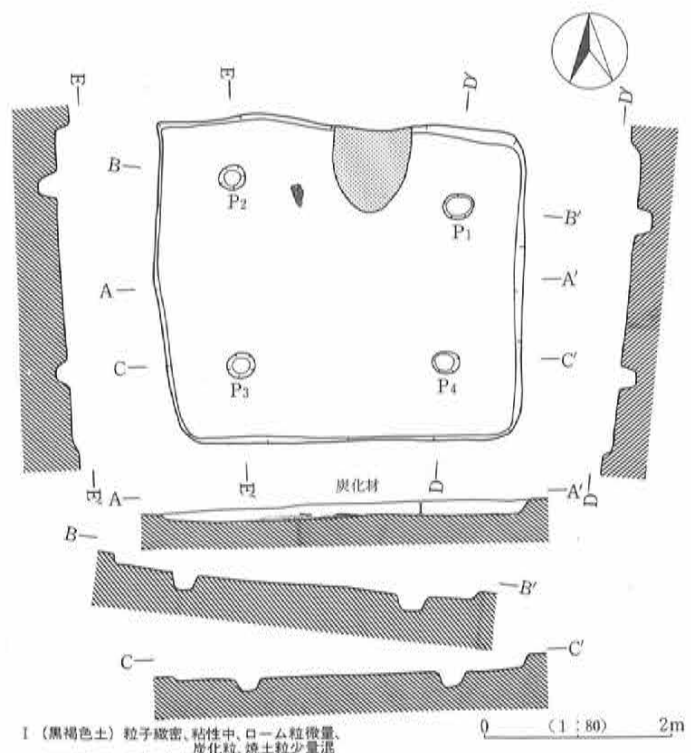
第145図 H66号住居址カマド実測図



第144図 H66号住居址実測図

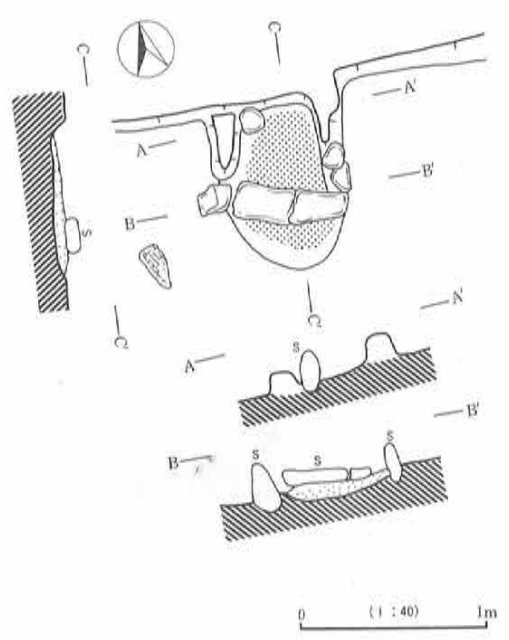


第146图 H67号住居址实测图

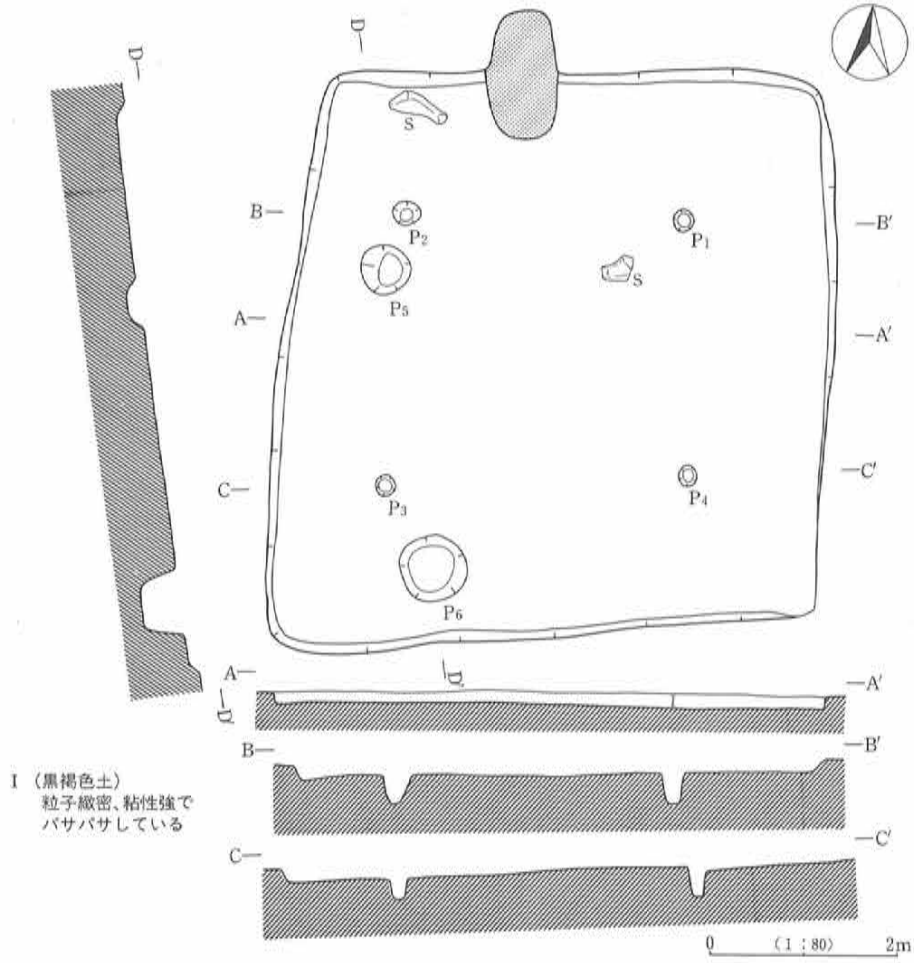


I (黑褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム粒微量、炭化粒、焼土粒少量混

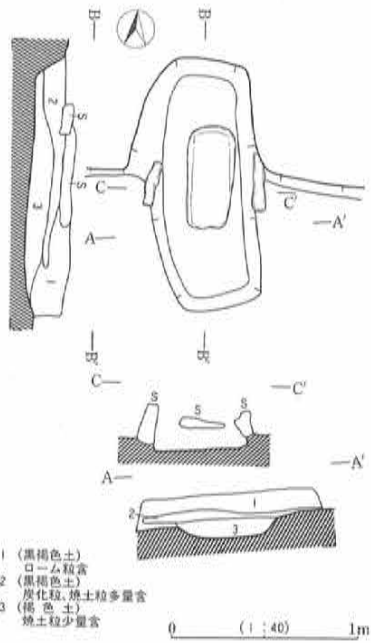
第147图 H68号住居址实测图



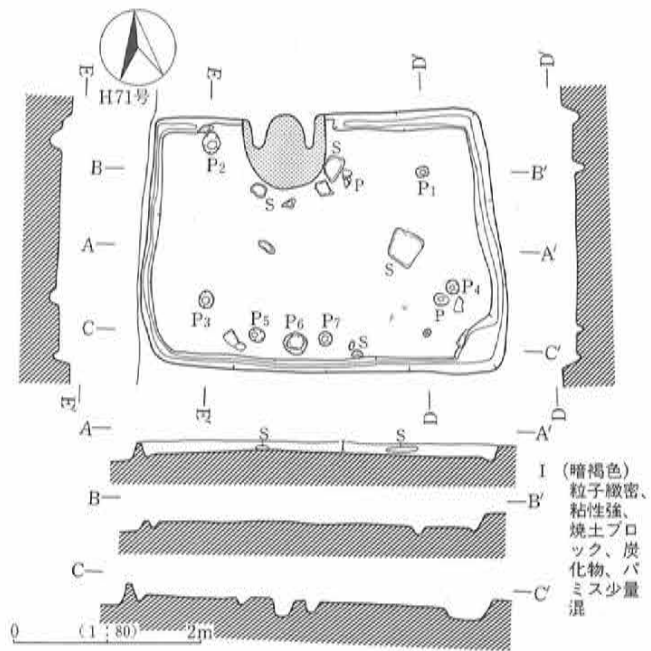
第148图 H68号住居址カマド实测图



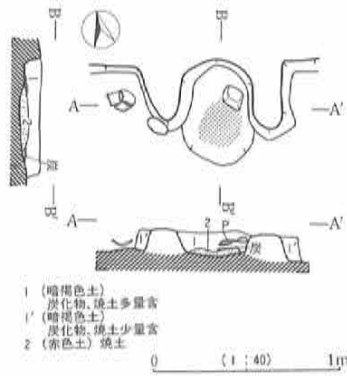
第149図 H69号住居実測図



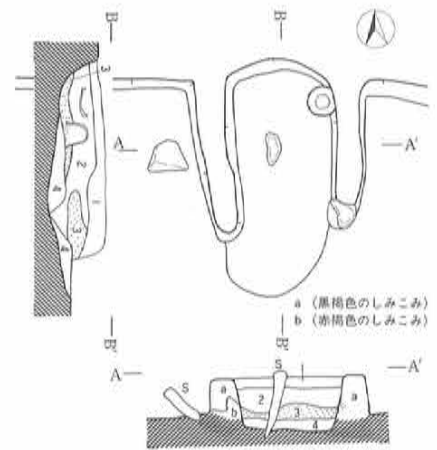
第150図 H69号住居址カマド実測図



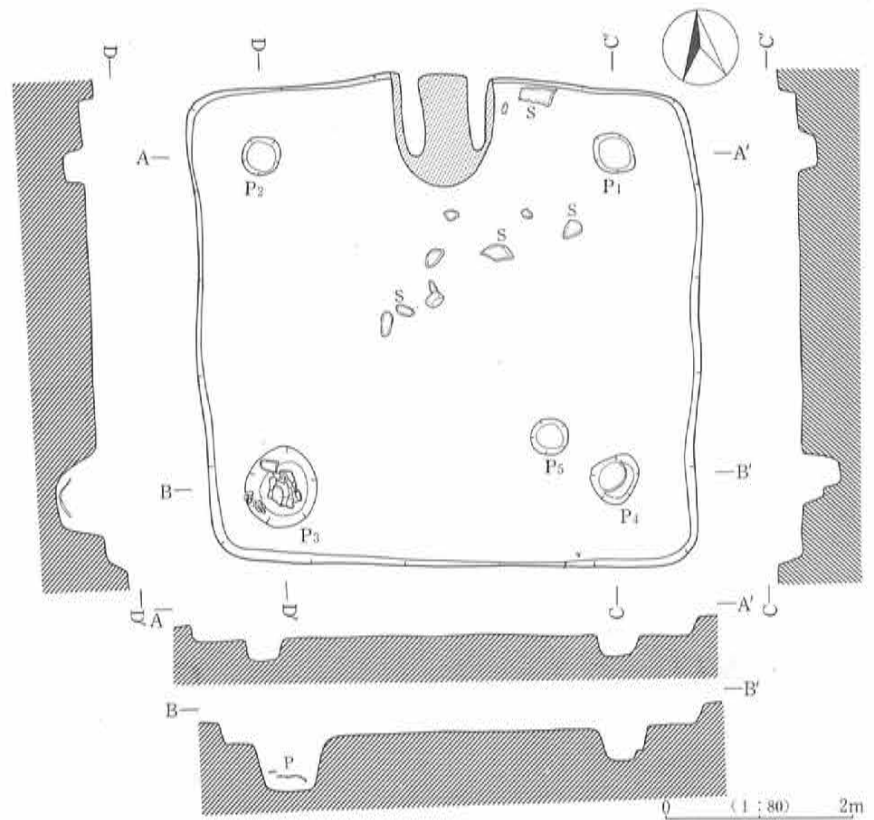
第151図 H70号住居実測図



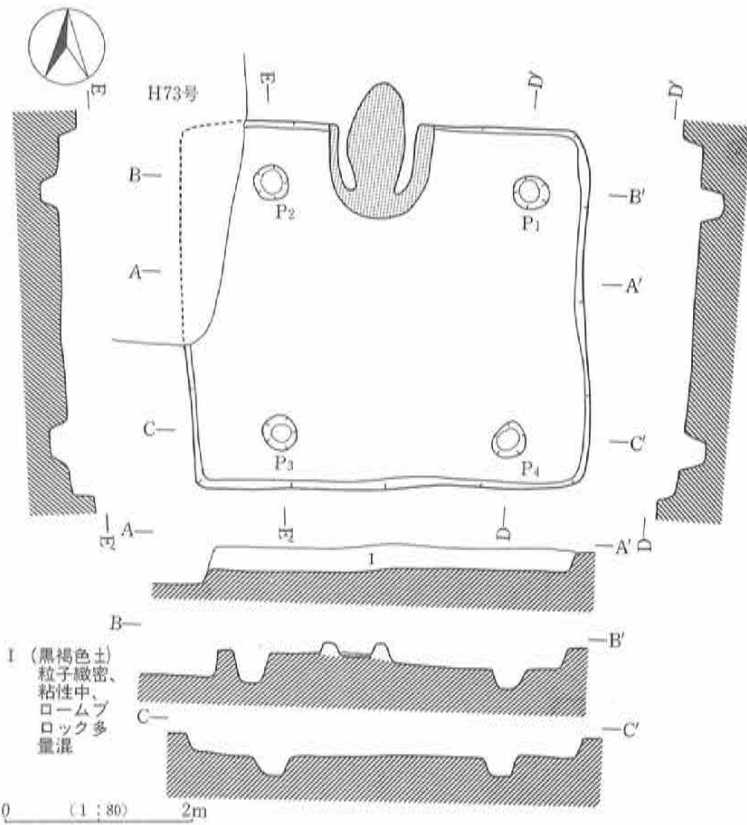
第152図 H70号住居址カマド実測図



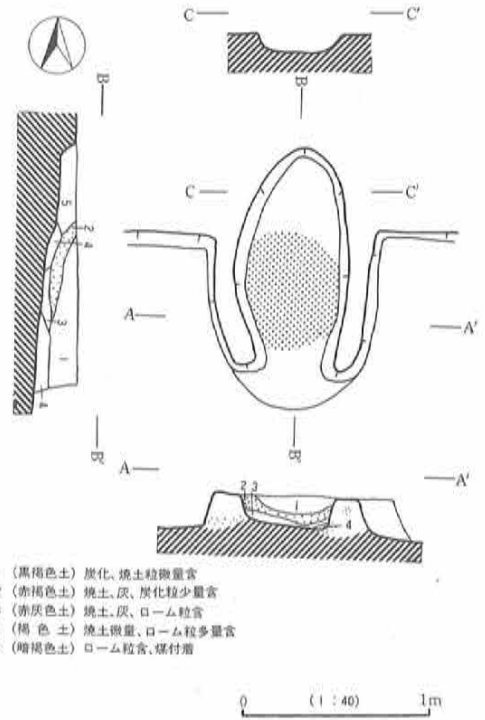
第154図 H71号住居址カマド実測図



第153図 H71号住居址実測図

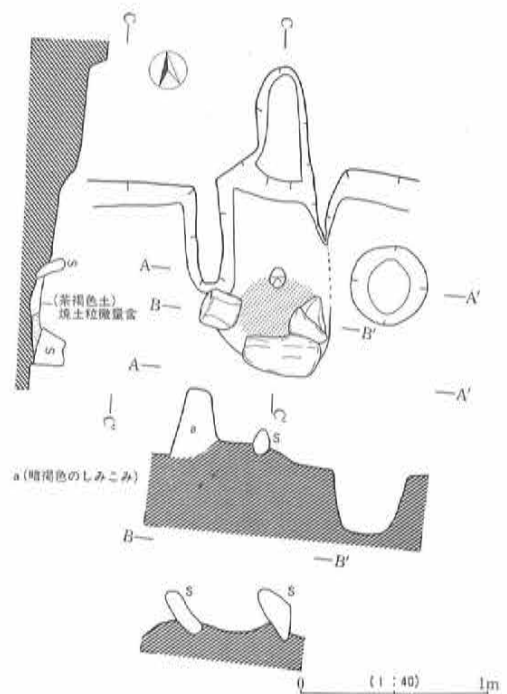
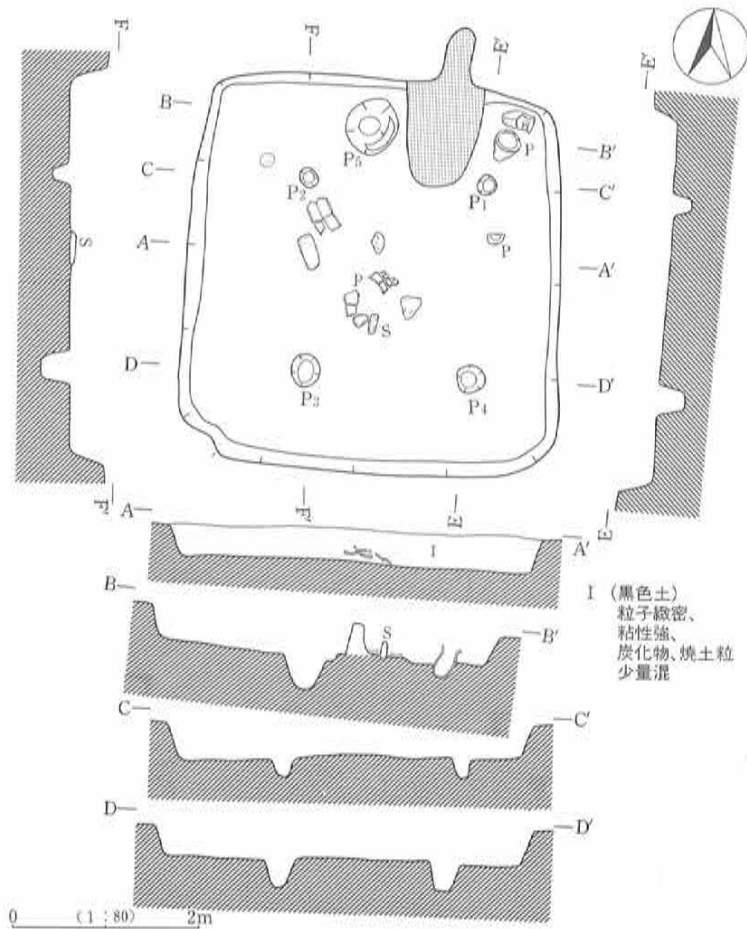


第157図 H73号住居址実測図

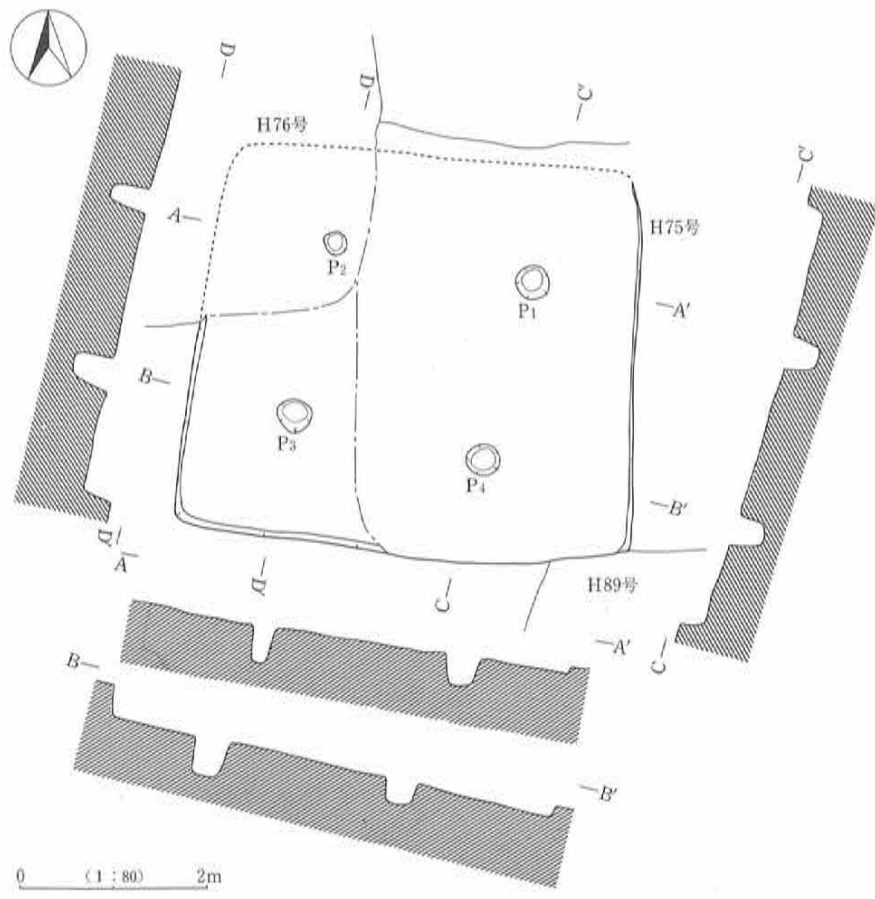


第156図 H72号住居址カマド実測図

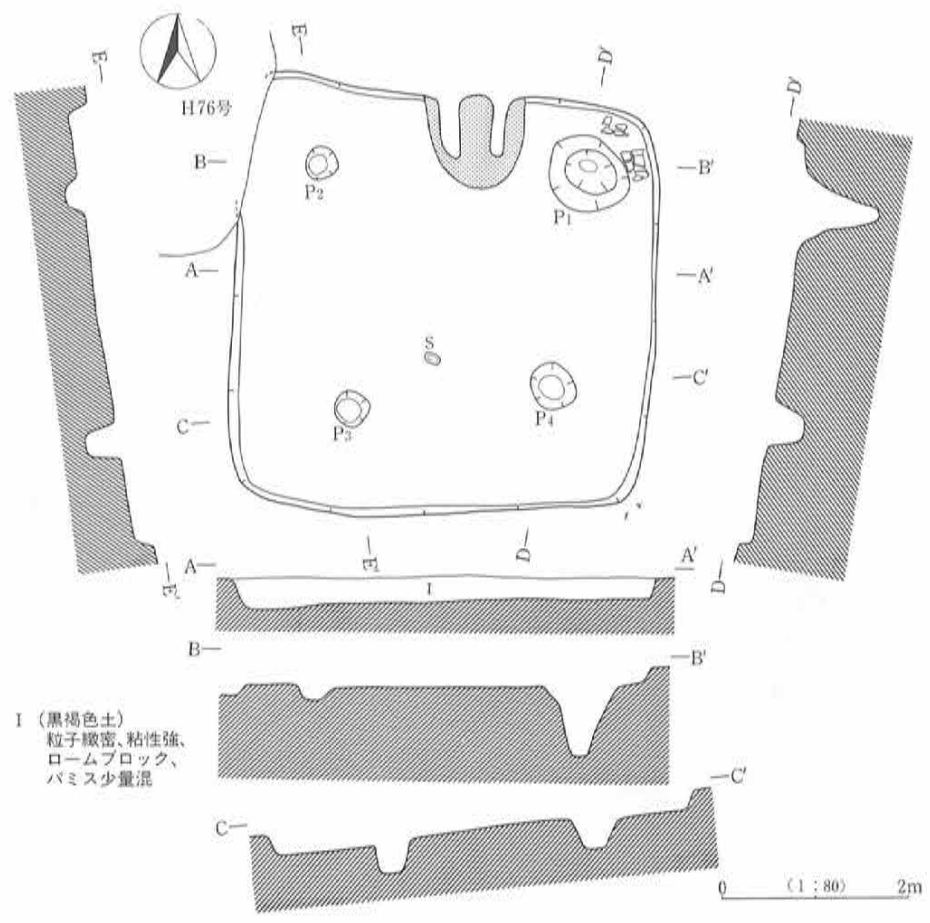
第155図 H72号住居址実測図



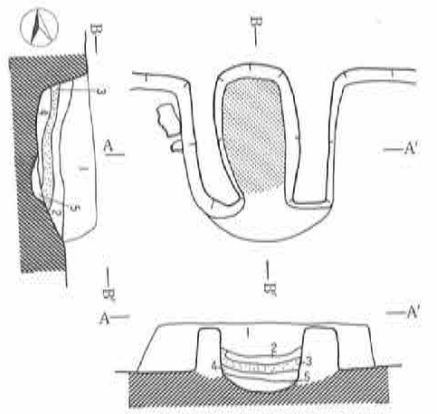
第158図 H73号住居址カマド実測図



第159図 H74号住居址実測図



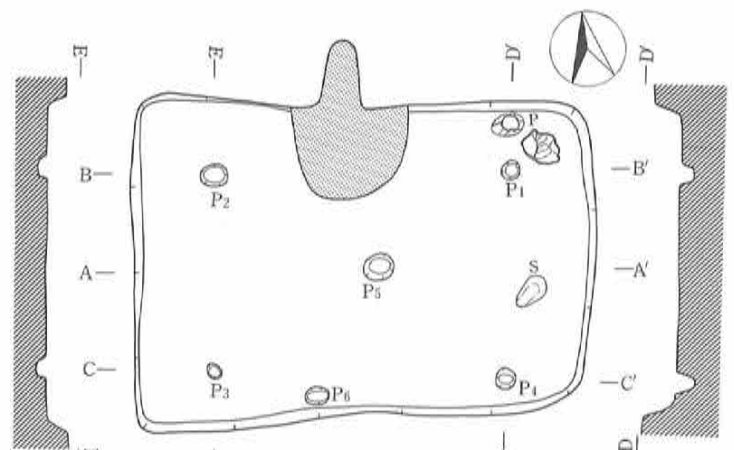
第160図 H75号住居址実測図



- 1 (黒褐色土) ローム粒多量含、炭化粒微量含
- 2 (黄褐色土) 灰、焼土、ローム粒少量含
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (茶褐色土) ローム粒少量含
- 5 (赤褐色土) 赤色のやけこみ

0 (1:40) 1m

第161図 H75号住居址カマド実測図

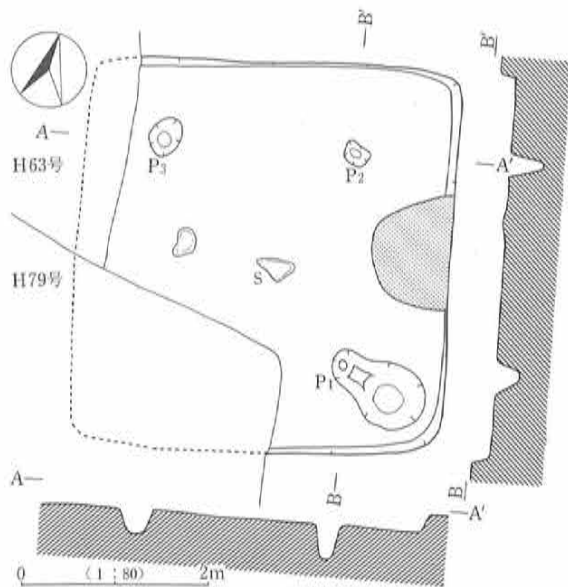


- I (黒褐色土)
粒子緻密、粘性中、砂、ローム粒、炭化粒少量混

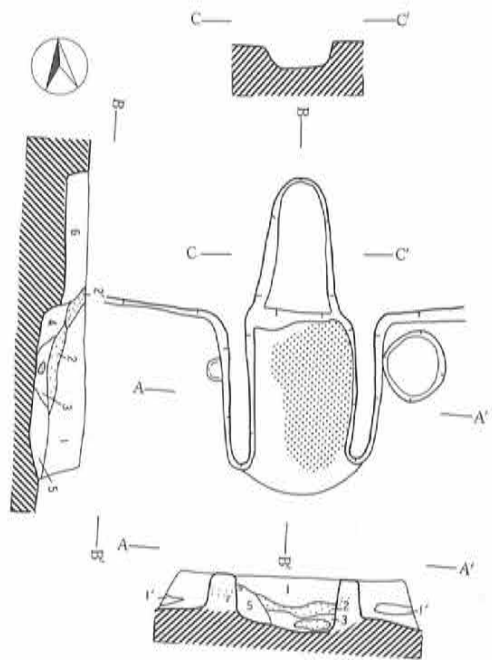
- II (明黒褐色土)
粒子緻密、粘性中、砂、ロームブロック少量、炭化物多量混

0 (1:80) 2m

第162図 H76号住居址実測図



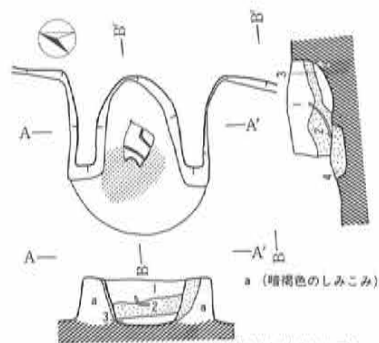
第164図 H77号住居址実測図



- 1 (黒色土) 炭化、焼土、ローム粒含
- 1' (赤褐色土) 焼土、炭化物含
- 2 (赤黄色土) 焼土(黄色の5mm-1cm大のブロック)
- 2' (赤色土) 焼土(赤色の2-3cm大のブロック)
- 3 (赤灰色土) 焼土、灰多量含
- 4 (暗褐色土) 焼土、ローム、炭化物含
- 5 (黒褐色土) 焼土、炭化、ローム粒含
- 6 (褐色土) 煤、微量付着

0 (1:40) 1m

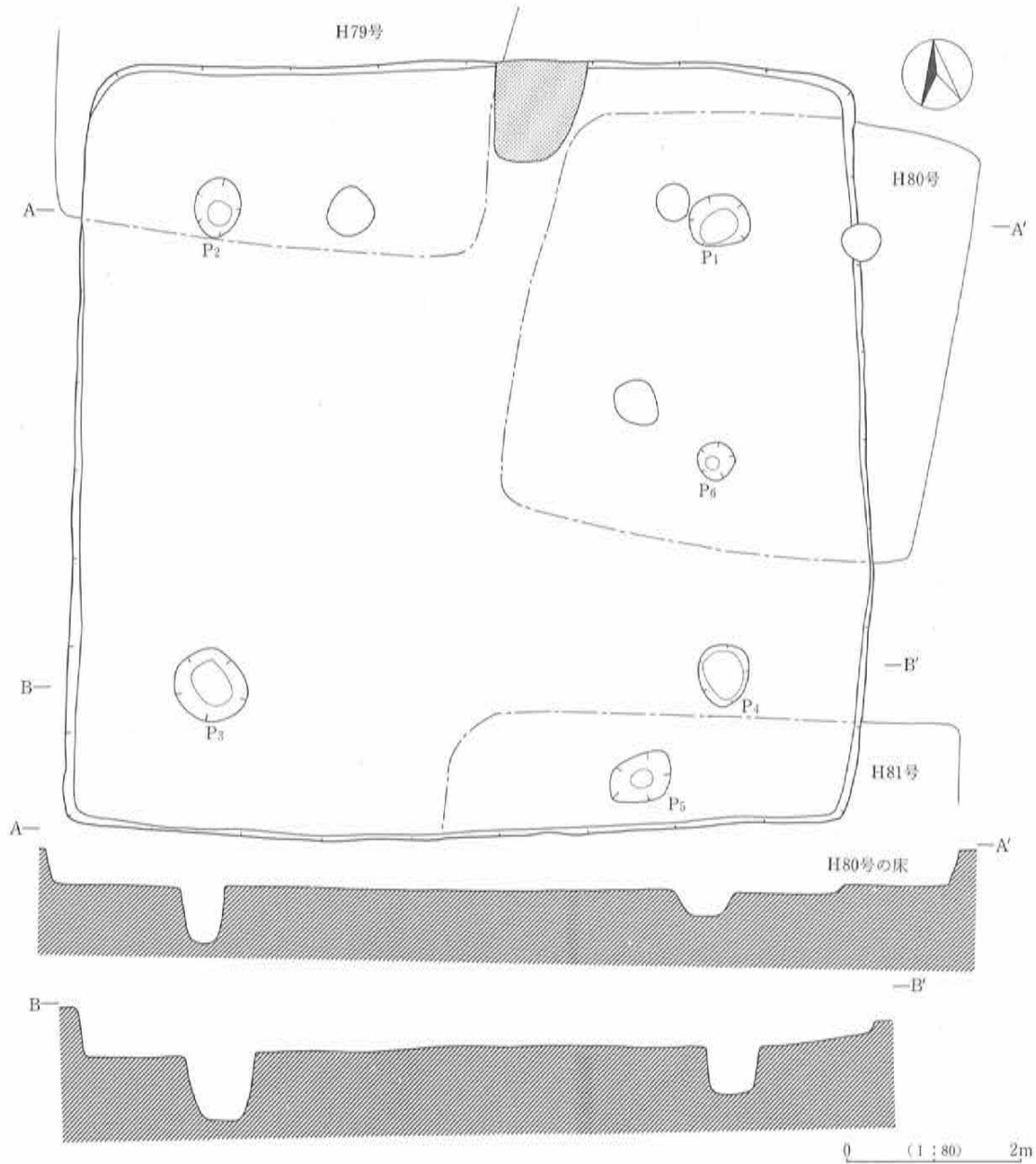
第163図 H76号住居址カマド実測図



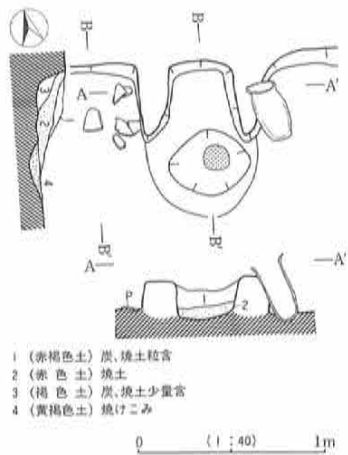
- 1 (暗褐色土) 炭化物少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土
- 3 (黄褐色土) 炭化物微量含
- 4 (褐色土) 焼けこみ

0 (1:40) 1m

第165図 H77号住居址カマド実測図

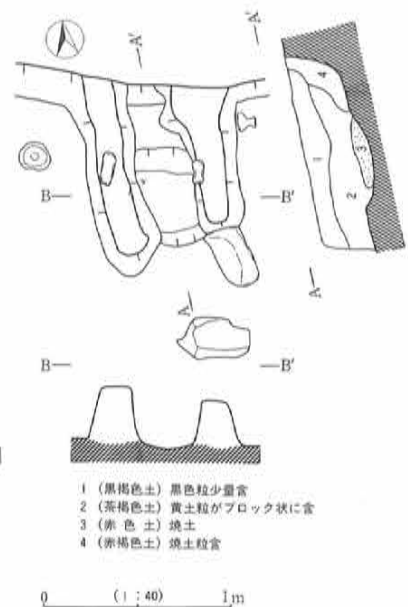


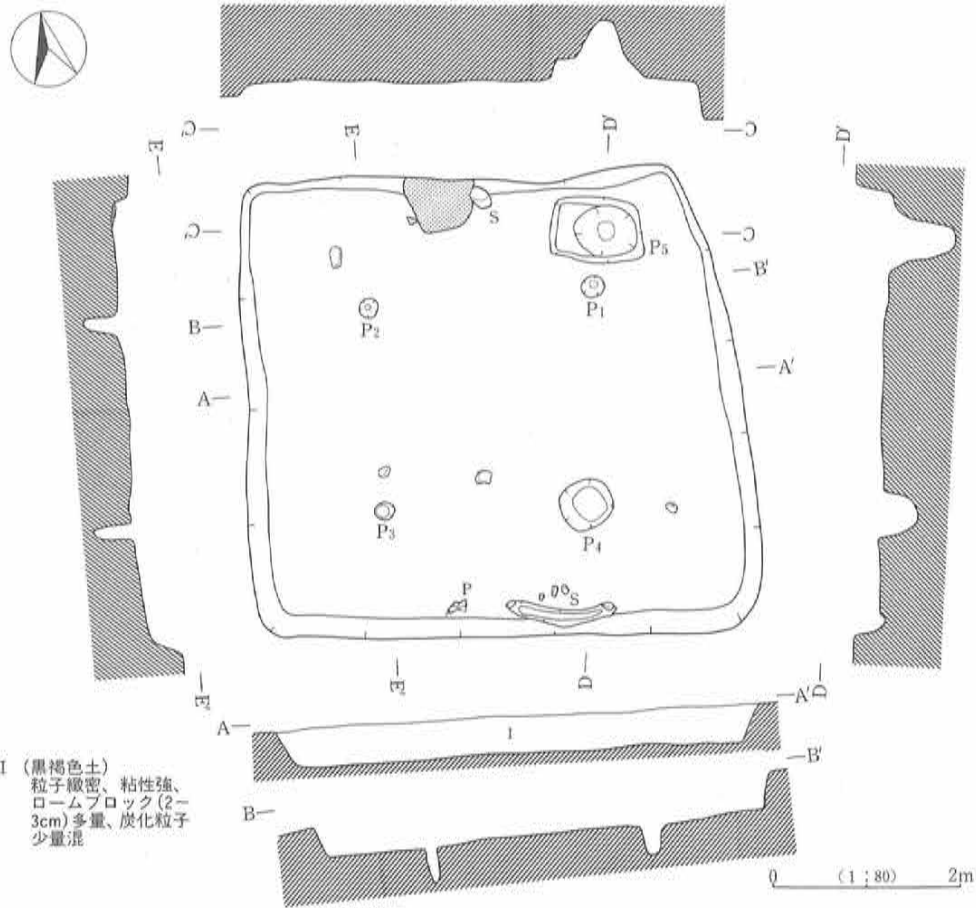
第166図 H78号住居址実測図



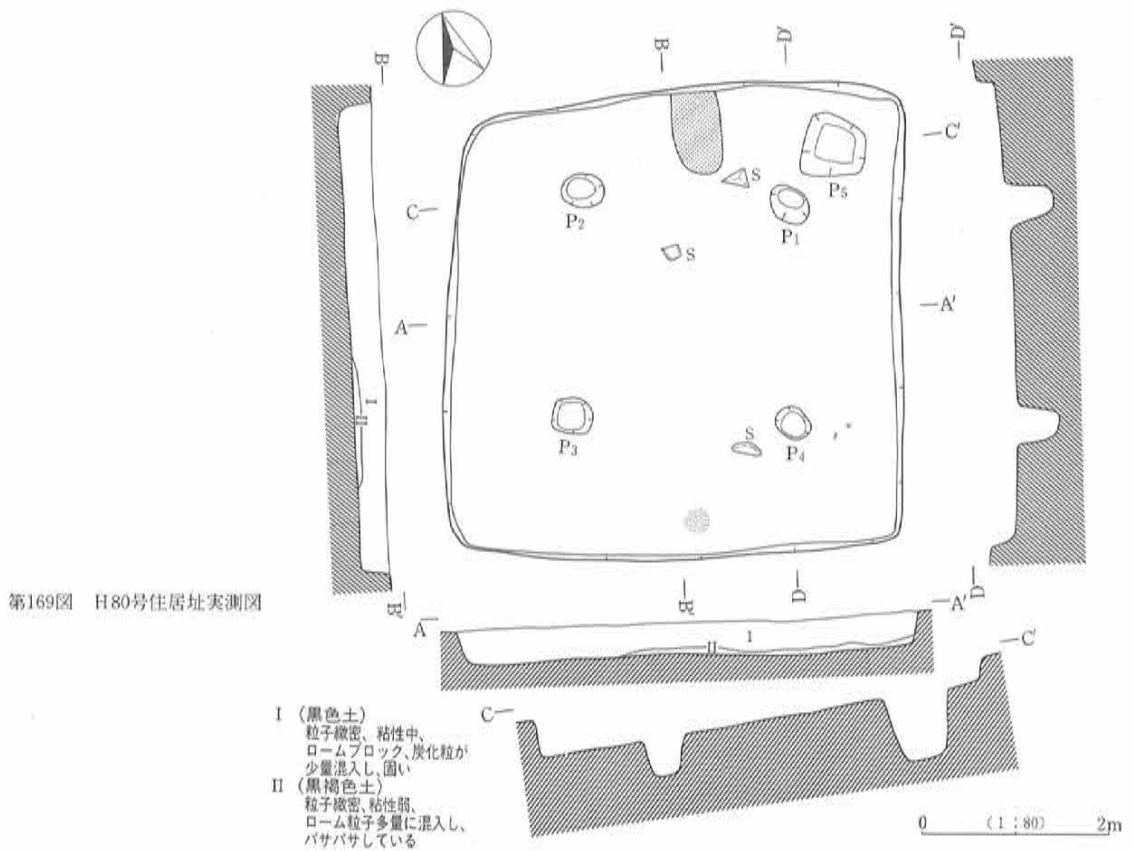
第168図 H79号住居址カマド実測図

第171図 H81号住居址カマド実測図

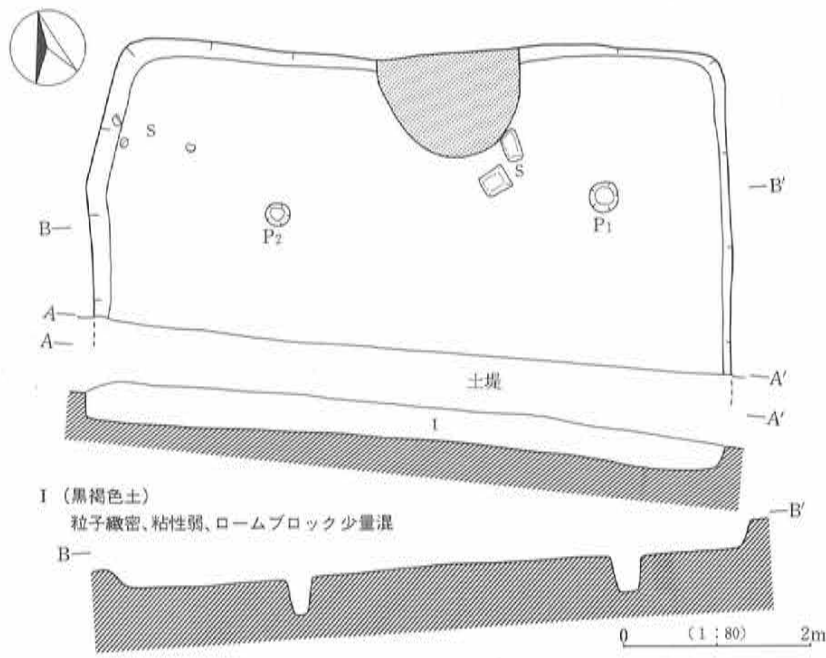




第167図 H79号住居址実測図

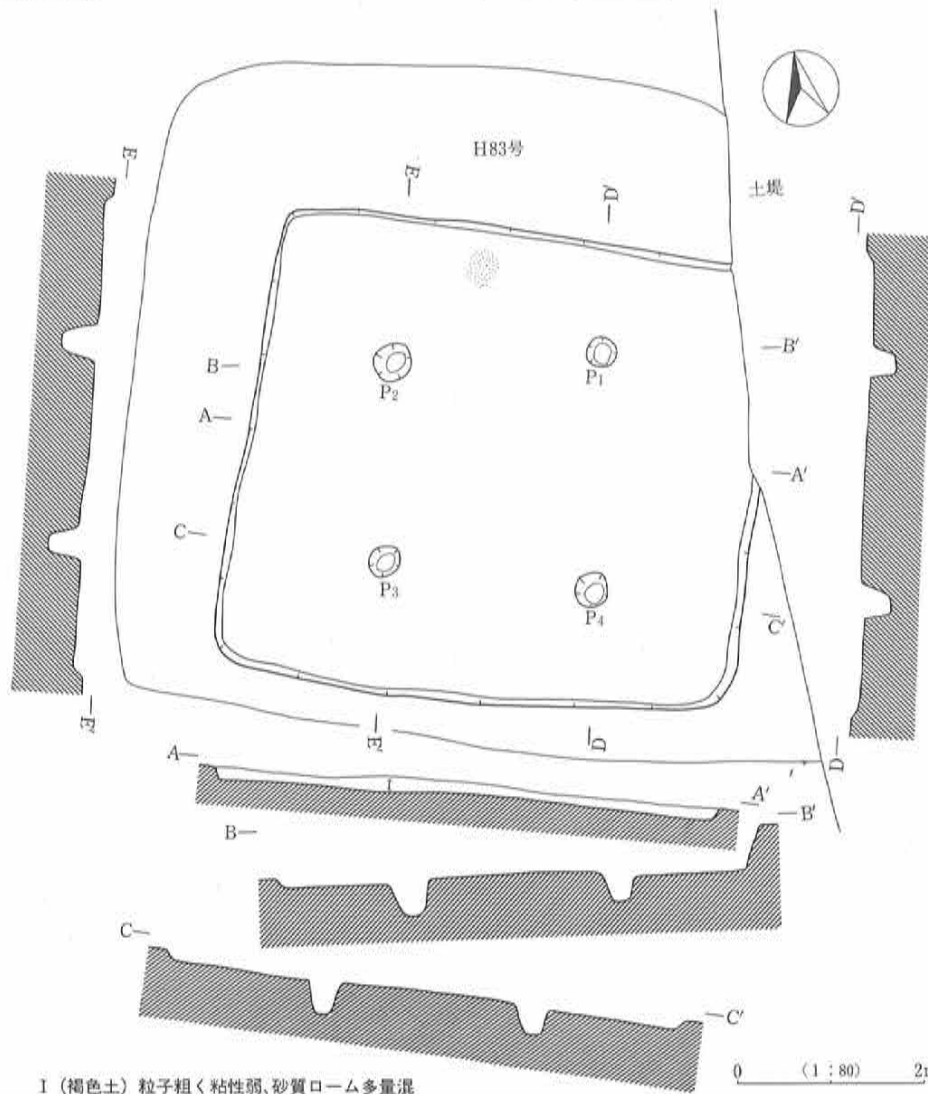


第169図 H80号住居址実測図



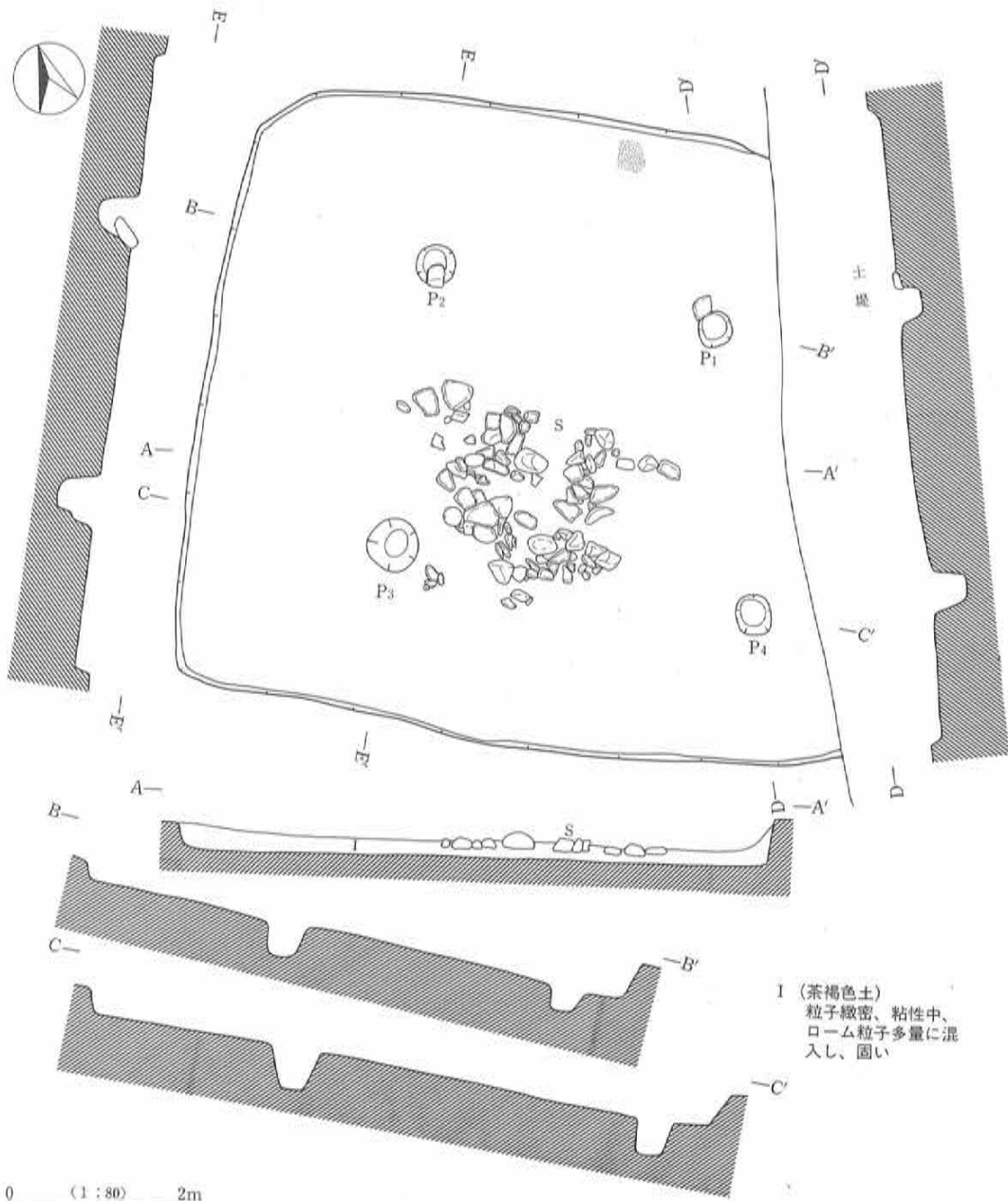
第170図 H81号住居址実測図

I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性弱、ロームブロック少量混

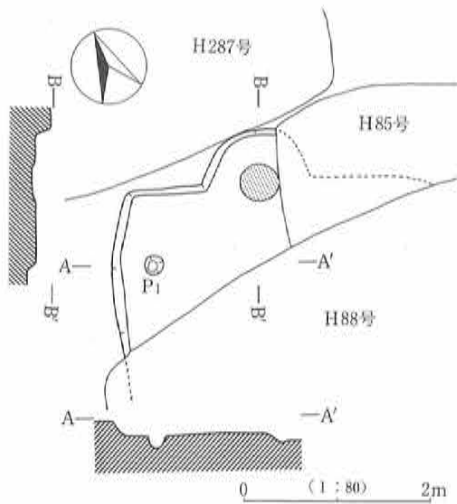


I (褐色土) 粒子粗く粘性弱、砂質ローム多量混

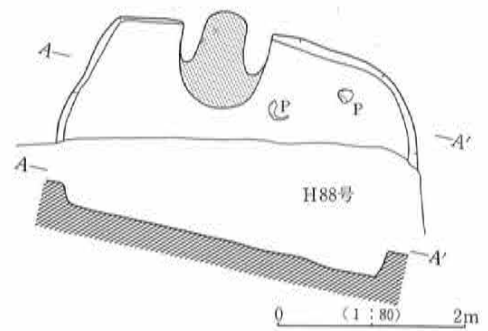
第172図 H82号住居址実測図



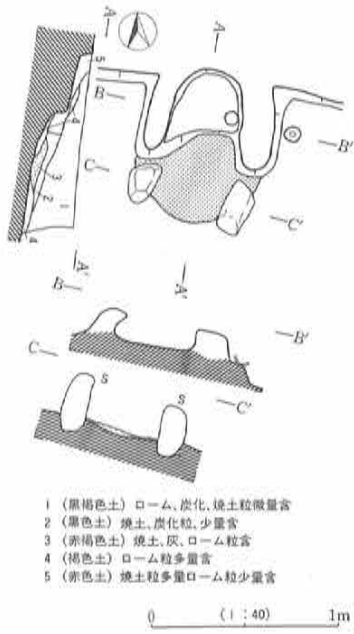
第173図 H83号住居址実測図



第174図 H84号住居址実測図



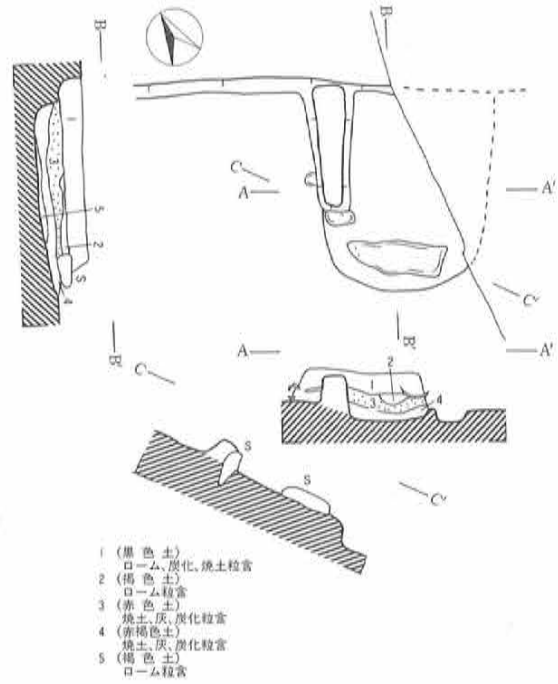
第175図 H85号住居址実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、炭化、焼土粒微量含
- 2 (黒色土) 焼土、炭化粒、少量含
- 3 (赤褐色土) 焼土、灰、ローム粒含
- 4 (褐色土) ローム粒多量含
- 5 (赤色土) 焼土粒多量ローム粒少量含

0 (1:40) 1m

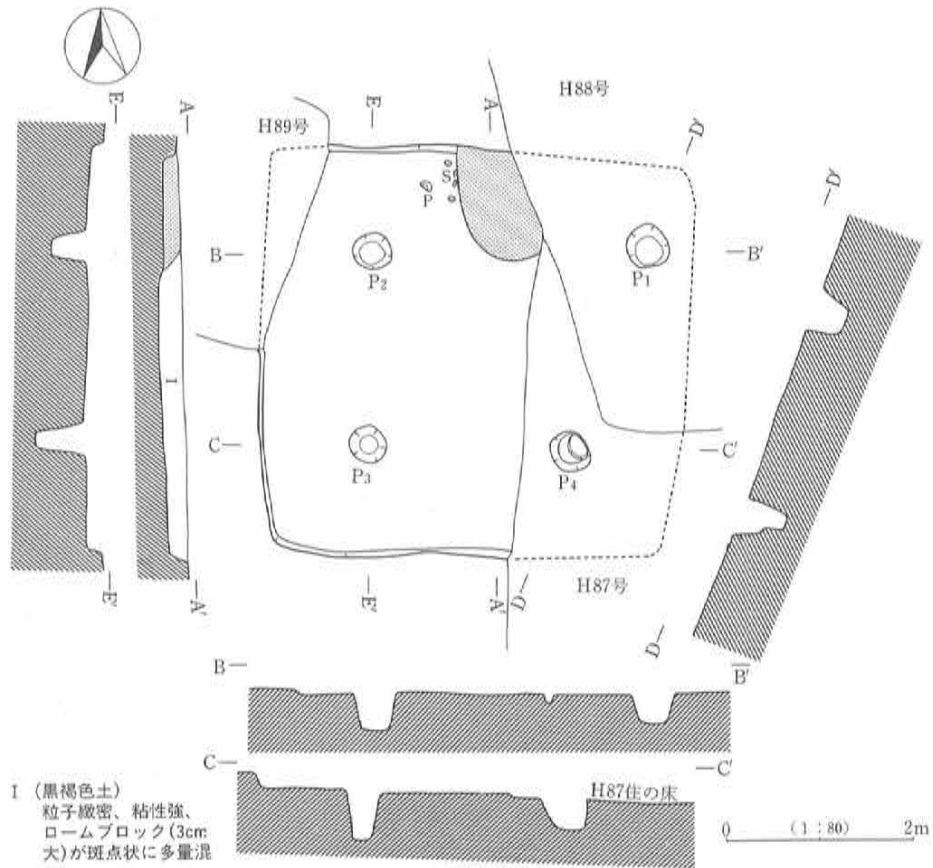
第176図 H85号住居址カマド実測図



- 1 (黒色土) ローム、炭化、焼土粒含
- 2 (褐色土) ローム粒含
- 3 (赤色土) 焼土、灰、炭化粒含
- 4 (赤褐色土) 焼土、灰、炭化粒含
- 5 (褐色土) ローム粒含

0 (1:40) 1m

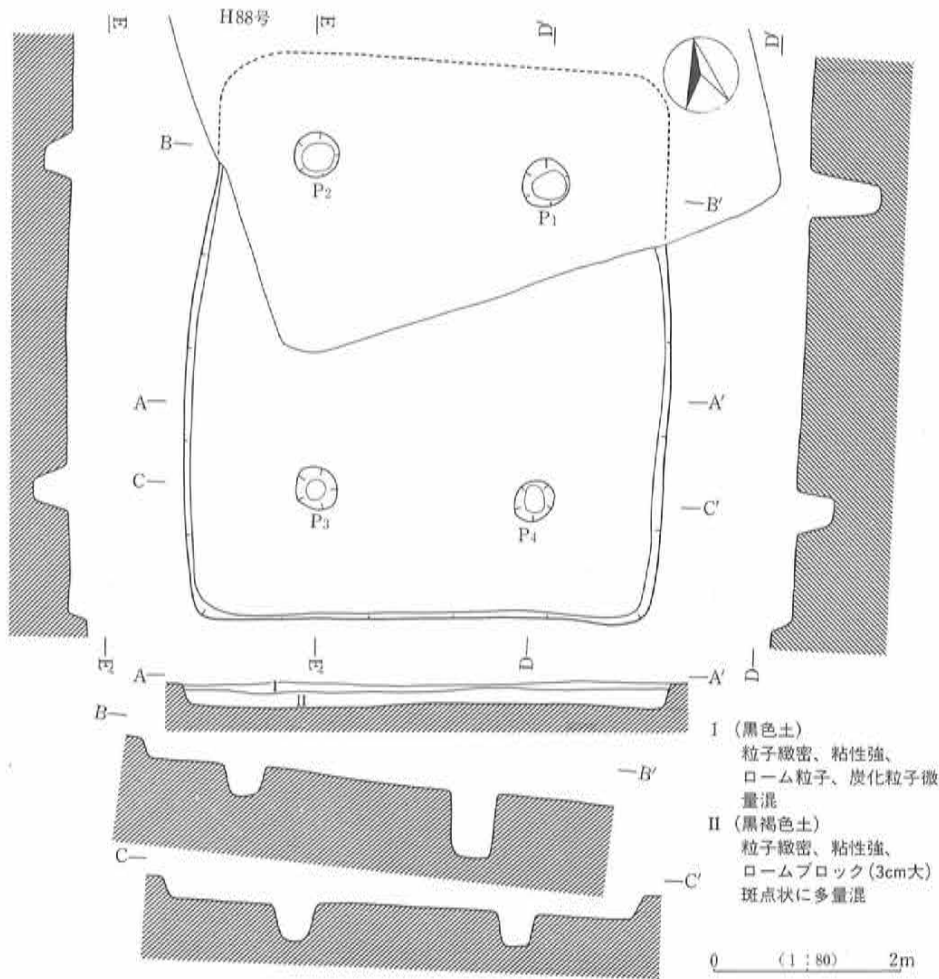
第178図 H86号住居址カマド実測図



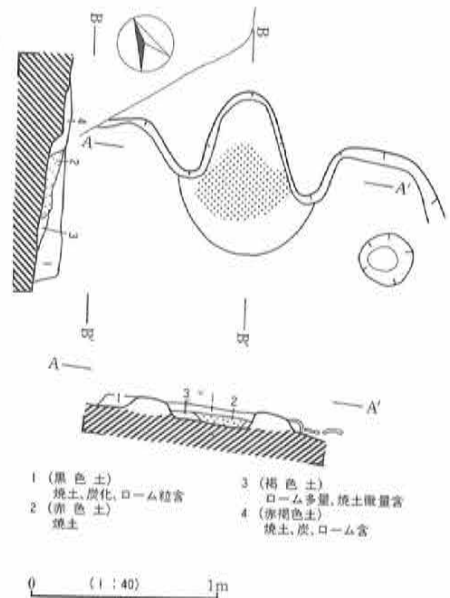
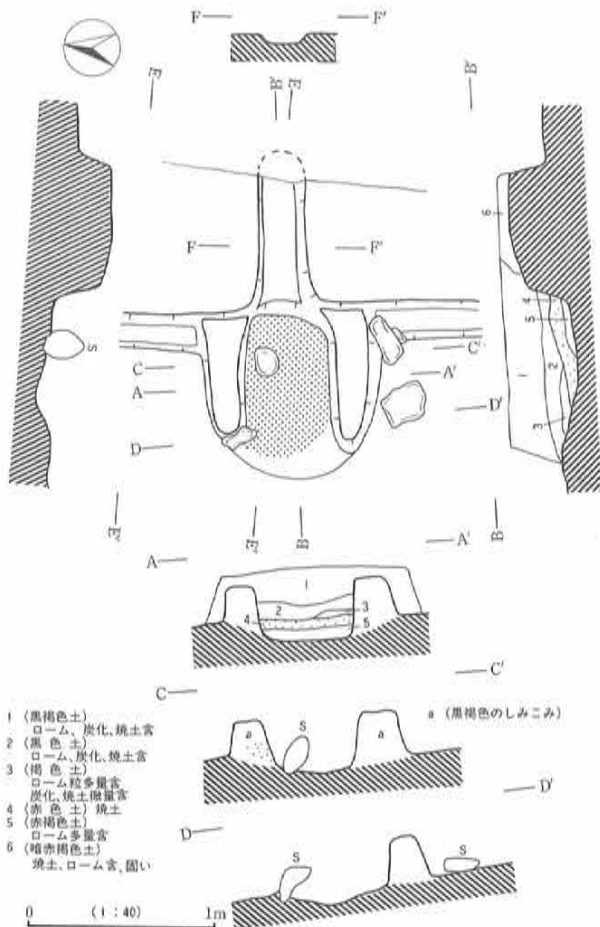
- 1 (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ロームブロック(3cm大)が斑点状に多量混

0 (1:80) 2m

第177図 H86号住居址実測図

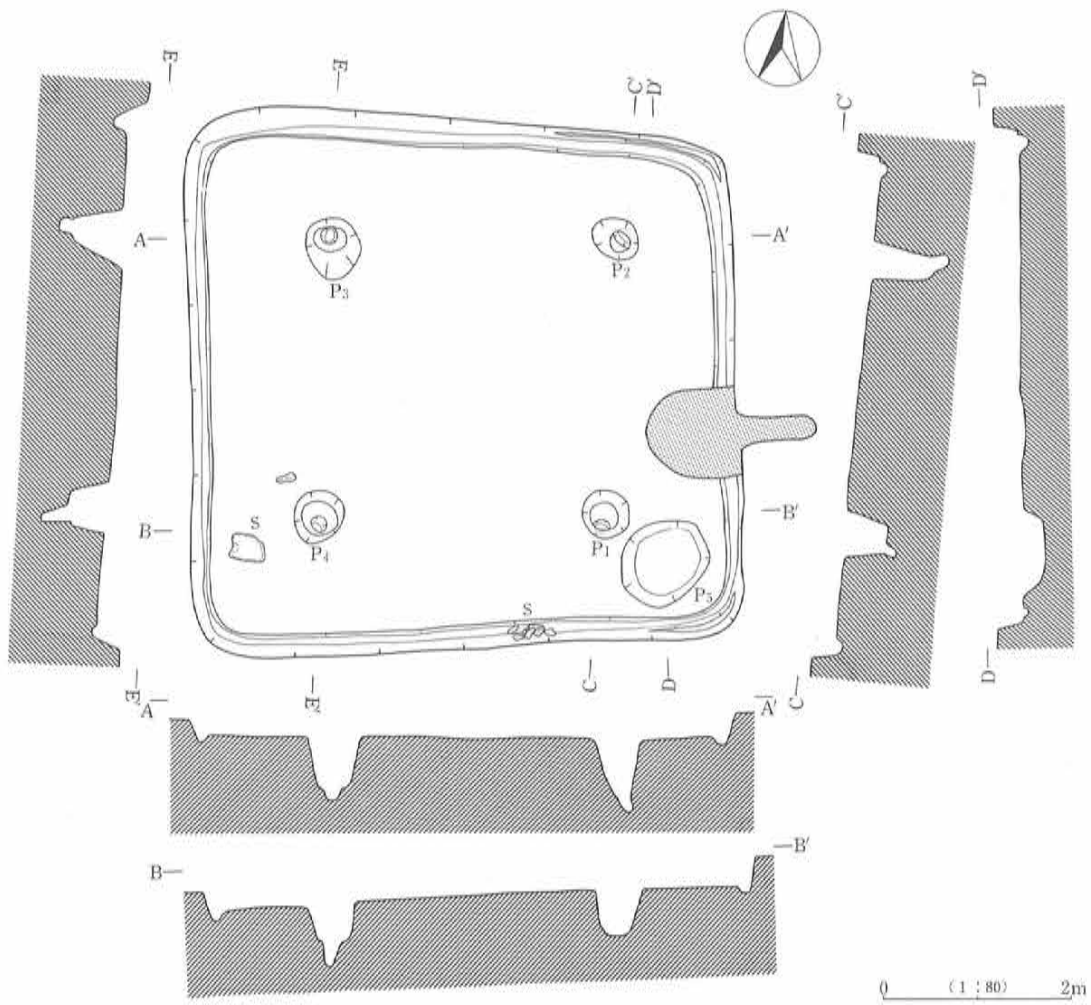


第179図 H87号住居址実測図

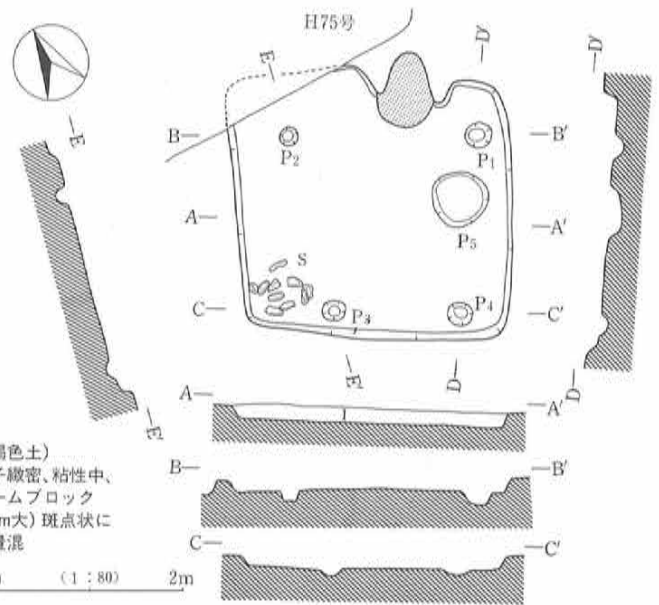


第183図 H89号住居址カマド実測図

第181図 H88号住居址カマド実測図



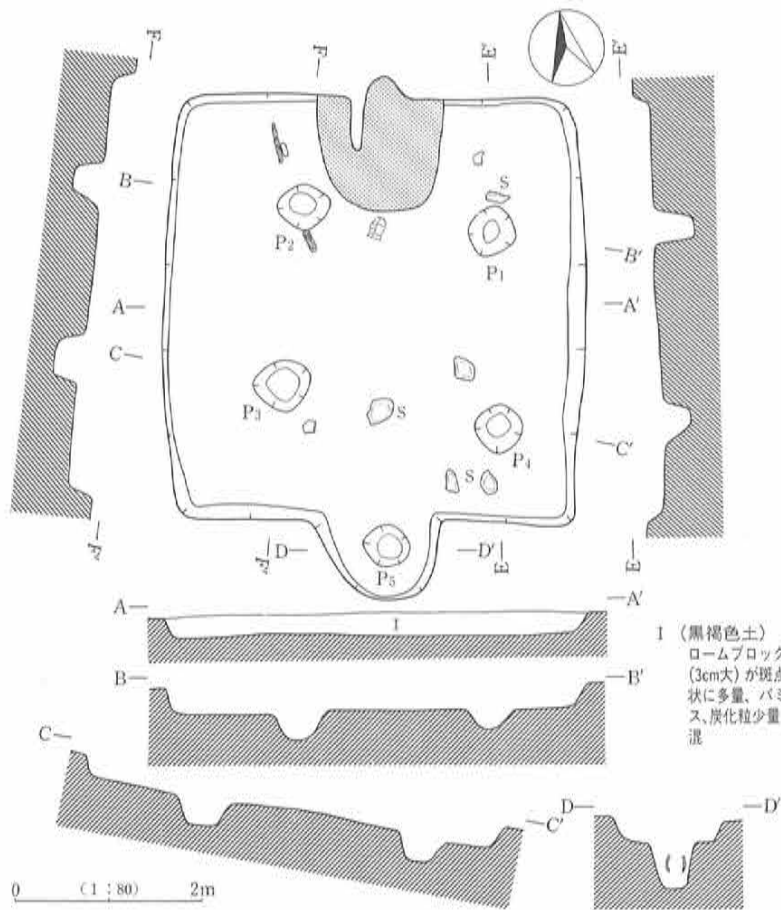
第180図 H88号住居址実測図



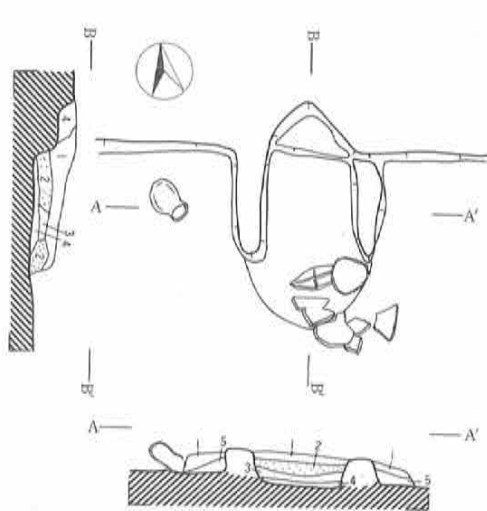
第182図 H89号住居址実測図

I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、
 ロームブロック
 (2cm大) 斑点状に
 少量混

0 (1:80) 2m



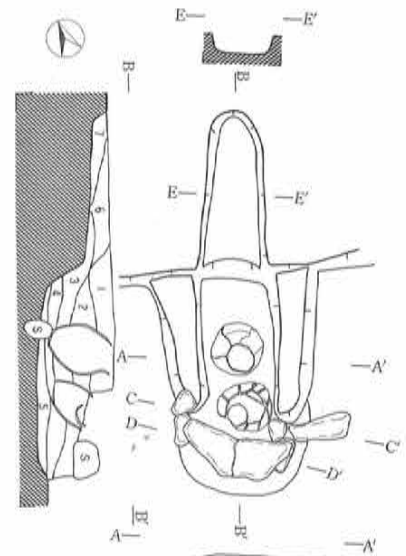
第184図 H90号住居址実測図



- 1 (茶褐色土) ローム粒、焼土ブロック含
- 2 (赤褐色土) 焼土
- 3 (黒褐色土) 灰、焼土少量含
- 4 (黄褐色土) ローム粒多量含
- 5 (黒色土) 炭化粒少量含

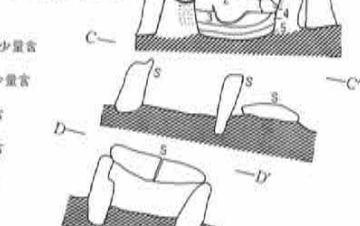
0 (1:40) 1m

第185図 H90号住居址カマド実測図



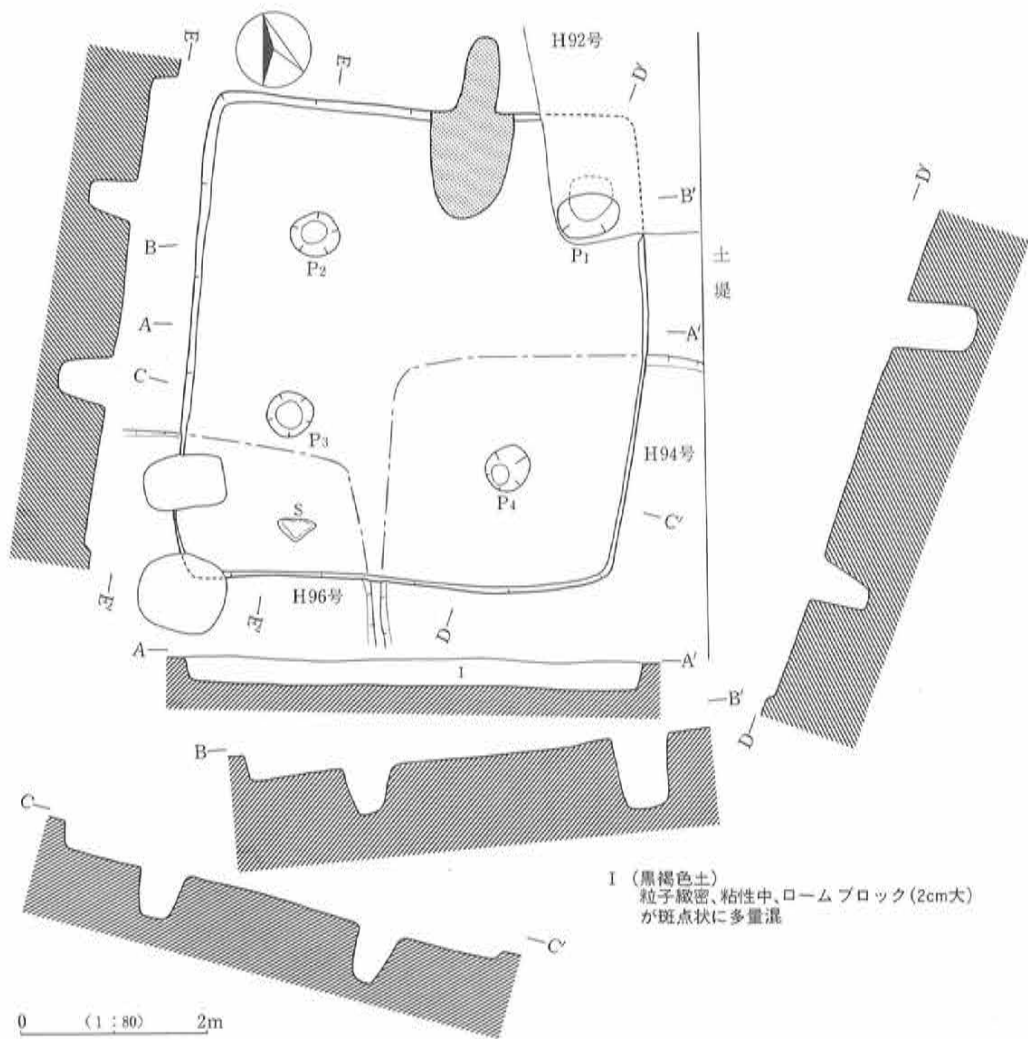
- 1 (黒褐色土) ローム粒多量含
- 2 (黒色土) ローム粒、焼土粒少量含
- 3 (赤褐色土) 焼土、灰、炭化物少量含
- 4 (暗赤色土) 焼土、炭化物含
- 5 (赤灰色土) 焼土、灰、ローム含
- 6 (赤褐色土) 焼土、炭化粒付着
- 7 (暗褐色土) 煤付着

○ (黒色のしみこみ)



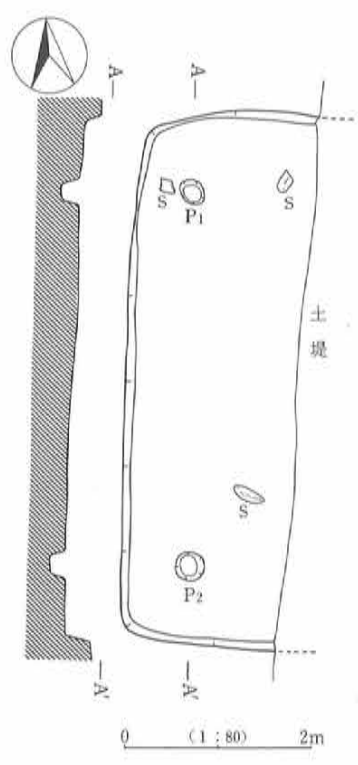
0 (1:40) 1m

第187図 H91号住居址カマド実測図

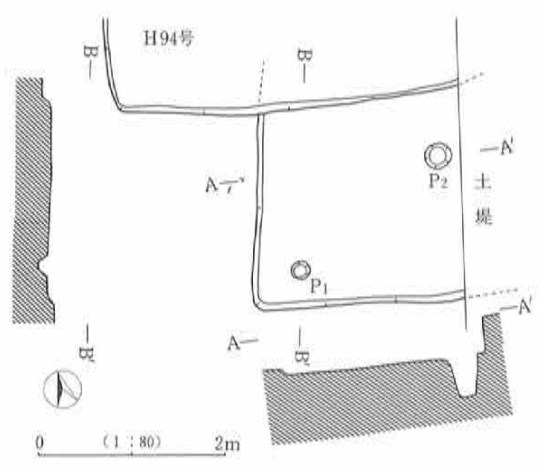


I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、ロームブロック(2cm大)
 が斑点状に多量混

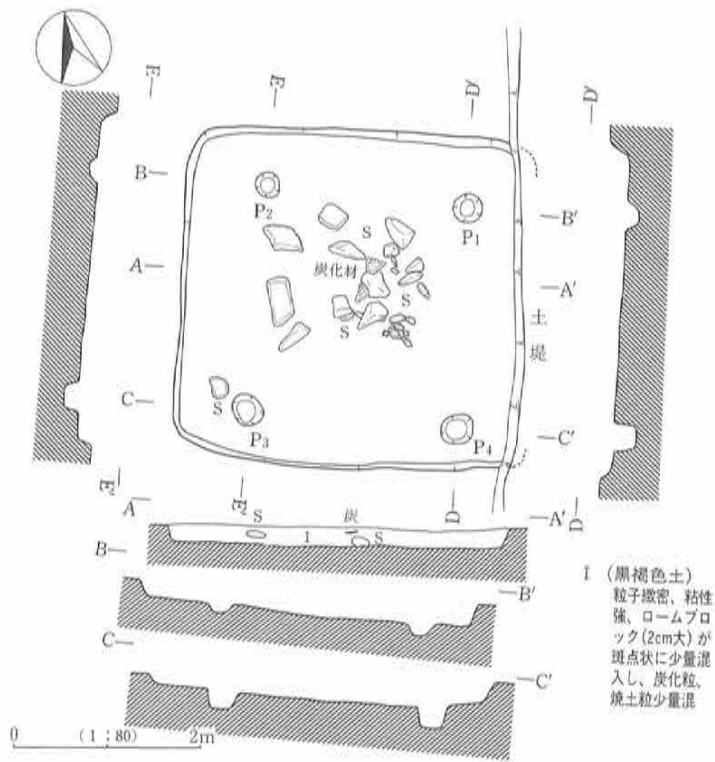
第186図 H91号住居址実測図



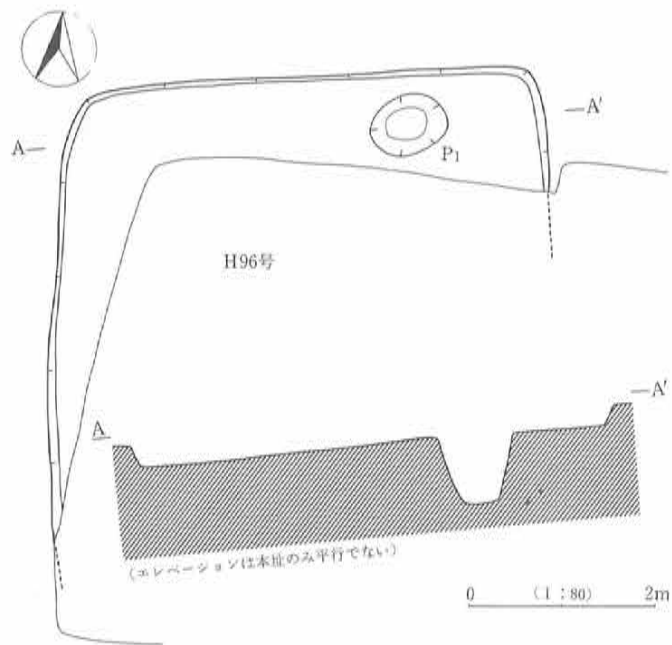
第188図 H92号住居址実測図



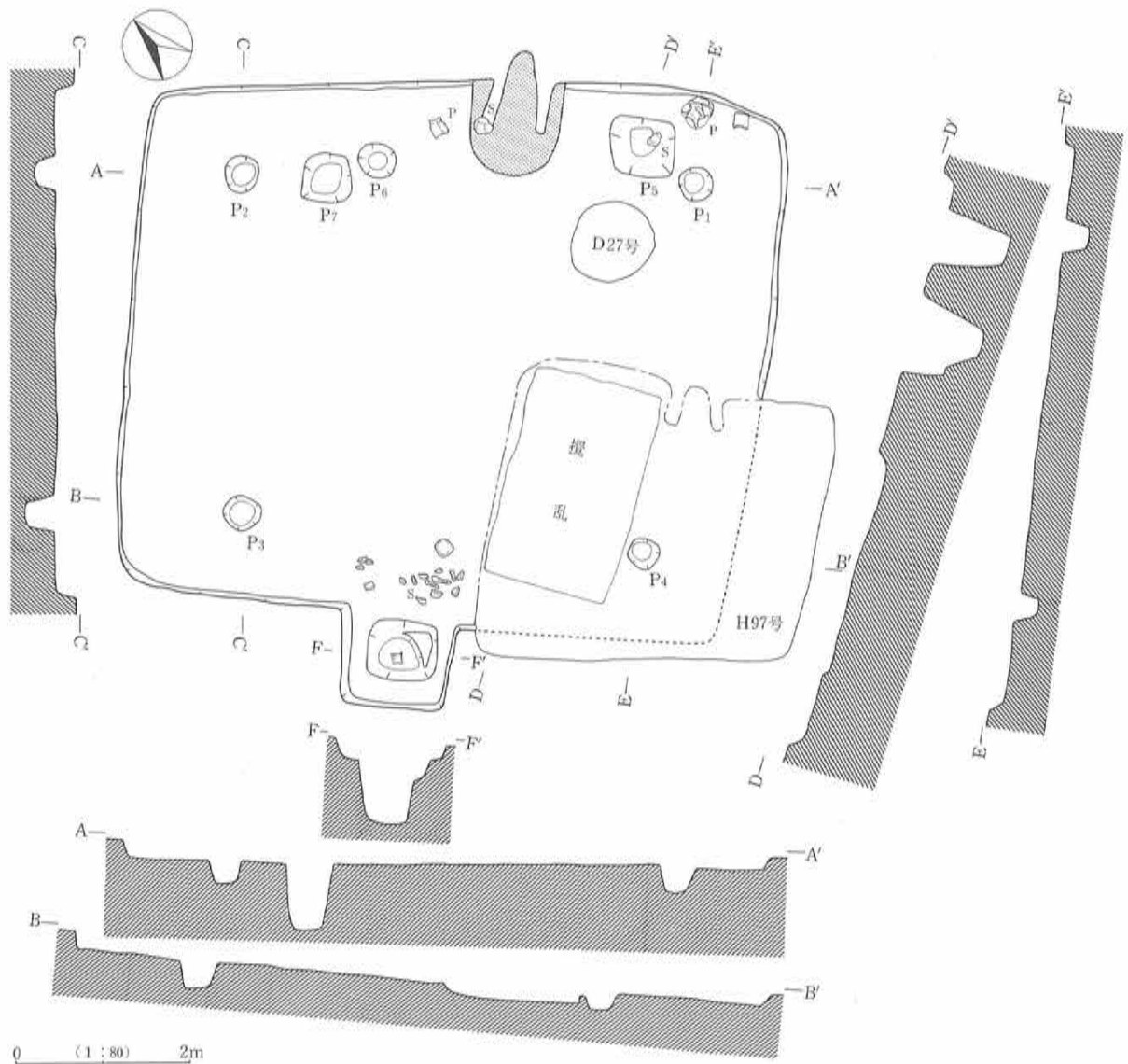
第189図 H93号住居址実測図



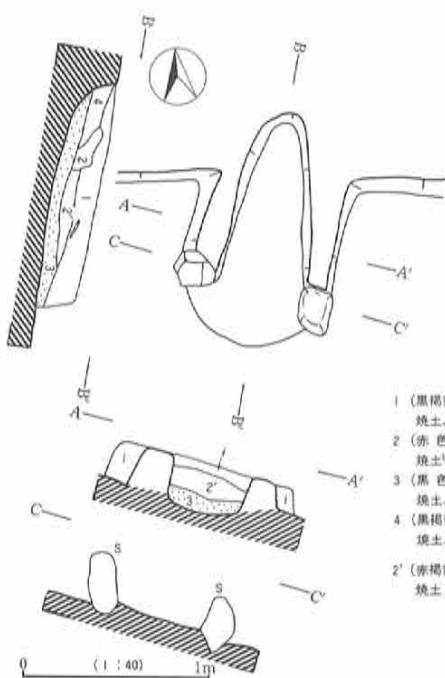
第190図 H94号住居址実測図



第191図 H95号住居址実測図

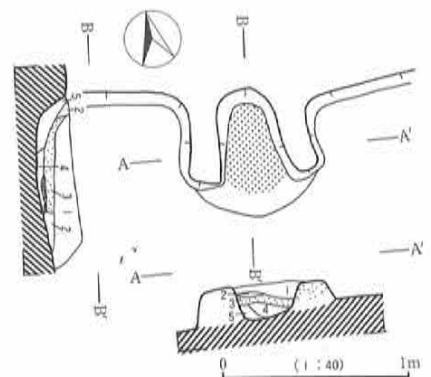


第192図 H96号住居址実測図



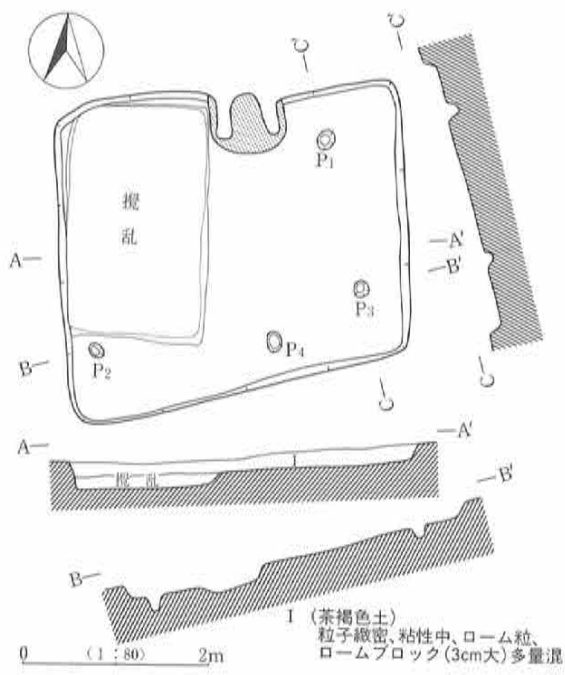
- 1 (黒褐色土)
焼土、炭化、ローム粒含
- 2 (赤色土)
焼土(赤い焼土ブロック)
- 3 (黒色土)
焼土、炭化、ローム粒含
- 4 (黒褐色土)
焼土、炭化、ローム粒含
- 2' (赤褐色土)
焼土(黄色焼土1cm大のブロック状)

第193図 H96号住居址カマド実測図

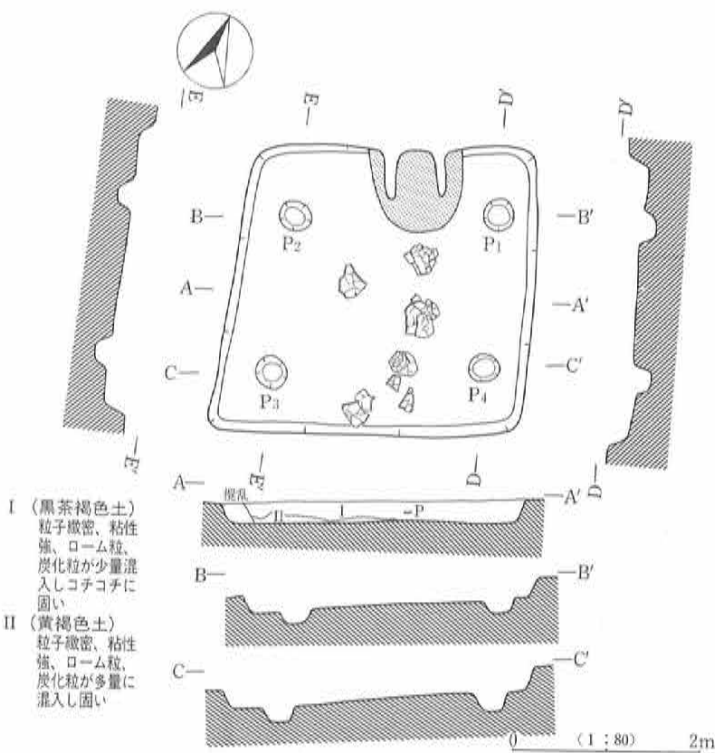


- 1 (黒色土) ローム、炭化、焼土含
- 2 (褐色土) ローム多量、焼土、炭化粒微量含
- 3 (赤褐色土) 焼土多量、炭化粒少量含
- 4 (暗赤色土) 焼土、ローム、灰含
- 5 (黒色土) ローム、焼土、炭化粒微量含

第195図 H97号住居址カマド実測図

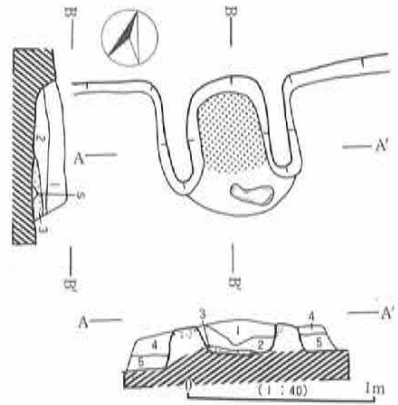


第194図 H97号住居址実測図



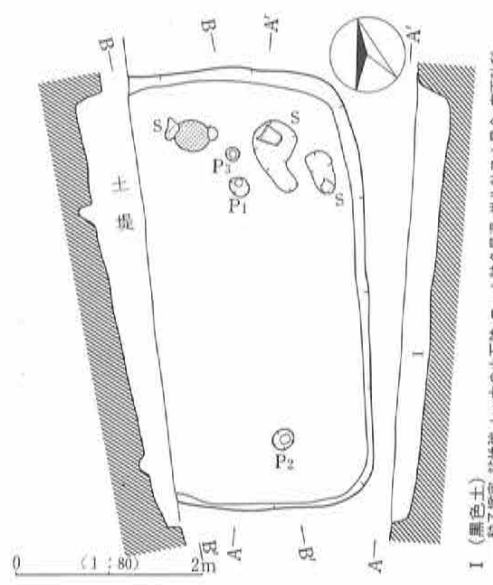
- I (黒茶褐色土)
粒子緻密、粘性強、ローム粒、炭化粒が少量混入しコチコチに固い
- II (黄褐色土)
粒子緻密、粘性強、ローム粒、炭化粒が多量に混入し固い

第196図 H98号住居址実測図



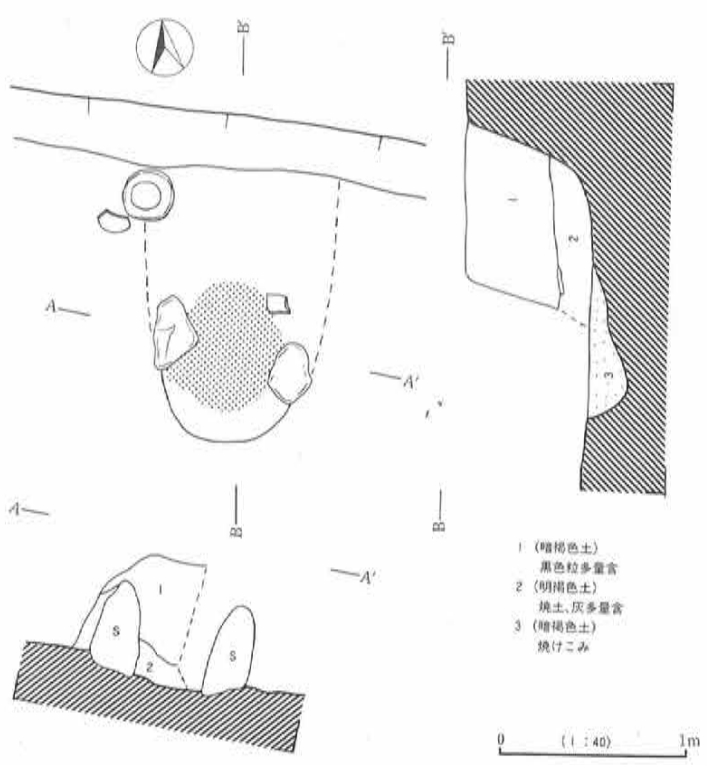
第197図 H98号住居址カマド実測図

- 1 (黒色土) 焼土、炭化粒少量含
- 2 (赤色土) 炭化物、焼土ブロック含
- 3 (赤褐色土) 炭化物、焼土ブロック含
- 4 (黒褐色土) 2、3と同じ
- 5 (褐色土) ローム粒多量含



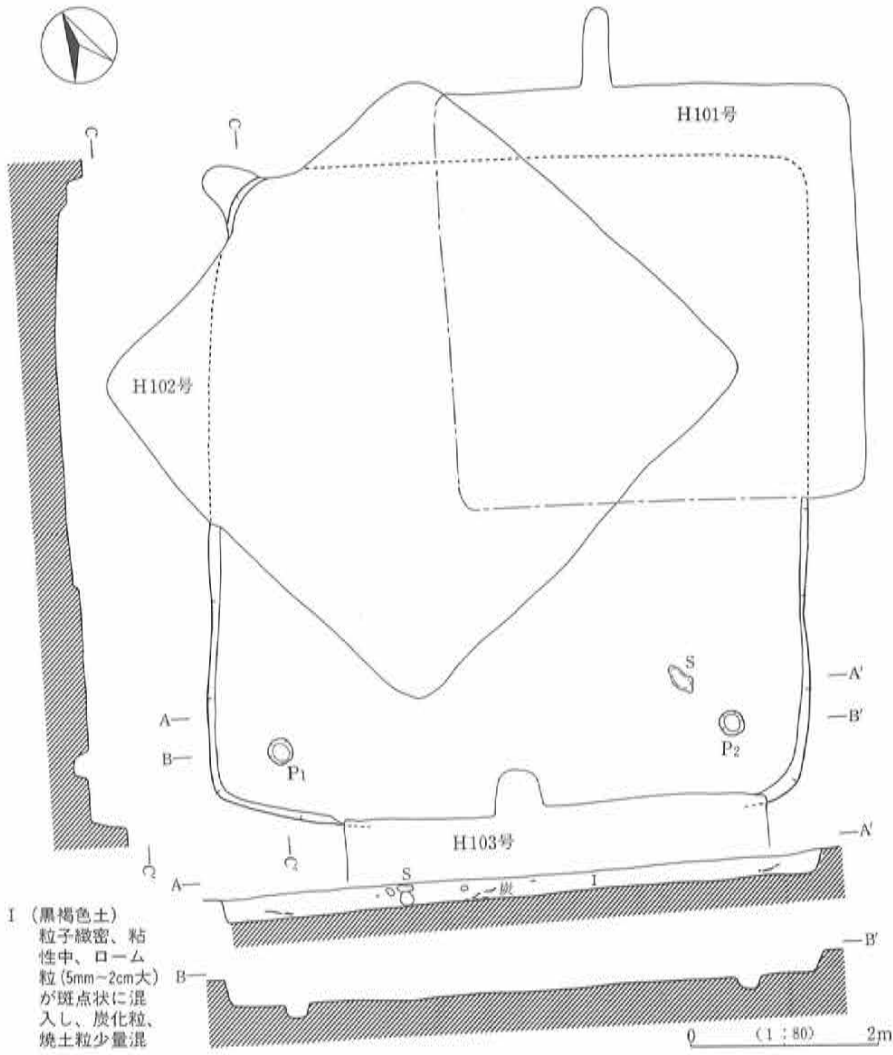
第198図 H99号住居址実測図

I (黒色土)
粒子緻密、粘性強、1cm大の小石粒、ローム粒多量混入、炭化粒少量含、灰面砂利

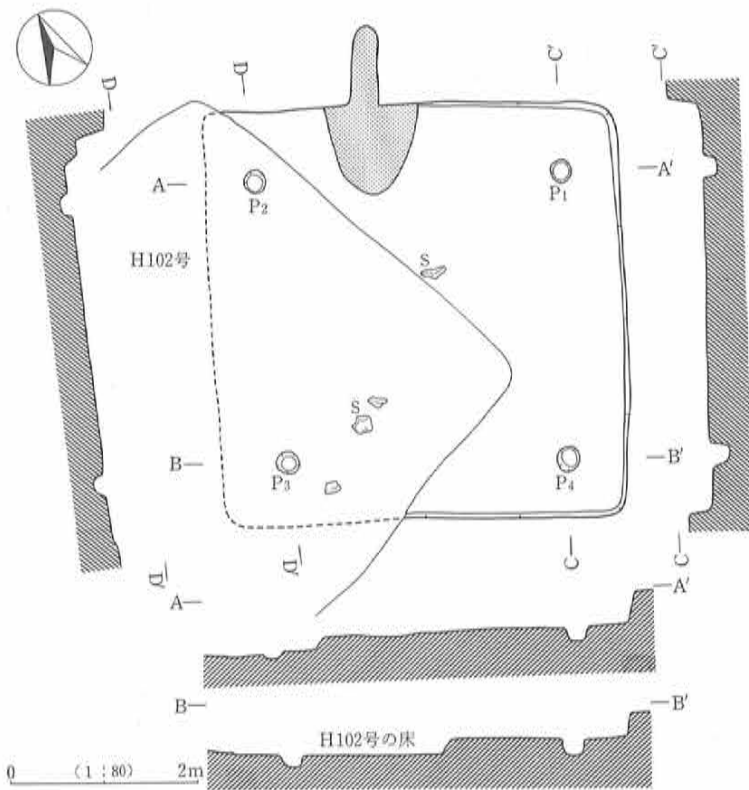


- 1 (暗褐色土) 黒色粒多量含
- 2 (明褐色土) 焼土、灰多量含
- 3 (暗褐色土) 焼けこみ

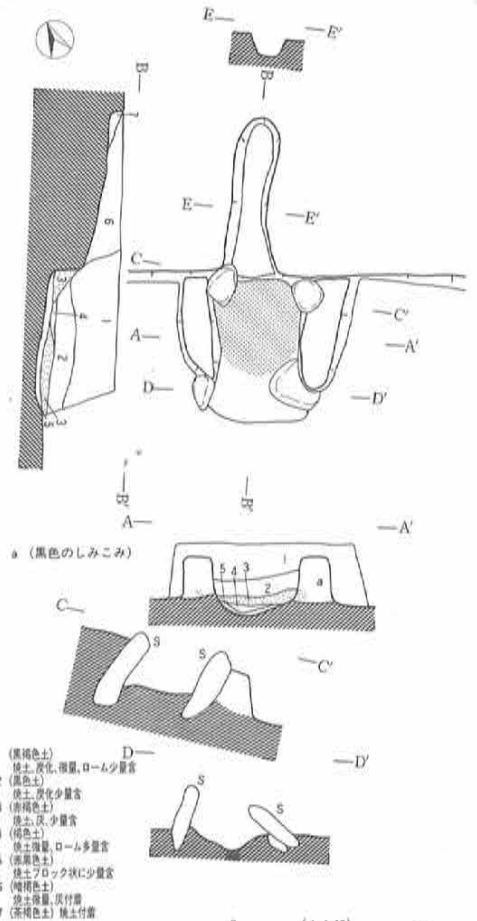
第199図 H99号住居址カマド実測図



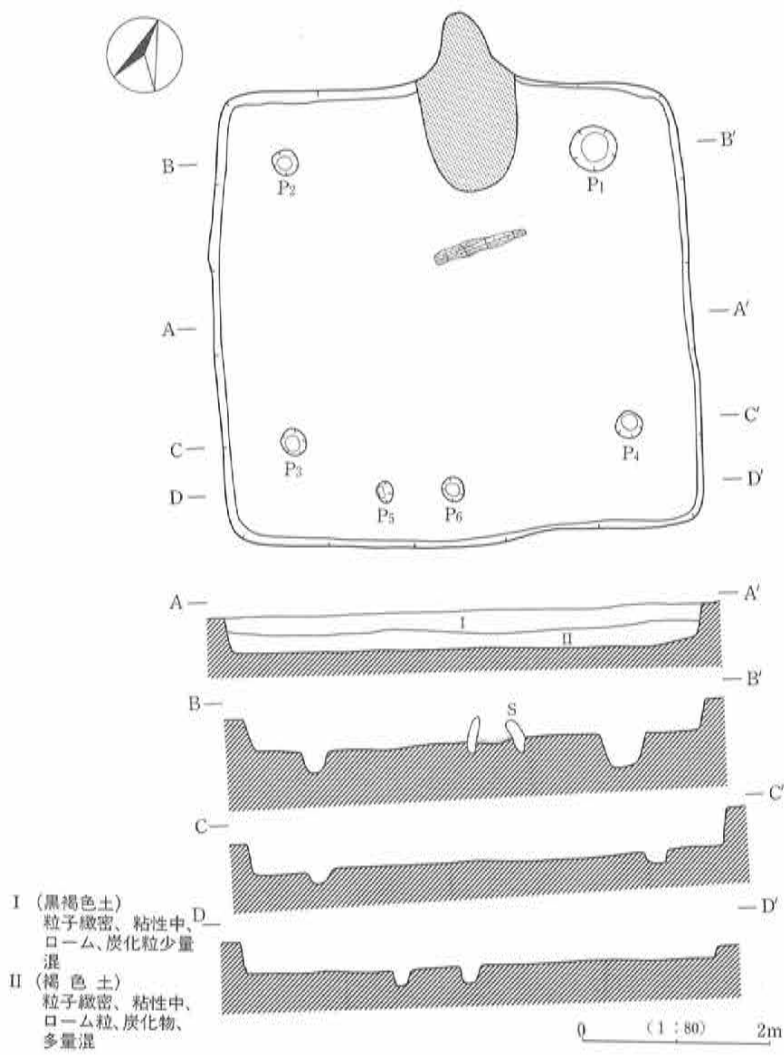
第200図 H101号住居址実測図



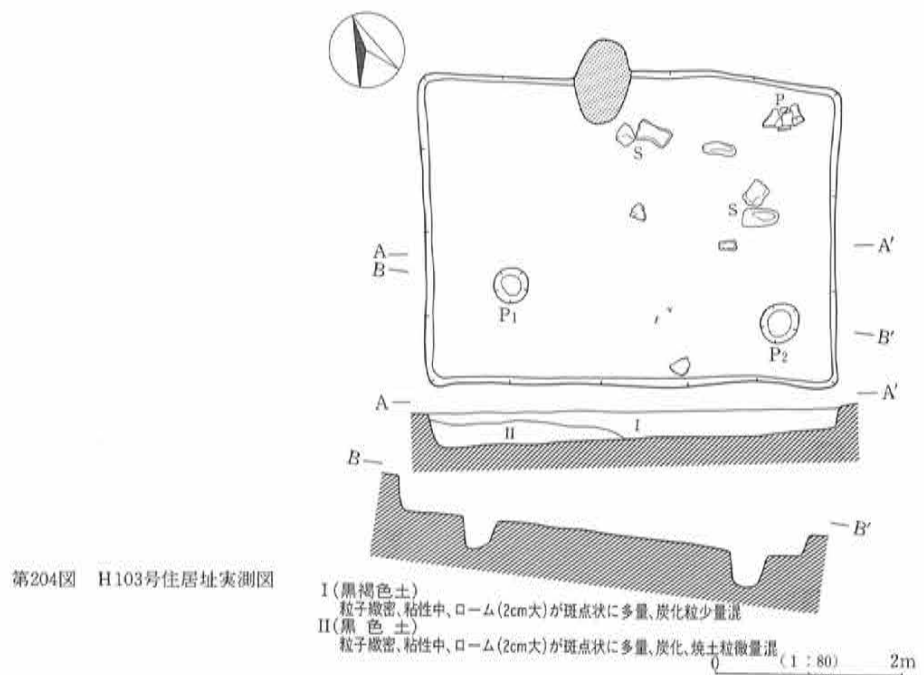
第201図 H101号住居址実測図



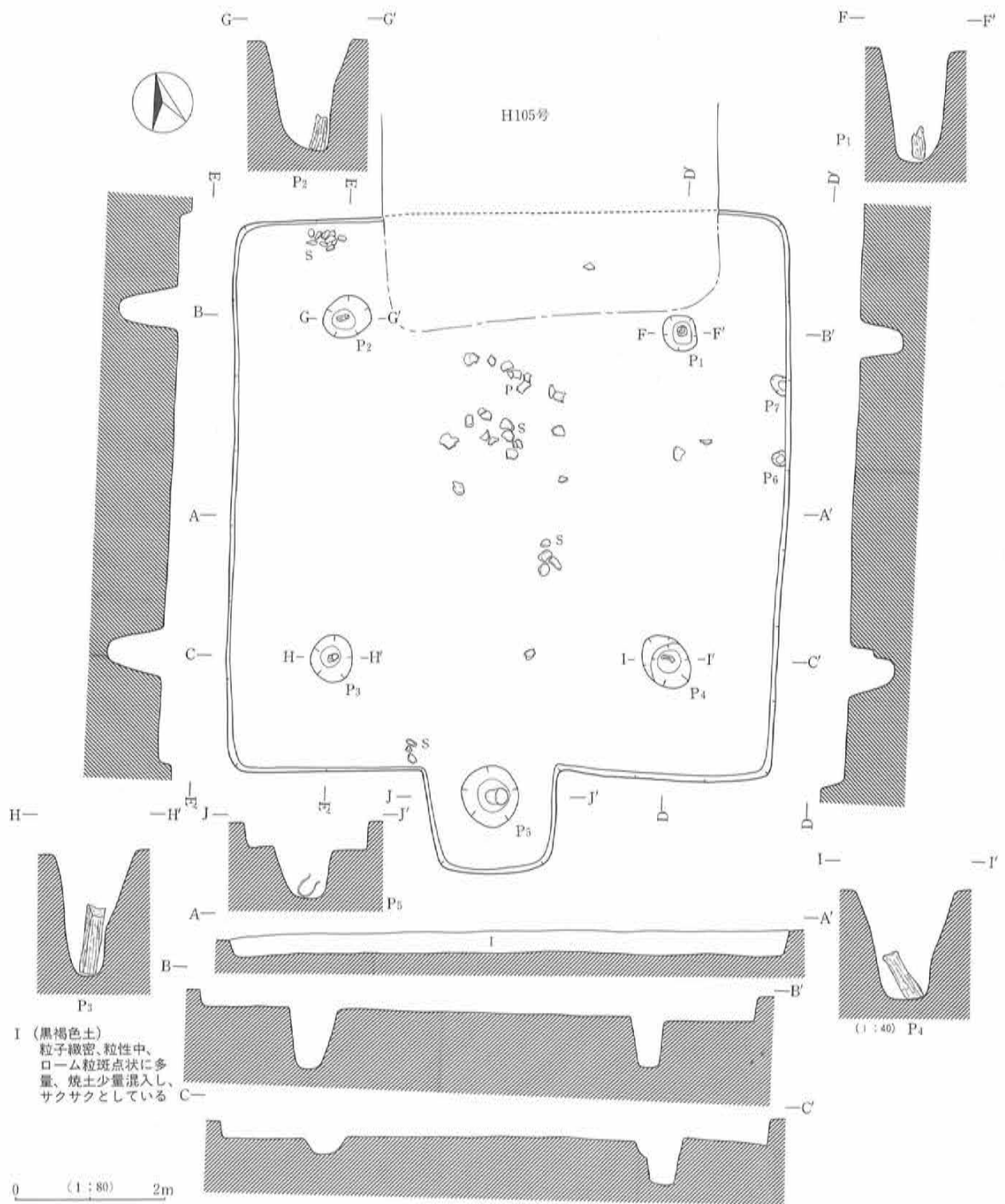
第202図 H101号住居址カマド実測図



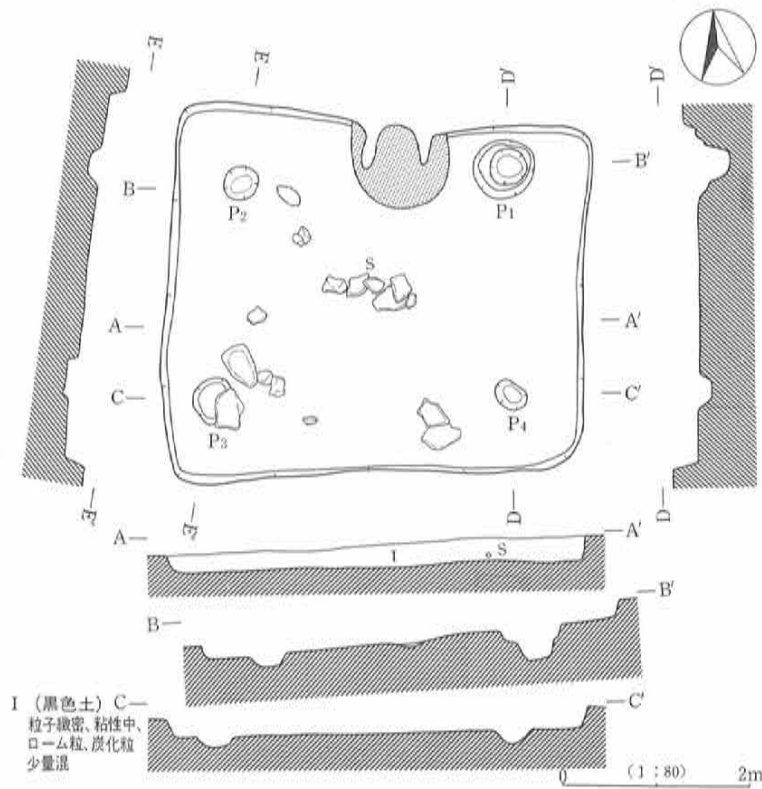
第203図 H102号住居址実測図



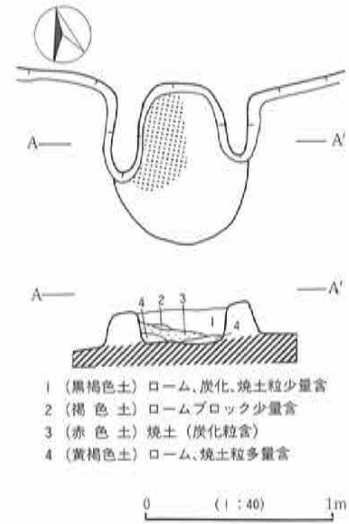
第204図 H103号住居址実測図



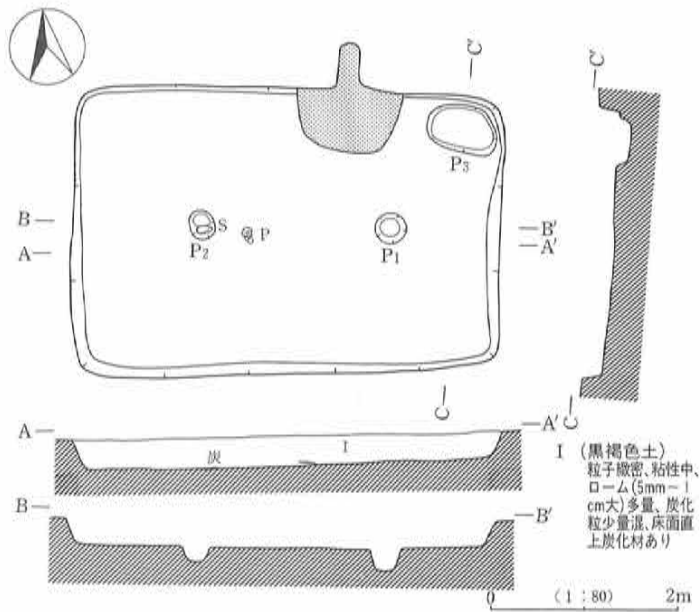
第205図 H104号住居址実測図



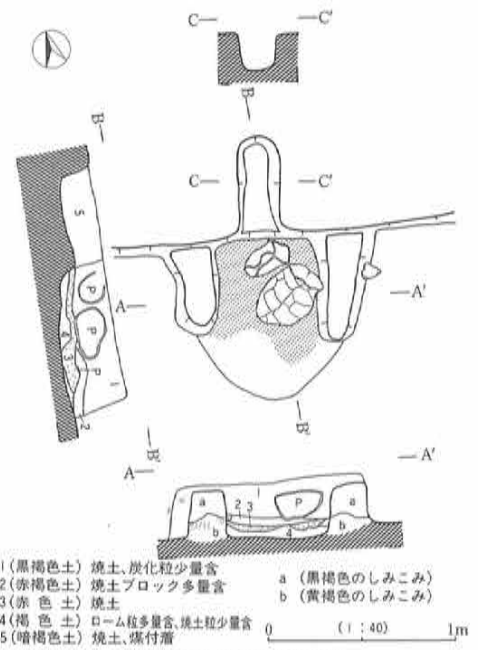
第206図 H105号住居址実測図



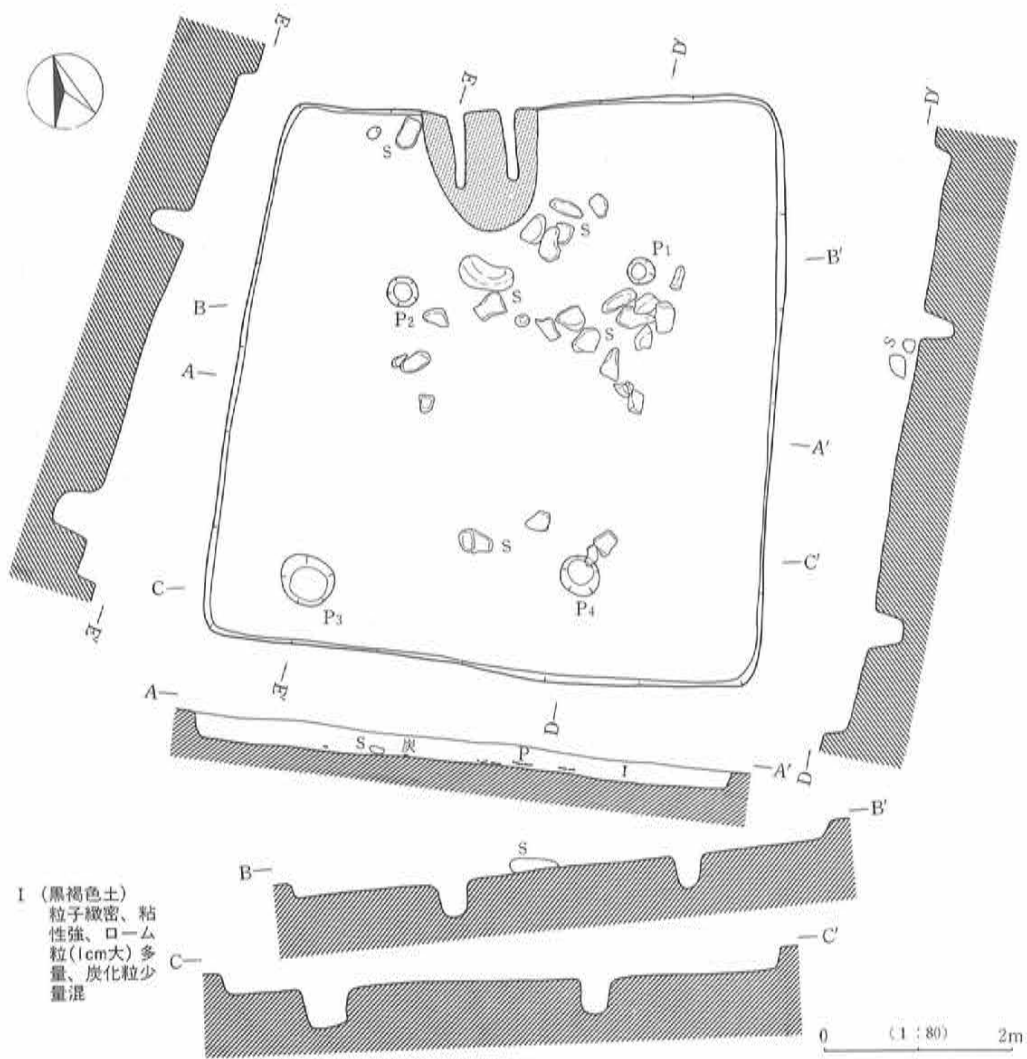
第207図 H105号住居址カマド実測図



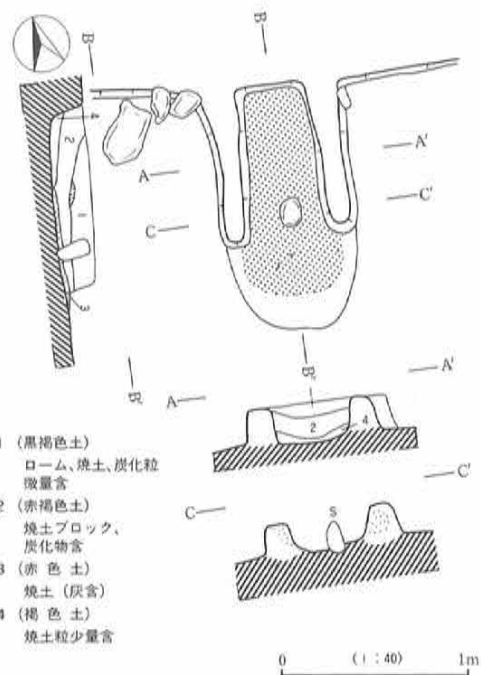
第208図 H106号住居址実測図



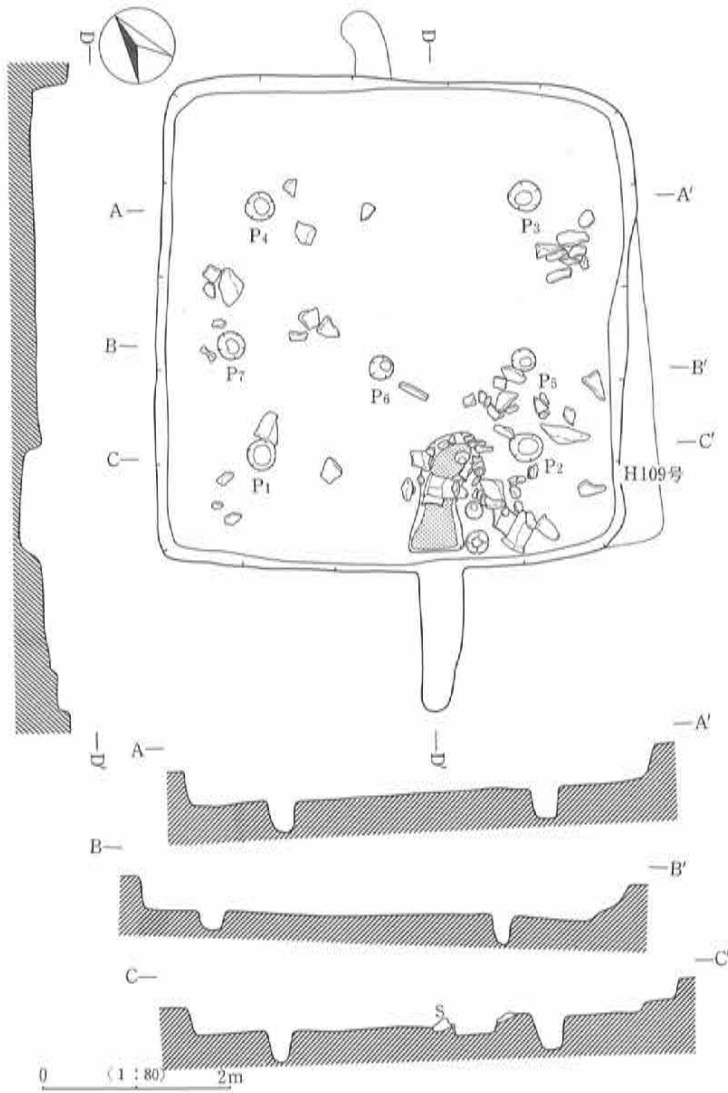
第209図 H106号住居址カマド実測図



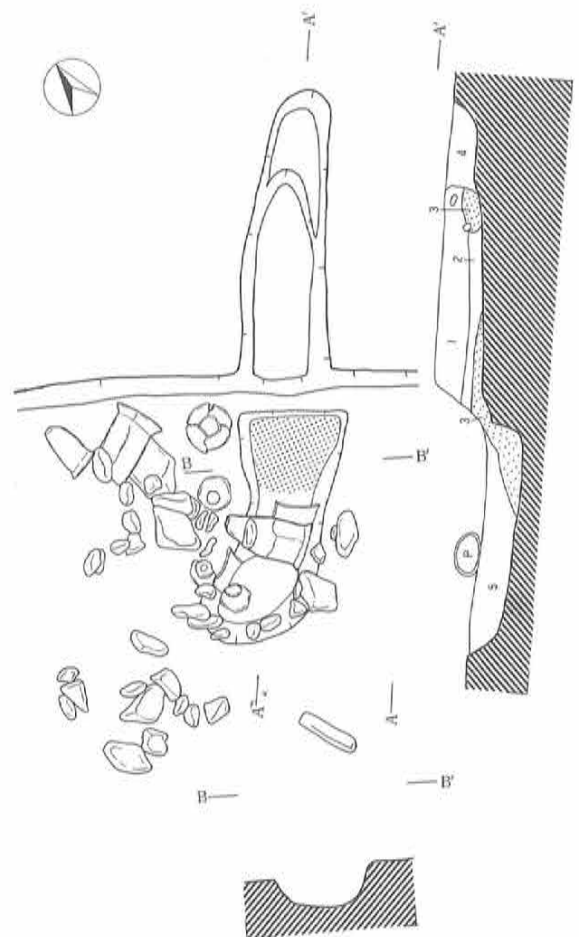
第210図 H107号住居址実測図



第211図 H107号住居址カマド実測図



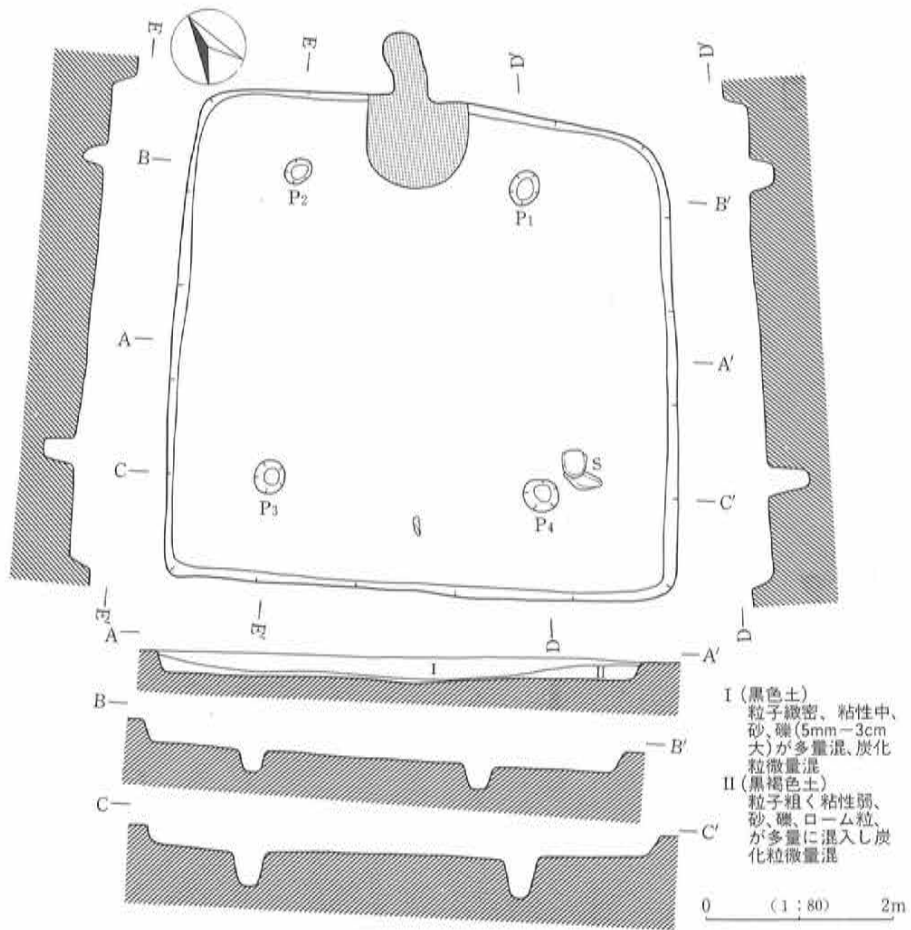
第212図 H108号住居址実測図



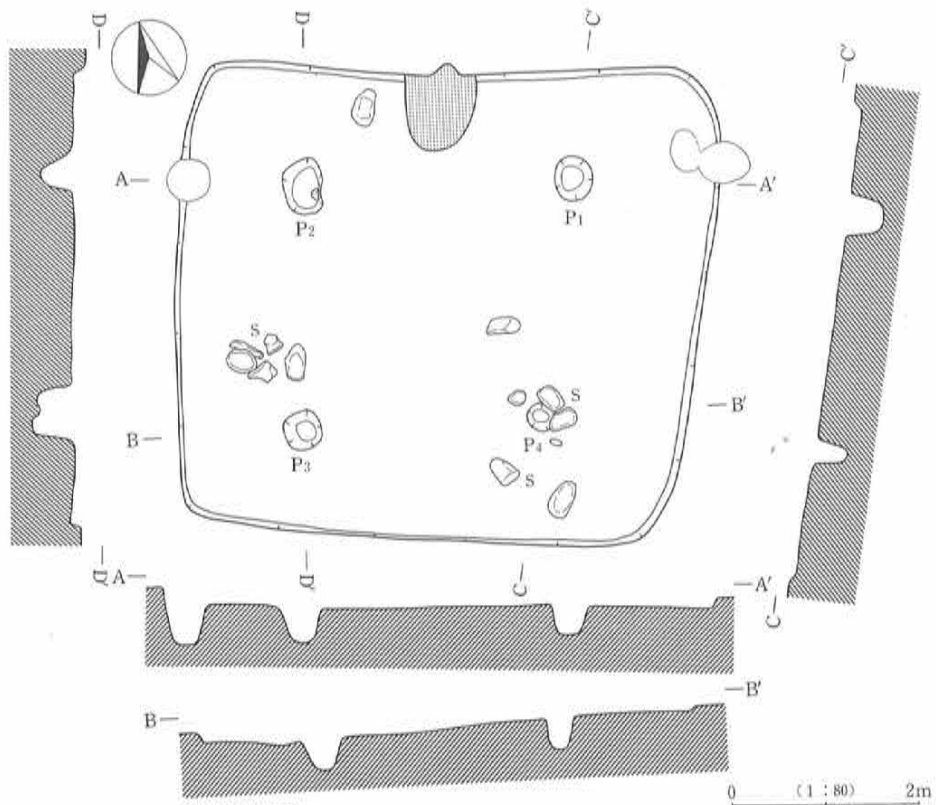
第213図 H108号住居址カマド実測図

- 1 (褐色土) 小石、炭化、焼土粒含
- 2 (赤褐色土) 焼土、炭化粒含
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (暗褐色土) 焼土、煤のしみ込み
- 5 (褐色土) 小石粒含

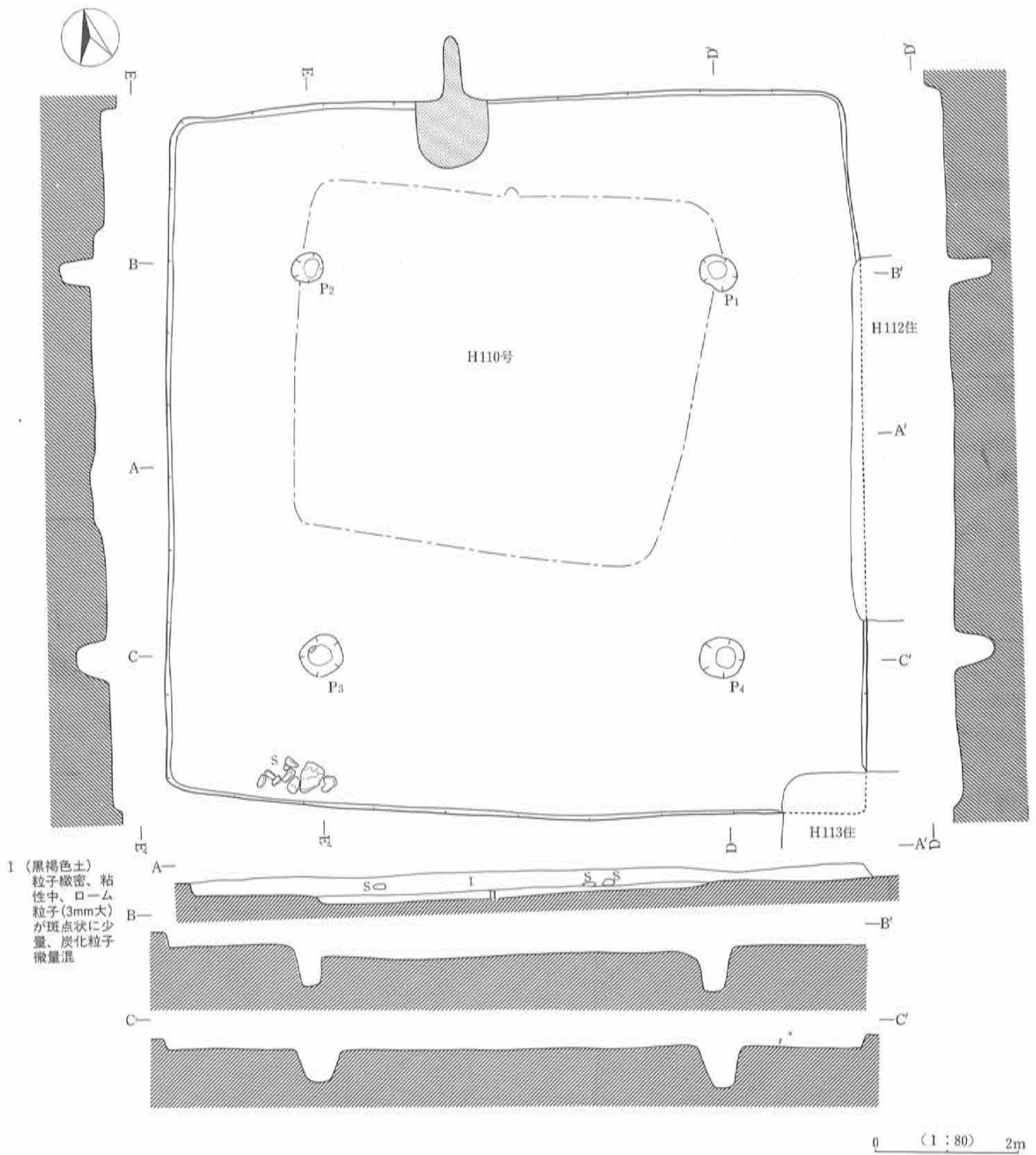
0 (1:40) 1m



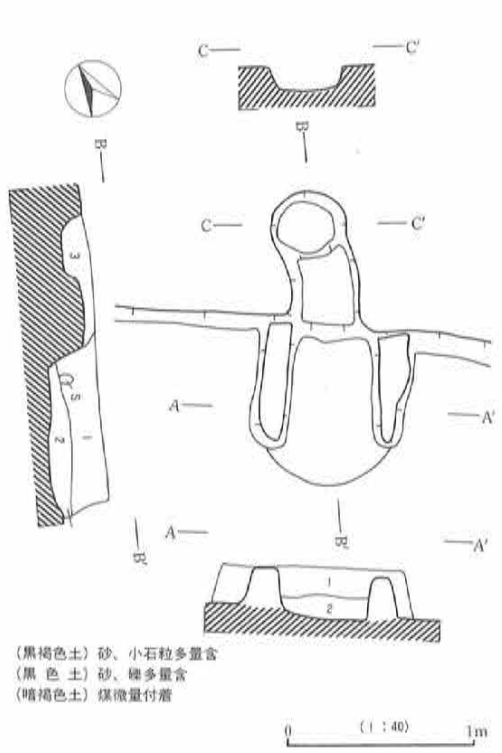
第214図 H109号住居址実測図



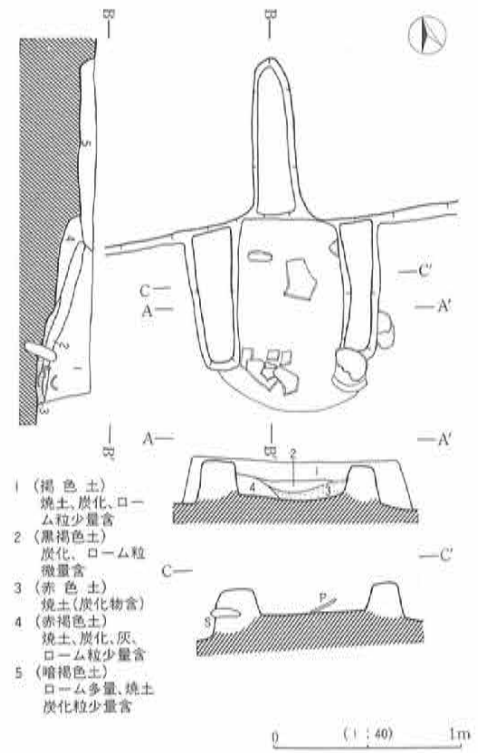
第216図 H110号住居址実測図



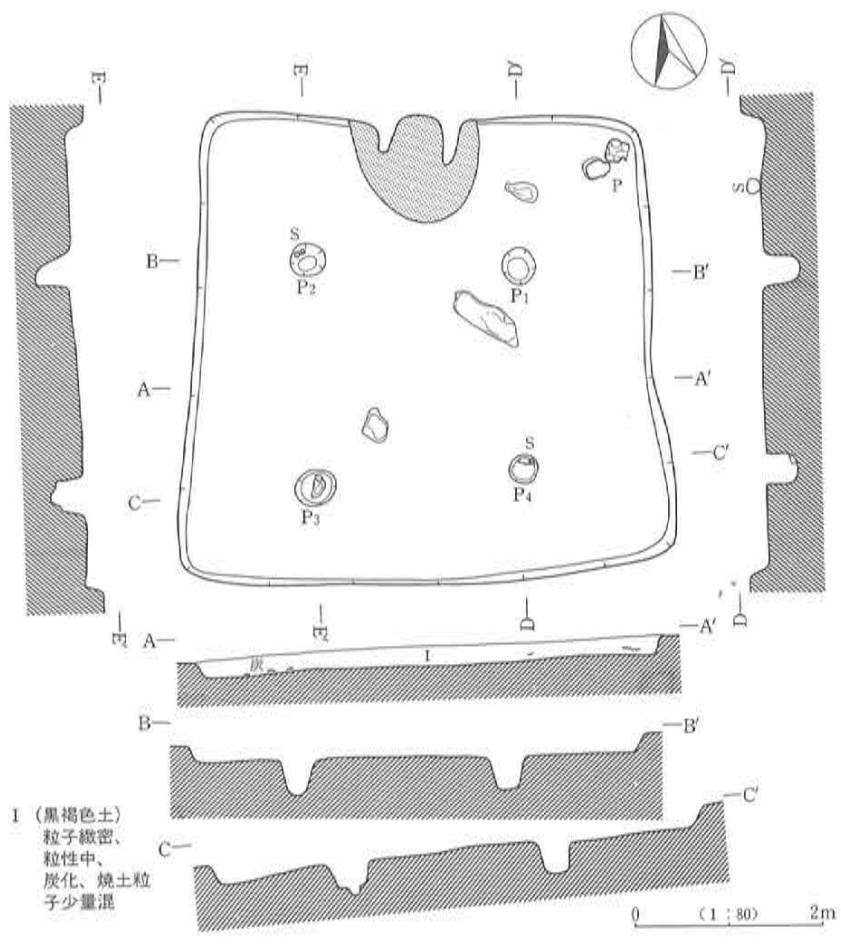
第217図 H111号住居址実測図



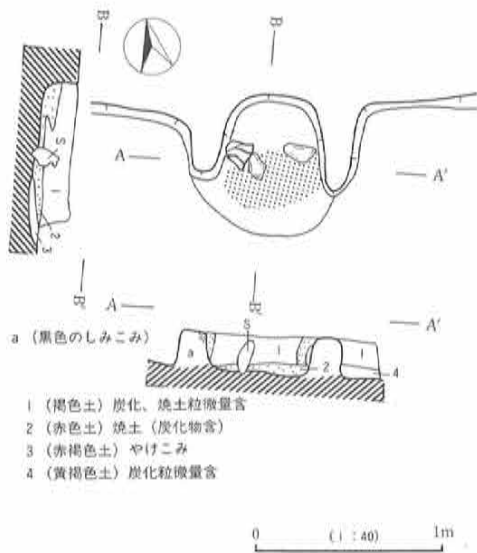
第215図 H109号住居址カマド実測図



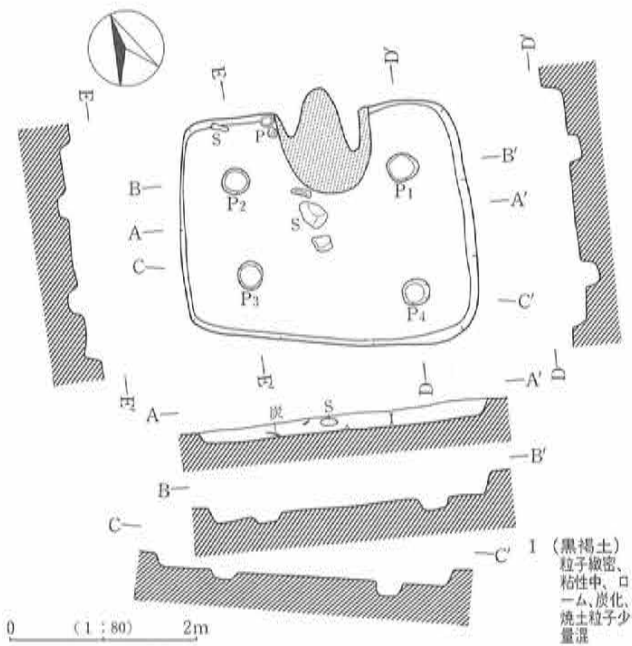
第218図 H111号住居址カマド実測図



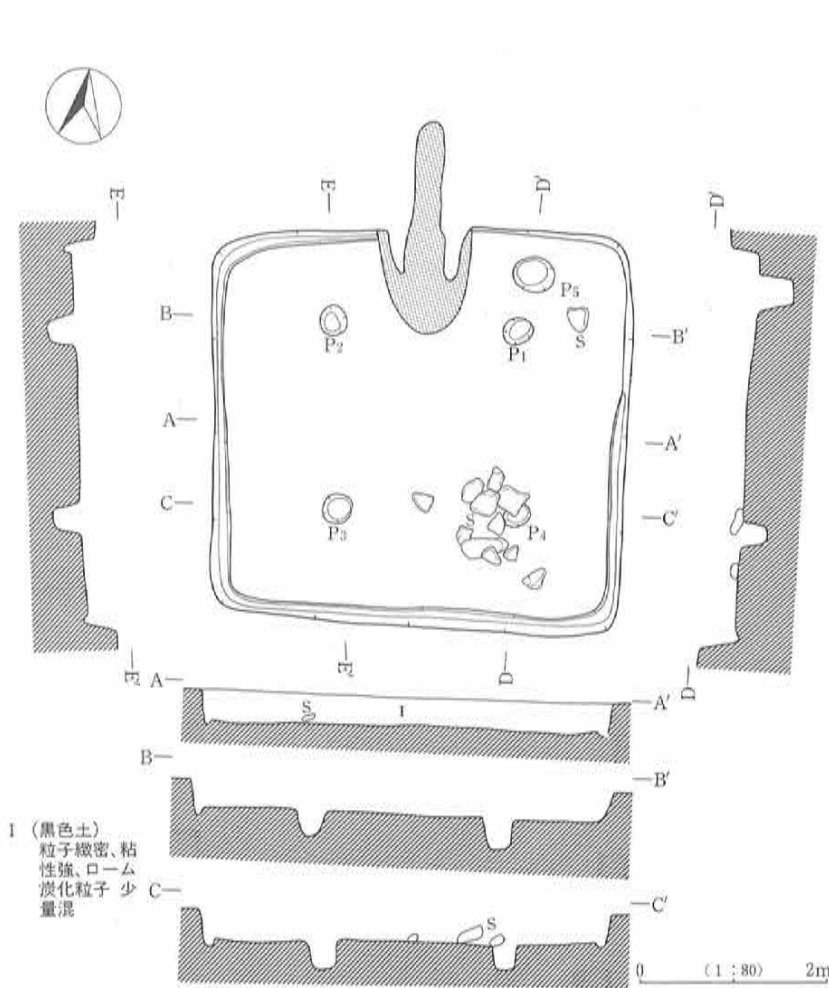
第219図 H112号住居址実測図



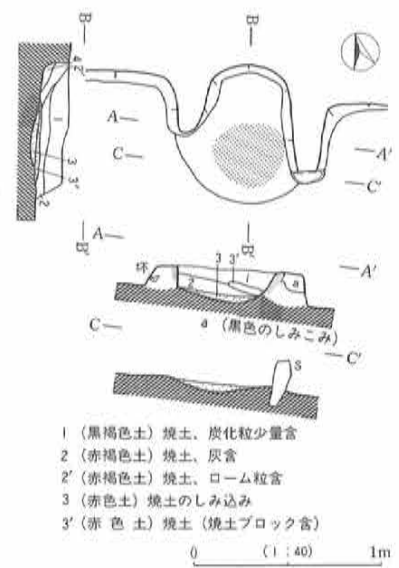
第220図 H112号住居址カマド実測図



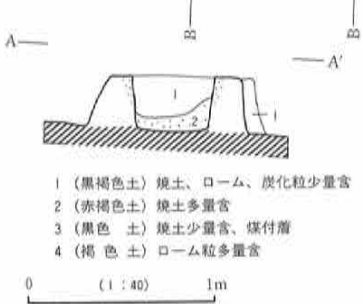
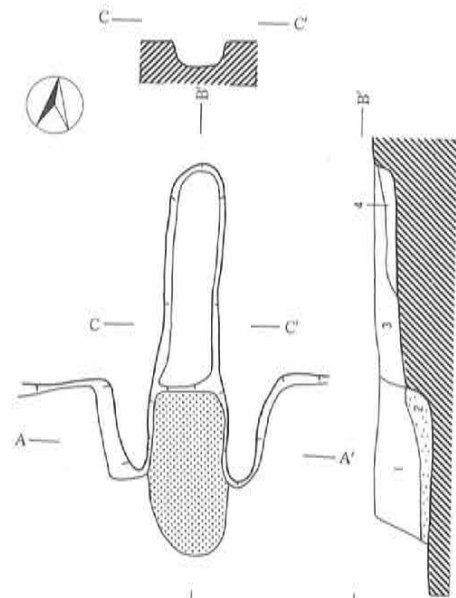
第221図 H113号住居址実測図



第223図 H114号住居址実測図

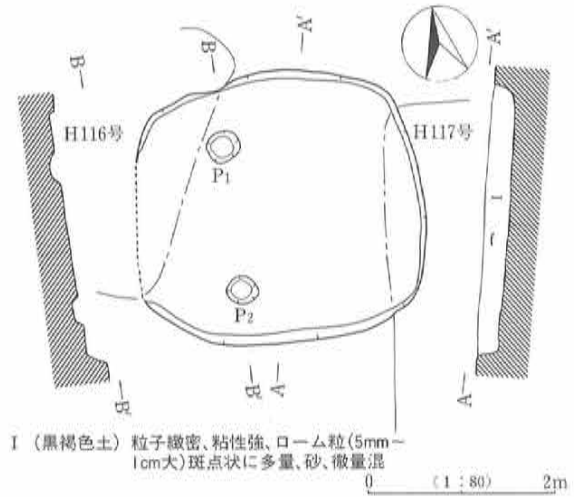


第222図 H113号住居址カマド実測図



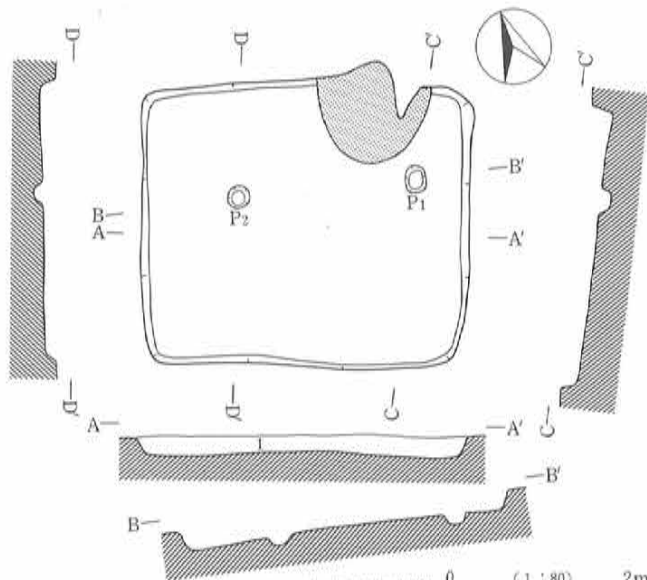
- 1 (黒褐色土) 焼土、ローム、炭化粒少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土多量含
- 3 (黒色土) 焼土少量含、煤付層
- 4 (褐色土) ローム粒多量含

第224図 H114号住居址カマド実測図



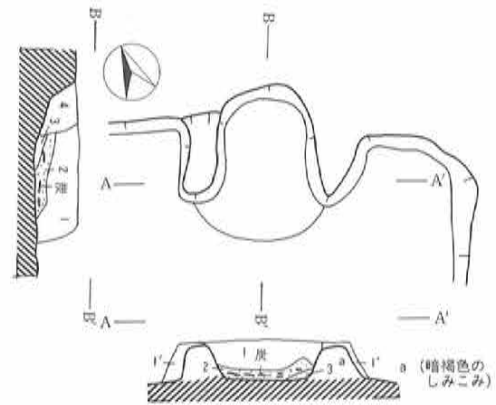
I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒(5mm-1cm大)斑点状に多量、砂、微量混

第225図 H115号住居址実測図



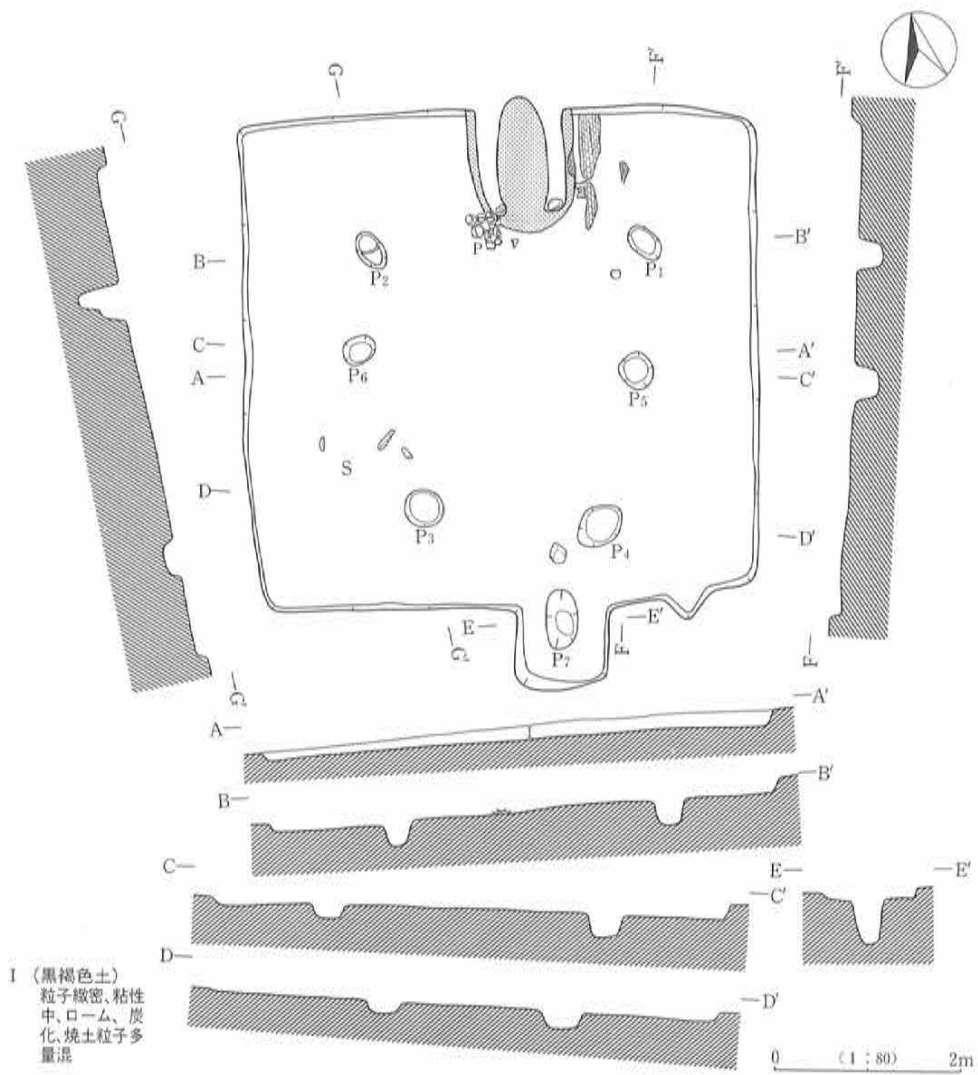
I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム粒(5mm大)が斑点状に多量混

第226図 H116号住居址実測図

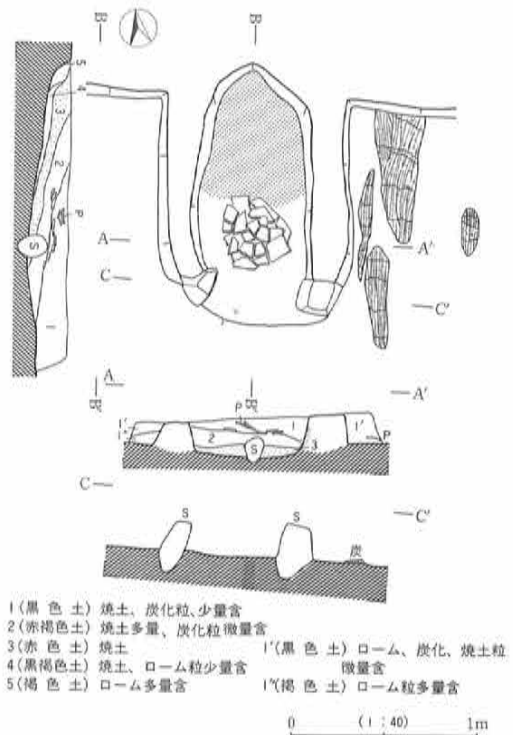


- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化少量含
- 1' (黒色土) ローム少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土、炭化、灰少量含
- 3 (褐色土) 焼土微量、ローム多量含
- 4 (暗褐色土) 焼土、炭化、ローム粒含

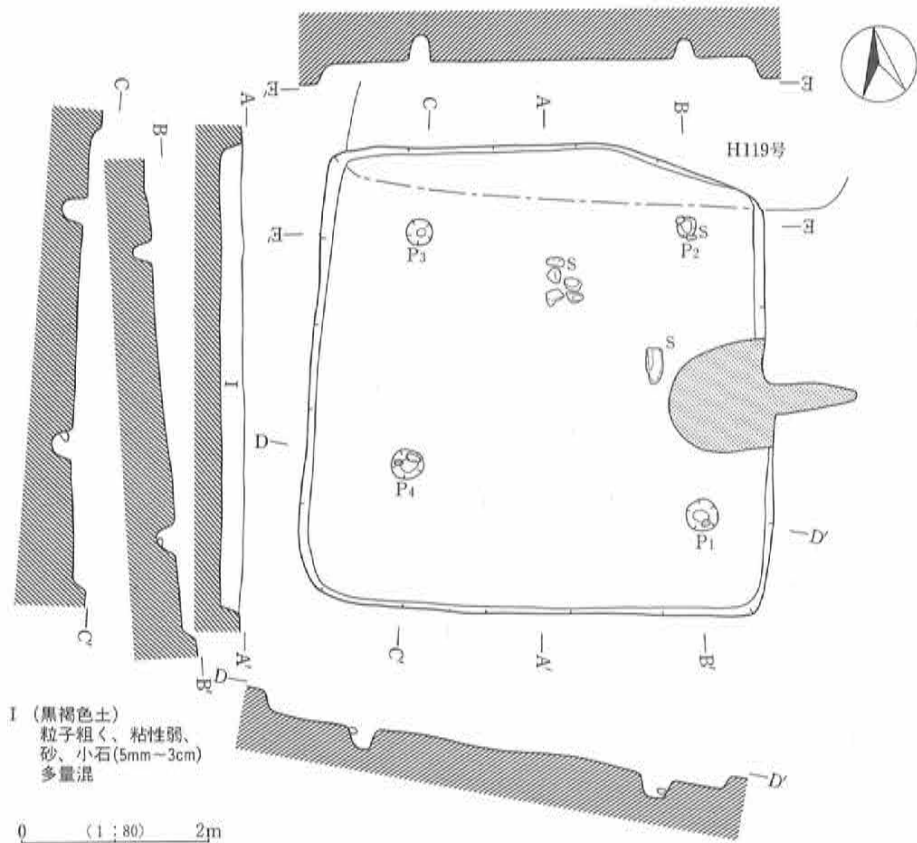
第227図 H116号住居址カマド実測図



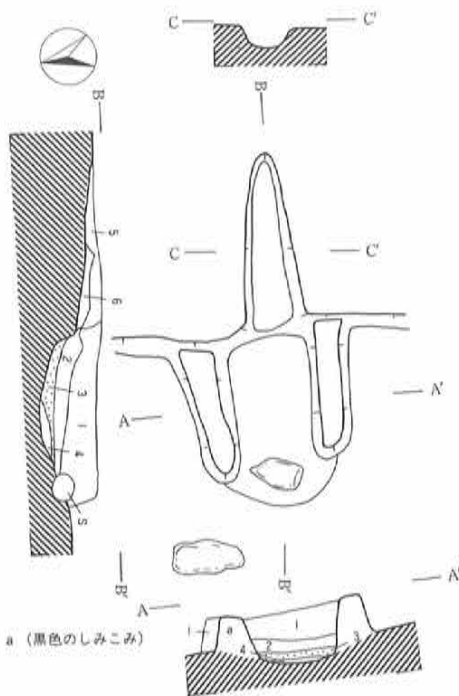
第228図 H117号住居址実測図



第229図 H117号住居址カマド実測図

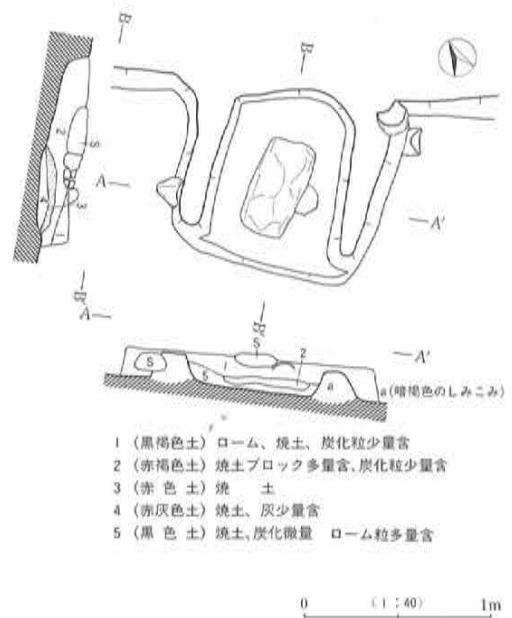


第230図 H118号住居址実測図



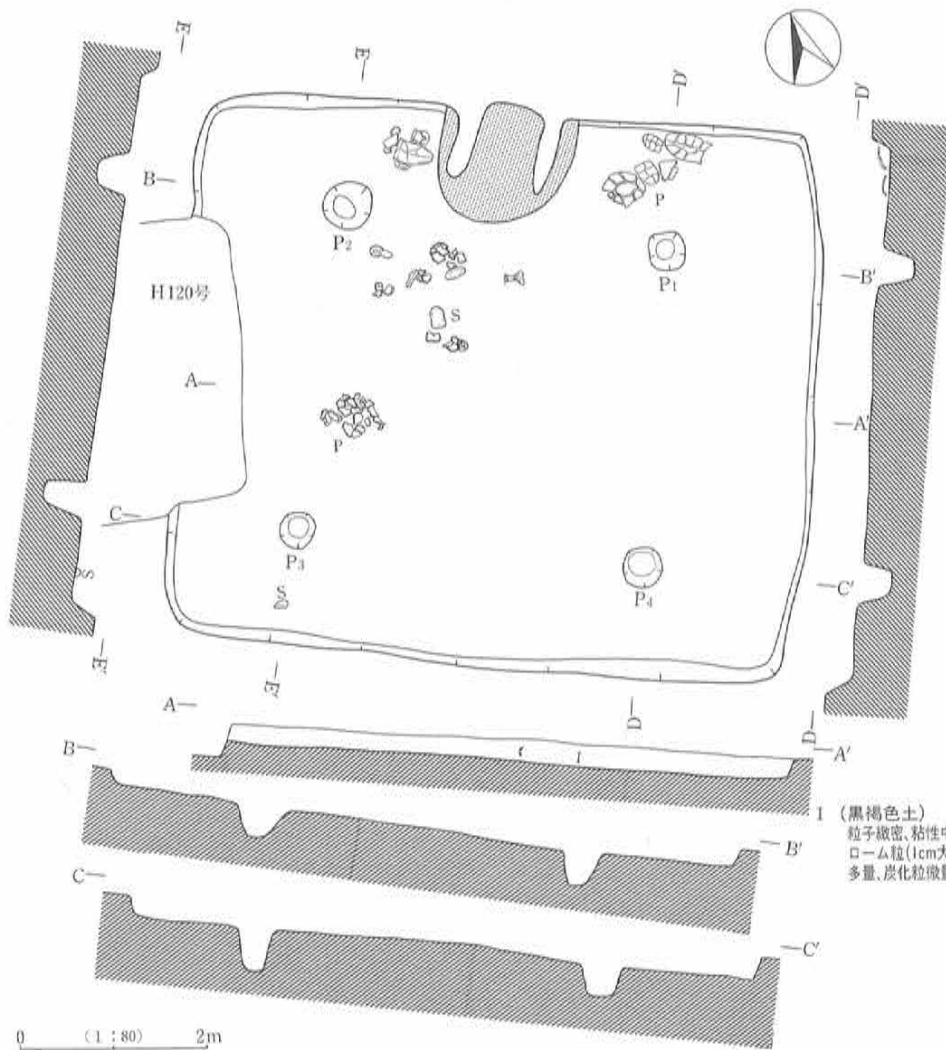
- 1 (黒色土) ローム、砂、小石少量含、炭化、焼土微量含
- 2 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化少量含
- 3 (赤色土) 焼土(炭化、ローム含)
- 4 (赤灰色土) 焼土、灰含
- 5 (赤褐色土) 焼土含
- 6 (暗褐色土) 焼土、煤付着

第231図 H118号住居址カマド実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土ブロック多量含、炭化粒少量含
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (赤灰色土) 焼土、灰少量含
- 5 (黒色土) 焼土、炭化微量、ローム粒多量含

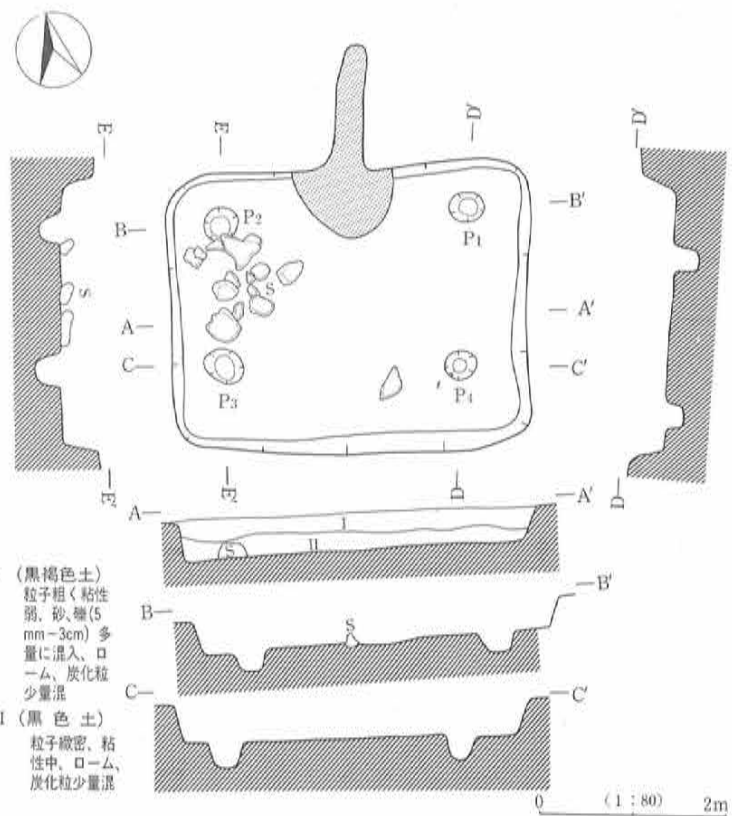
第233図 H119号住居址カマド実測図



I (黑褐色土)
 粒子緻密、粘性中、
 口—ム粒(1cm大)
 多量、炭化粒少量混

0 (1:80) 2m

第232图 H119号住居址实测图

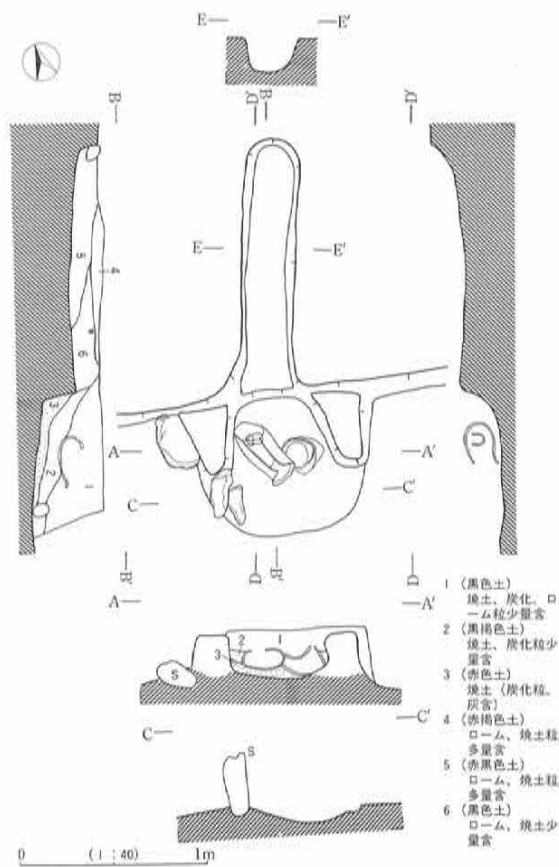


I (黑褐色土)
 粒子粗く粘性
 弱、砂、礫(5
 mm-3cm)多
 量に混入、口
 —ム、炭化粒
 少量混

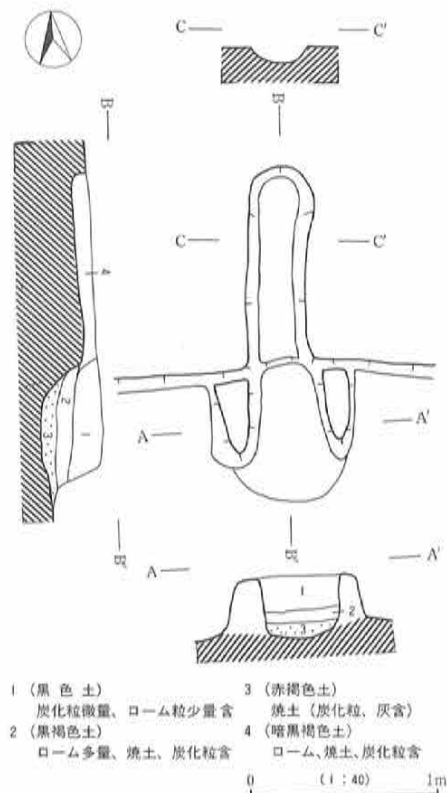
II (黑色土)
 粒子緻密、粘
 性中、口—ム、
 炭化粒少量混

0 (1:80) 2m

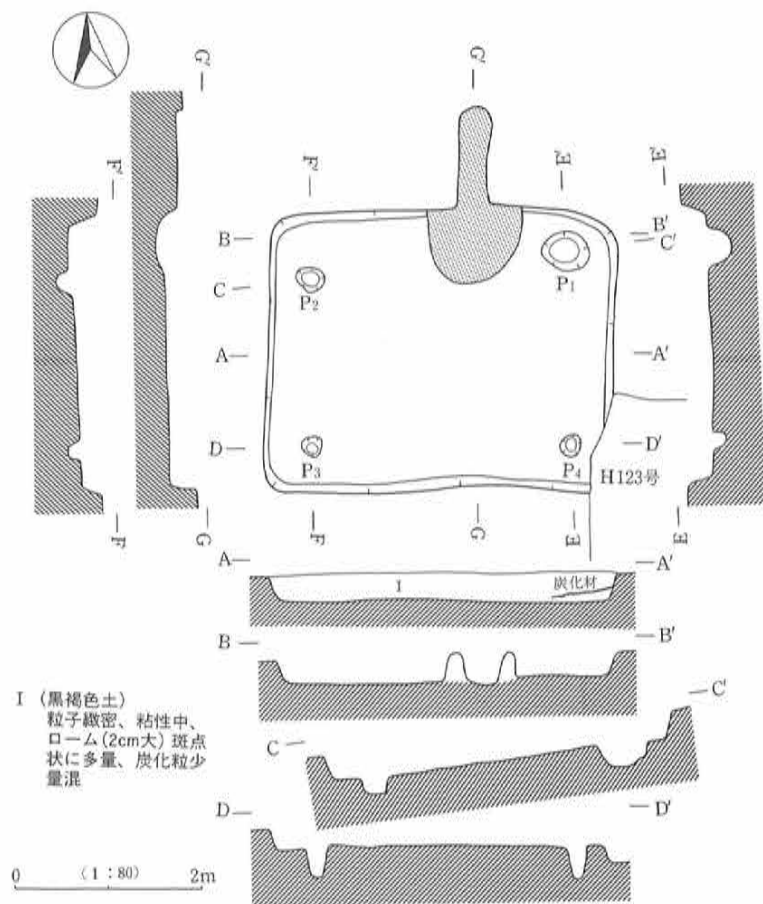
第234图 H120号住居址实测图



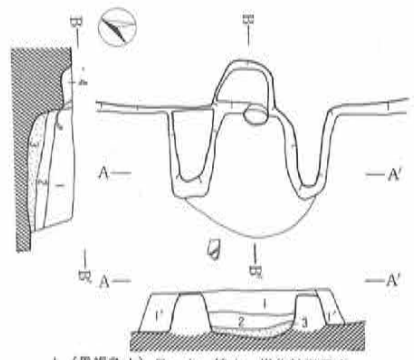
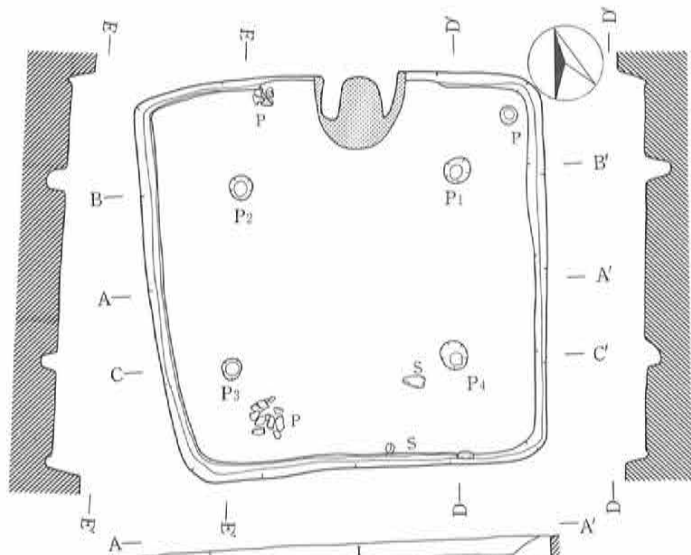
第235図 H120号住居址カマド実測図



第237図 H121号住居址カマド実測図



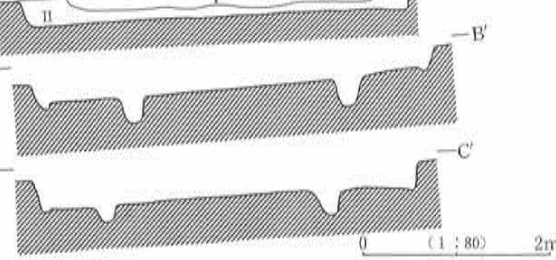
第236図 H121号住居址実測図



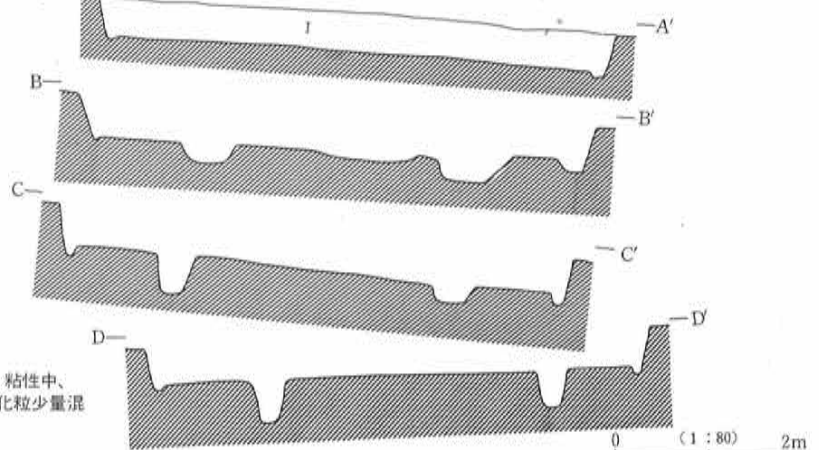
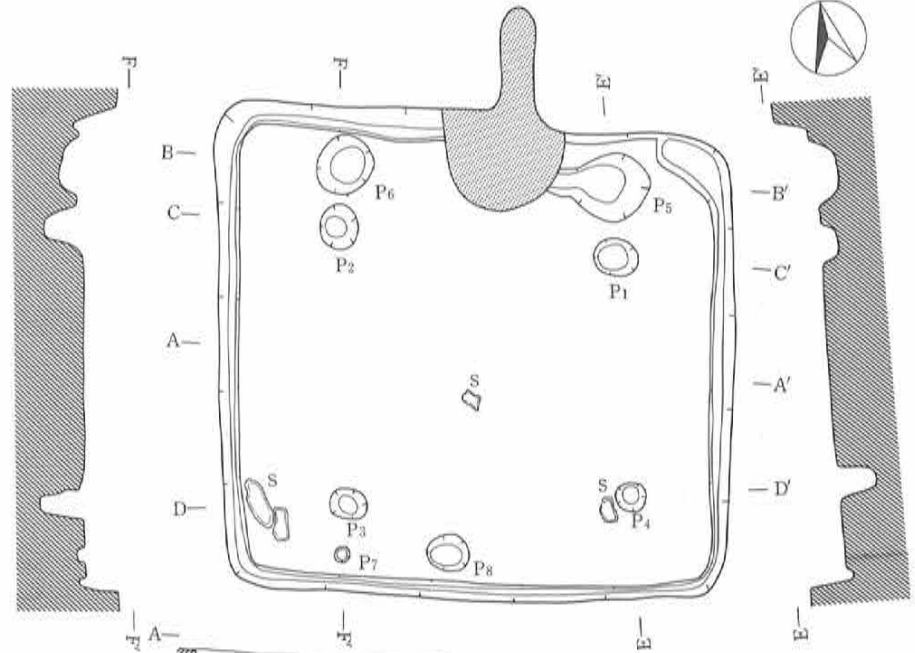
- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 2 (黒色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 3 (暗赤褐色土) 焼土 (炭化粒、灰含)
- 4 (褐色土) 焼土、煤、微量付着
- 1' (茶褐色土) ローム粒少量含

第239図 H122号住居址カマド実測図

- I (黒色土) 粒子緻密、粘性中、砂、ローム、炭化粒少量混
- II (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、砂、ローム粒多量混

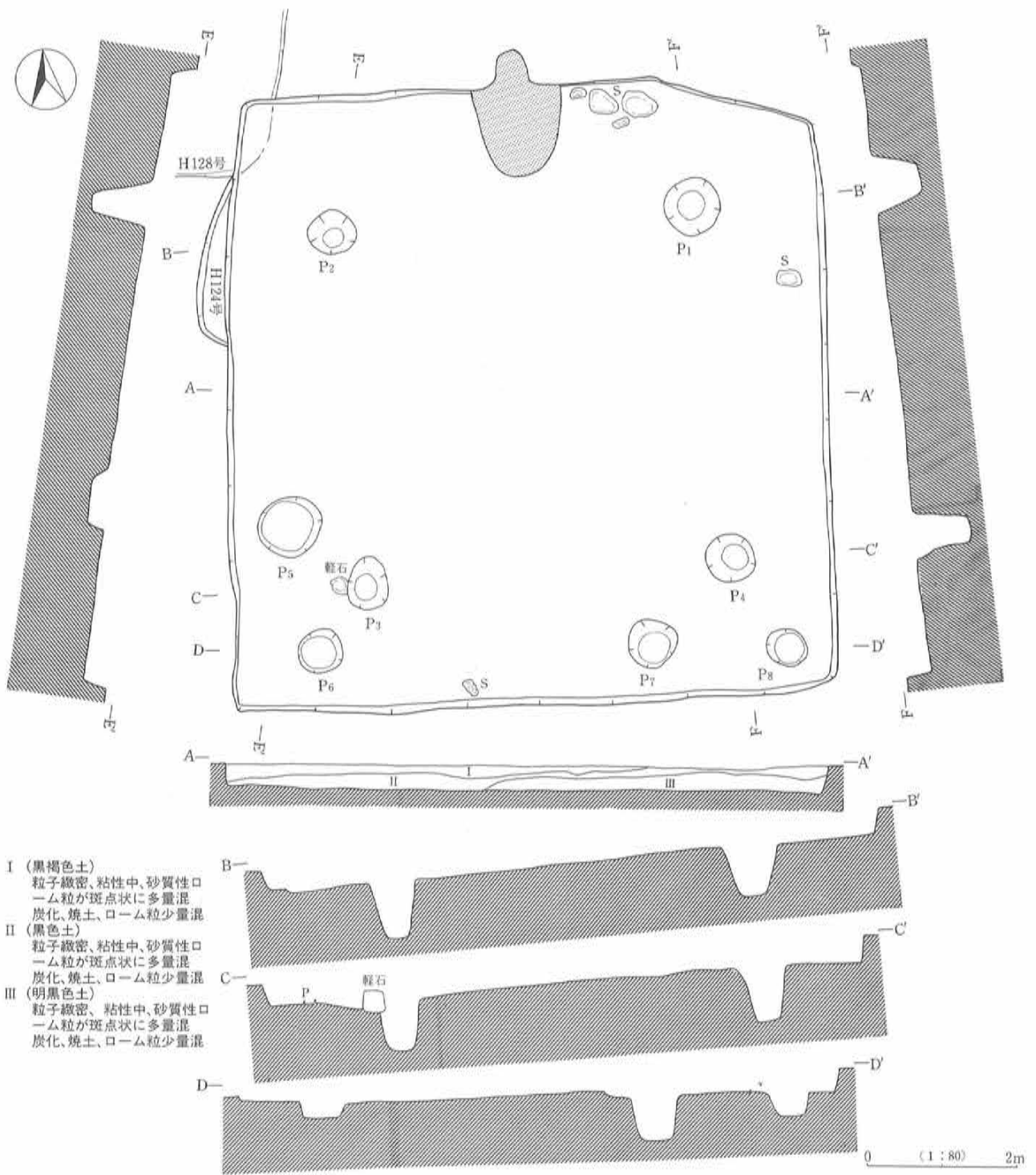


第238図 H122号住居址実測図

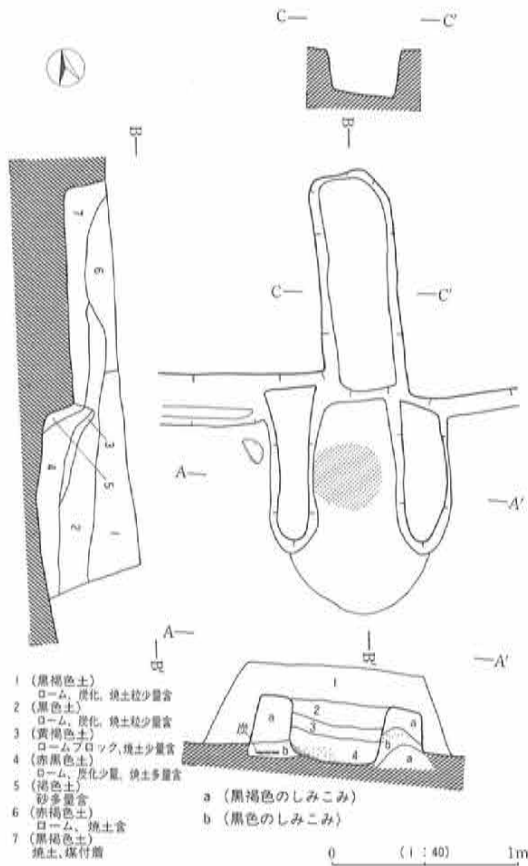


- I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム、炭化粒少量混

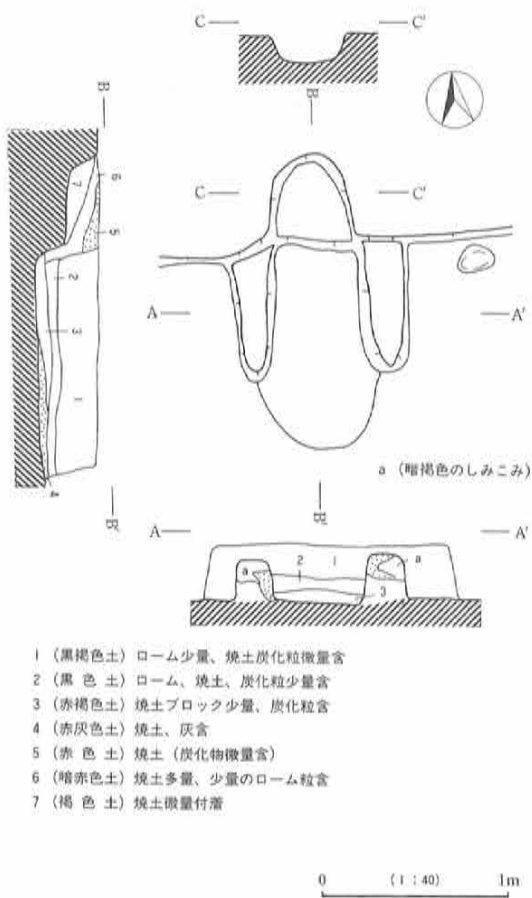
第240図 H123号住居址実測図



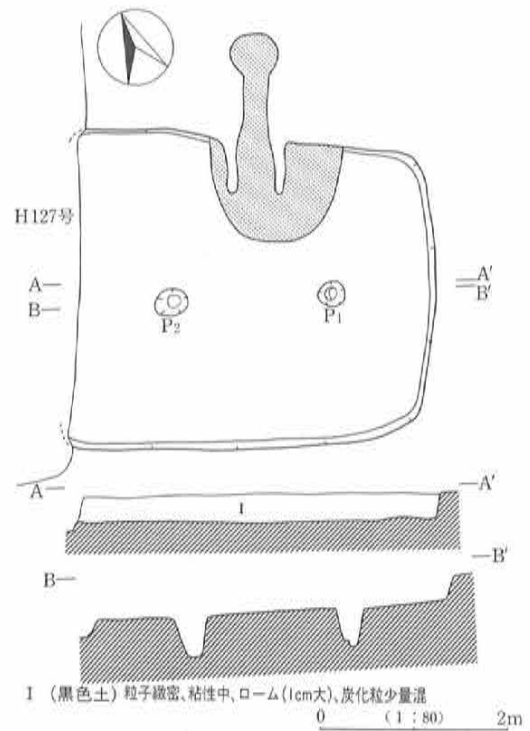
第242図 H124号・125号住居址実測図



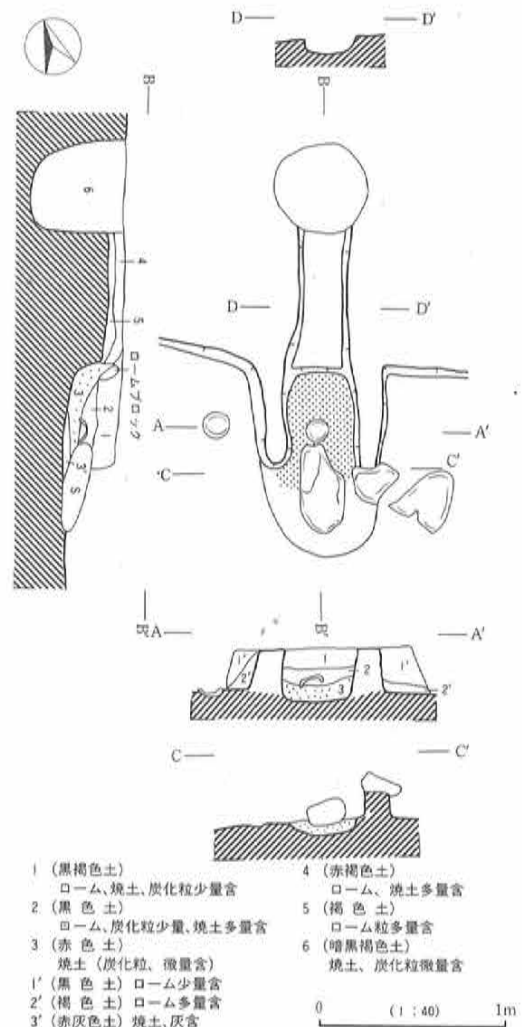
第241図 H123号住居址カマド実測図



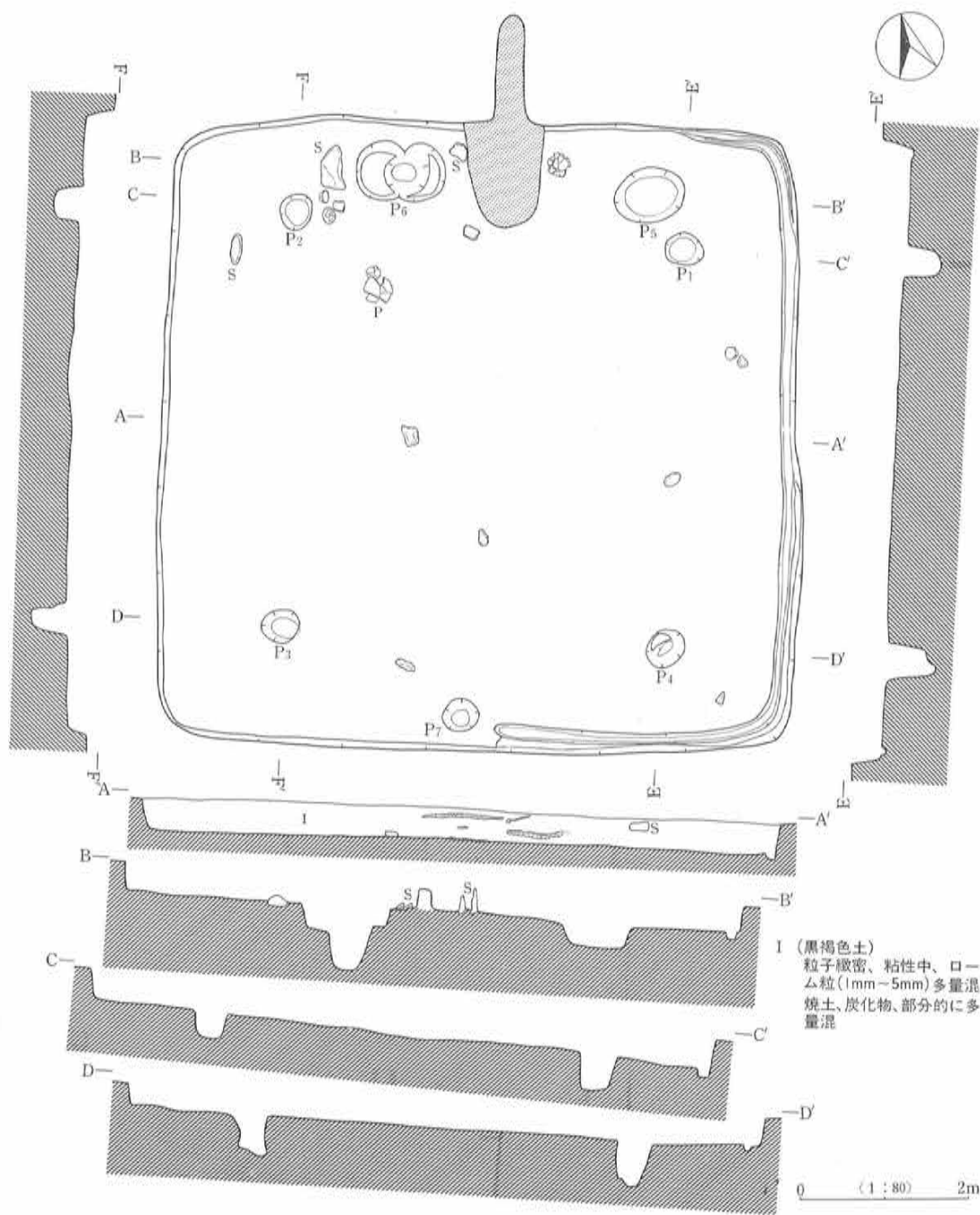
第243図 H125号住居址カマド実測図



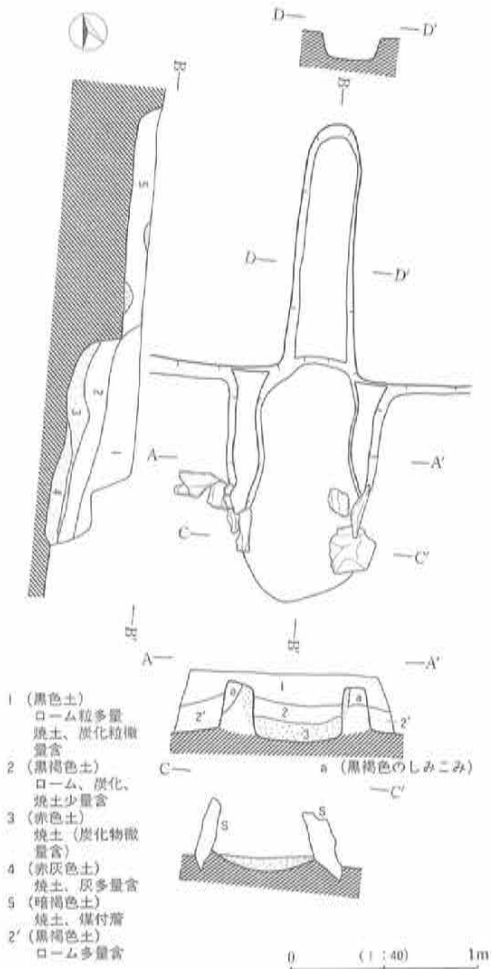
第244図 H126号住居址実測図



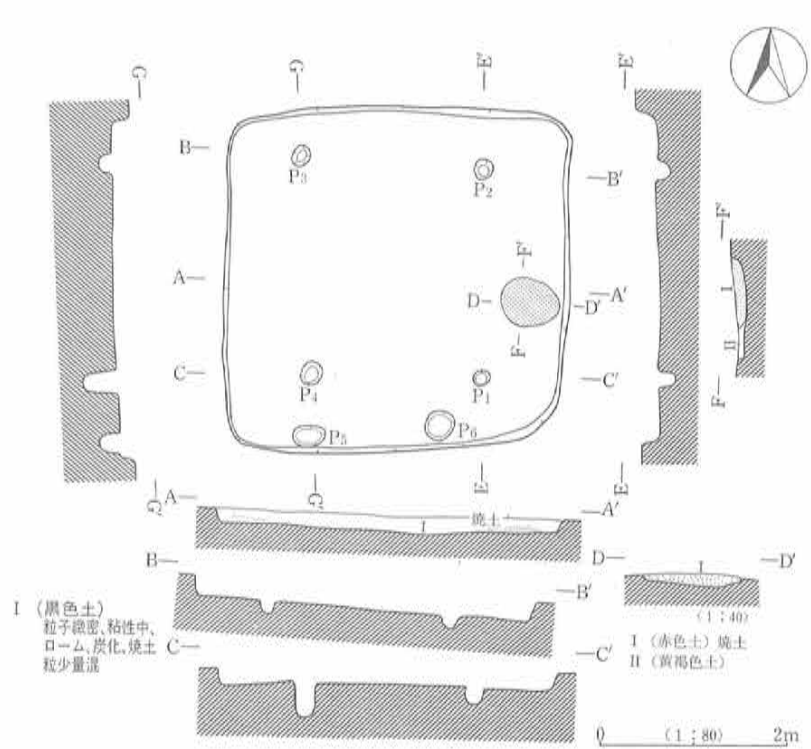
第245図 H126号住居址カマド実測図



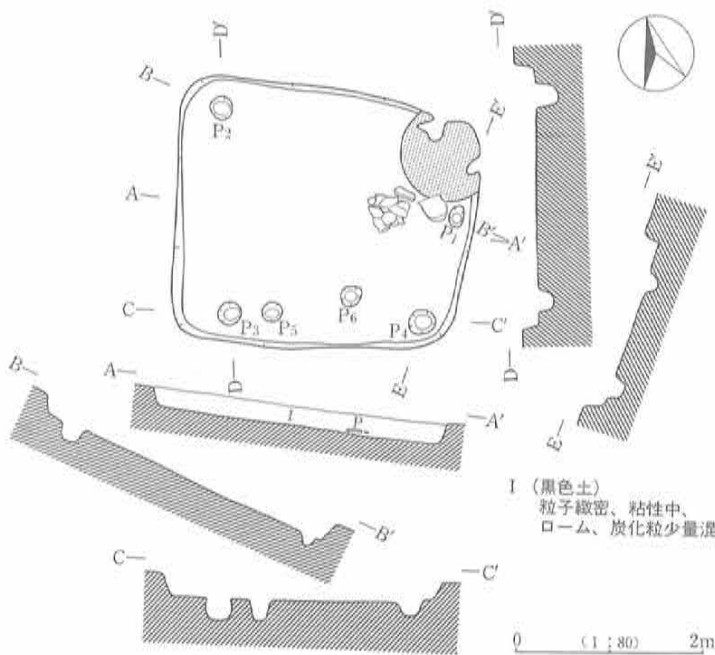
第246図 H127号住居址実測図



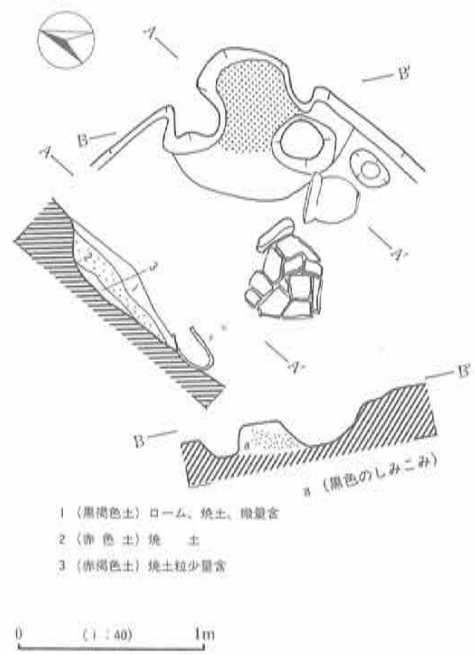
第247図 H127号住居址カマド実測図



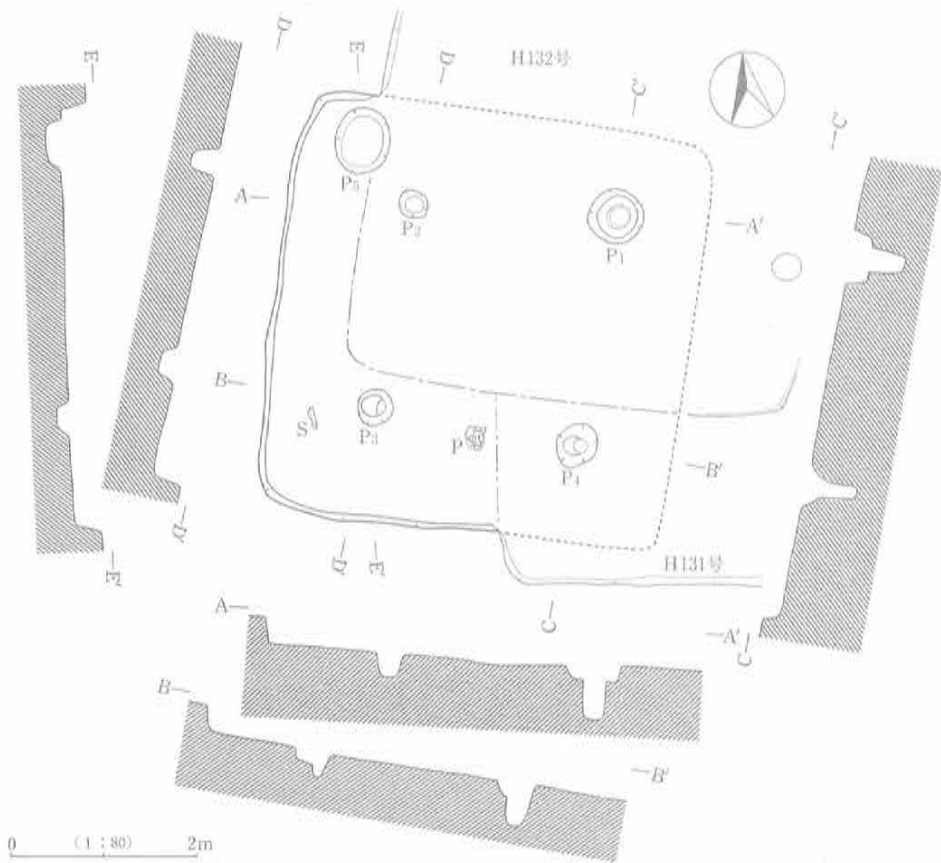
第248図 H128号住居址実測図



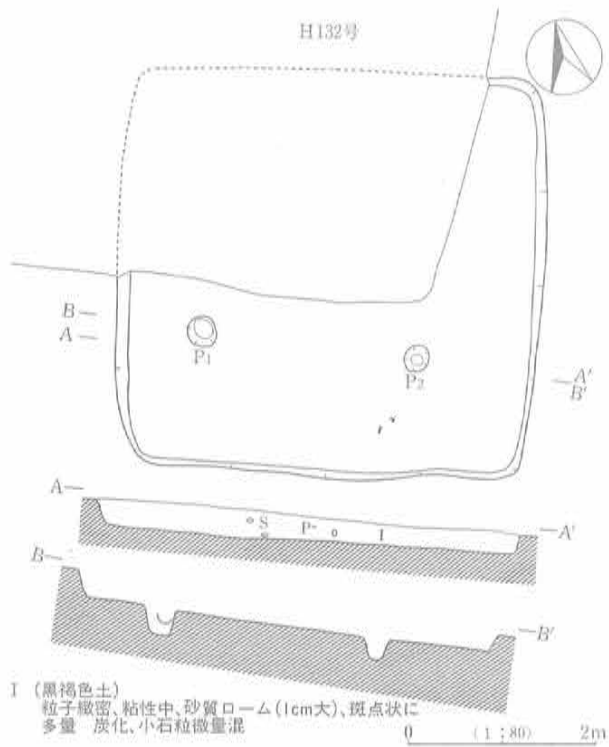
第249図 H129号住居址実測図



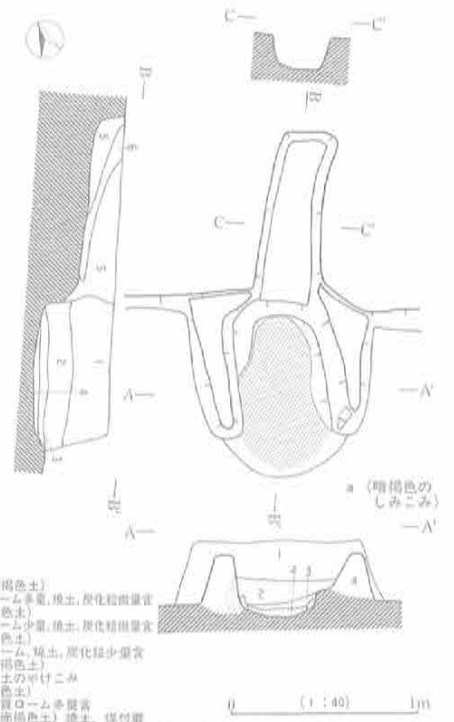
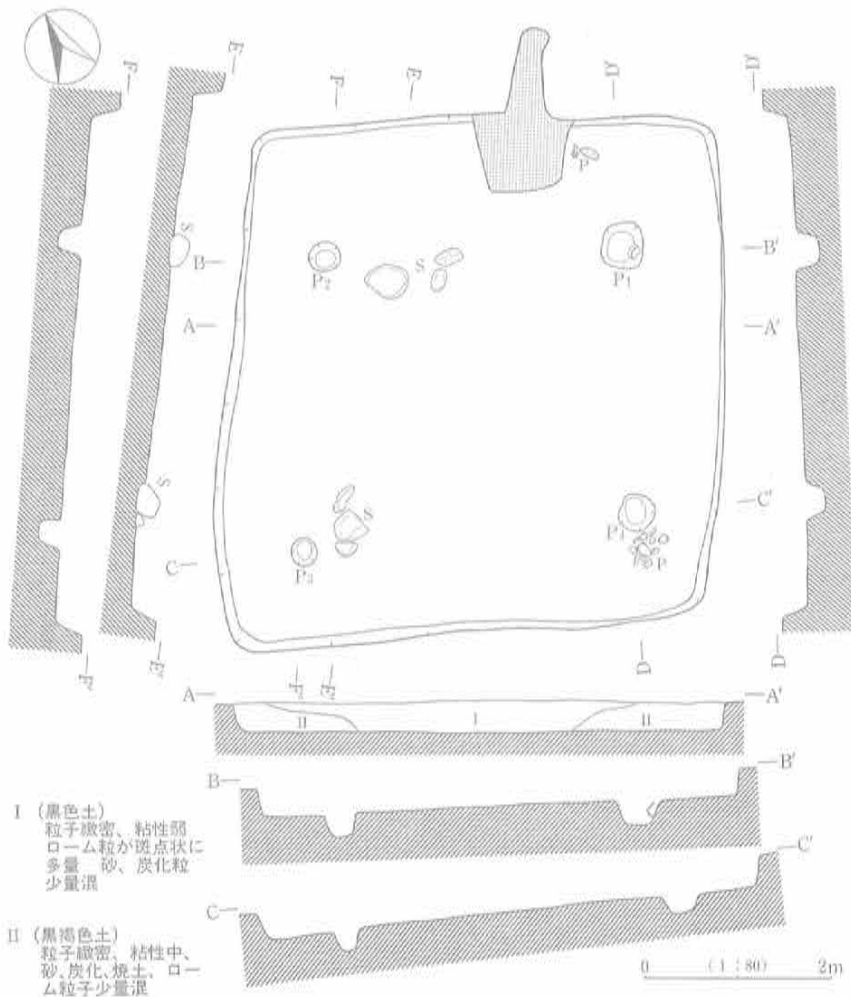
第250図 H129号住居址カマド実測図



第251图 H130号住居址实测图

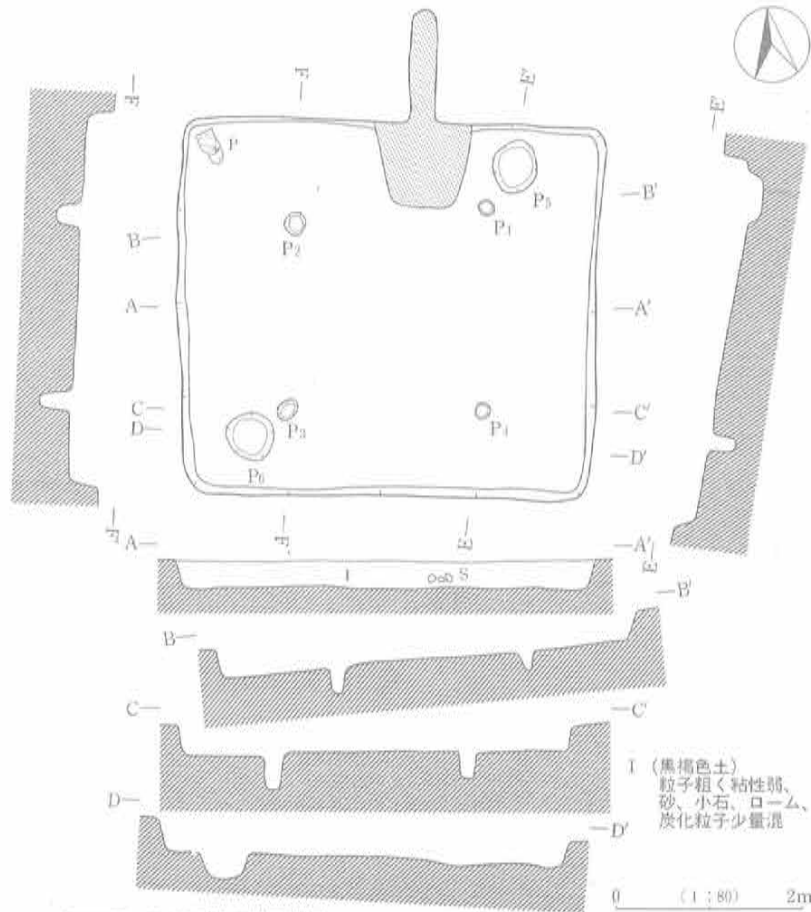


第252图 H131号住居址实测图

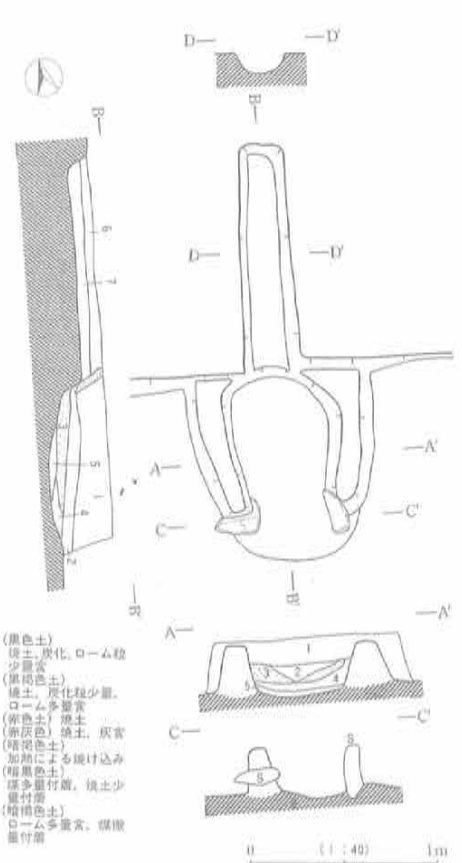


第254図 H132号住居址カマド実測図

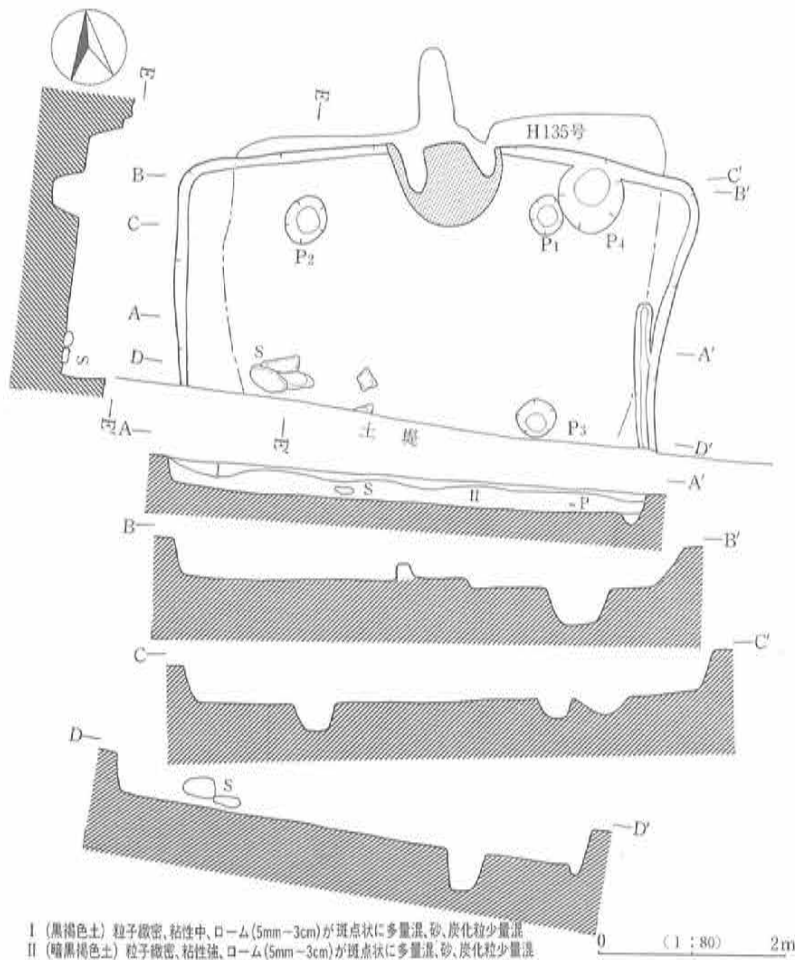
第253図 H132号住居址実測図



第255図 H133号住居址実測図

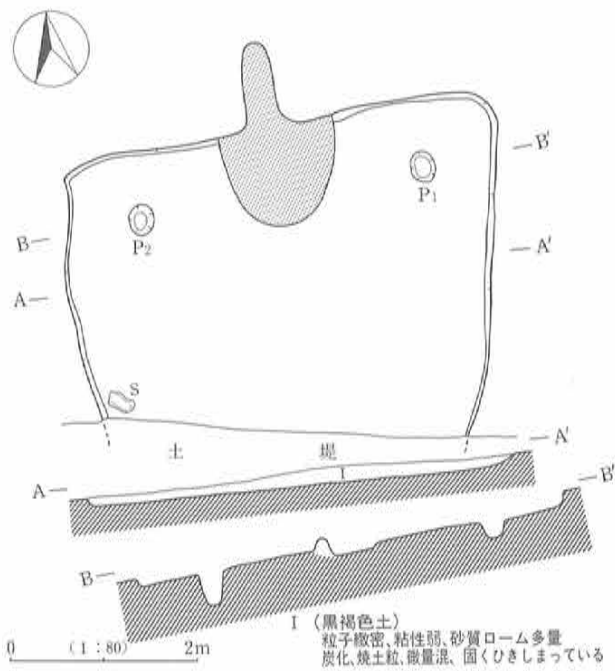


第256図 H133号住居址カマド実測図



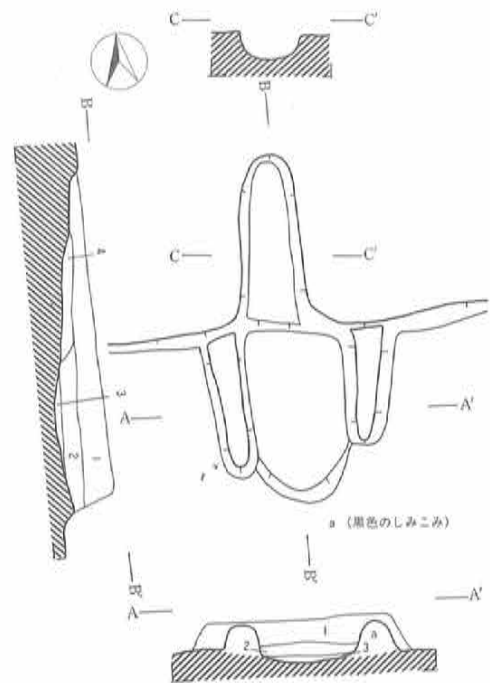
I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム(5mm-3cm)が斑点状に多量混、砂、炭化粒少量混
 II (暗黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム(5mm-3cm)が斑点状に多量混、砂、炭化粒少量混

第257図 H134号住居址実測図



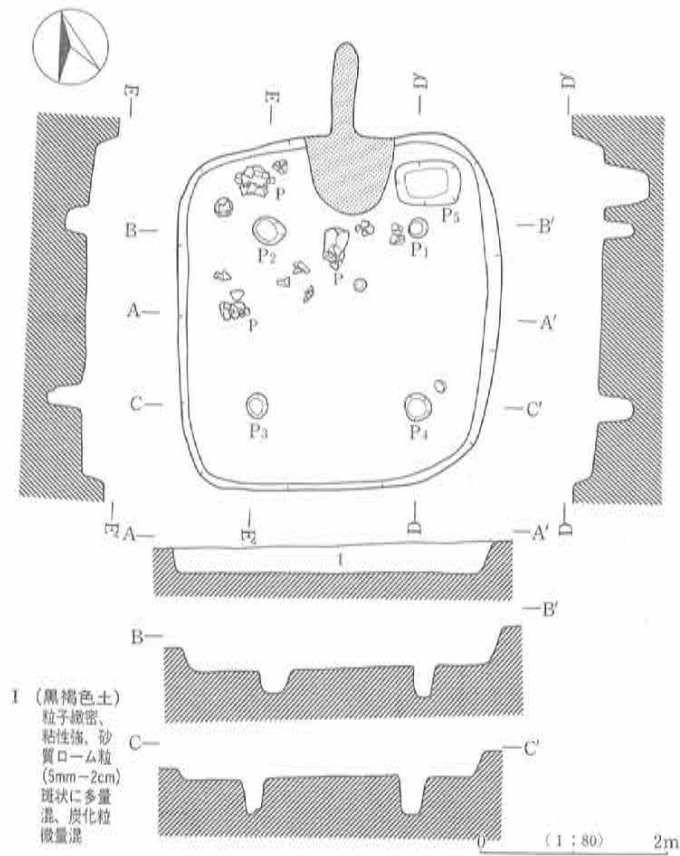
I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性弱、砂質ローム多量
 炭化、焼土粒、微量混、固くひきしまっている

第258図 H135号住居址実測図

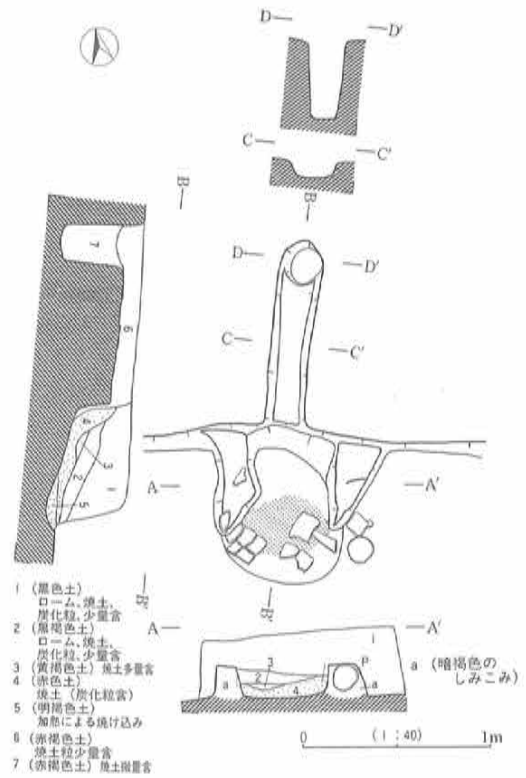


1 (黒褐色土) 砂、ローム粒、多量含
 2 (黒色土) ローム、炭化粒微量含
 3 (褐色土) 加熱による焼け込み
 4 (赤褐色土) ローム、炭化、焼土粒少量含

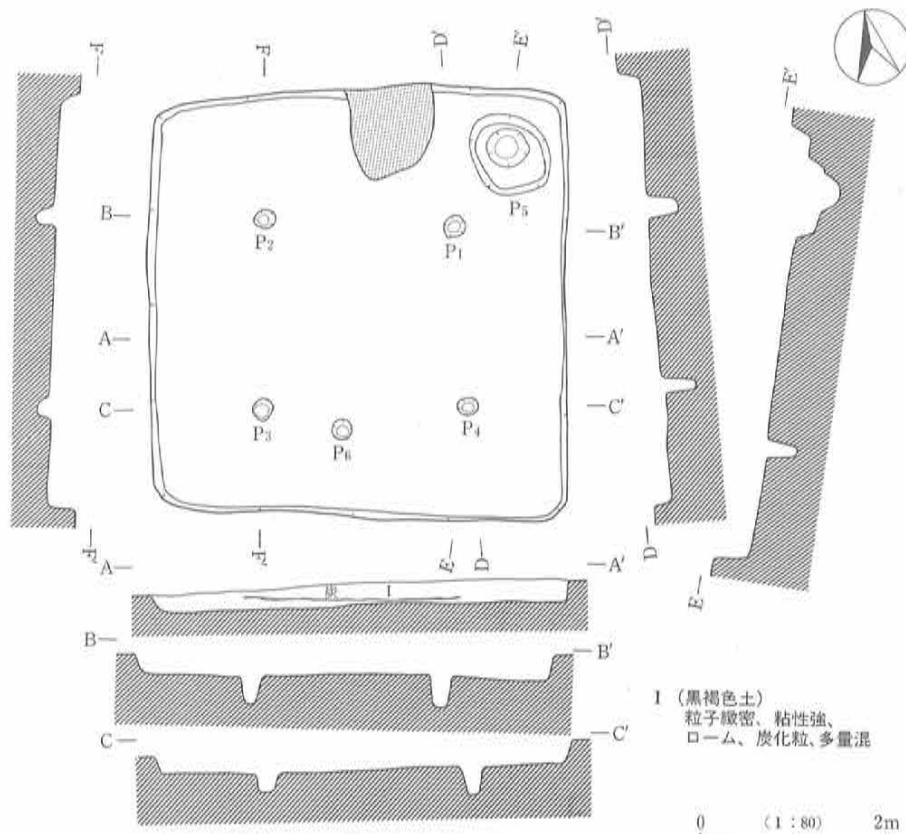
第259図 H135号住居址カマド実測図



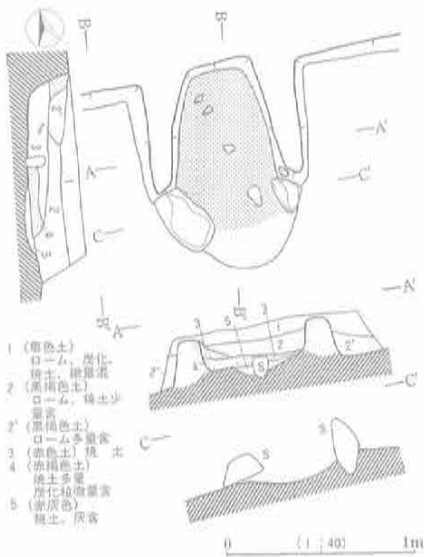
第260図 H136号住居址実測図



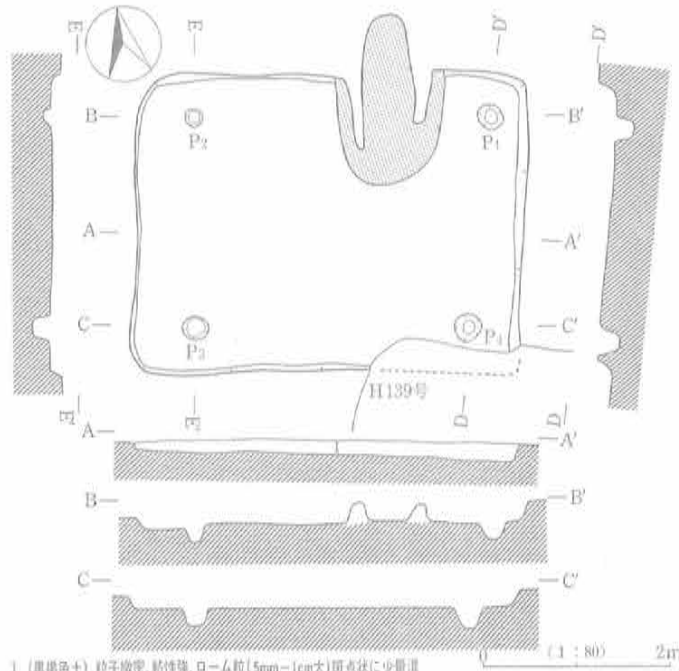
第261図 H136号住居址カマド実測図



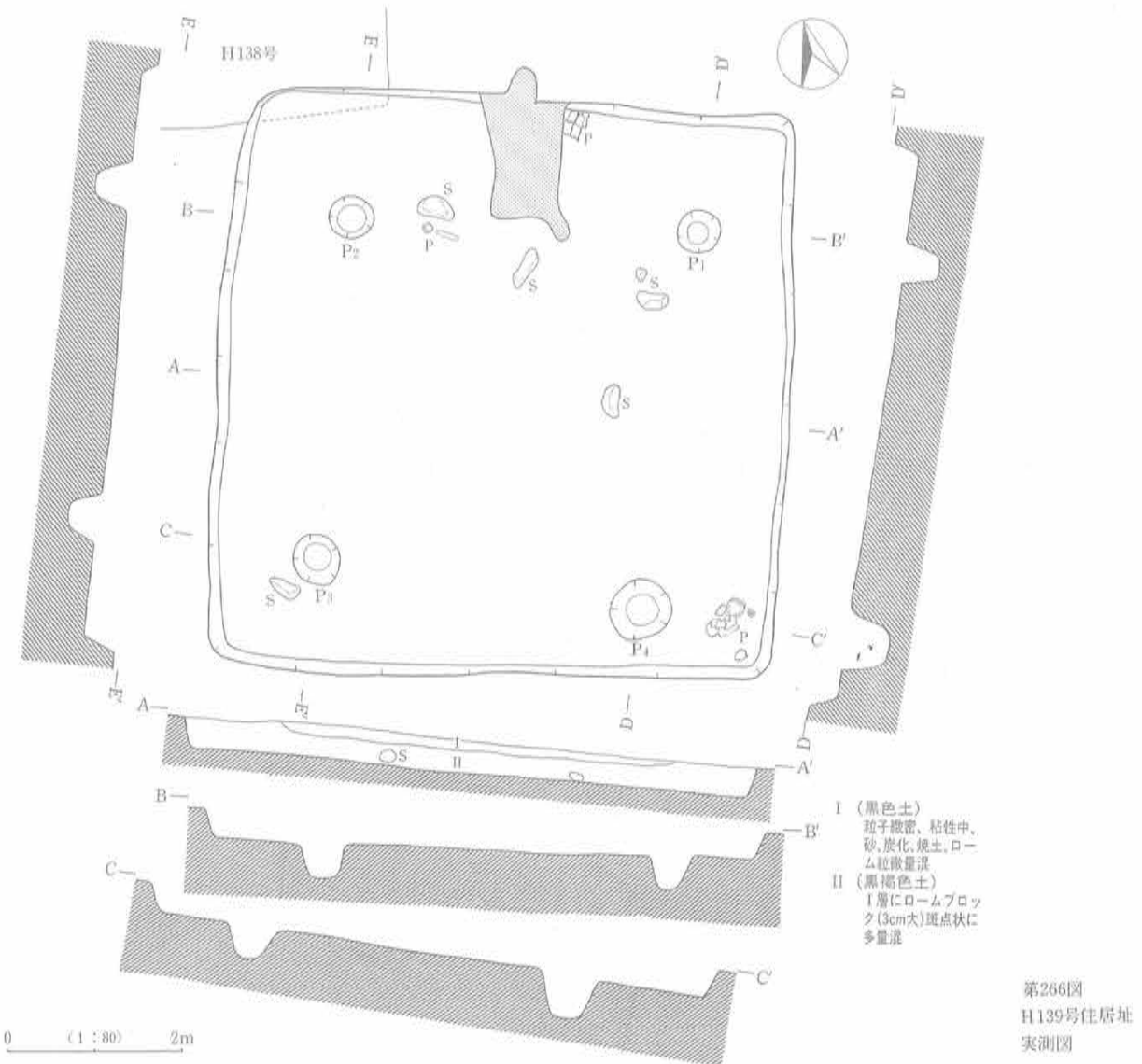
第262図 H137号住居址実測図



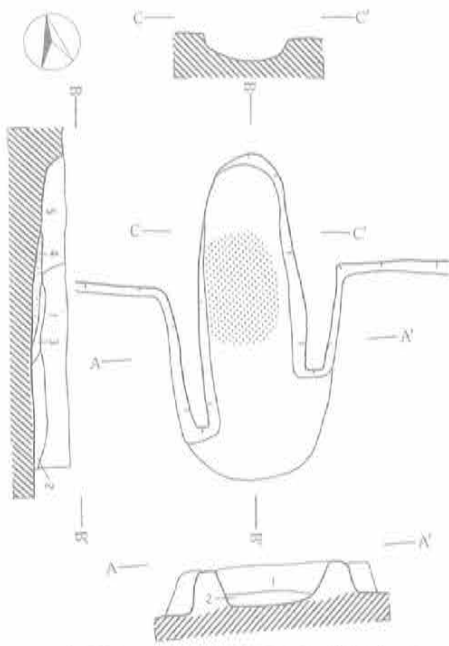
第263図 H137号住居址カマド実測図



1 (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒(5mm-1cm大)斑点状に少量混
第264図 H138号住居址実測図



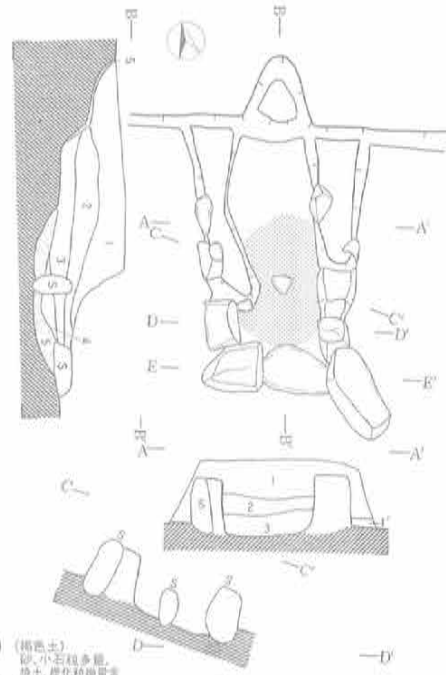
第266図
H139号住居址
実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、砂、小石粒少量、炭化物微量含
- 2 (黒色土) ローム、砂、小石粒少量、炭化粒微量含
- 3 (褐色土) 焼土、炭化粒、微量含
- 4 (赤色土) 焼土 (炭化粒微量含)
- 5 (暗褐色土) 焼土、小石、砂、ローム粒多量含 煤片附、

0 (1:40) 1m

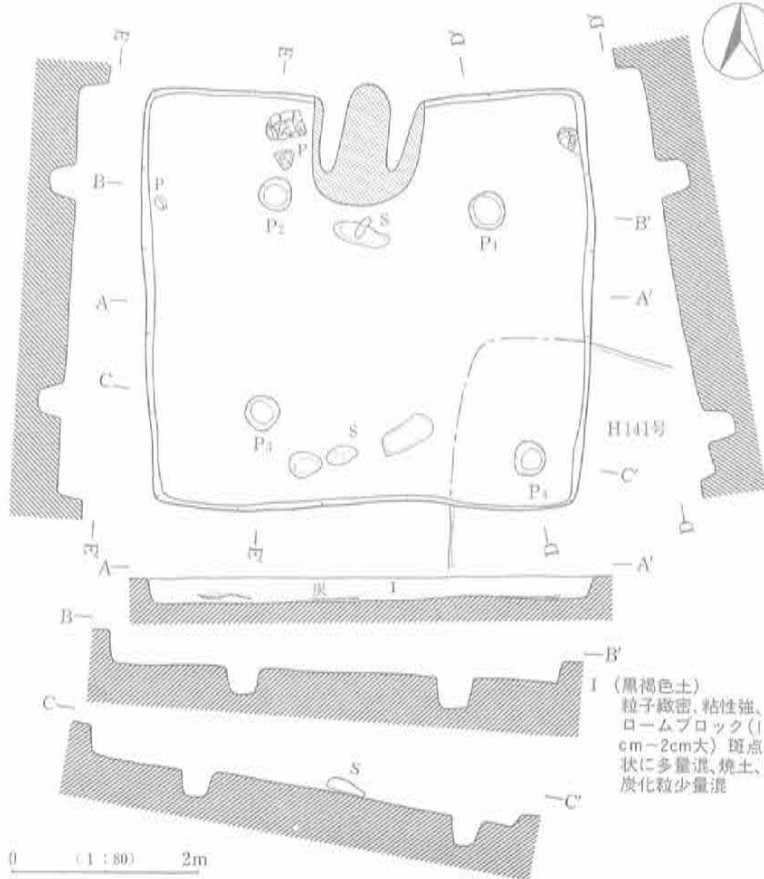
第265図 H138号住居址カマド実測図



- 1 (褐色土) 砂、小石粒多量、焼土、炭化粒微量含
- 2 (暗褐色土) 砂、小石粒、焼土、炭化粒少量含
- 3 (暗褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 4 (赤褐色土) 焼土、炭化粒少量含
- 5 (暗褐色土) 焼土
- 1' (暗褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含

0 (1:40) 1m

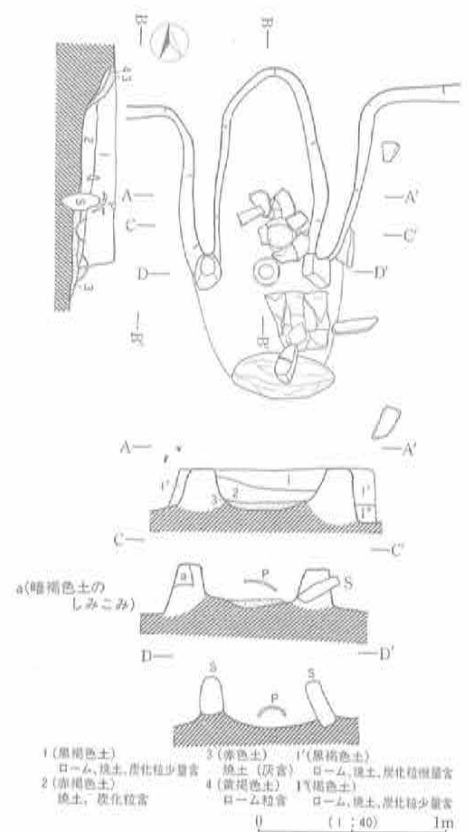
第267図 H139号住居址カマド実測図



- I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性強、ロームブロック(1cm-2cm大)斑点状に多量混、焼土、炭化粒少量混

0 (1:80) 2m

第268図 H140号住居址実測図

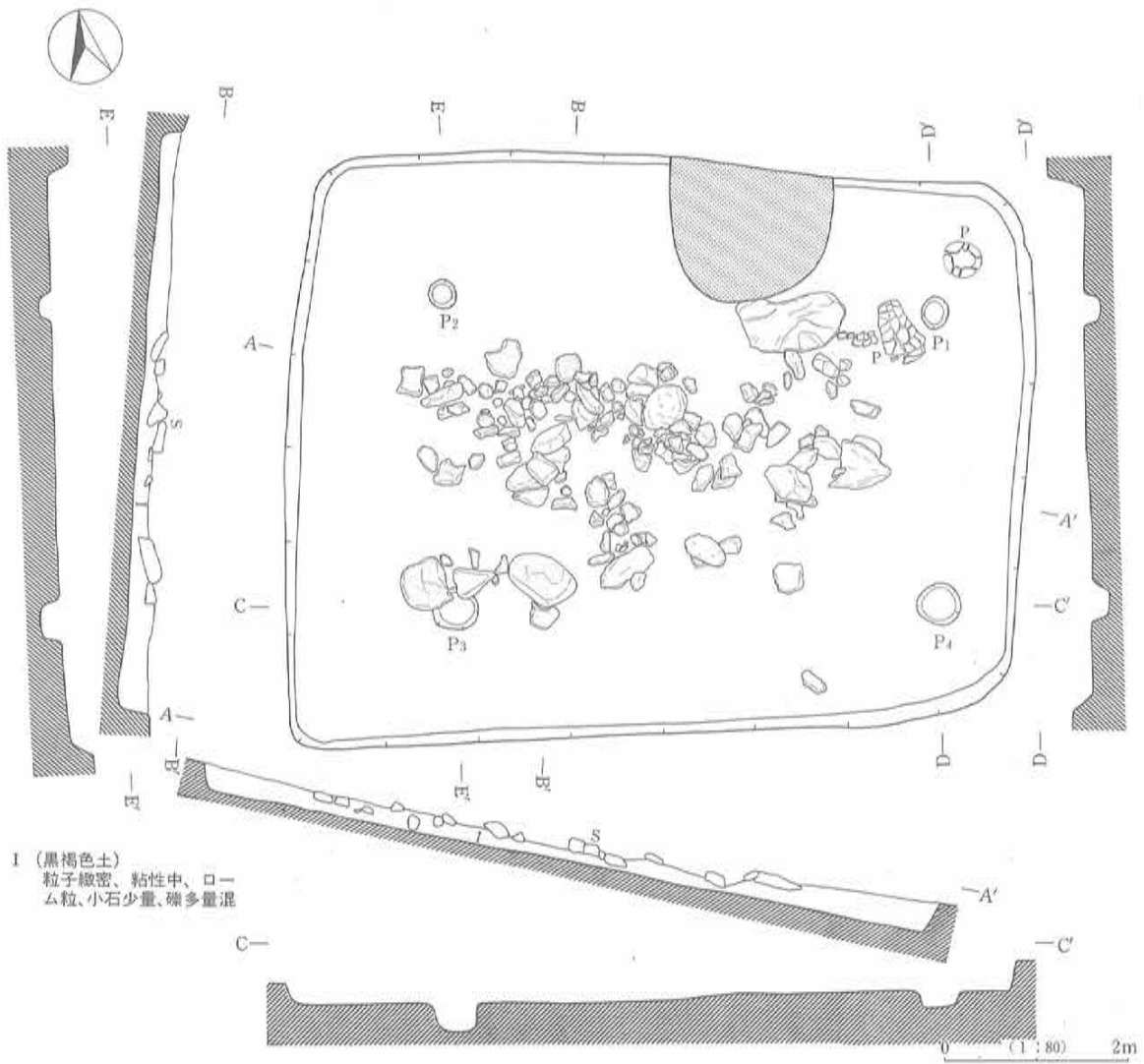


a(暗褐色土のしみこみ)

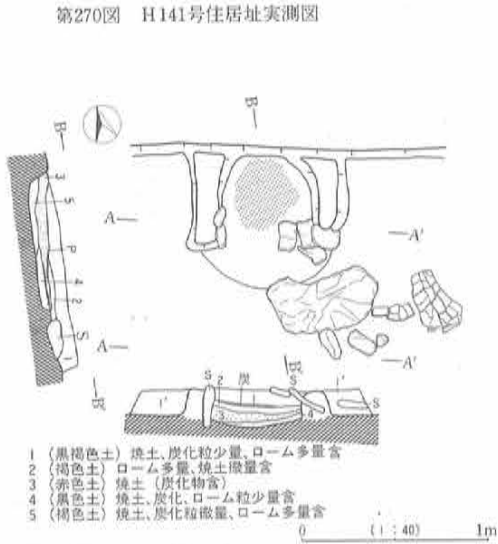
- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土、炭化粒含
- 3 (赤色土) ローム、焼土、炭化粒微量含
- 4 (赤褐色土) ローム粒含
- 1' (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒微量含

0 (1:40) 1m

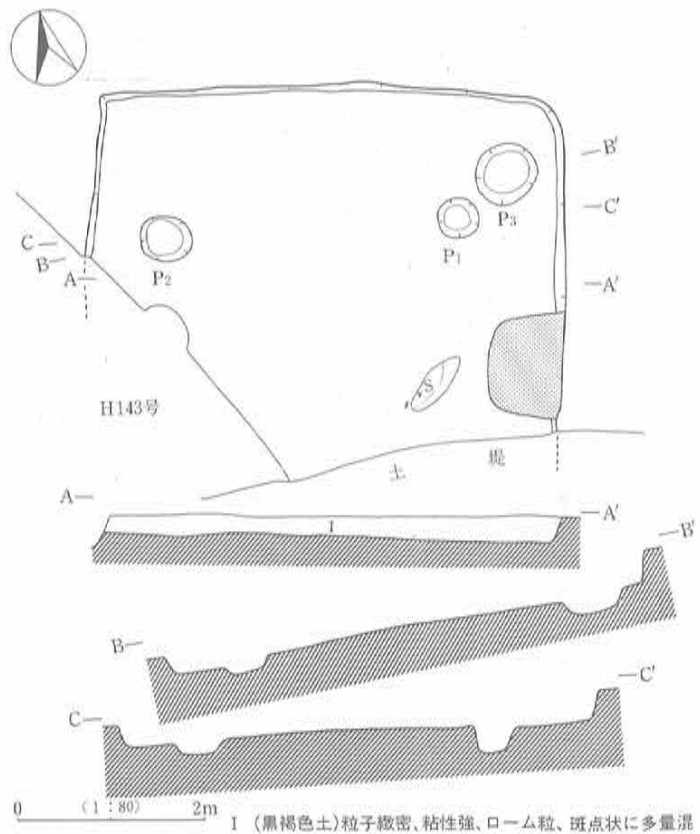
第269図 H140号住居址カマド実測図



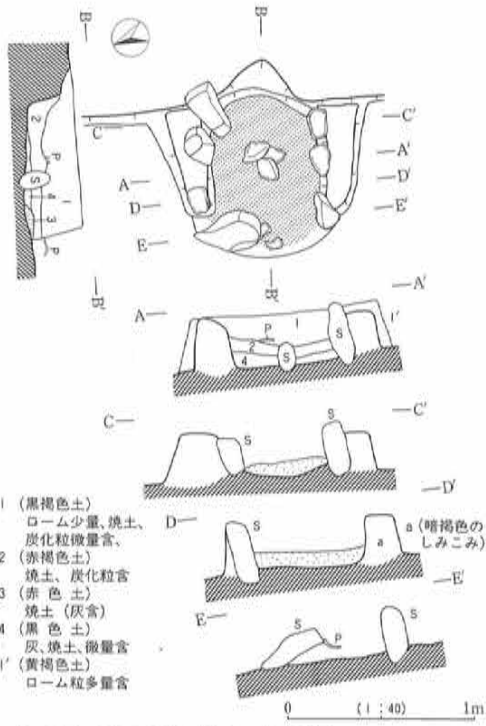
第270図 H141号住居址実測図



第271図 H141号住居址カマド実測図

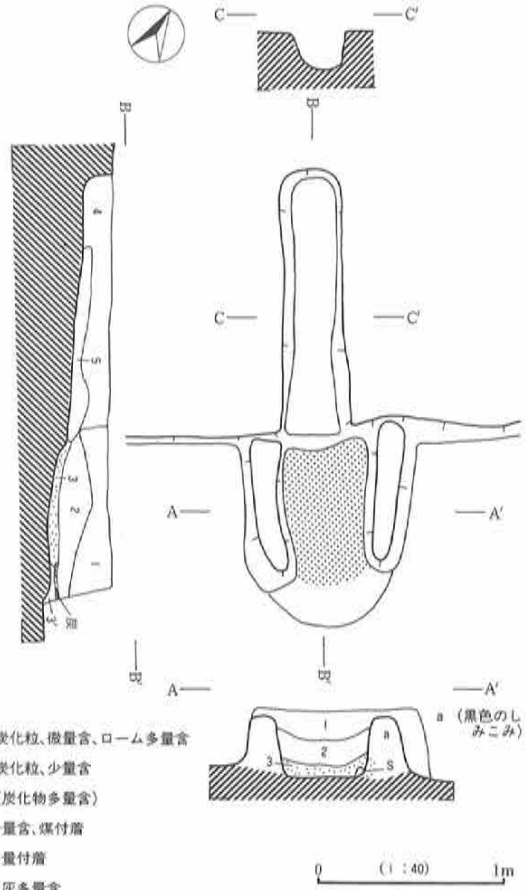


第272図 H142号住居址実測図



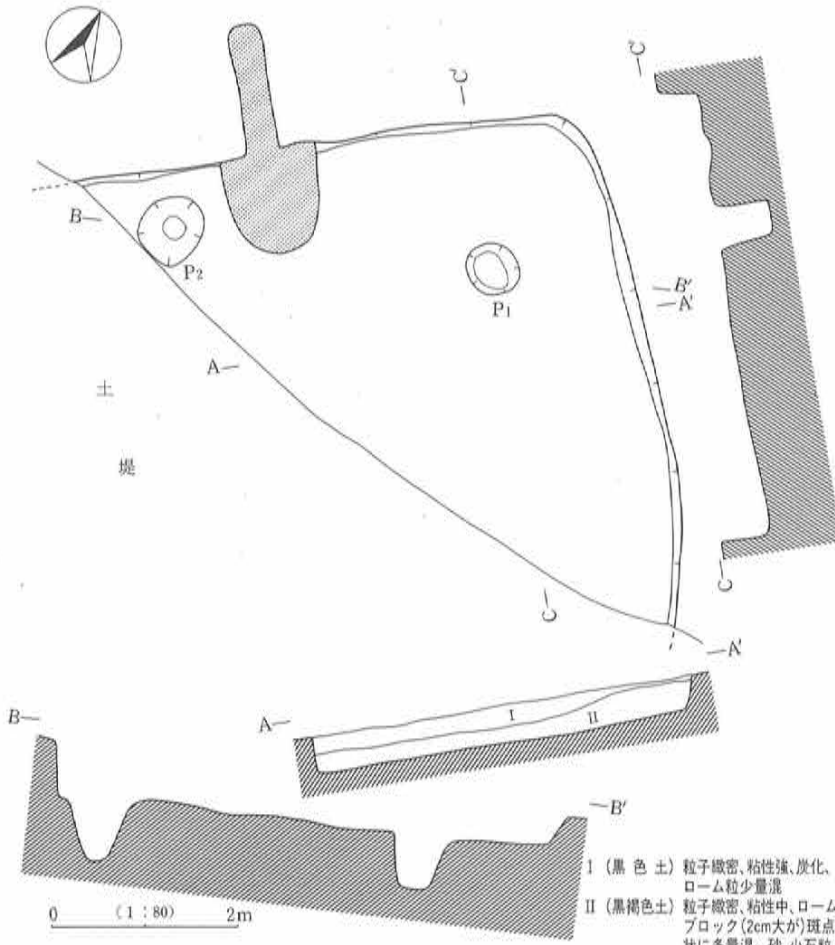
第273図 H142号住居址カマド実測図

- 1 (黒褐色土) ローム少量、焼土、炭化粒微量含、
- 2 (赤褐色土) 焼土、炭化粒含
- 3 (赤色土) 焼土(灰含)
- 4 (黒色土) 灰、焼土、微量含
- 1' (黄褐色土) ローム粒多量含



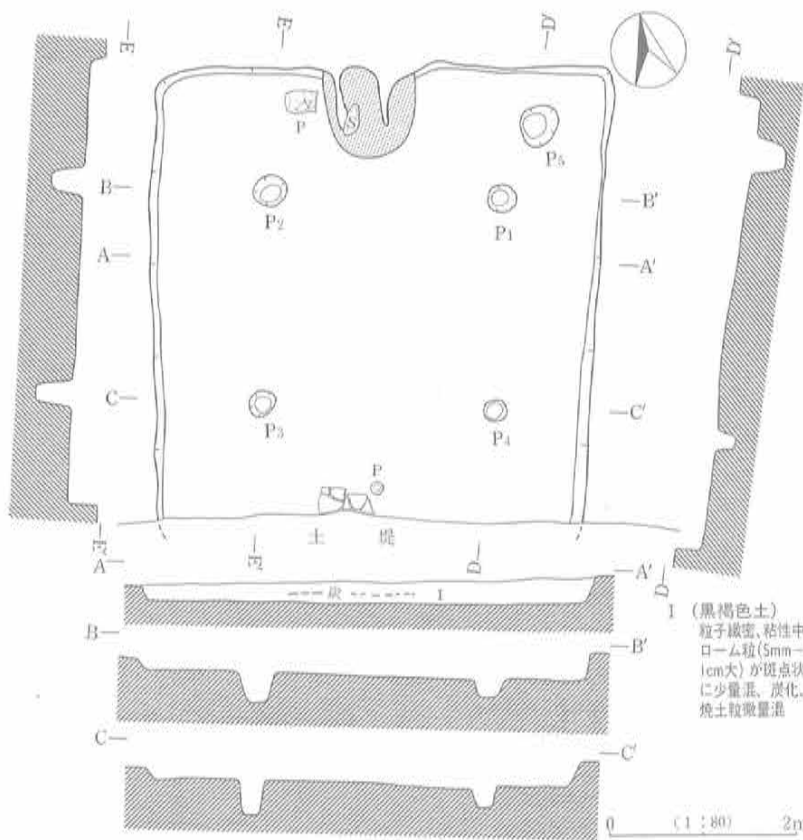
第275図 H143号住居址カマド実測図

- 1 (黒褐色土) 焼土、炭化粒、微量含、ローム多量含
- 2 (黒色土) 焼土、炭化粒、少量含
- 3 (赤褐色土) 焼土(炭化物多量含)
- 4 (黒褐色土) 焼土少量含、煤付層
- 5 (赤褐色土) 焼土多量付層
- 3' (赤灰色土) 焼土、灰多量含

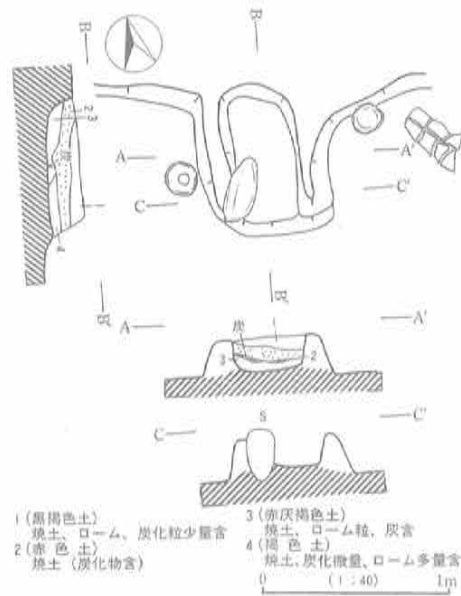


第274図 H143号住居址実測図

- I (黒色土) 粒子緻密、粘性強、炭化、ローム粒少量混
- II (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ロームブロック(2cm大が)斑点状に多量混、砂、小石粒少量混



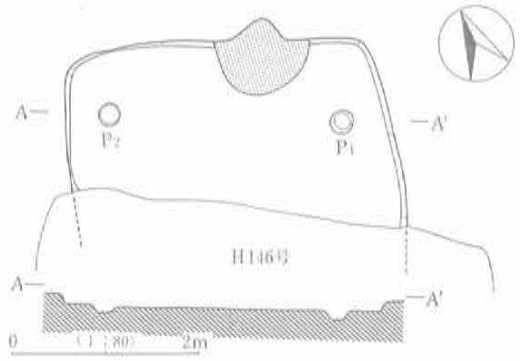
第276图 H144号住居址实测图



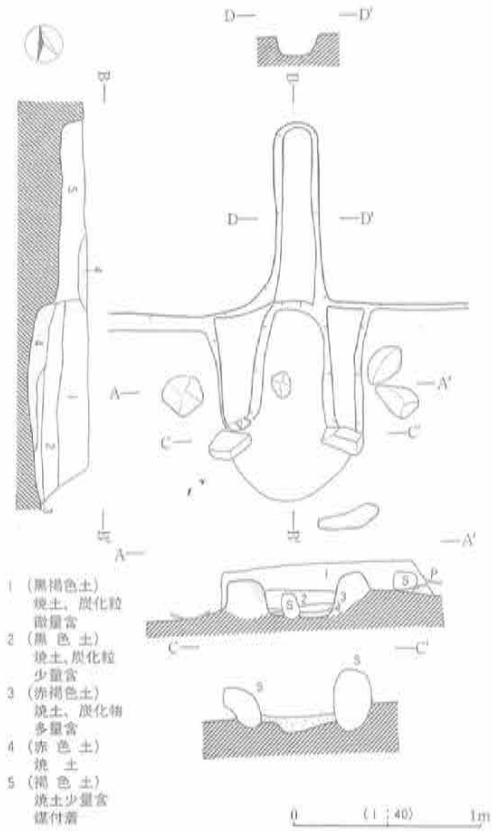
- 1 (黑褐色土) 灰土、ローム、炭化粒少量含
- 2 (赤色土) 灰土 (炭化物含)
- 3 (赤灰褐色土) 灰土、ローム粒、灰含
- 4 (褐色土) 灰土、炭化微量、ローム多量含

第277图 H144号住居址カマド实测图

1 (黑褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム粒(5mm-1cm大)が斑点状に少量混、炭化、焼土粒微量混

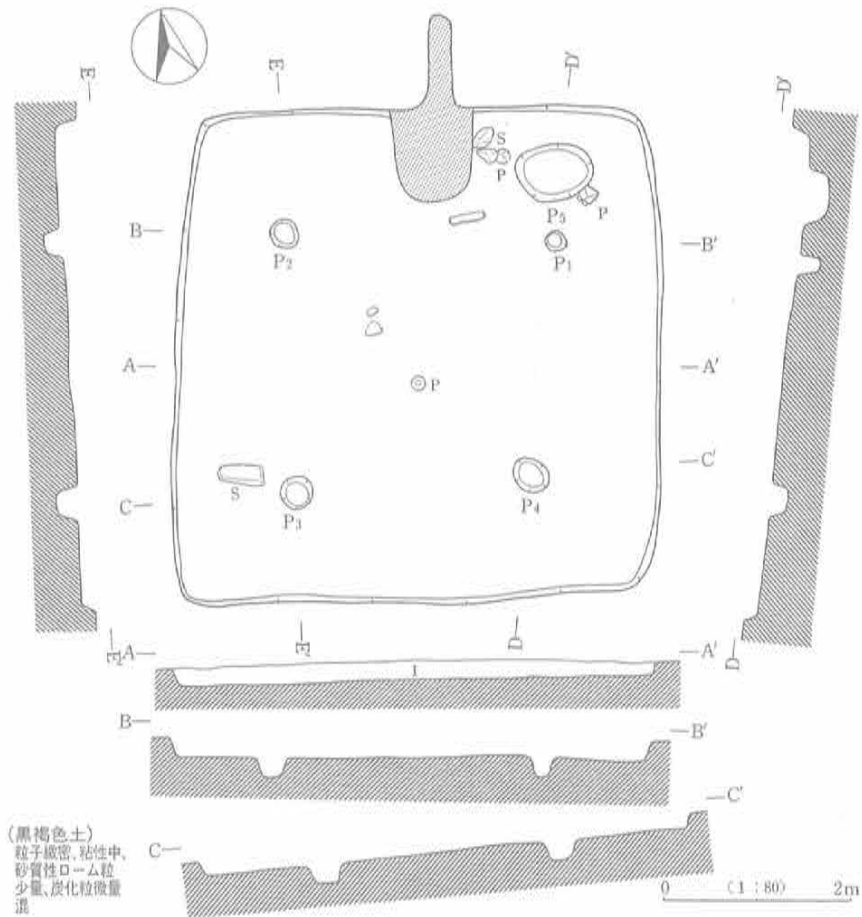


第278图 H145号住居址实测图

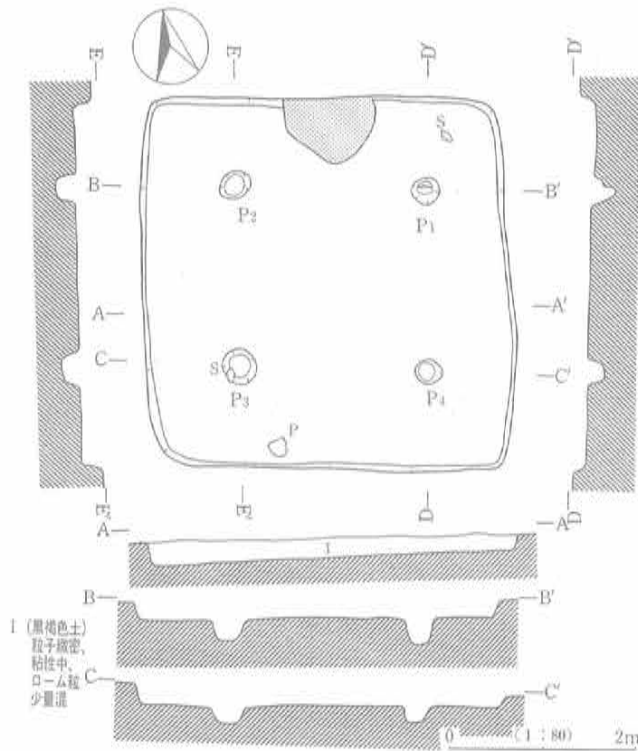


- 1 (黑褐色土) 灰土、炭化粒微量含
- 2 (黒色土) 灰土、炭化粒少量含
- 3 (赤褐色土) 灰土、炭化物多量含
- 4 (赤色土) 灰土
- 5 (褐色土) 灰土少量含、煤付着

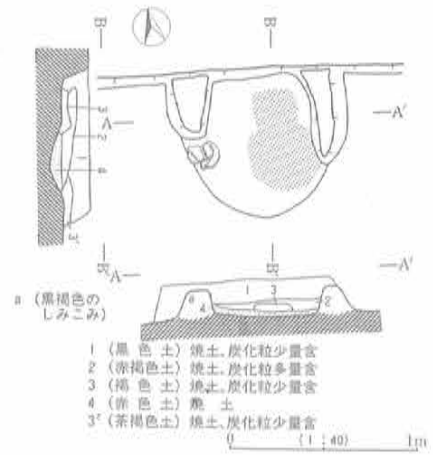
第280图 H146号住居址カマド实测图



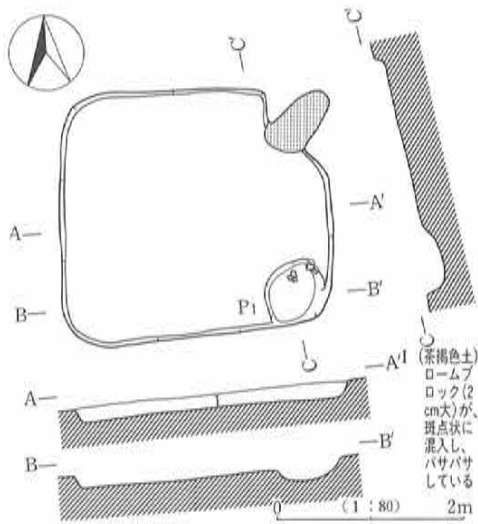
第279図 H146号住居址実測図



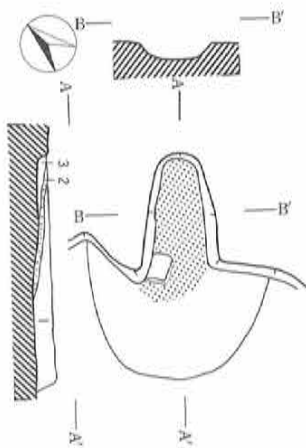
第281図 H147号住居址実測図



第282図 H147号住居址カマド実測図



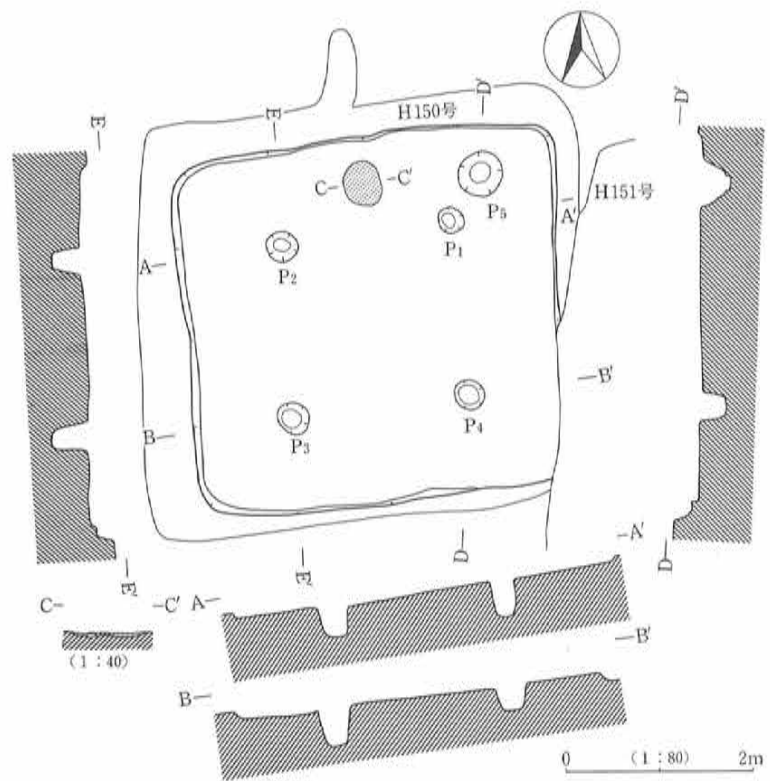
第283図 H148号住居址実測図



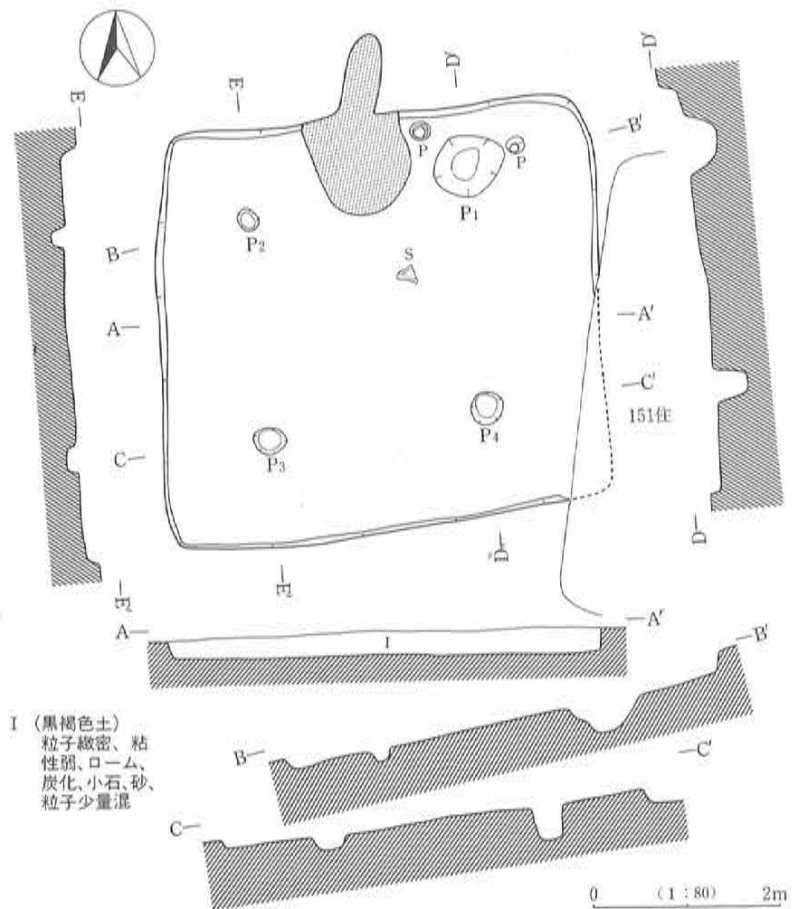
- 1 (黒褐色土)
ローム、焼土、炭化粒少量含
- 2 (赤色土)
焼土
- 3 (褐色土)
ローム粒多量、焼土粒微量含

0 (1:40) 1m

第284図 H148号住居址カマド実測図

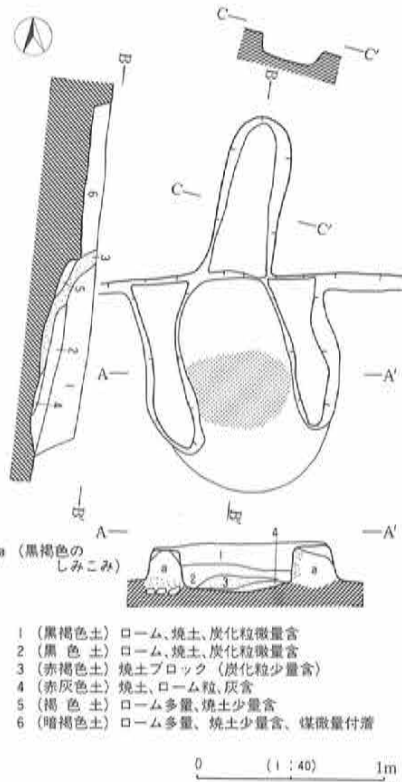


第285図 H149号住居址実測図

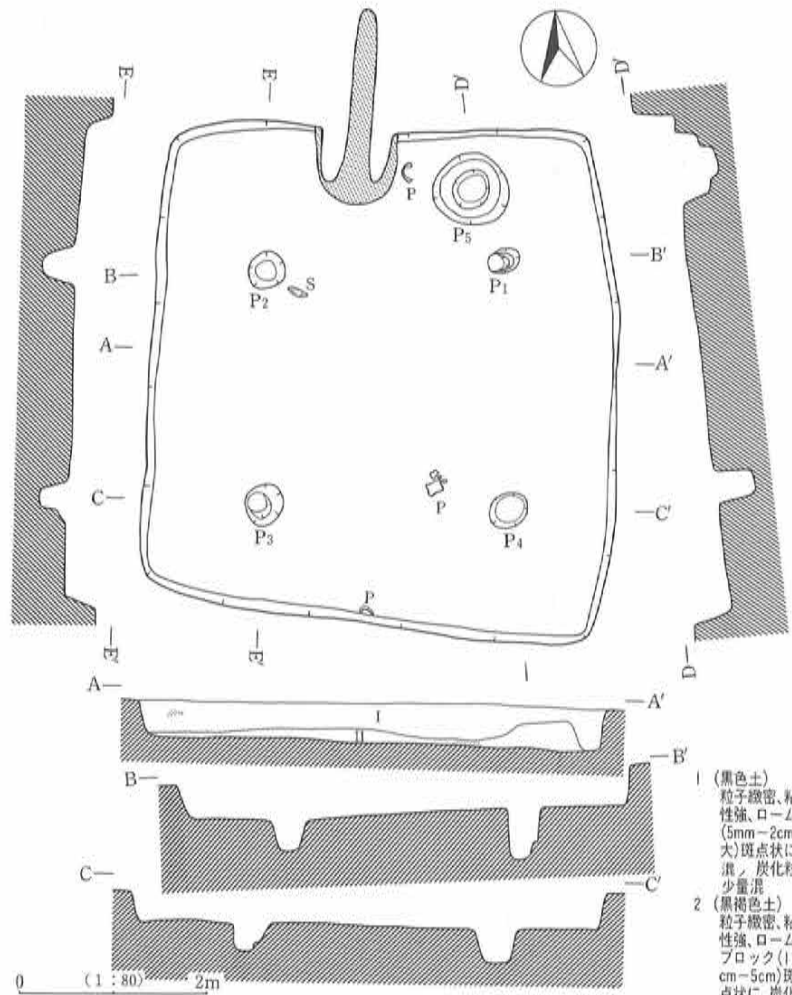


- I (黒褐色土)
粒子緻密、粘性弱、ローム、炭化、小石、砂、粒子少量混

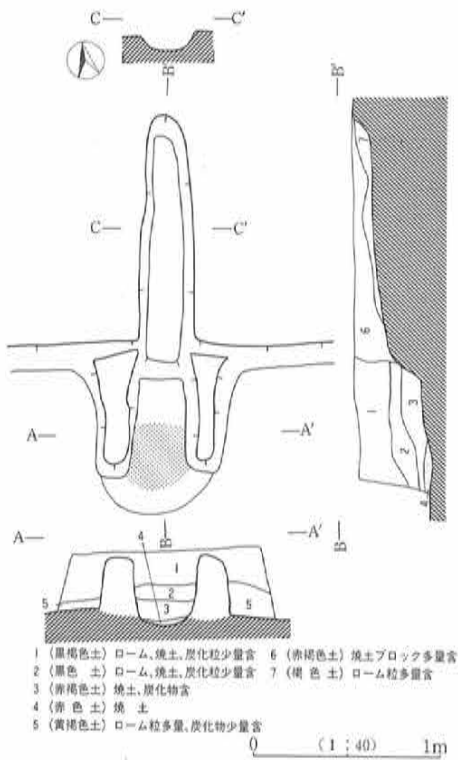
第286図 H150号住居址実測図



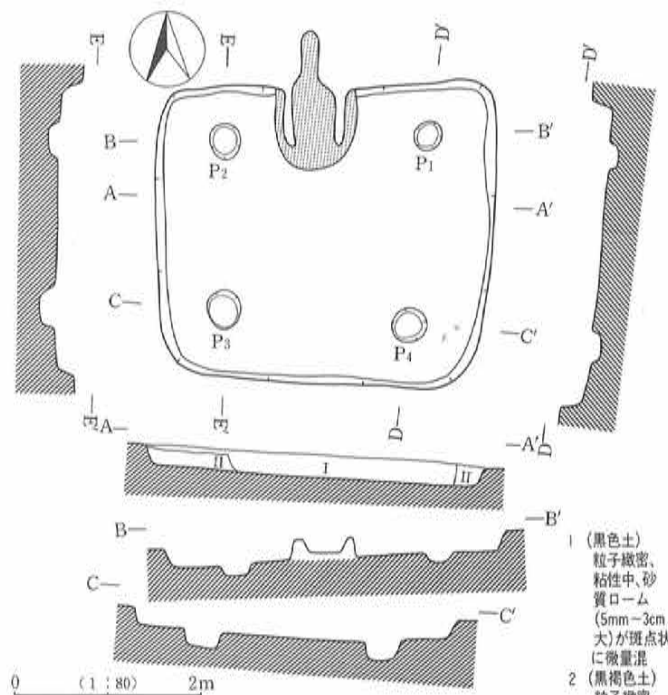
第287図 H150号住居址カマド実測図



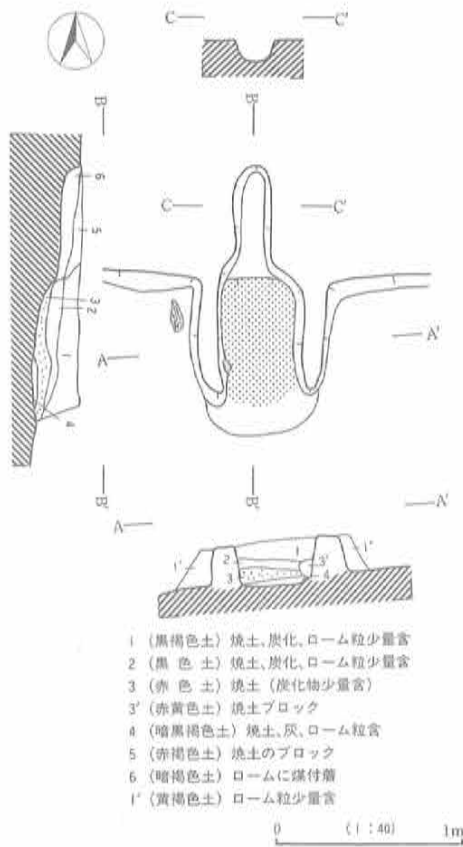
第288図 H151号住居址実測図



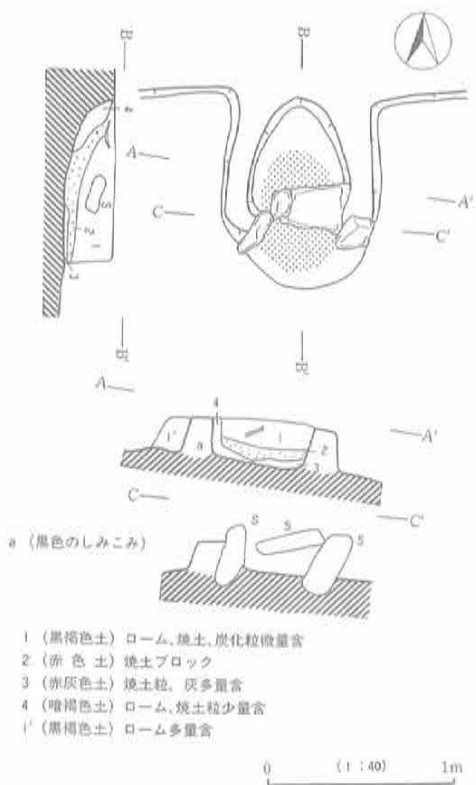
第289図 H151号住居址カマド実測図



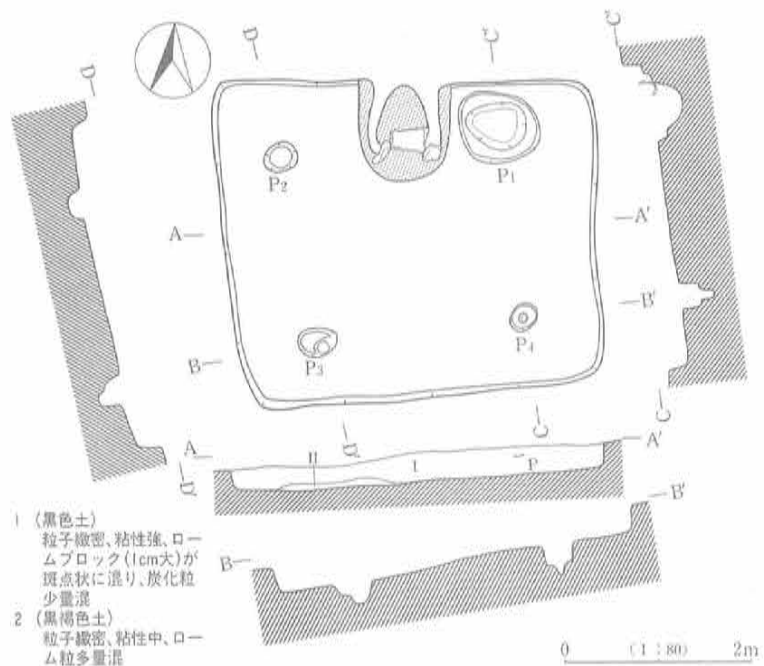
第290図 H152号住居址実測図



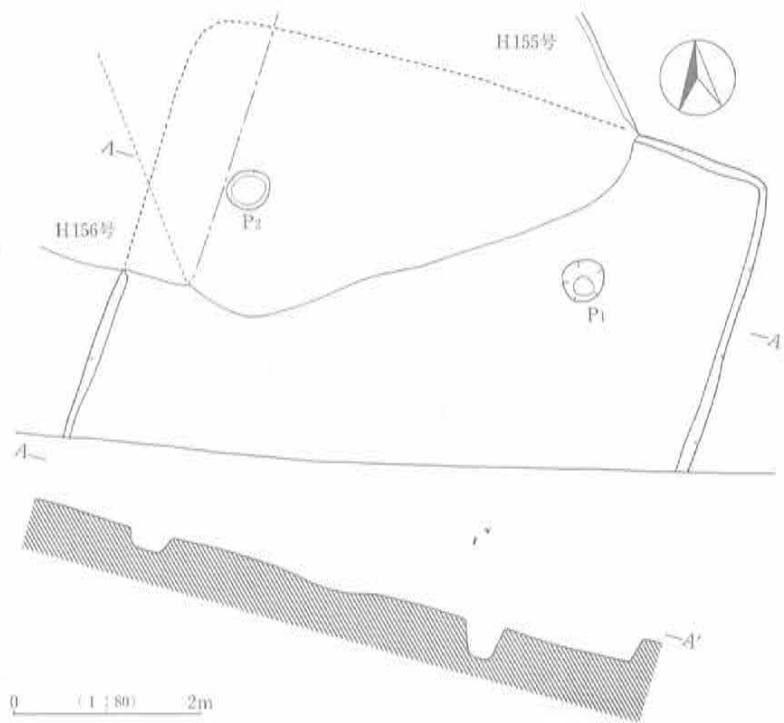
第291図 H152号住居址カマド実測図



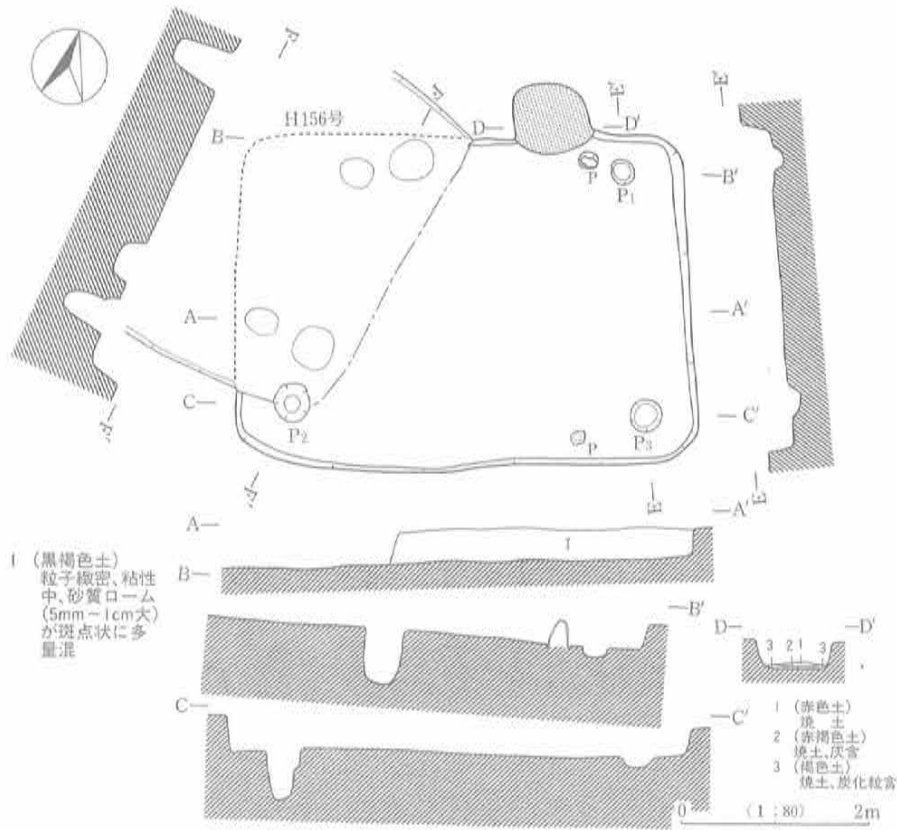
第293図 H153号住居址カマド実測図



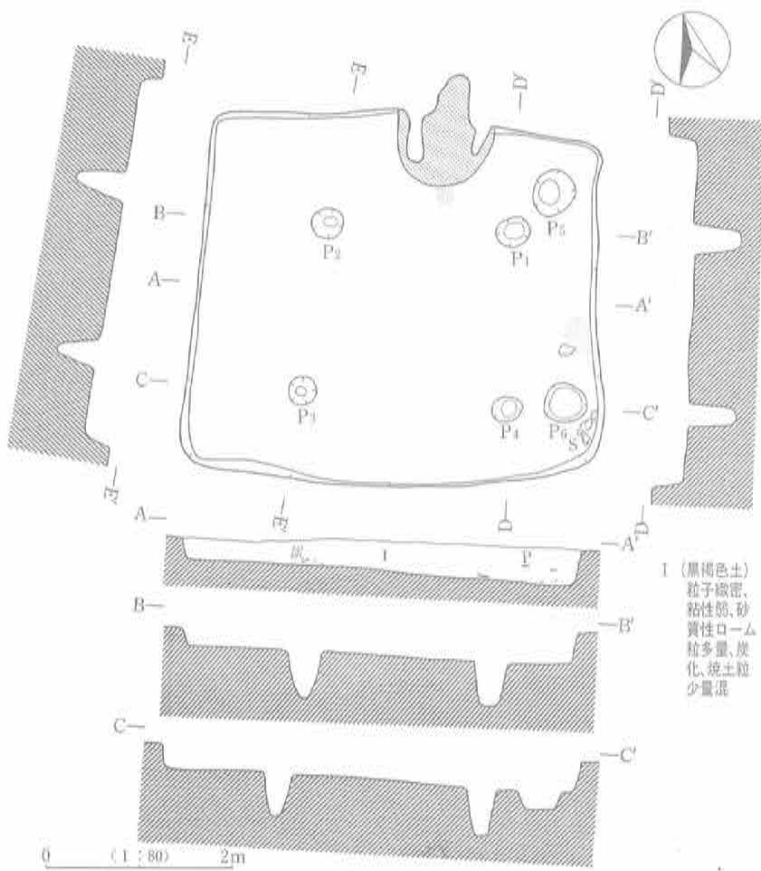
第292図 H153号住居址実測図



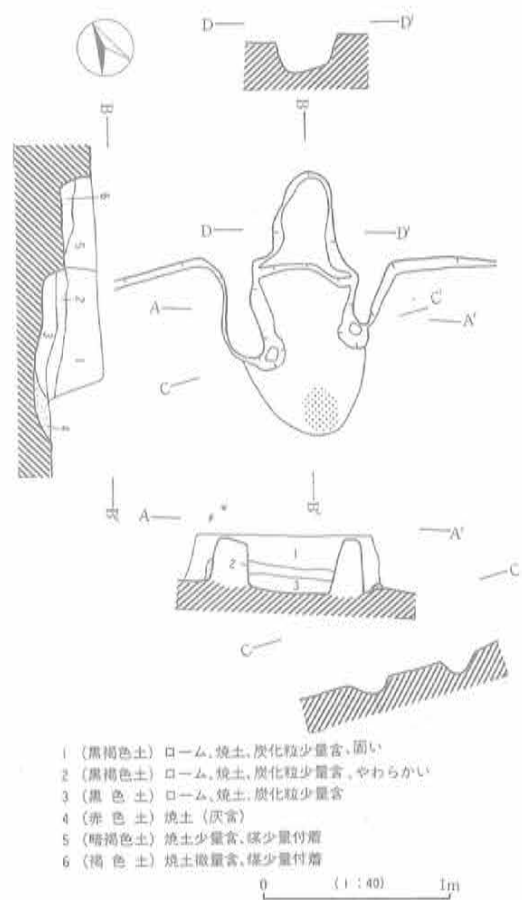
第294図 H154号住居址実測図



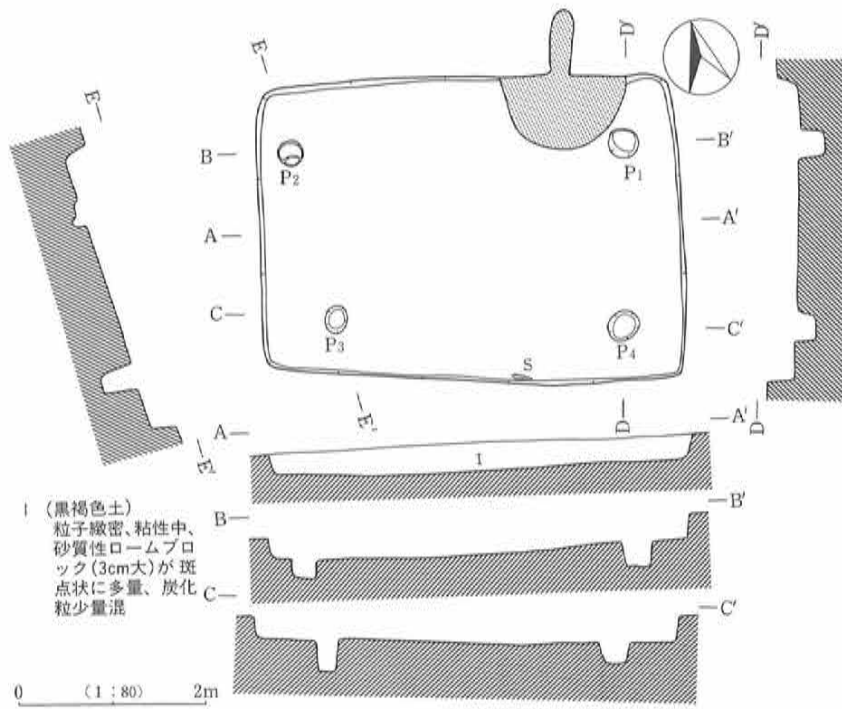
第295図 H155号住居址実測図



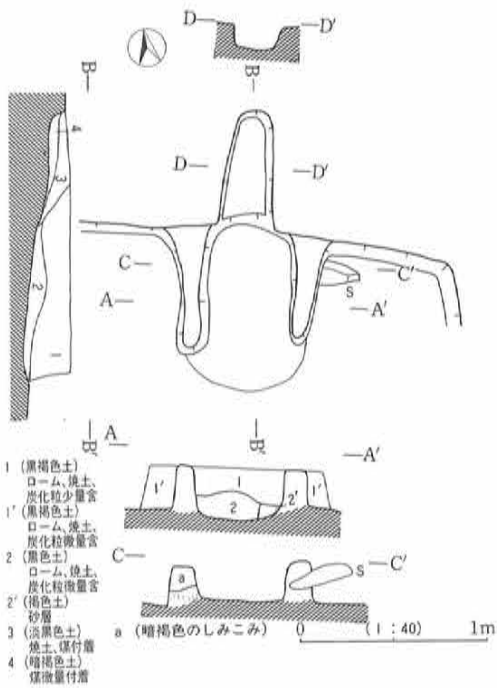
第296図 H156号住居址実測図



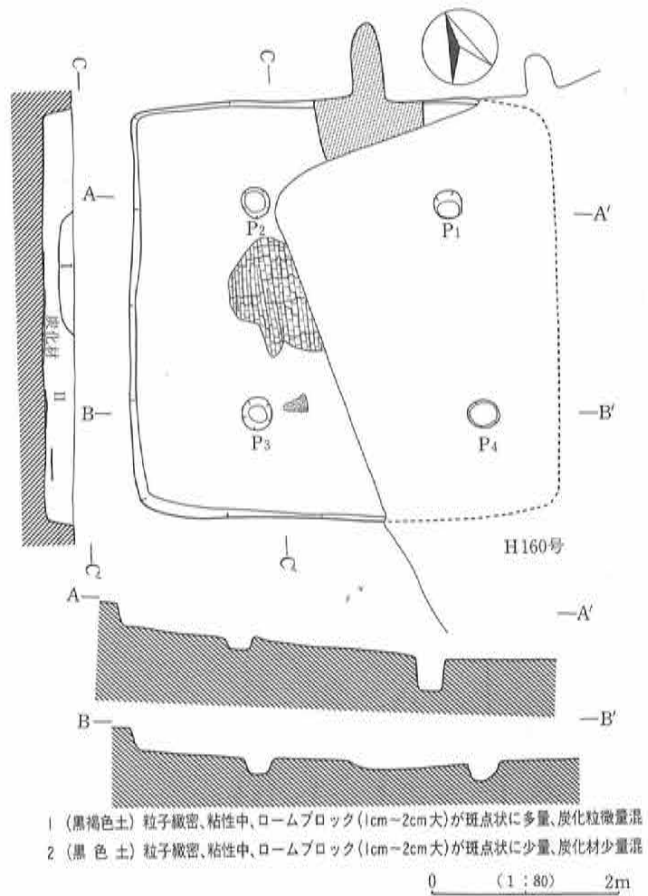
第297図 H156号住居址カマド実測図



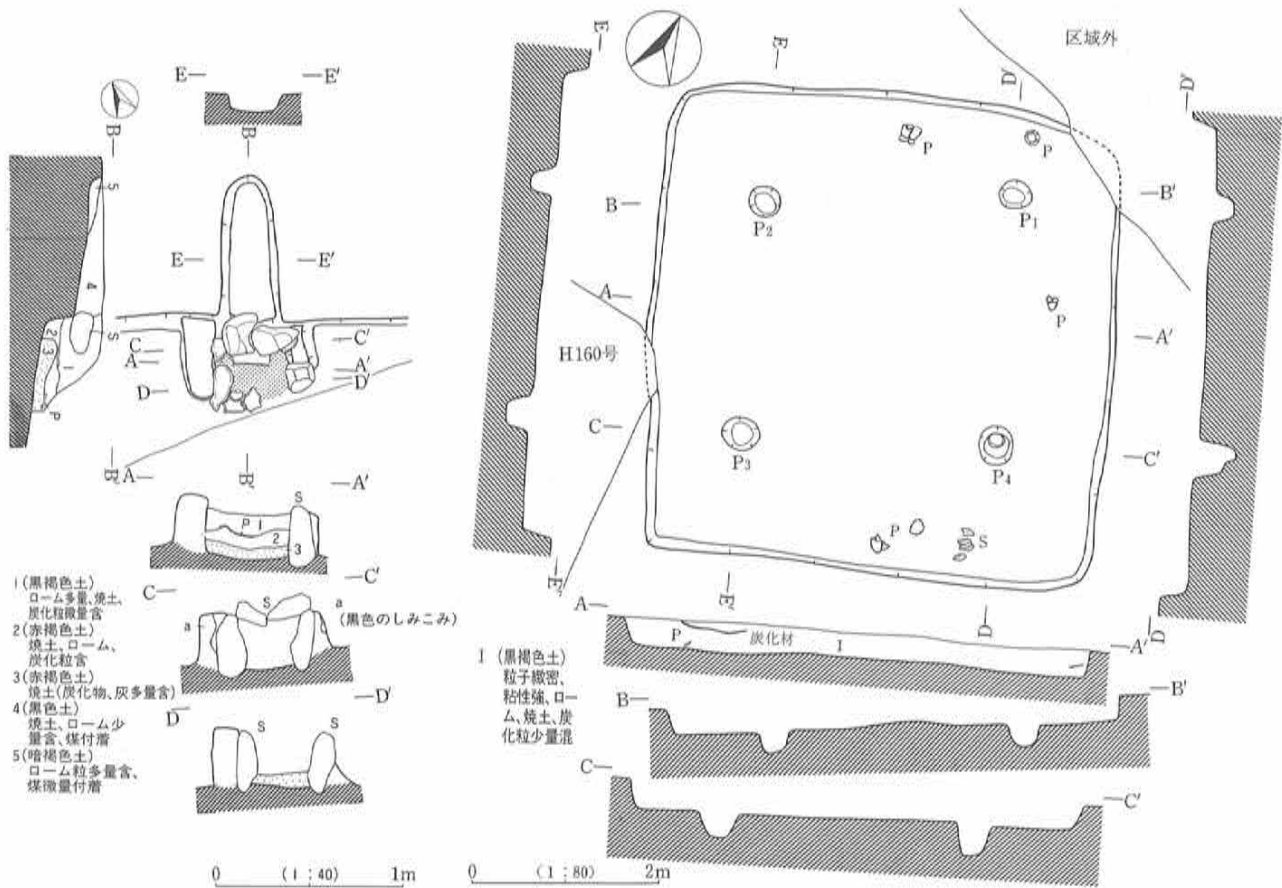
第298図 H157号住居址実測図



第299図 H157号住居址カマド実測図

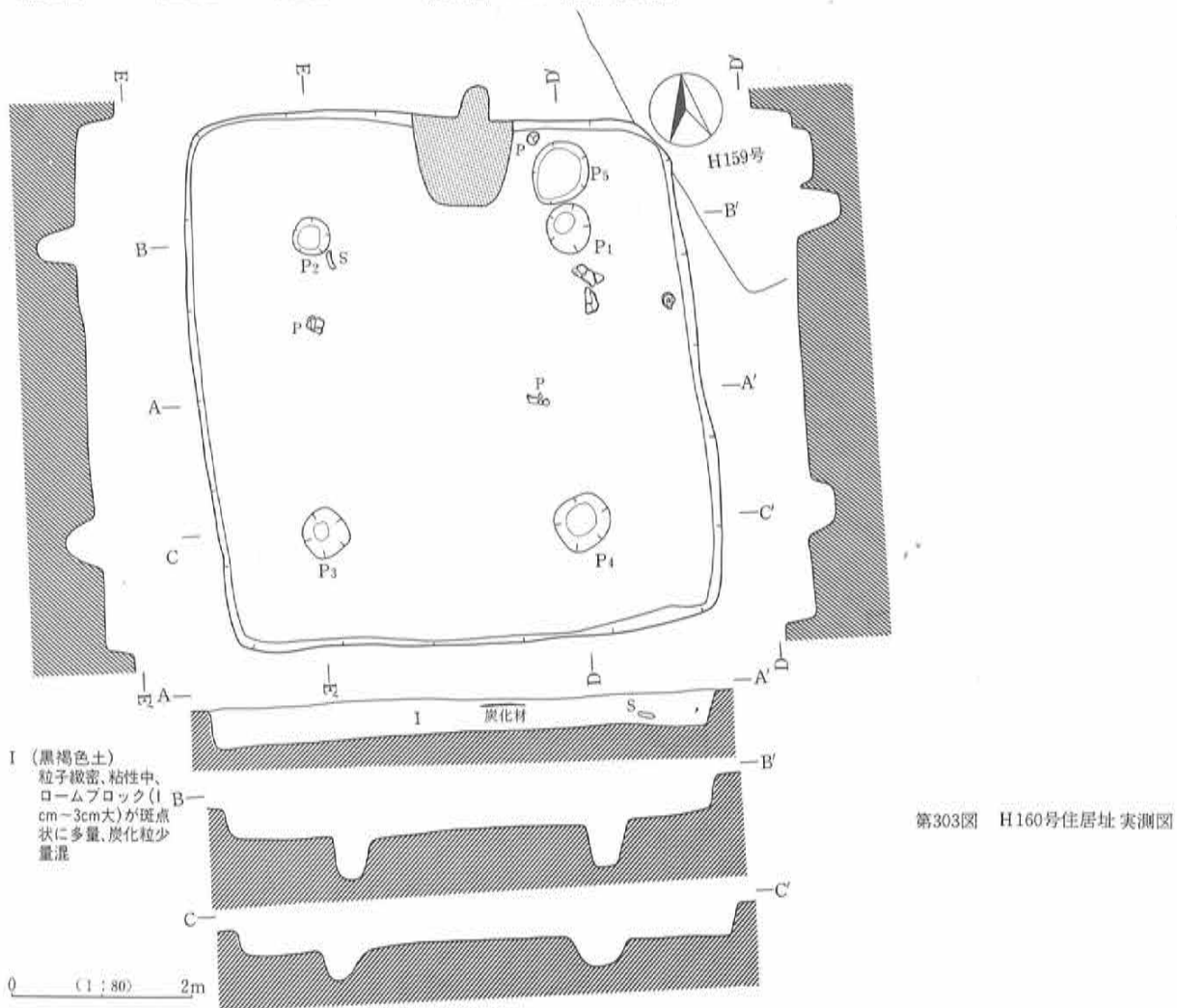


第300図 H158号住居址実測図

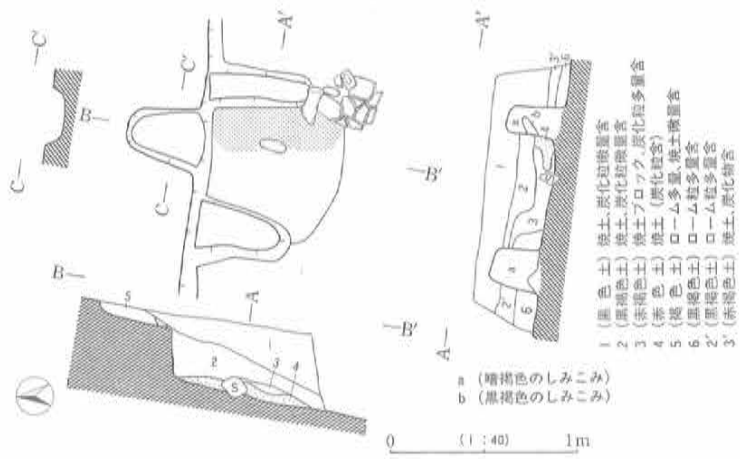


第301図 H158号住居址カマド実測図

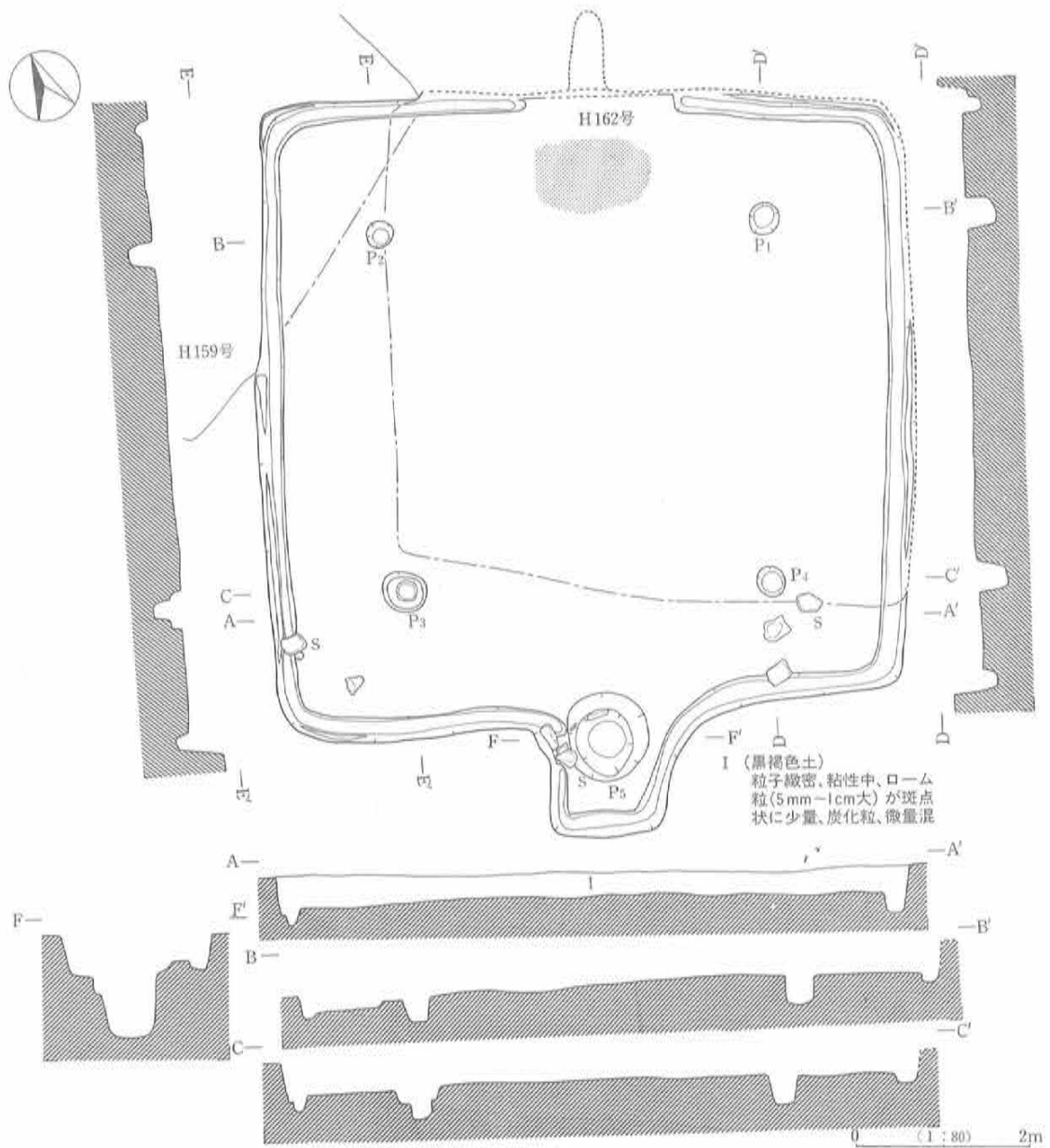
第302図 H159号住居址実測図



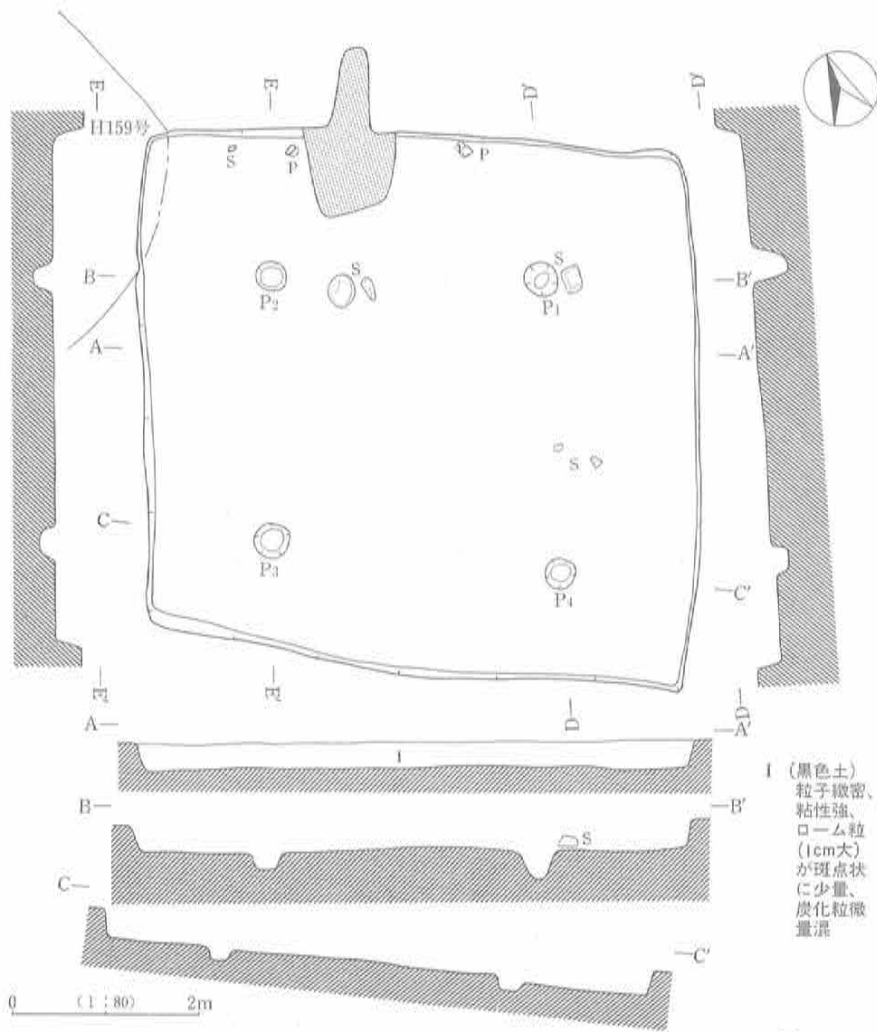
第303図 H160号住居址実測図



第304図 H160号住居址カマド実測図



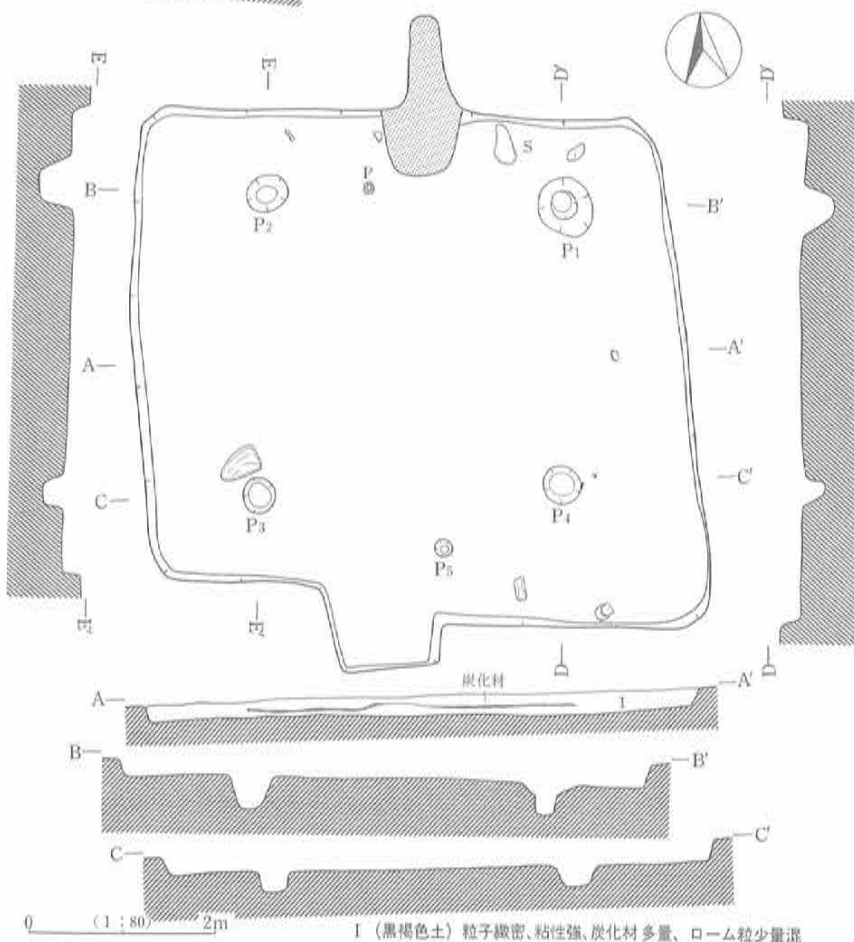
第305図 H161号住居址実測図



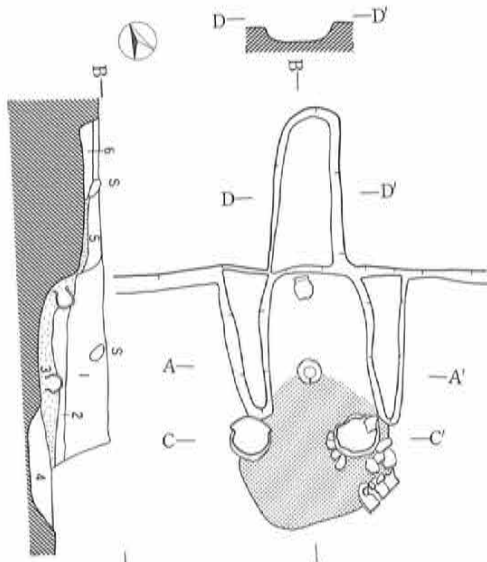
第306图 H162号住居址实测图

I (黑色土)
 粒子緻密、
 粘性強、
 ローム粒
 (1cm大)
 が斑点状
 に少量、
 炭化粒微
 量混

第308图 H163号住居址实测图

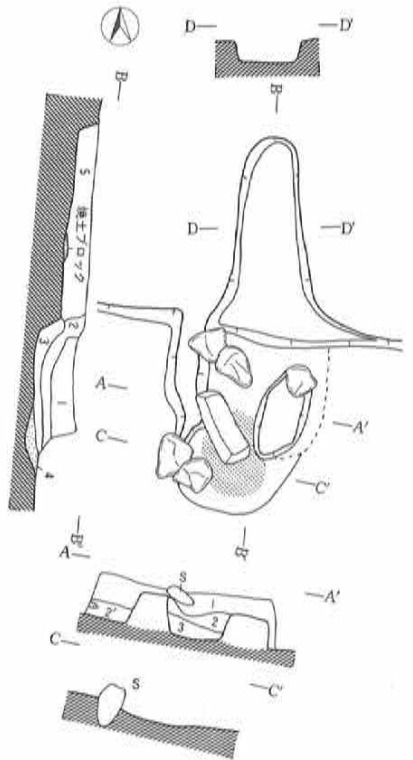


I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、炭化材多量、ローム粒少量混



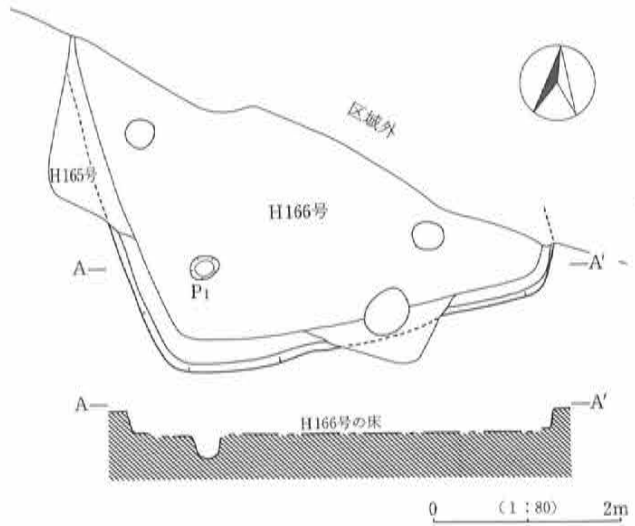
- 1 (黒色土) ロームブロック、焼土、炭化物微量含
- 2 (黒褐色土) ロームブロック、焼土、炭化物少量含
- 3 (赤色土) 焼土(灰、炭化物)
- 4 (赤褐色土) 焼土、ローム粒少量含
- 5 (赤褐色土) 焼土、ローム粒少量含、煤片着
- 6 (赤褐色土) 焼土、ローム粒少量含

第307図 H162号住居址カマド実測図

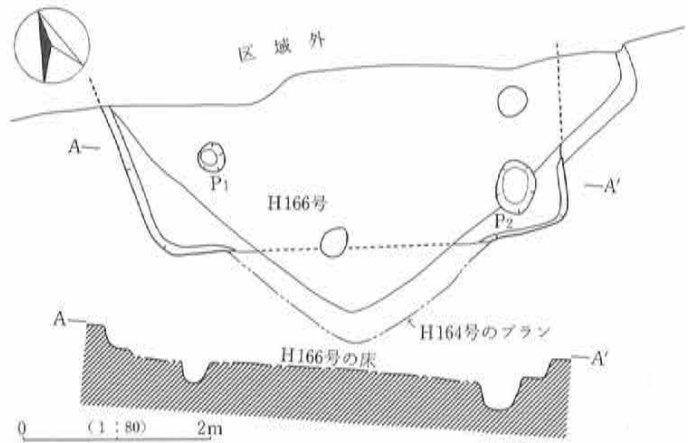


- 1 (黒褐色土) 炭化粒、焼土粒少量含 (黒褐色土)
- 2 (赤褐色土) 炭化粒、焼土粒少量含 炭化、焼土粒微量含
- 3 (黒色土) 炭化粒、焼土粒少量含
- 4 (赤色土) 焼土(炭化物)
- 5 (褐色土) 焼土少量含

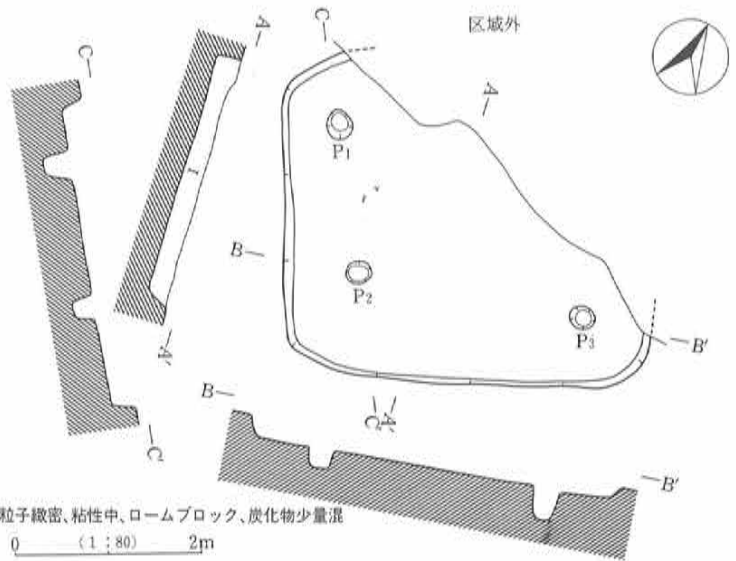
第309図 H163号住居址カマド実測図



第310図 H164号住居址実測図

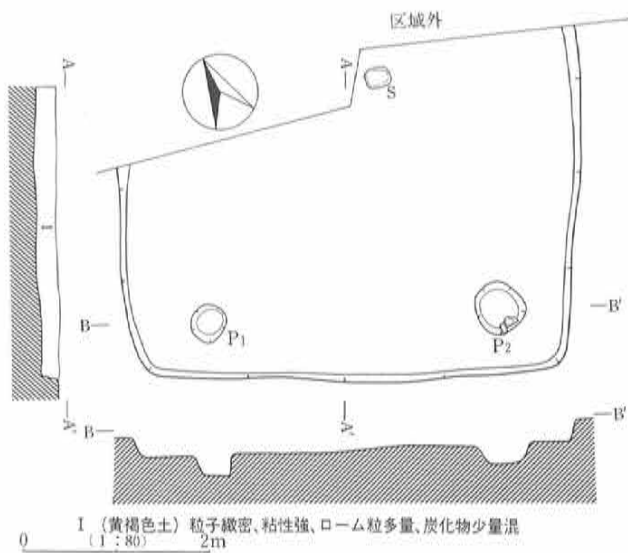


第311図 H165号住居址実測図

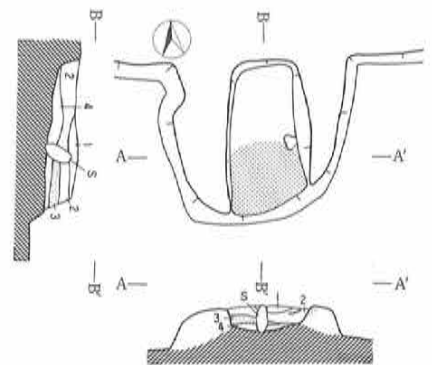


- I (黒色土) 粒子緻密、粘性中、ロームブロック、炭化物少量混

第312図 H166号住居址実測図



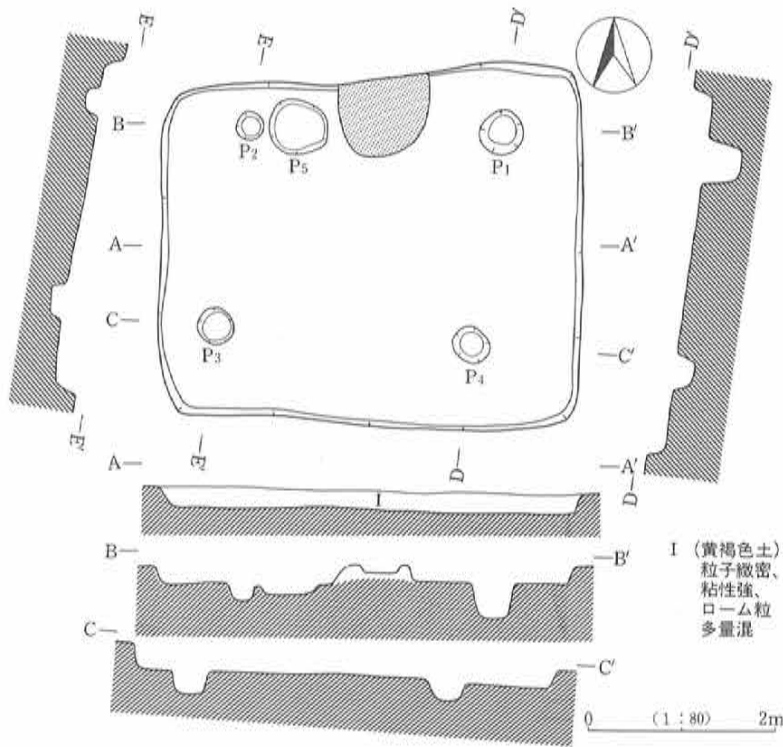
第313図 H167号住居址実測図



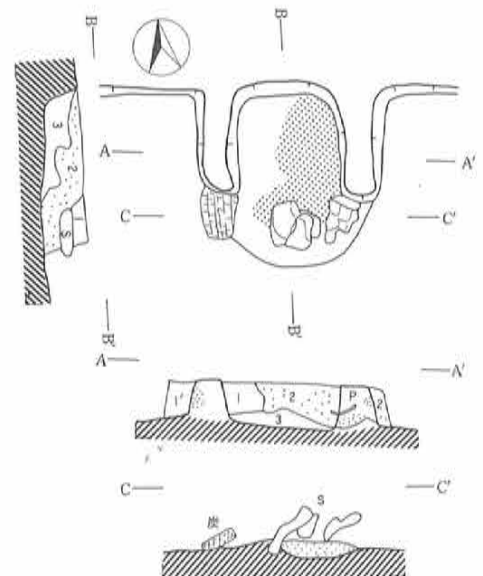
- 1 (黒褐色土) ローム、炭化粒少量含
- 2 (黒色土) ローム、炭化粒、焼土少量含
- 3 (赤色土) 焼土
- 4 (赤褐色土) 焼土、ローム含、

0 (1:40) 1m

第315図 H168号住居址カマド実測図



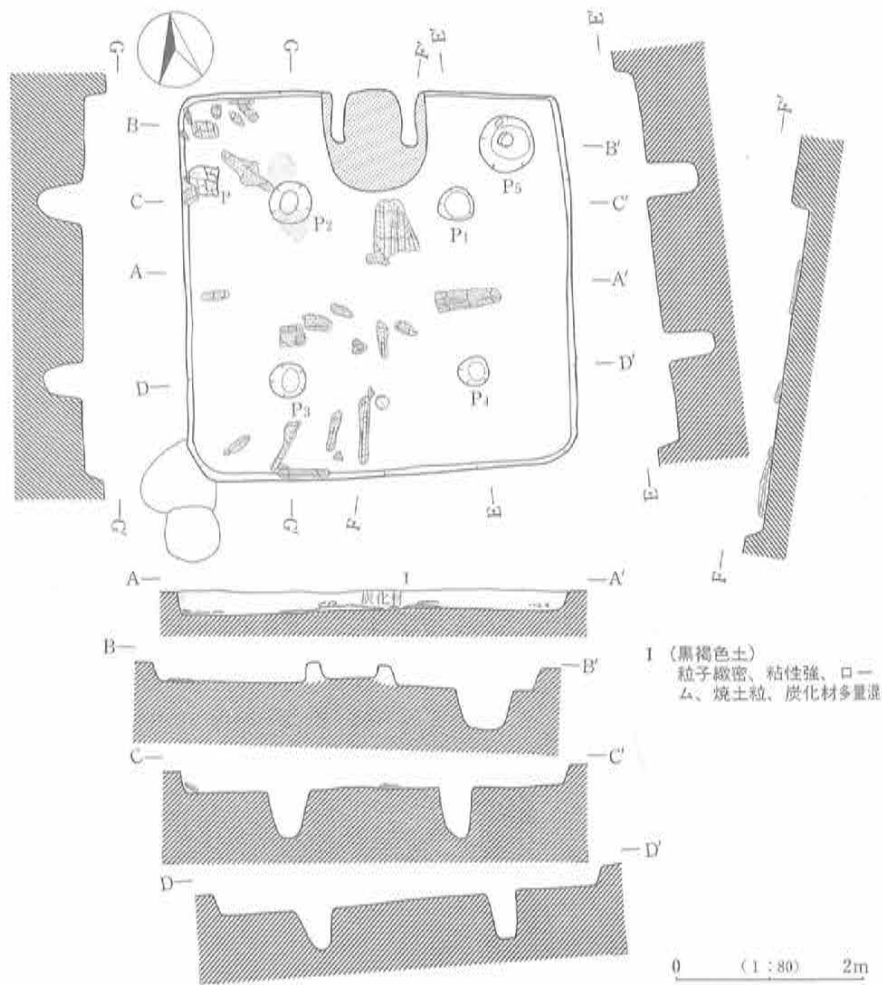
第314図 H168号住居址実測図



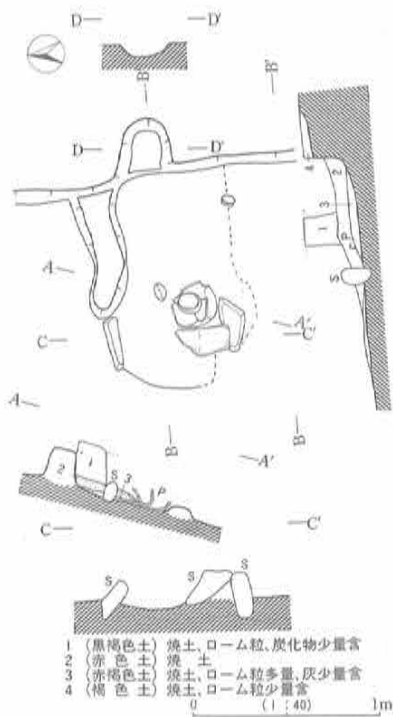
- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭化粒少量含
- 1' (黒色土) ローム、焼土、炭化粒微量含
- 2 (赤褐色土) 焼土 (炭化粒含)
- 3 (褐色土) ローム、焼土、灰少量含

0 (1:40) 1m

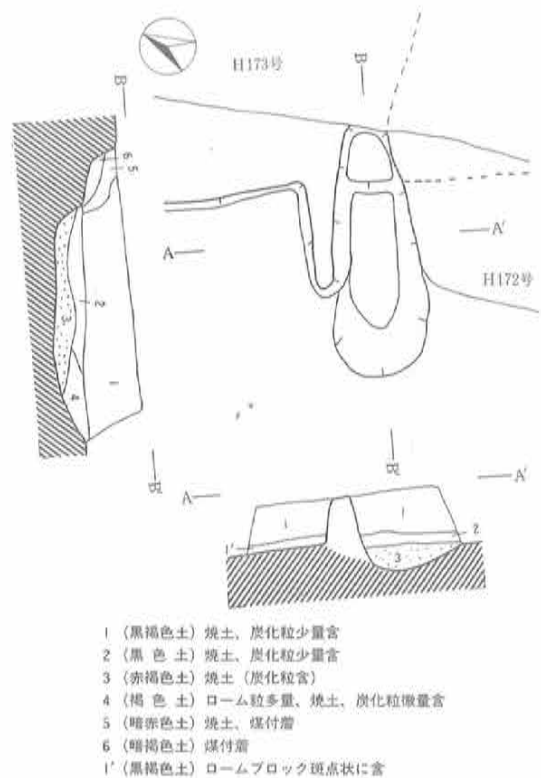
第317図 H169号住居址カマド実測図



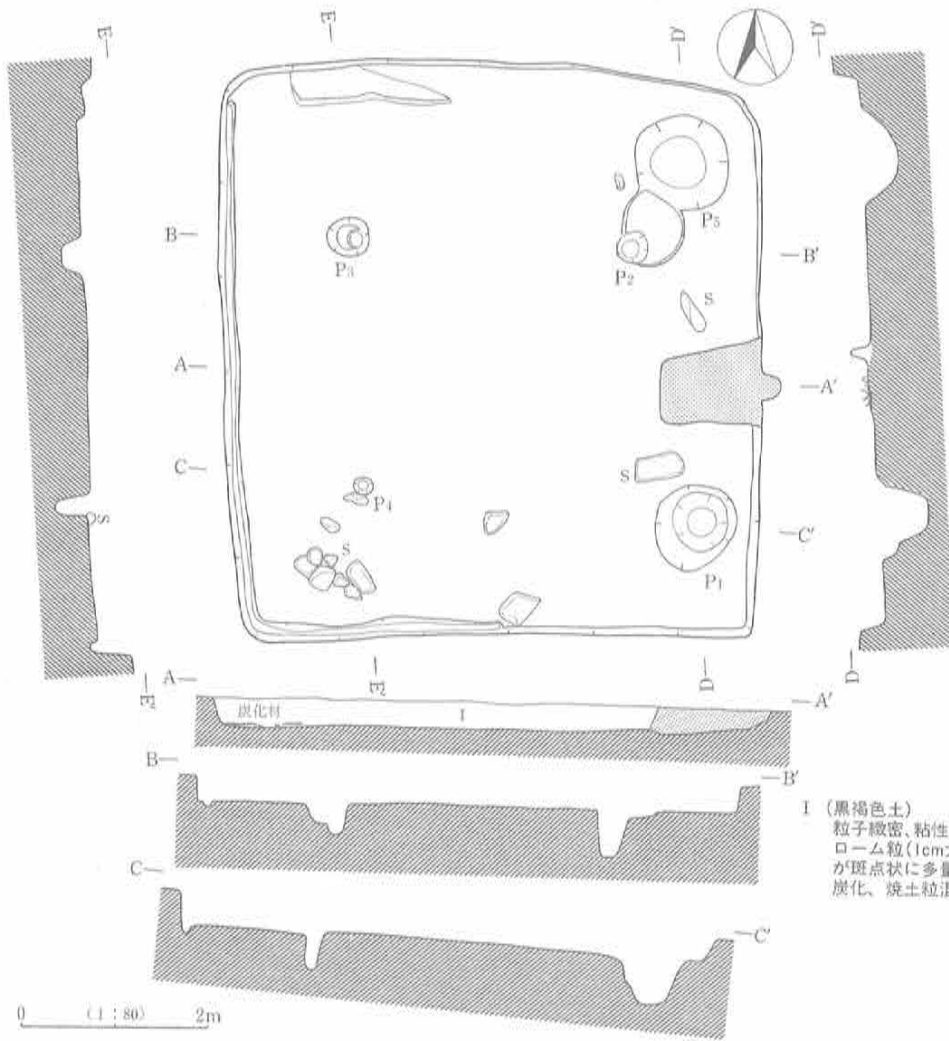
第316図 H169号住居址実測図



第319図 H170号住居址カマド実測図

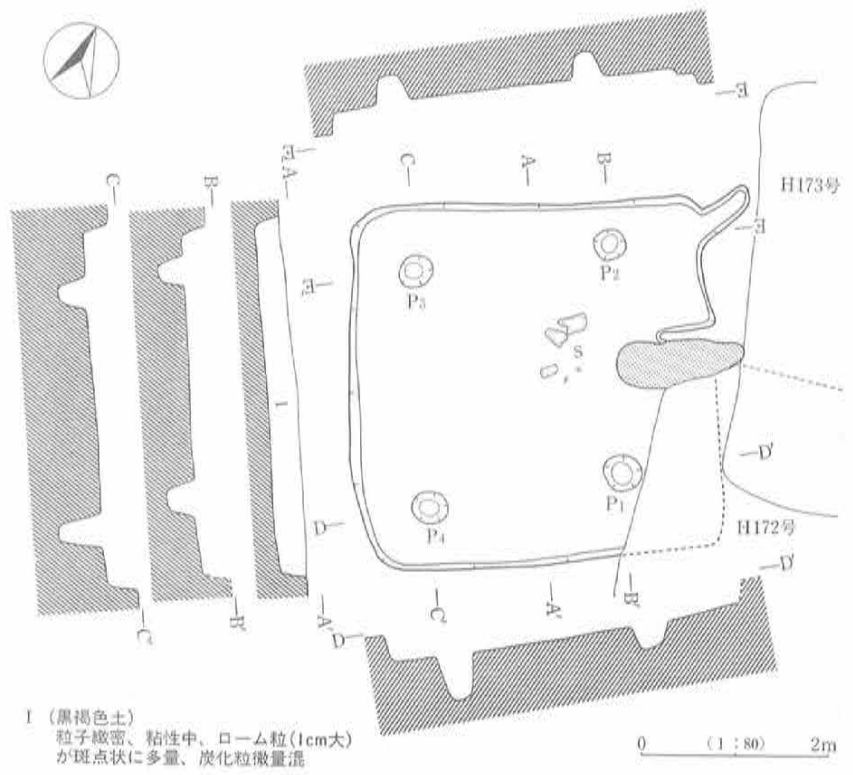


第321図 H171号住居址カマド実測図



I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性強、
 ローム粒(1cm大)
 が斑点状に多量、
 炭化、焼土粒混

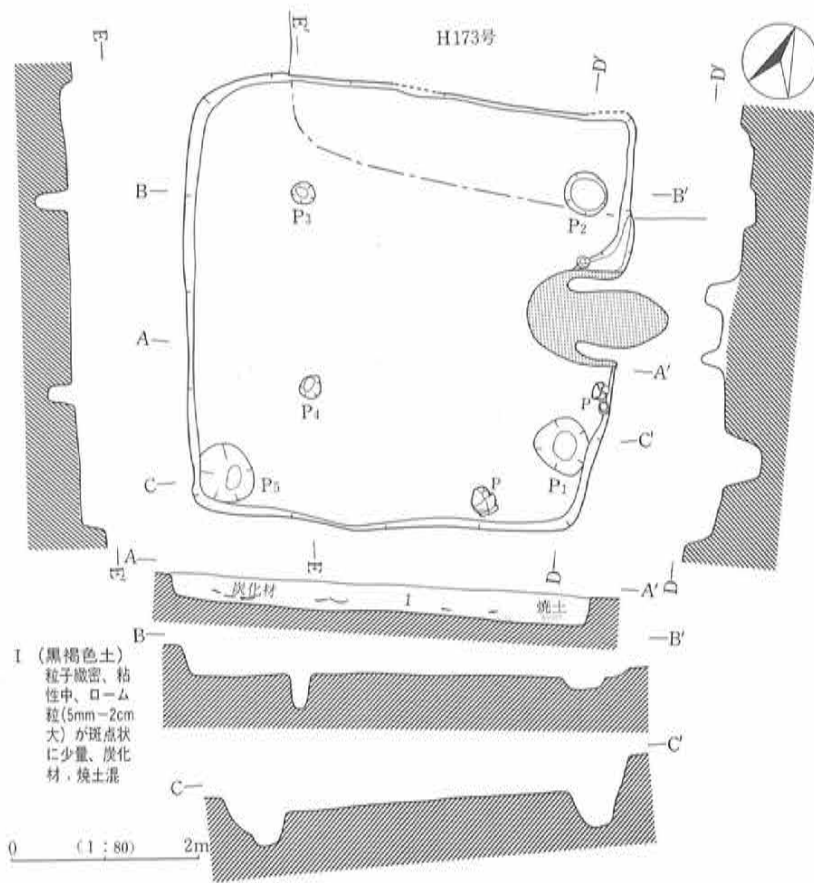
第318図 H170号
 住居址実測図



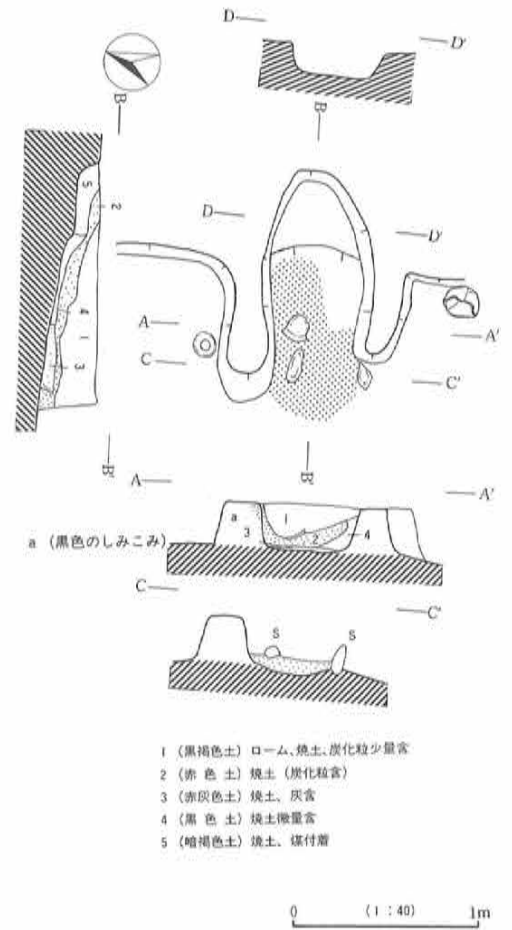
I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、ローム粒(1cm大)
 が斑点状に多量、炭化粒微量混

第320図 H171号住居址実測図

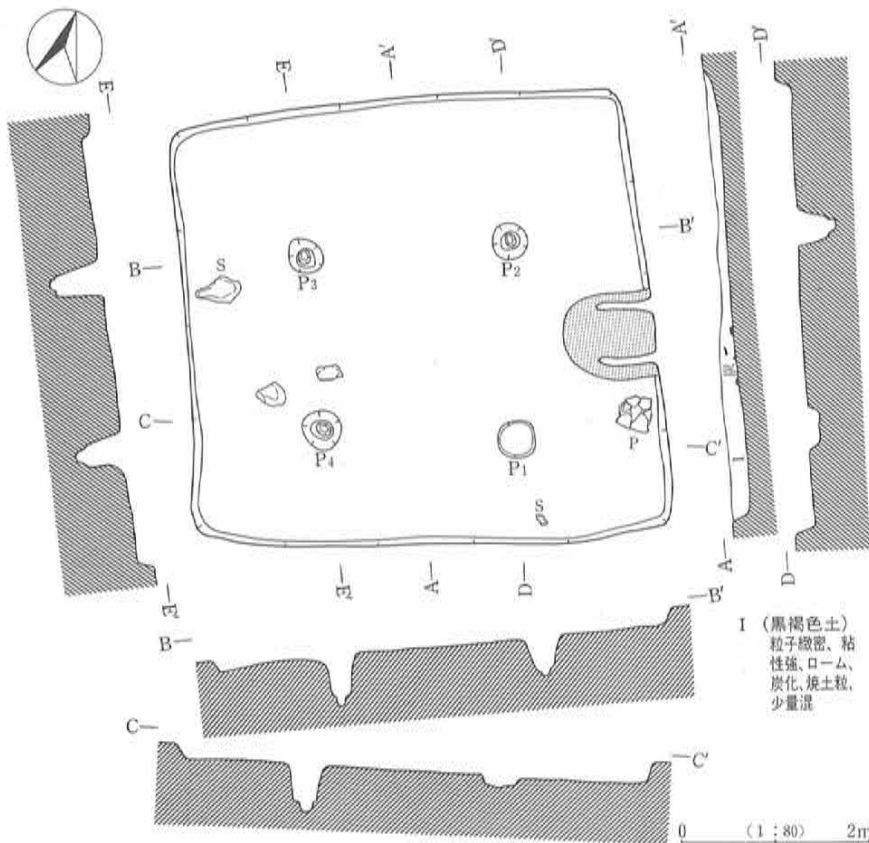
0 (1:80) 2m



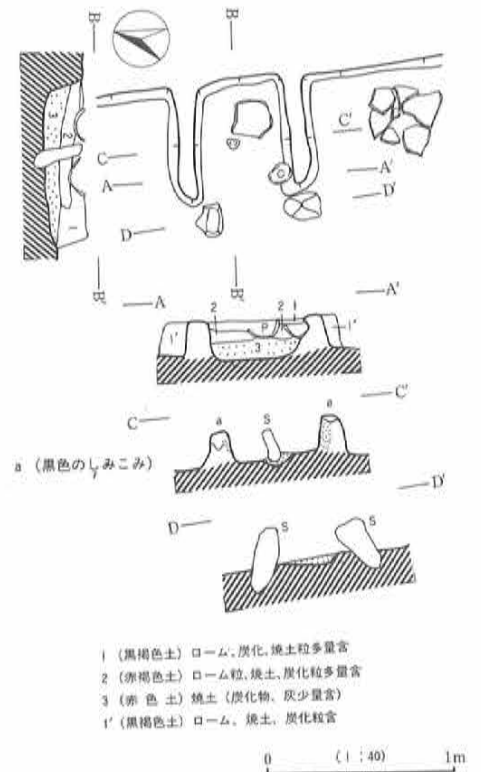
第322図 H172号住居址実測図



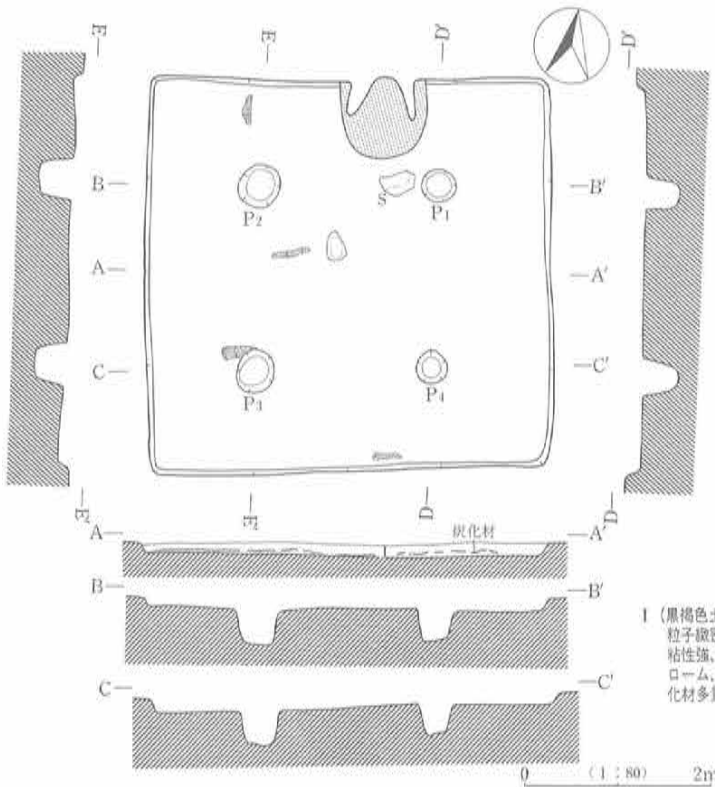
第323図 H172号住居址カマド実測図



第324図 H173号住居址実測図

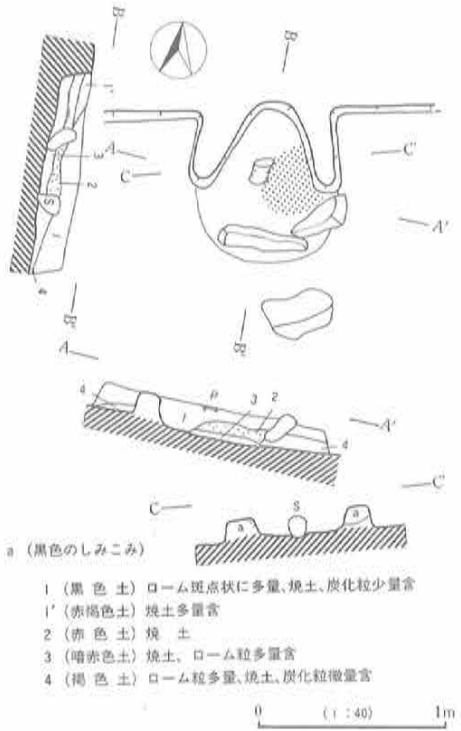


第325図 H173号住居址カマド実測図



第326図 H174号住居址実測図

1 (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム、炭化材多量混

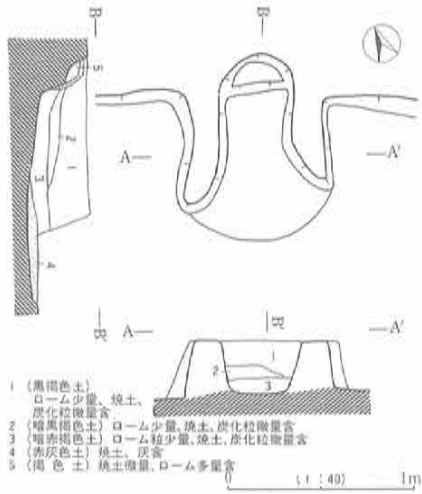


a (黒色のしみこみ)

- 1 (黒色土) ローム斑点状に多量、焼土、炭化粒少量含
- 1' (赤褐色土) 焼土多量含
- 2 (赤色土) 焼土
- 3 (暗赤色土) 焼土、ローム粒多量含
- 4 (褐色土) ローム粒多量、焼土、炭化粒微量含

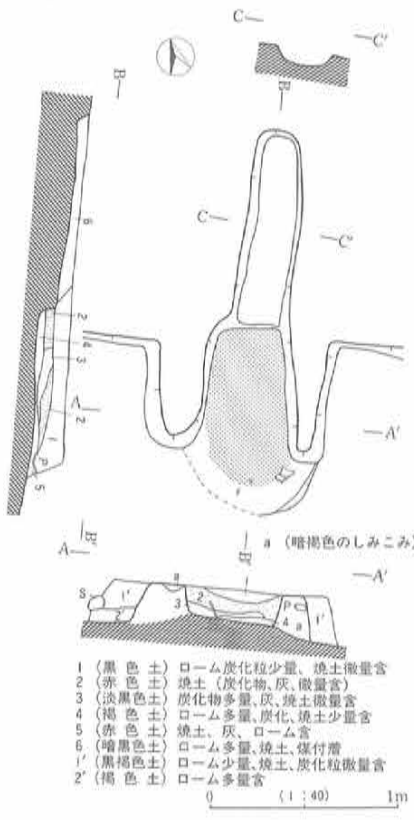
0 (1:40) 1m

第327図 H174号住居址カマド実測図



- 1 (黒褐色土) ローム少量、焼土、炭化粒微量含
- 2 (暗黒褐色土) ローム少量、焼土、炭化粒微量含
- 3 (暗赤褐色土) ローム少量、焼土、炭化粒微量含
- 4 (赤灰色土) 焼土、灰含
- 5 (褐色土) 焼土微量、ローム多量含

第329図 H175号住居址カマド実測図

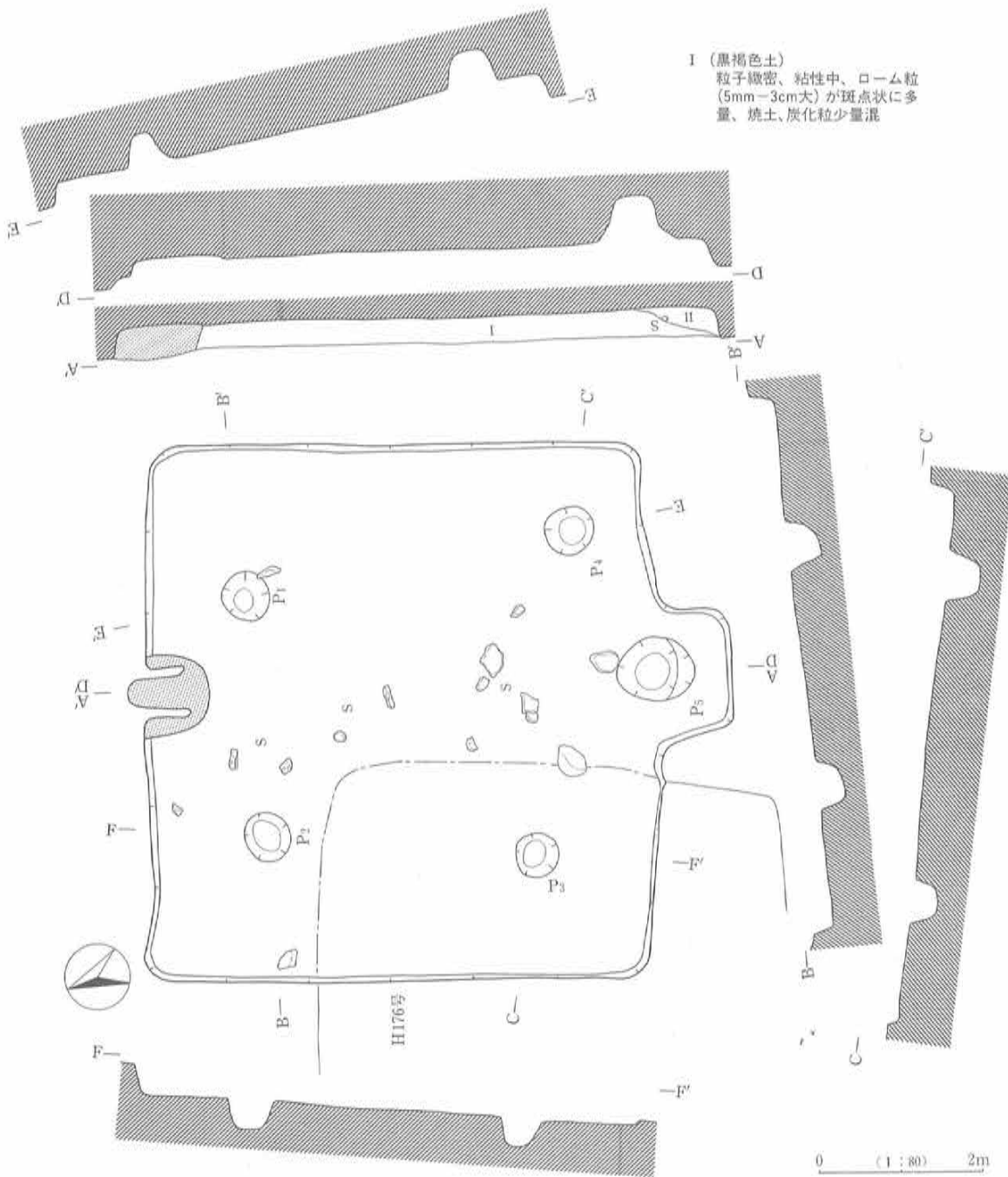


a (暗褐色のしみこみ)

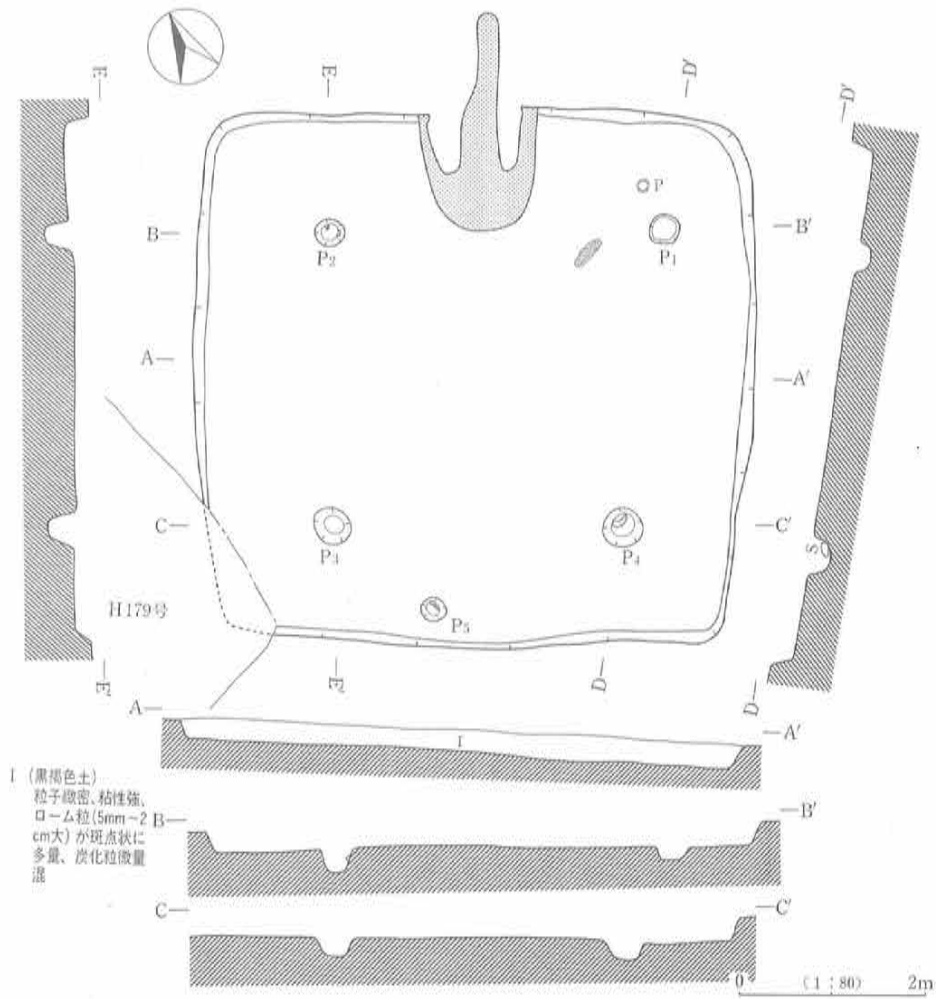
- 1 (黒色土) ローム炭化粒少量、焼土微量含
- 2 (赤色土) 焼土(炭化物、灰、微量含)
- 3 (淡黒色土) 炭化物多量、灰、焼土微量含
- 4 (褐色土) ローム多量、炭化、焼土少量含
- 5 (赤色土) 焼土、灰、ローム含
- 6 (暗黒色土) ローム多量、焼土、煤付層
- 1' (黒褐色土) ローム少量、焼土、炭化粒微量含
- 2' (褐色土) ローム多量含

0 (1:40) 1m

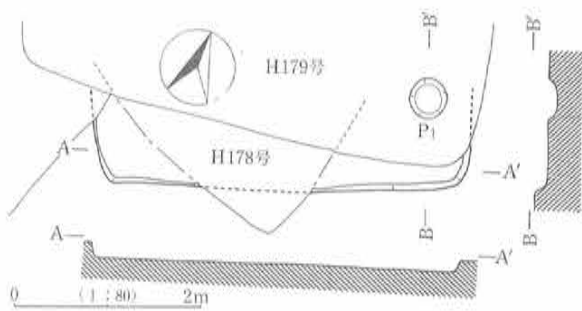
第331図 H176号住居址カマド実測図



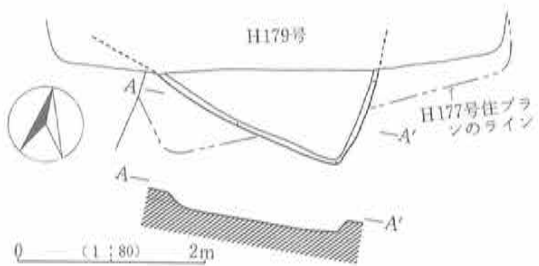
第328図 H175号住居址実測図



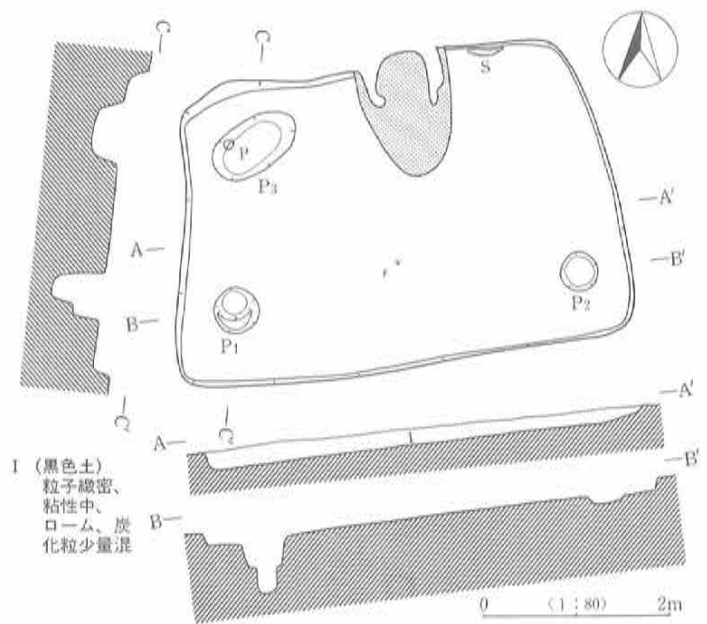
第330図 H176号住居址実測図



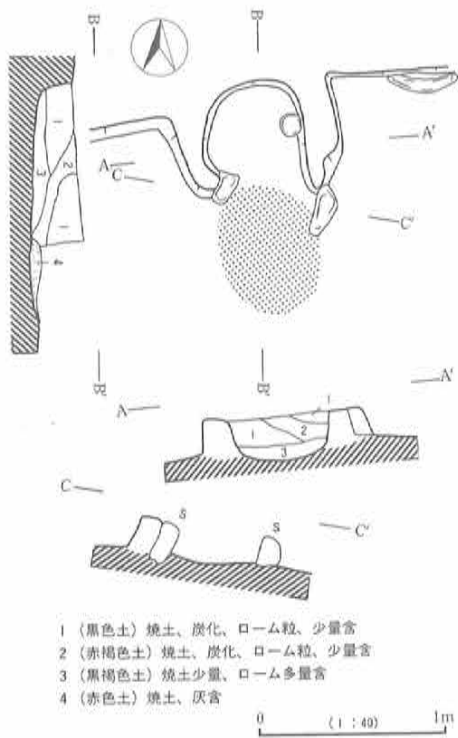
第332図 H177号住居址実測図



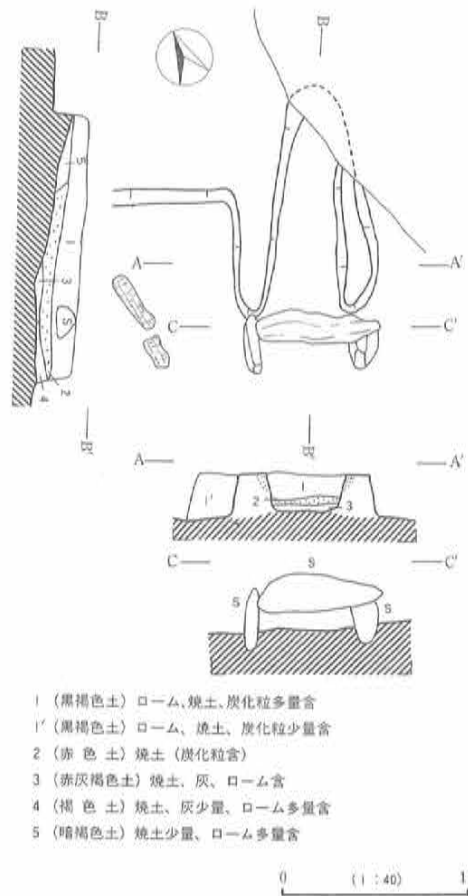
第333図 H178号住居址実測図



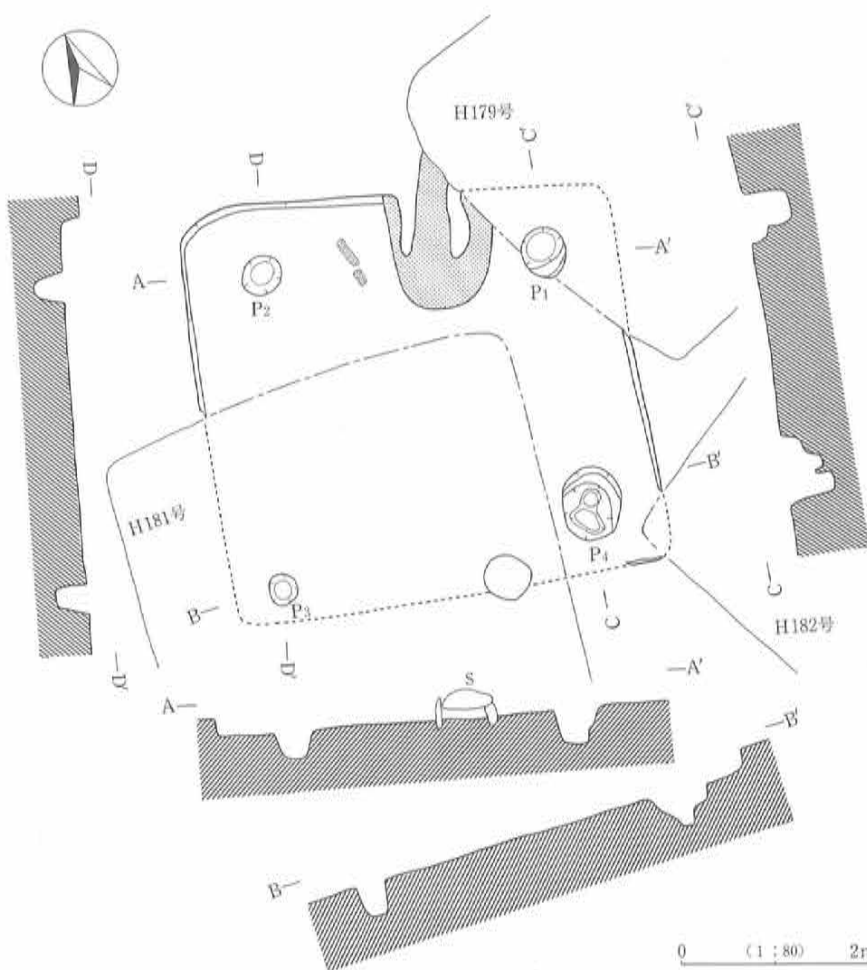
第334図 H179号住居址実測図



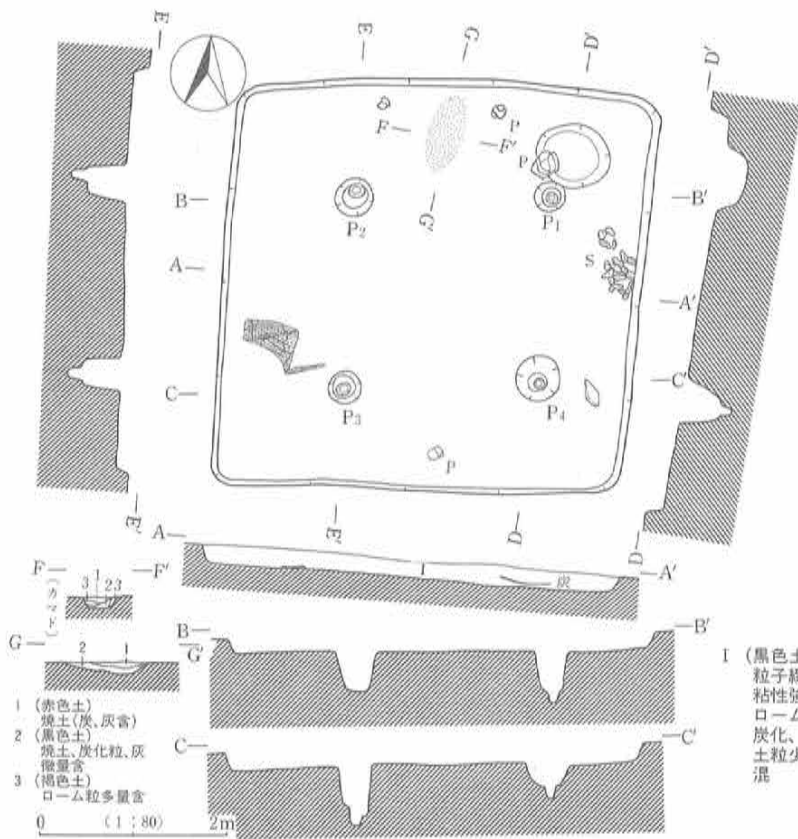
第335図 H179号住居址カマド実測図



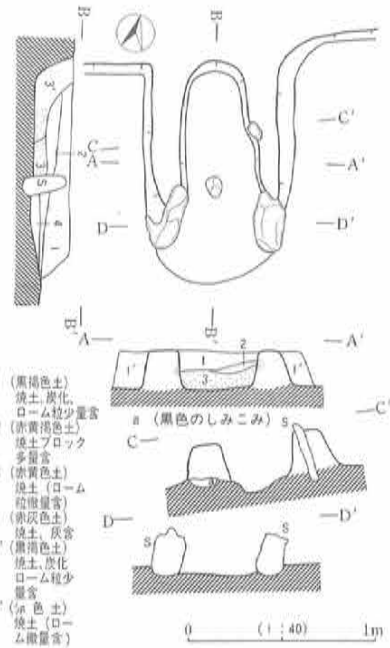
第337図 H180号住居址カマド実測図



第336図 H180号住居址実測図

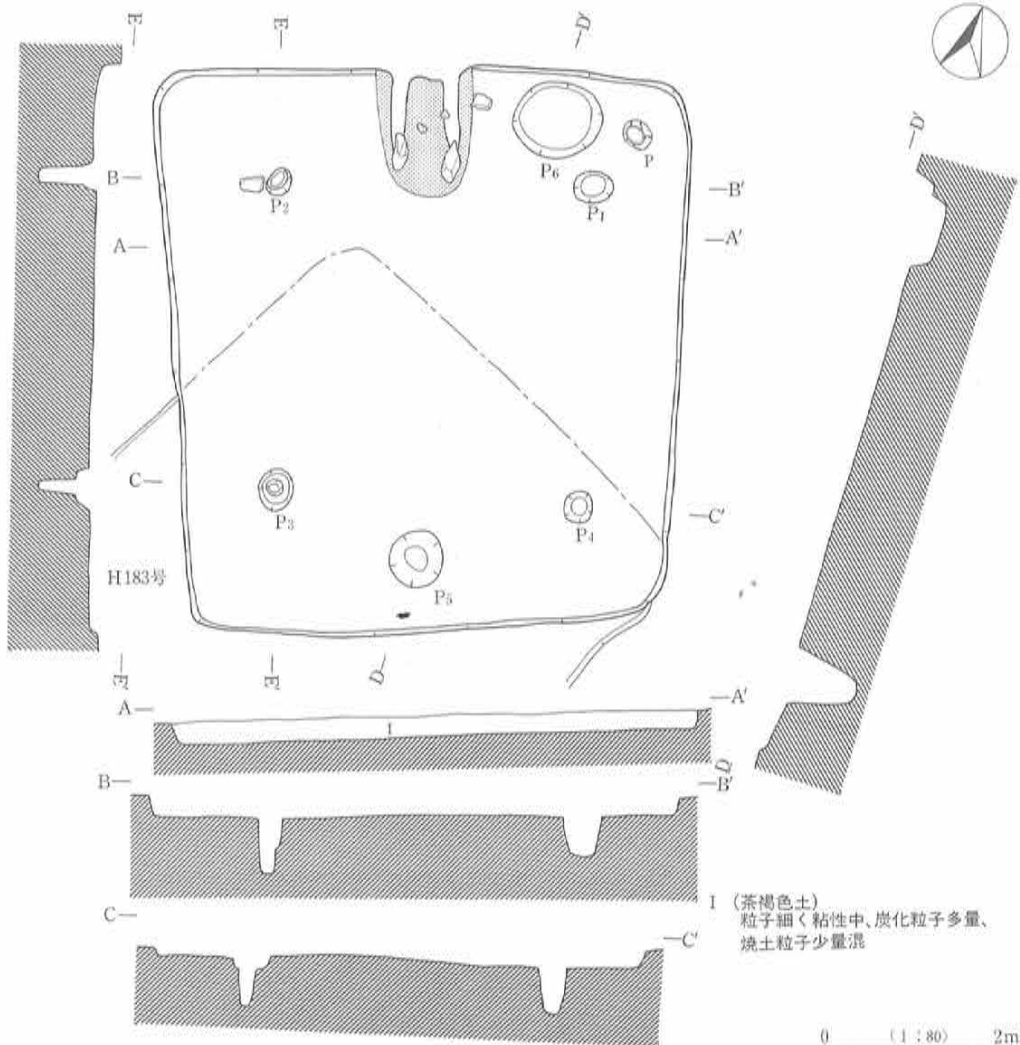


第338図 H181号
 住居址実測図

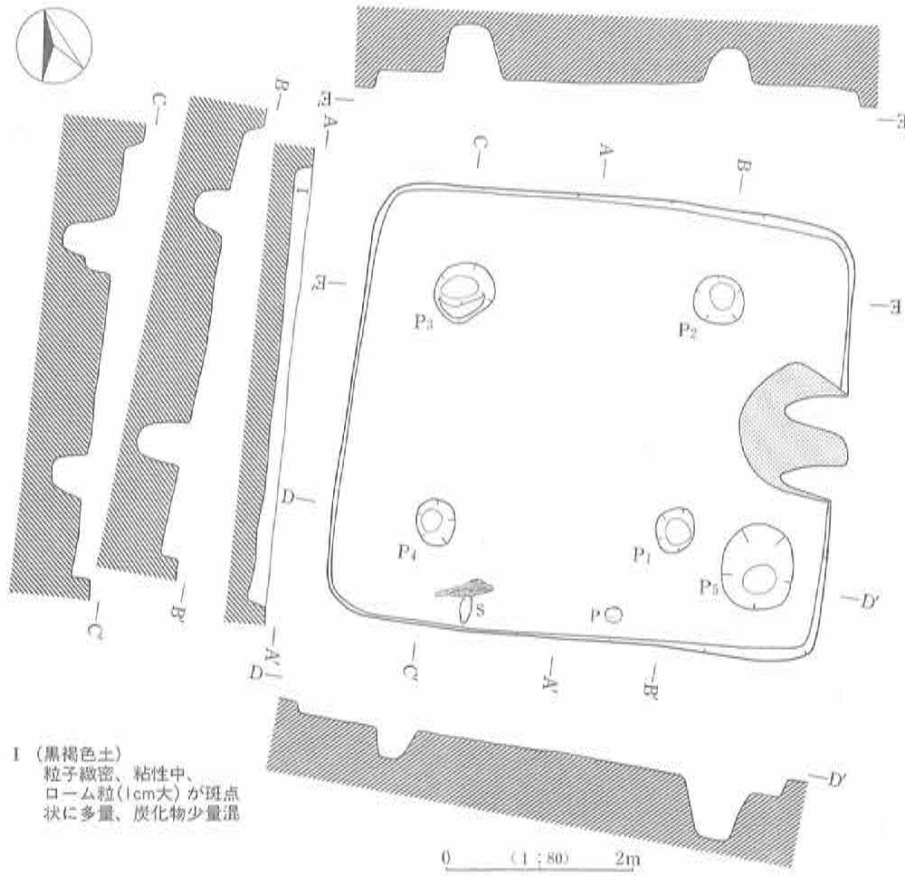


第340図 H182号住居址カマド実測図

I (黒色土)
 粒子緻密、
 粘性強、
 ローム、
 炭化、焼
 土粒少量混

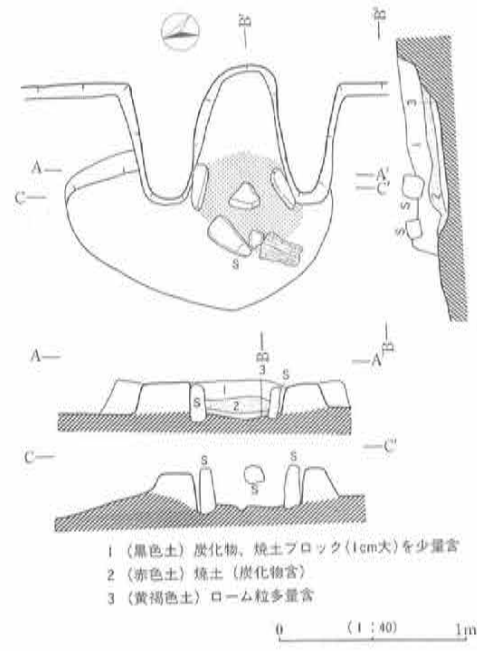


第339図 H182号
 住居址実測図



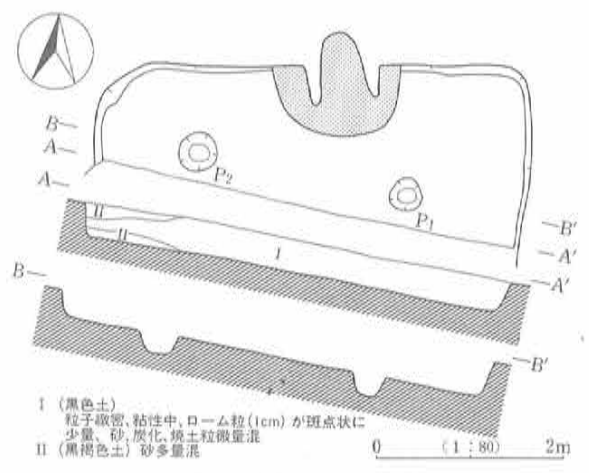
I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、
 ローム粒(1cm大)が斑点
 状に多量、炭化物少量混

第341図 H183号住居址実測図



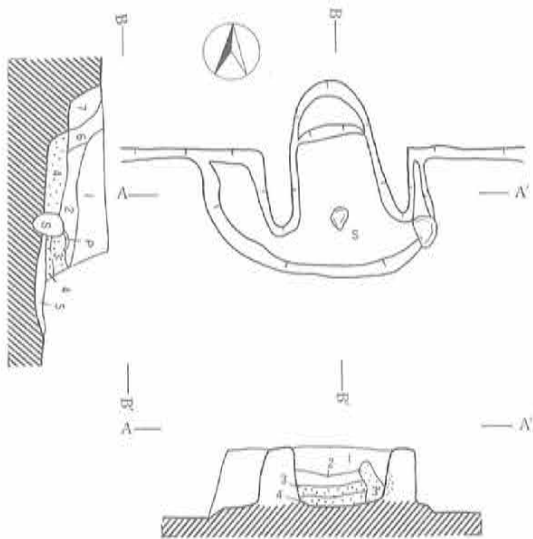
I (黒色土) 炭化物、焼土ブロック(1cm大)を少量含
 2 (赤色土) 焼土(炭化物含)
 3 (黄褐色土) ローム粒多量含

第342図 H183号住居址カマド実測図



I (黒色土)
 粒子緻密、粘性中、ローム粒(1cm)が斑点状に
 少量、砂、炭化、焼土粒微量混
 II (黒褐色土) 砂多量混

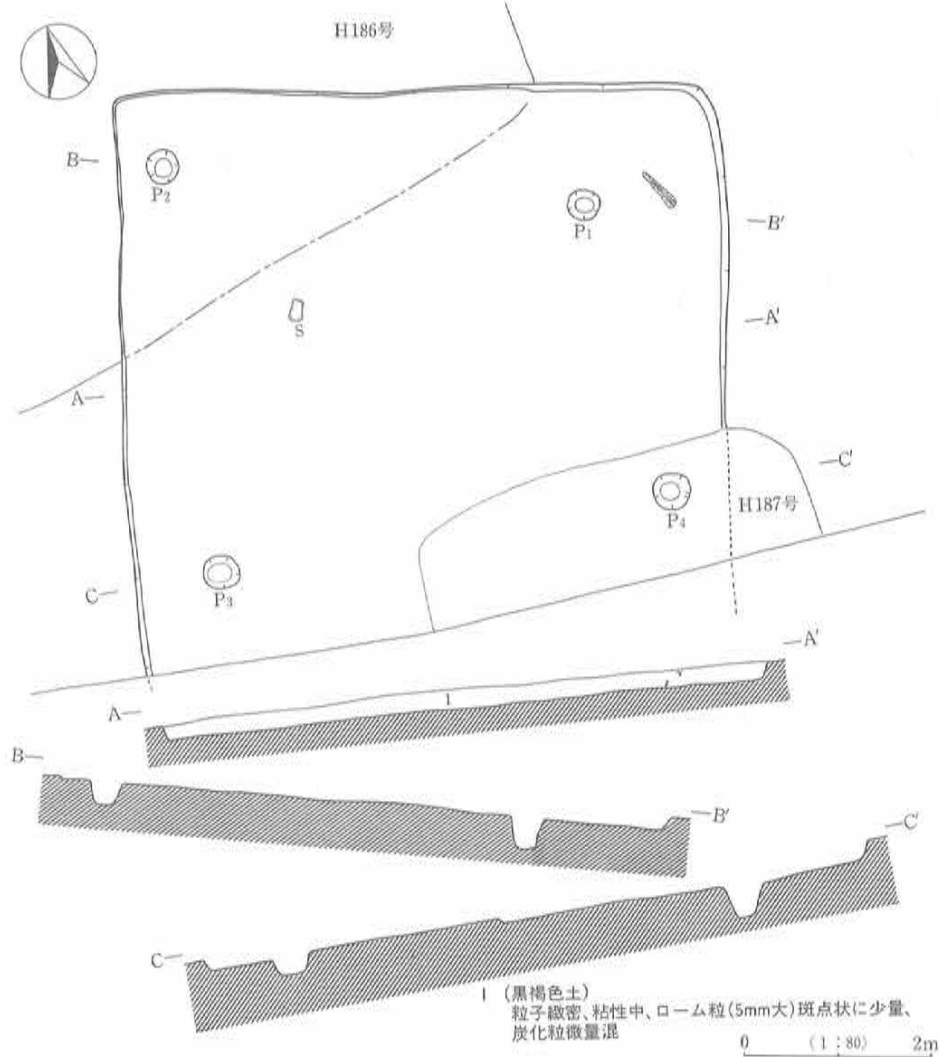
第343図 H184号住居址実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、焼土、炭、微量含
- 2 (褐色土) ローム多量、焼土、炭、微量含
- 3 (赤色土) 焼土 (灰含)
- 3' (赤色土) 焼土ブロック
- 4 (赤黄色土) 焼土 (赤と黄のブロック)
- 5 (赤灰色土) 焼土、灰含
- 6 (暗赤褐色土) 焼土、煤付層固くコチコチ
- 7 (暗褐色土) 焼土、煤付層固くコチコチ

0 (1:40) 1m

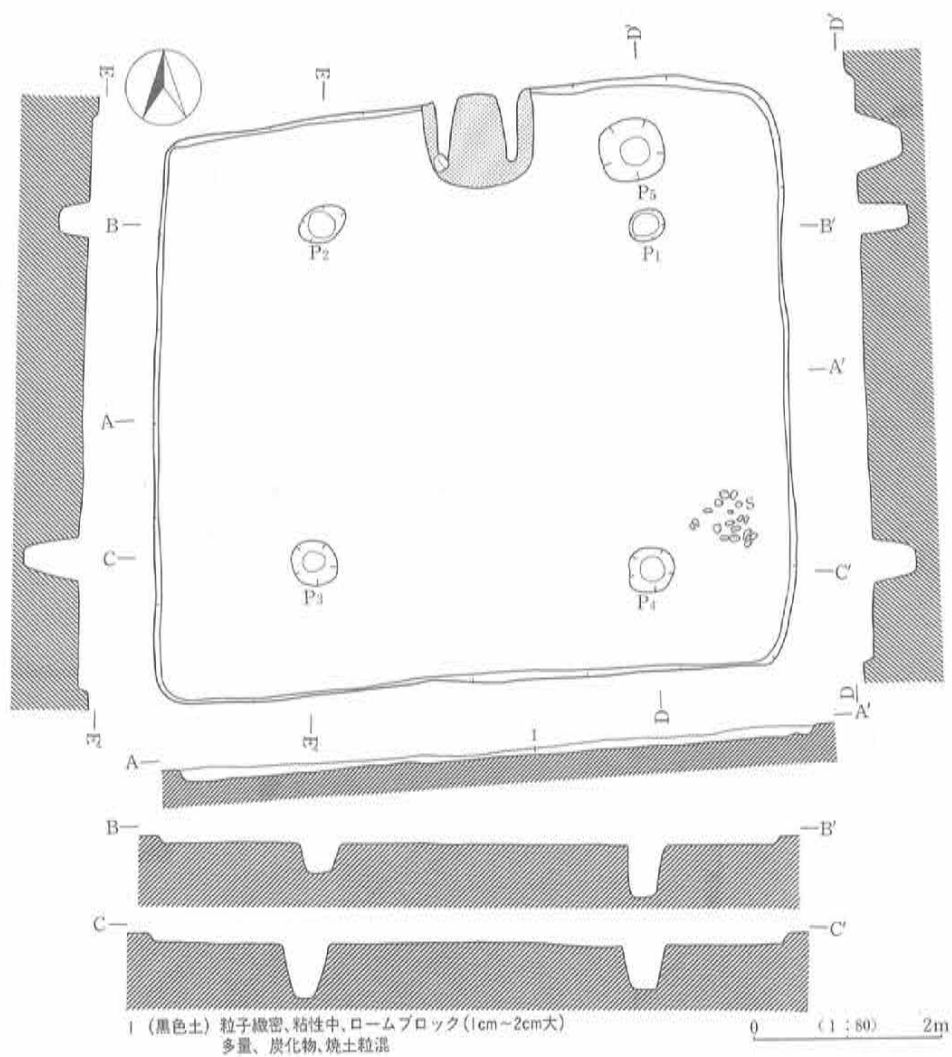
第344図 H184号住居址カマド実測図



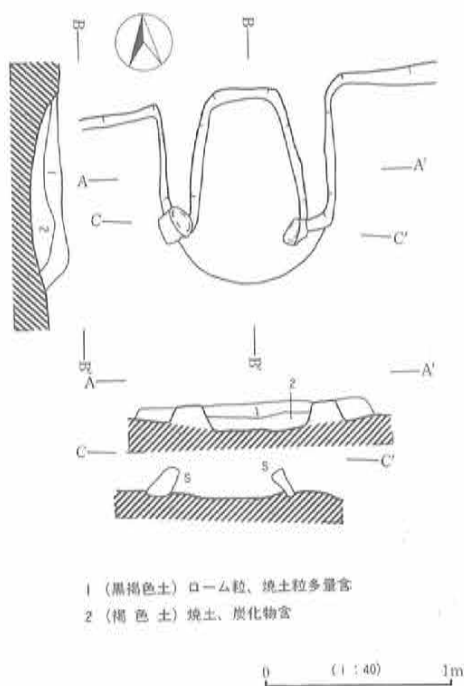
- 1 (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム粒(5mm)斑点状に少量、炭化粒微量混

0 (1:80) 2m

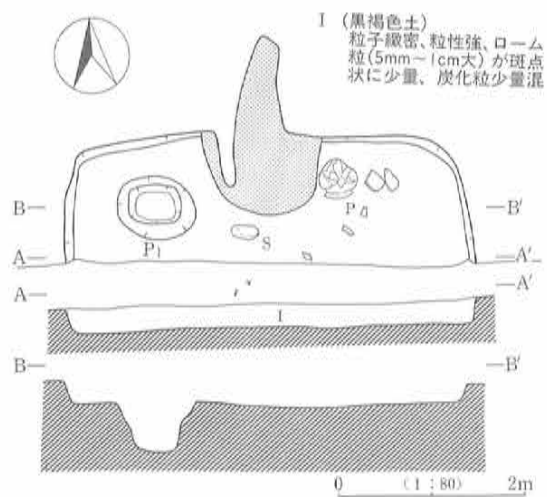
第345図 H185号住居址実測図



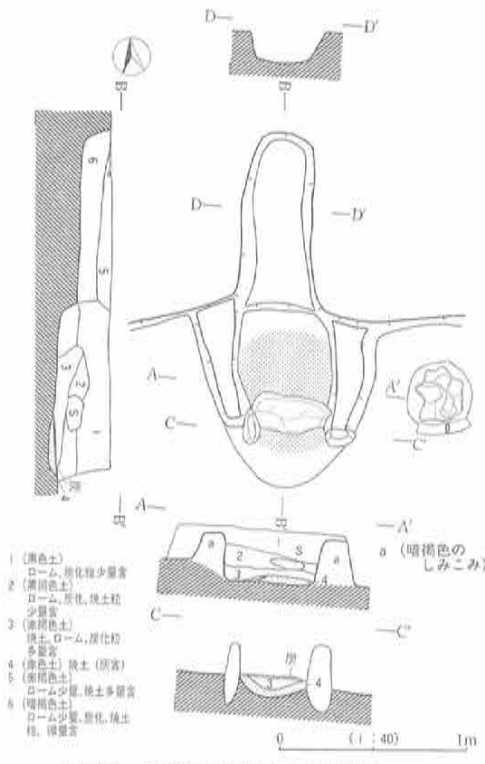
第346図 H186号住居址実測図



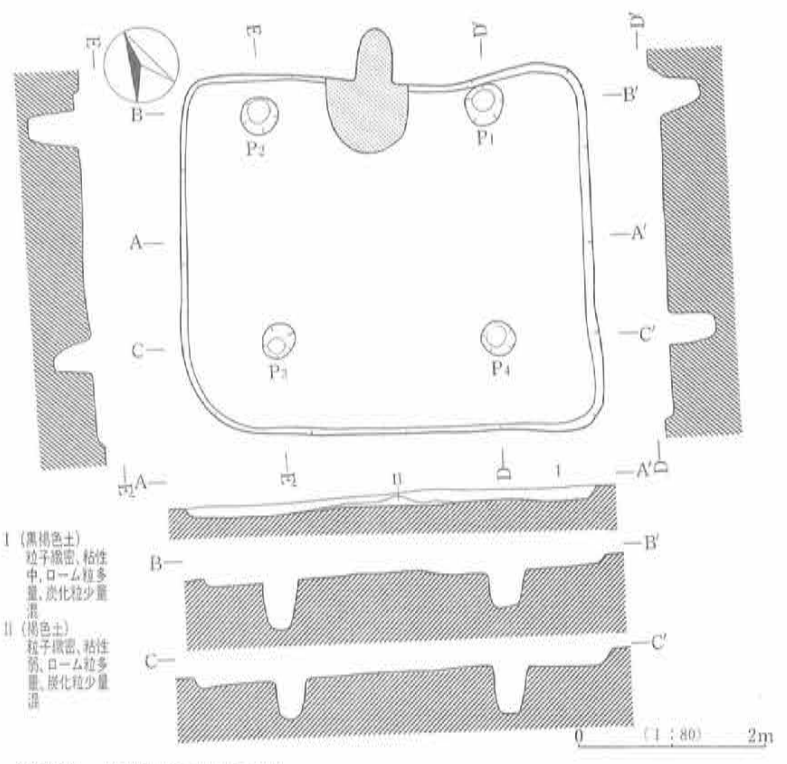
第347図 H186号住居址カマド実測図



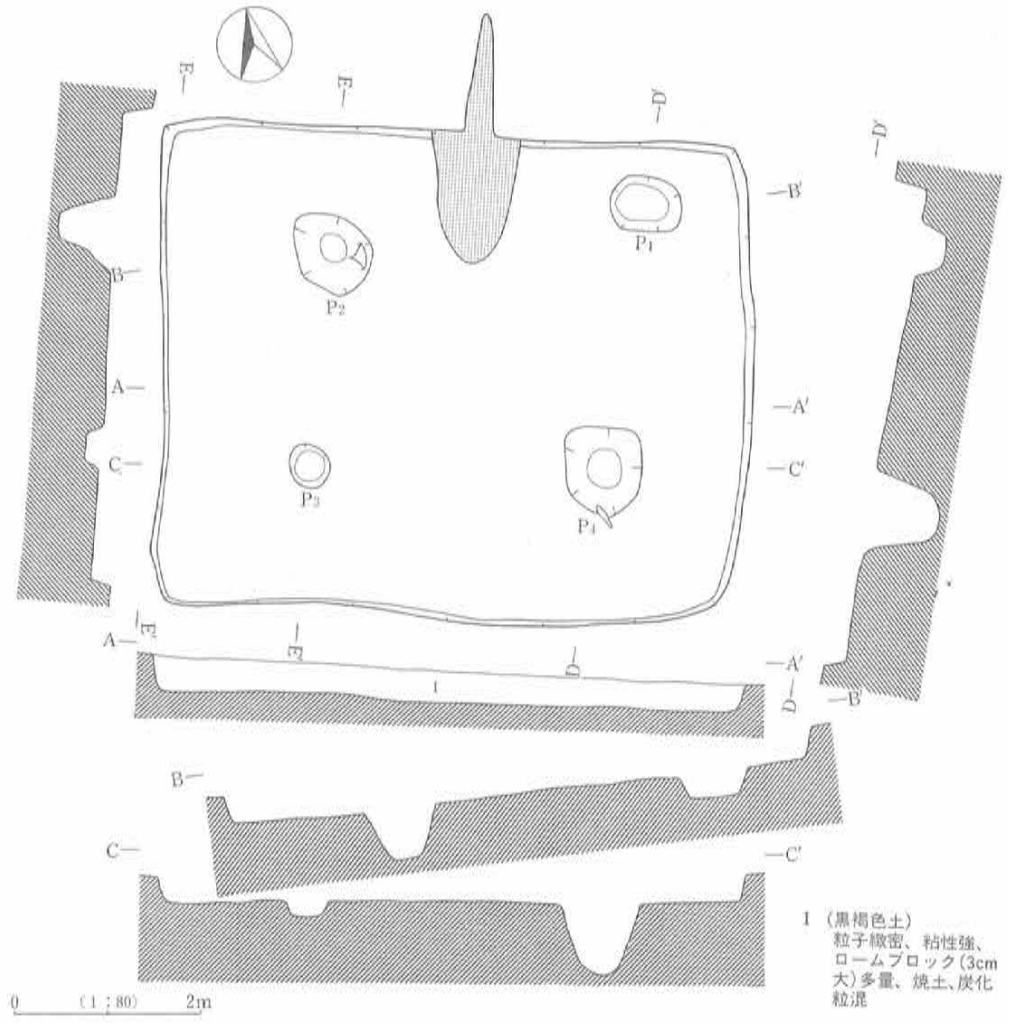
第348図 H187号住居址実測図



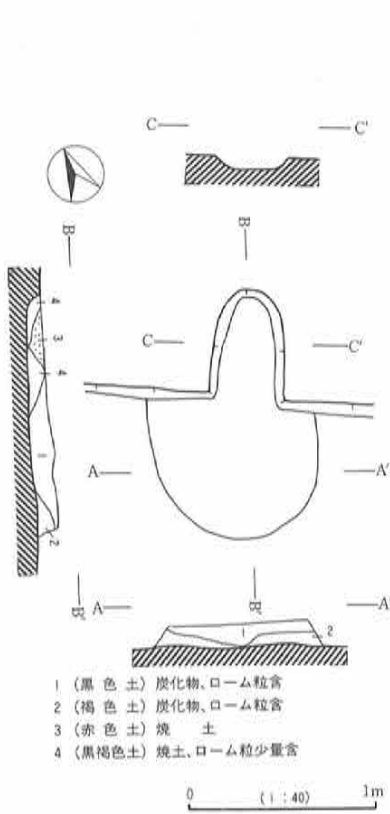
第349図 H187号住居址カマド実測図



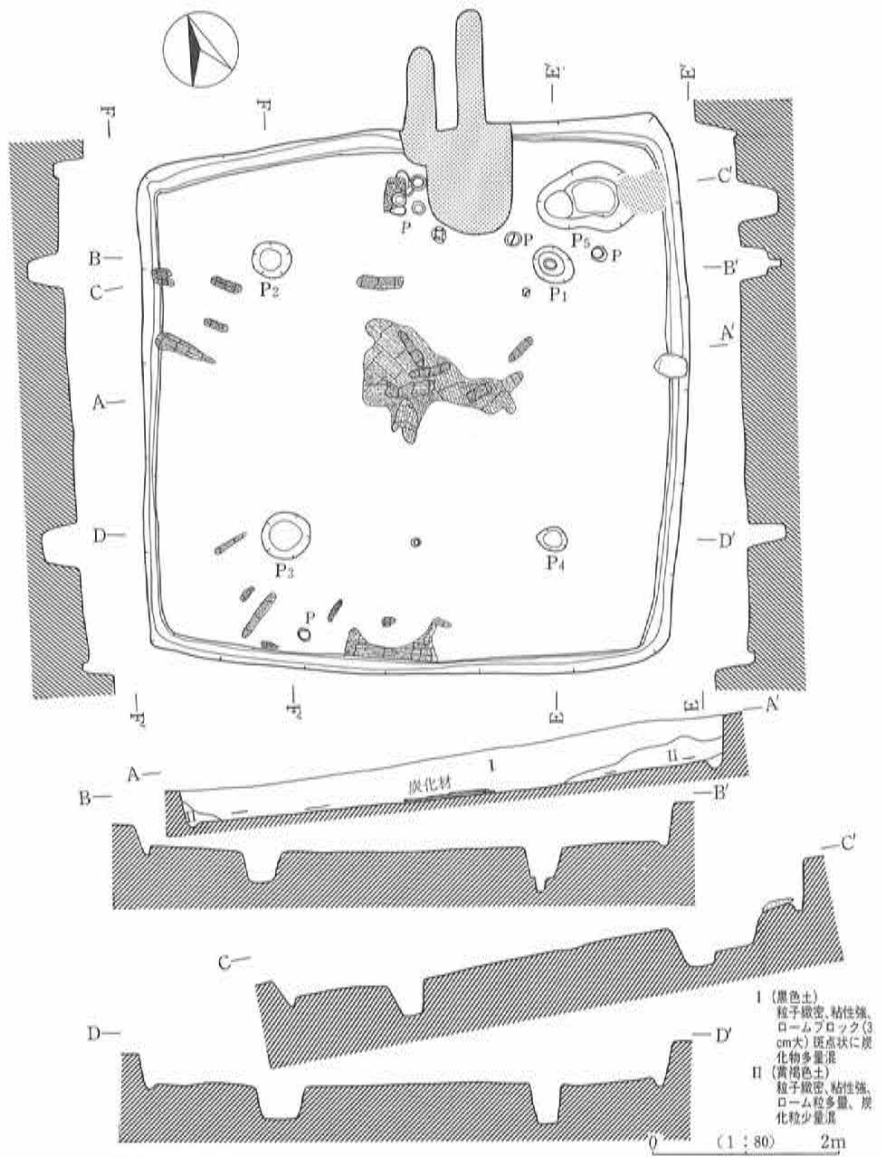
第350図 H188号住居址実測図



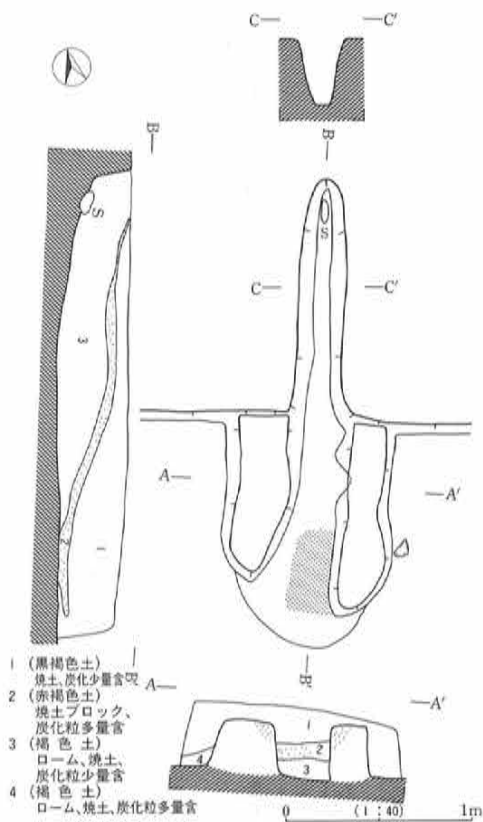
第352図 H189号住居址実測図



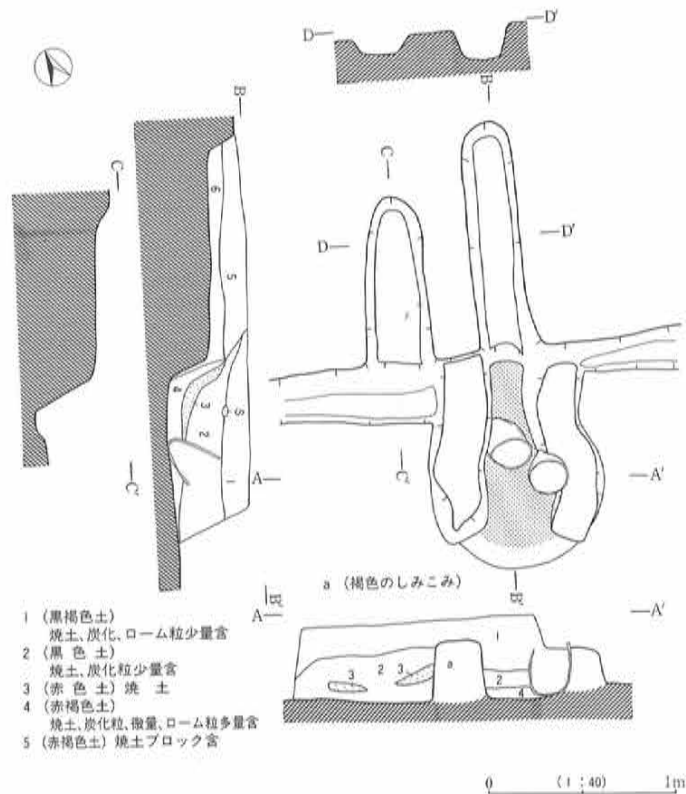
第351図 H188号住居址カマド実測図



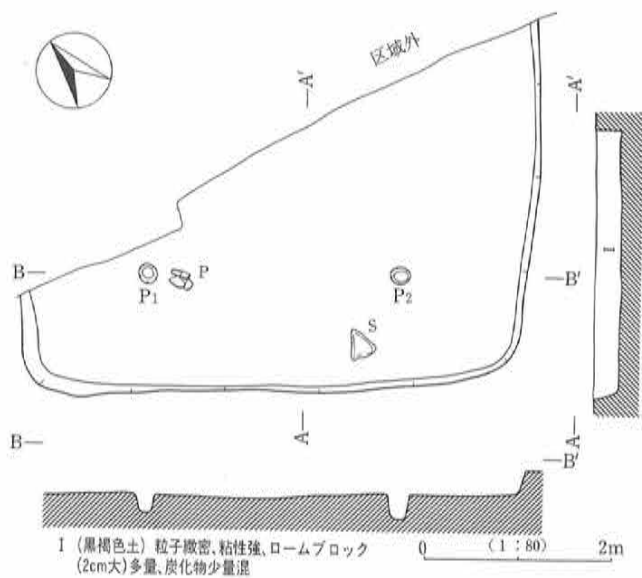
第354図 H190号住居址実測図



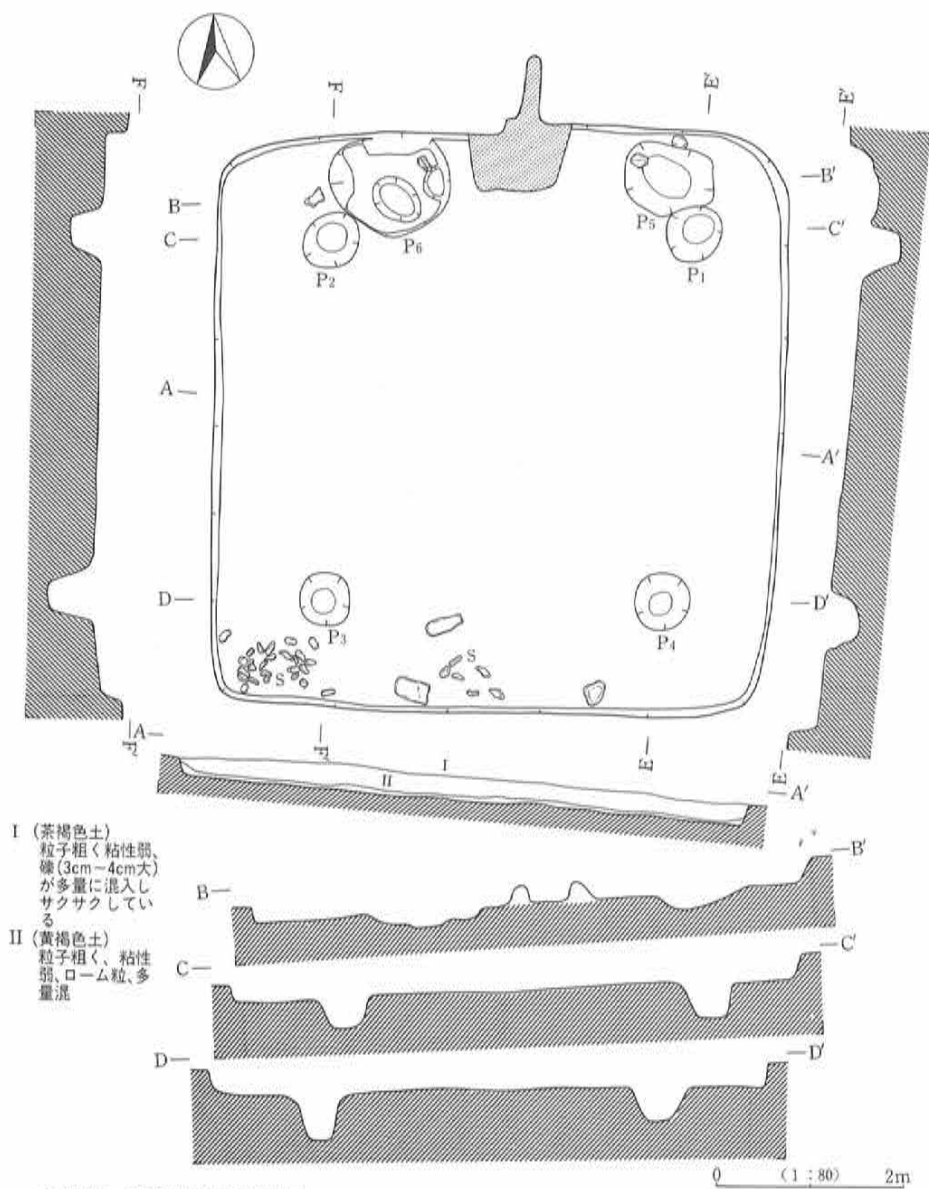
第353図 H189号住居址カマド実測図



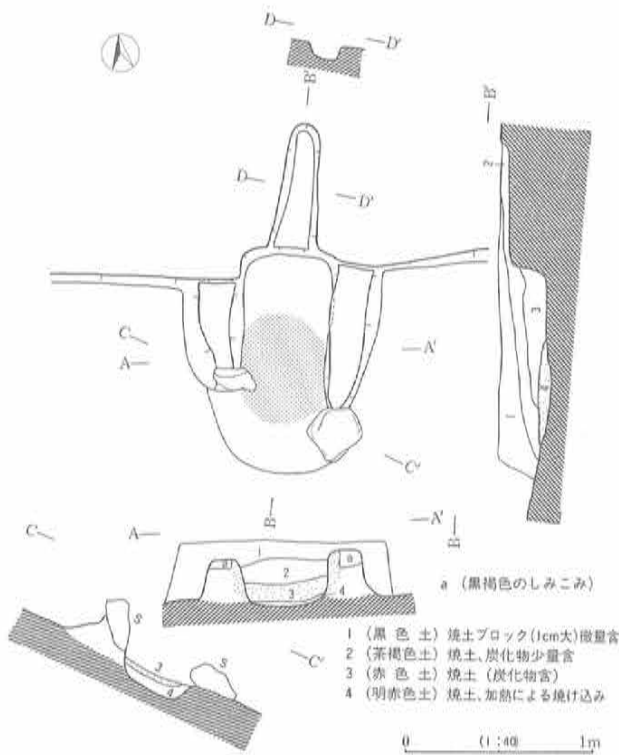
第355図 H190号住居址カマド実測図



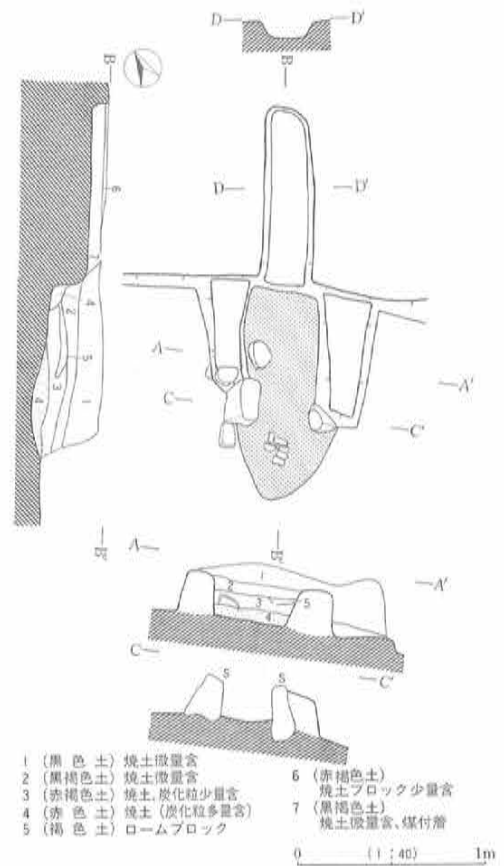
第356図 H191号住居址実測図



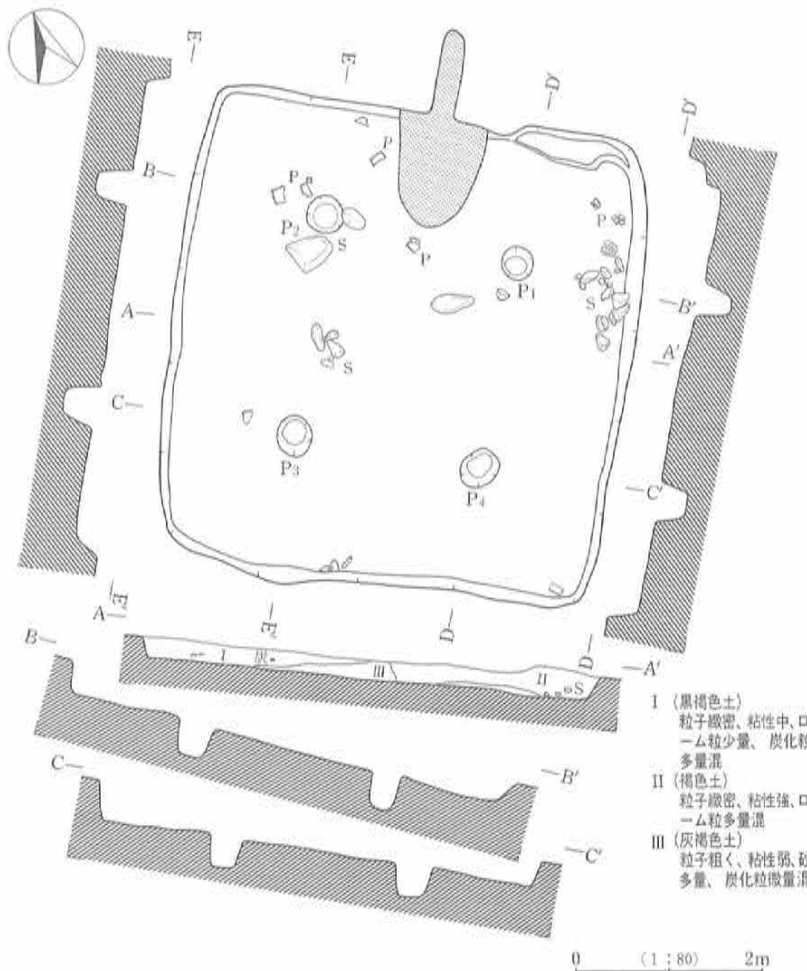
第357図 H192号住居址実測図



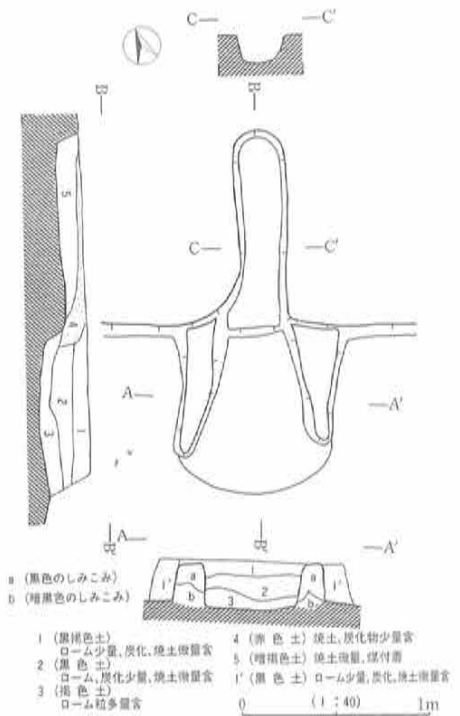
第358図 H192号住居址カマド実測図



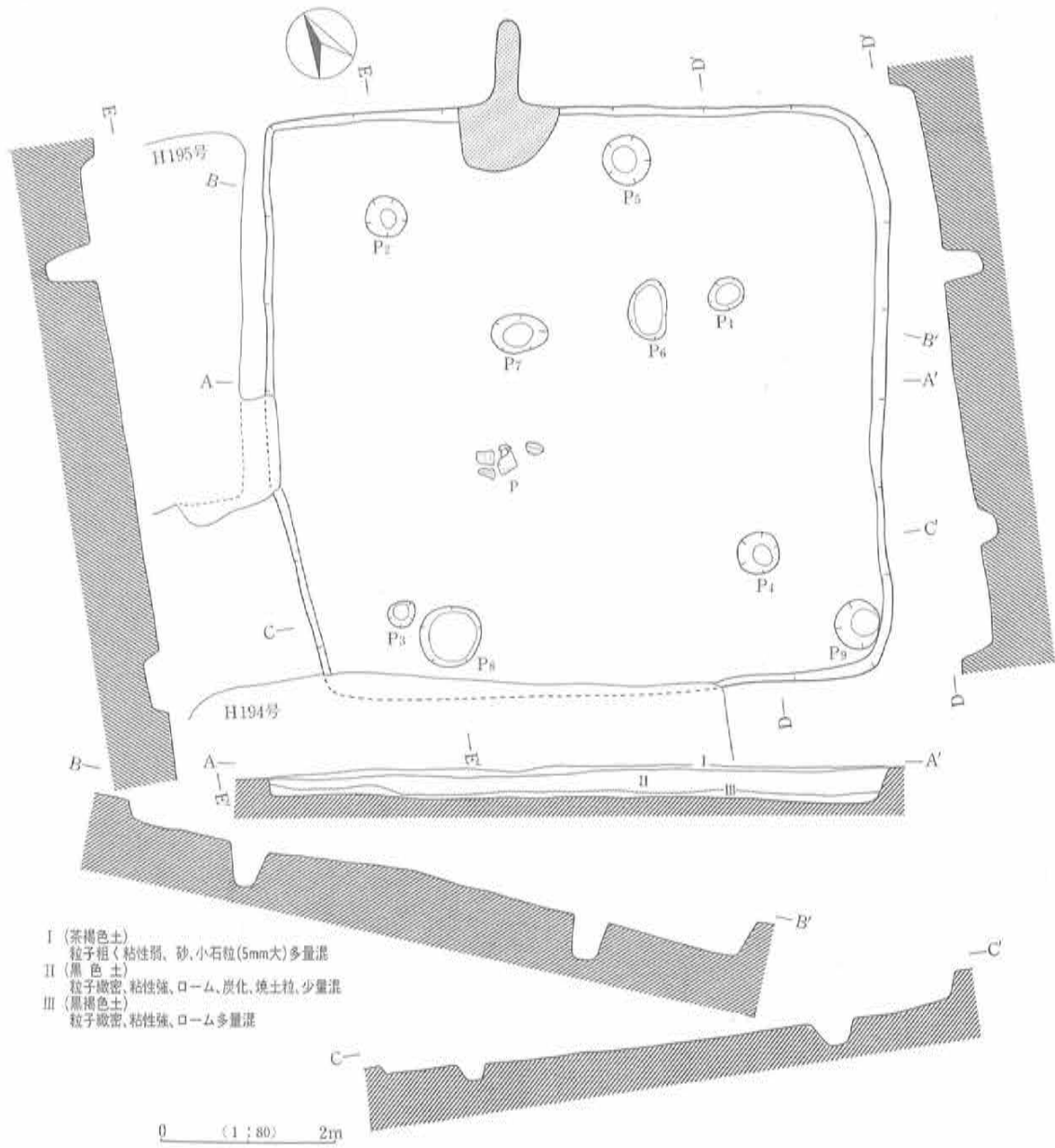
第360図 H193号住居址カマド実測図



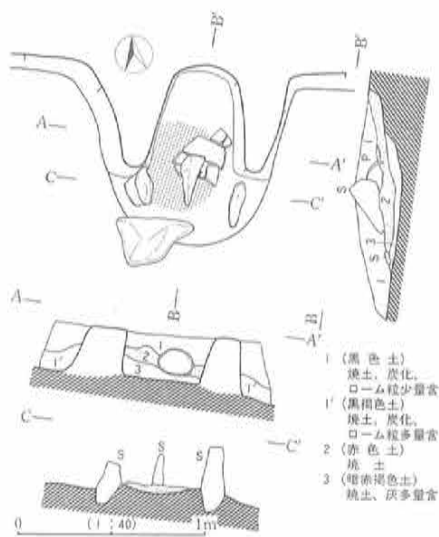
第362図 H194号住居址カマド実測図



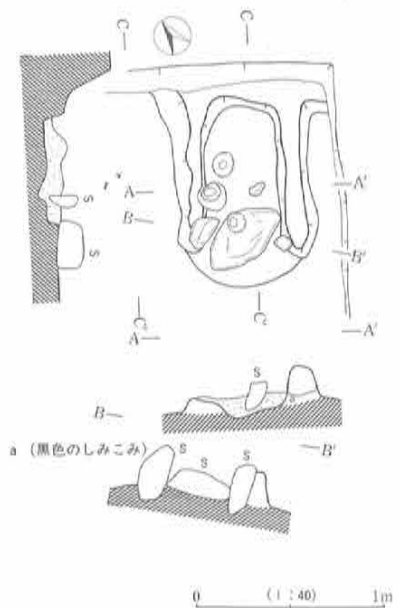
第359図 H193号住居址カマド実測図



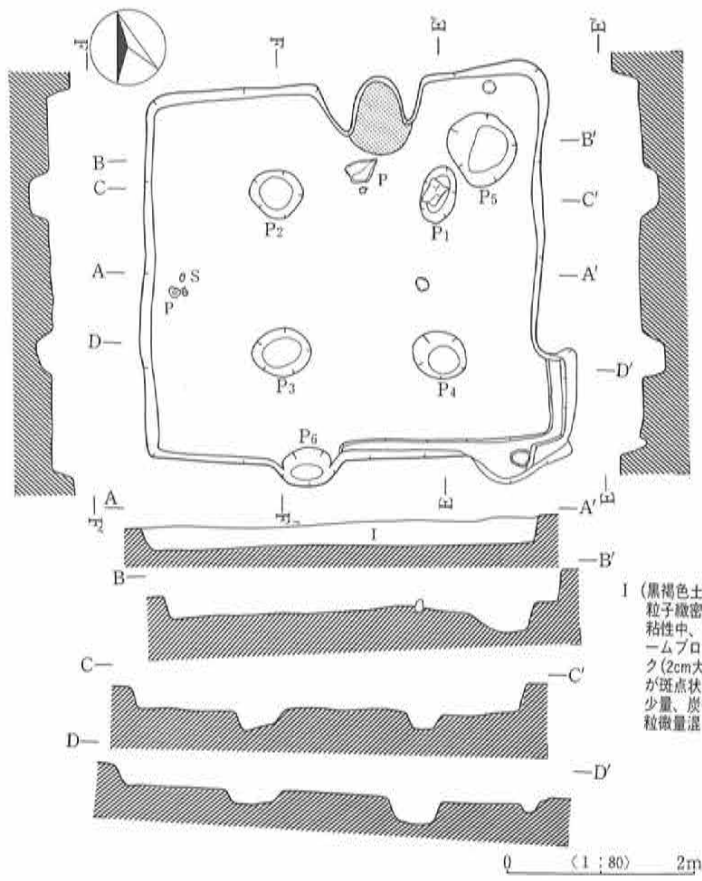
第361図 H194号住居址実測図



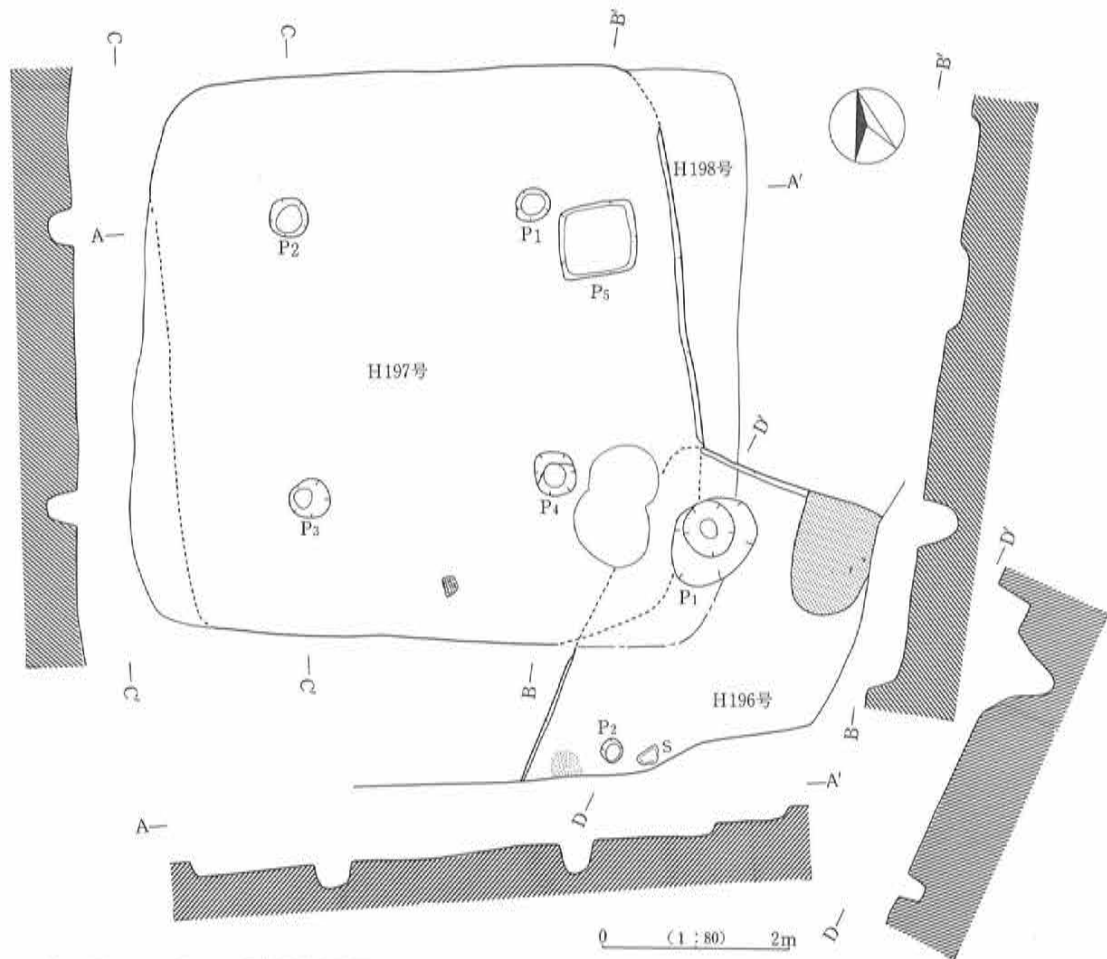
第364図 H195号住居址
カマド実測図



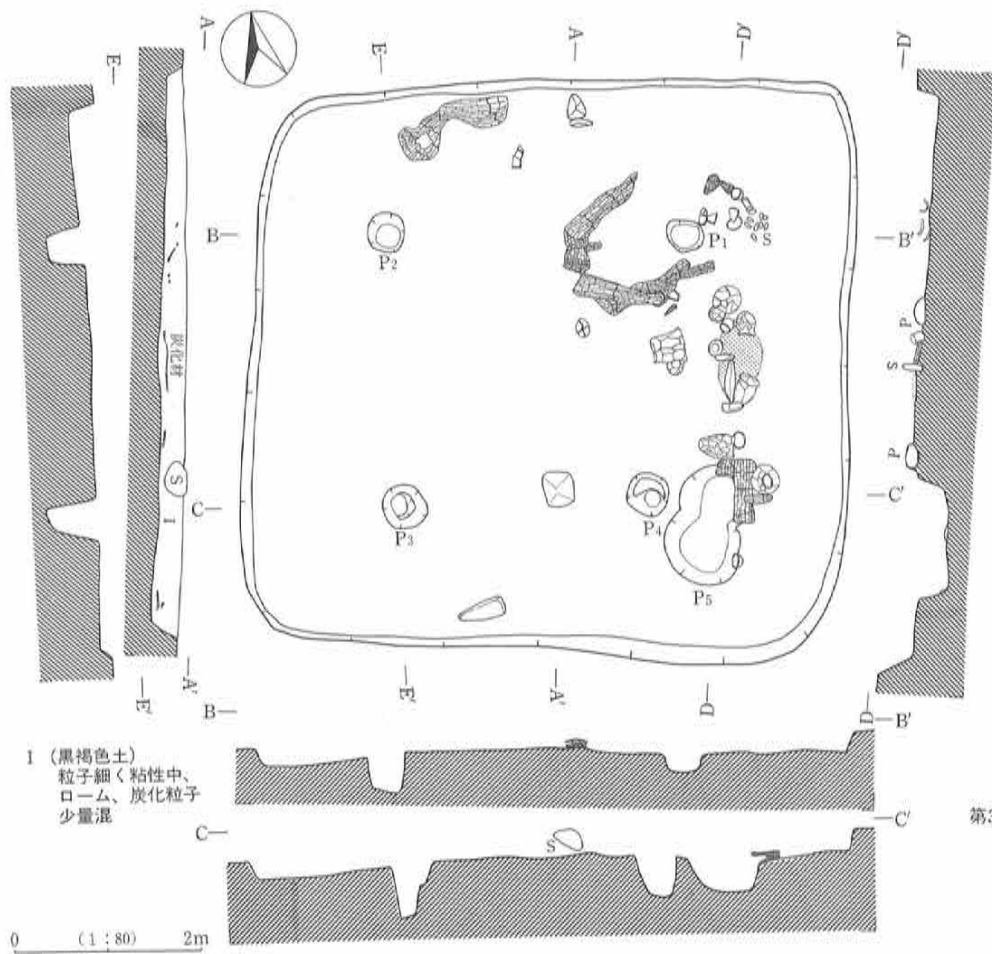
第366図 H196号住居址
カマド実測図



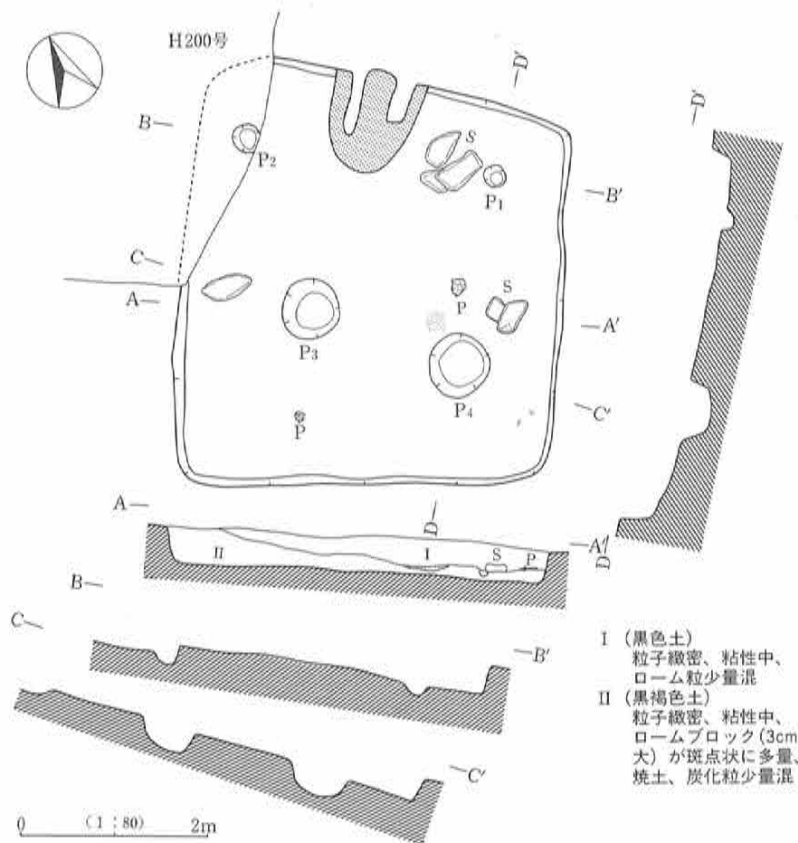
第363図 H195号住居址実測図



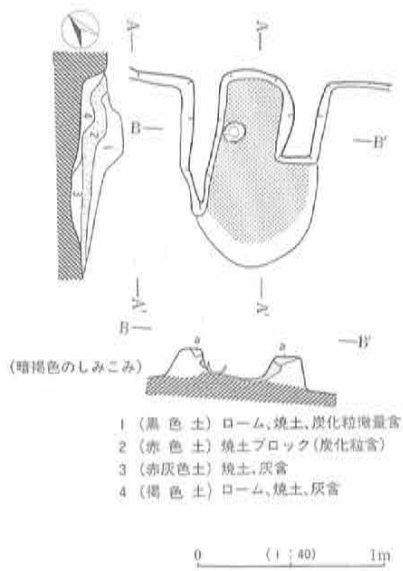
第365図 H196号・197号住居址実測図



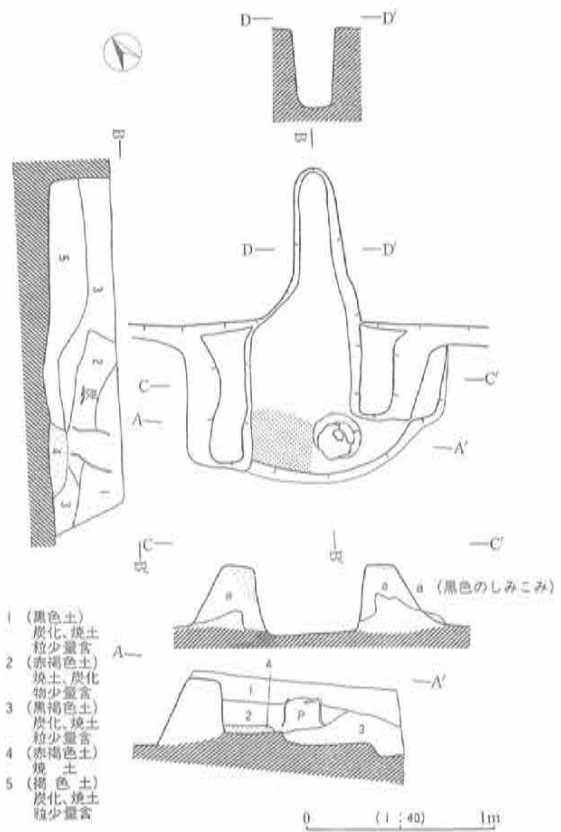
第367図 H198号住居址実測図



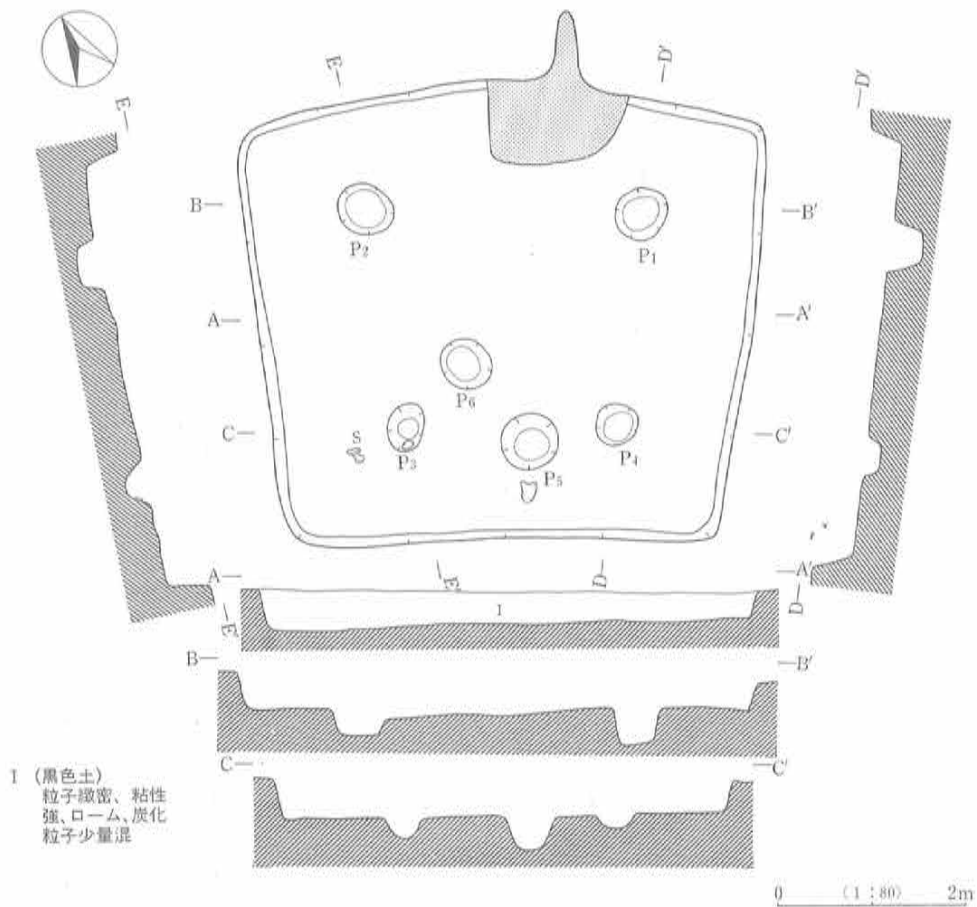
第368図 H199号住居址実測図



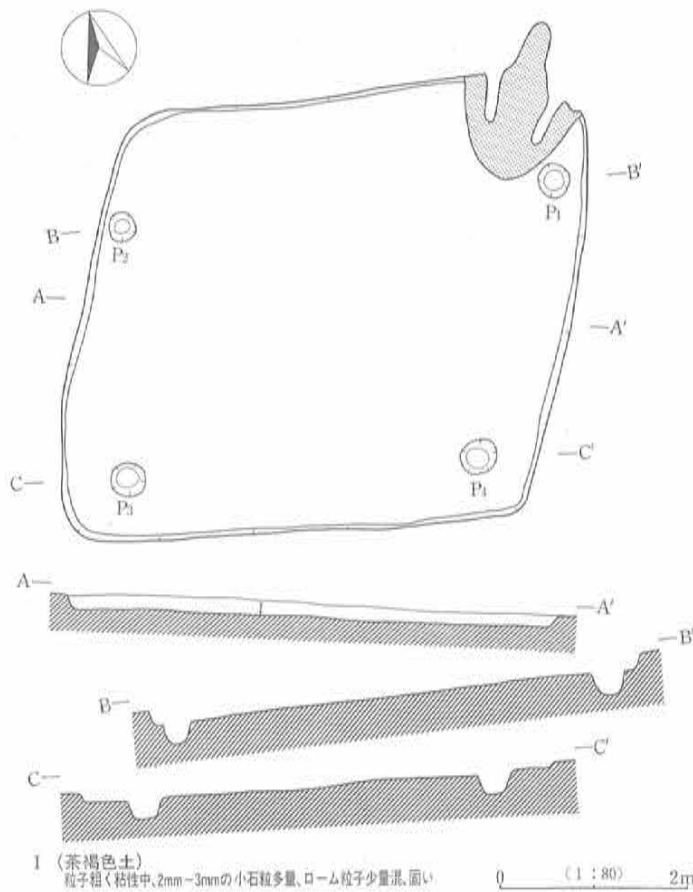
第369図 H199号住居址カマド実測図



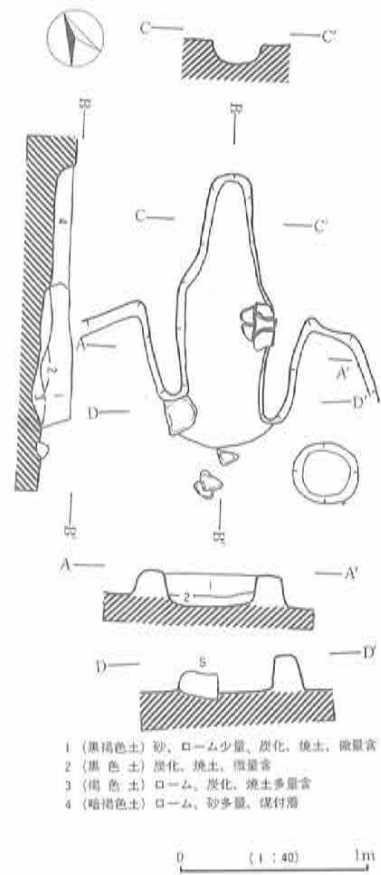
第371図 H200号住居址カマド実測図



第370図 H200号住居址実測図

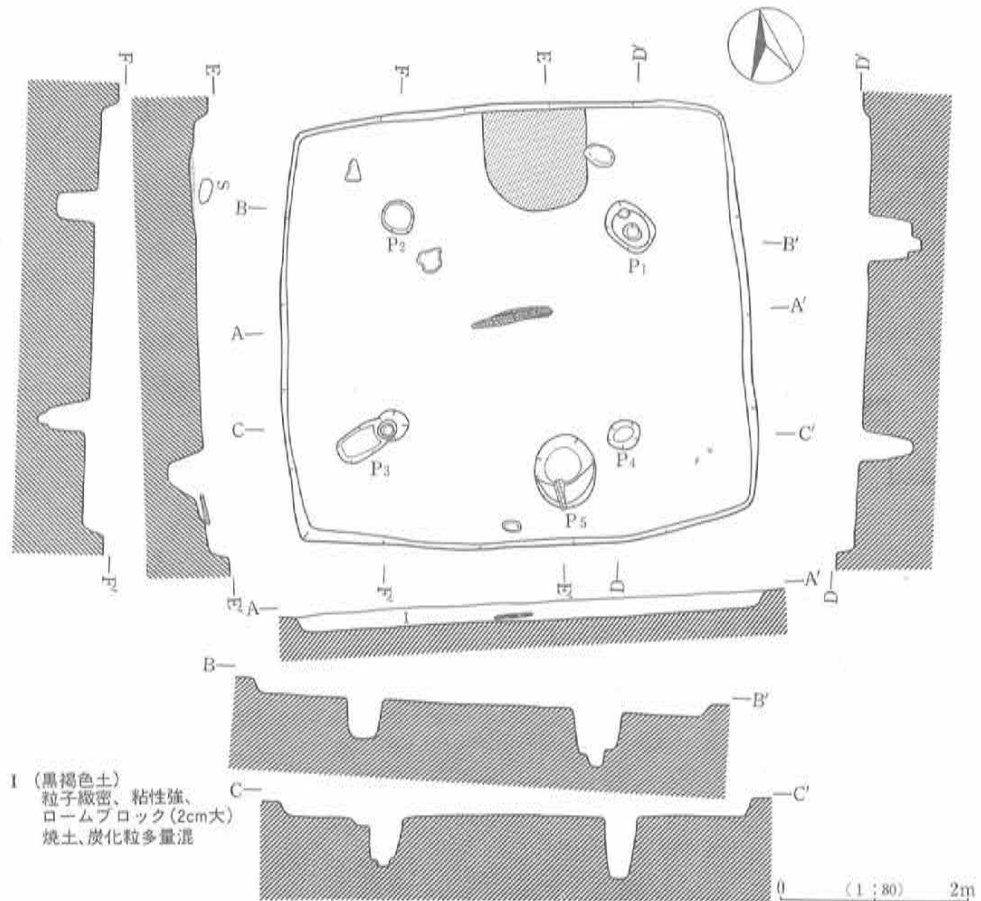


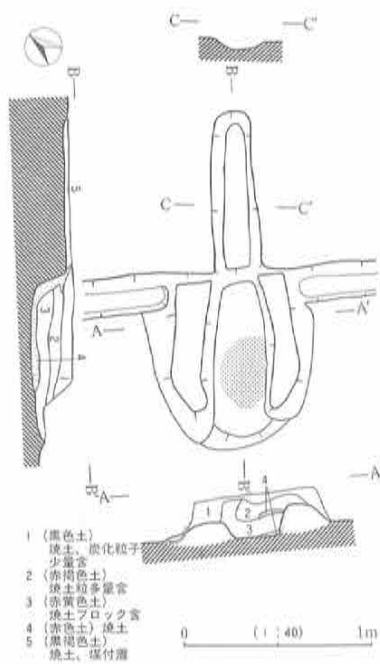
第372図 H 201号住居址実測図



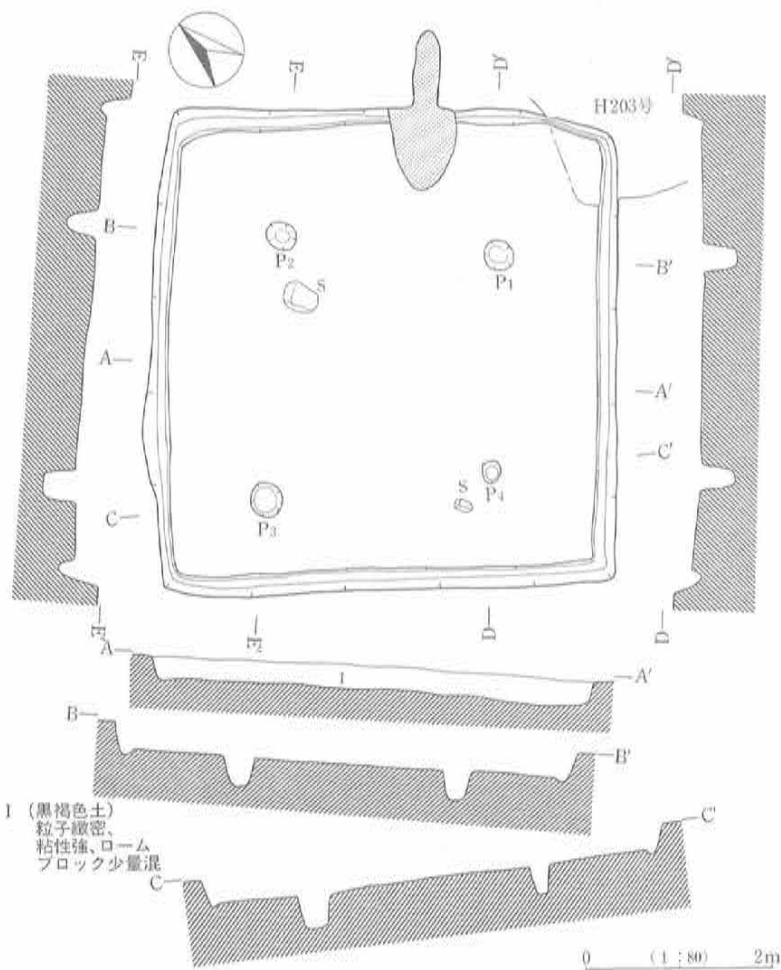
第373図 H 201号住居址カマド実測図

第374図
 H 202号住居址実測図

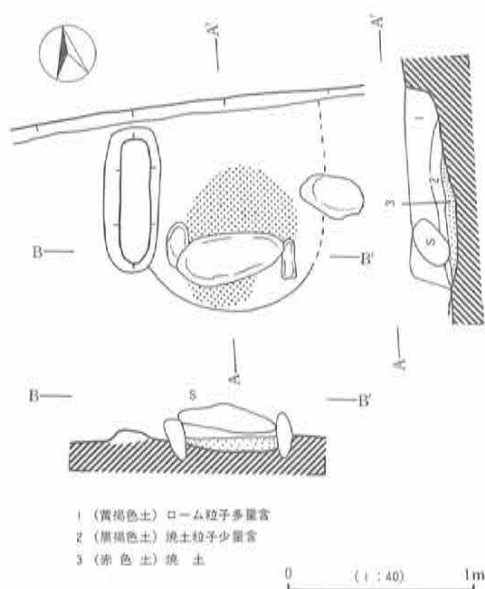




第377図 H203号住居址カマド実測図

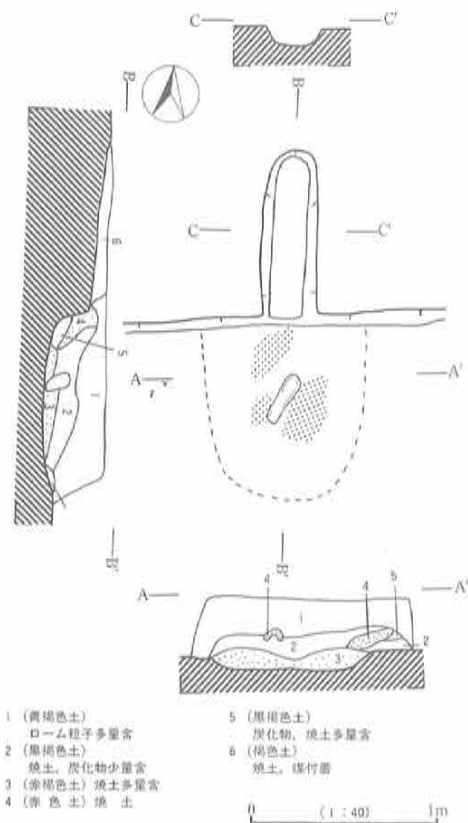


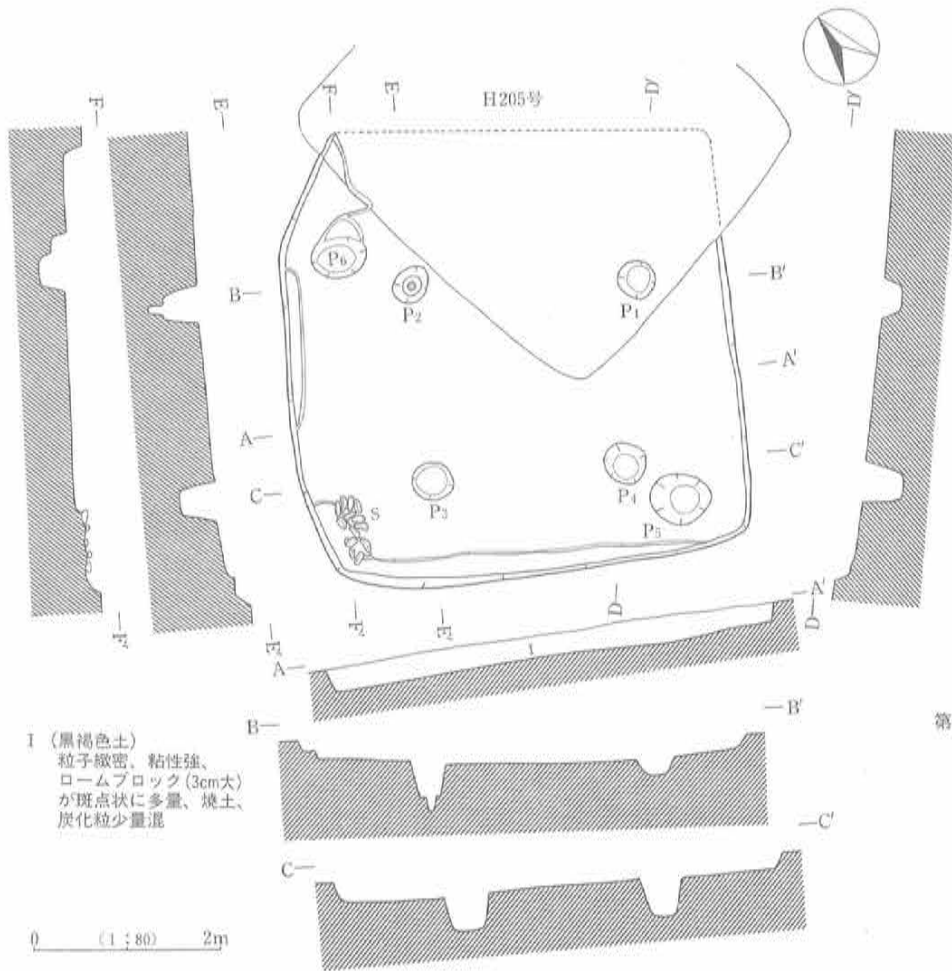
第376図 H203号住居址実測図



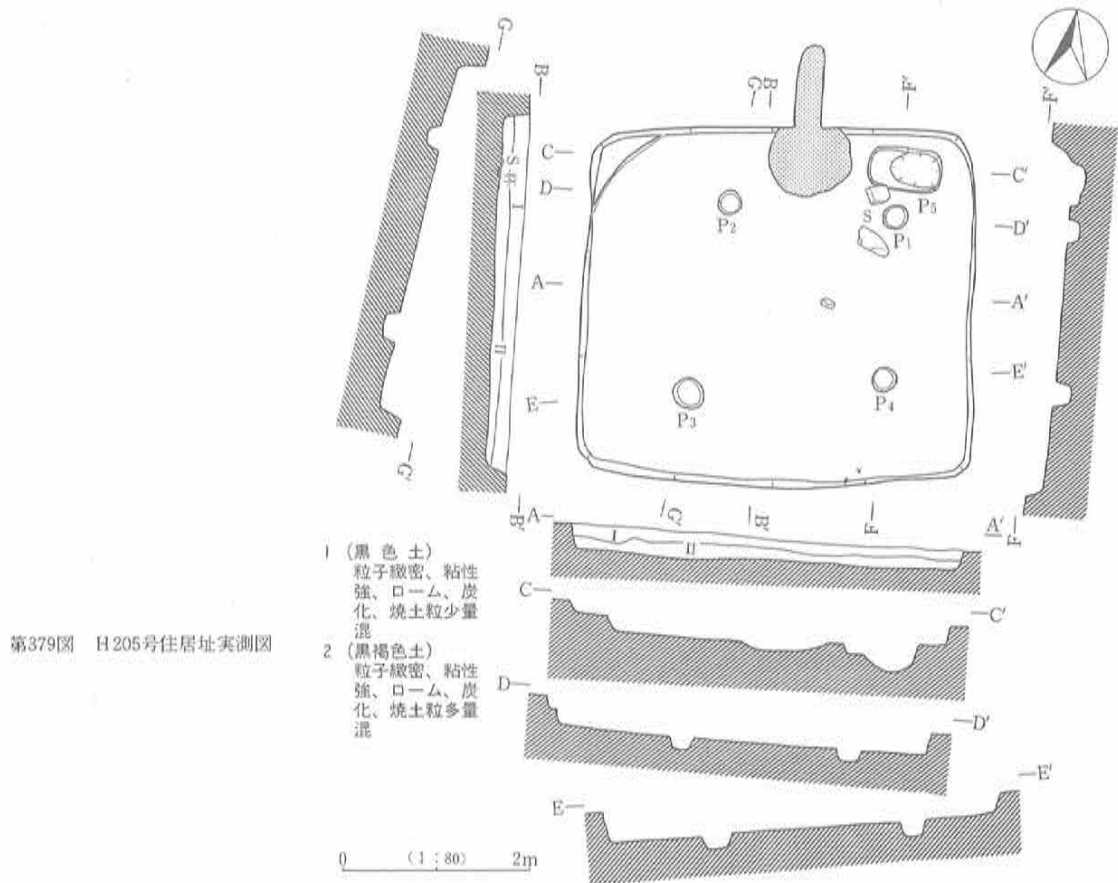
第375図 H202号住居址カマド実測図

第380図 H205号住居址カマド実測図

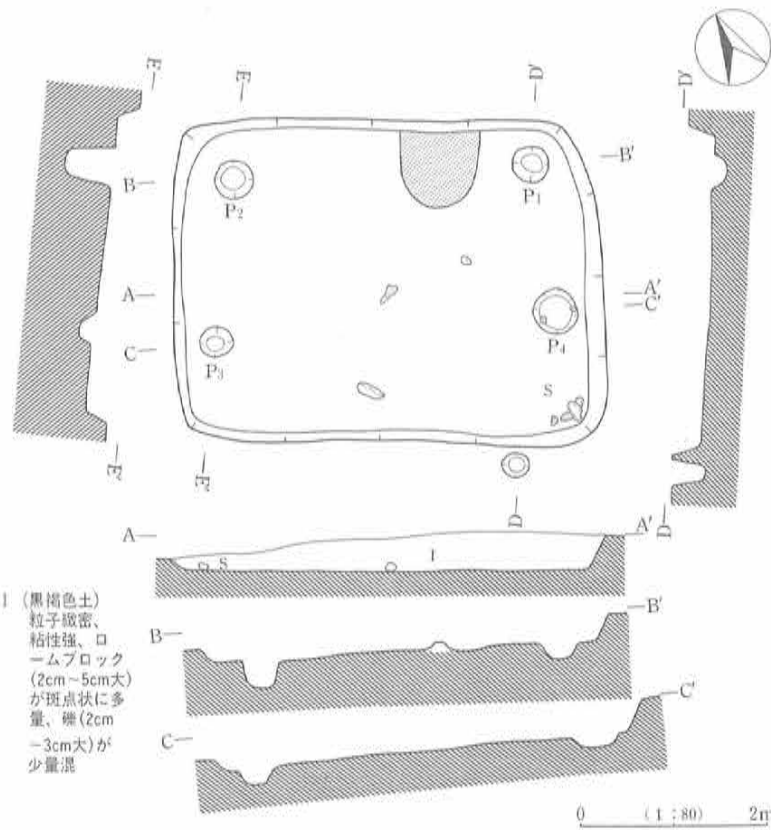




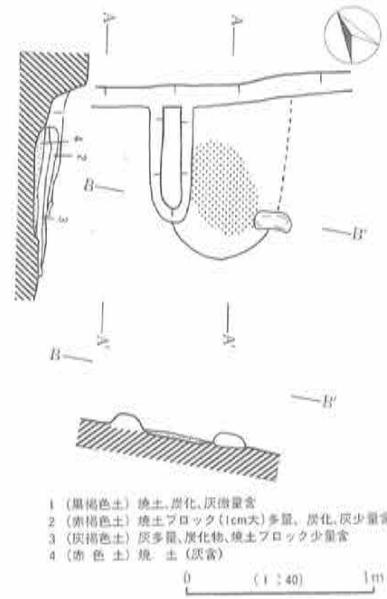
第378図 H 204号住居址実測図



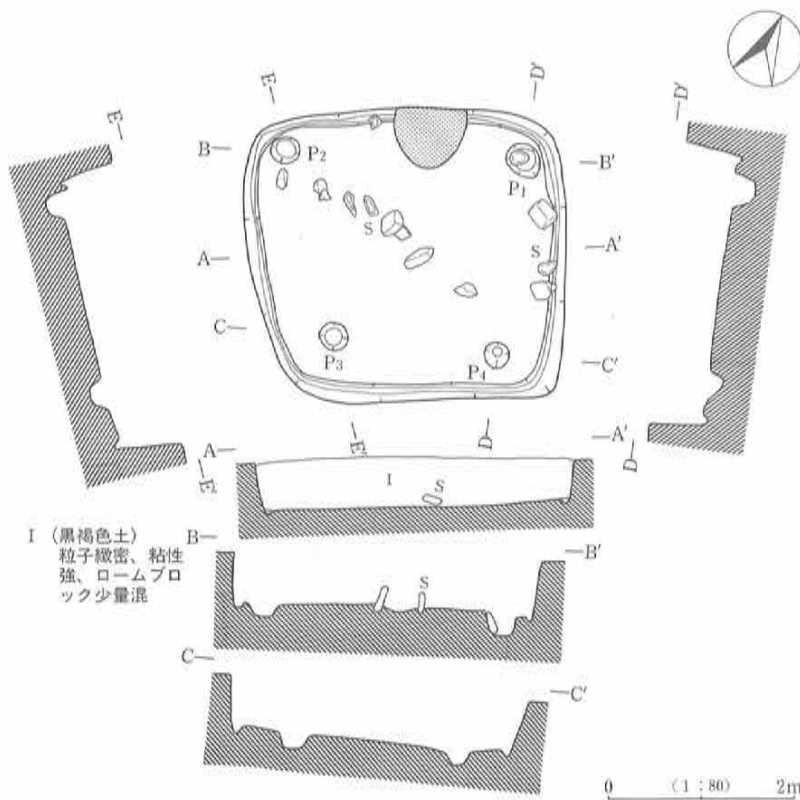
第379図 H 205号住居址実測図



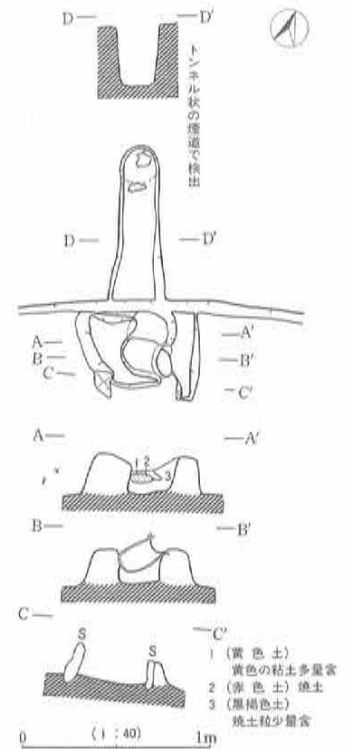
第381図 H206号住居址実測図



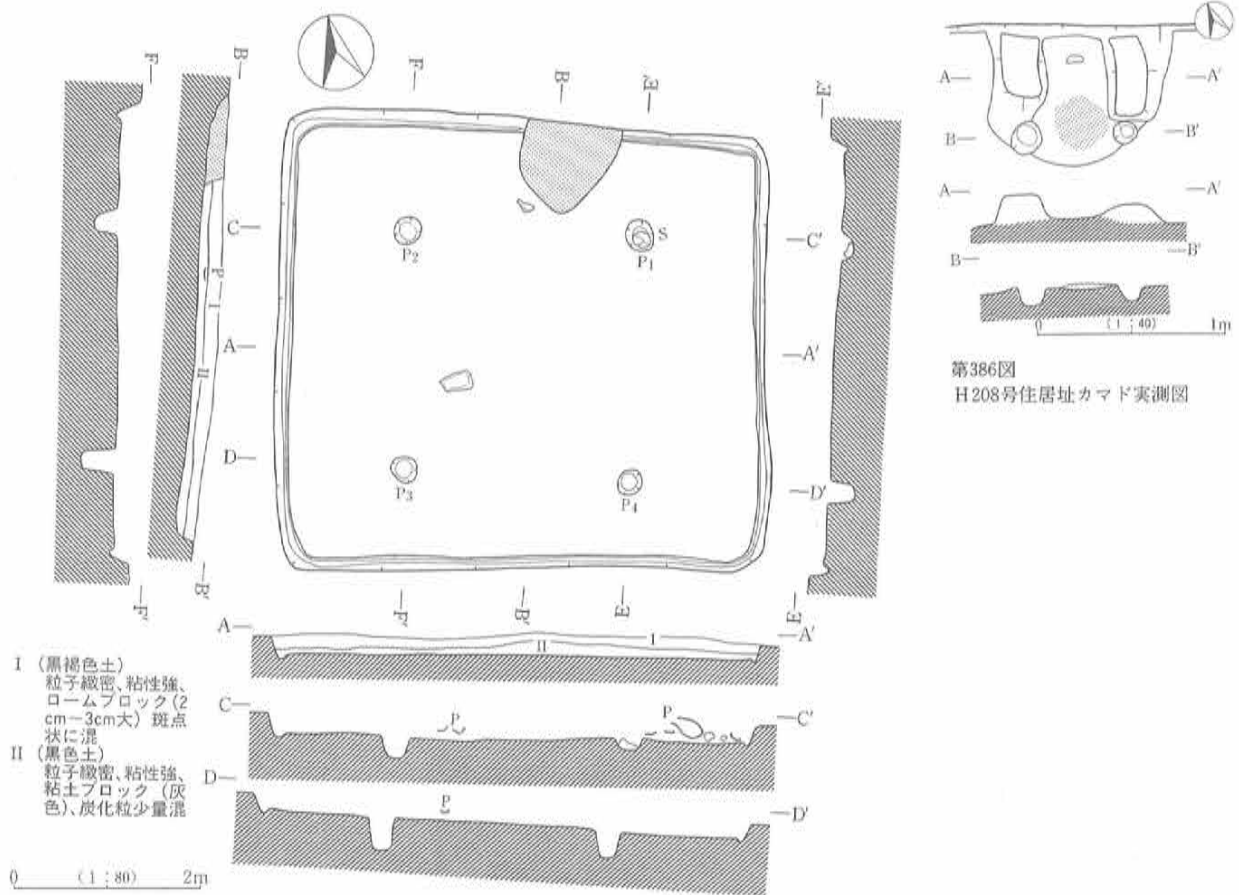
第382図 H206号住居址カマド実測図



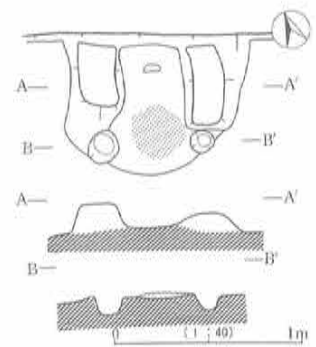
第383図 H207号住居址実測図



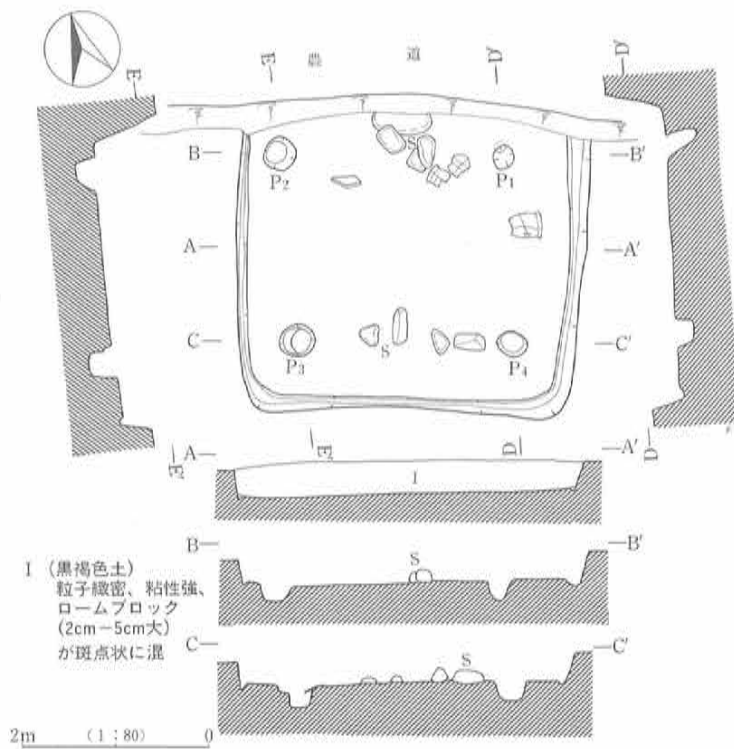
第384図 H207号住居址カマド実測図



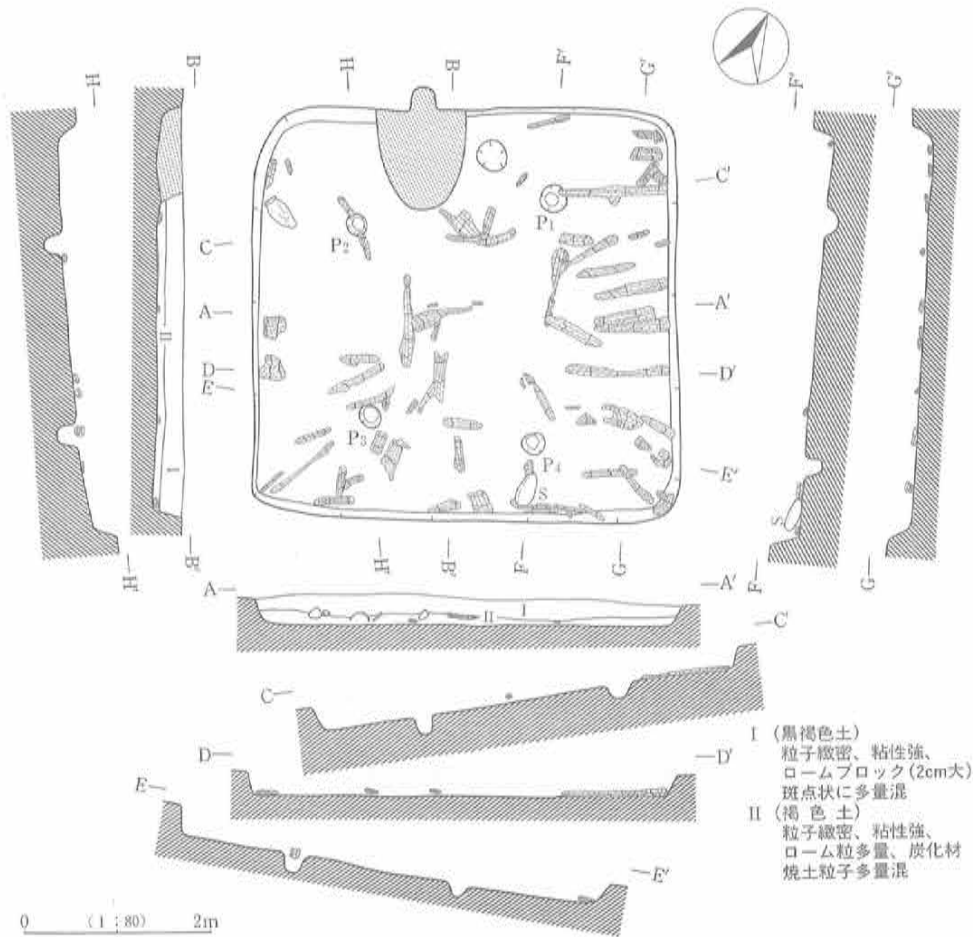
第385図 H208号住居址実測図



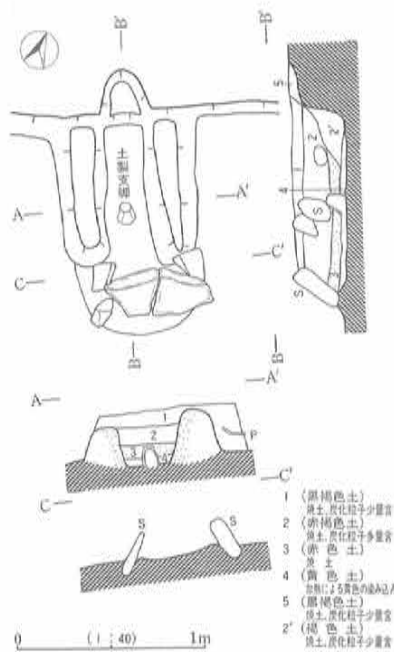
第386図
 H208号住居址カマド実測図



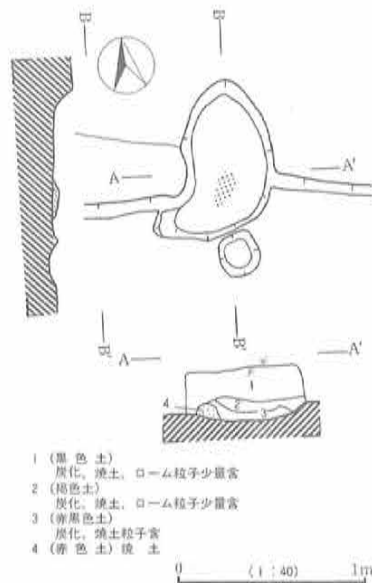
第387図 H209号住居址実測図



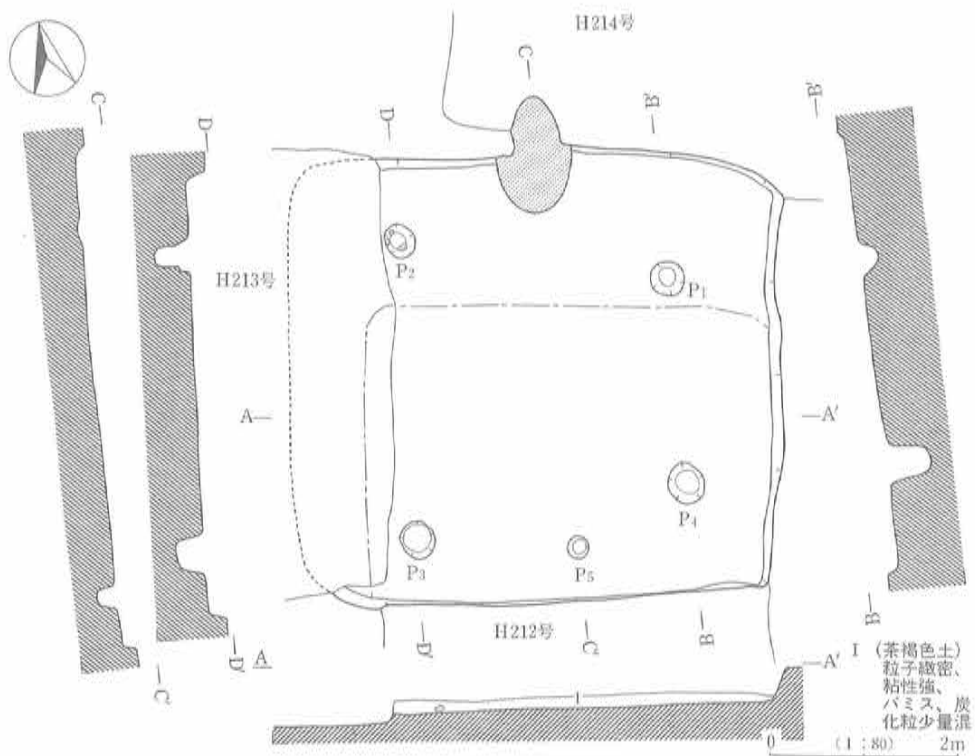
第388図 H210号住居址実測図



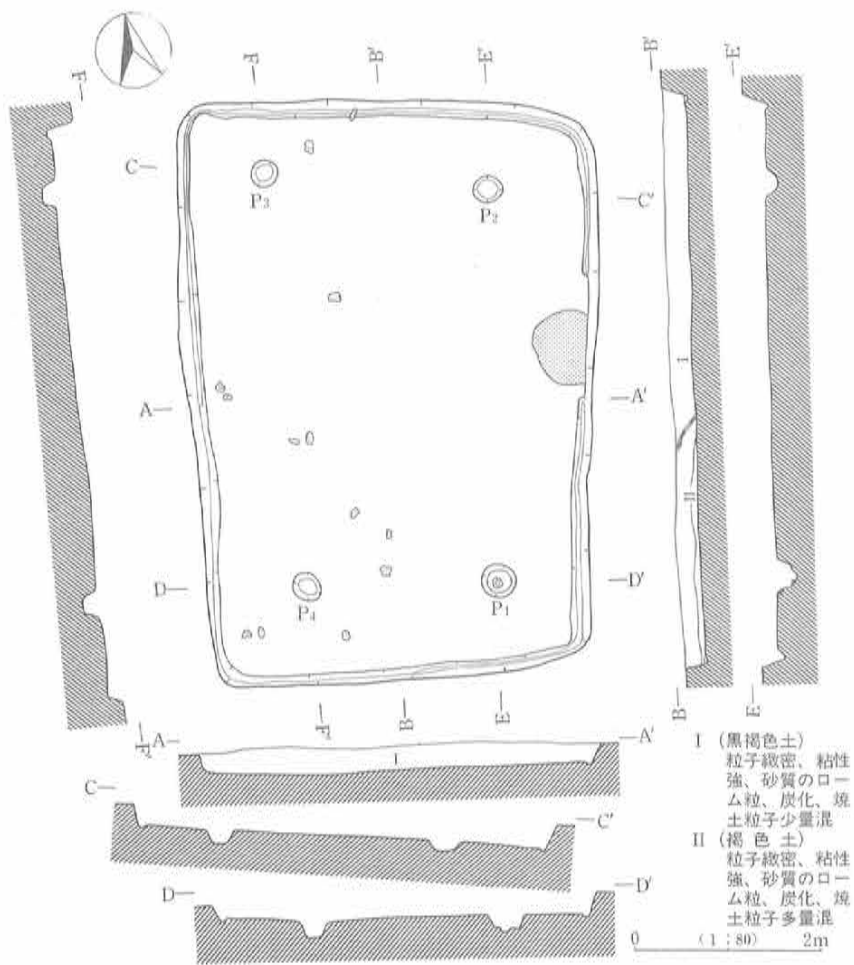
第389図 H210号住居址カマド実測図



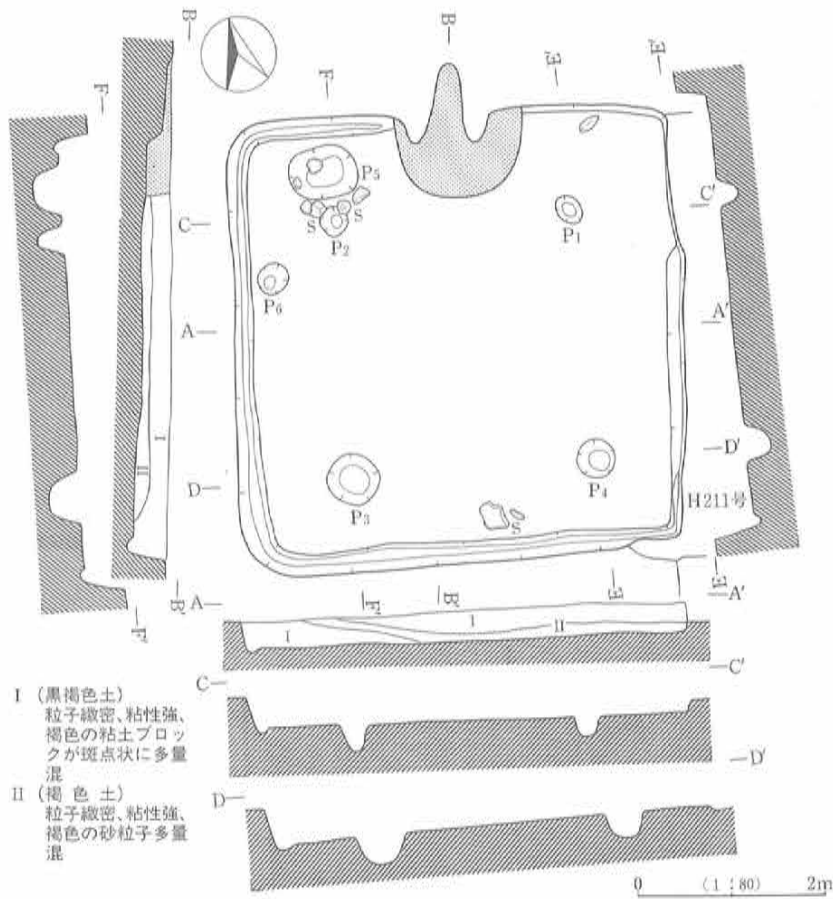
第391図 H211号住居址カマド実測図



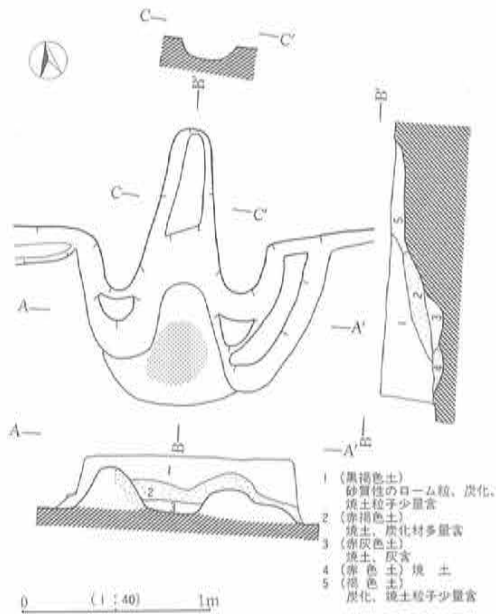
第390図 H211号住居址実測図



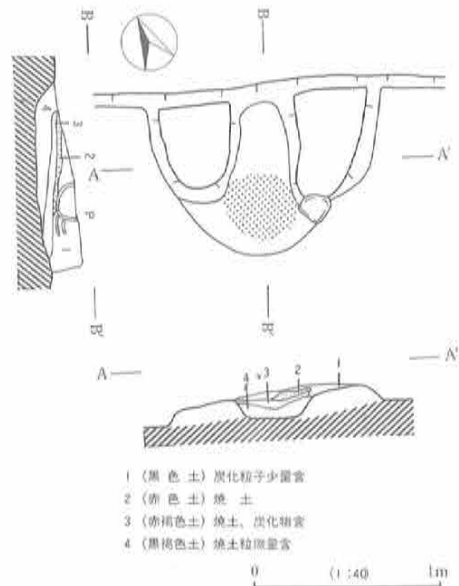
第392図 H212号住居址実測図



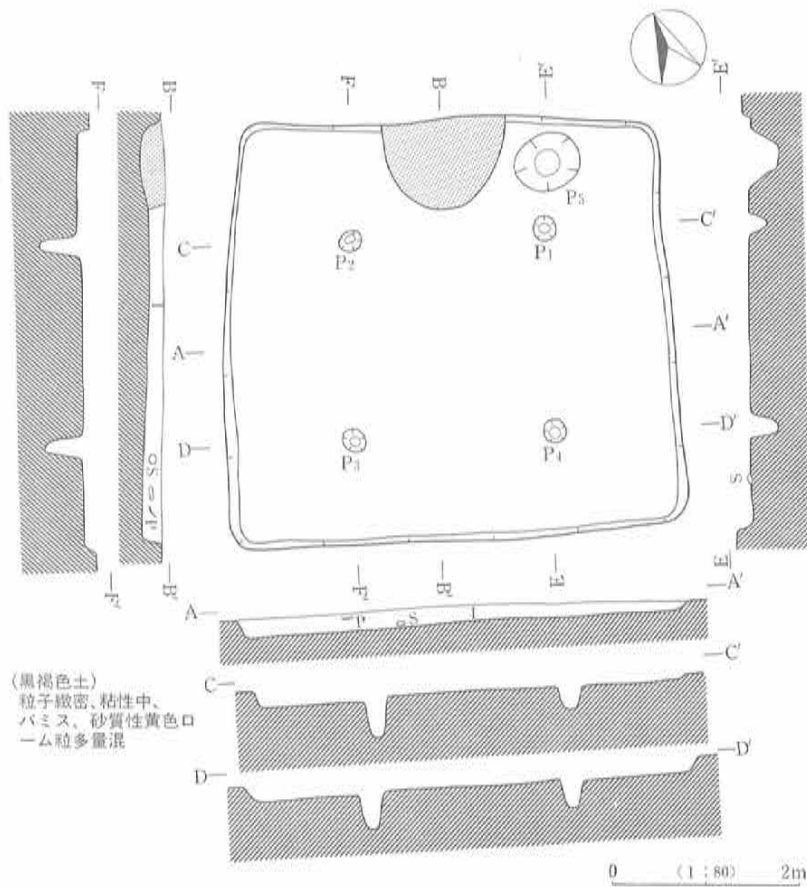
第393図 H213号住居址実測図



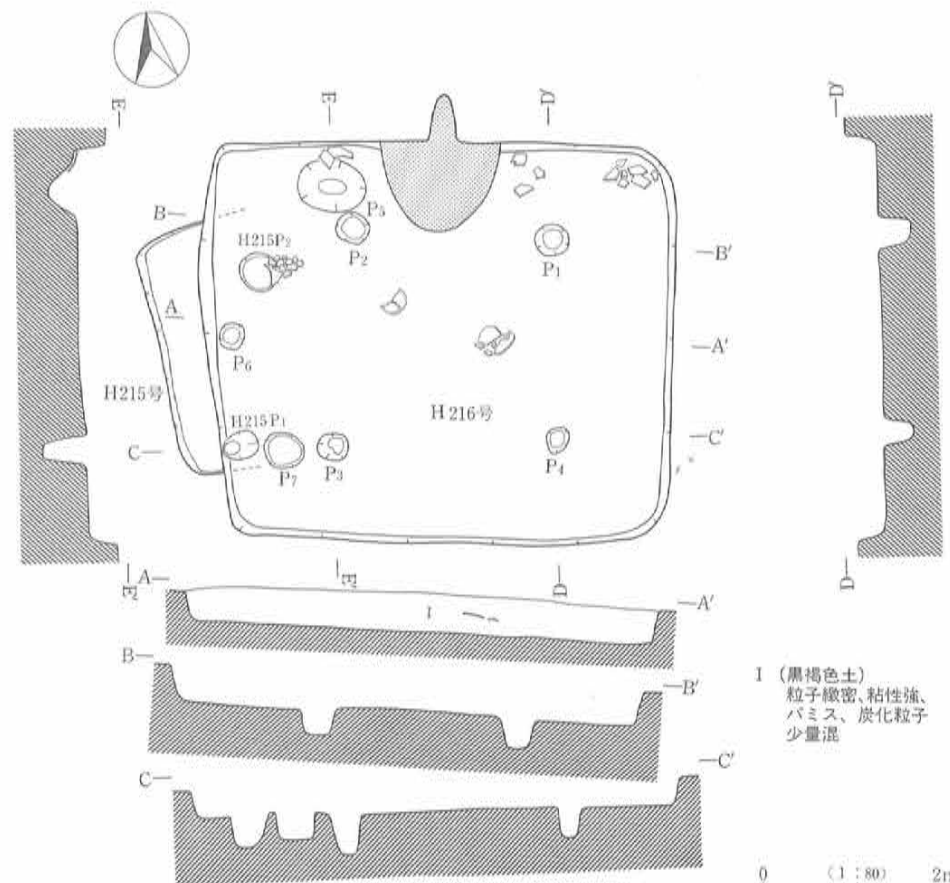
第394図 H213号住居址カマド実測図



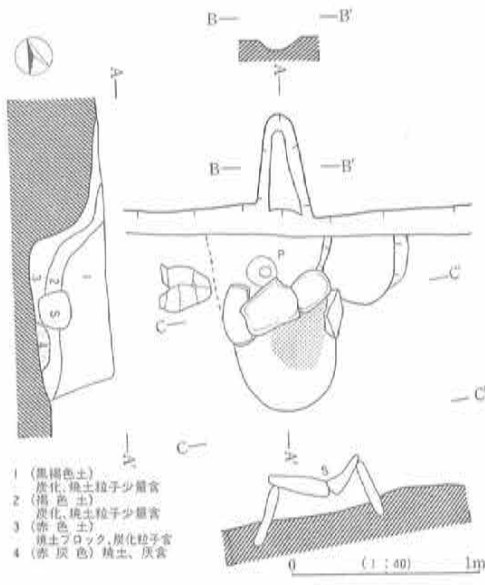
第396図 H214号住居址カマド実測図



第395図 H214号住居址実測図

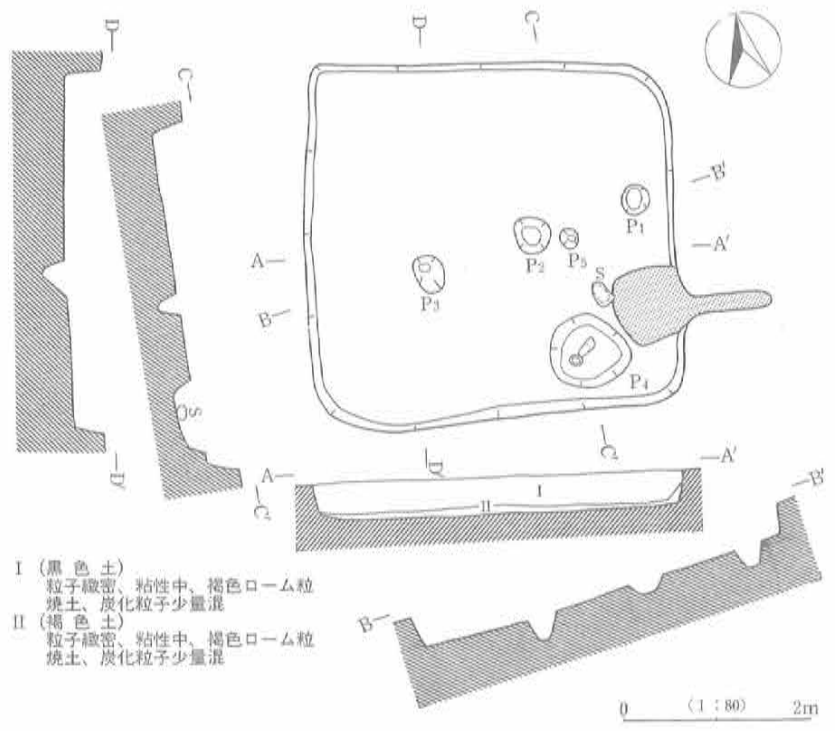


第397図 H215号・216号
 住居址実測図



- 1 (黒褐色土)
- 2 炭化、焼土粒子少量含
- 3 (褐色土)
- 4 炭化、焼土粒子少量含
- 5 (赤色土)
- 6 焼土ブロック、炭化粒子含
- 7 (赤灰色) 焼土、灰含

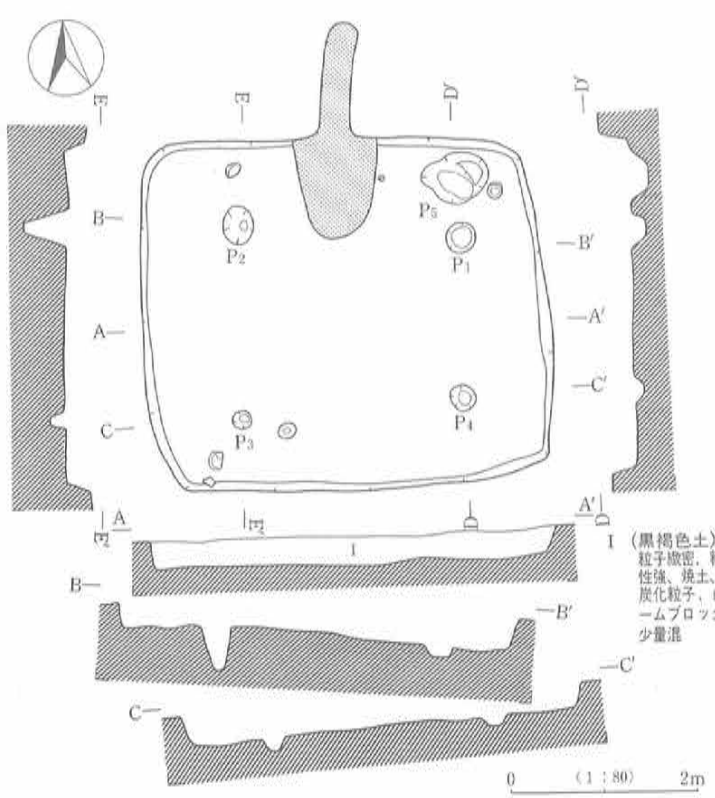
第398図 H216号住居址カマド実測図



- I (黒色土)
- II (褐色土)

粒子緻密、粘性中、褐色ローム粒
 焼土、炭化粒子少量混
 粒子緻密、粘性中、褐色ローム粒
 焼土、炭化粒子少量混

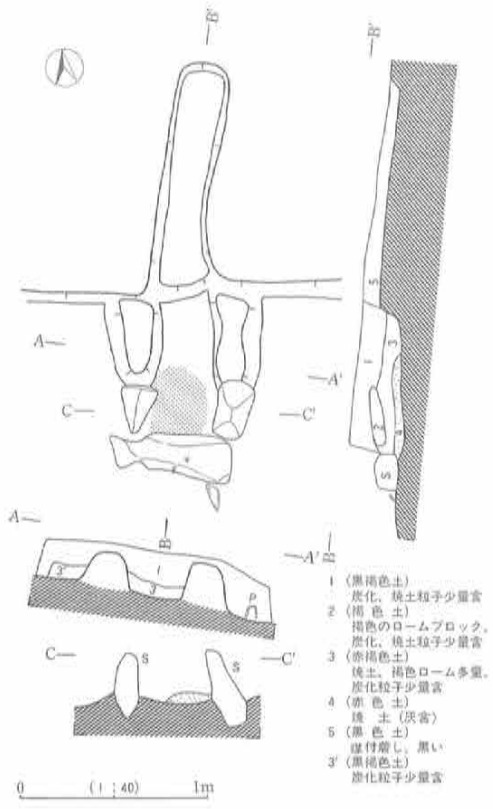
第399図 H217号住居址実測図



- I (黒褐色土)

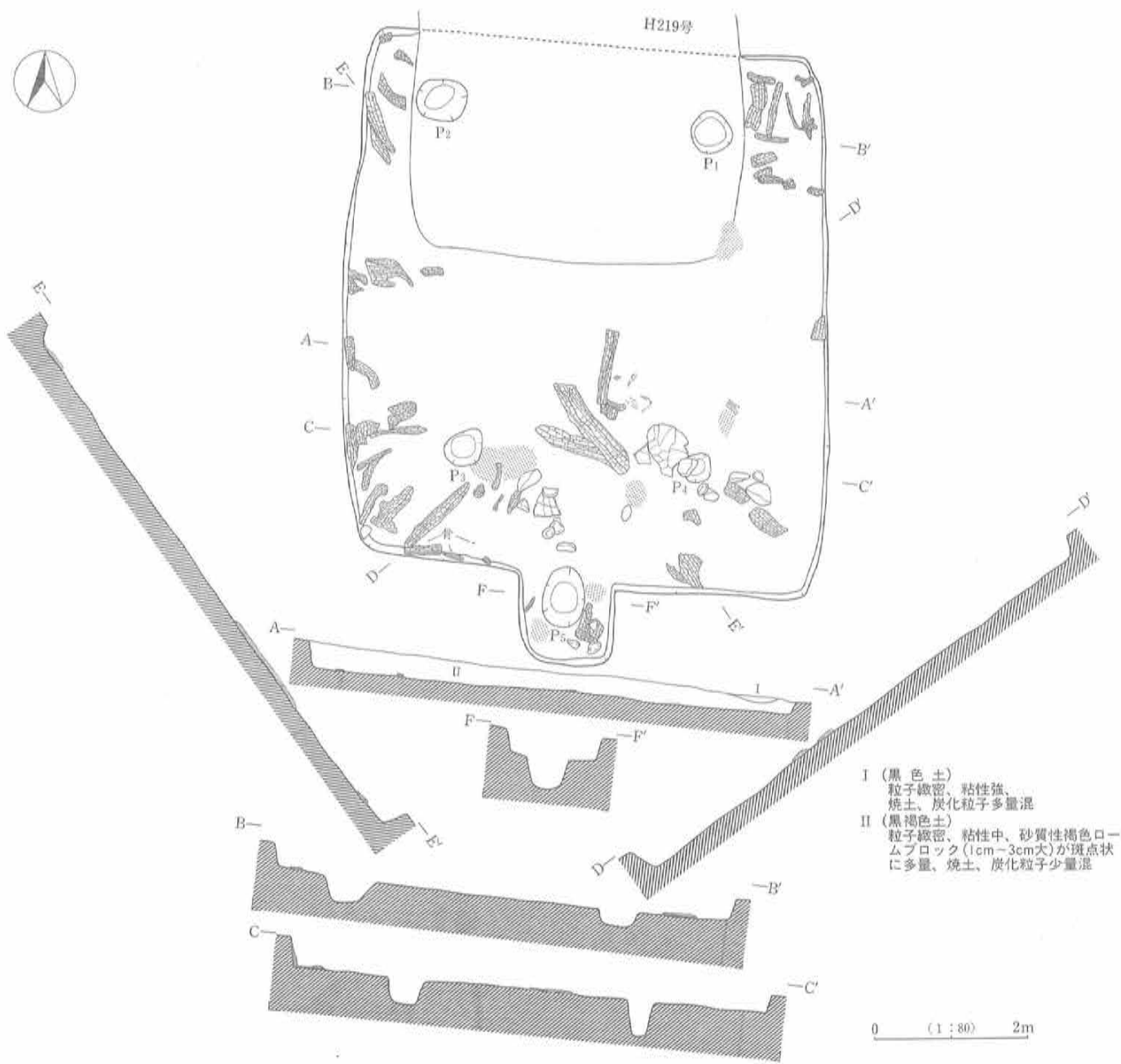
粒子緻密、粘性強、焼土、炭化粒子、ロームブロック少量混

第401図 H219号住居址実測図

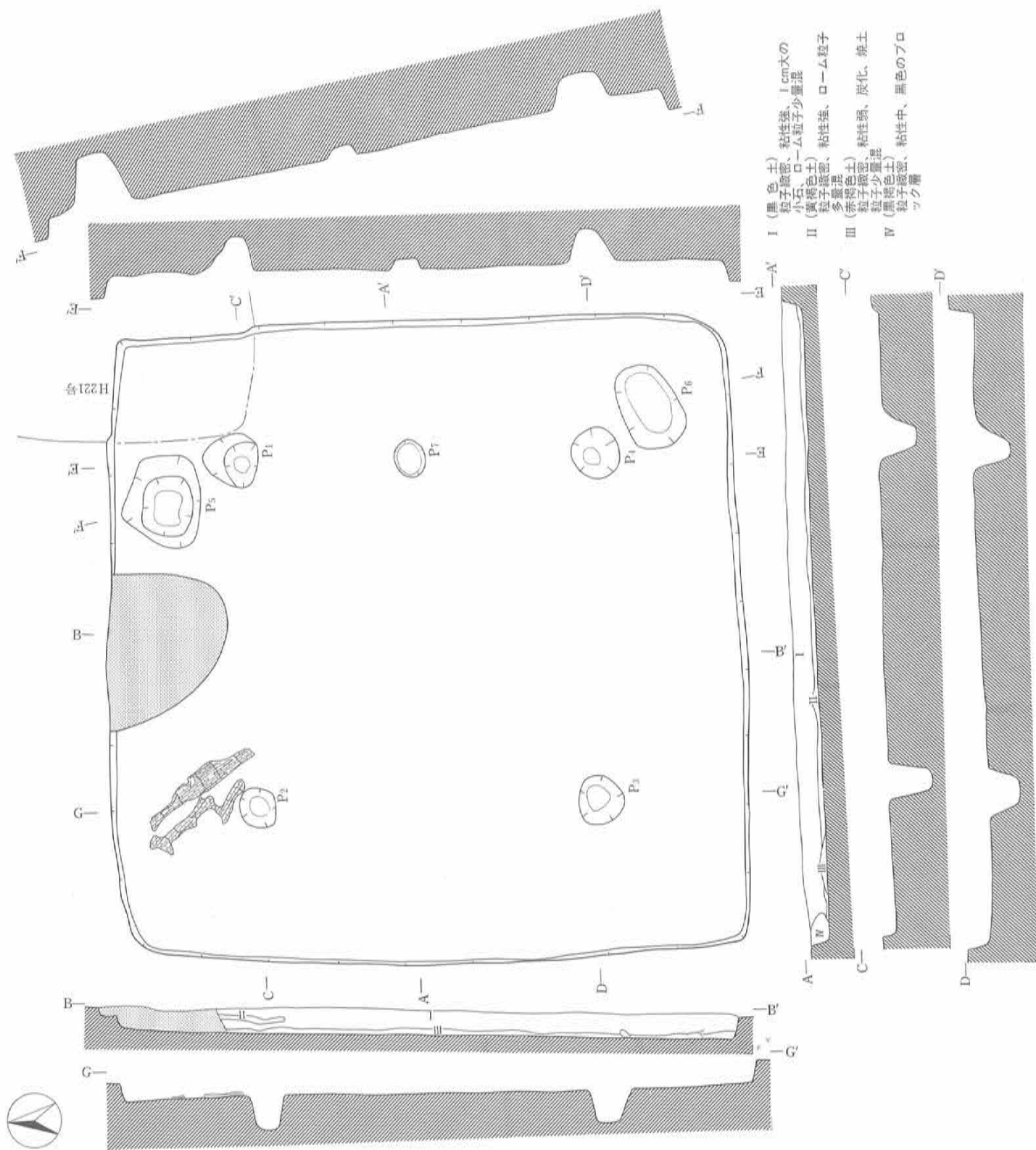


- 1 (黒褐色土)
- 2 炭化、焼土粒子少量含
- 3 (褐色土)
- 4 褐色のロームブロック、炭化、焼土粒子少量含
- 5 (赤褐色土)
- 6 焼土、褐色ローム多量、炭化粒子少量含
- 7 (赤色土)
- 8 焼土(灰含)
- 9 (黒色土)
- 10 煤片層し、黒い
- 11 (黒褐色土)
- 12 炭化粒子少量含

第402図 H219号住居址カマド実測図

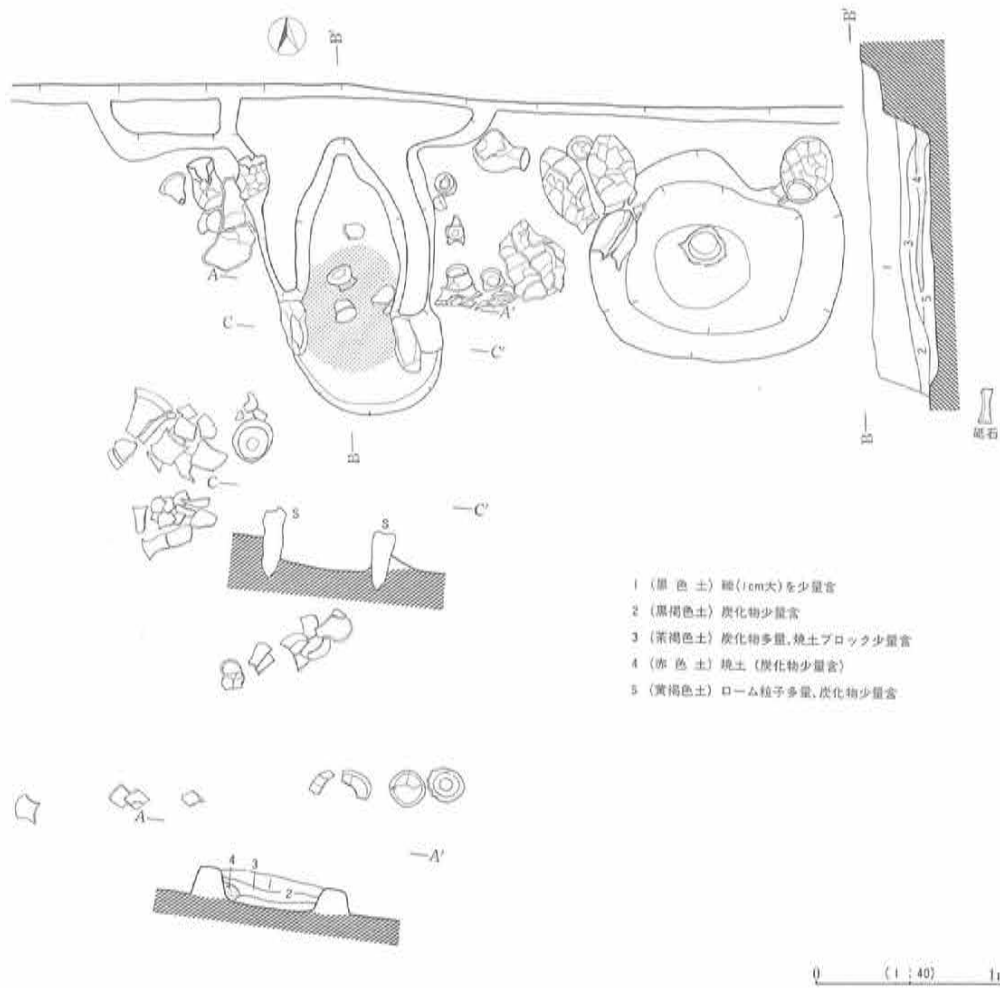


第400図 H218号住居址実測図

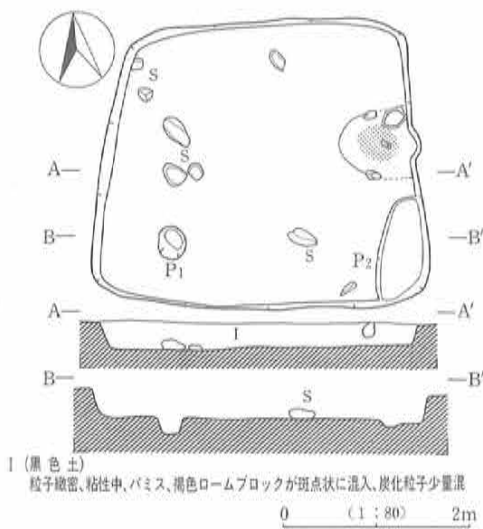


0 (1:80) 2m

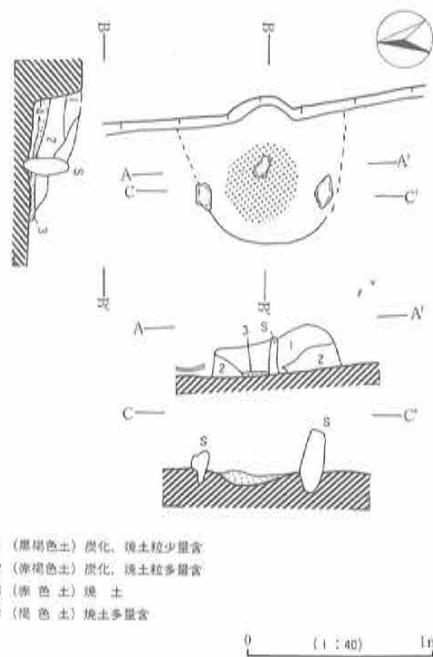
第403図 H220号住居址実測図



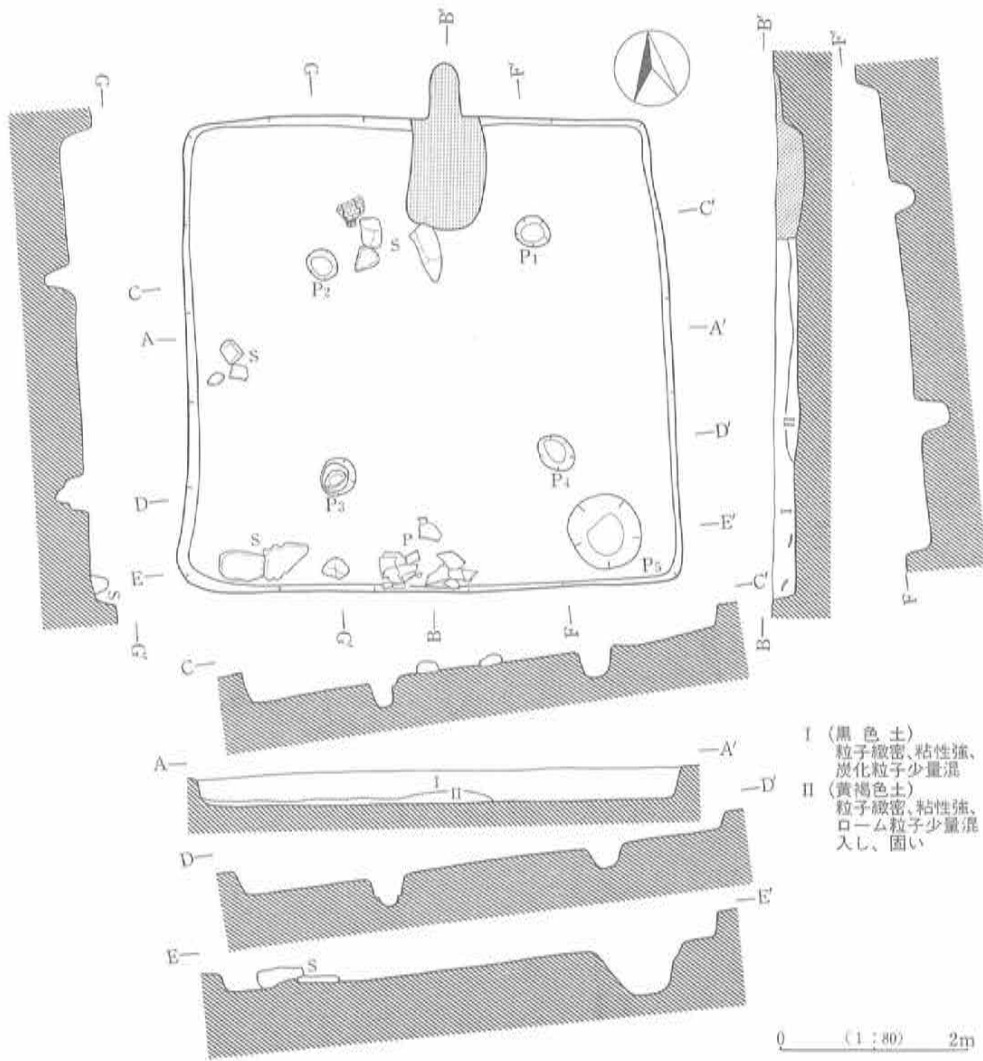
第404図 H220号住居址カマド実測図



第405図 H221号住居址実測図

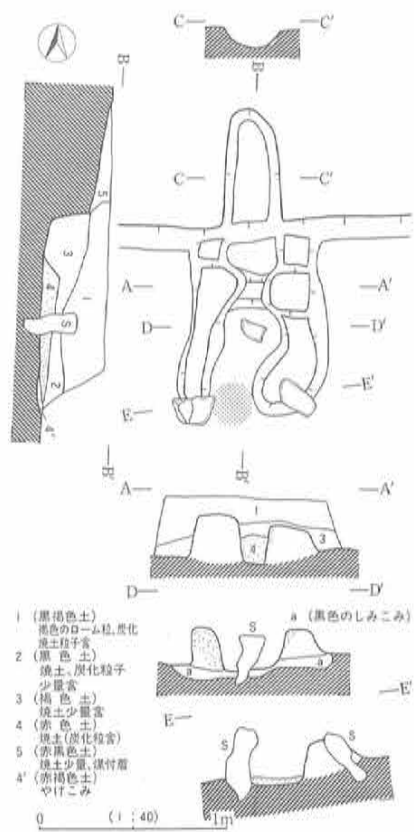


第406図 H221号住居址カマド実測図



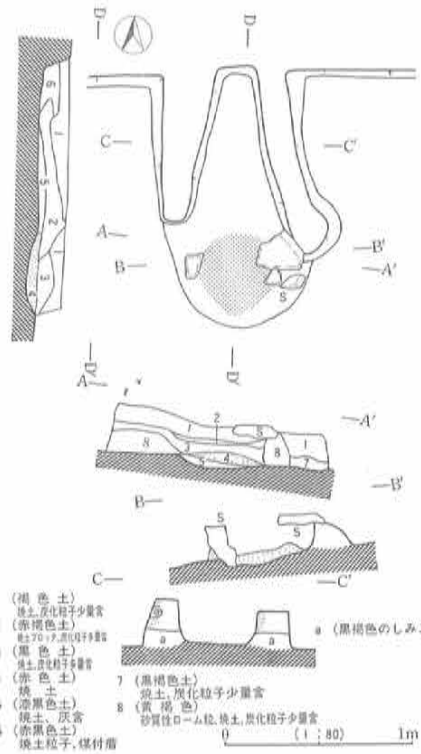
- I (黒色土)
粒子緻密、粘性強、炭化粒子少量混
- II (黄褐色土)
粒子緻密、粘性強、ローム粒子少量混入し、固い

第407図
H222号住居址実測図



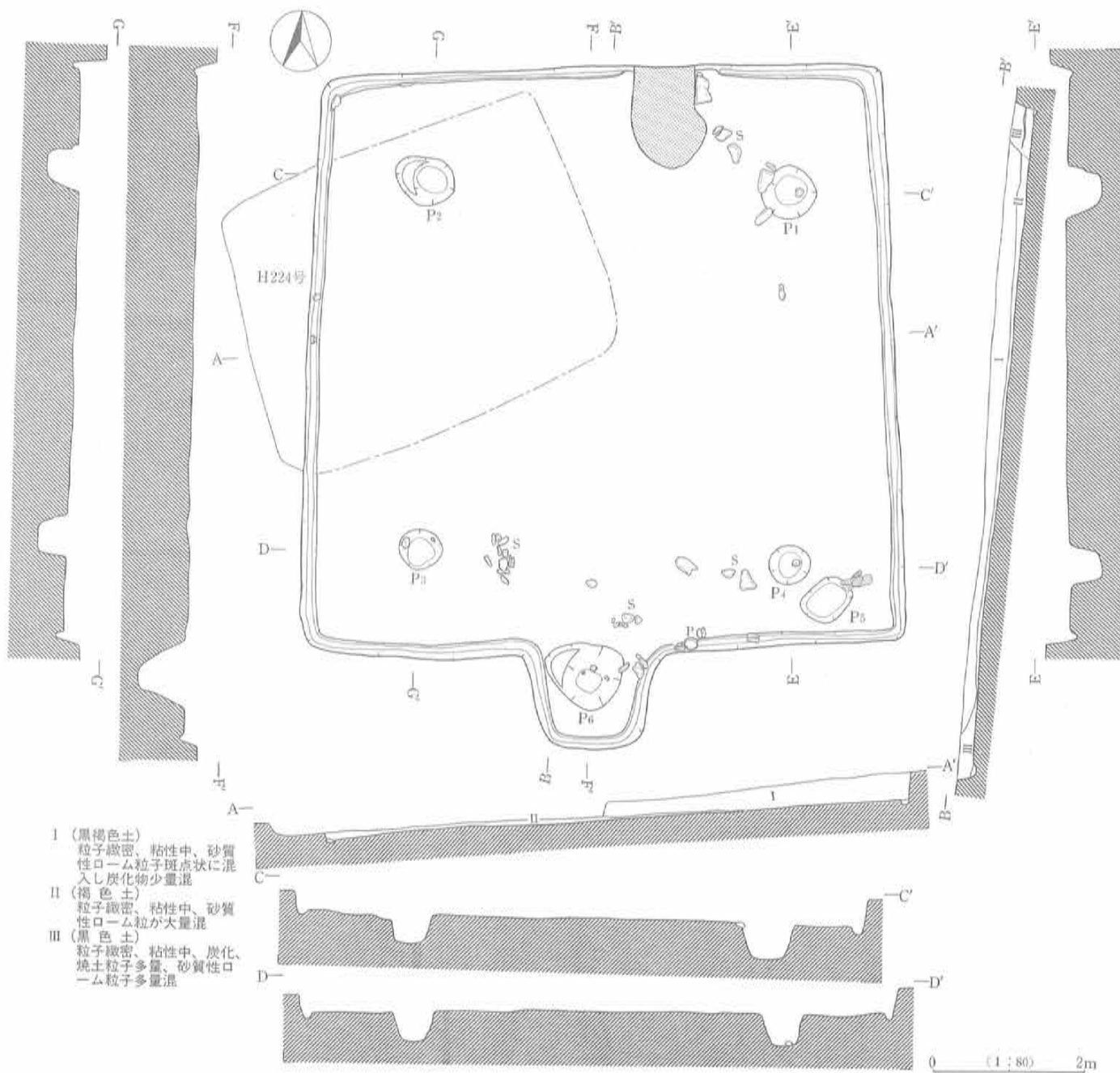
- 1 (黒褐色土)
褐色のローム粒、炭化
焼土粒子少量
- 2 (黒色土)
焼土、炭化粒子
少量混
- 3 (褐色土)
焼土少量混
- 4 (赤色土)
焼土(炭化粒含)
- 5 (赤黒色土)
焼土少量、煤付層
- 4' (赤褐色土)
やけこみ

第408図
H222号住居址カマド実測図

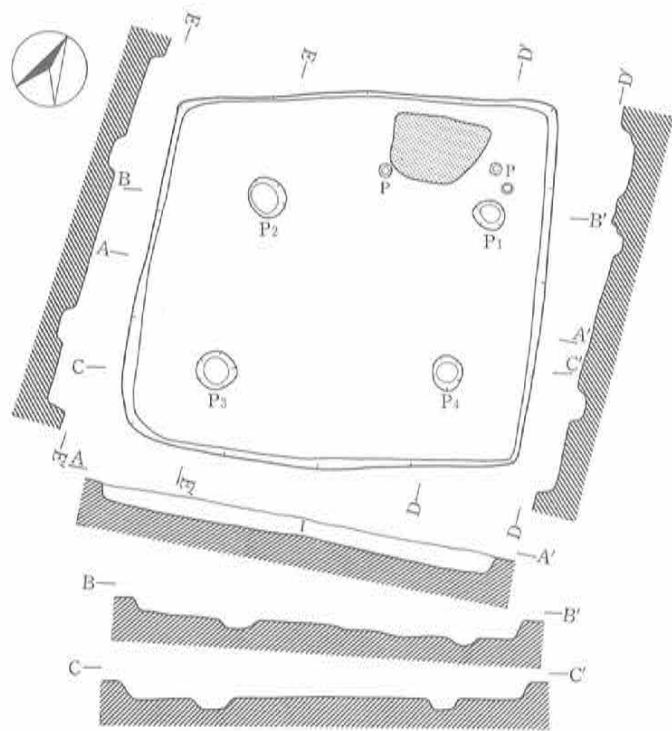


- 1 (褐色土)
焼土、炭化粒子少量混
- 2 (赤褐色土)
焼土、炭化粒子少量混
- 3 (黒色土)
焼土、炭化粒子少量混
- 4 (赤色土)
- 5 (赤黒色土)
焼土、炭
- 6 (赤褐色土)
焼土粒子、煤付層
- 7 (黒褐色土)
焼土、炭化粒子少量混
- 8 (黄褐色土)
砂質性ローム粒、焼土、炭化粒子少量混

第410図 H223号住居址カマド実測図

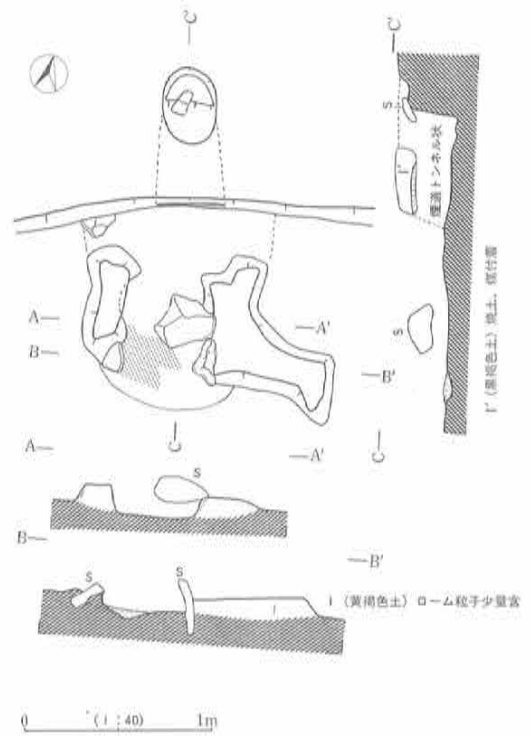


第409図 H223号住居址実測図

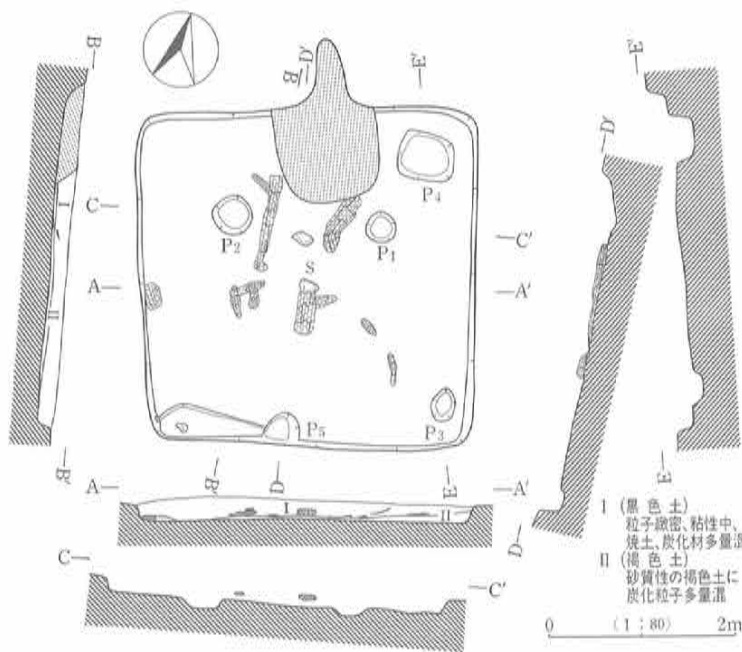


I (漆黑色土) 粒子緻密、粘性強、褐色ローム粒(5mm大)が斑点状に混
0 (1:80) 2m

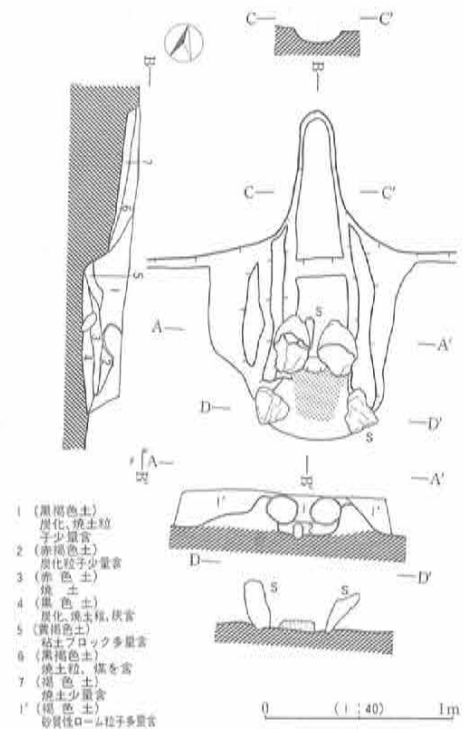
第411図 H224号住居址実測図



第412図 H224号住居址カマド実測図

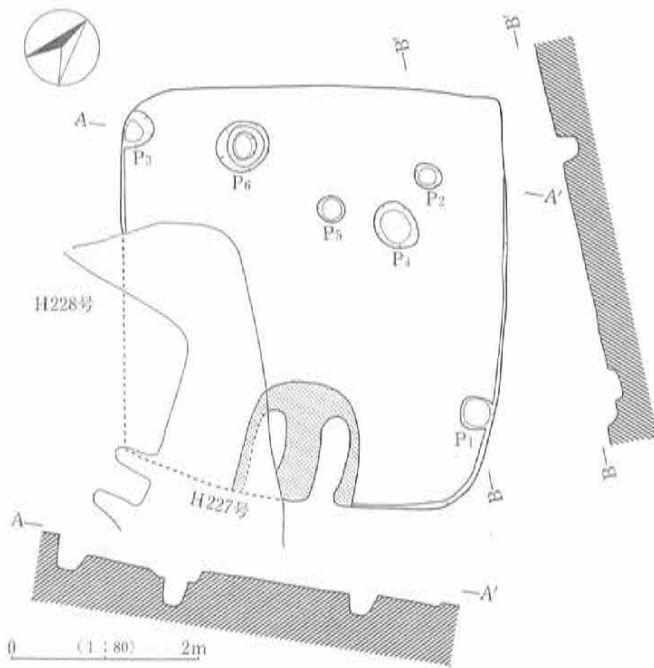


第413図 H225号住居址実測図

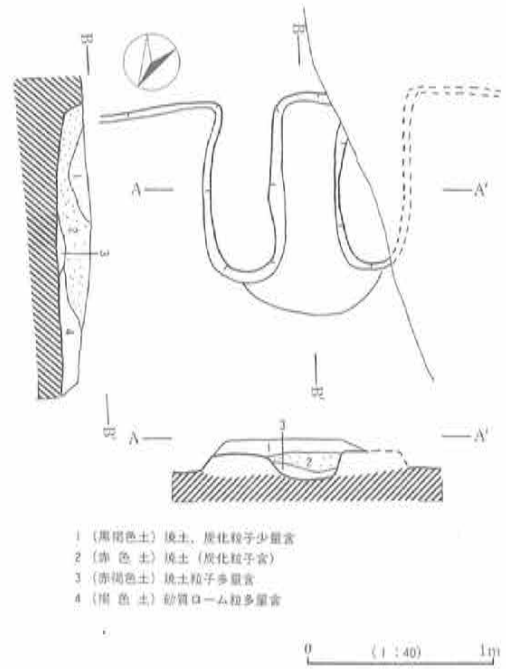


- 1 (黒褐色土) 炭化、焼土粒子少量
- 2 (赤褐色土) 炭化粒子少量
- 3 (赤土) 焼土
- 4 (黒土) 炭化、焼土種、炭骨
- 5 (黄褐色土) 粘土ブロック多量
- 6 (黒褐色土) 焼土種、煤を富
- 7 (褐色土) 焼土少量
- 1' (褐色土) 砂質ローム粒子多量

第414図 H225号住居址カマド実測図

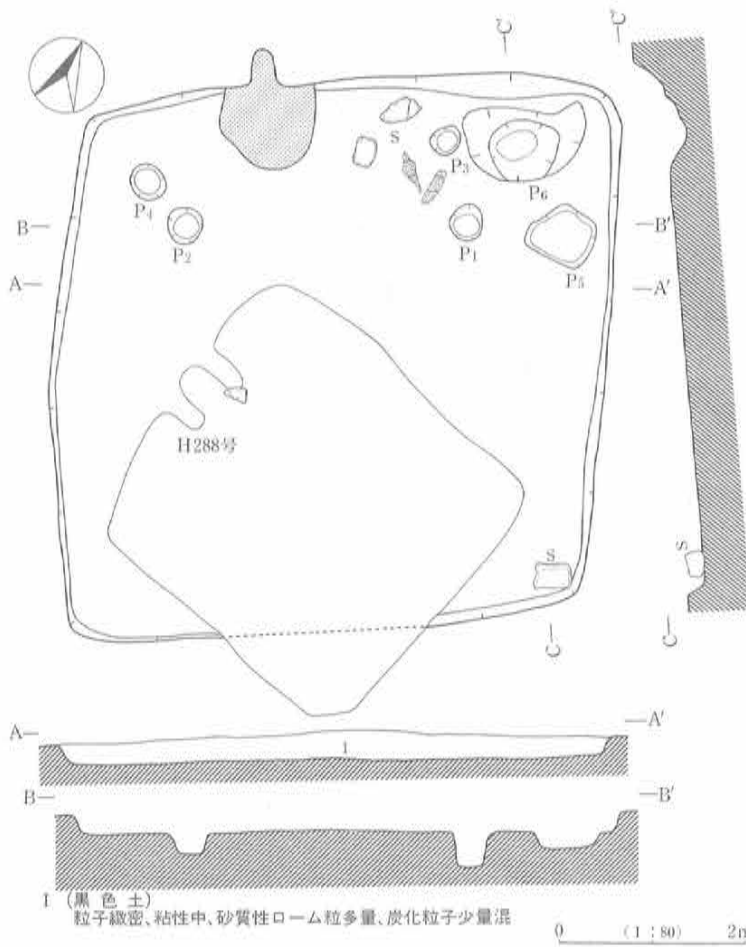


第415図 H226号住居址実測図

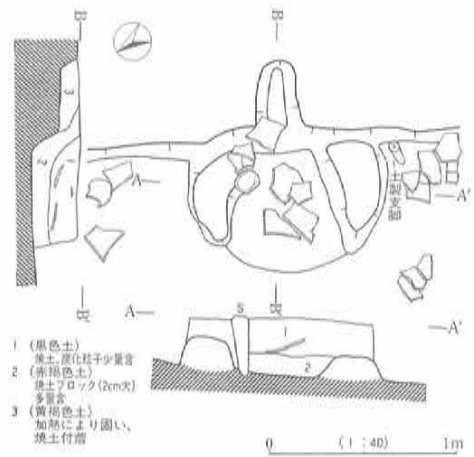


第416図 H226号住居址カマド実測図

- 1 (黒褐色土) 焼土、炭化粒子少量混
- 2 (赤色土) 焼土 (炭化粒子混)
- 3 (赤褐色土) 焼土粒子多量混
- 4 (褐色土) 砂質ローム粒多量混



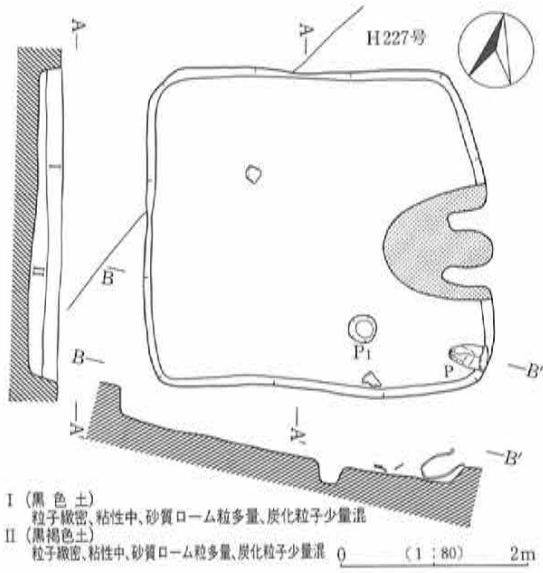
第417図 H227号住居址実測図



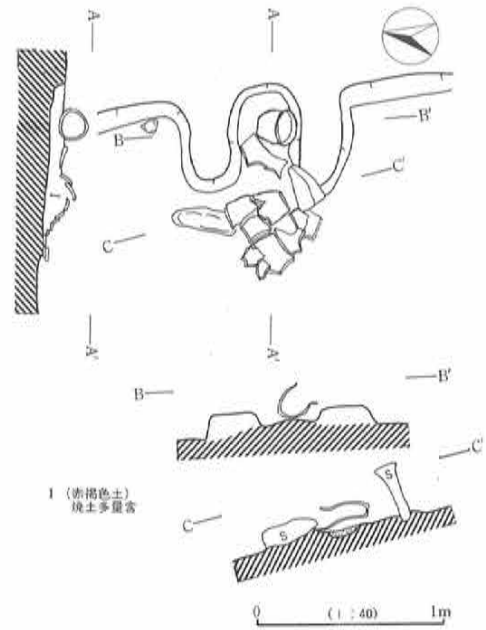
第418図 H227号住居址カマド実測図

- 1 (黒色土)
焼土、炭化粒子少量混
- 2 (赤褐色土)
焼土ブロック(2cm)
多量混
- 3 (黄褐色土)
加熱により固い、
焼土付層

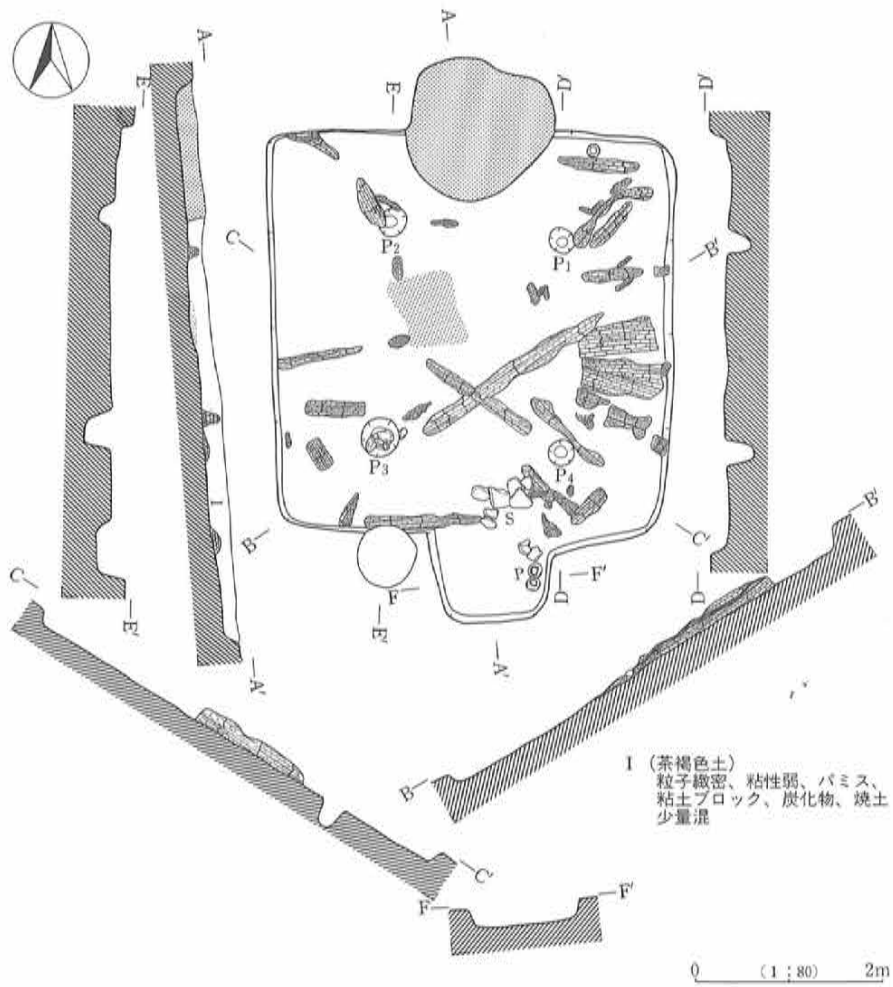
- 1 (黒色土)
粒子緻密、粘性中、砂質性ローム粒多量、炭化粒子少量混



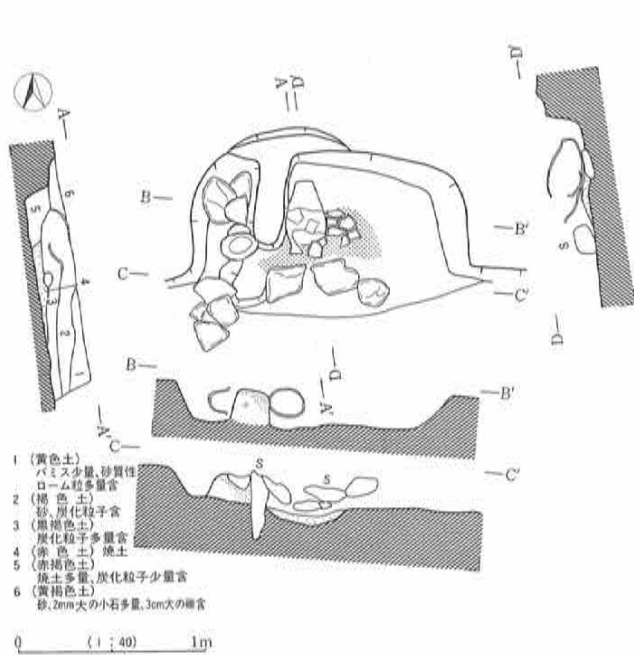
第419図 H228号住居址実測図



第420図 H228号住居址カマド実測図



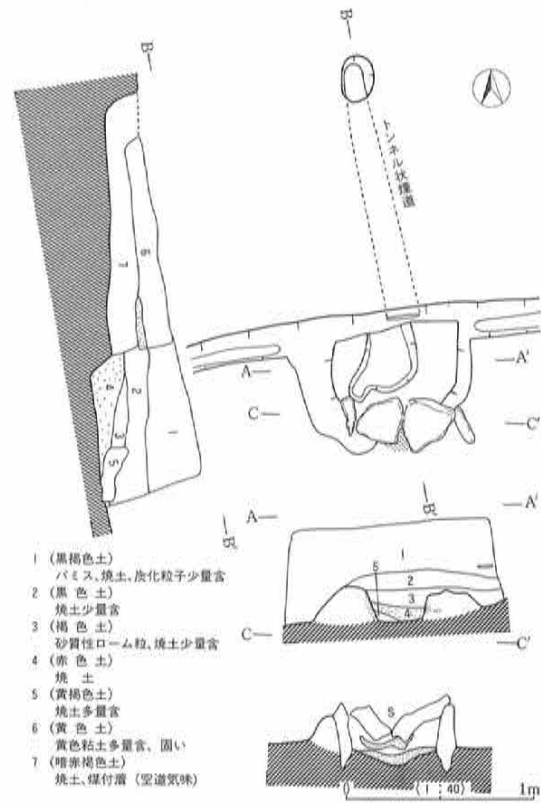
第421図 H229号住居址実測図



- 1 (黄色土) バミス少量、砂質性ローム粒多量含
- 2 (褐色土) 砂、炭化粒子含
- 3 (黒褐色土) 炭化粒子多量含
- 4 (赤色土) 焼土
- 5 (赤褐色土) 焼土少量含
- 6 (黄色土) 焼土少量含、炭化粒子少量含
- 7 (暗赤褐色土) 砂、2mm大の小石多量、3cm大の礫含

0 (1:40) 1m

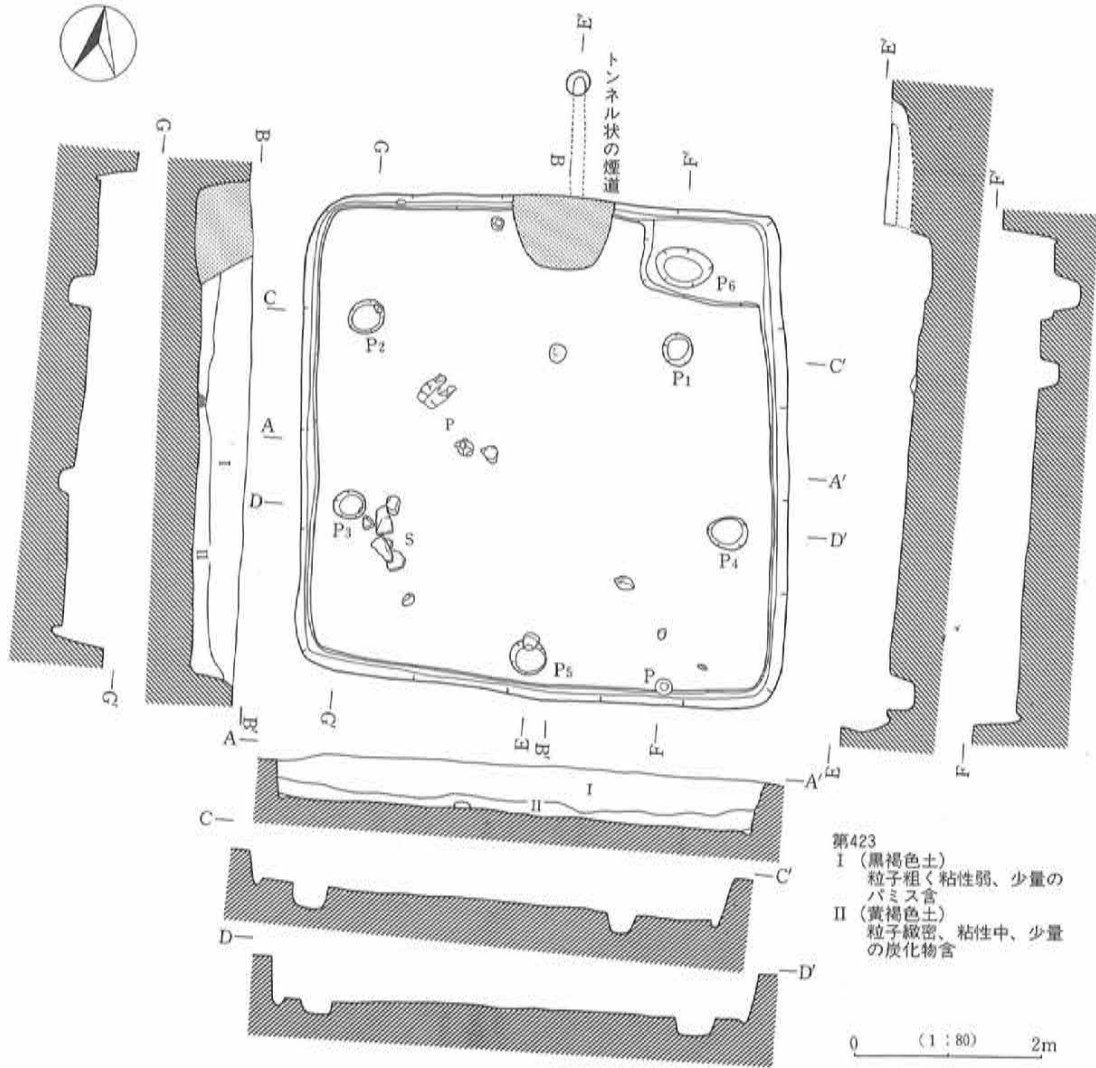
第422図 H 229号住居址カマド実測図



- 1 (黒褐色土) バミス、焼土、炭化粒子少量含
- 2 (黒色土) 焼土少量含
- 3 (褐色土) 砂質性ローム粒、焼土少量含
- 4 (赤色土) 焼土
- 5 (黄褐色土) 焼土多量含
- 6 (黄色土) 黄色粘土多量含、固い
- 7 (暗赤褐色土) 焼土、煤付層 (空道気味)

0 (1:40) 1m

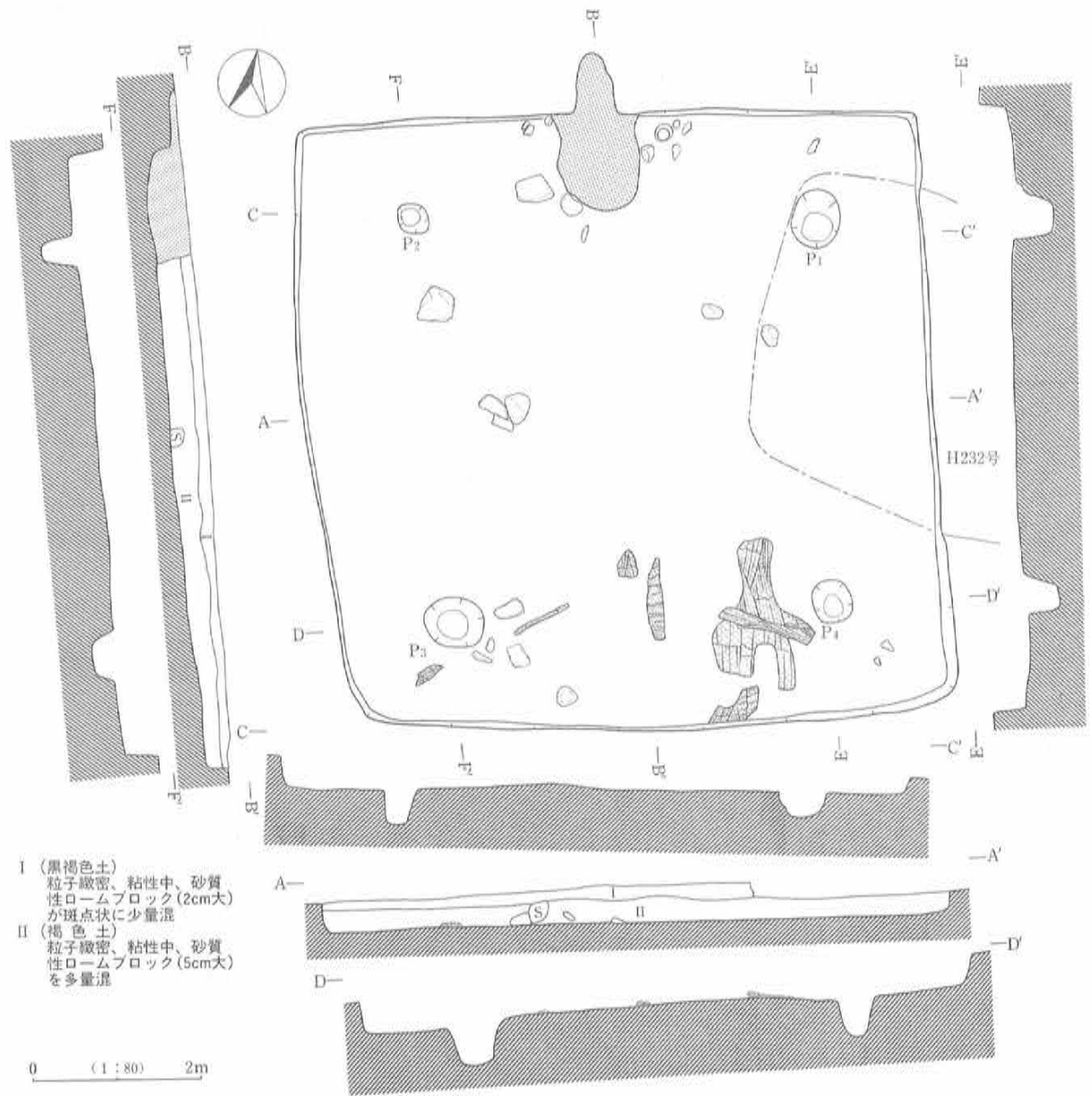
第424図 H 230号住居址カマド実測図



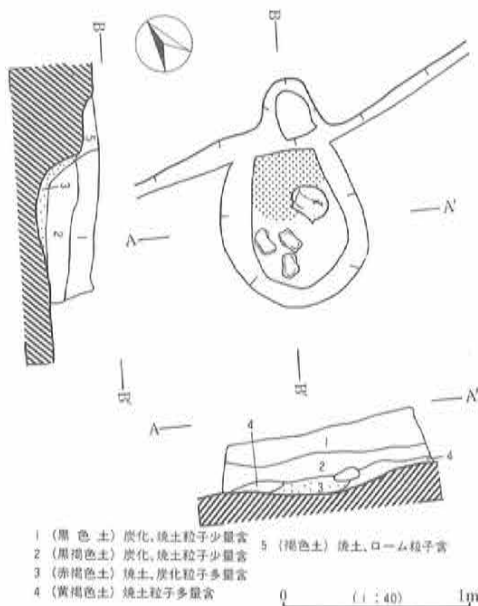
- 第423
- I (黒褐色土) 粒子粗く粘性弱、少量のバミス含
- II (黄褐色土) 粒子緻密、粘性中、少量の炭化物含

0 (1:80) 2m

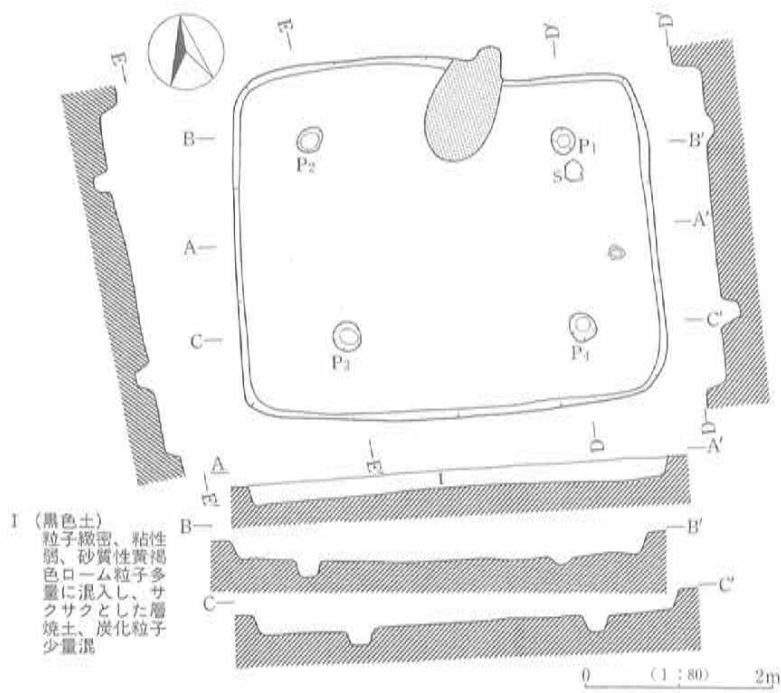
第423図 H 230号住居址実測図



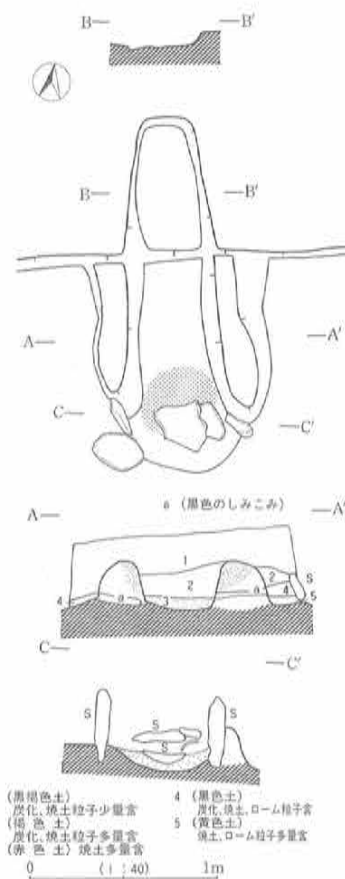
第425図 H231号住居址実測図



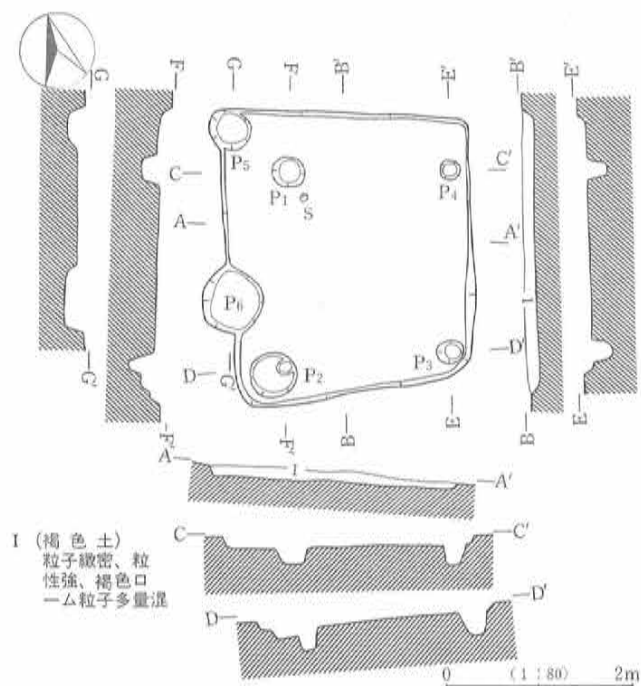
第426図 H231号住居址カマド実測図



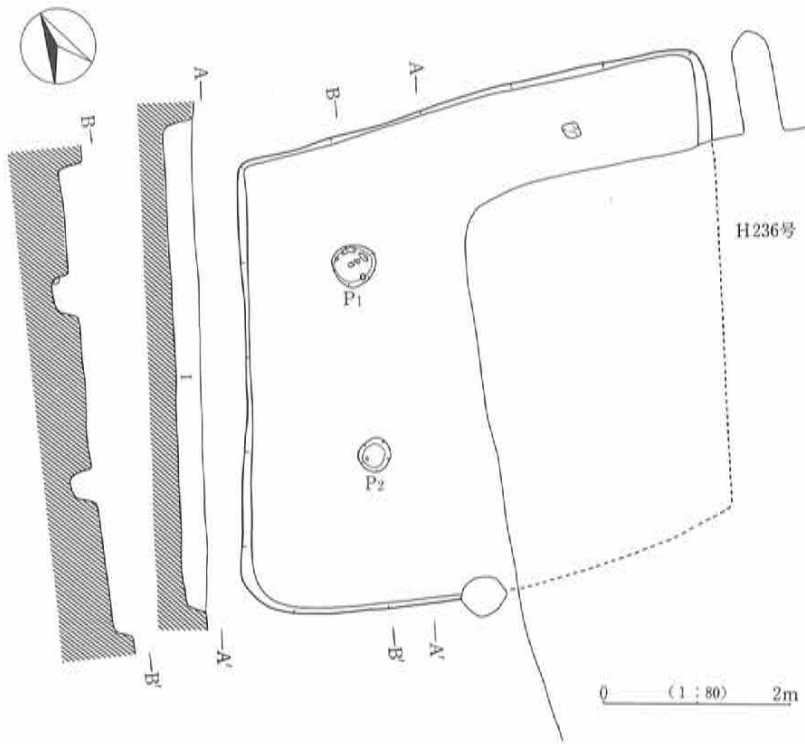
第427図 H 232号住居址実測図



第428図 H 232号住居址カマド実測図

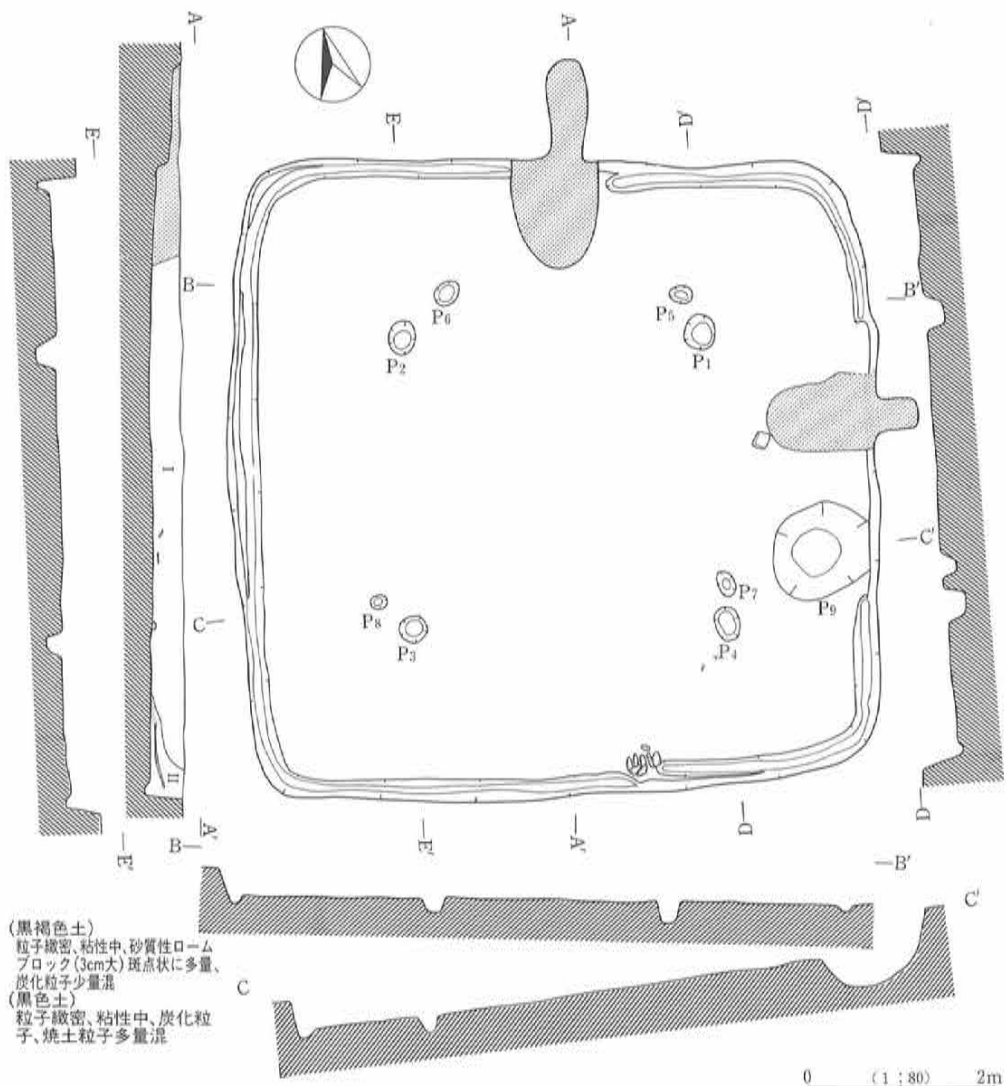


第429図 H 234号住居址実測図



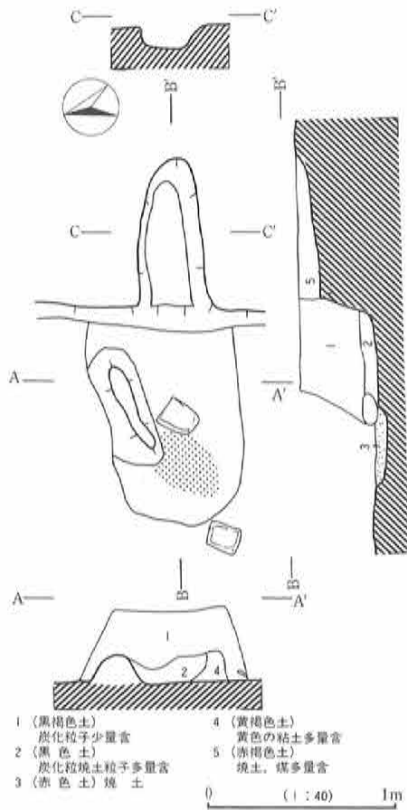
第430图 H235号住居址实测图

I (褐色土)
 粒子緻密、粘性中、砂質性ローム粒子多量混

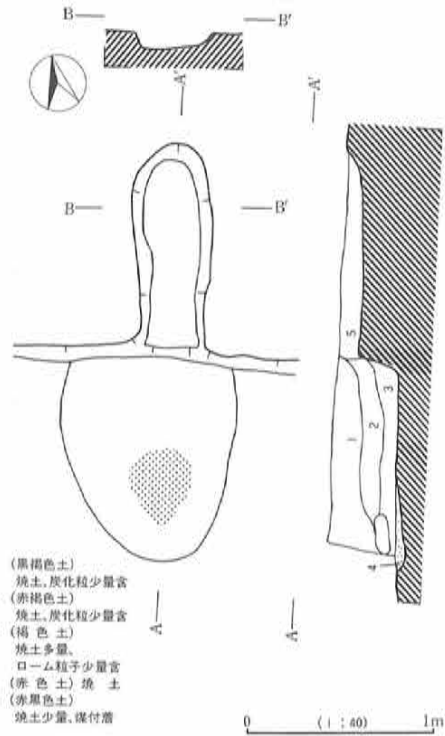


第431图
 H236号住居址实测图

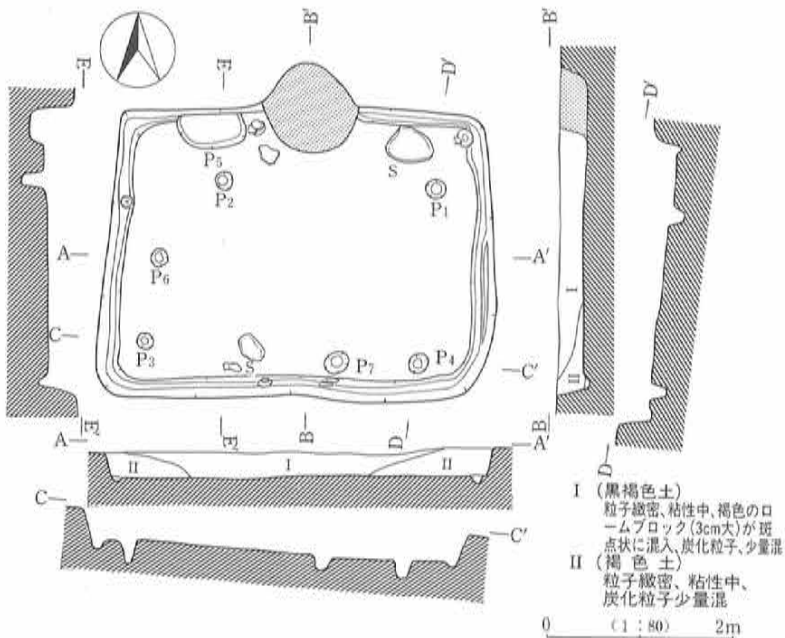
I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、砂質性ローム
 ブロック(3cm大)斑点状に多量、
 炭化粒子少量混
 II (黒色土)
 粒子緻密、粘性中、炭化粒
 子、焼土粒子多量混



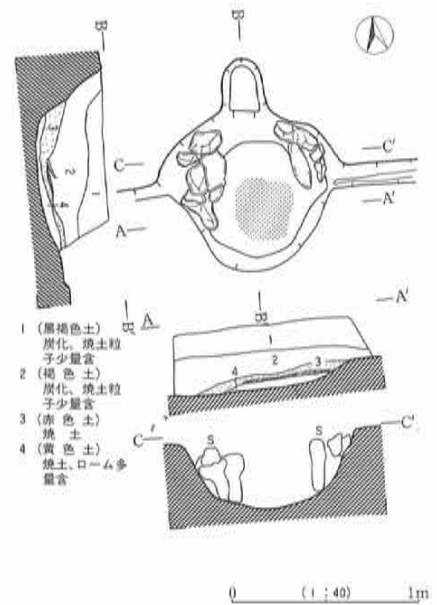
第432図 H 236号住居址カマドNo.1 実測図



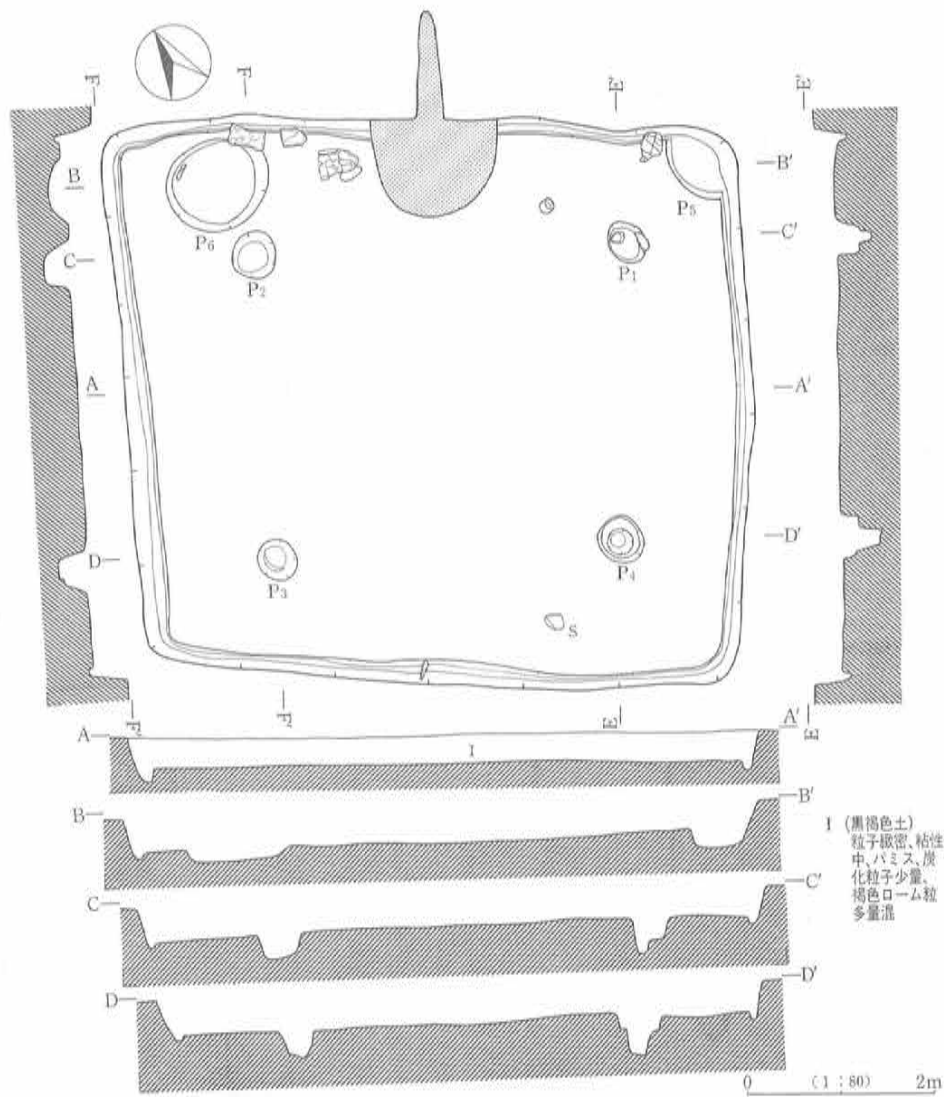
第433図 H 236号住居址カマドNo.2 実測図



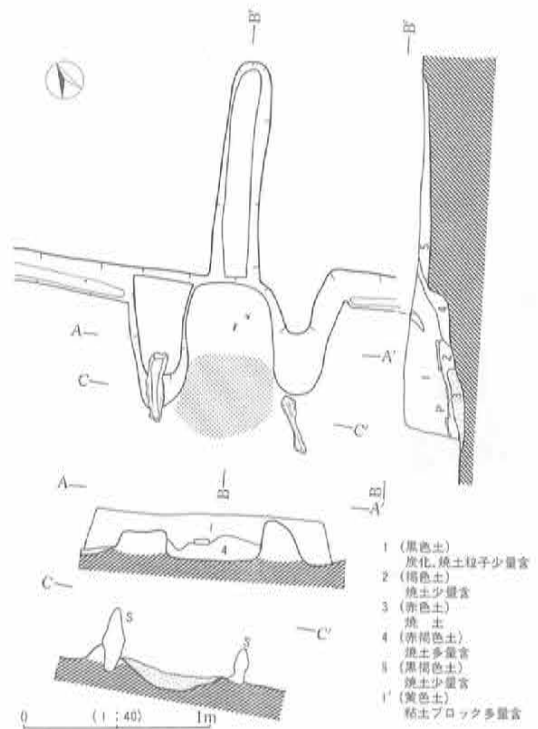
第434図 H 237号住居址実測図



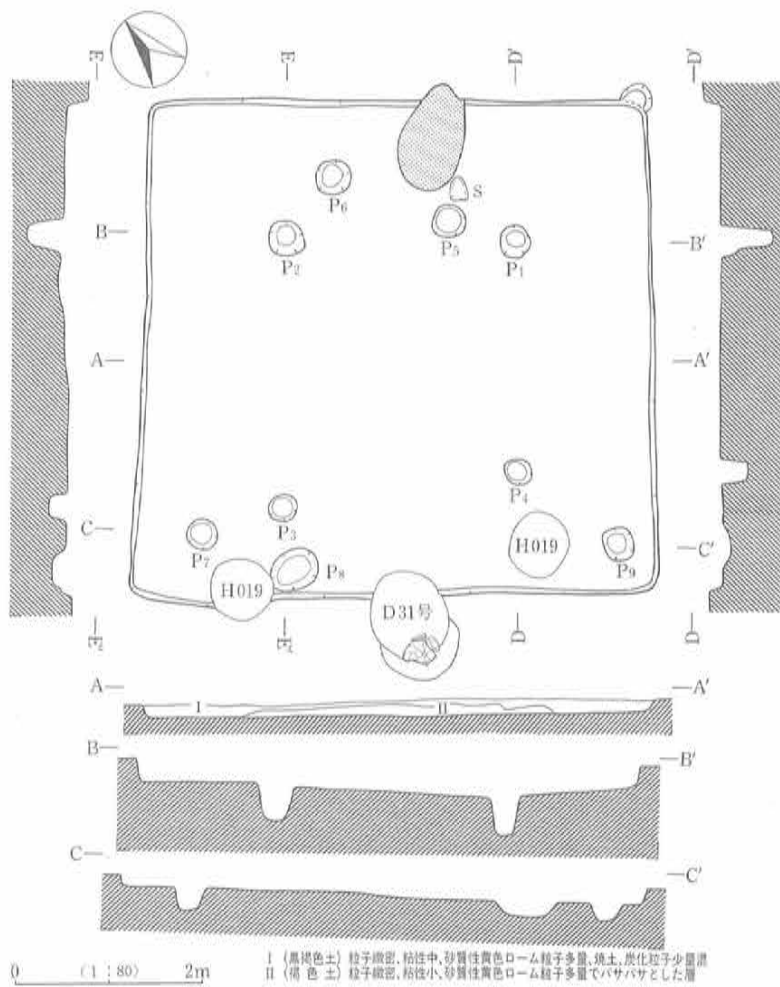
第435図 H 237号住居址カマド実測図



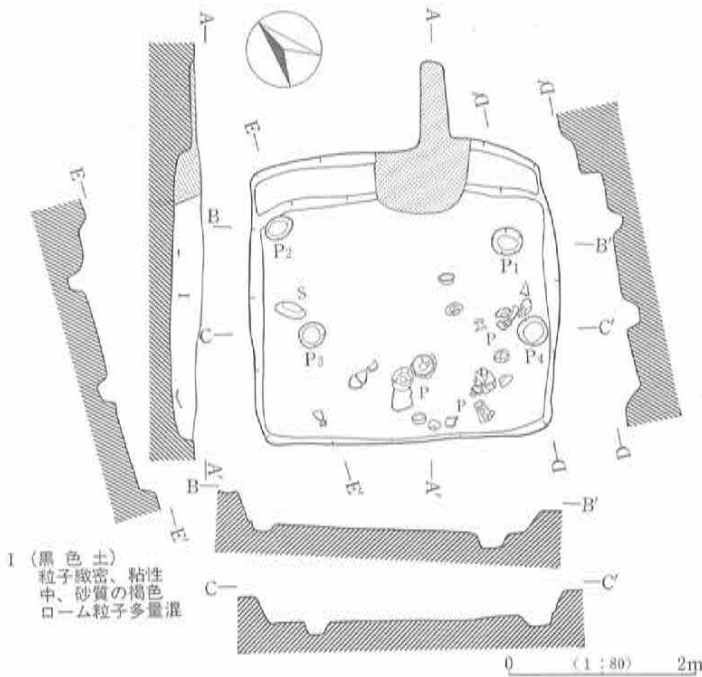
第436図 H 238号住居址実測図



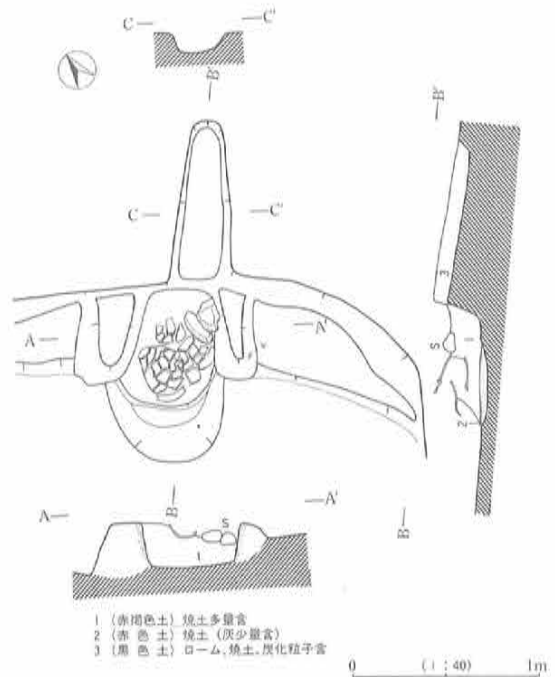
第437図 H 238号住居址カマド実測図



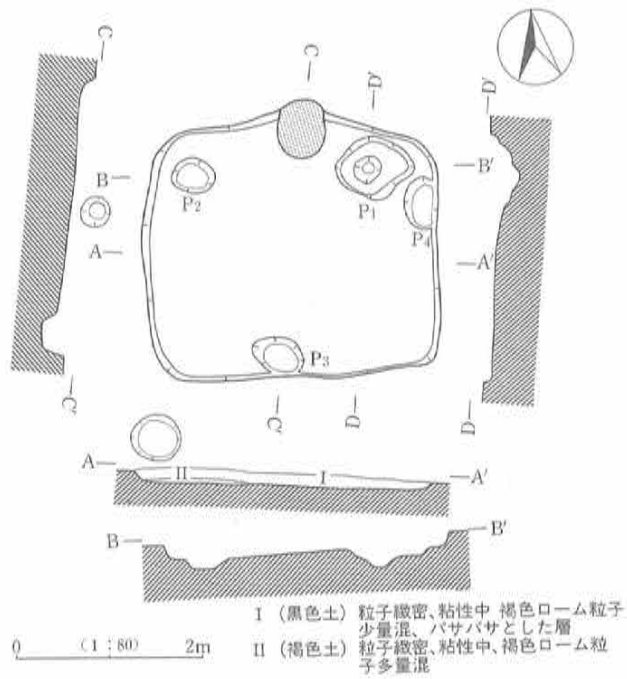
第438図 H239号住居址実測図



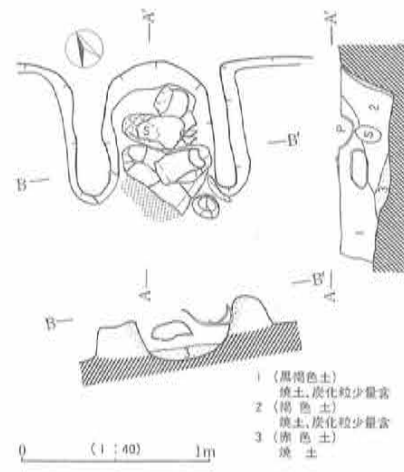
第439図 H240号住居址実測図



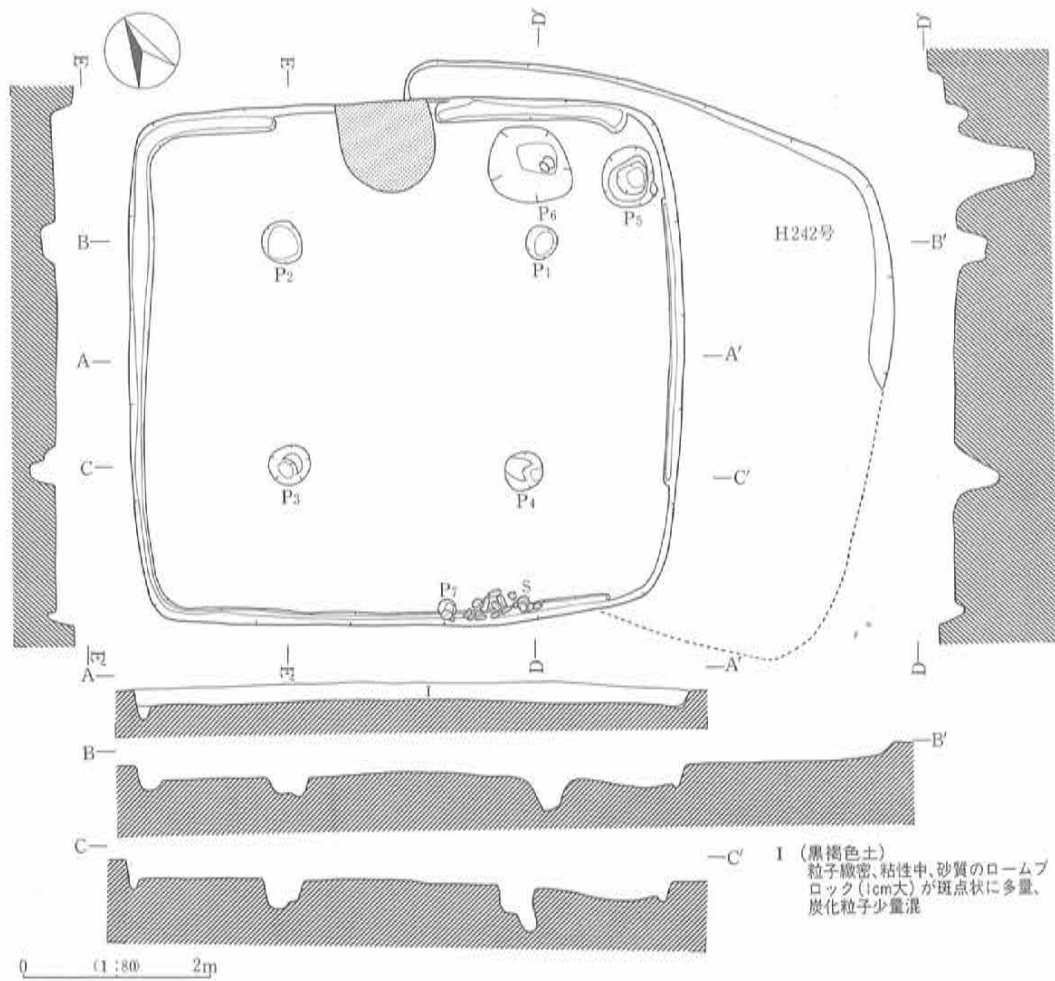
第440図 H240号住居址カマド実測図



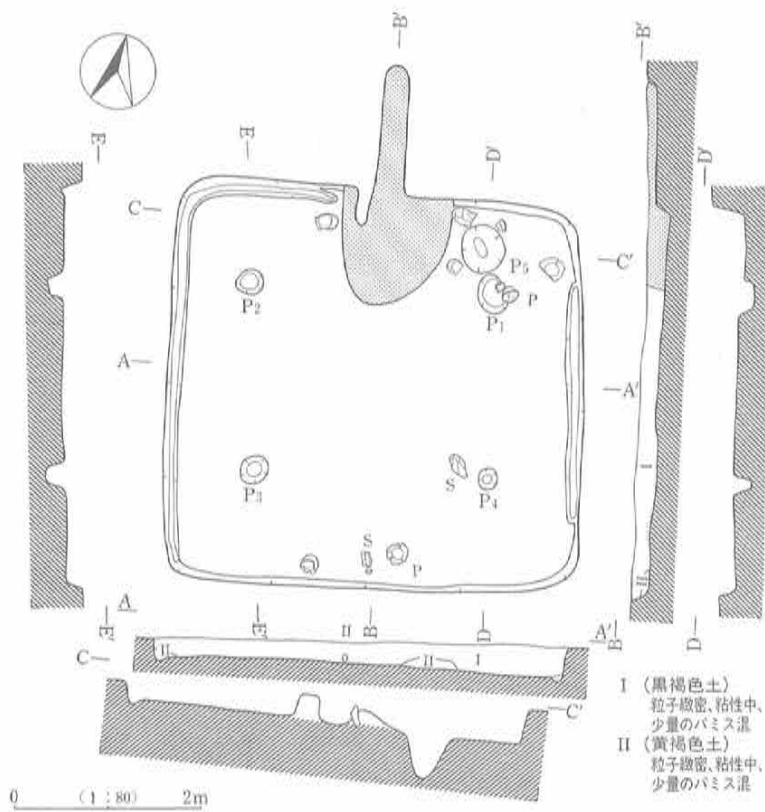
第441図 H241号住居址実測図



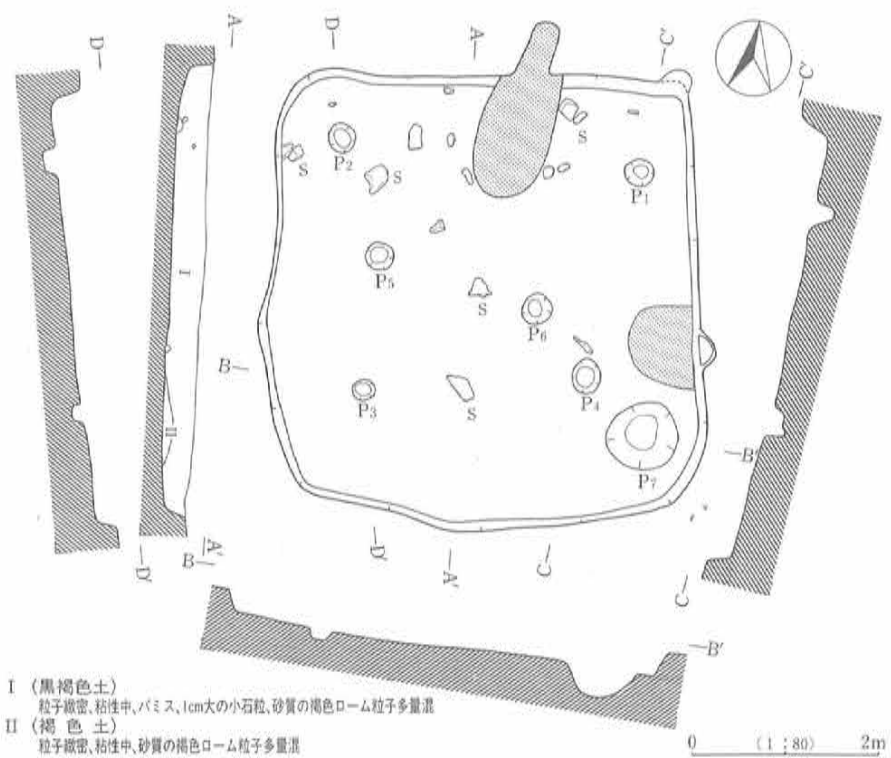
第443図 H243号住居址カマド実測図



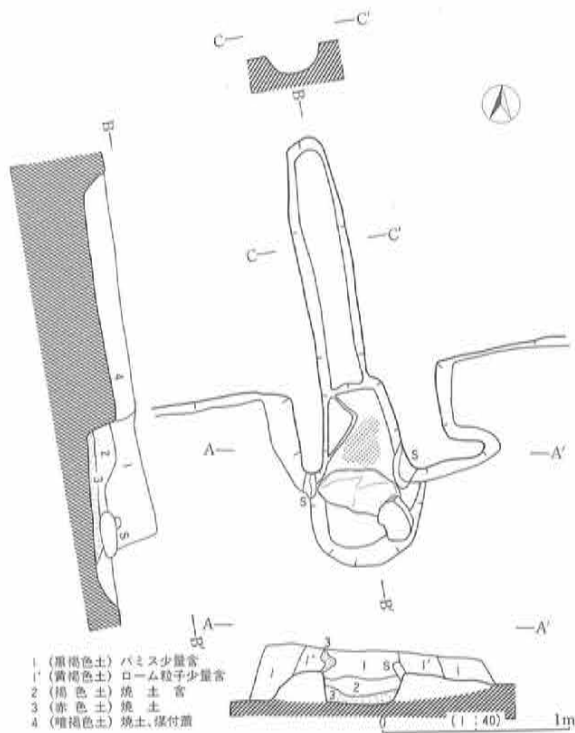
第442図 H242号・243号住居址実測図



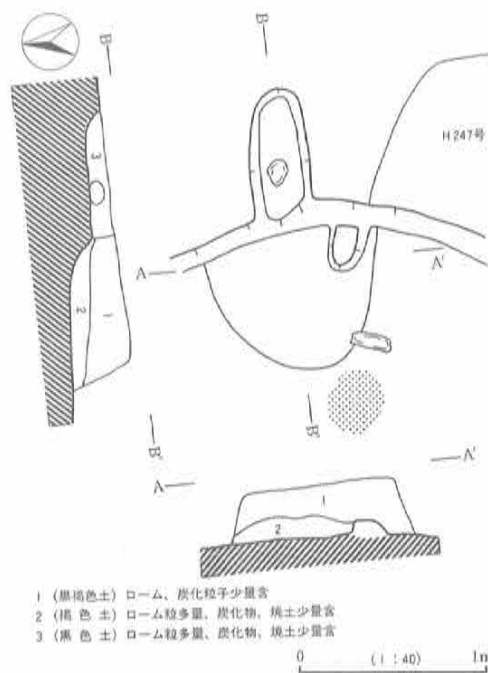
第444図 H244号住居址実測図



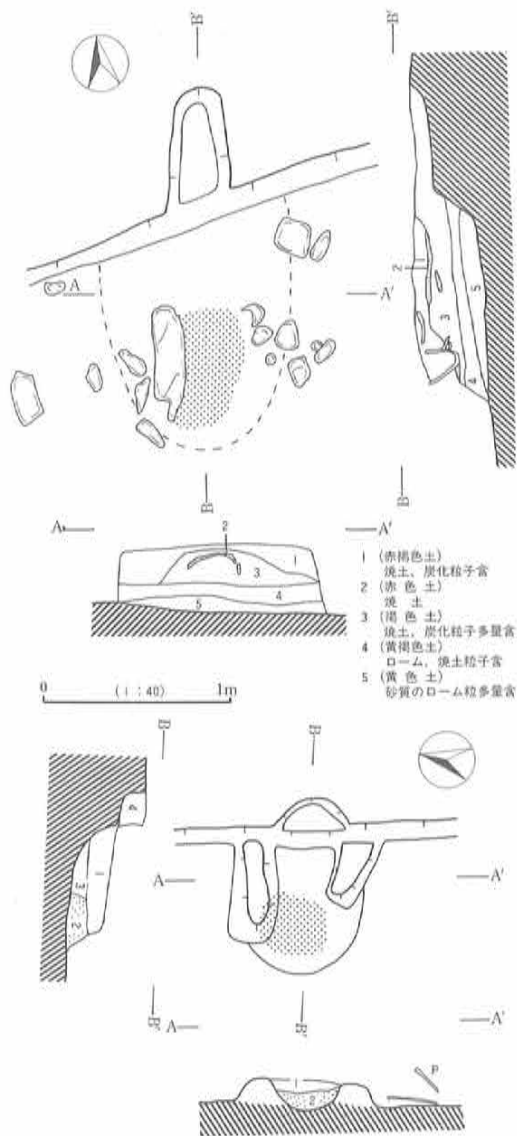
第446図 H245号住居址実測図



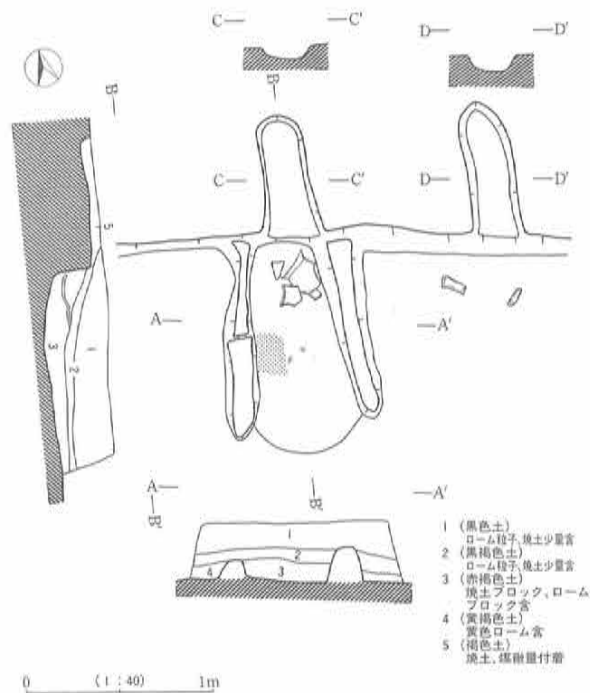
第445図 H244号住居址カマド実測図



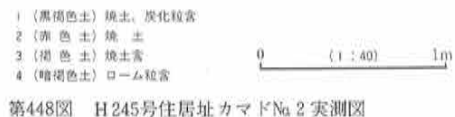
第451図 H247号住居址カマド実測図



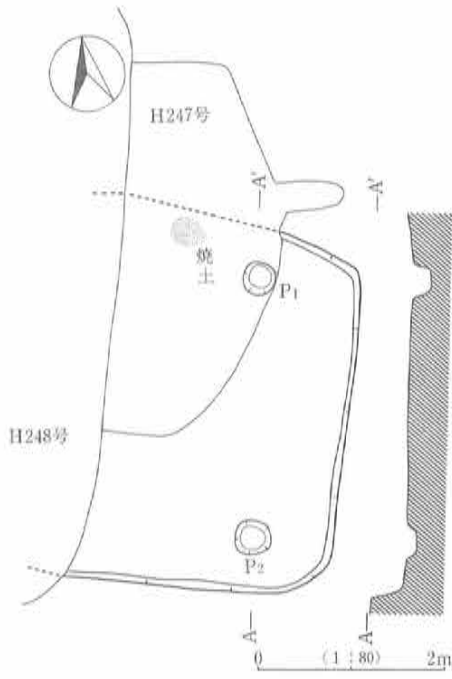
第447図 H245号住居址カマドNo.1 実測図



第453図 H248号住居址カマド実測図

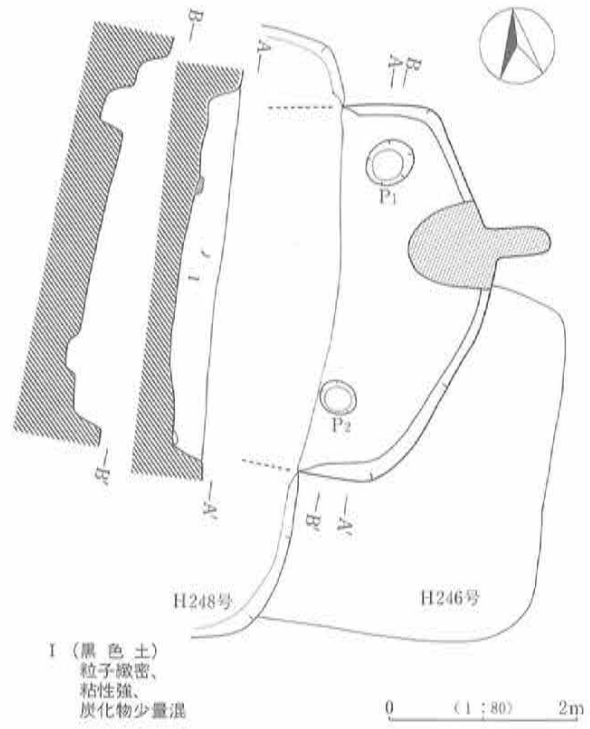


第448図 H245号住居址カマドNo.2 実測図



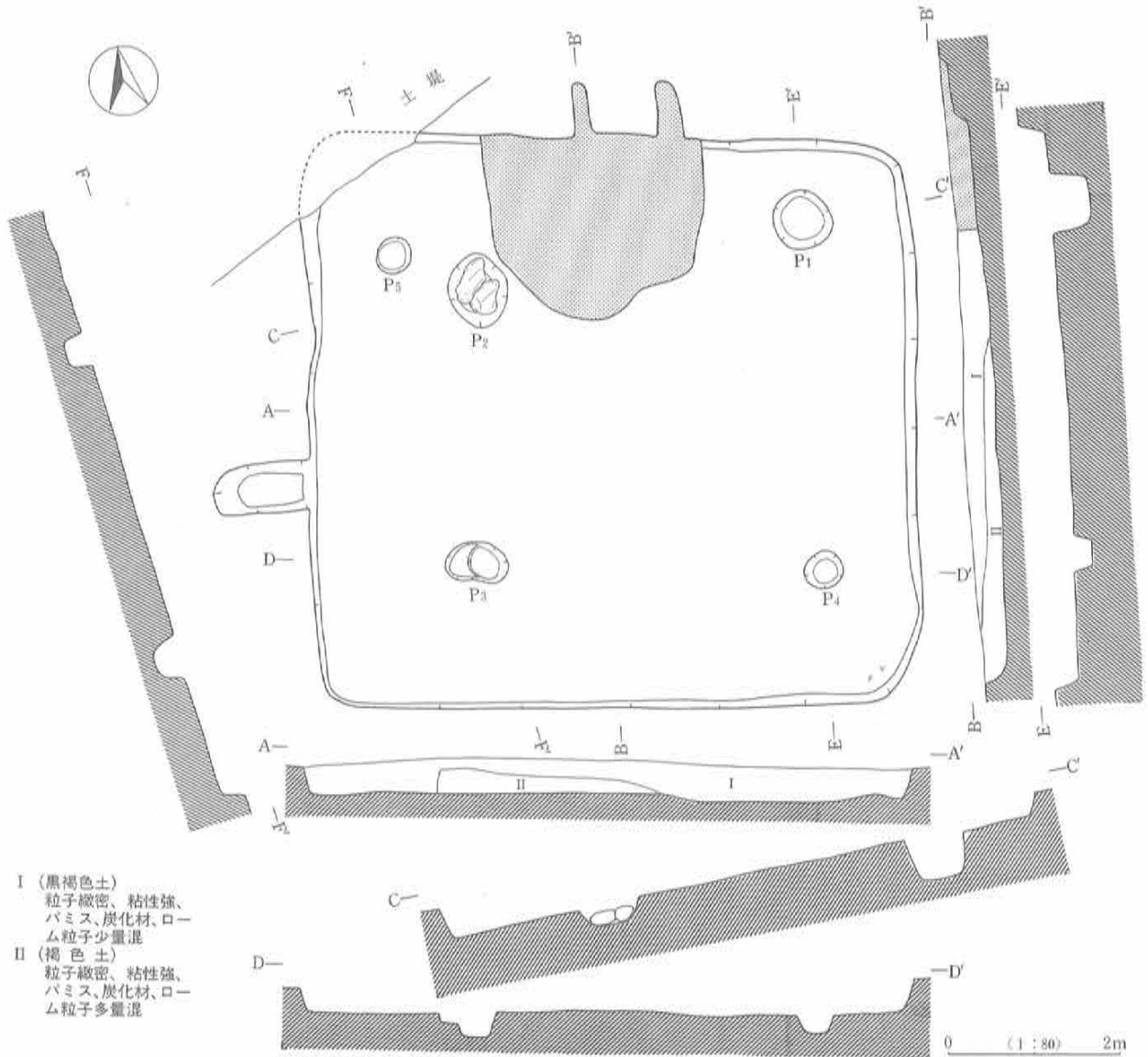
第449图 H246号住居址实测图

第450图
H247号
住居址
实测图



I (黑色土)
粒子緻密、
粘性強、
炭化物少量混

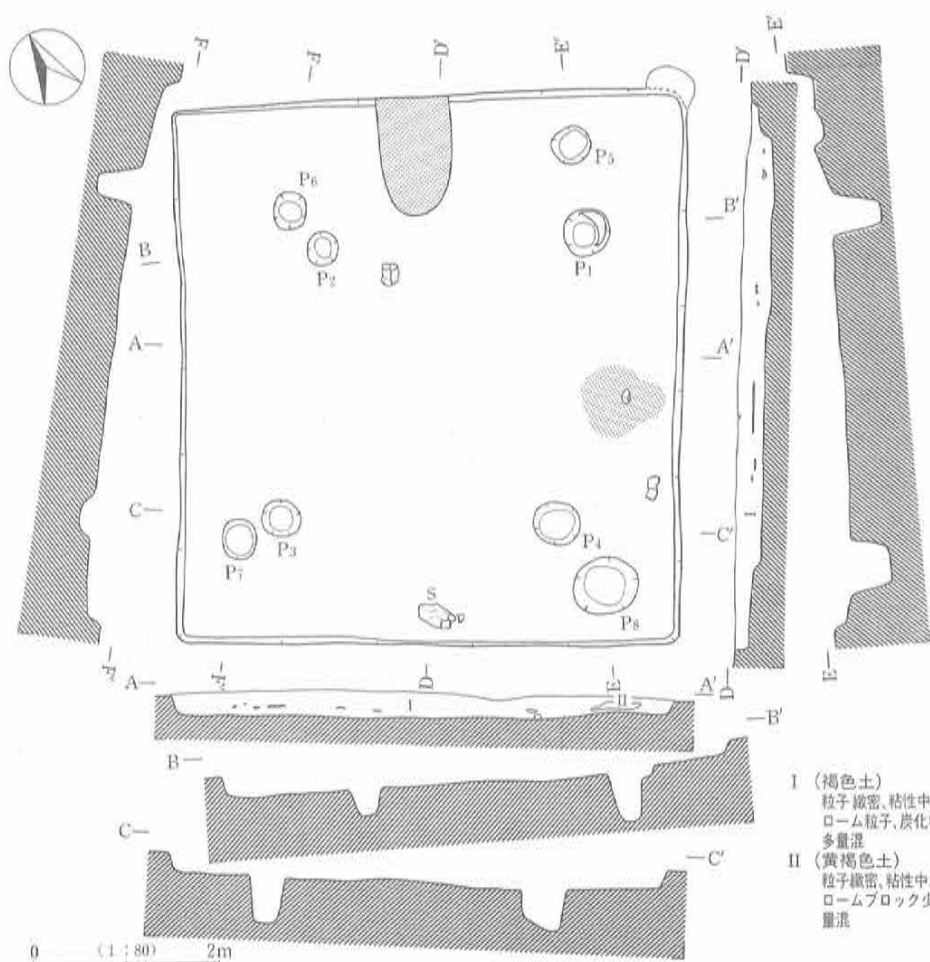
0 (1:80) 2m



I (黑褐色土)
粒子緻密、粘性強、
バミス、炭化材、ロー
ム粒子少量混
II (褐色土)
粒子緻密、粘性強、
バミス、炭化材、ロー
ム粒子多量混

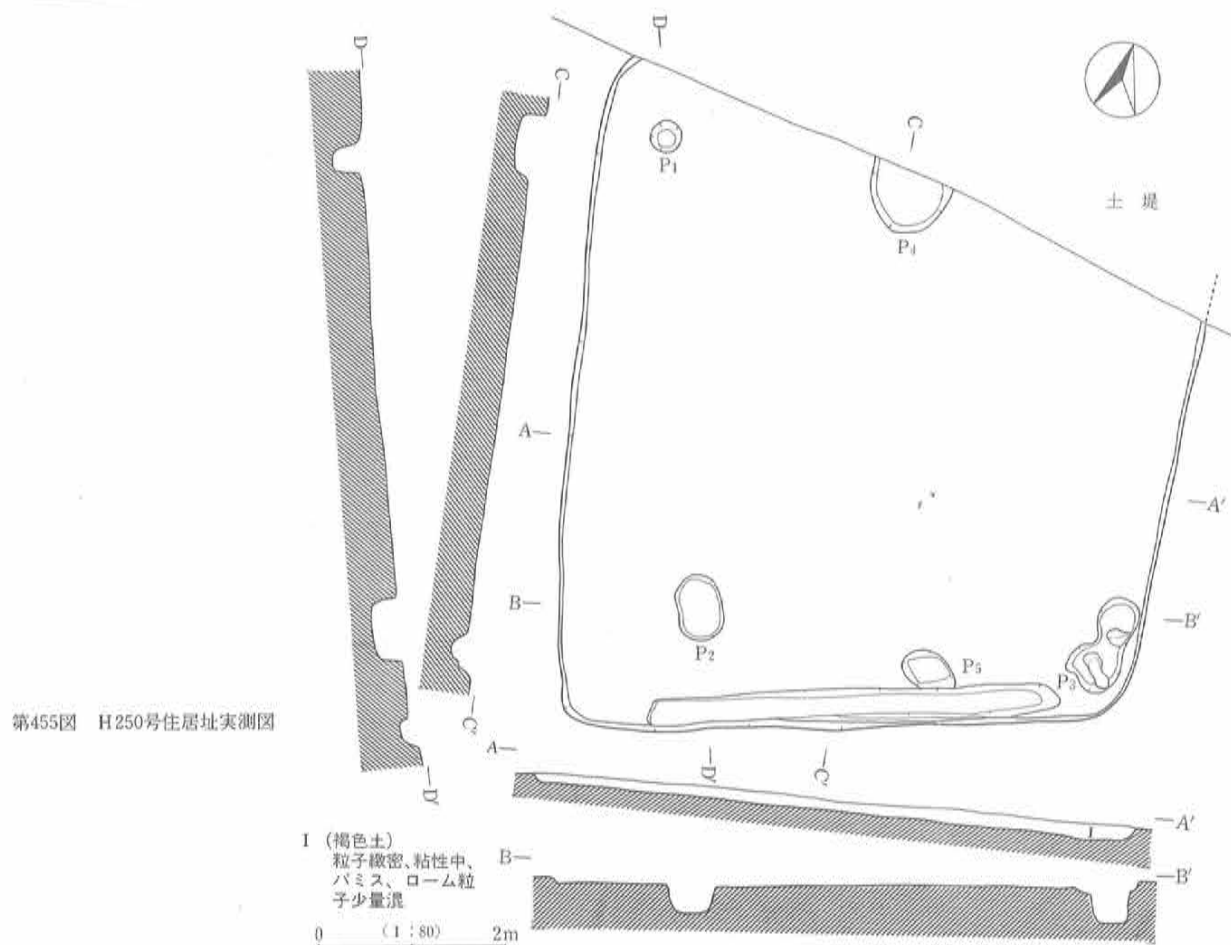
0 (1:80) 2m

第452图 H248号住居址实测图



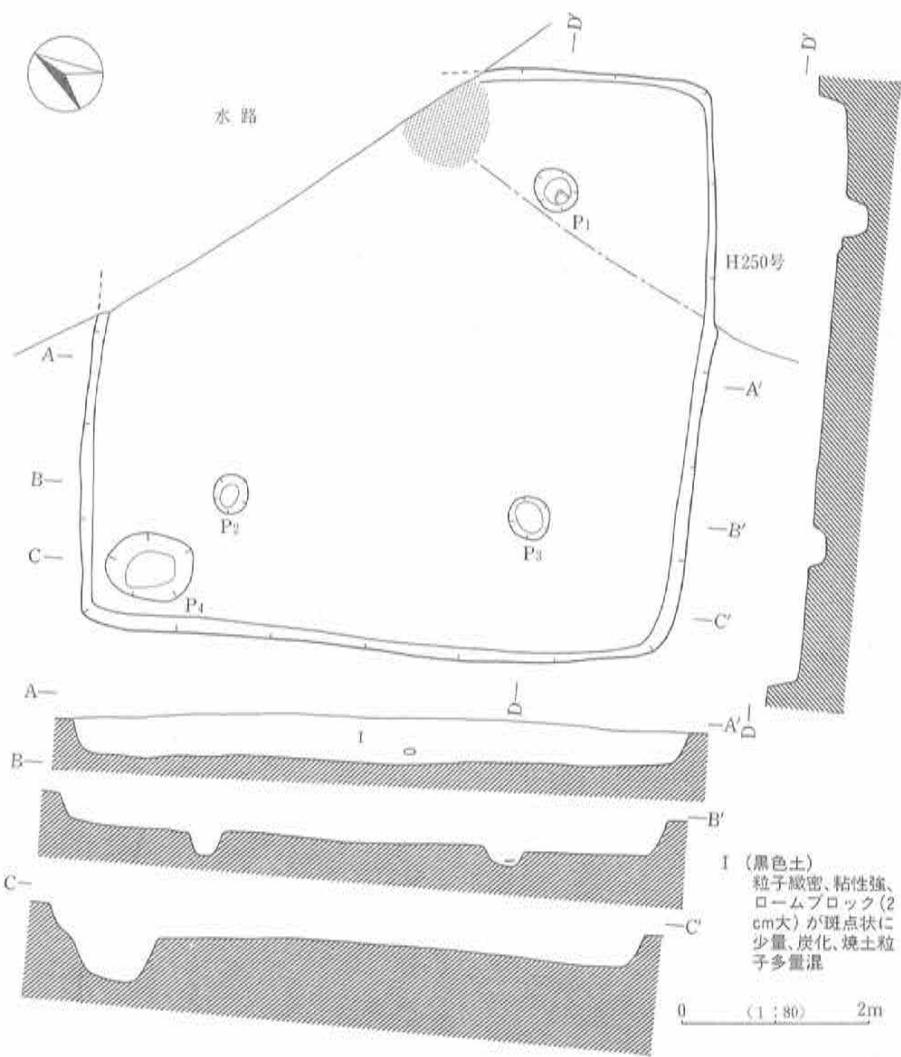
第454図 H249号住居址実測図

- I (褐色土)
粒子緻密、粘性中、
ローム粒子、炭化物
多量混
- II (黄褐色土)
粒子緻密、粘性中、
ロームブロック少
量混



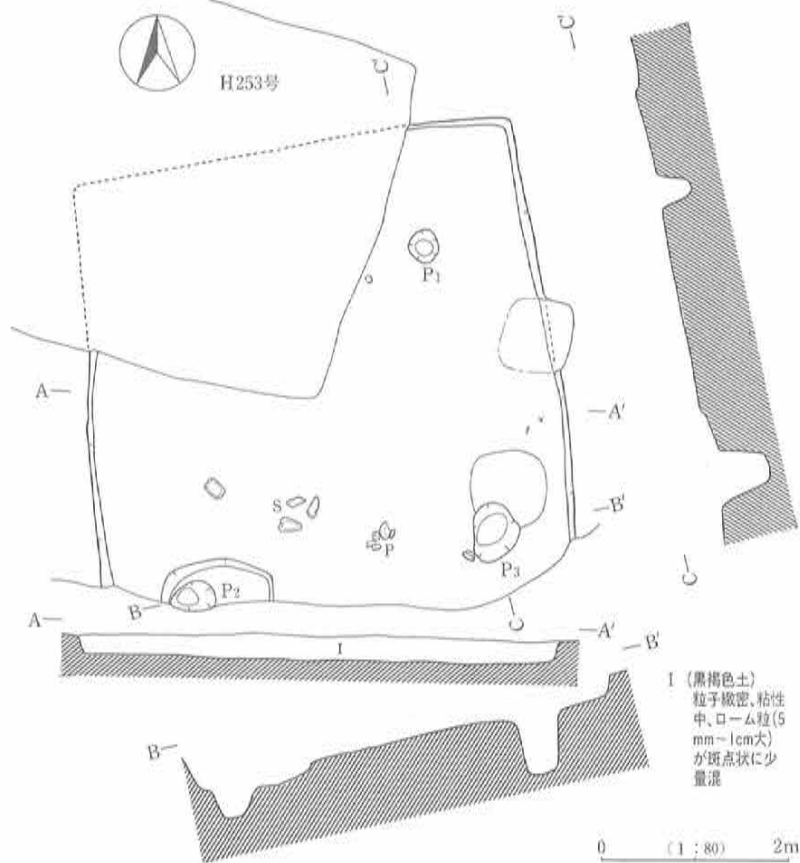
第455図 H250号住居址実測図

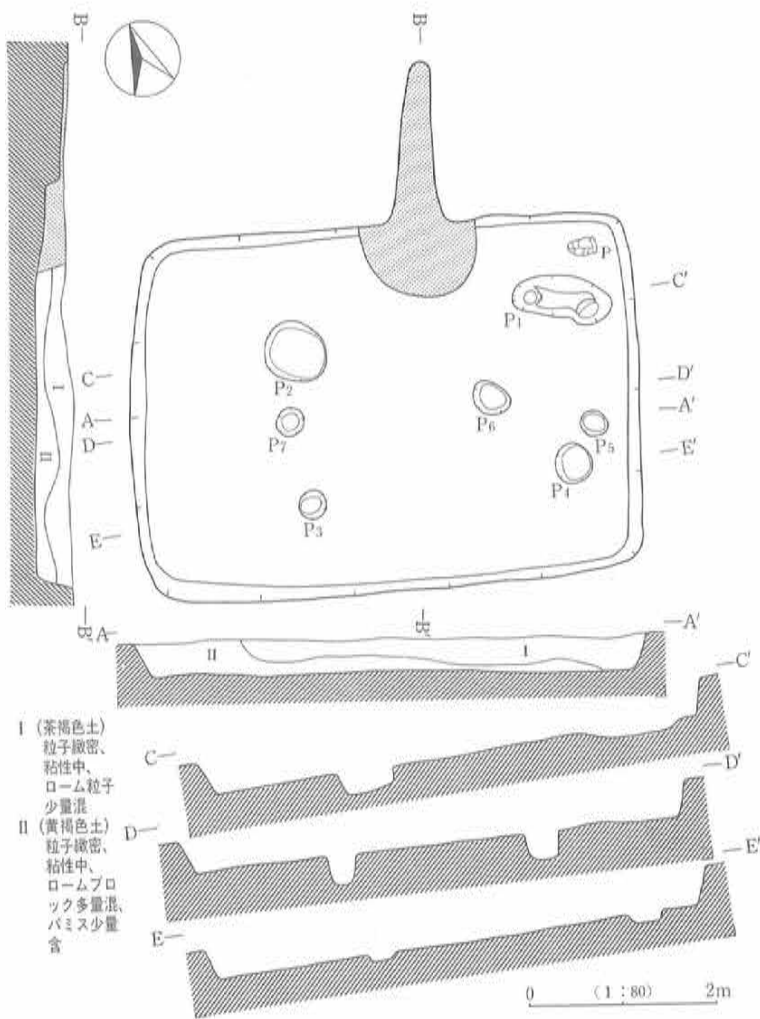
- I (褐色土)
粒子緻密、粘性中、
パミス、ローム粒
子少量混



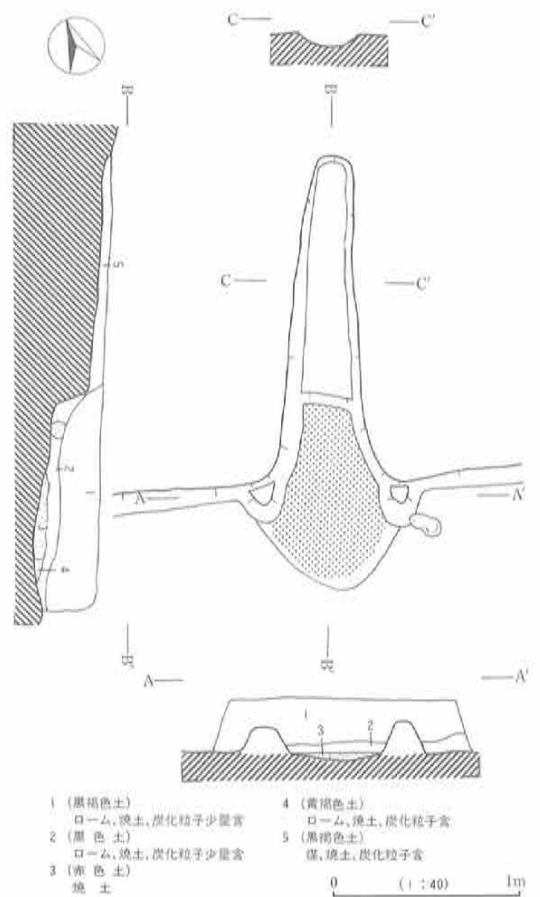
第456図 H251号住居址実測図

第457図 H252号住居址実測図

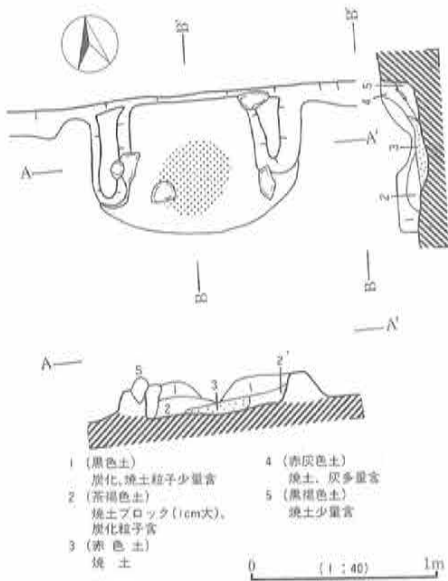




第458図 H 253号住居址実測図

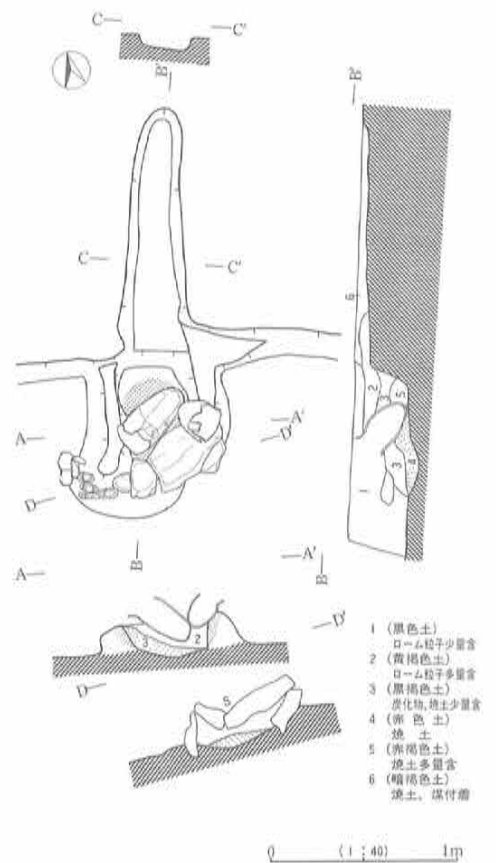


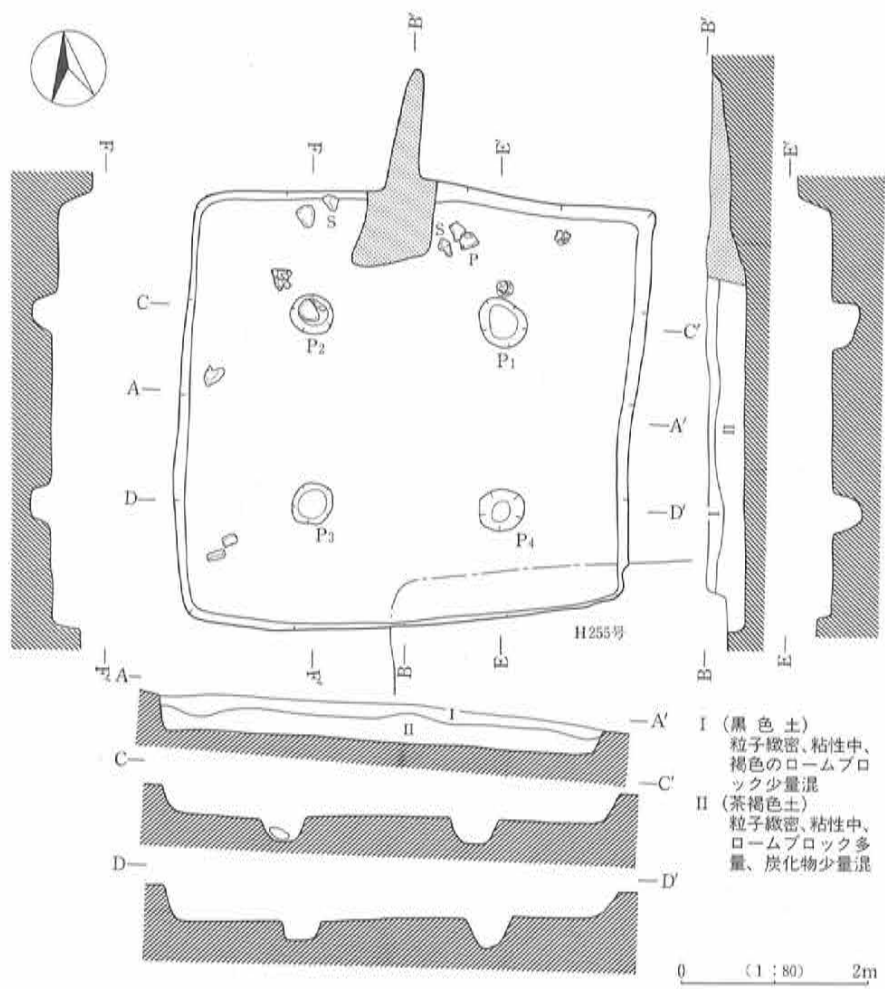
第459図 H 253号住居址カマド実測図



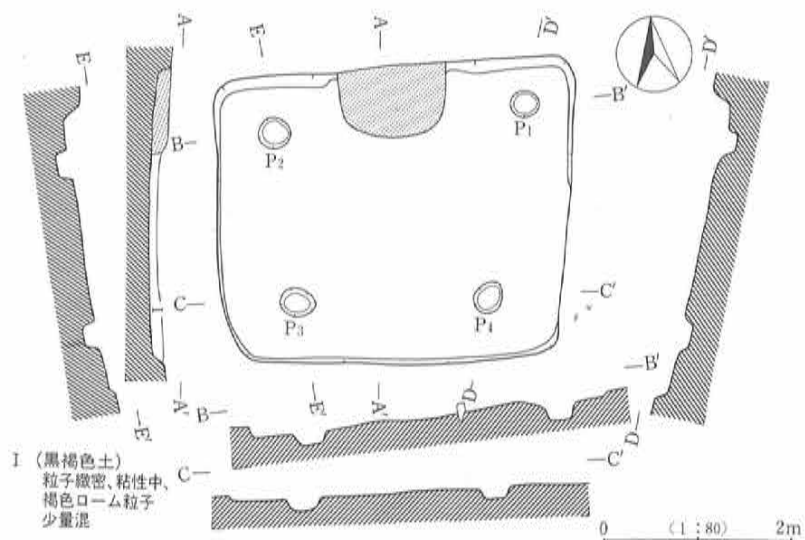
第463図 H 255号住居址カマド実測図

第461図 H 254号
住居址カマド実測図

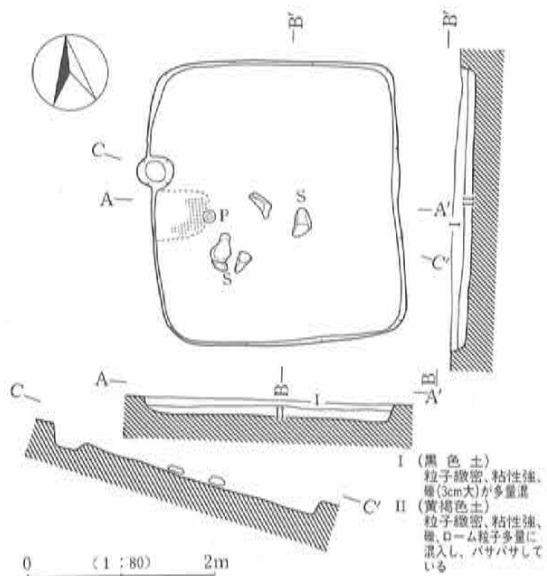




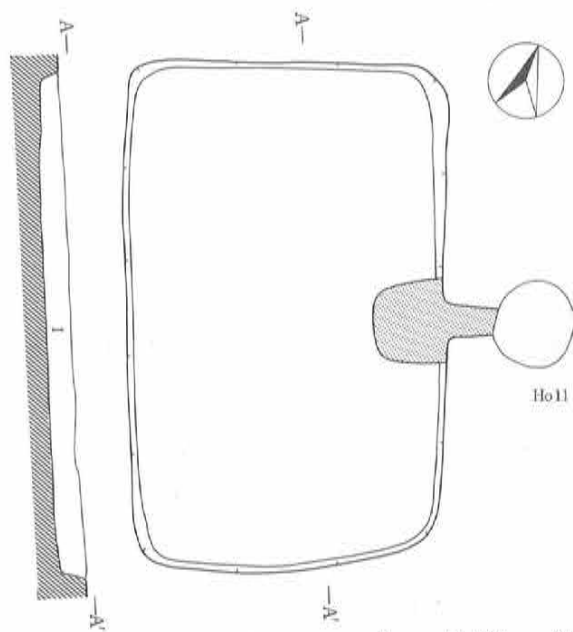
第460図 H254号住居址実測図



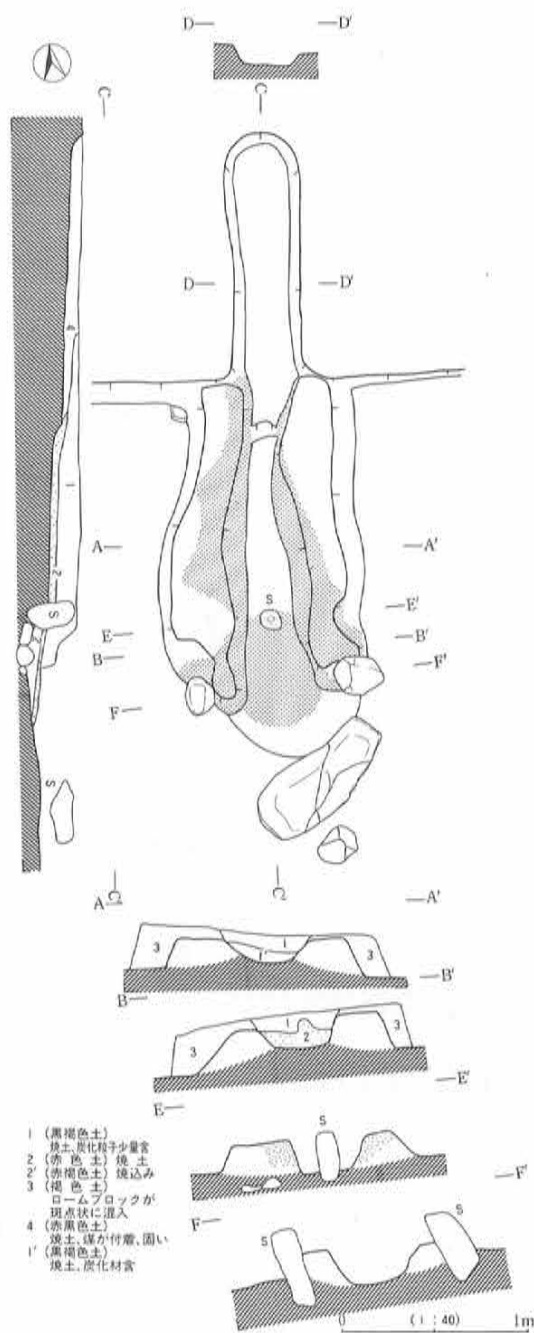
第462図 H255号住居址実測図



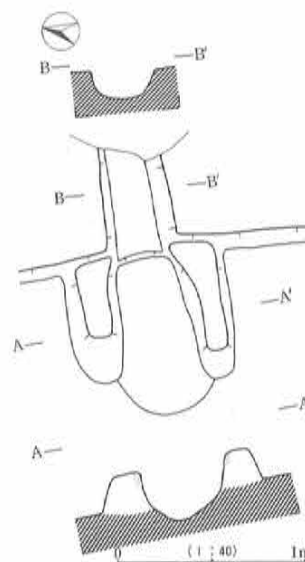
第464図 H 256号住居址実測図



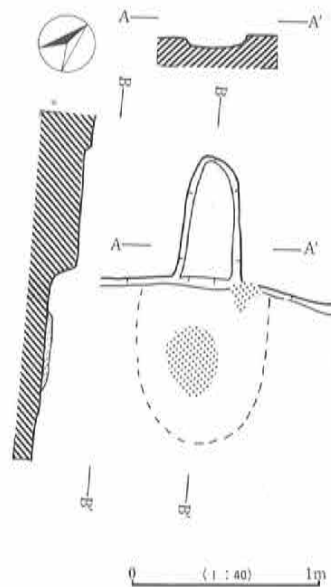
第465図 H 257号住居址実測図



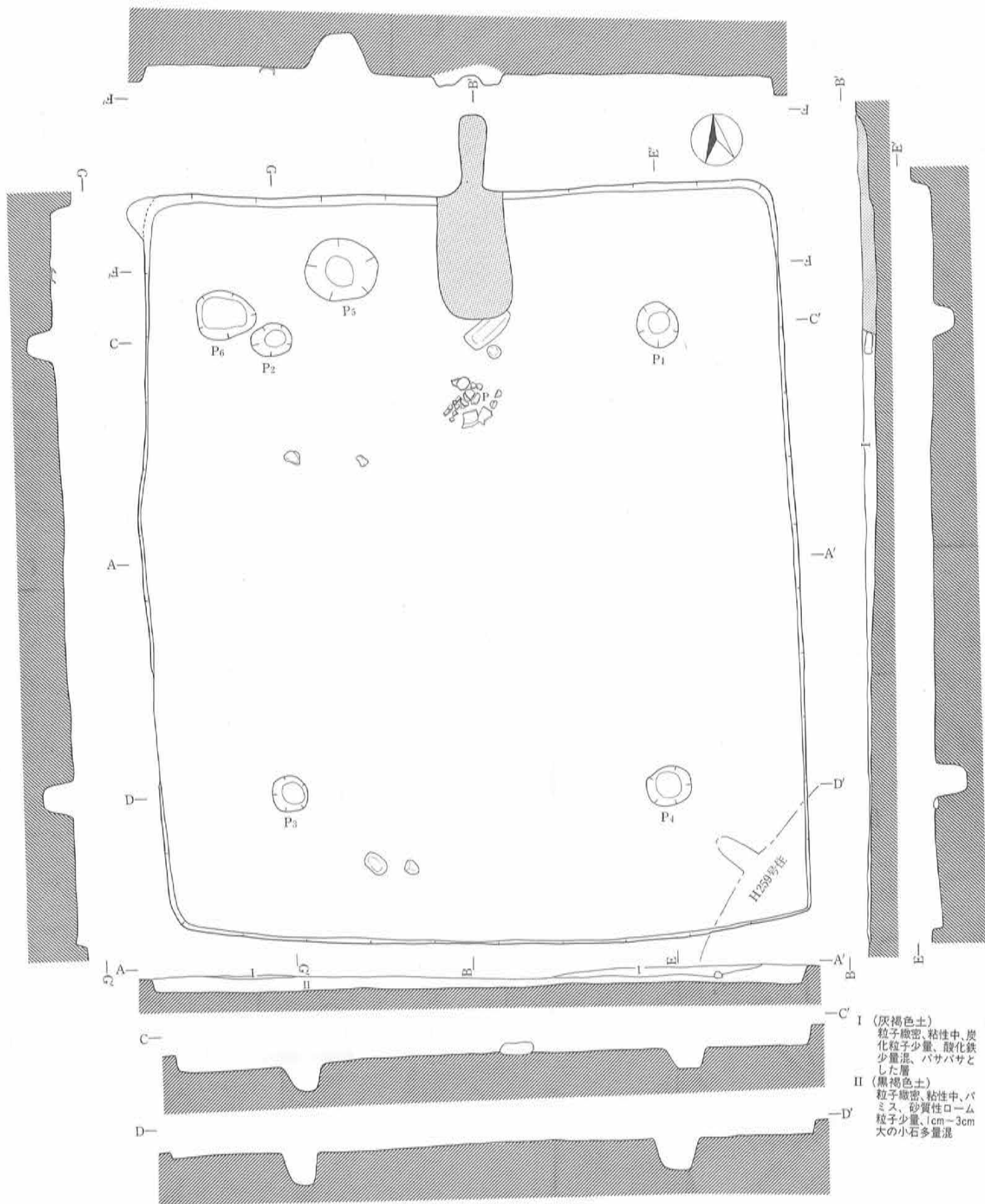
第468図 H 258号
住居址カマド実測図



第466図 H 257号
住居址カマド実測図



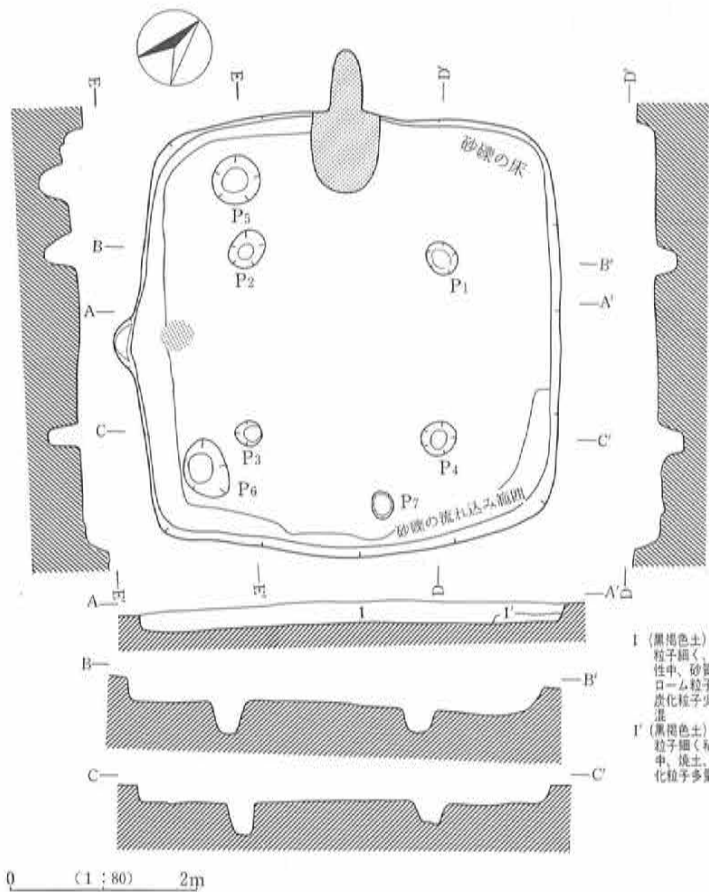
第470図 H 259号
住居址カマド実測図



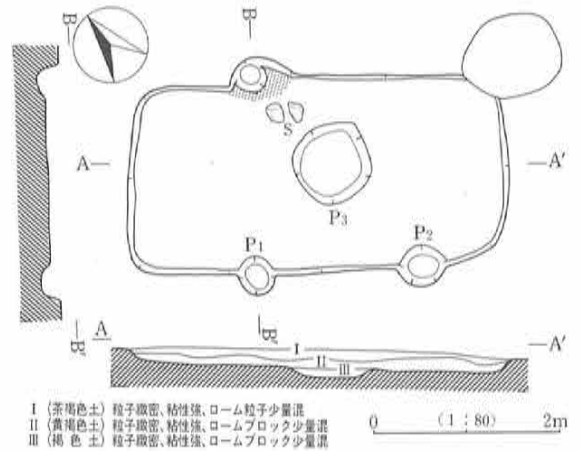
- I (灰褐色土)
 粒子緻密、粘性中、炭
 化粒子少量、酸化鉄
 少量混、バサバサと
 した層
- II (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、バ
 ミス、砂質性ローム
 粒子少量、1cm-3cm
 大の小石多量混

0 (1:80) 2m

第467図 H258号住居址実測図

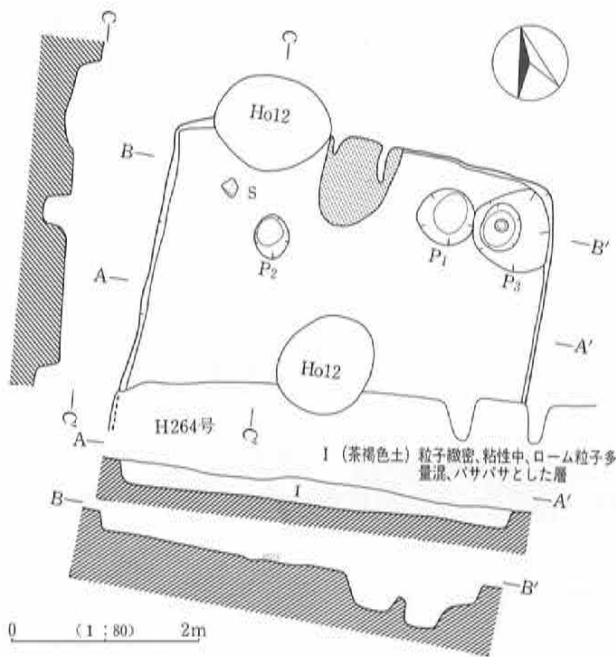


第469図 H259号住居址実測図

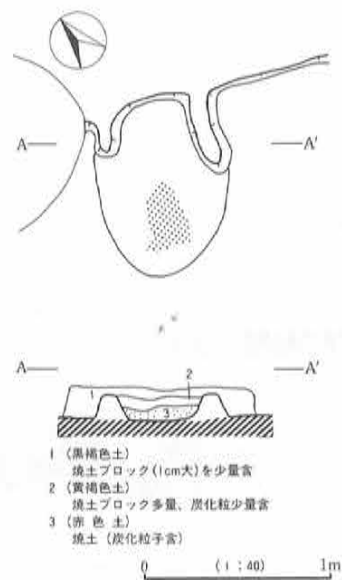


I (茶褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒子少量混
II (黄褐色土) 粒子緻密、粘性強、ロームブロック少量混
III (褐色土) 粒子緻密、粘性強、ロームブロック少量混

第471図 H260号住居址実測図

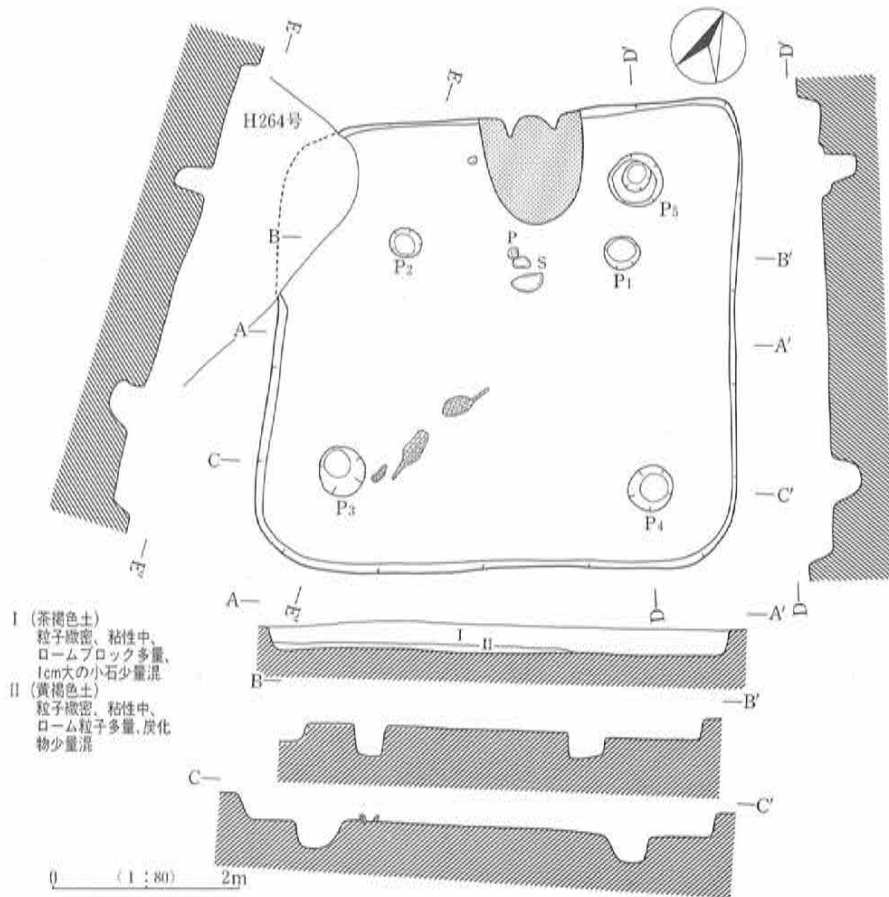


第472図 H261号住居址実測図

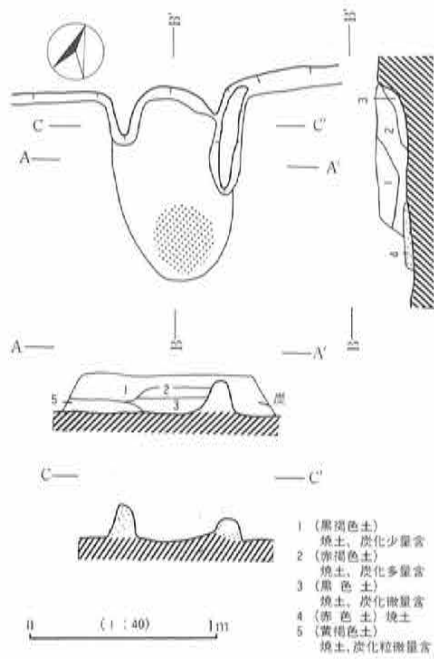


第473図 H261号住居址カマド実測図

- I (黒褐色土)
焼土ブロック(1cm大)を少量含
2 (黄褐色土)
焼土ブロック多量、炭化粒少量含
3 (赤色土)
焼土(炭化粒子含)

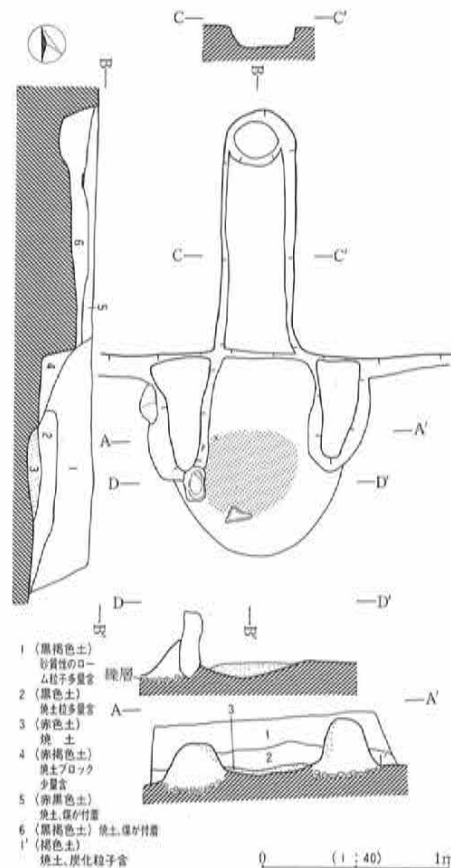


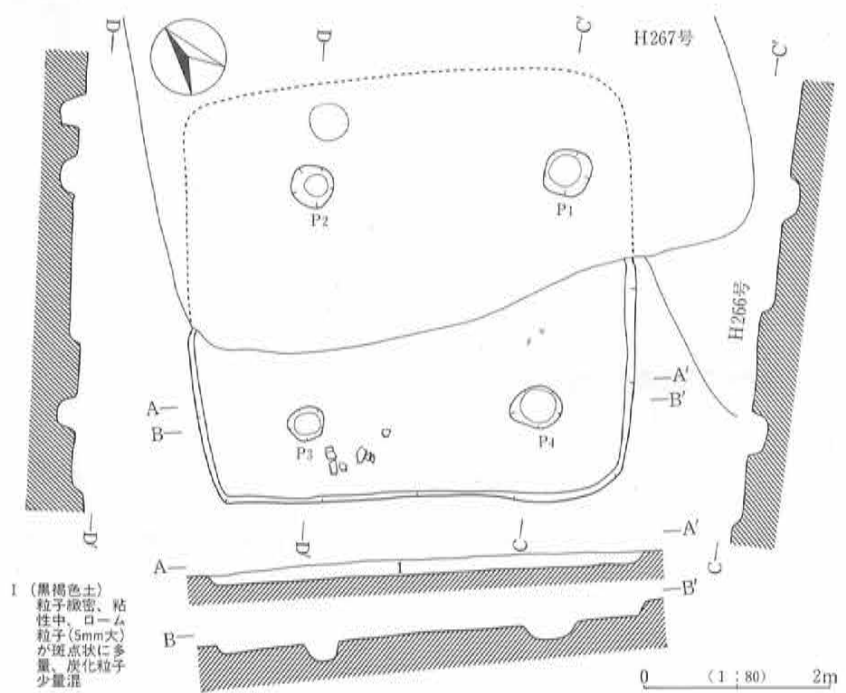
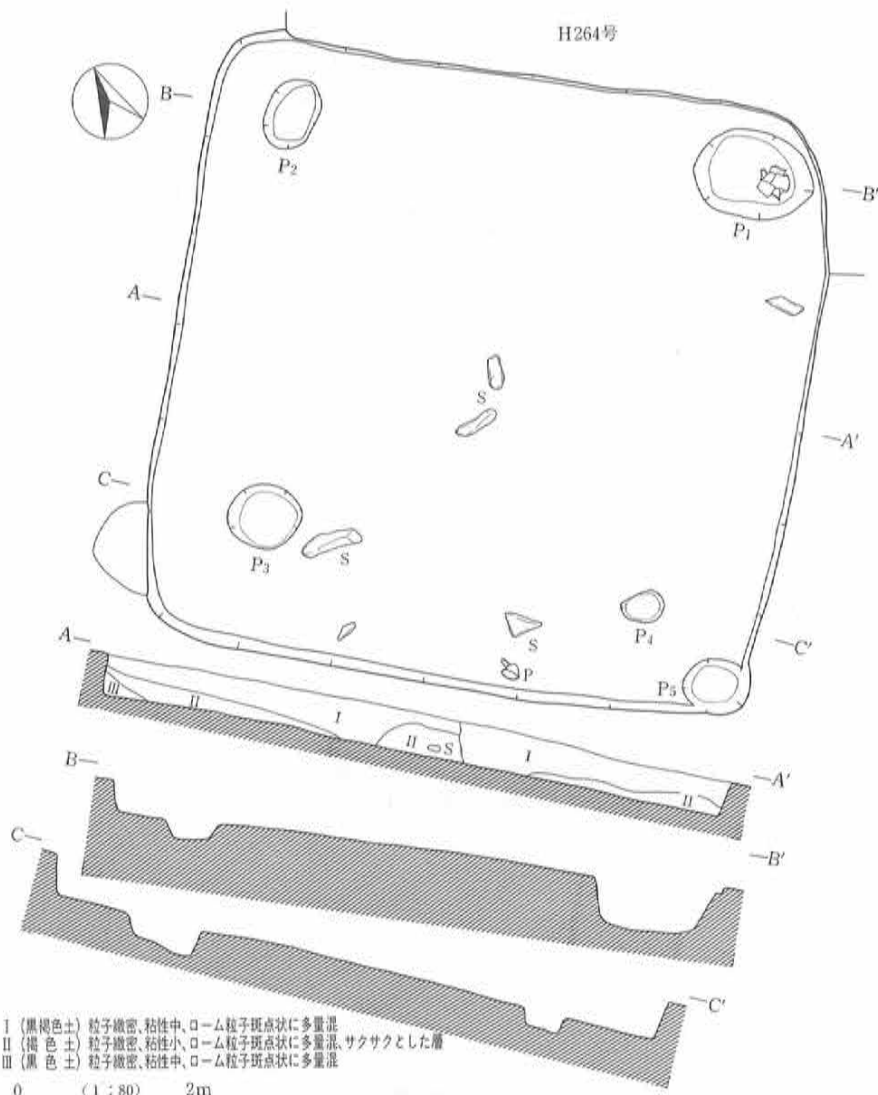
第474図 H262号住居址実測図



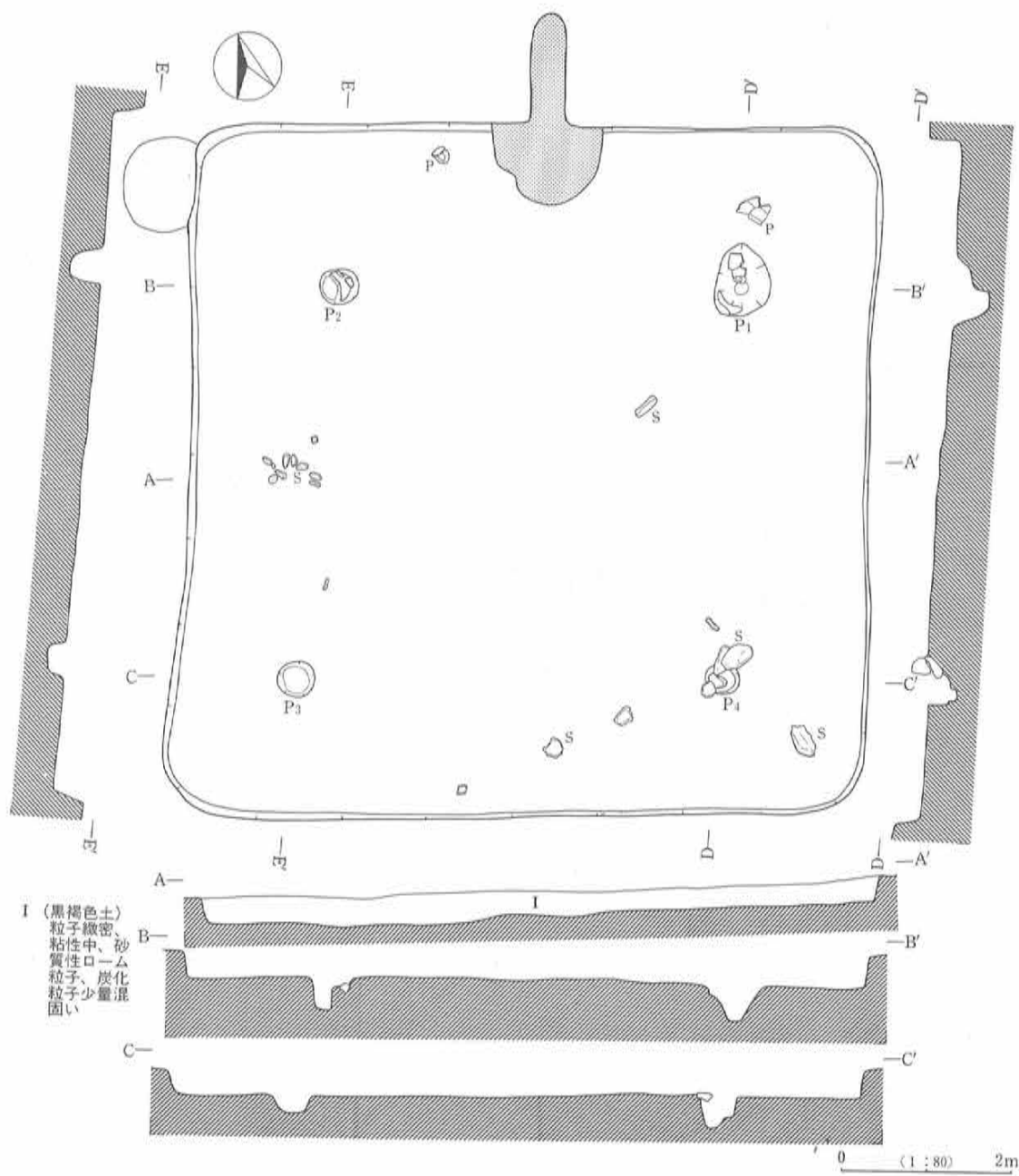
第475図 H262号住居址カマド実測図

第478図 H264号
住居址カマド実測図

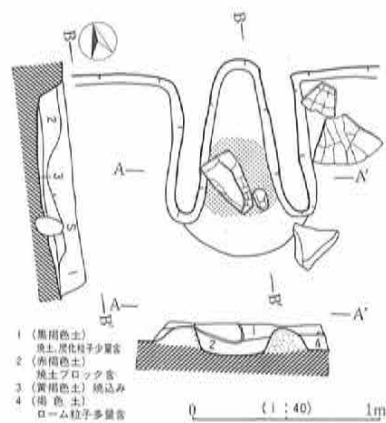
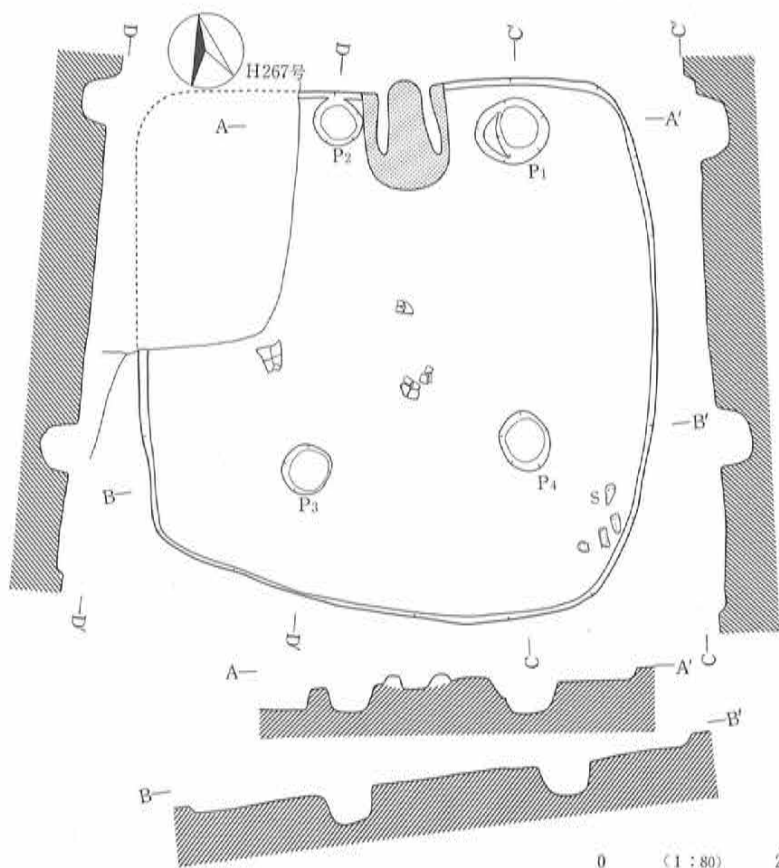




第479図 H265号住居址実測図

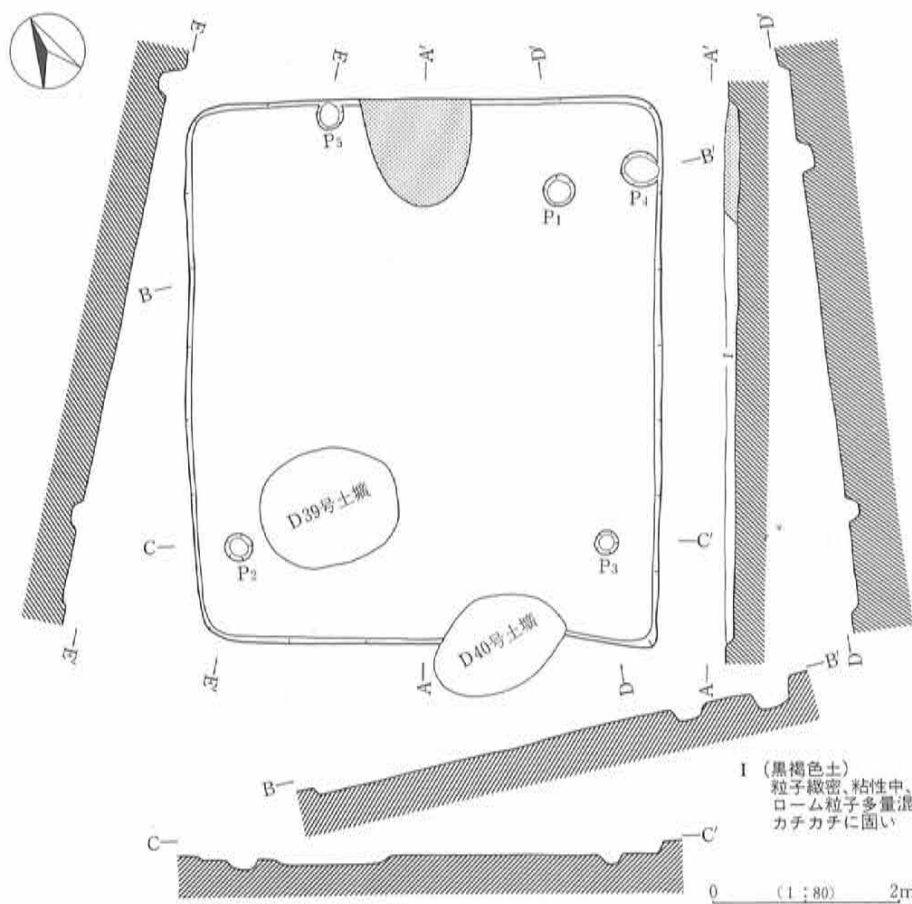


第477図 H 264号住居址実測図



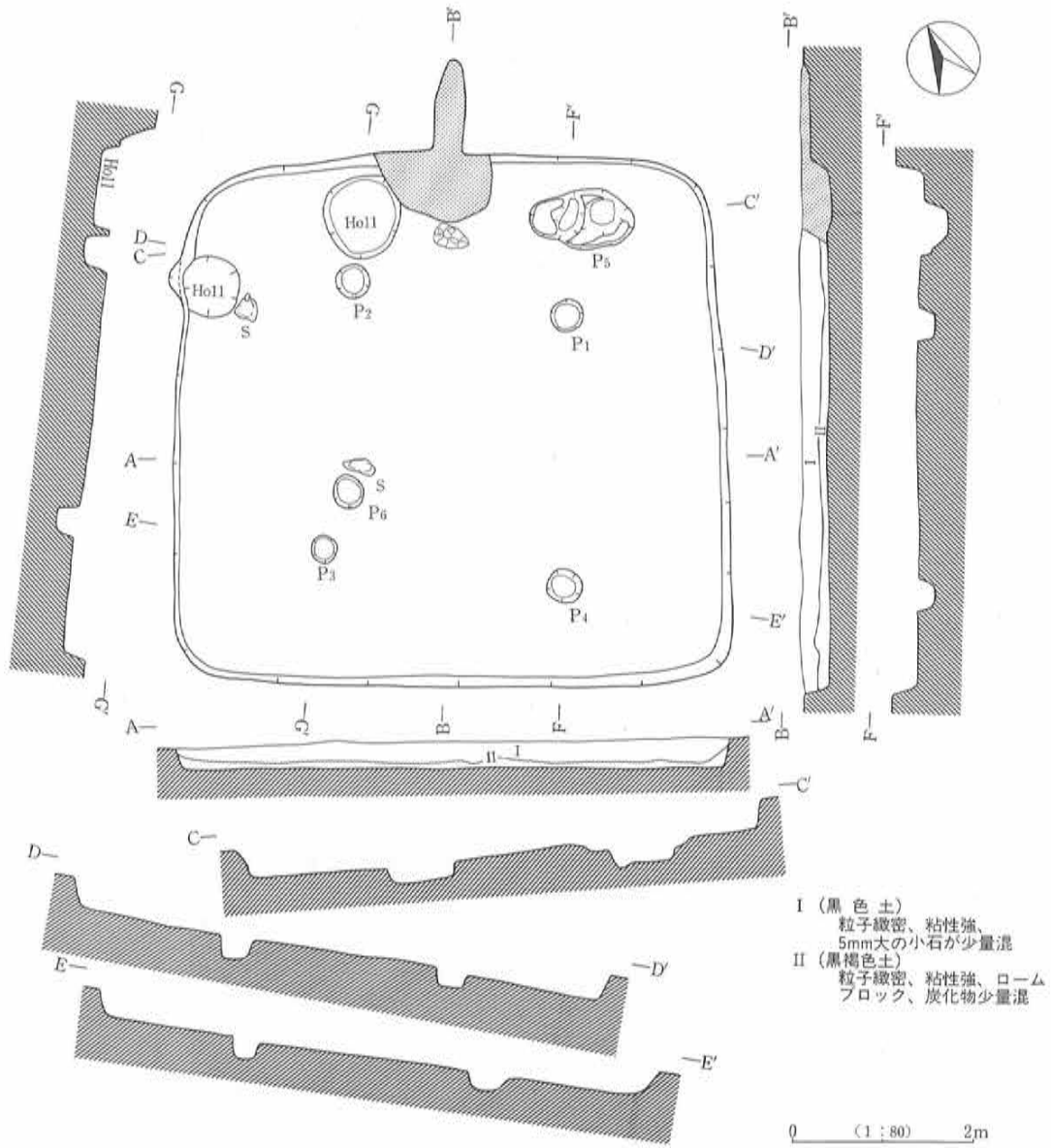
第481図 H266号住居址カマド実測図

第480図 H266号住居址実測図

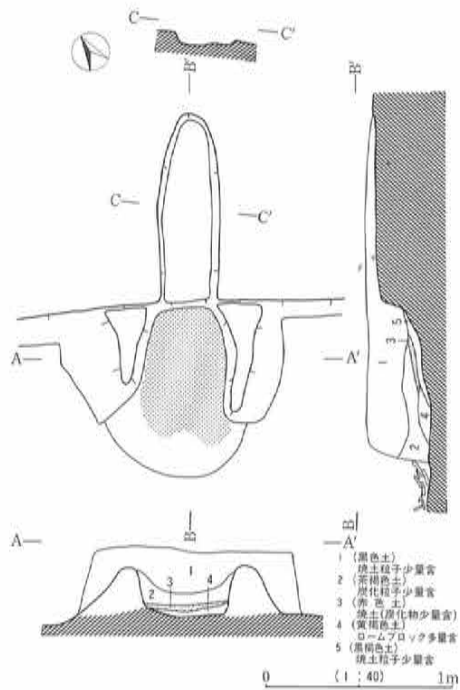


I (黒褐色土)
 粒子緻密、粘性中、
 ローム粒子多量混、
 カチカチに固い

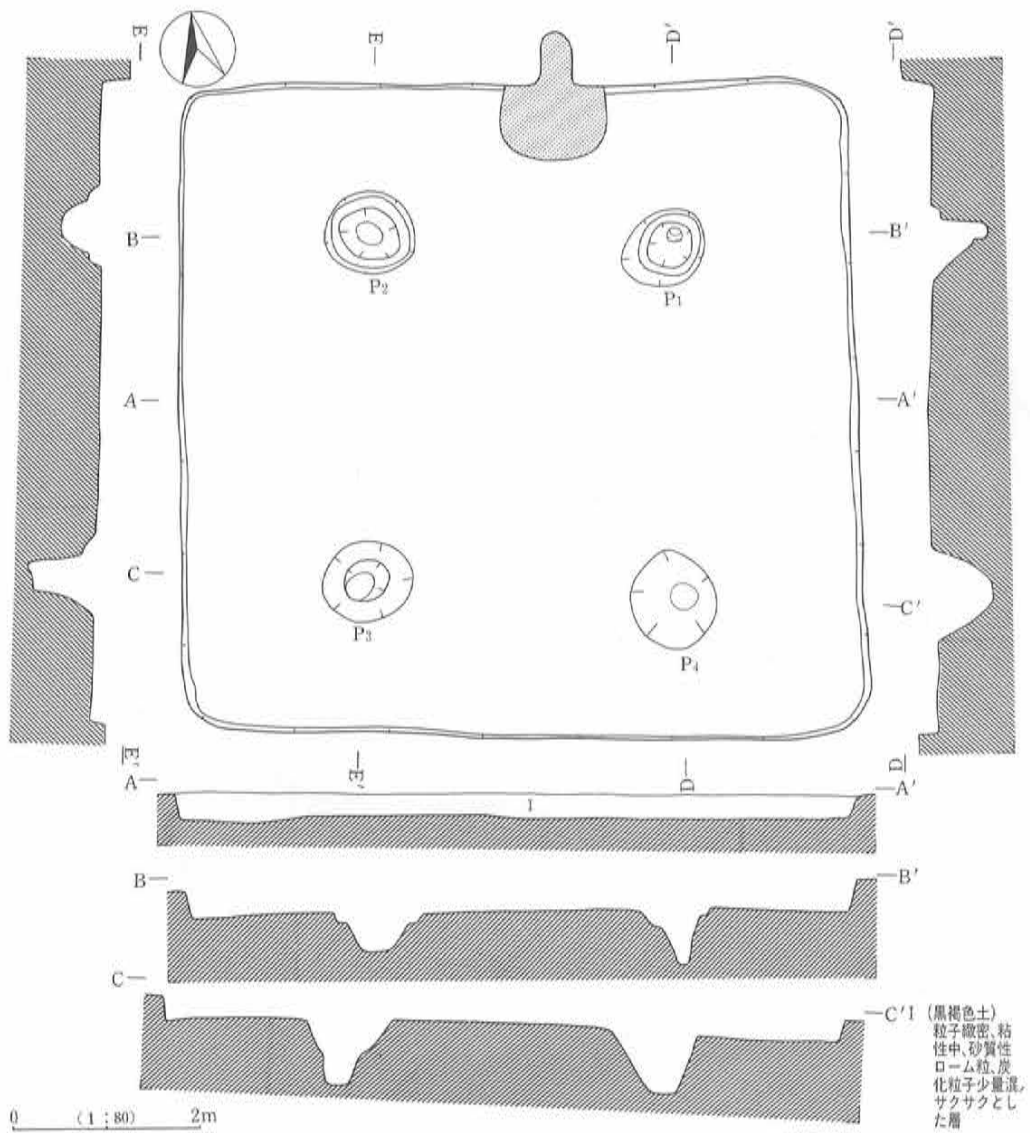
第484図 H268号住居址実測図



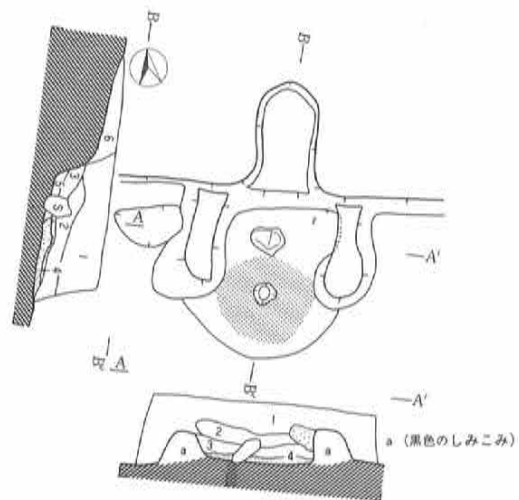
第482図 H267号住居址実測図



第483図 H267号住居址カマド実測図

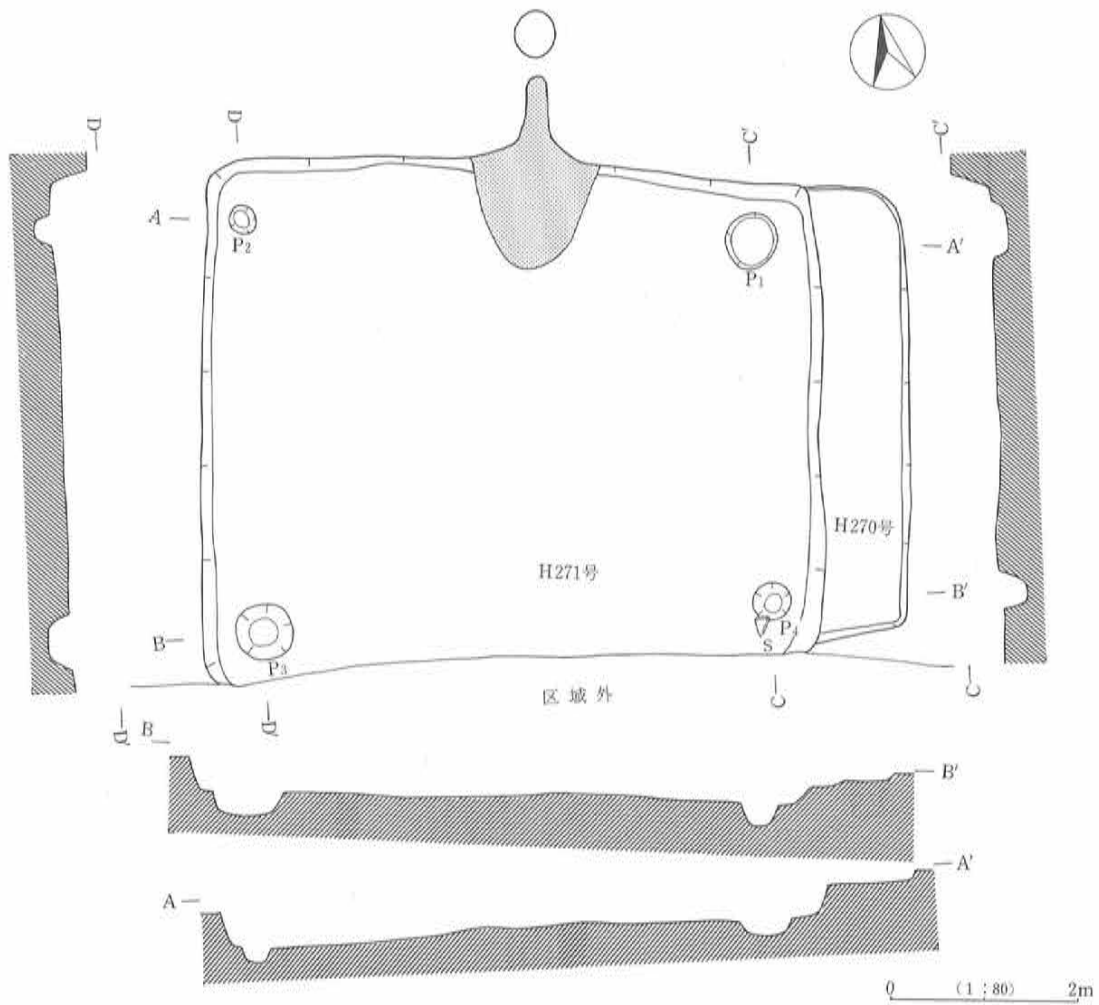


第485図 H 269号住居址実測図

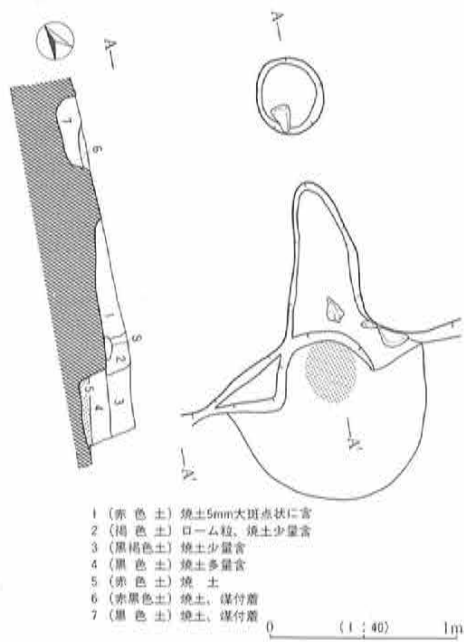


第486図 H 269号住居址カマド実測図

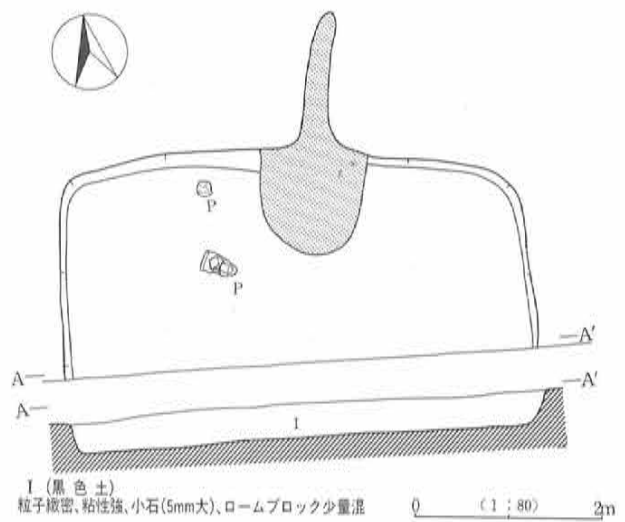
- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 (黒褐色土) | 5 (黄褐色土) |
| 焼土、炭化粒子少量含 | 焼土少量、砂質性ローム粒多量含 |
| 2 (黒色土) | 6 (赤褐色土) |
| 焼土、炭化粒子多量含 | 焼土ブロック(1cm大)多量含 |
| 3 (赤褐色土) | |
| 焼土ブロック(1cm-2cm大)多量含 | |
| 4 (赤色土) | |
| 焼土(灰含) | |



第487図 H270号・H271号住居址実測図



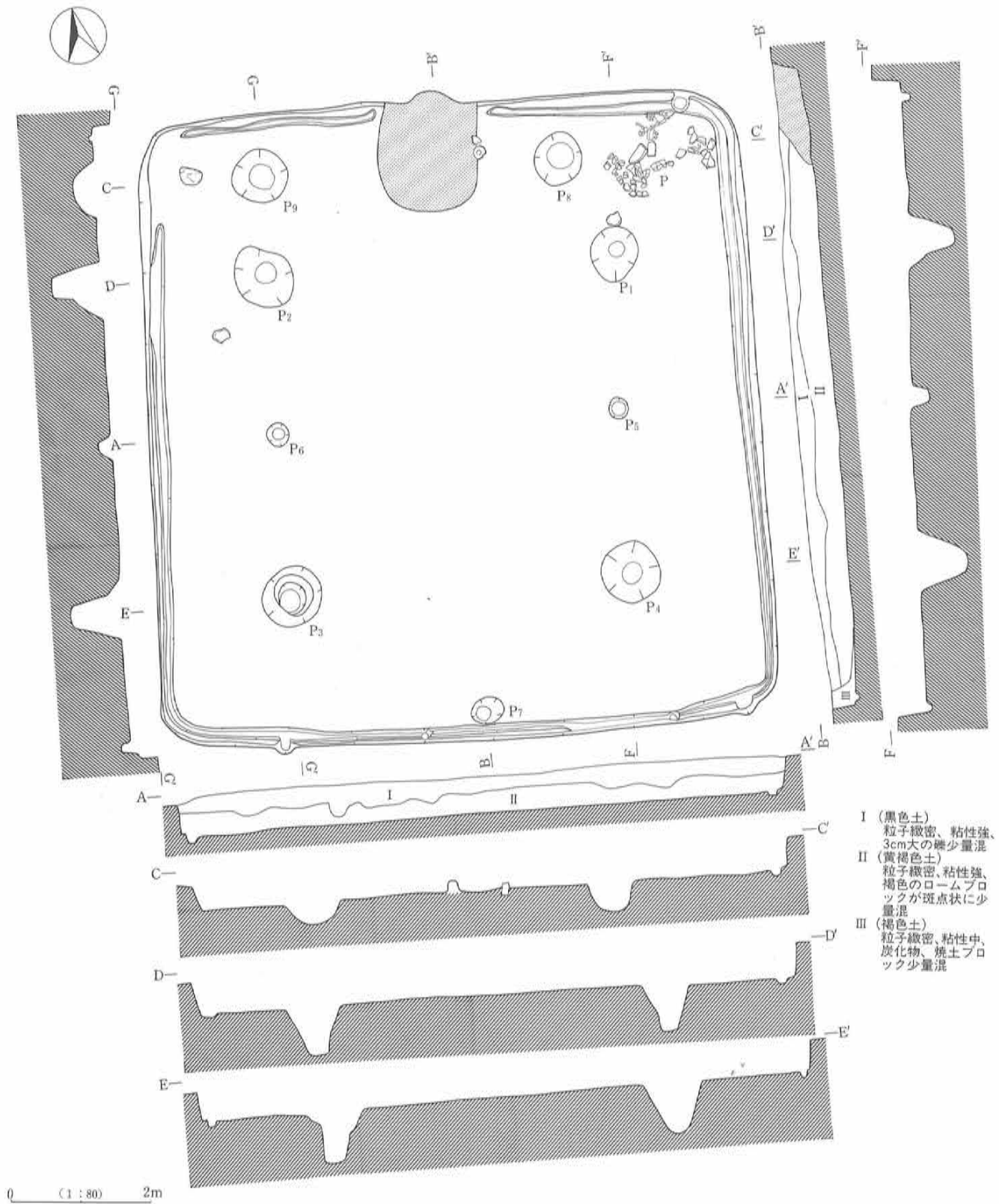
- 1 (赤色土) 焼土5mm大斑点状に含
- 2 (褐色土) ローム粒、焼土少量含
- 3 (黒褐色土) 焼土少量含
- 4 (黒色土) 焼土多量含
- 5 (赤色土) 焼土
- 6 (赤黒色土) 焼土、煤付層
- 7 (黒色土) 焼土、煤付層



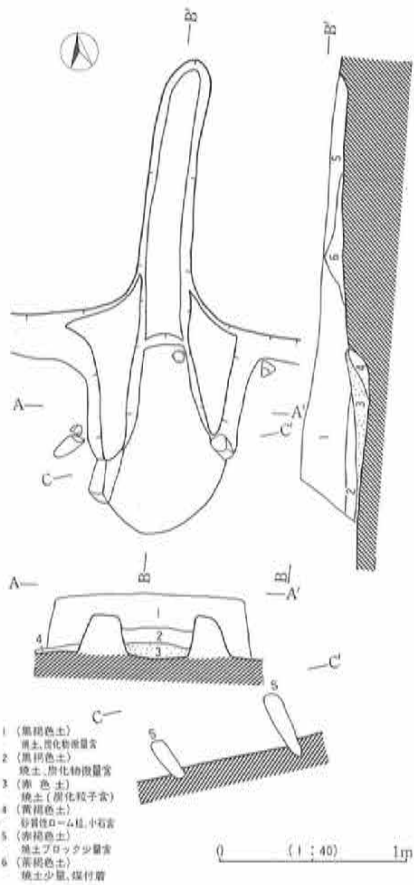
I (黒色土)
粒子緻密、粘性強、小石(5mm大)、ロームブロック少量混

第488図 H271号住居址カマド実測図

第489図 H272号住居址実測図

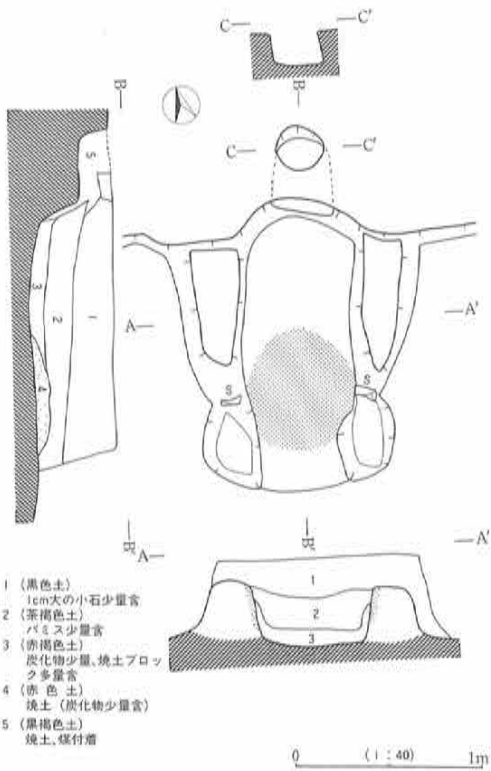
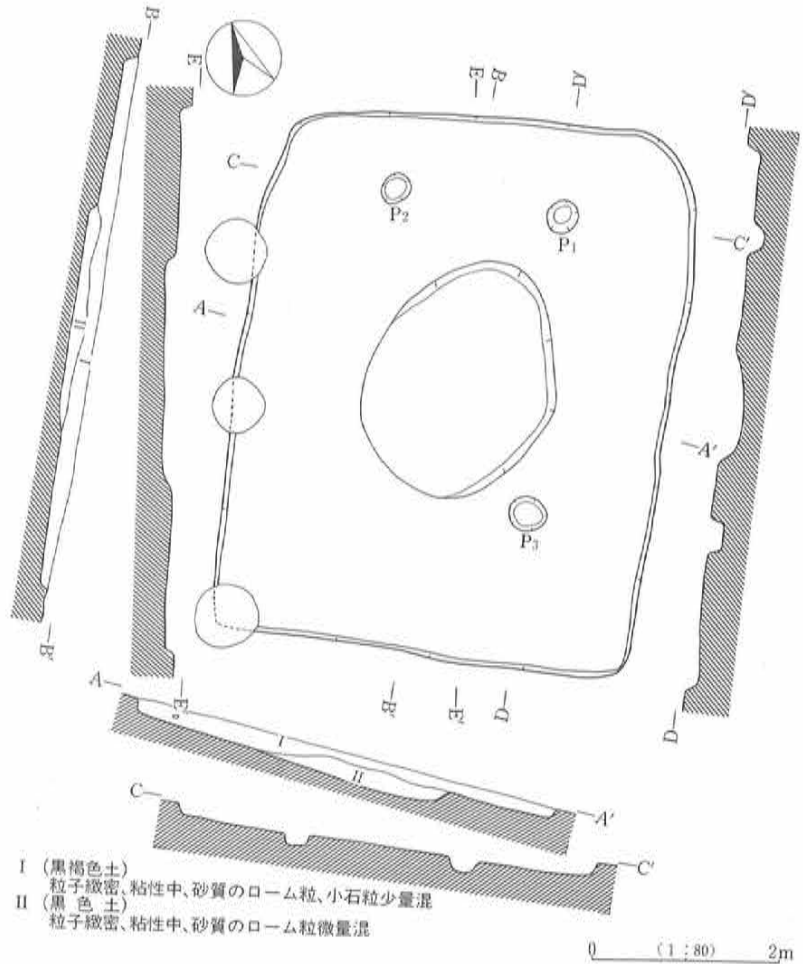


第491図 H273号住居址実測図

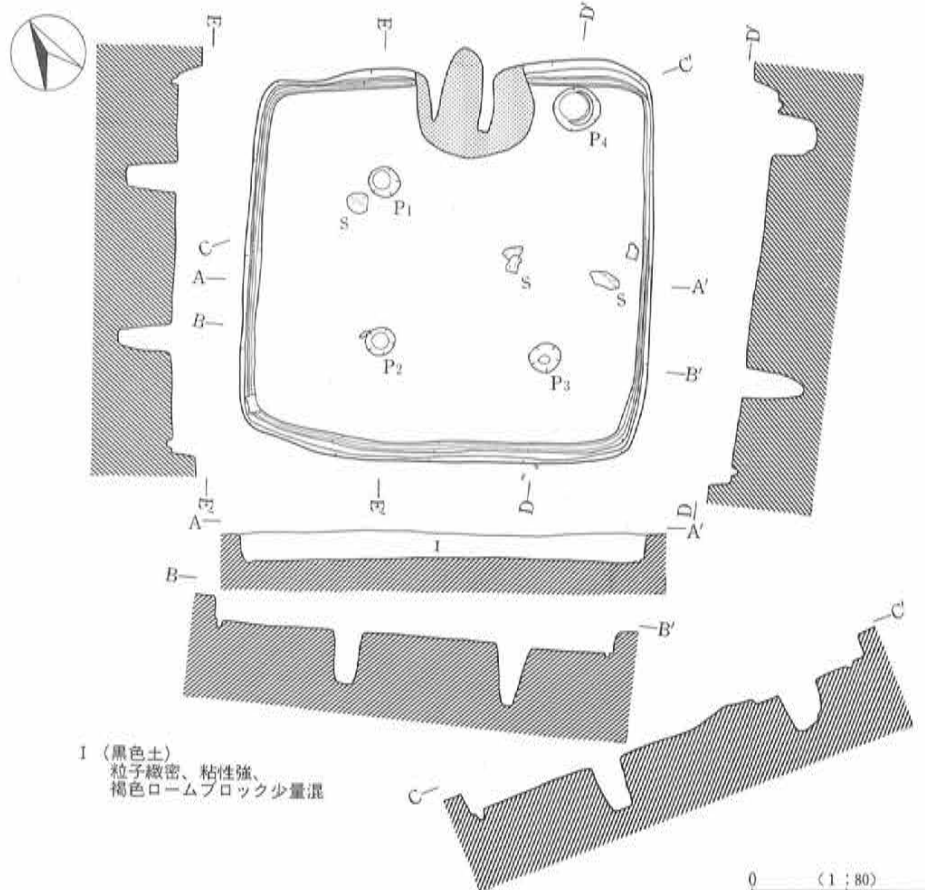


第490図 H272号住居址カマド実測図

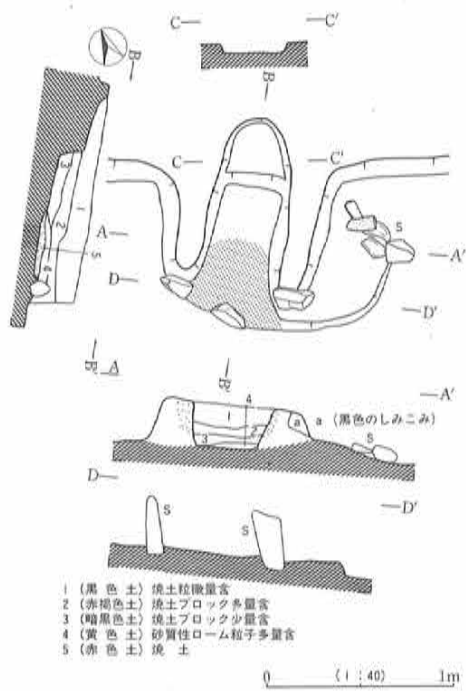
第493図 H274号住居址実測図



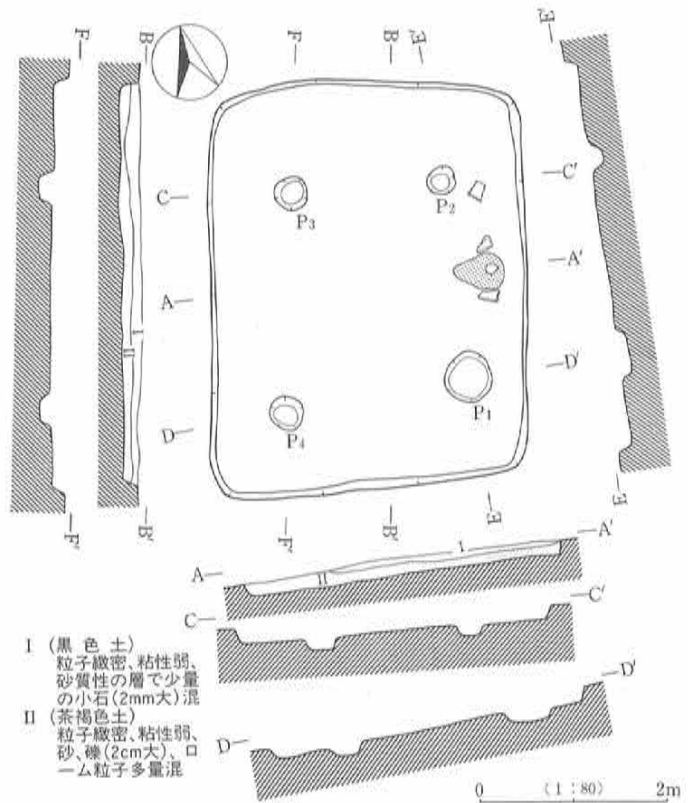
第492図 H273号住居址カマド実測図



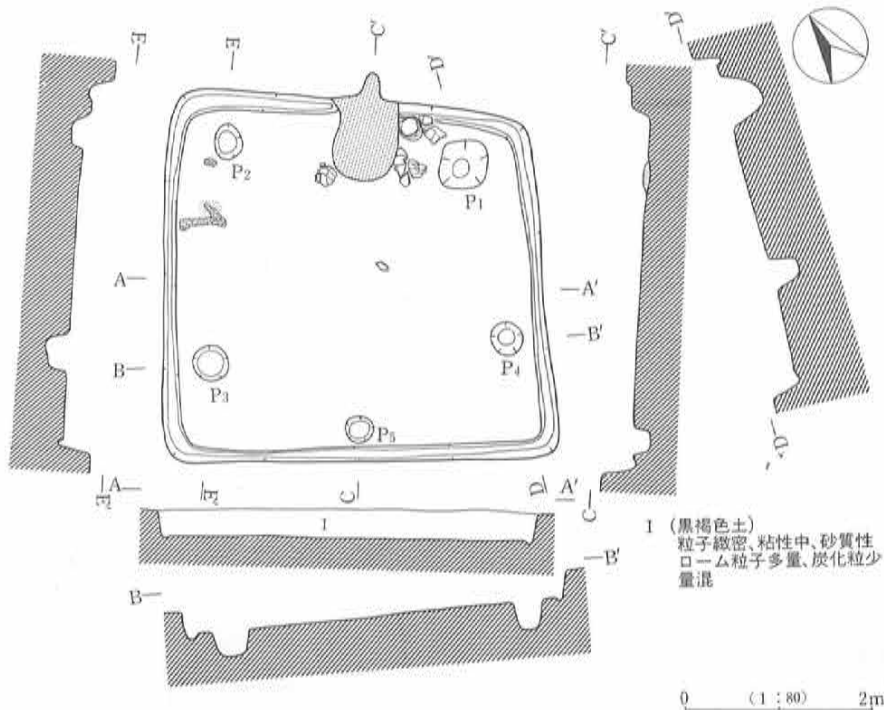
第494図 H275号住居址実測図



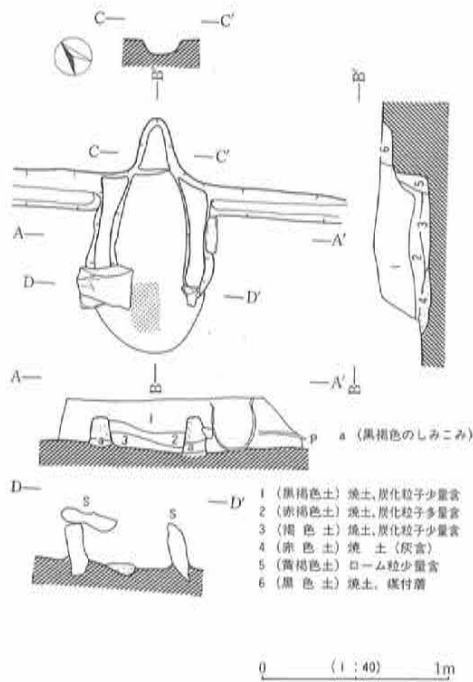
第495図 H275号住居址カマド実測図



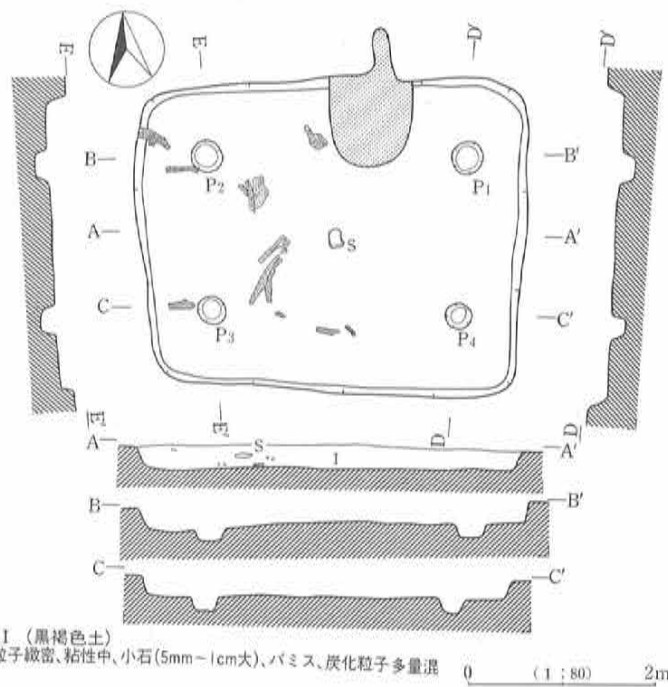
第496図 H276号住居址実測図



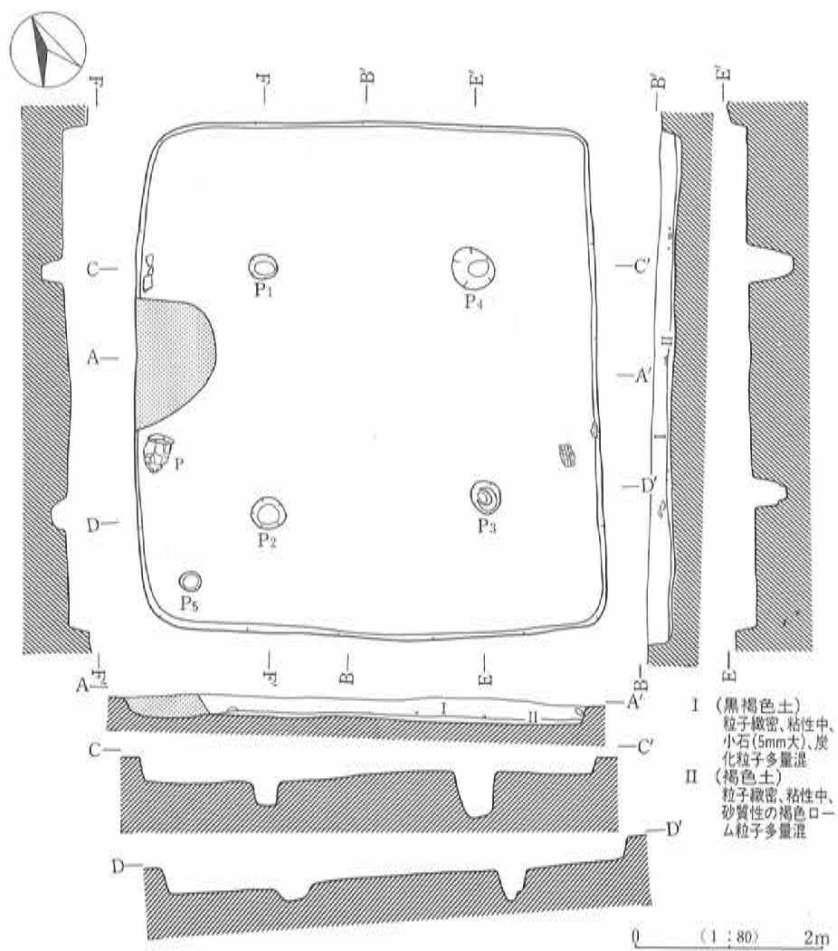
第497図 H277号住居址実測図



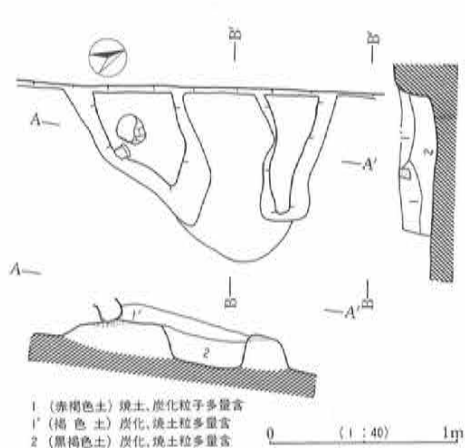
第498図 H 277号住居址カマド実測図



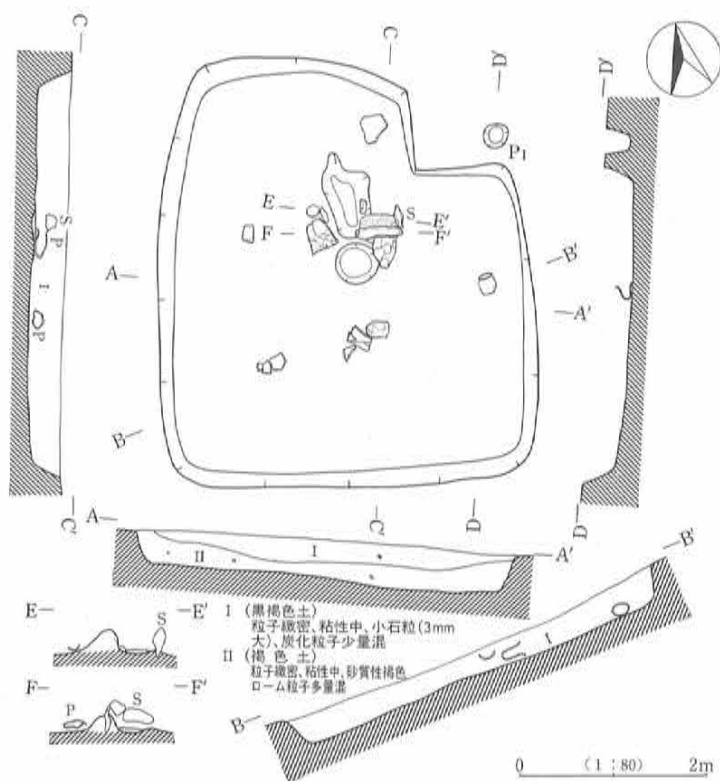
第499図 H 278号住居址実測図



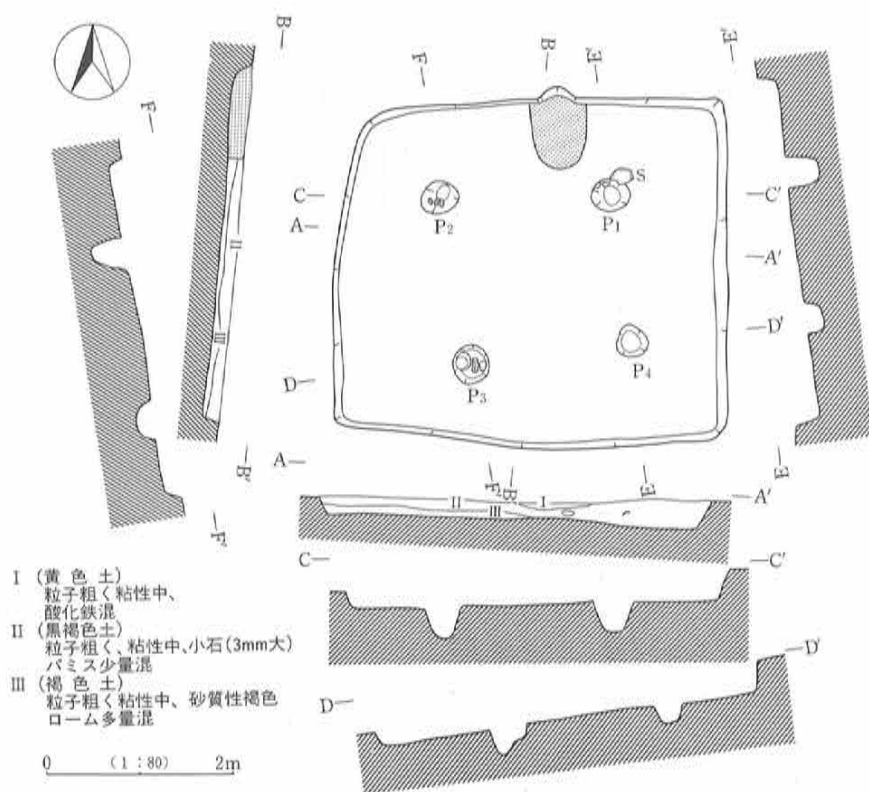
第500図 H 279号住居址実測図



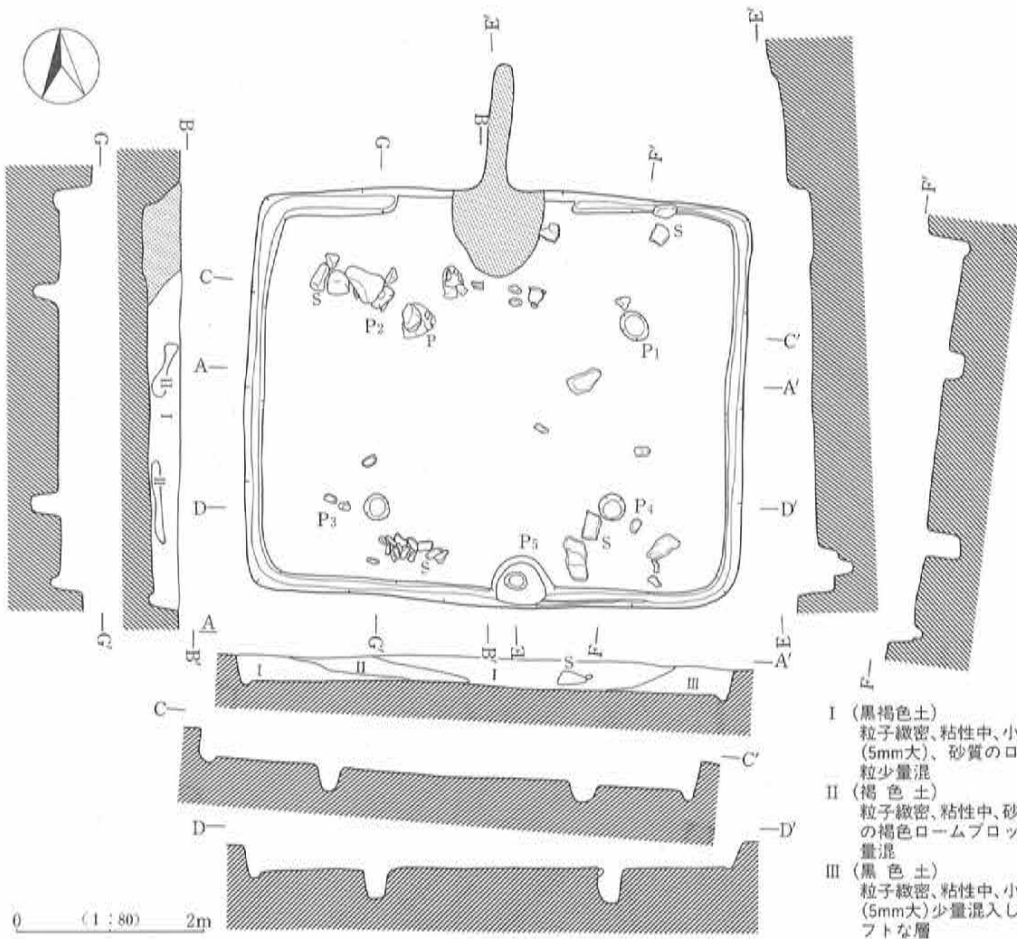
第501図 H279号住居址カマド実測図



第503図 H281号住居址実測図



第502図 H280号住居址実測図

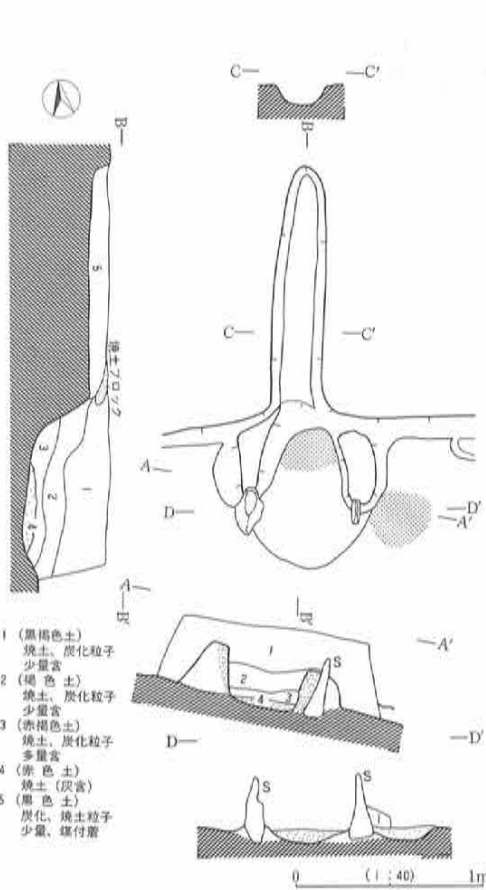


第504図 H282号
住居址実測図

I (黒褐色土)
粒子緻密、粘性中、小石粒
(5mm大)、砂質のローム
粒少量混

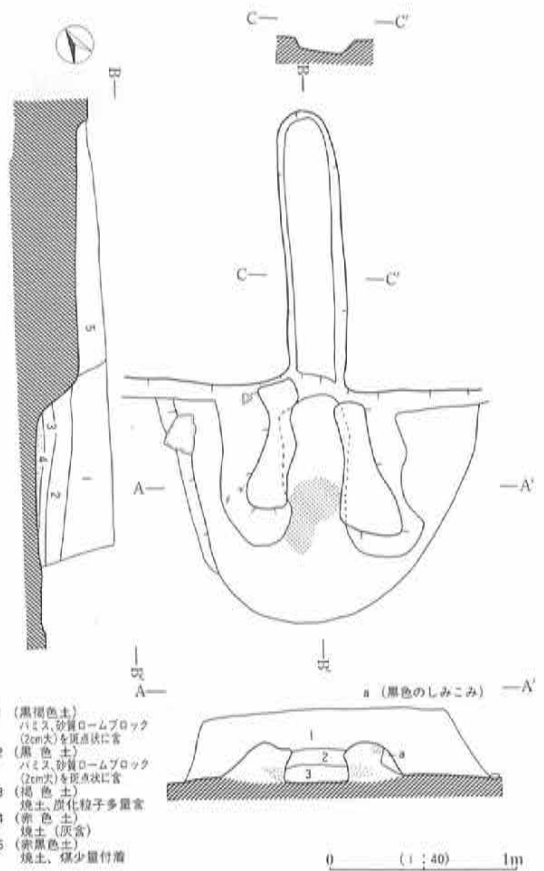
II (褐色土)
粒子緻密、粘性中、砂質性
の褐色ロームブロック少
量混

III (黒色土)
粒子緻密、粘性中、小石粒
(5mm大)少量混入し、ソ
フトな層



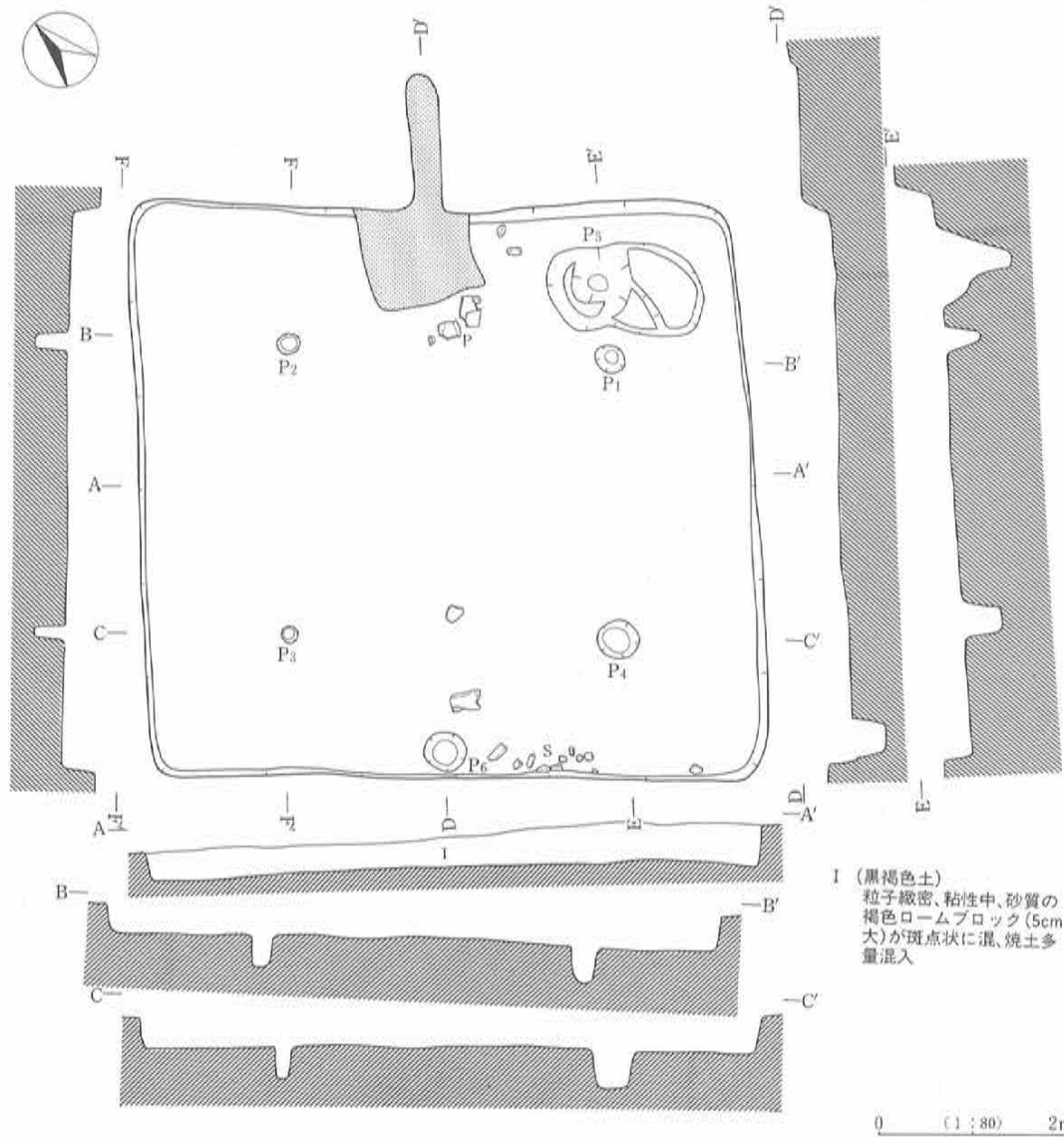
第505図 H282号
住居址カマド実測図

- 1 (黒褐色土)
焼土、炭化粒子
少量混
- 2 (褐色土)
焼土、炭化粒子
少量混
- 3 (赤褐色土)
焼土、炭化粒子
多量混
- 4 (赤色土)
焼土(灰赤)
- 5 (黒色土)
炭化、焼土粒子
少量、煤付層

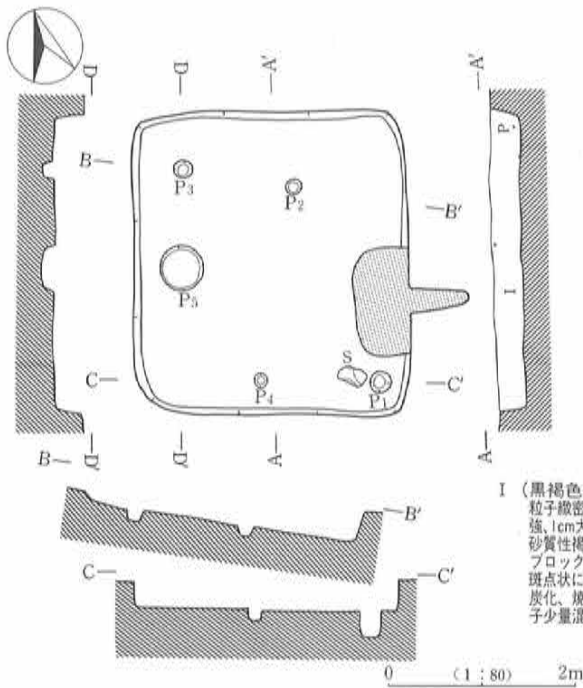


第507図 H283号住居址カマド実測図

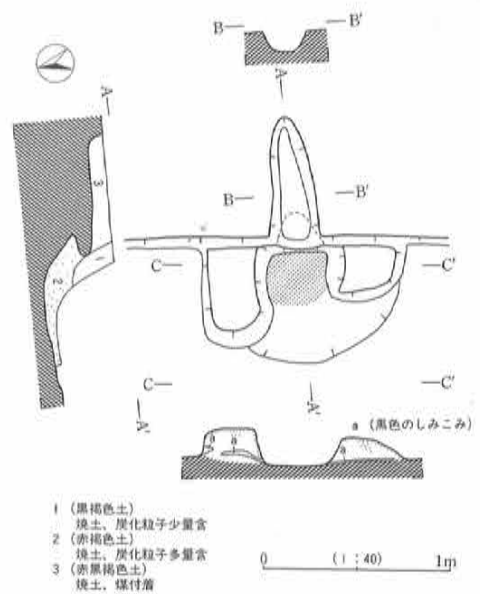
- 1 (黒褐色土)
パミス、砂質ロームブロック
(2cm大)を頂点状に含
- 2 (黒色土)
パミス、砂質ロームブロック
(2cm大)を頂点状に含
- 3 (褐色土)
焼土、炭化粒子多量混
- 4 (赤色土)
焼土(灰赤)
- 5 (赤黒色土)
焼土、煤少量付層



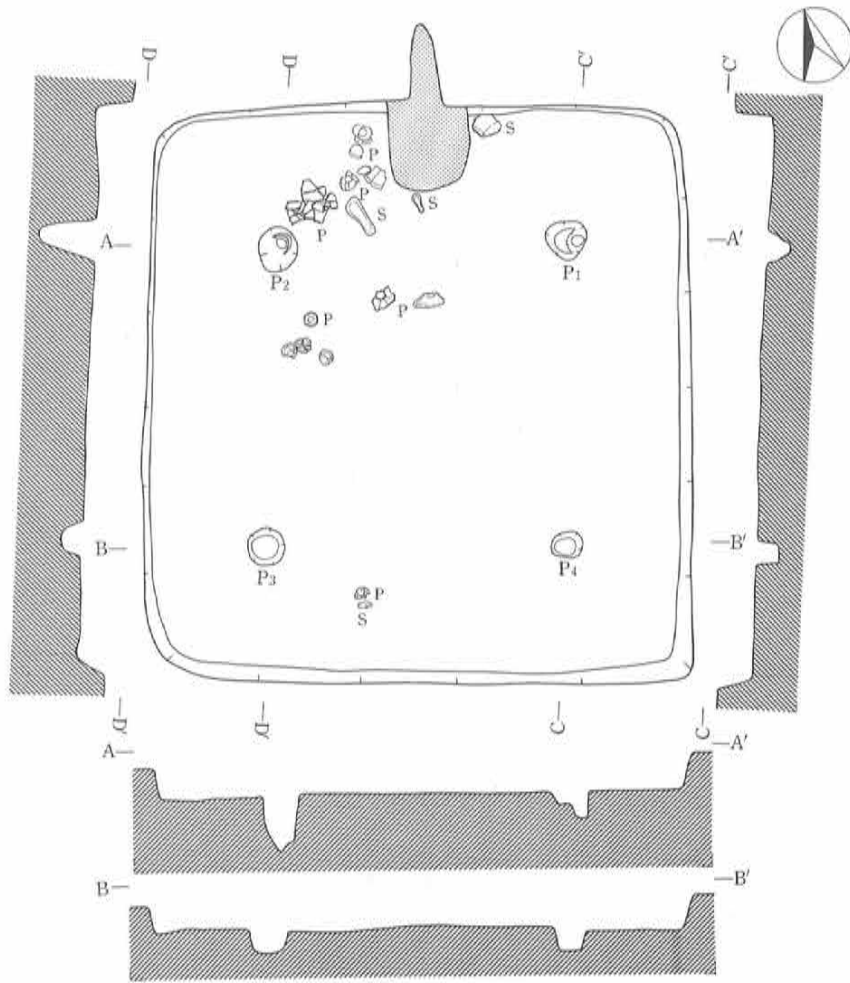
第506図 H 283号住居址実測図



第510図 H 285号住居址実測図

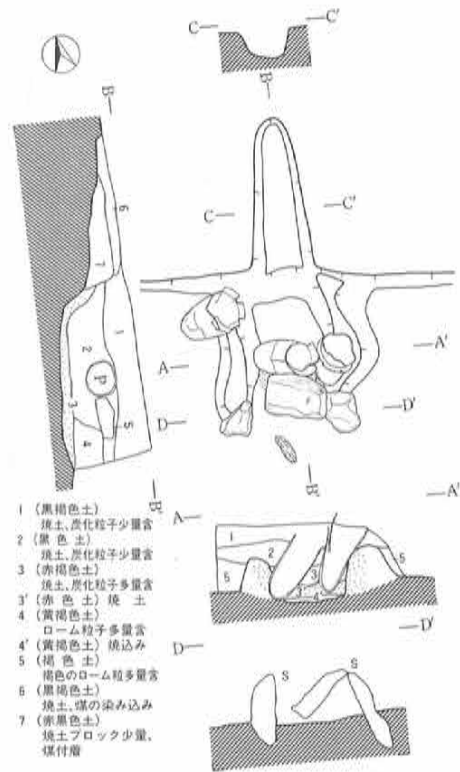


第511図 H 285号住居址カマド実測図



0 (1:80) 2m

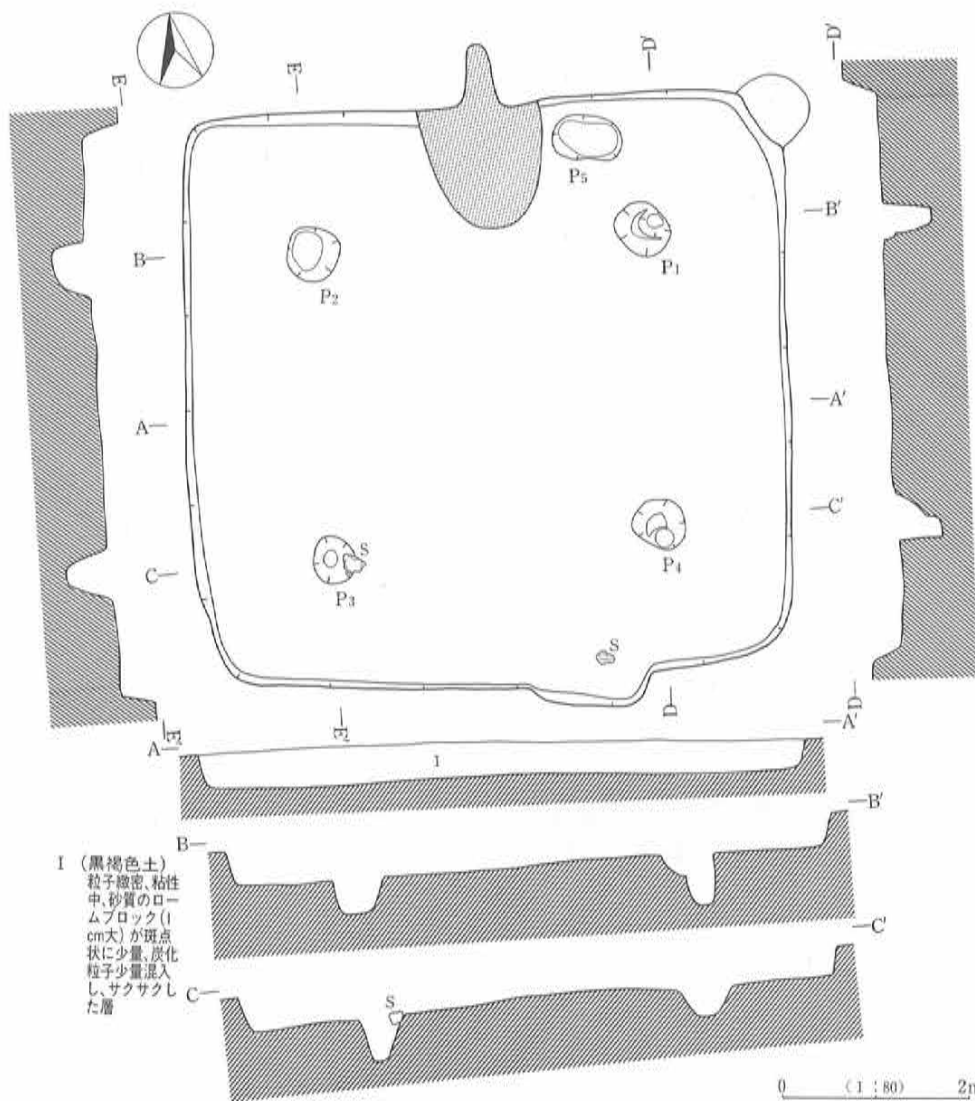
第508図 H284号住居址実測図



- 1 (黒褐色土)
灰土,炭化粒子少量含
- 2 (黒色土)
灰土,炭化粒子少量含
- 3 (赤褐色土)
灰土,炭化粒子多量含
- 3' (赤色土) 焼土
- 4 (黄褐色土)
ローム粒子多量含
- 4' (黄褐色土) 焼込み
- 5 (褐色土)
褐色のローム粒多量含
- 6 (黒褐色土)
焼土,煤の染み込み
- 7 (赤黒色土)
焼土ブロック少量,
煤付層

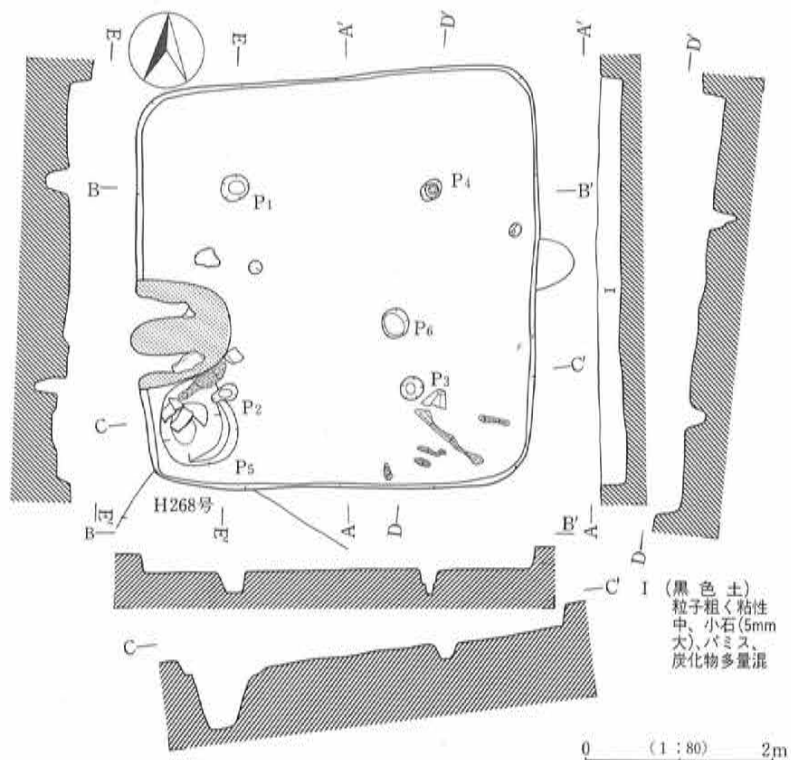
0 (1:40) 1m

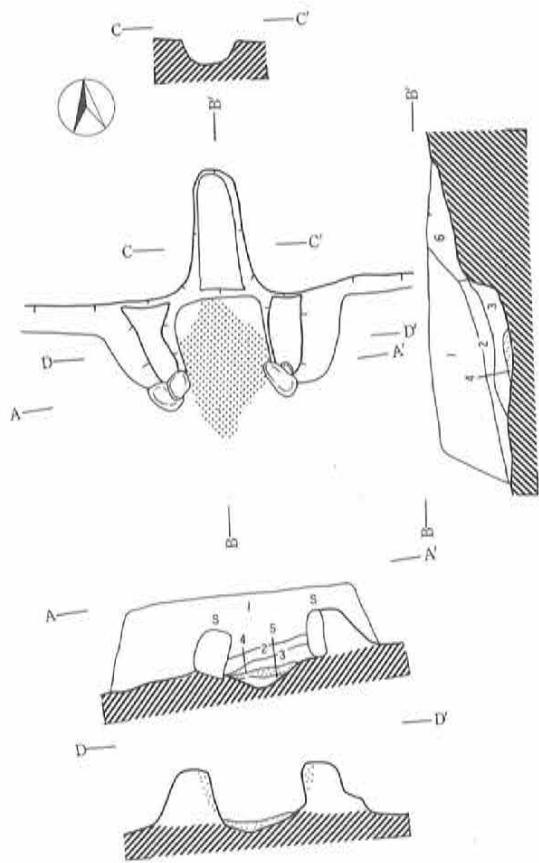
第509図 H284号住居址カマド実測図



第512図 H286号
住居址実測図

第516図 H288号住居址実測図

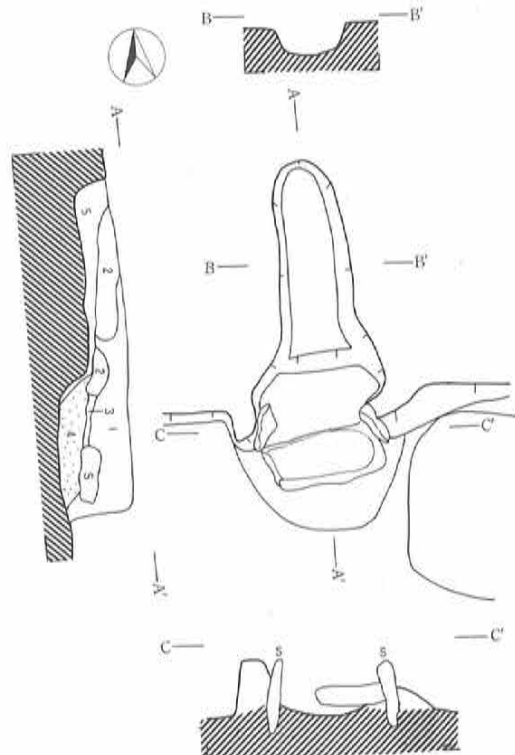




- 1 (黒色土) 炭化、焼土粒子少量含
- 2 (黒褐色土) 炭化、焼土粒子少量含
- 3 (赤褐色土) 焼土、炭化ブロックが多量含
- 4 (赤色土) 焼土(灰含)
- 5 (赤褐色土) やけこみ
- 6 (褐色土) 焼土ブロック多量含

0 (1:40) 1m

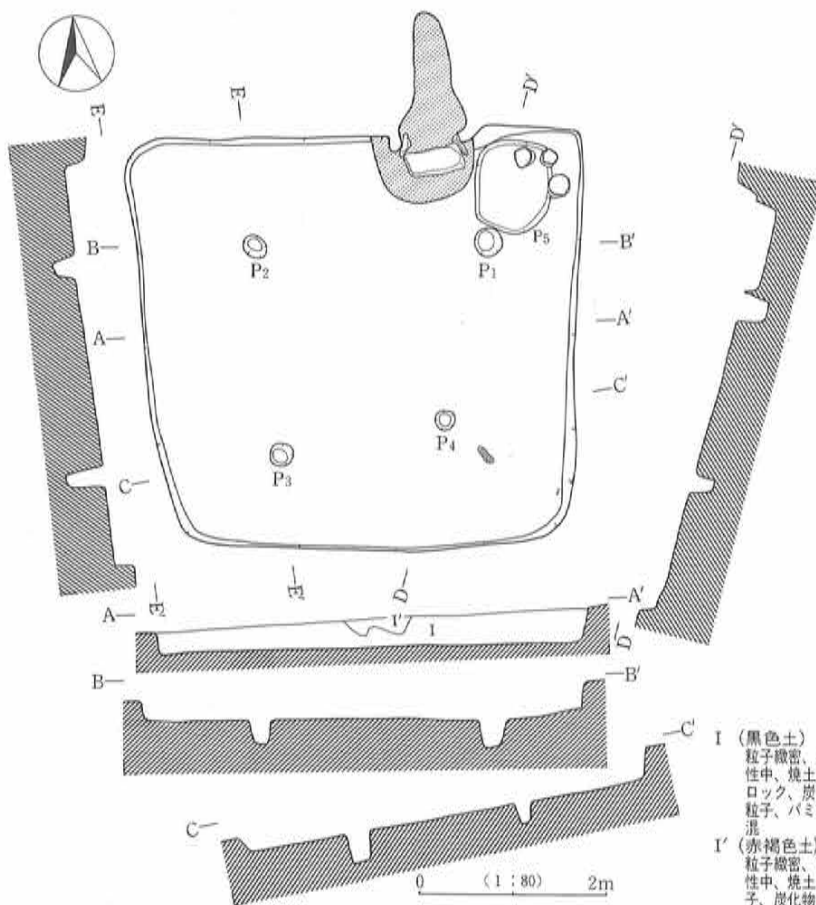
第513図 H286号住居址カマド実測図



- 1 (黒色土) 礫(1cm大)、炭化物、少量含
- 2 (赤褐色土) 焼土ブロック(2cm大)多量含
- 3 (黄褐色土) ローム粒多量含
- 4 (赤色土) 焼土粒多量含
- 5 (茶褐色土) ローム粒少量含

0 (1:40) 1m

第515図 H287号住居址カマド実測図

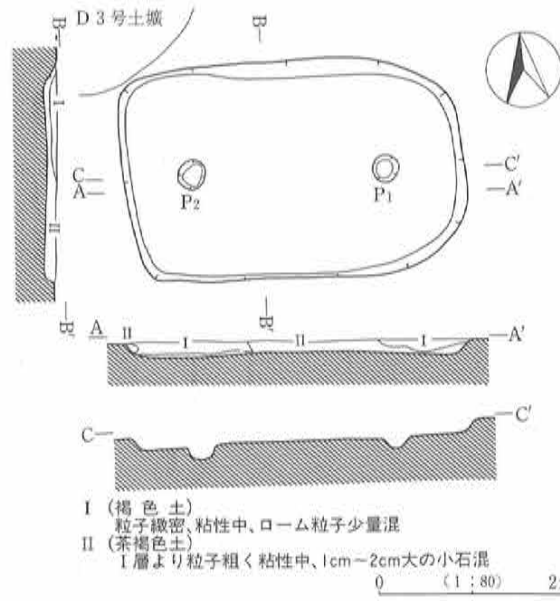


第514図 H287号住居址実測図

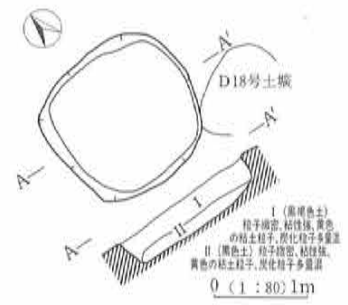
- I (黒色土) 粒子緻密、粘性中、焼土ブロック、炭化粒子、パミス混
- I' (赤褐色土) 粒子緻密、粘性中、焼土粒子、炭化物多量混

0 (1:80) 2m

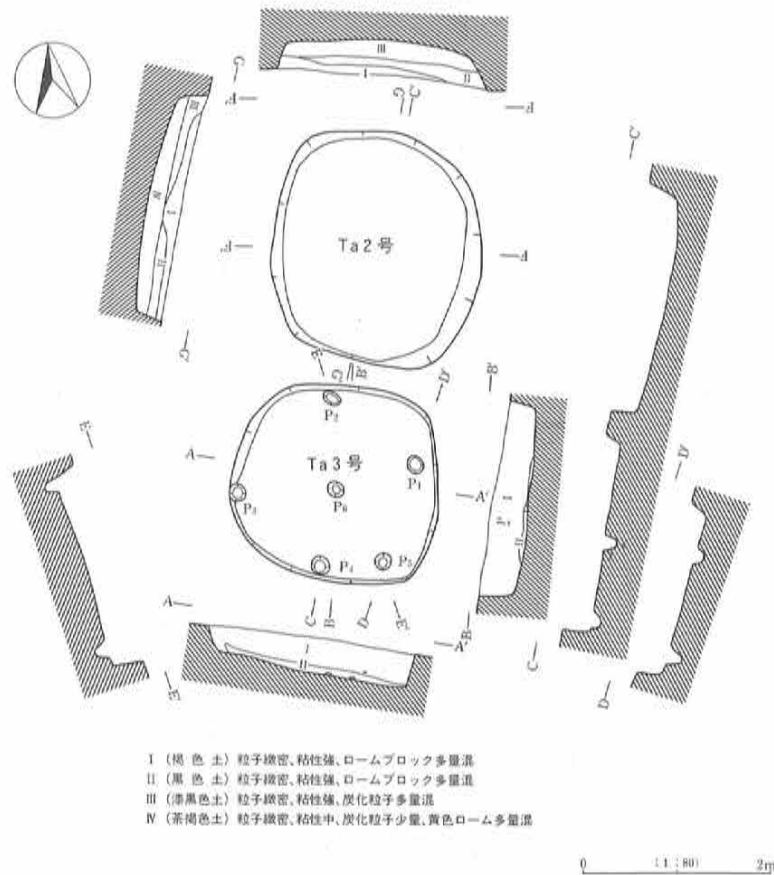
3 竖穴状遺構



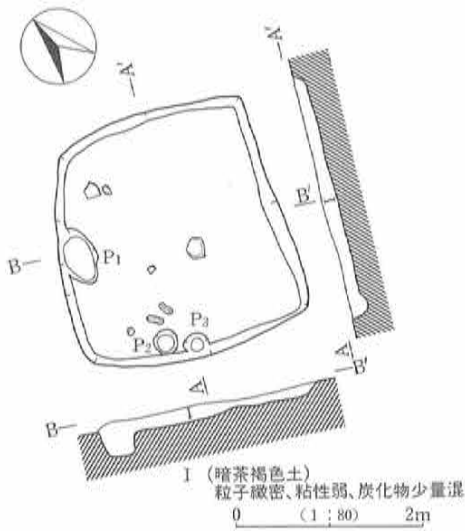
第517図 Ta1 竖穴状遺構実測図



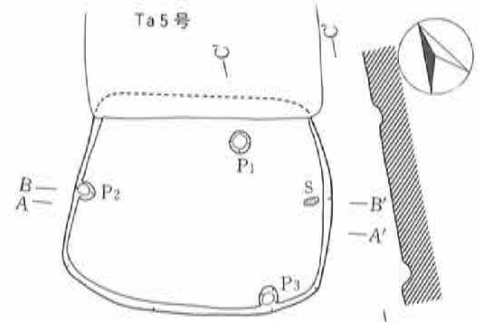
第519図 Ta4 竖穴状遺構実測図



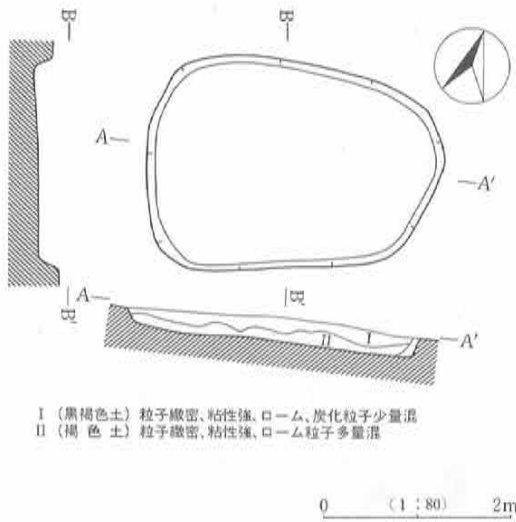
第518図 Ta2・3 竖穴状遺構実測図



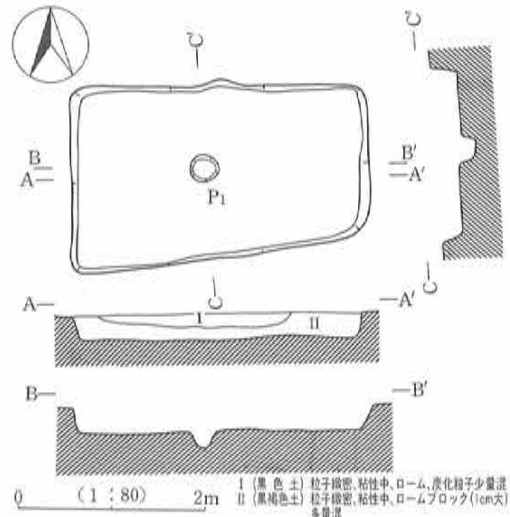
第520図 Ta 5
竪穴状遺構実測図



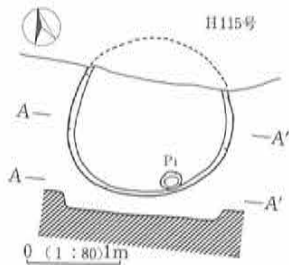
第521図 Ta 6
竪穴状遺構実測図



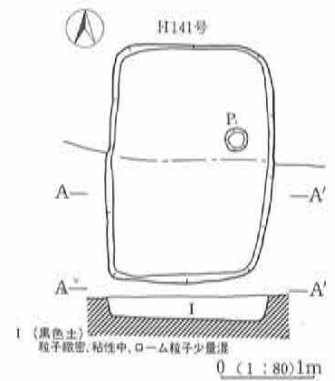
第522図 Ta 7 竪穴状遺構実測図



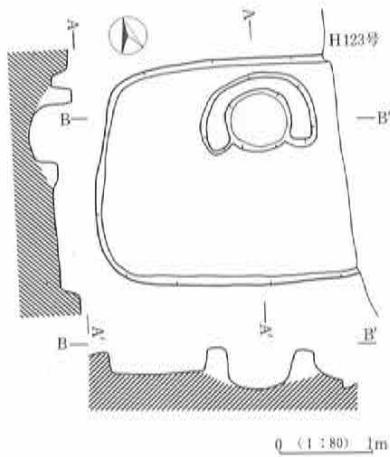
第524図 Ta 9 竪穴状遺構実測図



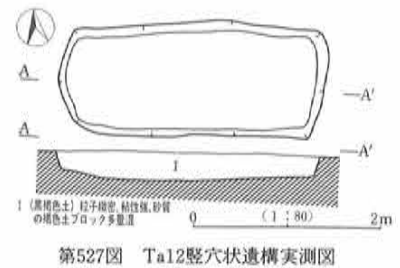
第523図 Ta 8 竪穴状遺構実測図



第525図 Ta10竪穴状遺構実測図

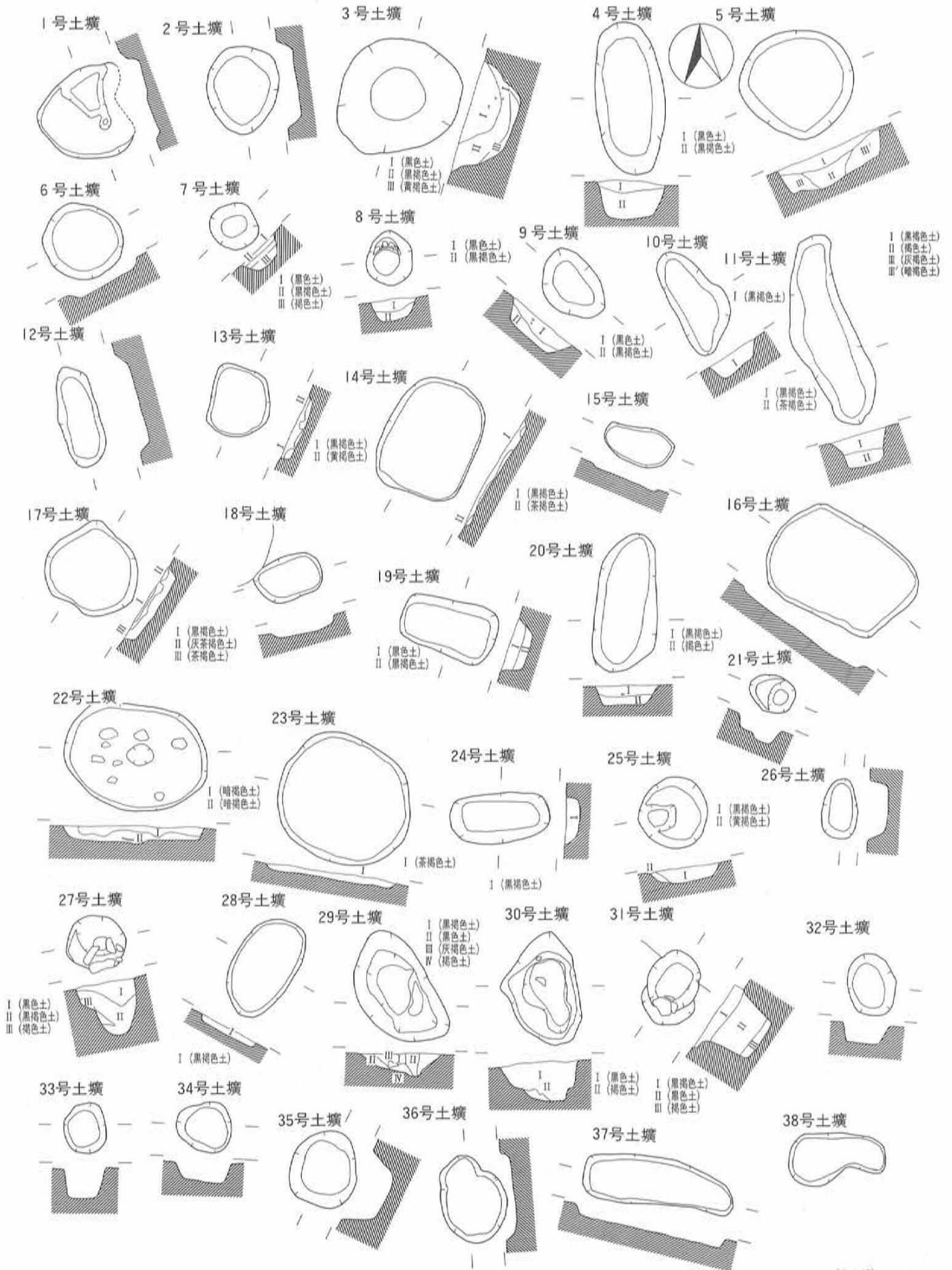


第526図 Ta11竪穴状遺構実測図

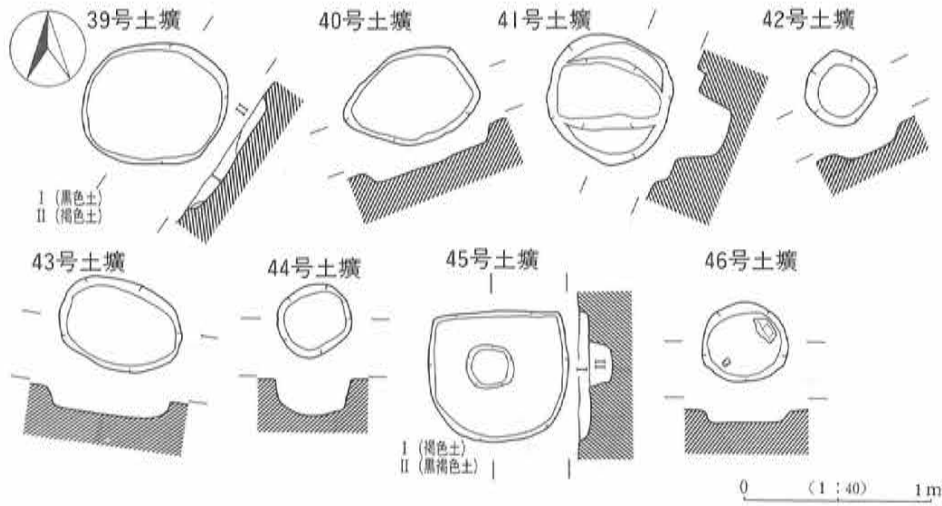


第527図 Ta12竪穴状遺構実測図

4 土壤

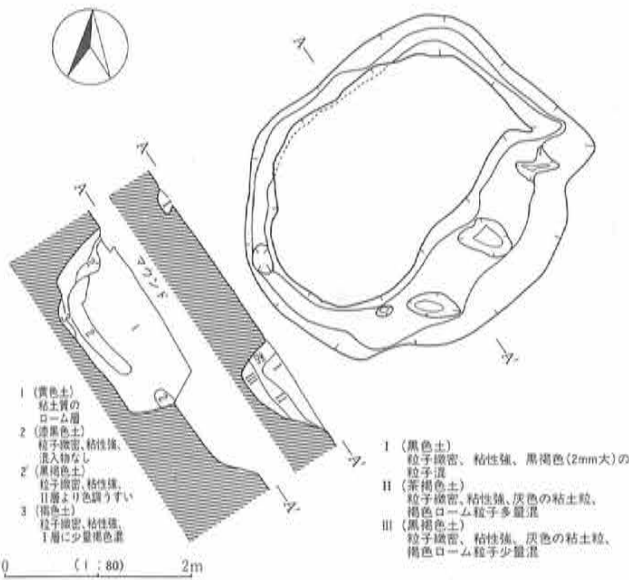


第528图 D1号土壤~D38号土壤实测图

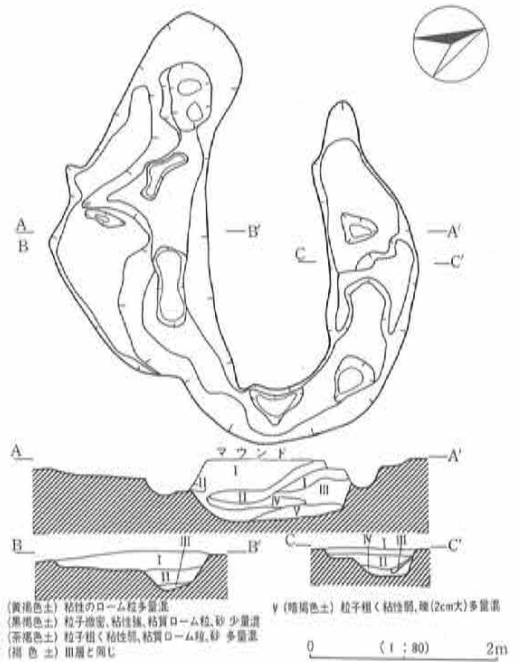


第529図 D39号土墳～D46号土墳実測図

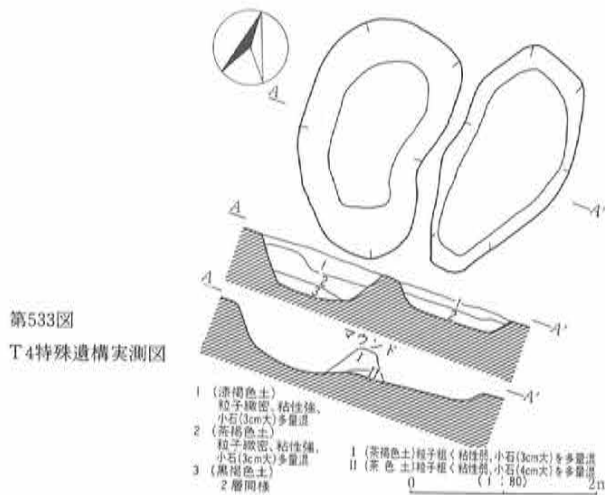
5 特殊遺構



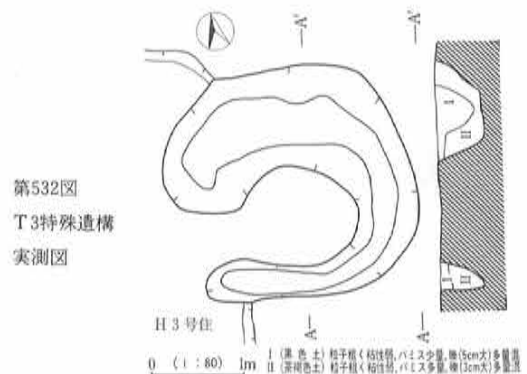
第530図 T1特殊遺構実測図



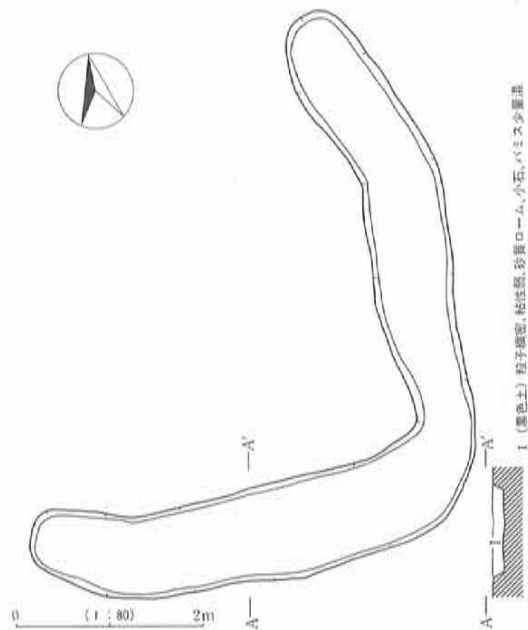
第531図 T2特殊遺構実測図



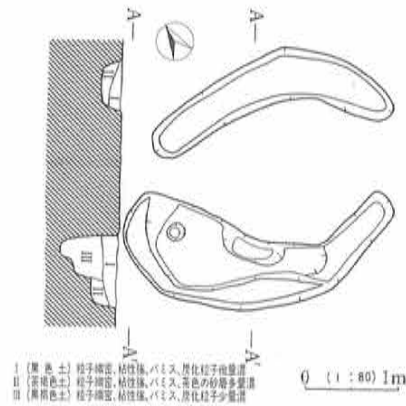
第533図 T4特殊遺構実測図



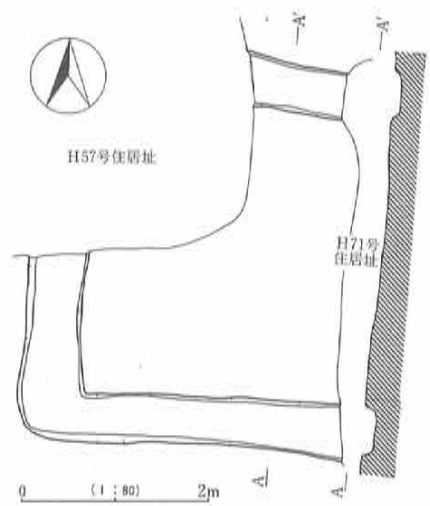
第532図 T3特殊遺構実測図



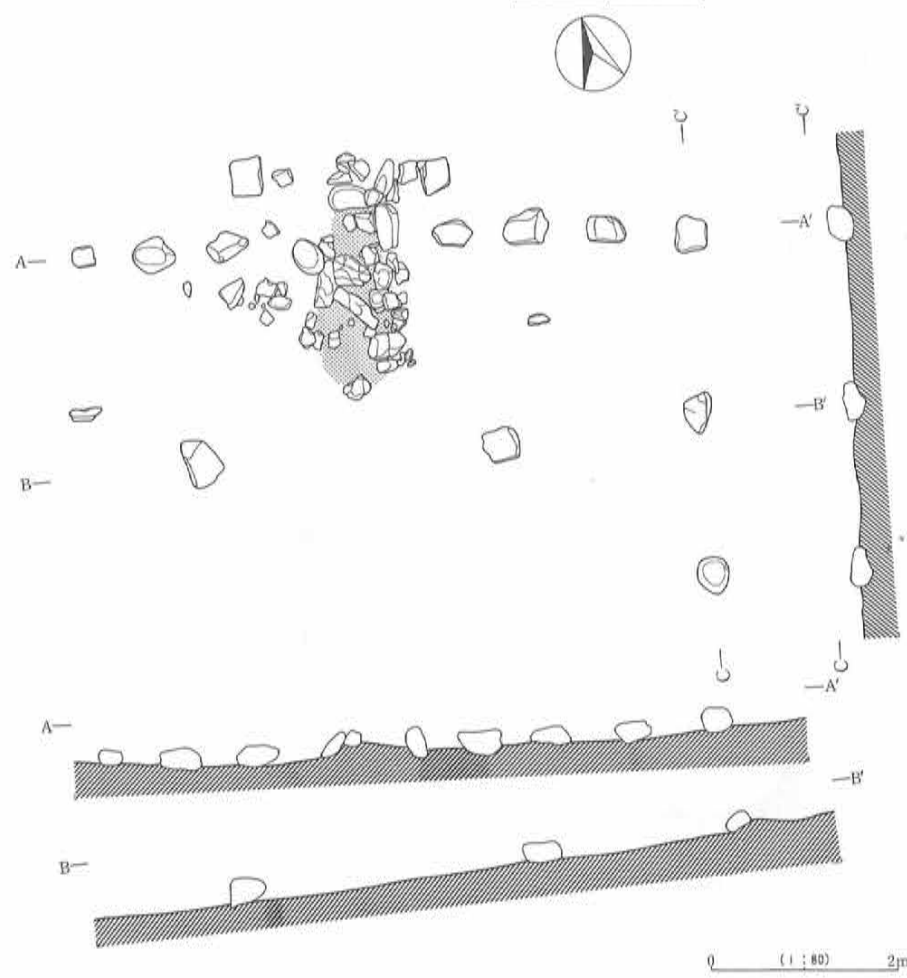
第534図 T5特殊遺構実測図



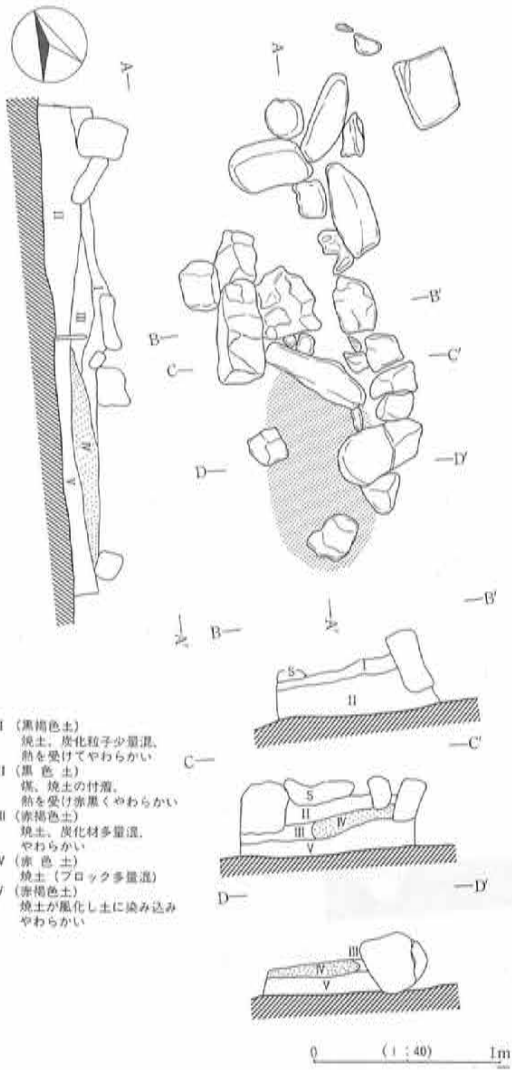
第535図 T6特殊遺構実測図



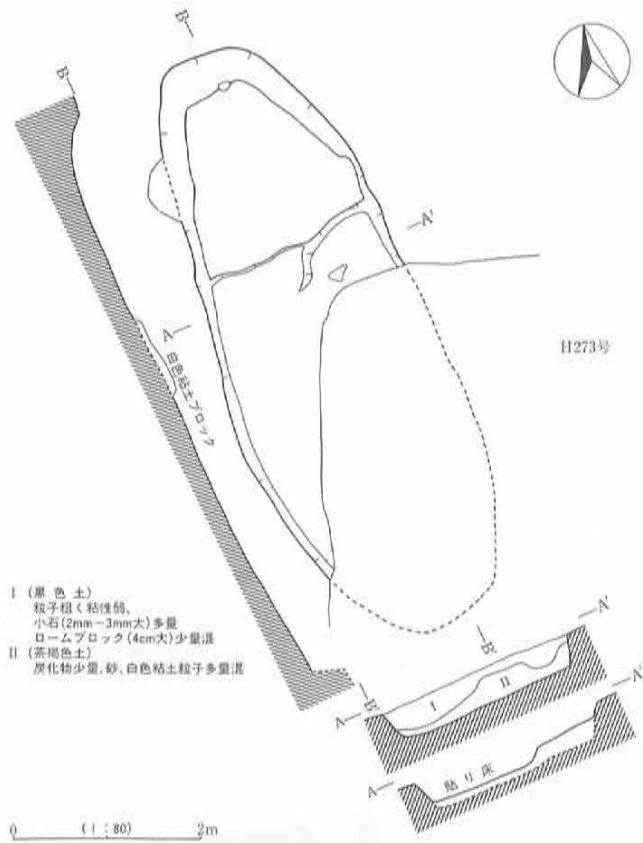
第536図 T7特殊遺構実測図



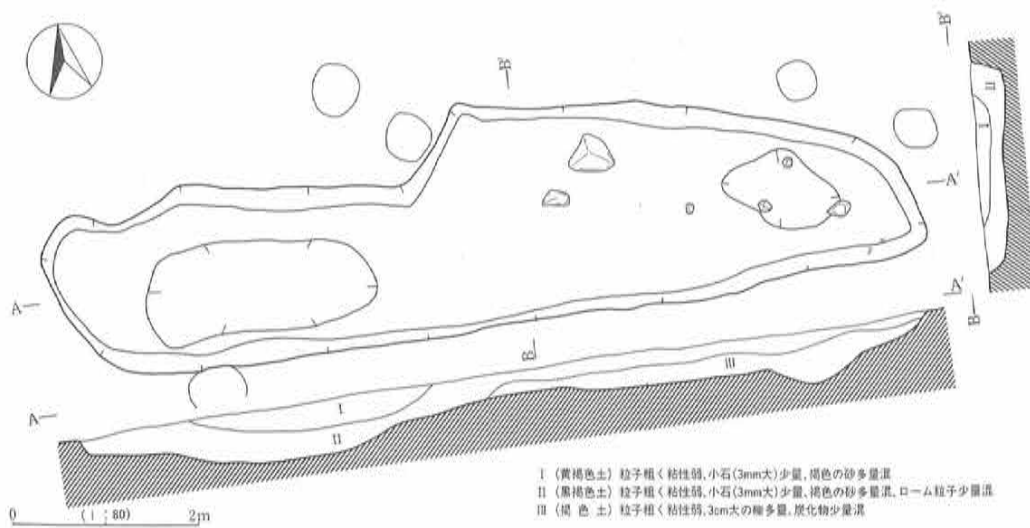
第537図 T8特殊遺構実測図



第538図 T8特殊遺構カマド石組実測図

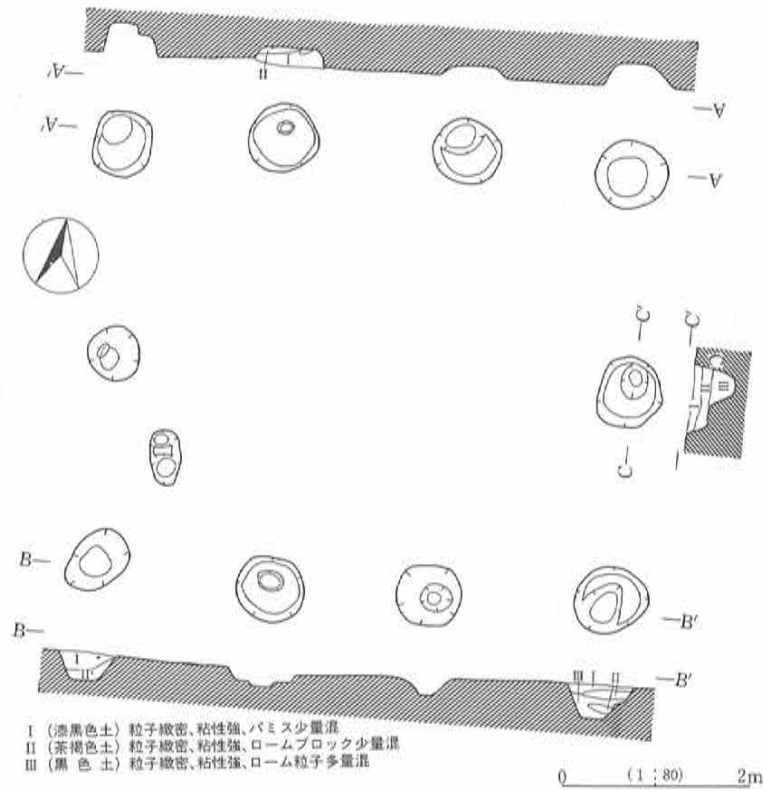


第540図 T10特殊遺構実測図

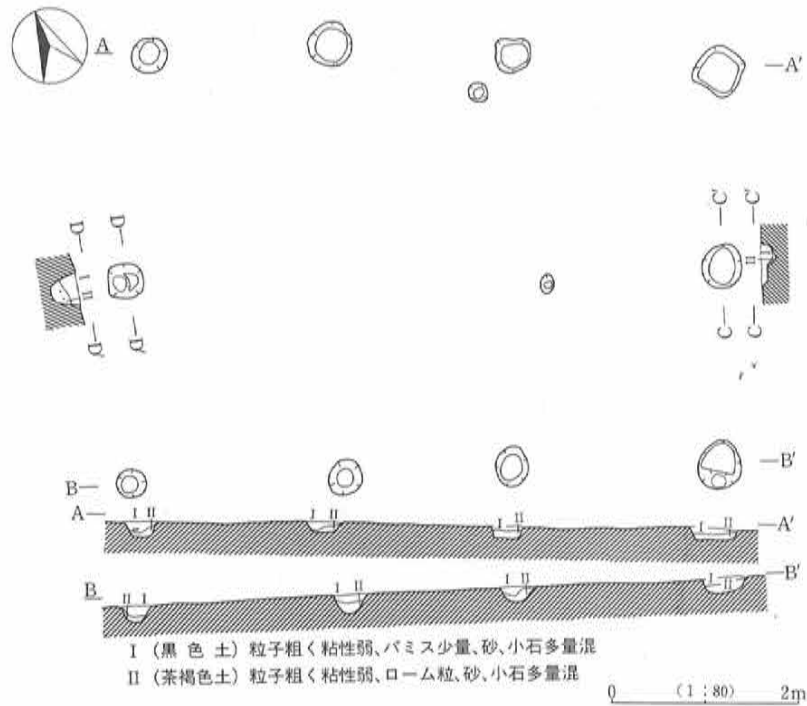


第539図 T9特殊遺構実測図

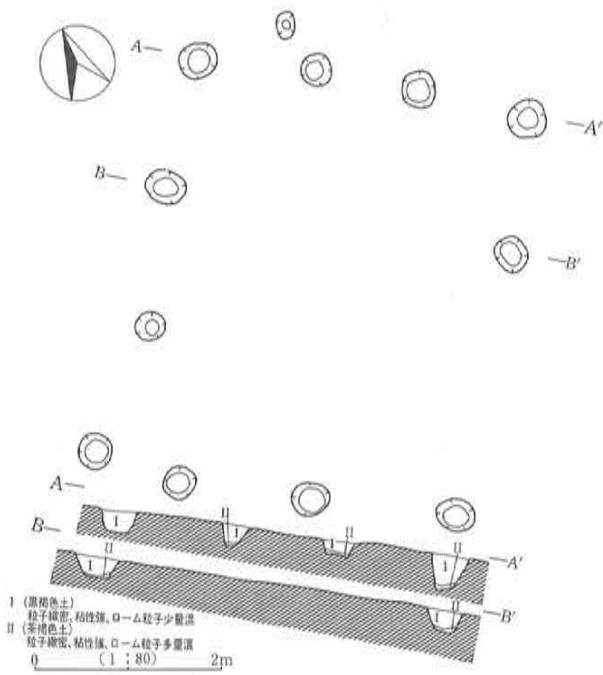
6 掘立柱建物址



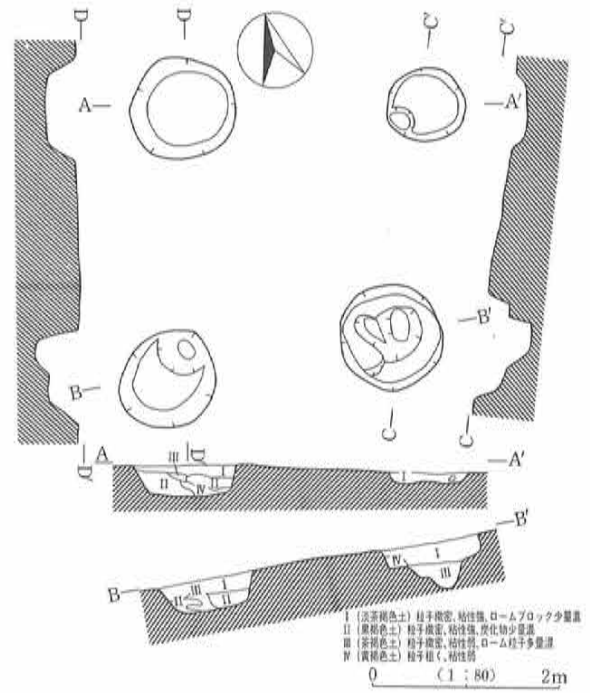
第541図 Ho 1 掘立柱建物址実測図



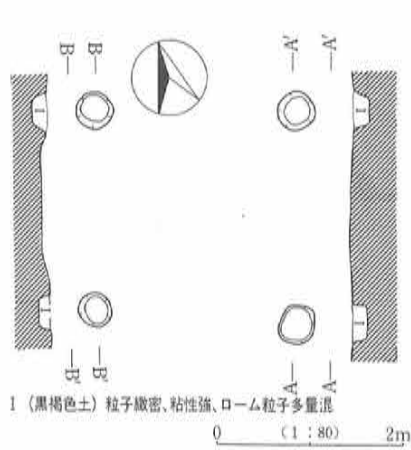
第542図 Ho 2 掘立柱建物址実測図



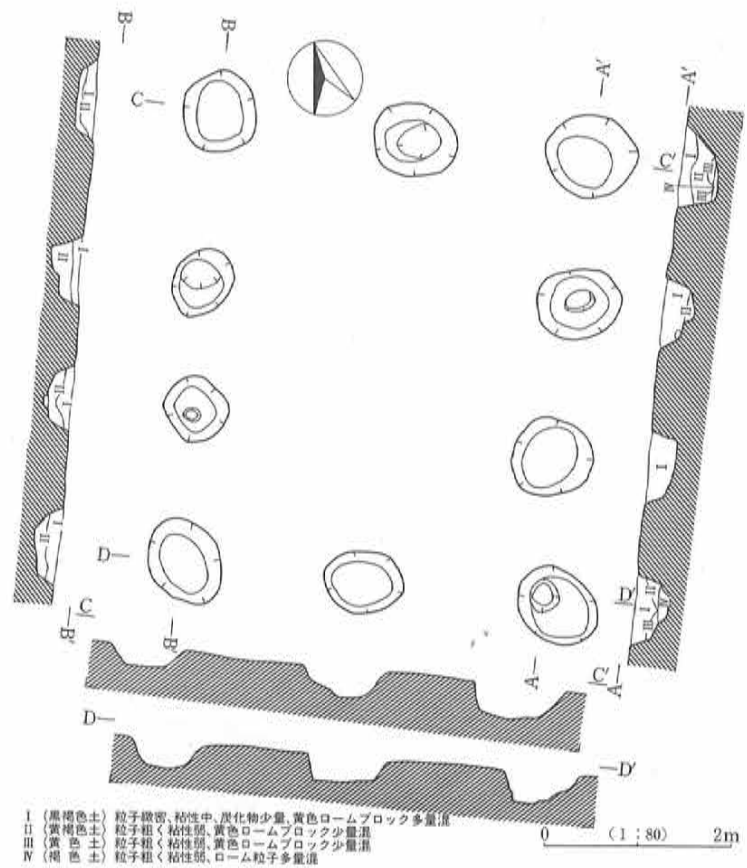
第543図 Ho 3 掘立柱建物址実測図



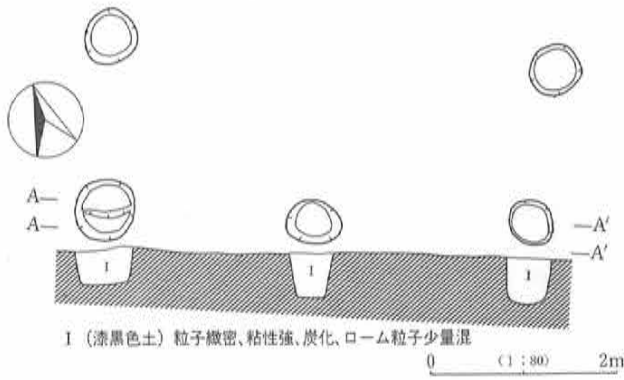
第546図 Ho 6 掘立柱建物址実測図



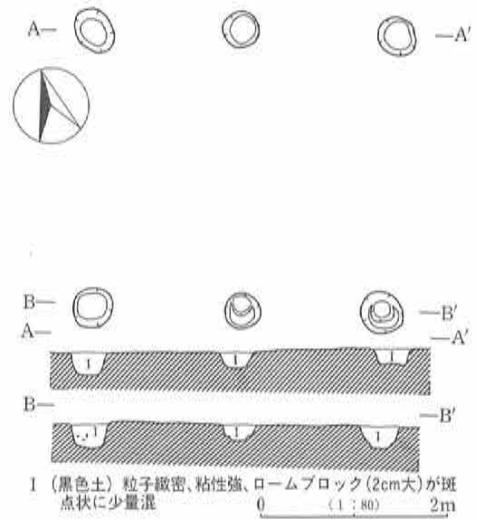
第544図 Ho 4 掘立柱建物址実測図



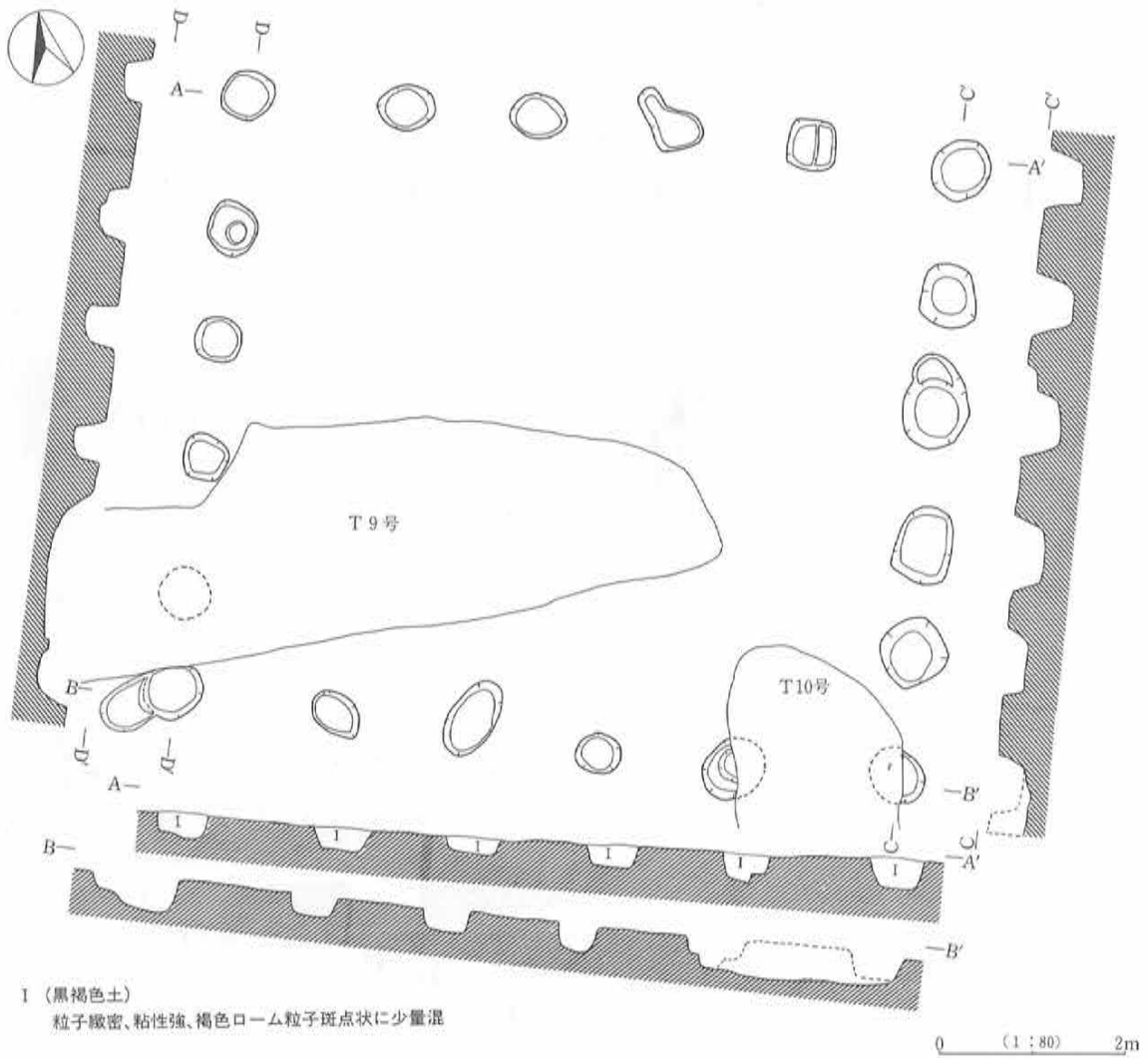
第545図 Ho 5 掘立柱建物址実測図



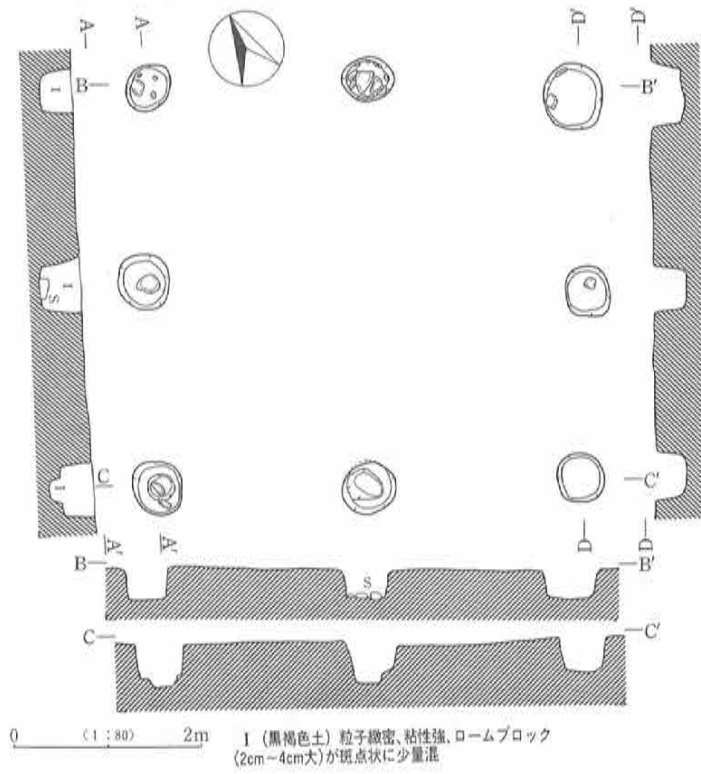
第547図 Ho 7 掘立柱建物址実測図



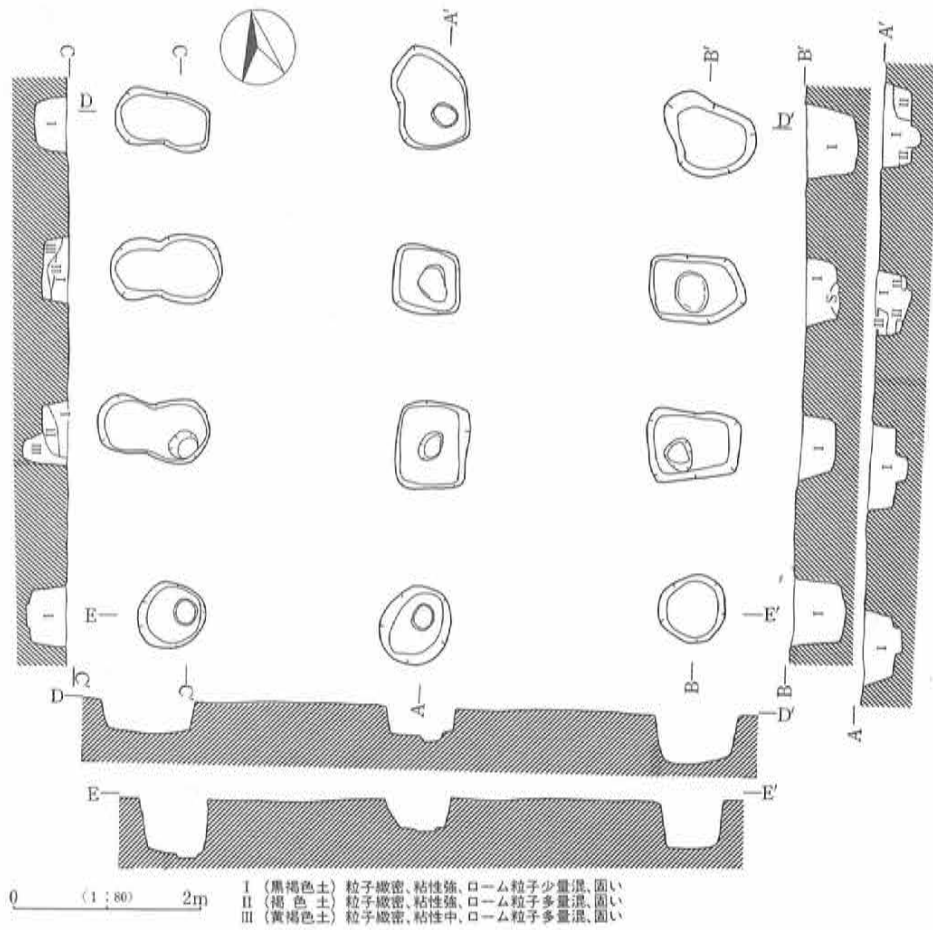
第548図 Ho 8 掘立柱建物址実測図



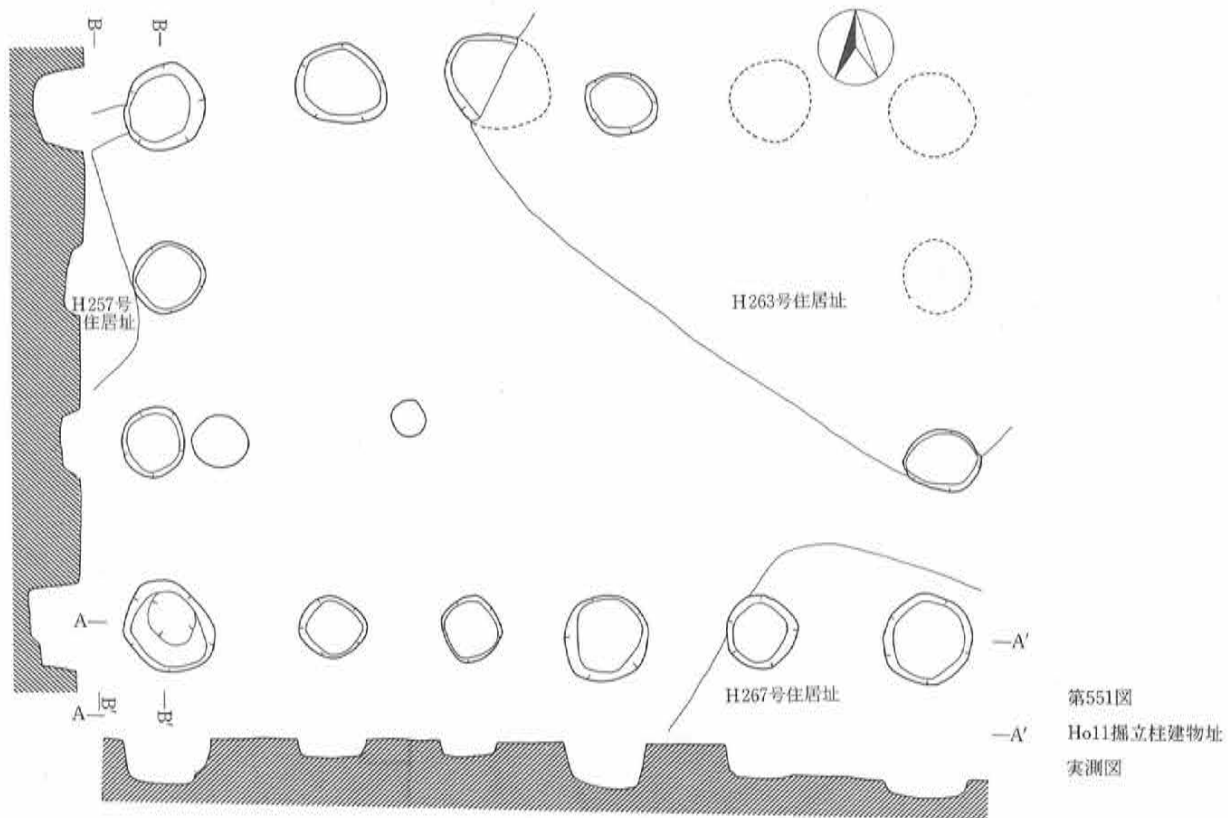
第553図 Ho 13 掘立柱建物址実測図



第549図 Ho 9 掘立柱建物址実測図

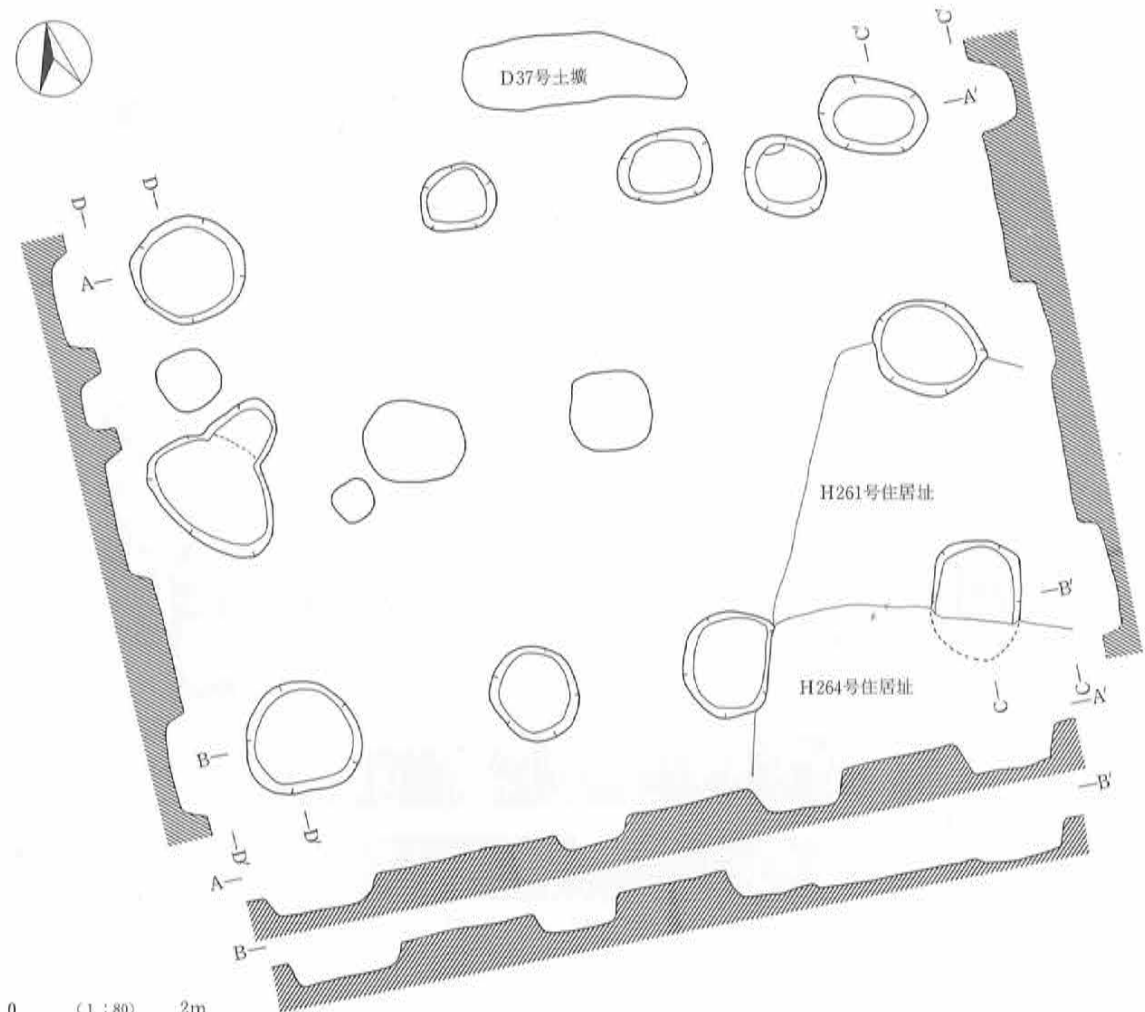


第550図 Ho10掘立柱建物址実測図



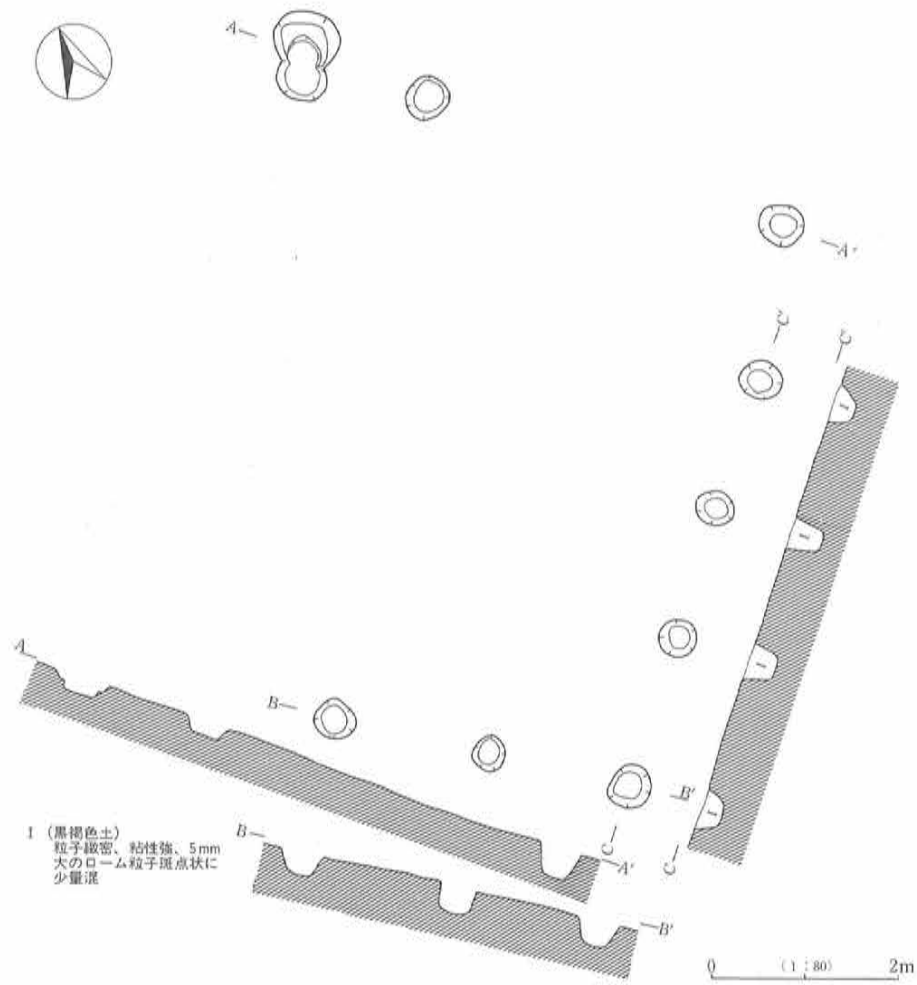
第551图
Ho11掘立柱建物址
实测图

0 (1:80) 2m

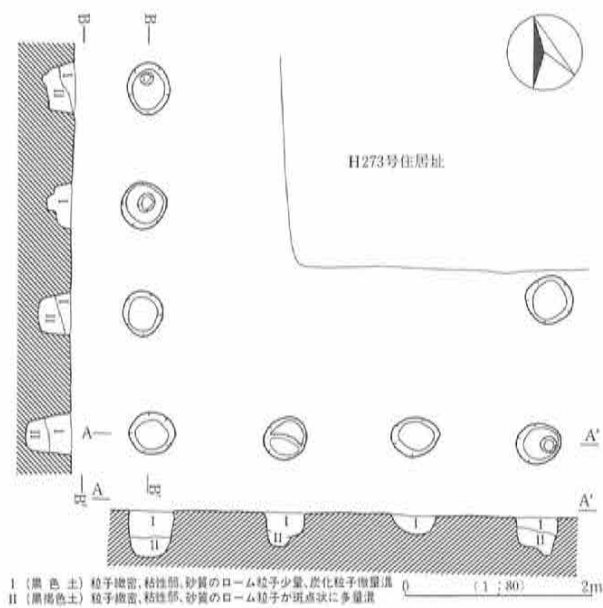


0 (1:80) 2m

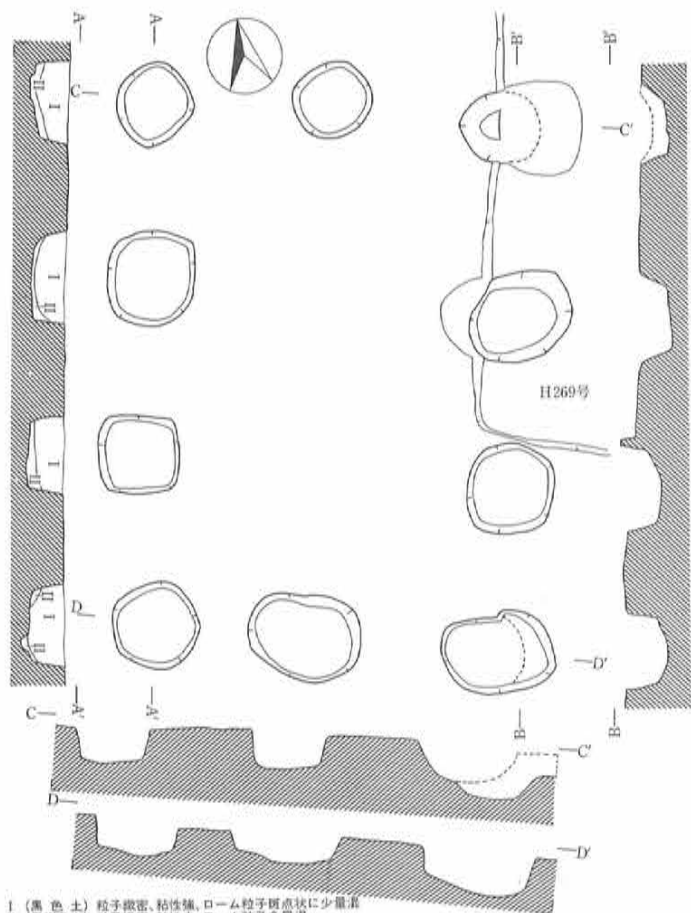
第552图 Ho12掘立柱建物址实测图



第554図 Ho14掘立柱建物址実測図



第555図 Ho15掘立柱建物址実測図

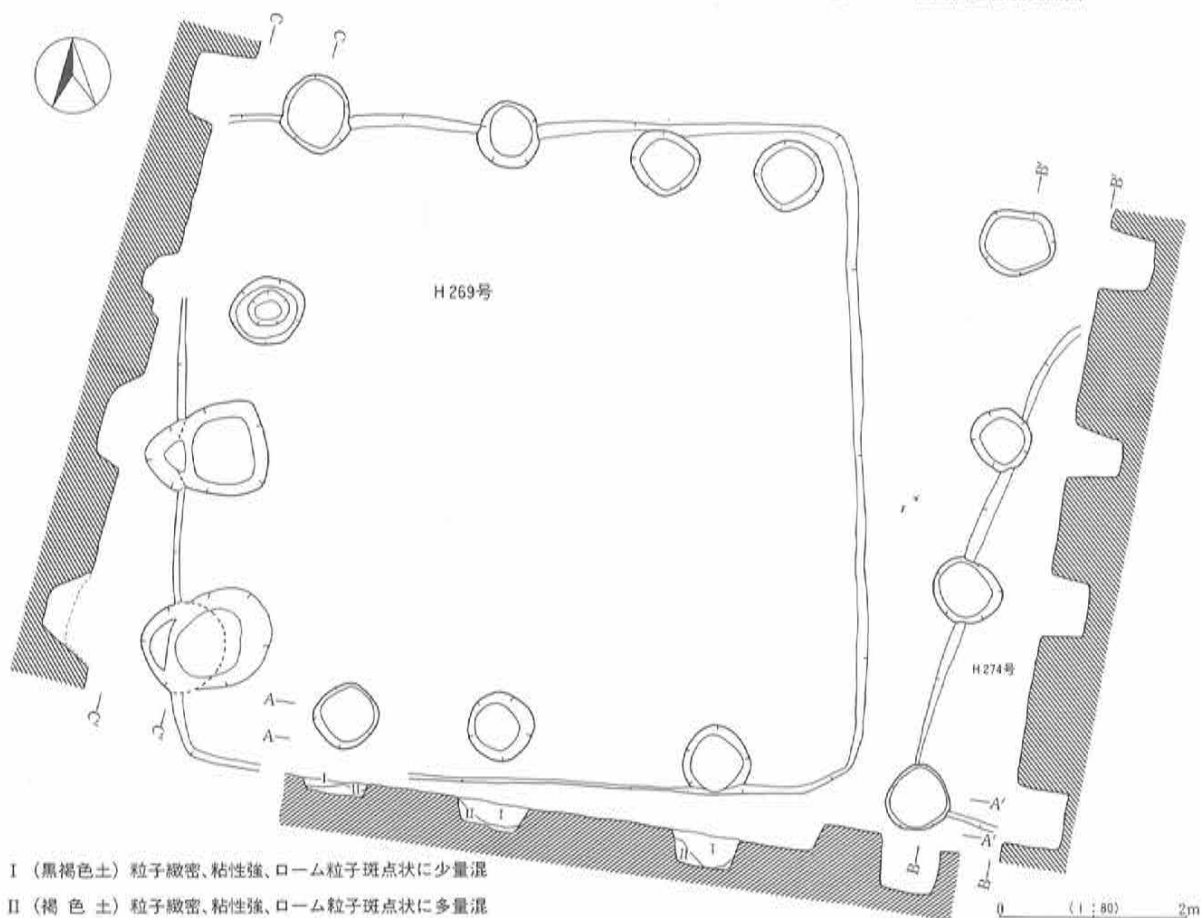


第556図 Ho16掘立柱建物址実測図

I (黒色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒子斑点状に少量混
 II (黒褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム粒子多量混

(1:80) 2m

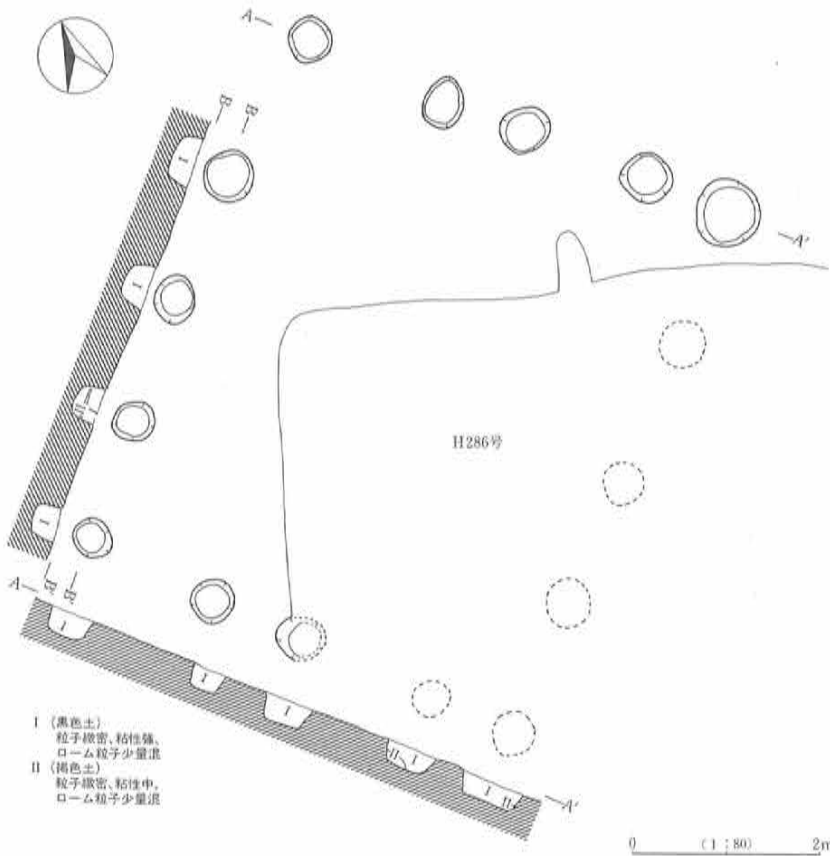
第557図 Ho17掘立柱建物址実測図



I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒子斑点状に少量混

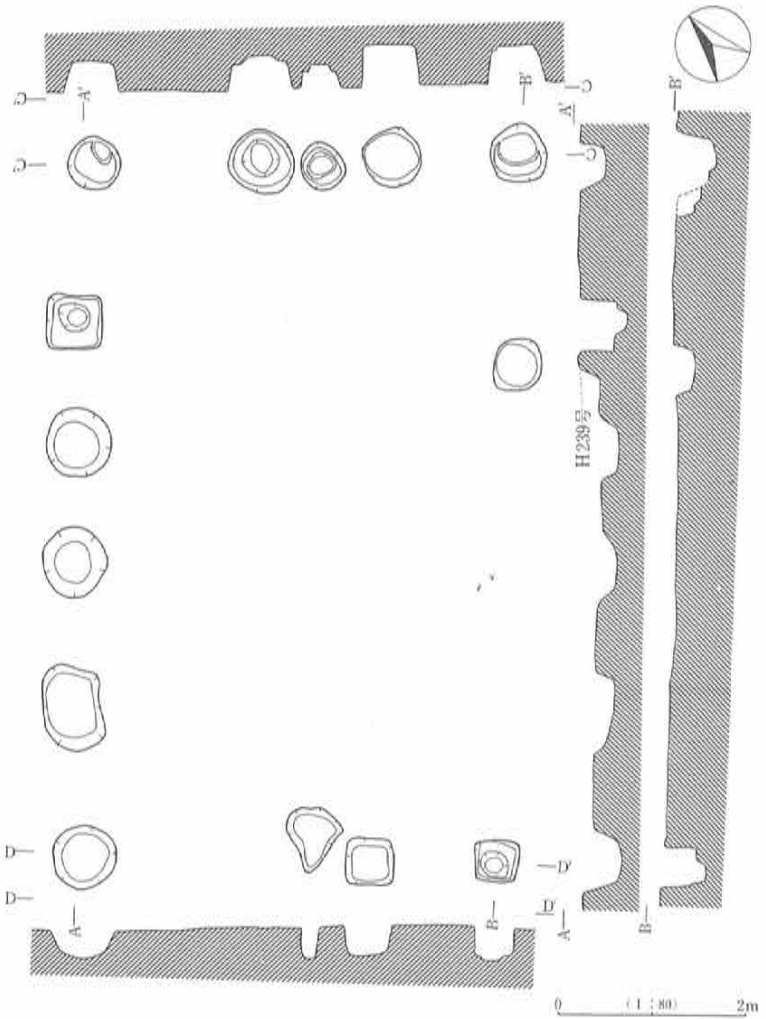
II (褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒子斑点状に多量混

(1:80) 2m



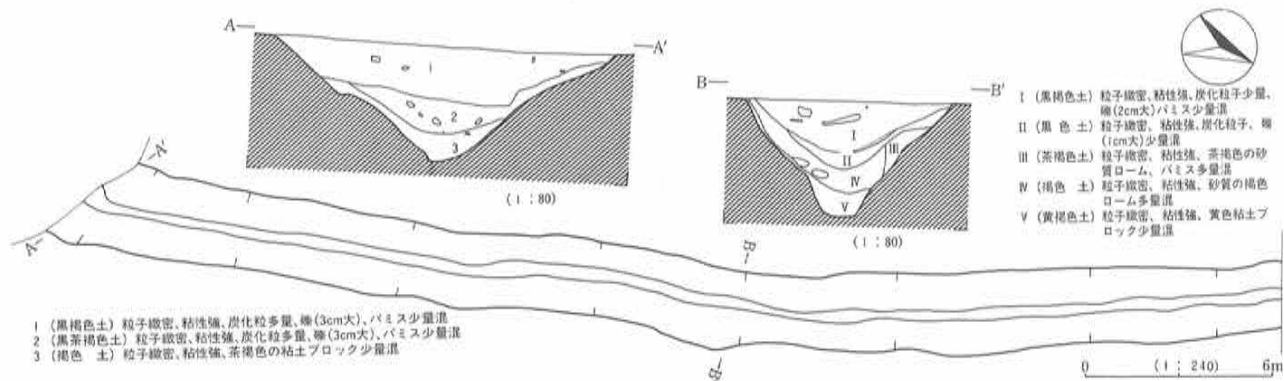
第558图 Ho18掘立柱建物址实测图

- I (黑色土)
 粒子緻密、粘性強、
 ローム粒子少量混
- II (褐色土)
 粒子緻密、粘性中、
 ローム粒子少量混

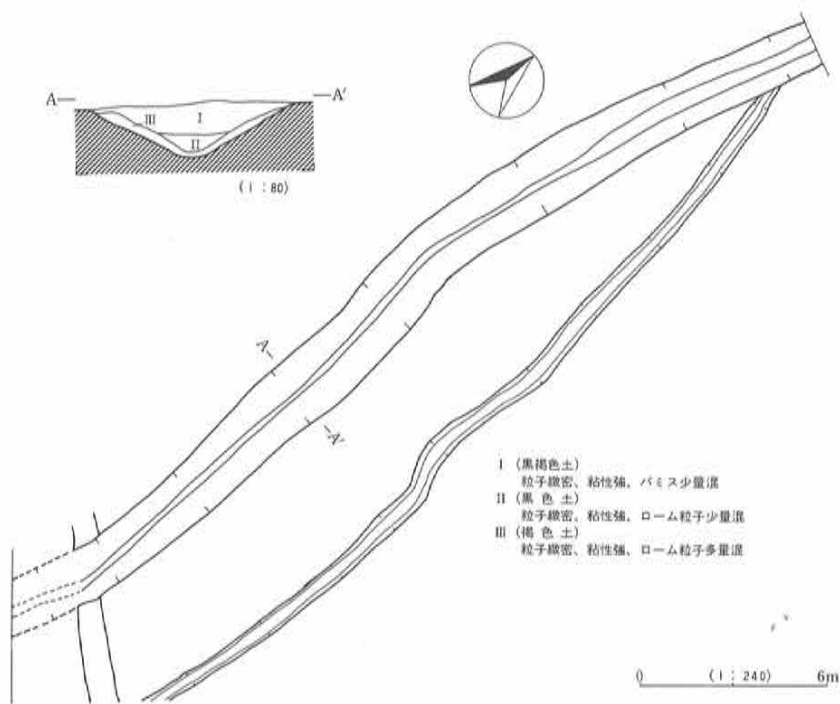


第559图 Ho19掘立柱建物址实测图

7 環濠

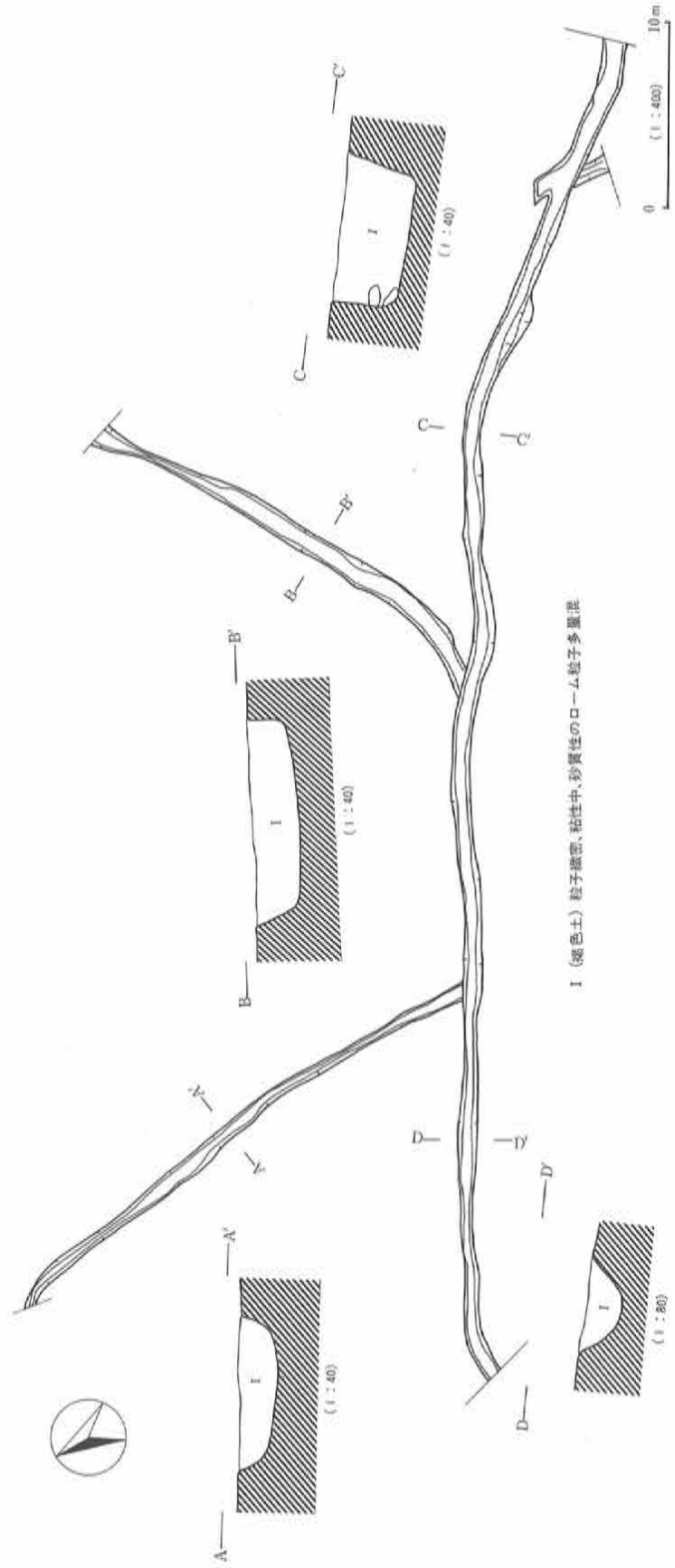


第560図 環濠1 実測図



第561図 環濠2 実測図

8 溝状遺構



第562図 溝状遺構 1・2・3 実測図

第2表 岡村遺跡検出遺構一覧表

()内想定及び推測値(単位cm)

遺構	形態	平面		主軸方位	炉	ピット	時期	備考
		規模	深さ					
Y-1	方形	391	1~7	N-22°-E	地床炉(中央) 74×53×6	主柱穴 4個、 2個 他	弥生時代 中期	M3号と重複 南西コーナーきらられる。南壁から東壁コーナーにかけて破壊される。
Y-2	隅丸方形	(296)	(4~12)	N-133°-W	地床炉(西側中央) 61×51×6	主柱穴 2個、 1個 他	"	Y8住と重複 東側きらられる。
Y-3	隅丸長方形	(404)	(9~18)	N-115°-W	石囲炉、やや西寄り中央 58×55×3	主柱穴 2個、 1個 他	"	Y9住と重複 東南コーナー側きらられる。
Y-4	隅丸方形		(2~10)	—	地床炉(中央)	主柱穴 4個、 8個 他	"	Y10住と重複 西側きらられる。焼失住居。
Y-5	—	—	—	—	地床炉	主柱穴 1個	弥生時代 後期	Y7、環濠1と掘立柱建物址1と重複、炉を残すのみでほとんど破壊されている。
Y-6	隅丸長方形	315	1~18	N-70°-E	地床炉(北西) 39×29×4	主柱穴 4個、 2個 他	"	西側破壊される。
Y-7	不整隅丸長方形	837	2~19	N-36°-W	地床炉(北寄り中央) 50×26×5	主柱穴 6個、 2個、 支柱 4個、 入口 4 他	"	
Y-8	隅丸長方形	597	14~30	N-9°-E	石囲炉(北寄り中央) 86×60×8	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P6) 1 他	"	南壁東側にテラスあり。
Y-9	隅丸長方形	648	1~18	N-5°-E	土器敷炉(北寄り中央) 56×48×6	主柱穴 1個、 貯蔵穴(P6) 2個、 入口 2個、 他	"	
Y-10	隅丸長方形	710	8~20	N-27°-W	石囲炉(北寄り中央) 48×47×8	主柱穴 4個、 支柱 2個、 貯蔵穴(P8) 1個、 他	"	北東コーナーに間溝あり。Y4住をきる。
Y-11	方形	(502)	(2~16)	N-8°-E	1石囲炉(中央) 45×48×9 2石囲炉(北西) 28×33×15	主柱穴 4個、 2個 他	"	南西側破壊される。環濠2と重複 中央を南北にきらられる。
Y-12	隅丸長方形	(784)	(6~20)	N-30°-W	石囲炉、北寄り中央 88×83×6	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P12) 1個、 他	"	Y13住と重複 南西コーナーきらられる。環濠2と重複 北西側きらられる。M3号と重複 南北にきらられる。
Y-13	隅丸長方形	(689)	(17~34)	N-21°-E		主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	"	環濠2と重複 中央を南北にきらられる。
Y-14	隅丸長方形	629	15~29	N-17°-W	地床炉(北寄り中央) 55×48×10	主柱穴 4個、 2個 他	"	
Y-15	不整方形	365	(8~14)	N-26°-E	地床炉(南寄り中央) 45×35×5	主柱穴 4個、 1個 他	弥生時代 中期	H106住と重複 北西コーナーきらられる。H107住と重複 南西コーナーきらられる。
Y-16	長方形	560	(21~36)	E-26°-S	地床炉(東寄り中央) 43×37×7	主柱穴 4個	弥生時代 後期	
Y-17	長方形	(457)	(24~35)	N-32°-E	土器敷炉(北寄り中央) 44×46×9	主柱穴 6個、	"	H240住と重複 東壁一部きらられる。
Y-18			(19~26)	—		主柱穴 1個	"	Ta12号と重複 北壁中央部きらられる。H235・236住と重複 南側きらられる。
Y-19	長方形		(22)	E-29°-S	地床炉(東寄り中央) 60×55×6	主柱穴 4個、 1個 他	"	H238住と重複 東壁きらられる。南壁掘立柱4個にきらられる。

遺構	形態	平面プラン		主軸方位	炉	ピット	時期	備考
		規模	深さ					
Y-20	方形	(418) ^{cm}	(508) ^{cm} (5~27)	(20.34) ^{m²}	—	主柱穴 4個、 他 3個	弥生時代後期	H220住と重復 南西コーナーきらられる。H222住と重復 北東側きらられる。
Y-21	方形		(2~10)	(32.84)	地床炉(北寄り中央)39×42×1	主柱穴 3個、 他 3個	〃	H160住と重復 北壁きらられる。H161住と重復 北東コーナーきらられる。H163住と重復 南西側きらられる。
Y-22	隅丸長方形	393	(5~9)	(13.28)	地床炉(北寄り中央)54×45×3	主柱穴 4個、支柱穴 1個、貯蔵穴(P5) 1個	〃	H174住と重復 東壁北側きらられる。

遺構	形態	平面プラン		主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ					
H-1	—	—	(4~11)	—	—	他 1個	平安時代	H2住と重復 南壁側きらられる。
H-2	長方形	455	7~15	E-8-S	東壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	〃	H1住と重復。北壁中央D47にきらられる。
H-3	方形	488	4~11	(N-10'-E)	(北壁側のやや東寄り)	主柱穴 4個、 P5 灰溜	奈良時代	T3をきる。
H-4	方形	342	—~19	N-21'-E	北壁の西	主柱穴 4個、P5貯蔵穴、P6灰溜	平安時代	西壁破壊
H-5	方形	380	8~30	N-26'-E	北壁中央	主柱穴(壁中) 3個、 他 3個、入口 2個	奈良時代	北壁東側から東壁にテラスあり。
H-6	方形	440	23~36	N-42'-E	北壁中央	主柱穴 4個、P5灰溜、他 1個	〃	H7住と重復 南西壁きらられる。
H-7	方形	345	(26~39)	N-31'-E	北壁中央	主柱穴(壁中P1、P3) 2個、他 1個、P4 灰溜	〃	H6住と重復
H-8	方形	358	8~20	N-28'-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 他 1個	〃	H16住をきる。H9住・掘立址3と重復、H16住とも重復
H-9	方形	440	31~45	(N-30'-W)	北壁中央	主柱穴 3個、 他 1個	古墳時代後期	北壁東側から東壁に、南壁に高溝あり。H8住とH16住重復。南西コーナー土塁により破壊。
H-10	長方形	247	12~24	N-14'-E	北壁の西	他 3個、壁外柱穴 2個、P5貯蔵穴	奈良時代	
H-11	方形	570	12~30	N-21'-E	北壁中央	主柱穴 4個、補助穴(P3) 1個、他 2個	古墳時代後期	焼失住居。
H-12	方形	434	11~25	N-6-W	北壁の東	主柱穴 4個、P5灰溜、他 2個	〃	
H-13	(方形)	418	(11~22)	N-45'-E	北壁の東	主柱穴 2個、貯蔵穴(P3) 1個、他 2個	〃	周溝あり。焼失住居H14住と重復 南西コーナー土塁により破壊。南壁側土塁により破壊。
H-14	—	(441)	(12~20)	N-32'-E	北壁中央	主柱穴 2個、P5貯蔵穴、その他 2個	奈良時代	H13住をきる。南壁側土塁により破壊。

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-15	方形	583 ^{cm}	582 ^{cm}	38.89 ^{m²}	N-40°-W	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個、他 6個、貯蔵穴(P 11) 1個	古墳時代 後期 Ta-6と重複。周溝あり。焼失住居。	
H-16								H 8、H 9住にはほとんどきられる。	
H-17		(565)	—				主柱穴 2個、 貯蔵穴(P 3) 1個	西壁一部に周溝あり。焼失住居。東半分土堤により破壊。	
H-18	長方形	266	377	10.00	N-35°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、貯蔵 穴(P 5) 1個、他 1個	周溝あり。	
H-19	方形	401	447	17.88			主柱穴 4個	T 5と重複、カマド崩壊。	
H-20	—	(546)	—	(1-18)			主柱穴 2個	H 22住と重複 北東コーナーきられる。西半分土堤により破壊。	
H-21	(方形)	(363)	(379)	(13.46)			主柱穴 4個	H 22住と重複 北側きられる。H 29住にきられる。	
H-22	方形	491	515	24.98	N-24°-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	H 20住・H 21住・H 29住をきる。炭化した「カヤ」残存する。	
H-23							その他 3個	H 25、H 26住にきられる。	
H-24	方形	(514)	517	(26.66)			主柱穴 4個	H 25、H 26住にきられる。	
H-25	台形	(440)	570	(24.70)	N-5°-E	北壁中央	主柱穴 4個	カマド天井部残存。煙道2つあり、作りかえか？	
H-26	不整形	427	474	20.04	N-35°-E	北壁の東	主柱穴 4個	H 23住・H 24住・H 25住をきる。	
H-27	方形	(691)	(764)	(51.74)			主柱穴 4個、出入口 P 5・P 6	H 24住と重複 北東コーナーきられる。H 28住と重複 東側きられる。H 29住と重複 北 西コーナーきられる。H 31住と重複 南西コーナーきられる。	
H-28	方形	(507)	508	(25.41)	(N-27°-E)	北壁中央に一部 残存	主柱穴 4個、P 5・P 6 出入口、 貯蔵穴(P 7)	H 24住と重複 北側きられる。H 27住をきる。P 7付近に炭化材あり。	
H-29	方形	547	499	(26.94)	N-13°-W	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵 穴(P 5) 1個、他 2個	H 22住と重複 北西コーナーきられる。H 27住をきる。南壁出入口部に鍾り石状の礫集中 して出土。	
H-30	(方形)	(405)	(406)	(16.39)			主柱穴 3個	H 31住と重複 北東側きられる。	
H-31	不整形	518	557	28.58	N-27°-E	北壁中央	主柱穴 4個、補助 穴、貯蔵穴(P 5) 1個	H 30住をきる。	
H-32	方形	709	689	(48.05)			主柱穴 4個	H 33住と重複。H 35住と重複 南東コーナーきられる。	
H-33	長方形	528	450	23.60	N-27°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H 30住と重複 北東コーナーきられる。H 32住と重複。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-34	長方形	579 ^{cm} 623 ^{cm}	(21~38) ^{cm}	35.36 ^{m²}	N-22°-E	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期 カマド右脇から南壁中央に周溝あり。	
H-35	長方形	446	2~35	24.95	N-33°-E	北壁のやや東寄り。	主柱穴 4個	H32住をさる。	
H-36	方形	416	5~24	17.35	N-13°-E	北壁のやや西寄り。	主柱穴 4個、他1個、貯蔵穴(P6)、P7 灰層	南西コーナー付近に鑿り石状の礎集中して出土。	
H-37	方形	354	14~30	14.18	N-23°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	
H-38	方形	434	(16~20)	17.62	N-46°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H39住と重複	
H-39	方形	413	10~20	16.24	N-4°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H38住をさる。出入口部に小施設あり。周溝あり。	
H-40	(方形)	(455)	7~15	(20.29)			主柱穴 4個	H41住と重複 北東側さられる。H42住と重複 南東側さられる。	
H-41	長方形	282	27~37	10.64	N-9°-W	北壁のやや東寄り。	主柱穴 4個、他1個	H40住をさる。	
H-42	方形	383	20~32	15.74	N	北壁中央	主柱穴 4個	H40住・H44住をさる。	
H-43	(長方形)	—	15~20	—			主柱穴 2個	H44住と重複 東側さられる。H46住と重複 北側さられる。	
H-44	不整形	287	(4~20)	(10.91)	N-12°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	H42住と重複 北東コーナーさられる。H46住と重複 西壁さられる。H43住をさる。	
H-45	方形	481	33~44	26.28	N-20°-E	北壁中央	主柱穴 4個、補助穴 4個、他1個	H46住と重複	
H-46	長方形	460	24~34	25.33	N-30°-E	北壁中央	主柱穴 3個、他5個	H43住・H44住をさる。H45住をさる。東壁を除き周溝あり。	
H-47	方形	(652)	(28~41)	(44.04)			主柱穴 4個	H48住と重複 北側さられる。H61住と重複 東壁一部さられる。H50住と重複 北西コーナーさられる。	
H-48	方形	437	23~41	20.55	N-14°-E	北壁の西寄り	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	H47住をさる。	
H-49	不整形	468	(46~53)	21.15	N-45°-E	北壁の東	主柱穴 4個、灰層(P5)1個	H201住と重複。	
H-50	(長方形)	582	9~51	29.54	N-34°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H49・H201住に南東側さられる。	
H-51	方形	482	4~17	—	N-20°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	焼失住居 焼土多量に散布。	
H-52	不整形	513	13~31	25.42			主柱穴 4個	H53住・H54住と重複 南壁側に鑿り石状の礎集中して出土。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-53	不整形	521 ^{cm} 534 ^{cm}	—~24 ^{cm}	27.79 ^{m²}	N-9°-E	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期 H52住をきる。	
H-54	方形	(766)	(4~26)	(63.90)	N-4°-E	北壁中央に竈土のみ残存	主柱穴 4個	H55住と重複、西側きられる。H57住と重複、東側きられる。H58住と重複、南西側きられる。H52住をきる。	
H-55	不整形	340	14~24	13.46	N-5°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H38住・H54住をきる。H58住の北壁一部をきる。	
H-56	(方形)	(525)	(3~15)	(26.09)			主柱穴 2個、 補助穴 3個	H58住と重複、北東側きられる。	
H-57	方形	478	13~33	24.86	N-9°-W	北壁のやや東寄り	主柱穴 3個、 貯蔵穴(P4)1個	H54住をきる。	
H-58	不整形	582	(8~28)		N-2°-W	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	H55住と重複、北西コーナーきられる。H54住・H56住をきる。	
H-59	(不整形)	—	(12)		N-22°-E	北壁中央	主柱穴 3個、 他 1個	H61住と重複、大半をきる。H62住と重複、南東側きられる。	
H-60	方形	503	6~26	26.17	N-20°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	炭化材出土。	
H-61	方形	(739)	(12~20)			北壁より中央部に竈土残存	主柱穴 4個、 他 2個	H47住・H59住・H60住をきる。H62住と重複、南東側きられる。北壁・東壁に周溝あり。	
H-62	方形	682	29~42	46.96	N-26°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 他 1個、 貯蔵穴(P5)1個	H61住・H65住をきる。	
H-63	不整形	508	(8~26)		N-6°-W	北壁中央	主柱穴 4個、 他 2個	H60住と重複、煙道きられる。H79住と重複、南壁一部きられる。北壁・南壁に周溝あり。カマド付近に炭化材少量出土。	
H-64	(方形)	(882)	(36~41)				主柱穴 4個、 他 8個	H63住をきる。H62住と重複、北西コーナーきられる。H65住と重複、北西側きられる。H66住と重複、南西側きられる。H79住と重複、北東コーナーきられる。	
H-65	長方形	327	(24~40)		N-5°-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 3個、 他 2個	H64住をきる。H62住と重複、北東コーナー及び煙道を一部きられる。	
H-66	—	—	(37~51)		N-15°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 2個、 灰層(P3)1個	H64住をきる。南半分土堤。	
H-67	不整形	480	3~22	22.30	N-3°-W	北壁の西寄り	主柱穴 4個	H68住にきられる。	
H-68	方形	338	3~16	12.36	N-6°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	H67住をきる。炭化材、焼土、床面に散布。	
H-69	不整形	599	—~18	34.60	N-4°-W	北壁の西寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P6)1個、 他 1個		
H-70	長方形	273	(10~15)	9.89	N-5°-E	北壁の西寄り	主柱穴 4個、 他 3個	周溝あり。	
H-71	方形	510	14~25	26.52	N-5°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	特殊遺構7をきる。P3は主柱穴と貯蔵穴をかねる。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-72	方	385 ^{cm} (426)	18~28 ^{cm}	16.33 ^{m²} (16.33)	N-2-W	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期 H73住と重復 北西側さられる。	
H-73	方	411	14~40	15.97	N-7-E	北壁の東寄り	主柱穴 4個、 灰溜(P5)1個	H72住をさる。	
H-74	(方)形	—	(30~32)	—	—	—	主柱穴 4個	H75住と重復 東側さられる。H76住と重復 北西側さられる。	
H-75	方	444	11~27	19.62	N-3-E	北壁中央	主柱穴 4個	H76住と重復 北西コーナーをさる。H74住をさる。P1は貯蔵穴を兼ねる。	
H-76	長方形	338	16~33	16.1	N-12-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 2個	H74住・H75住をさる。	
H-77	(方)形	—	(16~23)	—	N-76-E	東壁中央	主柱穴 3個、 貯蔵穴(P1)1個	H63住と重復 西側さられる。H79住と重復 南西側さられる。貯蔵穴はP1に連なる。	
H-78	方	880	(33~58)	—	N-6-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 支柱穴 1個	H79住と重復 北西側さられる。H80住と重復 東壁北側さられる。H81住と重復 南東側さられる。	
H-79	不整形	491	34~40	—	N-10-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	H63住・H64住・H77住・H78住をさる。	
H-80	不整形	490	23~40	23.38	(N-15-E)	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	H78住をさる。	
H-81	—	—	(16~35)	—	N-10-E	北壁中央	主柱穴 2個	H78住と重復 南半分土堤により破壊される。H78住をさる。	
H-82	方	494	(4~13)	27.10	(N-20-E)	北壁のやや東よりに一部残存	主柱穴 4個	H83住と重復。北東コーナー区域外	
H-83	(方)形	698	(9~23)	—	N-26-E	北壁のやや東よりに一部残存	主柱穴 4個	H82住と重復 床面上10cm~40cm大の礫の集石あり。	
H-84	—	—	(13~16)	—	—	北壁に焼土一部残存	主柱穴 1個	H85住・H88住と重復 大半をさられる。	
H-85	—	—	(7~31)	—	—	北壁中央	—	H88住と重復 南半分をさる。H84住をさる。	
H-86	(方)形	(435)	(14~20)	—	N-5-E	北壁中央	主柱穴 4個	H87住と重復 南東側さられる。H88住と重復 カマドから東壁をさる。H89住と重復 北西コーナーをさる。	
H-87	(長方形)	503	(18~27)	—	—	—	主柱穴 4個	H88住と重復 北側さられる。H86住をさる。	
H-88	方	582	13~32	32.32	E-9-N	東壁よりやや南寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	H84住・H85住・H86住・H87住をさる。周溝あり。	
H-89	(不整形)	(280)	(9~16)	8.10	N-32-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	H75住と重復 北西コーナーをさる。H86住をさる。南西コーナーに鑿り石状の礫集中して出土。	
H-90	方	452	18~30	19.68	N-11-E	北壁中央	主柱穴 4個、 出入口掘ピット 1個	出入口施設あり。炭化材残存。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-91	方	511	479	(24.07)	N-25-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	H92住と重復 北東コーナーにきられる。H94住・H96住と重復。南西コーナー掘立柱2個にきられる。	
H-92		(564)	—	(15-32)			主柱穴 2個	H91住をさる。東半分区域外。	
H-93		—	—	(8-27)			主柱穴 1個、 他 1個	H94住と重復 北側される。東半分区域外。	
H-94	(方 形)	356	—	(9-28)			主柱穴 4個	東壁部区域外。10cm~50cm大の礫の集石あり。	
H-95			(524)	(19-25)			貯蔵穴(P1)1個	H96住と重復。	
H-96	不 整 方 形	608	734	(13-26)	N-10-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、出入 口乗出しピット 1 個、他 2個、貯蔵 穴(P3)	H91住・H95住をさる。H97住と重復。南東コーナーにきられる。出入口施設あり。出入口張り出しピット付近に廻り石状の礫少量出土。	
H-97	不 整 方 形	315	368	10-19	N-6-W	北壁中央	主柱穴 3個、 他 1個	H96住をさる。北西側掘乱入り込む。	
H-98	方 形	306	319	8-27	N-23-W	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個		
H-99		462				北壁側に一部残存	主柱穴 2個	西半分土堤によりきられる。	
H-100	(長 方 形)		(635)	(18-29)			主柱穴 2個	H101住と重復 北東側される。H102住と重復 北西側される。H103住と重復 南壁一部きられる。	
H-101	方 形	442	439	23-33	N-27-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	H102住と重復 南西側される。H100住をさる。	
H-102	方 形	479	502	9-46	N-27-W	北壁中央	主柱穴 4個、P5、P6 出入口 ピット	H100住・H101住をさる。	
H-103	長 方 形	327	373	23-35	N-21-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 2個	H100住をさる。	
H-104	(方 形)	(748)	739	(14-36)	(54.65)		主柱穴 4個、出入 口乗出しピット 1 個、他 2個	H105住と重復 北壁一部きる。出入口施設あり。P1~P4の柱痕残存。	
H-105	長 方 形	377	443	12-28	N-12-E	北壁中央	主柱穴 4個	H104住をさる。	
H-106	長 方 形	300	453	21-33	N-6-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 2個、 貯蔵穴(P3)1個	Y15住をさる。	
H-107	不 整 方 形	606	565	11-27	N-16-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	Y15住をさる。10cm~60cm大の礫の集石あり。	
H-108	方 形	518	498	24-38	S-56-E	南壁のやや東寄り	主柱穴 4個、補助 穴 2個、その他 1個	H109住にきられる。カマドに石囲の施設あり。10cm~50cm大の礫の集石あり。	
H-109	方 形	513	533	18-27	N-31-E	北壁中央	主柱穴 4個	H108住と重復。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-110	不整形	498 ^{cm}	548 ^{cm} 3~22	27.25 ^{m²}	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期	H111住と重複。	
H-111	方形	955	(962) (14~26)	(94.47)	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	"	H110住と重複。H112住と重複 東壁一部きられる。H113住と重複 南東コーナーきられる。	
H-112	不整形	489	17~24	24.21	北壁中央	主柱穴 4個	"	H111住をきる。	
H-113	不整形	246	303 14~21	7.36	北壁中央	主柱穴 4個	"	H111住をきる。	
H-114	方形	421	439 28~37	18.39	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	周溝あり。	
H-115	隅丸方形	269	(290) (一~26)	(7.77)		主柱穴 2個	"	H116住・H117住と重複 西壁一部破壊される	
H-116	長方形	296	346 10~22	10.40	北壁のやや東寄り	主柱穴 2個	"	H115住・Ta8をきる。	
H-117	方形	520	543 2~15	28.64	北壁中央	主柱穴 4個、補助穴 2個、出入口張出しピット 1個	"	H115住をきる。出入口施設あり。	
H-118	不整形	481	483 (14~23)	23.42	東壁中央	主柱穴 4個	"	H119住と重複 北壁きられる。	
H-119	方形	585	(665) (17~29)	39.36	北壁中央	主柱穴 4個	"	H118住をきる。H120住と重複 西壁中央きられる。	
H-120	長方形	300	382 25~41	11.03	北壁中央	主柱穴 4個	"	H119住をきる。15cm~40cm大の礫の集石あり。	
H-121	長方形	296	368 (21~31)	(10.85)	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	"	H123住と重複 南西コーナーきられる。	
H-122	方形	418	419 19~34	17.38	北壁中央	主柱穴 4個	"	周溝あり。	
H-123	方形	511	543 31~44	27.62	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、貯蔵穴(P6)1個、他 2個	"	H121住・堅穴状遺構11をきる。周溝あり。	
H-124		—	— 25				"	H125住と重複 大半きられる。	
H-125	方形	815	798 (30~42)	60.30	北壁中央	主柱穴 4個、他 4個	"	H128住と重複 北西コーナーきられる。H129住と重複 北東コーナーきられる。H124住・H126住をきる。	
H-126	(方形)	322	(21~27)	(12.70)	北壁中央	主柱穴 2個	"	H127住と重複 西壁側きられる。	
H-127	方形	739	750 24~38	55.09	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、貯蔵穴(P6)1個、他 1個	"	H126住をきる。北壁東コーナーから南壁中央にかけて周溝あり。	
H-128	方形	362	361 15~22	12.89	東壁のやや東寄り一部残存	主柱穴 4個、他 2個	"	H125住をきる。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-129	不整形	272 311	15~26 cm	8.30 ^{m²}	N-65°-E	北東コーナー	主柱穴 3個、 他 3個	H125住をきる。 古墳時代後期	
H-130	(方形)	(452)	(23~28)				主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	H131住と重複 南東側きられる。H132住と重複 北東側きられる。	
H-131	(方形)	(426)	(17~26)	(18.78)			主柱穴 2個	H132住と重複 北西側きられる。H130住をきる。	
H-132	不整形	546	23~32	28.28	N-35°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H130住・H131住をきる。	
H-133	方形	399	16~33	17.59	N-10°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P6) 1個、 灰溜(P5) 1個		
H-134		—	(40~43)		N-2°-E	北壁中央	主柱穴 3個、 貯蔵穴(P4) 1個	H135住と重複 東壁に周溝あり。南半分土堤に破壊される。	
H-135		—	(9~20)		N	北壁中央	主柱穴 2個	H134住をきる。南半分土堤に破壊される。H134住のカマドと同位置にあり、2段になっ て重複。	
H-136	隅丸方形	363	20~38	11.89	N-18°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個		
H-137	方形	448	17~28	19.88	N-10°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個、 他 1個		
H-138	長方形	318	(8~22)	(13.13)	N-9°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	H139住と重複 南東コーナーきられる。	
H-139	方形	655	(28~39)		N-14°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H138住をきる。	
H-140	方形	440	(21~30)	20.68	N-8°-E	北壁中央	主柱穴 4個	H141住と重複 南東コーナーきられる。	
H-141	隅丸長方形	613	10~26		N-18°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	H140住をきる。Ta10をきる。10cm~80cm大の礫の集石あり。	
H-142		(495)	(21~41)		E-11°-S	東壁	主柱穴 2個、 貯蔵穴(P3) 1個	H143住と重複 南西側きられる。南半分土堤により破壊。	
H-143		—	(30~41)		N-35°-W	北壁中央	主柱穴 1個、 貯蔵穴(P2) 1個	H142住をきる。南半分土堤により破壊。	
H-144	(方形)	—	(11~24)		N-5°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	南壁部土堤により破壊。	
H-145		—	(8~13)		N-38°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 2個	H146住と重複 南側きられる。	
H-146	方形	519	11~22	26.66	N-14°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	H145住をきる。	
H-147	方形	393	15~24	15.10	N-14°-E	北壁中央	主柱穴 4個		

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-148	方 形	263 ^{cm}	287 ^{cm}	7.31 ^{m²}	N-46°-E	北東コーナー	貯蔵穴 1個	古墳時代後期	
H-149	方 形	386	403	(15.40)	N-3°-W	北壁側に一部残存	主柱穴 4個、 他 1個	〃	H150住をさる。H151住と重複。
H-150	(方 形)	439	465	(20.61)	N-10°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	H149住と重複 大半をさられる。H151住と重複 南東コーナーをさられる。
H-151	不 整 方 形	525	484	25.52	N-9°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5)1個	〃	H149住・H150住をさる。
H-152	方 形	316	354	10.98	N	北壁中央	主柱穴 4個	〃	
H-153	長 方 形	338	397	13.23	N-4°-W	北壁中央	主柱穴 4個	〃	P1は主柱穴と貯蔵穴をかねる。
H-154		—	(637)				主柱穴 2個	〃	H155住と重複 北西側をさられる。H156住と重複 北西コーナーをさられる。南半分土塁により破壊。
H-155	(長 方 形)	(349)	—	(16.72)	N-23°-W	北壁の重葺りカマド一部残存	主柱穴 3個	〃	H156住と重複 北西側をさられる。H154住をさる。
H-156	方 形	380	427	16.35	N-24°-E	北壁やや東寄り	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他 1個	〃	H154住・H155住をさる。
H-157	長 方 形	316	447	14.18	N-19°-E	北壁の東寄り	主柱穴 4個	〃	
H-158	(方 形)	(438)	—		N-21°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	H160住と重複 東側をさられる。焼失住居(炭化材出土)
H-159	方 形	504	483	(24.51)			主柱穴 4個	〃	H160住と重複 西壁一部をさられる。北東コーナー区域外。P1、P4の中間より土給出土。
H-160	方 形	581	547	(31.55)	N-15°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 灰溜(P5)1個	〃	Y21住・H158住・H159住をさる。
H-161	方 形	710	739	(41.20)	N-24°-E	北壁側カマド一部残存	主柱穴 4個、 出入口掘出しピット 1個	〃	H159住・H162住と重複 Y21住をさる。周溝あり。出入口施設あり。
H-162	不 整 方 形	560	586	33.02	N-28°-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	〃	H159住と重複。H161住をさる。
H-163	不 整 方 形	524	581	30.61	N-9°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	〃	Y21住をさる。出入口施設あり。
H-164		—	—				主柱穴 1個	〃	H165住・H166住に大半をさられる。北東部区域外。
H-165		—	(458)				主柱穴 2個	〃	H166住に大半をさられる。H164住をさる。
H-166		(342)	(393)				主柱穴 3個	〃	H164住・H165住をさる。P1はH165住のP1と兼る。P2はH164住のP1と兼る。北東側は区域外。

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
		cm	cm	m ²					
H-167		—	(477)			主柱穴 2個	古墳時代後期	北半分区域外。	
H-168	長方形	367	18~26	16.72	北壁中央	主柱穴 4個、灰溜(P5)1個	"		
H-169	方形	408	17~26		北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	焼失住居。炭化した豆類出土。	
H-170	方形	568	18~36	34.24	東壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	南壁中央から西壁に同露あり。	
H-171	(方形)	(378)	(19~31)	14.60	東壁中央	主柱穴 4個	"	H172住と重複 南東コーナーをさる。北東コーナーにも煙道がみられる。	
H-172	不整形	459	(22~34)	(20.95)	東壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	H173住と重複。H171住をさる。	
H-173	方形	495	9~24	(23.16)	東壁のやや西寄り	主柱穴 4個	"	H172住をさる。床面直上より土給出土。	
H-174	方形	417	10~16	17.97	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	"	Y22住をさる。焼失住居(炭化材あり)。	
H-175	方形	612	(26~35)	40.43	北壁中央	主柱穴 4個、出入口兼出ピット 1個	"	H176住と重複 出入口施設あり。	
H-176	方形	560	(18~29)	(32.48)	北壁中央	主柱穴 4個、他	"	H175住と重複。H177住・H179住と重複 南西コーナーをさる。	
H-177		—	(400)			主柱穴 1個	"	H178住と重複。H179住と重複 大半をさられる。	
H-178		—	(15)				"	H177住と重複。H179住と重複 大半をさられる。	
H-179	方形	322	9~21	14.74	北壁中央	主柱穴 2個、貯蔵穴(P3)1個	"	H176住・H177住・H178住・H180住をさる。	
H-180	(方形)	—	(462)		北壁中央	主柱穴 4個	"	H179住と重複 北東コーナーをさられる。H180住と重複 南西側をさる。	
H-181	方形	432	13~22	(19.03)	北壁中央に一部残存	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	H180住をさる。東壁中央付近より鑿り石状の礫集中して出土。炭化材出土(焼失か?)	
H-182	方形	600	(17~23)	31.84	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他	"	H183住と重複。	
H-183	長方形	521	11~24	24.22	東壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	"	H182住と重複。	
H-184		—	(465)		北壁中央	主柱穴 2個	"	南半分土塁により破壊。	
H-185		—	(643)			主柱穴 4個	"	H186住と重複 北西コーナー側をさる。H187住と重複 南東側をさる。南側土塁で破壊。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-186	方	616	668	41.02	N	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	古墳時代後期	H185住と重複 東壁の南寄りに鑿り石状の礫集石して出土。
H-187	方	—	(431)	(17~23)	N-5-E	北壁中央	貯蔵穴(P1)1個	〃	H185住をきる。南半分土堤により破壊。
H-188	方	380	440	16.44	N-30°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	
H-189	方	513	626	20~34	N-17°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	
H-190	方	567	572	32.21	N-21°-E	北壁のやや真寄り	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	〃	周溝あり。焼失住居。煙道2つあり、作りかえか？
H-191	方	—	(537)	(22~33)			主柱穴 2個	〃	北半分区域外
H-192	方	613	603	36.44	N-8°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、灰滴(P6)1個	〃	南西コーナーに鑿り石状の礫集中して出土。
H-193	方	503	482	23.96	N-30°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	北壁東側にテラスあり。
H-194	方	(654)	697	(45.60)	N-20°-E	北壁の西寄り	主柱穴 4個、他	〃	H197住・H198住と重複 南壁一部さらされる。
H-195	方	402	422	17.61	N-8°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他	〃	南東コーナー掘立柱にさらされる。南東コーナーに一部周溝あり。
H-196	方	—	—	(27~40)	N-38°-E	北壁	貯蔵穴(P1)1個、他	〃	H197住・H198住と重複 北西コーナーにさらされる。東半分土堤により破壊。
H-197	(長方形)	604	639	11~39			主柱穴 4個、他	〃	H198住と重複で不明確な点多い。H196住をきる。
H-198	方	602	627	37.29	(東壁中央)		主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	〃	H197住と重複で複雑な点多い。H196住をきる。H197住の主柱穴を兼用。焼失住居。
H-199	不整形	423	(405)	(19~39)	N-40°-E	北壁中央	主柱穴 2個、他	〃	H200住と重複 北西側さらされる。
H-200	不整形	473	525	29~43	N-35°-E	北壁中央	主柱穴 4個、他	〃	H199住をきる。
H-201	不整形	466	509	6~15	N-31°-E	北東コーナー	主柱穴 4個	〃	H34住とH49住をきる。A地区2に位置する。
H-202	方	509	489	24.91	N-49°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	〃	周溝あり。H202住と重複。北東コーナーをきる。炭化材床面上に少量出土。
H-203	方	460	493	22.4	N-6°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	H203住と重複。炭化材の出土あり。
H-204	不整形	—	(471)	(13~25)			主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他	〃	南西壁にテラスあり。H205住と重複 北側さらされる。南西コーナーに鑿り石状の礫集中して出土。

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-205	方形	373 ^{cm}	414 ^{cm}	15.40 ^{m²}	N-5°-W	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	古墳時代 後期 北西コーナーにテラスあり。H204住をきる。	
H-206	長方形	343	454	15.22	N-29°-E	北壁の東寄り	主柱穴 4個	〃	
H-207	隅丸方形	304	327	9.76	N-33°-W	北壁中央	主柱穴 4個	〃 周溝あり。礎道原形のまま出土(トンネル状)	
H-208	方形	477	519	24.61	N-23°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃 周溝あり。	
H-209		—	364	—			主柱穴 4個	〃 北壁側土堤により破壊。周溝あり。	
H-210	方形	436	452	19.47	N-27°-W	北壁の西寄り	主柱穴 4個	〃 焼失住居。カマドの支脚は土製支脚である。	
H-211	(方形)	467	—	(24.97)	N-11°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	〃 H212住・H213住・H214住と重複 H213住に西壁側きられる。	
H-212	長方形	430	610	26.02		東壁中央	主柱穴 4個	〃 周溝あり。H211住をきる。	
H-213	方形	472	471	(22.43)	N-18°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵 穴(P5) 1個、他 1個	〃 周溝あり。H211住をきる。	
H-214	方形	443	458	20.87	N-20°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個 他	〃 H211住をきる。	
H-215		—	—	—			主柱穴 1個、 他 1個	〃 H216住と重複 西壁側残すのみで、ほとんど破壊される。	
H-216	方形	420	473	20.58	N-9°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵 穴(P5) 1個、他 2個	〃 H215住をきる。	
H-217	方形	390	376	14.58	E-8°-S	東壁の南寄り	主柱穴 1個、貯蔵 穴(P4) 1個、他 3個	〃	
H-218	長方形	(695)	617	(43.05)			主柱穴 4個、出入 口部張り出しピット 1個	〃 出入口施設あり。焼失住居。H219住と重複 北側きられる。	
H-219	方形	367	419	15.49	N-7°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	〃 H218住をきる。	
H-220	方形	925	937	85.20	N	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵 穴(P5) 2個、他 1個	〃 H221住と重複。Y20住をきる。炭化材少量出土。	
H-221	不整形	334	299	9.92	E-3°-S	東壁中央	主柱穴 1個、 他 1個	〃 H220住と重複。	
H-222	方形	499	516	25.81	N-6°-E	北壁中央	主柱穴 4個、 貯蔵穴(P5) 1個	〃 Y20住をきる。	
H-223	方形	763	771	58.82	N-3°-W	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、出入 口部張り出しピット 1個、他 1個	〃 周溝あり。出入口施設あり。H224住と重複。P3付近に盛り石状の少量出土。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-224	方	390	420	17.16 ^{m²}	(N-13°-W)	北壁の東寄り	主柱穴 4個	古墳時代後期	H223住と重復。煙道原形のまき出土(トンネル状)
H-225	方	354	356	12.70	N-18°-W	北壁中央	主柱穴 3個、貯蔵穴(P4)1個、他1個	〃	焼失住居。炭化材あり。
H-226	方	(446)	(408)	(17.16)	S-91°-E	南壁中央	主柱穴 3個、他3個	〃	H227住・H228住と重復。南西側きられる。
H-227	方	578	576	(33.18)	E-35°-S	東壁のやや北寄り	主柱穴 2個、貯蔵穴(P3)1個、他3個	〃	H228住と重復。西側きられる。H226住をきる。土製支脚出土。
H-228	不整形	357	340	11.96	E-13°-N	東壁中央	主柱穴 1個	〃	H227住をきる。
H-229	方	428	426	18.27	N	北壁中央	主柱穴 4個	〃	出入口施設あり。焼失住居。
H-230	方	527	515	26.88	N-9°-W	北壁中央	主柱穴 5個、貯蔵穴(P6)1個	〃	周溝あり。煙道原形のまき出土(トンネル状)
H-231	方	719	738	53.36	N-14°-W	北壁中央	主柱穴 4個	平安時代	H232住と重復。焼失住居。
H-232	長方	364	447	16.11	N-33°-E	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期	H231住をきる。
H-233								〃	
H-234	不整形	298	259	7.69			主柱穴 4個、他2個	〃	
H-235	(不整形)	(518)		(26.64)			主柱穴 2個	〃	H236住と重復。南東側きられる。Y18住をきる。
H-236	方	676	675	41.52	N-15°-E	北壁中央 東壁中央	主柱穴 4個、補助穴 4個、貯蔵穴(P8)1個	〃	H235住をきる。H237住と重復。周溝あり。カマド2基あり。作りかえか?
H-237	長方	307	410	12.70	N-3°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他2個	平安時代	周溝あり。H236住をきる。
H-238	方	592	660	39.10	N-28°-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、灰溜(P6)	古墳時代後期	周溝あり。Y19住をきる。
H-239	方	531	547	28.95	N-51°-E	北壁中央	主柱穴 4個、他5個	平安時代	H219と重復。D31と重復。南壁一部きられる。
H-240	方	306	320	9.77	N-40°-E	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代後期	北壁テラス状をなす。Y17住をきる。
H-241	方	260	309	8.18	N-9°-E	北壁中央	主柱穴 3個、他1個	〃	
H-242		—	—	—				〃	H243住と重復。西側きられる。東壁中央から南壁中央まではほとんど崩壊。

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-243	方	544 ^{cm} 579 ^{cm}	16~34 ^{cm}	31.43 ^{m²}	N-21-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P.6)1個、他2個	古墳時代後期 周溝あり。H242住と重複。南壁東寄りに盛り石状の礫集中して出土。	
H-244	方	422	15~35	18.33	N-10-W	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P.5)1個	東壁・北壁西側から西壁に周溝あり。	
H-245	不整形	467	17~32	20.83	N-7-W	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P.7)1個、他2個	東壁にもカマドあり、作りかえか？	
H-246		(385)	(14~29)	-		北壁に焼土一部残存	主柱穴 2個	H247住と重複 北西側きられる。H248住と重複 西側きられる。	
H-247		(397)	(12~33)	-	E	東壁中央	主柱穴 2個	H246住・H248住と重複。H248住に西側きられる。	
H-248	方	661	704	(45.96)	N-12-E	北壁中央	主柱穴 4個、他1個	H246住・H247住をきる。北西コーナー土堤により破壊。煙道2つあり、作りかえか？西壁に張出し施設あり。	
H-249	方	581	539	31.13	N-27-E	北壁中央	主柱穴 4個、補助穴 2個、他2個	東壁中央にカマド址らしき焼土残存。	
H-250		-	630	-		他	主柱穴 3個、他2個	南壁に周溝あり。H251住と重複。北側土堤により破壊。	
H-251	(方形)	(625)	(21~42)	-	E-33-N	東壁中央	主柱穴 3個、貯蔵穴(P.4)1個	H250住と重複 北側土堤により破壊。	
H-252		-	(508)	-		他	主柱穴 3個	H253住と重複 北西側きられる。南壁側区域外。	
H-253	長方	385	532	20.52	N-23-E	北壁中央	主柱穴 4個、他3個	H252住をきる。	
H-254	方	451	483	21.92	N-15-E	北壁中央	主柱穴 4個	H255住と重複。	
H-255	方	313	369	11.76	N	北壁中央	主柱穴 4個	H254住をきる。	
H-256	方	260	295	7.61	W-6-N	西壁中央一部残存	他 1個	平安時代	
H-257	長方	335	533	17.83	E-20-N	東壁中央		古墳時代後期 柱穴検出されず。Ho11と重複 煙道きられる。	
H-258	方	1.160	1.002	(115.60)	N-9-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P.5)1個、他1個	H259住と重複。本道跡最大住居址。	
H-259	方	448	437	20.89	N-42-W	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P.5)1個、他2個	H258住と重複。砂礫の流れ込み床面に多量。	
H-260	長方	205	398	(8.36)		北壁のやや西寄り？	主柱穴 2個、他1個	竪穴状遺構になるか？	
H-261		-	(417)	-	N-35-E	北壁中央	主柱穴 2個、貯蔵穴(P.3)1個	Ho12号据立址・H264住と重複 H264住に南側きられる。	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-262	方形	482 ^{cm}	497 ^{cm}	482 ^{cm} × 497 ^{cm} (23.60) ^{m²}	N-29-W	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5) 1個	古墳時代後期 H264住と重複 北西コーナーさられる。P3付近より炭化材少量出土。	
H-263	方形	650	668	43.35			主柱穴 4個、他	" P1は貯蔵穴をかねる。Ho11号掘立址・H264住と重複。	
H-264	方形	810	809	64.56	N-17-E	北壁中央	主柱穴 4個	" Ho12号掘立址・H263住と重複。H261住・H262住をさる。西壁中央付近より廻り石状の炭化材少量出土。	
H-265	(方形)	—	(460)	—			主柱穴 4個	" H267住と重複 北側さられる。	
H-266	不整形	(553)	(540)	(28.94)	N-7-E	北壁中央	主柱穴 4個	" H267住と重複 北西側さられる。	
H-267	方形	573	599	33.89	N-31-E	北壁中央	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5) 1個、他	" P3・P4はH265住P2・P1をかねる。H265住・H266住をさる。Ho11号掘立址と重複。	
H-268	長方形	576	502	(28.61)	N-25-E	北壁中央	主柱穴 3個、他	" D39号・D40号と重複 D40号に南壁一部さられる。H288住と重複。	
H-269	方形	692	722	48.52	N-8-E	北壁中央	主柱穴 4個	" Ho16号・Ho17号掘立址と重複。	
H-270	(方形)	(485)	—	(10~15)				" H271住と重複 西側大半をさられる。	
H-271	(方形)	—	654	(29~48)	N-13-E	北壁中央	主柱穴 4個	" T8号にさられる。H270住をさる。南壁部区域外。	
H-272		—	(500)	(22~33)	N-14-E	北壁中央		" 柱穴検出されず。南半分区域外。	
H-273	方形	899	866	77.05	N-16-E	北壁中央	主柱穴 4個、補助穴 3個、貯蔵穴(P8) 1個、灰溜(P9) 1個	" T10号をさる。周溝あり。	
H-274	方形	572	458	(25.73)			主柱穴 3個	" Ho17号と重複。住居址中央部に2m×2.5mの高設あり。特殊な通溝か。	
H-275	方形	412	428	17.44	N-37-E	北壁中央	主柱穴 3個、貯蔵穴 1個	" 周溝あり。	
H-276	長方形	335	427	14.25	E-15-S	東壁中央に焼土のみ残存	主柱穴 4個	平安時代 周溝あり。炭化材出土。	
H-277	方形	382	406	15.43	N-43-E	北壁中央	主柱穴 4個、他	古墳時代後期 周溝あり。炭化材出土。	
H-278	長方形	330	403	28.80	N-3-E	北壁やや東寄り	主柱穴 4個	" 焼失住居 炭化材あり。	
H-279	方形	487	554	26.2	W-27-N	西壁中央	主柱穴 4個、他	"	
H-280	長方形	361	412	14.72	N	北壁中央に焼土一部残存	主柱穴 4個	"	

遺構	形態	平面			主軸方位	カマド	ピット	時期	備考
		規模	深さ	面積					
H-281	不整形	cm	cm	㎡		内部カマド	壁外ピット 1個	古墳時代後期	再度プラン確認を慎重に行なったが現状の状態であった。南壁付近に盛り石状の礎集出し出土。
H-282	長方形	433	23~41	23.02	N-7°-E	北壁中央	主柱穴 4個、出入口施設 1個	〃	周溝あり。
H-283	方形	609	27~43	39.81	N-40°-E	北壁中央	主柱穴 5個、貯蔵穴(P5)1個、支柱穴(P6)1個	〃	
H-284	方形	609	28~40	35.54	N-11°-E	北壁中央	主柱穴 4個	〃	
H-285	方形	292	25~34	9.28	E-15°-S	東壁のやや南寄り	主柱穴 4個、他 1個	〃	
H-286	不整形	611	13~43	38.66	N-3°-E	北壁中央	主柱穴 4個、灰層(P5)1個	〃	Ho18号掘立址と重複。
H-287	不整形	437	12~36	20.26	N-2°-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個	〃	A地区2
H-288	方形	421	(18~27)	18.11	W-6°-S	西壁のやや南寄り	主柱穴 4個、貯蔵穴(P5)1個、他 1個	〃	H268住をきる。

VI ま と め

1 弥生時代の遺構について

樋村遺跡からは弥生時代中期（栗林式比定）5軒、後期17軒の竪穴住居址と環濠と考えられる溝2基、その他の溝3基が検出された。本編では、遺物は検討できないため、遺跡の分布及び住居址の形態について簡単に触れてみたい。

樋村遺跡は滑津川の支流内山川の北岸にあり、西側を流れる千曲川からは一段上った複合扇状地の微高地上に位置している。内山川流域における弥生時代遺跡は、本遺跡の他には上の台遺跡において弥生時代後期（吉田式比定）の住居址が2軒⁽¹⁾検出されている他、後家山・中屋敷・館ヶ沢・初谷遺跡等が詳細分布調査⁽²⁾によって確認されている。但し館ヶ沢、初谷遺跡は極めて奥深い山間部の斜面上にあるため、大規模集落址が存在する可能性は薄く、内山川流域における弥生時代遺跡の主体部は、樋村・平賀中屋敷遺跡の存在する複合扇状地上（当流域では最も広い平坦面を有する）に限られてくる。またこの扇状地の南東部は切立った崖になっており、その眼下は大規模な低地帯が広がり、往時の生産地帯の存在も想起させる。従って、樋村遺跡の場合当流域では弥生時代遺跡の立地としては最も良好な条件にあったと言えよう。

次に住居址の分布状態について触れておきたい。前述の如く、当流域における弥生時代遺跡の調査は、上の台遺跡一例のみであり、他の流域においても中期後半（栗林式比定）、後期前半（吉田式比定）の調査例は増加しているものの、その内容についての明確な資料化がなされていないため、相互の比較・検討は成し難い。従って、ここでは、本遺跡内におけるあり方のみを列挙するに留めた。

本遺跡内で弥生時代の住居址は微高地の最東端に14軒、中央部に散漫に3軒、西側に5軒が分布している。このうち、最も住居址が集中する最東端の微高地では、中期と後期の住居址が共存することと、本遺跡内で莫大な軒数を誇る古墳時代後期の住居址が全く存在しないことは注目される。特に後者の問題は、弥生時代と古墳時代の集落構成及び生活様式の違いを明確に表わすものと考えられ、遺物編では更に詳細な分析が必要となろう。

住居址の形態は、中期の場合一辺が3～4mと概して小型であり、形態は方形、隅丸長方形、隅丸方形や円形に近いものなどもあり、バラエティーに富む傾向にある。柱穴はY1・4号住居址は整然と配された支柱穴が4本検出されているが、他の住居址はやや不明確といえる。炉址は、住居址の中央かそのやや西寄りに存在し、地床炉を基本とするが、Y3号住居址は、南側に炉縁石を一個有する。後期の住居址は、中期後半に比べると概して大型化し、平面形態も隅丸長方形・方形に定形化されるようであり、隅丸長方形の住居址は大型、隅丸方形・方形の住居址は小型のものが多い傾向にある。隅丸長方形の場合の規模は長軸で560～837cm、短軸で407～636cmを測り、隅丸方形、方形の場合は一辺350cm前後～550cm前後の規模を有する。ピットは支柱穴が整然と4本配されるY8・9・10・14・16・22号住居址、6本配されるY7号住居址と整然と配置されない例が認められる。また、棟持柱と考えられるものはY7・8・9・10・19・22号住居址で認められ、いずれも長軸線上の入り口施設・主炉の存在する位置の反対に配置されている。入り口施設に関連するピットは、Y7・8・9等で検出された。その他、貯蔵穴を有する例もある。最後に炉址について触れておきたい。炉址は、Y6・7・14・16・19・21・22が地床炉、Y10・11が炉縁石を有する地床炉、Y17が土器敷炉、Y9が炉縁石を有する土器敷炉、Y8・11・12が「コ」の字、あるいはⅡ型の石囲い炉で、その形態はバラエティーに富む。構築位置も住居址の支柱穴P₁・P₂の2点を結んだ線上の中央か、やや住居址の中央寄りに認められる例が多い。尚、Y11は本遺跡内では唯一の複炉が認められている。

以上、本稿では総合的な検討ができず、事実記載の羅列に留まった。内山川の流域で弥生時代遺跡の本格的な

調査が行われたのは初めてであり、今後、今回のような調査は行われなくてもいい。その意味でも樋村遺跡の弥生時代資料は、佐久平の弥生時代研究史上でも極めて重要な位置を占めるものと思われ、遺物編では更に多角的に検討を加えたいと考えている。

- (1) 佐久市教育委員会 1984 『上の台』
- (2) " 1984 『佐久市遺跡詳細分布調査報告書』

(小山 岳夫)

2 樋村遺跡における集落の在り方

1) 古墳時代後期

本遺跡調査は、第1図樋村遺跡地形図及び発掘区設定図に図示してあるように、圃場整備対象区全域にくまなく試掘トレンチを入れ、遺跡の広がりや詳細を把握した。結果、検出遺構は莫大な数にのぼり、期間、予算等の切迫した条件に悩まされながらも、調査団一丸となって協力し合い、その全てを発掘調査することができた。

こうした努力により古墳時代後期の大集落ともいべきムラの全体像が見事に顕現し、佐久平の歴史を解明する大きな指標を得たことはいままでのない。しかし、整理作業期間の制約により、出土遺物の整理が終了しない段階で本報告書を作成したため、集落構造とその変遷、住居およびカマド形態等の分析は十分な検討には至らず、一応予察としての大略的検討となってしまった。遺物整理が終了し、遺物編の発刊時点でさらに再検討し、より明確な分析と詳細な区分を試みる所存である。

該期集落の分析は、出土土器が鬼高期であることから、住居相互の重複関係を基点にして考察した。その結果、時間的推移は一応、I期・II期・III期・いずれかに属する、の4グループに区分することができた。しかし、この分けはあくまでも住居相互の重複に限定した大別であり、土器分析によってさらに数期に細分できることは明白であるが、先は不十分ながら第一段階としての具体的検討に入りたい。

I期(初源期) 全体の集落は、約40,000㎡の範囲にわたって、東西に細長く展開している。現在住宅が存在する地区を除いてほぼムラの全貌が顕現していると考えられる。I期は、本遺跡に初めて古墳時代の集落が形成された初源期である。にもかかわらずかなりまとまったムラが構成されている。居住地区は、東西両端に空白地点が多少みられるが、全域に拡散しているといえる。古墳時代後期の住居址273棟の内、該期に属すると判断される住居は77棟を数え、全体の28.2%を占める。これ等住居址の内訳は、H21・23・27・34・40・43・47・52・56・59・60・63・64・74・78・84・86・93・94・95・100・110・118・124・126・130・150・154・158・161・164・171・175・180・194・196・211・220・226・246が最も古いと推察され、若干新しくなるか、あるいはII期からの出現に属すると考えられるグループは、H30・32・38・67・72・82・104・108・115・121・134・138・140・142・145・177・185・199・202・204・215・218・223・235・242・251・252・254・258・261・262・263・265・266・270・281・288の計37棟を数える。

住居址の特徴は大形が多く、和泉期からの系譜であると考えられる。A地区Iには、H27・32・64・78と4棟の大形住居址が存在し、H64・78は重複する接点に接近していることから、I期の前・後に細分されることが推測される。これ等4棟は重複がはげしく、カマド等は破壊消滅が著しい。全体にこの地区はおびただしい重複状態を示し、I期もかなりこみ合っている。また、E地区Iは入口施設およびそれに共なる張出しピットを有し、H104・161・194の3棟が存在し、一辺650～750cmを測る大形住居址である。これ等の住居と共に24棟の中形および小形住居址が、間隔的に均一距離を保ちながら分散している。更にE地区2・3は共に超大形H220・258が所在し、特にH220の前後には、出入口施設に付随する張出しピットを有した、H218・223の大形住居址が前後に配列している。本地区も一部分こみ合いが見られ、やはり前・後に細分される状態があらわれている。

以上I期のムラを概観してきたが、初源期としてはかなり大きな力を有した氏族の首長が存在しムラを統率し

ていたものと推察され、周辺北東山間部の丘陵に群をなしている古墳群と関わりがより密接に関連してくるもの想定される。

II期（最盛期） II期は棟数も91棟と増加し、全体の33.3%を占める。ムラの範囲もやや拡大はするものの、大概I期と変化のない同一の占地内で集落を営んでいる。

II期と判断される住居址は、H20・24・25・28・29・31・39・41・44・45・48・49・53・54・58・61・65・66・75・77・80・85・87・90・91・96・101・103・111・119・125・127・131・149・155・159・162・165・172・176・178・182・195・197・213・214・222・227・236・247の計52棟があげられる。さらに、H33・35・68・73・81・83・105・109・116・117・122・123・135・139・141・146・163・174・181・186・187・200・203・205・216・219・224・232・238・243・250・253・255・259・264・267・268・271・272・282の計39棟が、同一時期あるいは若干新しくなる住居址と考えられる。

II期は重複が一段とはげしく、住居間隔も狭く、切合い関係から前・中・後と3期の細分が読みとれ、時間的にもII期は長い期間の集落であったと考えられる。住居もI期と継続して大形の傾向が強くと、955×962cmを測るH111の超大形と7×8mを測る、H54・61・96・119・125・127・141・264の大形住居をはじめ、4～5mを測る中形住居が大半を占める。人口が増加し集落の安定化が推察される。

III期（終末期） III期に入ると、住居は減少し、集落も中央に縮小した占地の状態を示している。住居間隔もやや平均的に分散したほど良い調和を保っている。また、規模は小形化する傾向が顕著である。III期に位置付けられる住居址は、H22・26・42・46・55・57・62・76・79・88・89・92・97・102・112・113・120・128・129・132・151・156・160・166・173・179・183・198・201・212・221・228の計33棟を数え、全体の12%を占める。H62・198・248住居址が600～700cmを測り、III期最大級の住居址である。400～500cmを測る住居址は51.5%で大半を占め、200～300cmを測る超小形住居址は30%にあたる。こうした小形化傾向は次の奈良時代に入っても継続される。これ等の要因は、社会構造の変化に起因することが第一に浮びあがる。III期は7世紀にあたりと考えられることから、大化の改新により中央集権化が一層強まり、新しい国家機構の変革期となる。農民には口分田が与えられ、収奪の開始と階級制度が確立されつつあった。さらに大陸の政治体制を模倣した律令制度は、庶民の家族生活の中にまでも及んだ。「^{男と女の}法」として新しい家族法が制定され、母系家族から父系家族へのきりかえが法的に強制された。こうした変革はIII期の住居形態および集落の変化により、樋村遺跡のムラにまでおし寄せていたことが推察される。

2) 奈良時代






奈良時代の住居址は、A地区1から7棟検出された。集落の立地は、古墳時代後期のムラ中心部よりはずれた最西端寄りに存在し、先行していた古墳時代後期住居址とは、4棟重複するのみで、新たな地点に居住地を形成しはじめたことが理解される。しかし、地形的な面からみて微高地状の段丘縁辺部に所在していることから、比較的小さな集落を営んでいたものと思われる。

また、水田開発も拡大し、本遺跡西側を北流する滑津川添いの低地（自然堤防）を避け、本遺跡中心部から北西にかかる微高地に大規模な条里制の定着が確立されたものと推考される。

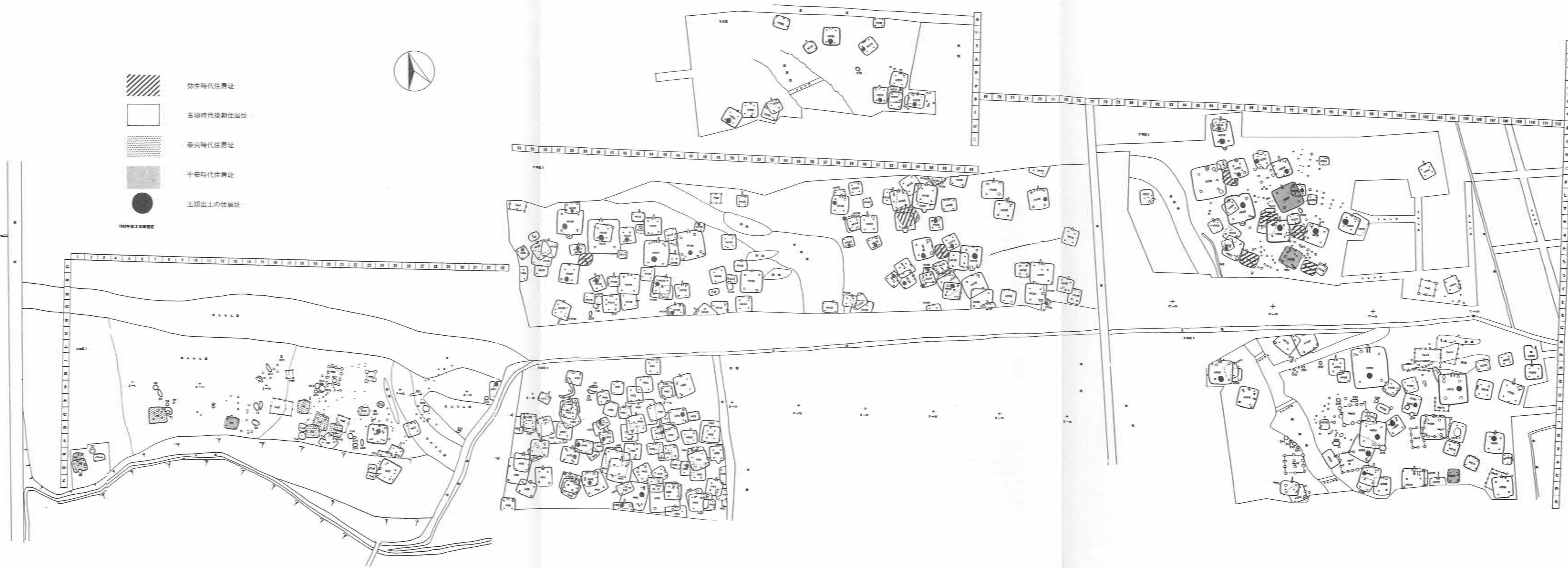
出土遺物は各住居址とも極めて微少で、須恵器坏、同高台付坏片、同甕片、土師器坏片、同甕片等がみられるのみである。また、H6号と重複関係にあるH7号は、須恵器片20点（格子叩目を有す甕破片、坏口辺部3点）の出土のみで、土師器は覆土中はもとより生活面に至っても一点の出土もみられなかった。尚、器厚の薄い土師器甕形土器（胴部縦位のヘラケズリ、底部ヘラケズリが施されている調整）から、本遺跡奈良時代の集落は、平安時代に比較的近い時期に比定される。

3) 平安時代

該期の遺構は、住居址7棟、Ta5・Ta6 堅穴状遺構、T8・T9・T10特殊遺構、掘立柱建物址19棟が検出さ

-  弥生時代住居址
-  古墳時代後期住居址
-  奈良時代住居址
-  平安時代住居址
-  玉類出土の住居址

1983年度調査範囲



付図1 随村遺跡時代別集落構成図

れた。遺構は、調査区東西側、左右に分れた状態で分布しており、最西端南側の微高地状段丘縁部A地区1には、3棟の住居址、2棟の竪穴状遺構、小規模掘立柱建物址2、中規模掘立柱建物址3が存在する。掘立柱建物址が存在する北側は、試掘の結果遺構が認められなかったこと、段丘縁部のため南側への広がりには微少であると判断される。

また、調査区東側E地区2・3地点には、住居址5棟、比較的規模の大きい掘立柱建物址No.9～No.19、礎石および石組大形カマドを有するT8およびT9・T10特殊遺構が存在する。以上の遺構の存在から本地区は南側への展開が予測され、該期の集落は現在の樋村区住宅地とはほぼ重なり合っていることが想定される。第II章考古学的環境の中で前述したように、平安時代の遺跡は弥生時代から連続して営まれた遺跡立地とは別に、小規模ではあるが新たに6遺跡が加わり、大きく分散している。生産の場の拡大が起因しているものと推測される。

I・II・III期いずれかに属する住居址 本分類に属する住居址は単独で存在するため、詳細な土器分類が完成されていない現段階においては、早計な判断は避けなければならない関係から保留とした。これらの住居址は計72棟を数え全体の26.3%を占める。各地区共に小形～やや小形の住居が比較的多く、II期～III期に属するものが多いかと推定される。現在の樋村・後家・荒神地区を含めた西耕地の戸数は130戸を数える。この、いずれかに属する住居址群の約半数(36棟)をII期に加えたならば、計127戸となりほぼ同戸数の集落がすでに古墳時代後期に実在していたことになる。「貧窮問答歌」の家族構成を基準として計算した場合人口は約700～800人が推計される。しかし、これはあくまでII期の全体数値であって、さらに3期に細分される可能性があることから、集落の最大構成人口は、200～300人が数えられる。

以上、簡単ではあるが樋村遺跡における集落の変遷について概観してきた。古墳時代後期大集落として、画期的な展開が40,000㎡の限定された区域内において実在している。ムラの構造、生活様式等、多様な古代史解明の鍵が遺構、遺物の中に残されており、樋村遺跡は多くの問題点、貴重な資料を提供する重要な遺跡となった。遺物編の中では可能な限り、これ等の諸問題を再検討し、解明していきたいと考える。次に住居形態の様相を追ってみたい。

3 樋村遺跡にみられる住居址形態

1) 古墳時代後期

I期 付図2にI期の住居址16棟を図示した。I期の住居址規模は全時期を通じて最大の規模を測る大形住居址が多い。1、H258号は(11.6×10.02m、115.6㎡)を測り、長野県下において最大を誇る住居址である。過去において最高を計測していた、平出遺跡第11号住居址(11.5×10.0m)を10cm上まわっている。カマドは北壁中央に位置し、支柱穴4個は規則的な配列を示している。施設としては、カマド左脇に貯蔵穴を有す。2、H220号は(9.2×9.3m、85.20㎡)を測り、支柱穴4個、貯蔵穴2個を有す。カマドは北壁中央に存在し、周辺より多量の土器が散乱して出土した。

4～7は、出入口施設およびそれに共なる張出しピットを有す住居址である。カマドは北壁中央に位置するが、H104、H218は、新しい住居に破壊されて消滅している。支柱穴は各コーナー寄りに規則的な配列を示している。特にH104は、各々の支柱穴に柱痕が残存していた。第205図住居址実測図に柱痕の状態を明示してあるが、三石延雄調査員の詳細な分析の結果、柱の材質はナラ材が使用されていたことが判明した。ナラ材の耐久年数は約20年前後であることが推定され現在も付近の山々に多く自生している。規模の大きいH223は、(7.6×7.7m、58.8㎡)、H104は(7.5×7.4m、54.6㎡)を測り、具体的な例として畳60敷の広い住居となる。H161は周溝が一巡し(7.1×7.4m、41.2㎡)を測り、50cm前後小さくなるだけで規模的にはほぼ同一である。H218は長方形を呈し、(6.9×6.2m、43㎡)を測る。規模は一回り縮小する。8～14までの住居址形態は、方形を呈しており、規模は

6.7~4.5m前後を測る。カマドは北壁中央に位置し、規格的な4本柱である。H182はカマド右脇に貯蔵穴が存在しており、H60は出入口部右側に位置している数少ない例である。

また、H138は(3.2×4.1m、13.12㎡)、H121は(3×3.7m、10.8㎡)を測る東西に長い長方形を呈した小形住居址であるが、この規模の小形住居址は比較的少ない。

II期 形態的にはあまり変化はみられないが、規模の面でI期の超大形から中間的な大きさが増加する。H111は、(9.5×9.6m、94.4㎡)を測る超大形住居址で、4本の支柱穴のみで他施設は認められなかった。H125は、(8.1×8m、60.3㎡)を測り、出入口右脇と南西壁コーナー寄りに貯蔵穴を有す。出入口と右脇貯蔵穴の中間地点床面上より、滑石製の切子玉が出土している。また、H127は(7.4×7.5m、55㎡)を測り、カマド右脇に貯蔵穴、左脇に灰溜施設を有す。東壁~南壁中央まで周溝が確認された。また、H236は、煙道2本が確認され、東壁カマドから北壁中央に移動しており、支柱穴の脇に補助穴を有し、東壁カマド右脇に存在していた貯蔵穴を北壁カマドに移ってから使用している。周溝、補助穴の存在等からかなり整備された住居址である。5・6は出入口施設を有す住居址であるが、I期と比較して規模も小さくなり、6は張出しピットを共なっていない。さらに5は出入口施設付近に柱穴が対を成しており、本遺跡において極めて類例の少ない内部形態である。間仕切りの要素が窺える。7は、煙道が壁外に長くのびており、出入口部に設けられた張出しピットが施設を共なわないで、単独に存在する。9~13は、方形を呈する住居址で支柱穴4本、カマド右脇に貯蔵穴が存在する形態の一群である。規模は、最大のH186が(6.1×6.6m、41㎡)を測り、中間的規模のH267は、(5.7×6m、33.9㎡)を測り、小形であるH214は、(4.4×4.5m、20.8㎡)を測る。14・15は、出入口部の右寄り、又は左寄りの支柱穴中間に支柱穴とおもわれるピットが存在する。特にH200は規模がしっかりしていて、支柱穴の様相を呈している。16~18は東西に長い長方形を呈した住居址で、H35は(4.4×5.6m、24.9㎡)を測り、小形のH105は(3.7×4.4m、16.5㎡)の規模を有する。19~21は小形グループの住居址で、H75が19.6㎡、H73、H219共に15㎡、15.5㎡を測る。H172、H77は、東壁中央にカマドを設置しており、該期から東壁カマドが出現しはじめる。

III期 該期に入ると小形化は一段と著しく、III期の中で最大規模であるH248・H62は、6.6~7m、45㎡~47㎡を測り、I・II期における中形の住居址がこれに該当する。最小規模のH113は(2.4×3m、7.3㎡)を測る。平均的規模のH57は(4.7×5.3m、24.8㎡)で、H79は(4.9×4.6m、23.1㎡)を計測する。II期から見られる東壁中央へのカマド設置は、H129、H26において北東コーナー付近へと推移しており新たな形態の出現である。また、カマド右脇に貯蔵穴を有する住居は1/3で増加傾向である。

いずれかの時期に属する住居 時期細分のでき得ない古墳時代後期の特徴的な住居を1~9まで図示した。大形住居のH273は(9×8.6m、77㎡)を測る。周溝がほぼ一巡し、4本の支柱穴、3本の補助穴、カマド右脇に貯蔵穴、左脇に灰溜施設があり、全ての施設が整っていた数少ない例である。H283は、出入口中央に存在する支柱穴、北東コーナーには貯蔵穴を有し、39.8㎡を測る。5~7は出入口施設を有するが張出しピットは存在していない。II期においてこの変化が現れはじめる。H229は、この出入口施設と平行した掘り方の状態でカマドが設置されており、他住居址ではこうしたカマドの掘り込みはみられない。H207は小形ではあるが、遺存状態が良好で、深さ48~57cmを測り、煙道およびカマドはほぼ原形を保っていた。しかし、掘る後から水が湧き出て精査が困難であった。H278は東西に長い長方形を呈した住居でカマドが東寄りに位置している。

以上が古墳時代後期住居址形態の変遷である。全期を概観してその変化をあげると、

- 1、規模の変化。(大形住居址から小形化へと推移)
- 2、出入口施設の変化。(張出しピットを共なう施設から徐々に消滅)
- 3、カマド設置の位置的变化。(北壁中央~東壁~北東壁コーナー側へと推移したカマドも若干見られる)

このうち、最も大きな変化は、1の規模である。集落の中で前述したように、この時期における新しい国家機構の変革は、如実に庶民生活まで波及しているのである。

また、内部施設、住居形態には特に大きな変化はなく、あえて取りあげるならば2、3が微少の変化といえる。内部施設は、全期を通じてカマド右脇に存在する貯蔵穴、カマド左脇に設けられた灰溜施設、周溝、出入口施設等があり、これ等の施設を有す住居址は、全体的に少なく30%に満たない状態である。ほとんどの住居址は4本の支柱穴で支えられた一屋一室的住居構造を示している。

形態は、方形を呈するものが一般的で、稀に東西に長い長方形を呈する住居址もあり、この形態は小形住居址に最も多く、少数ではあるが全期を通じて見い出せる。

付図7は、塩尻市の平出遺跡第3号住居址の復原図である。カマドが東壁に位置している点が本遺跡とは異なるが6.3×6mを測る住居址規模、4本の支柱穴が規格的に配列し、構造的には本遺跡の住居址と変化がないため参考資料として加えた。このような大形住居址が軒を連ねて並んでいた往古の樋村遺跡の集落の姿を想像されたい。

2) 奈良・平安時代

奈良・平安時代の住居址は少数で、形態等の分類は資料的に薄弱であるため、変遷をたどる参考として図示した。1～4は、奈良時代の住居址である。規模は、H3号が(4.8×5m、24.6㎡)、H5号が(3.8×3.5m、13.5㎡)、H6が(4.4×4.2m、18.4㎡)、H10が(2.4×3m、7.4㎡)を測る。H3、H6は、4本の支柱穴が規則的な配列を示し、カマド右脇に貯蔵穴を有する。また、H5、H10は壁中、壁外に柱穴が認められ特徴的である。形態は方形、東西に長い長方形を呈した小形の2形態で、古墳時代後期と大差はみられない。

平安時代は、5～8の4棟を図示した。H231は大形で(7.2×7.4m、53.3㎡)を測り、6～8は小形で方形、長方形を呈すが、東西に長い長方形と南北に長い長方形とに大別される。規模は、H4が(3.4×3.8m、13㎡)、H237が(3×4.1m、12.7㎡)、H276が(3.3×4.2m、14.2㎡)を計測する。平安時代の住居址は、大形を中心にその周囲を小形住居址が占居する傾向が顕著であるが、検出遺構が少数であるためグループの区分けには至らない。

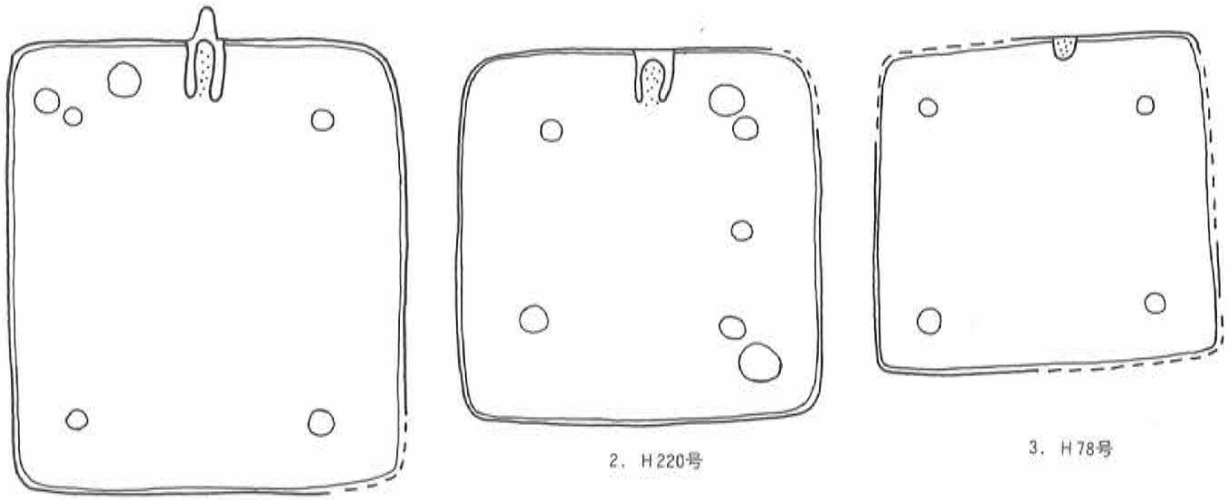
3) 掘立柱建物址

本遺跡より検出された掘立柱建物址を付図6に集成した。これ等遺構は、A地区2・B地区を除いた各地より検出された。特にA地区1、E地区3はかなりまとまった状態で確認されている。この地区は平安時代の遺構が所在する地点でもあるため、やはり時代的な関わりを見逃すことはできない。

昭和57年度調査区には、Ho1が検出された。この地点は弥生中～後期の集落で、他時期の住居址は確認されていない。しかし、建物址の付近から須恵器片が採集されていることや、Y5号住居址を切っている状況から、弥生時代との関係は薄い。また、E地区1はHo7、Ho8が確認されている。この地点も平安時代の遺構は存在しない。規模も小さく、Ho7は全体が把握されない状況下にあるため判然としないが、古墳時代後期の住居址群と関連していると考えられるが、北側に未調査区が広がっているため、早計が許されない。

E地区2は、数々のピット群が確認され、全体図から建物址に該当しそうな配列も見られるが、現場では、柱穴の規模が合うこと、同一線上に並び間隔がほぼ一定するもの、直角であること等を考慮して、建物址であることの認定をしたため、確証の持てないものは除外した。E地区3は、かなり規模の大きいHo10～Ho12、Ho17が検出された。Ho13・14、Ho16・17は重複関係にあり、建物址についても時間的差が生じていることが判断される。また、Ho15、Ho18は住居址に切られた状態で検出され、Ho11、Ho12、Ho16、Ho17は規模が大きかったため住居址掘り下げ過程において、重複部分が判明した。しかし、軟弱な規模を持つHo15、Ho18は、住居址覆土と変化がなかったため、かなり面密に行なった上面での精査も、時間的制約に追いたてられ、効をなさないまま打ち切らざるを得なかった。T8は礎石が配列し、3m×1.5mを測る大規模な石組カマドを有しており、特異な建物址である。上面で確認されず、H271、H270を掘り下げる過程において発見され、慌てる場面もあった。

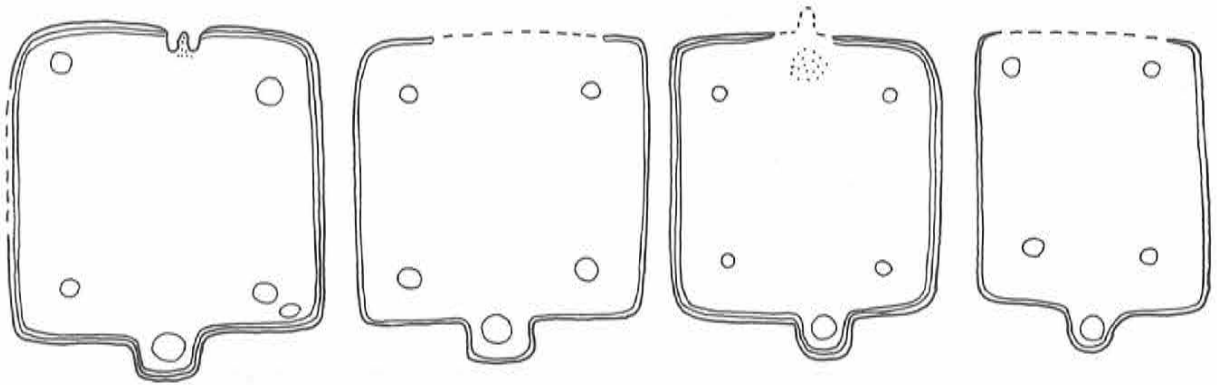
これ等の掘立柱建物址は、Ho3が奈良時代の建物址を切っていることと、Ho19が平安時代の住居址H238と重複関係にあること等を考慮し、出土遺物の須恵器糸切り底部の坏、同土師器坏から、平安時代の所産であると判断される。



1. H258号

2. H220号

3. H78号

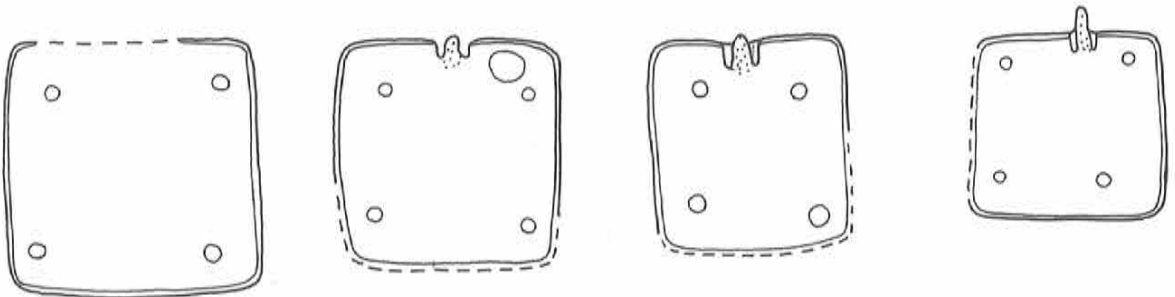


4. H223号

5. H104号

6. H161号

7. H218号

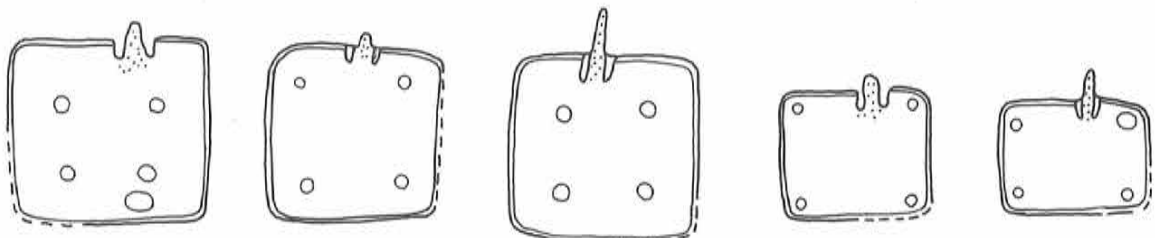


8. H47号

9. H182号

10. H34号

11. H118号



12. H60号

13. H150号

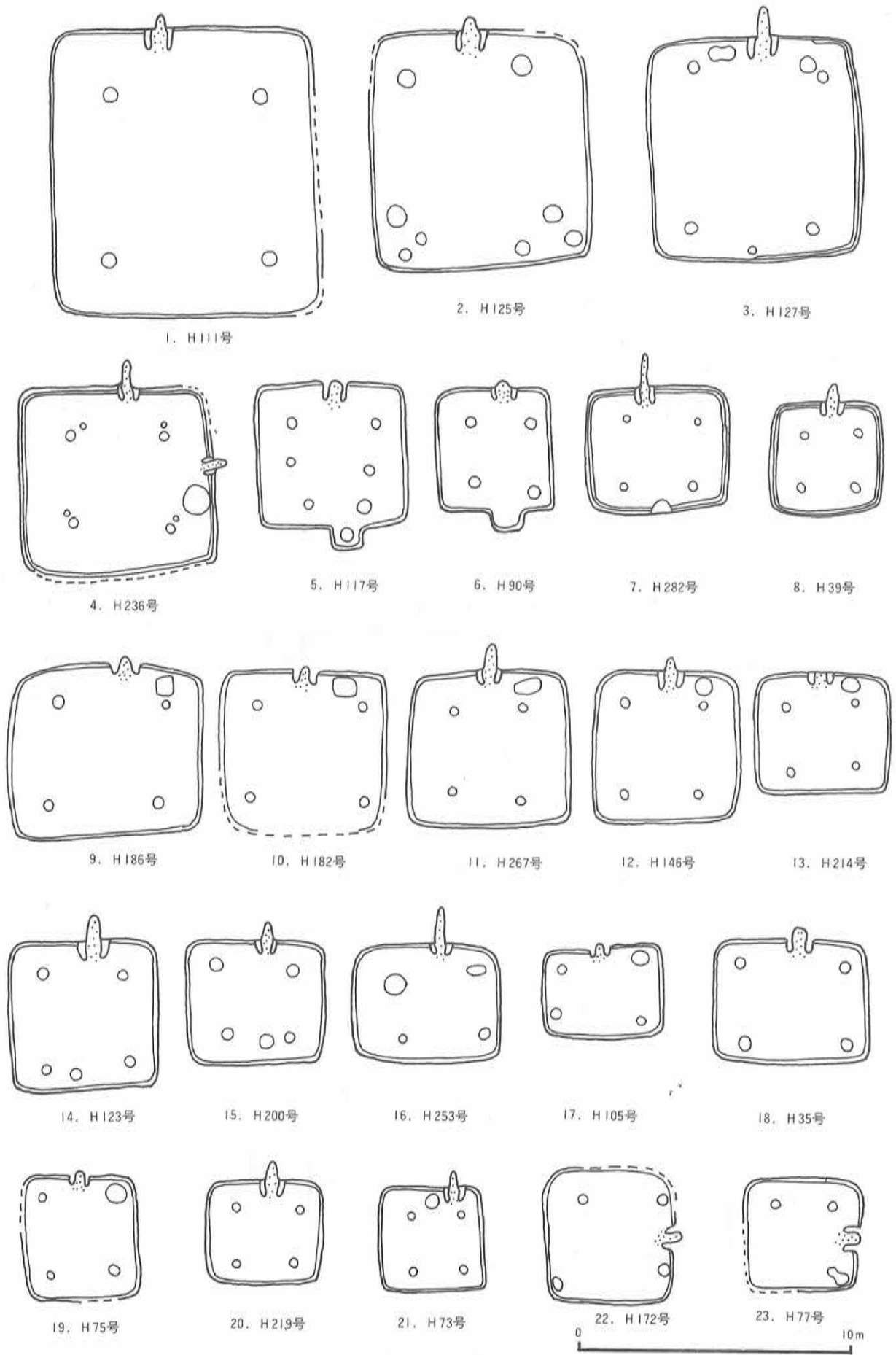
14. H254号

15. H138号

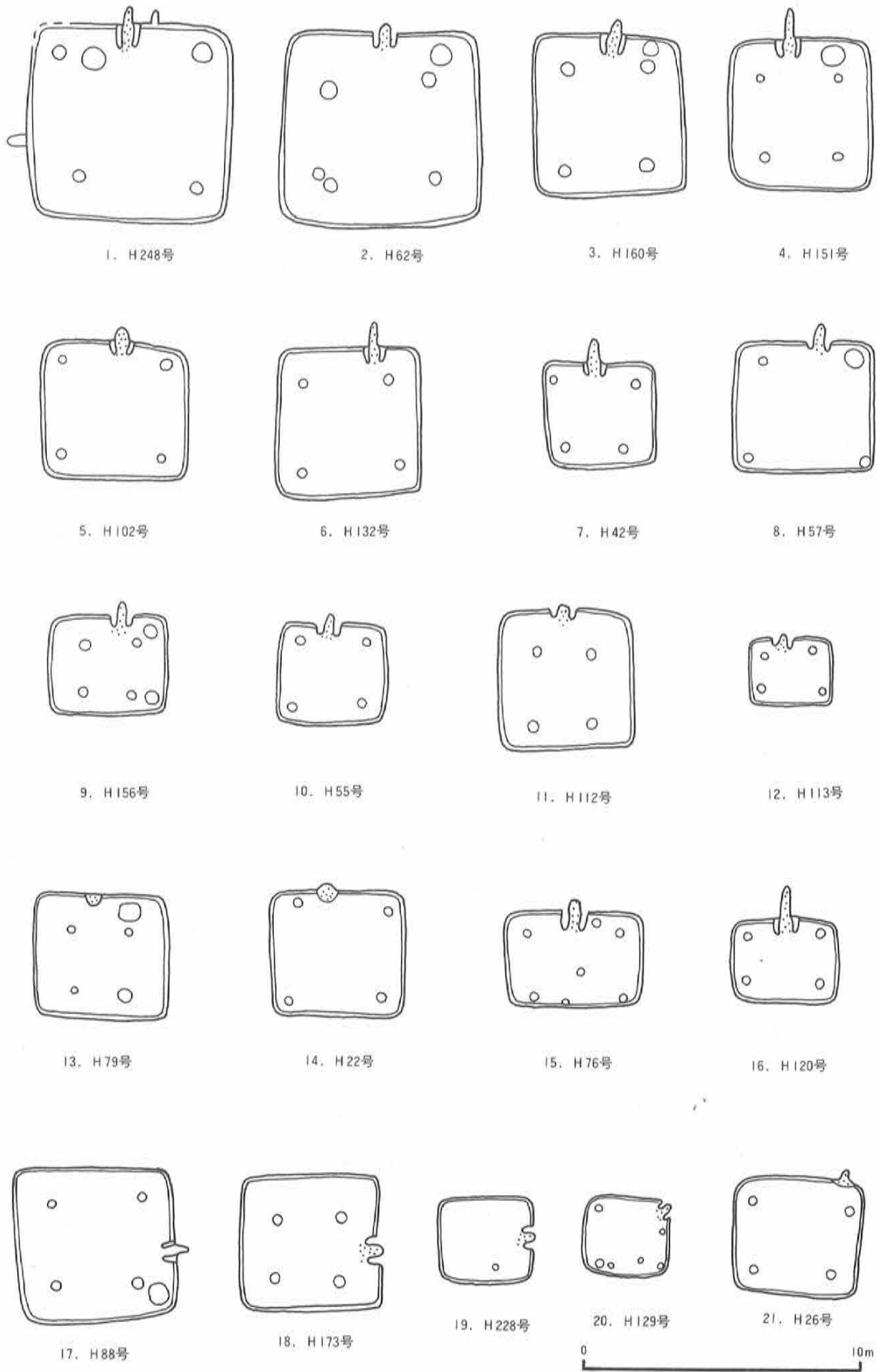
16. H121号



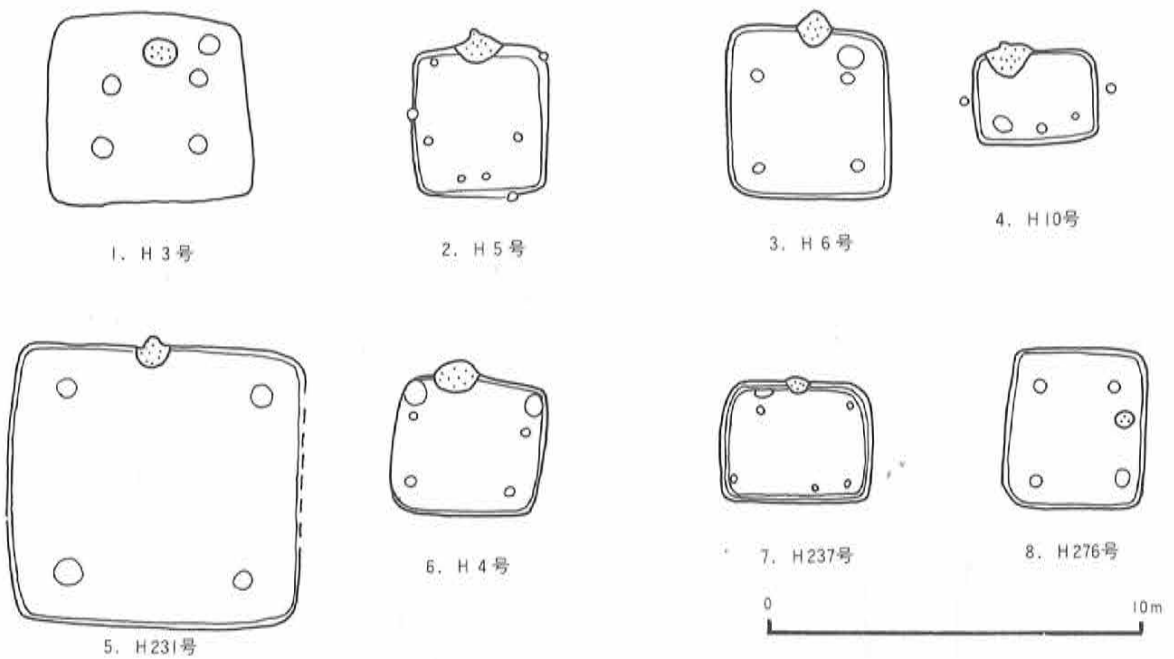
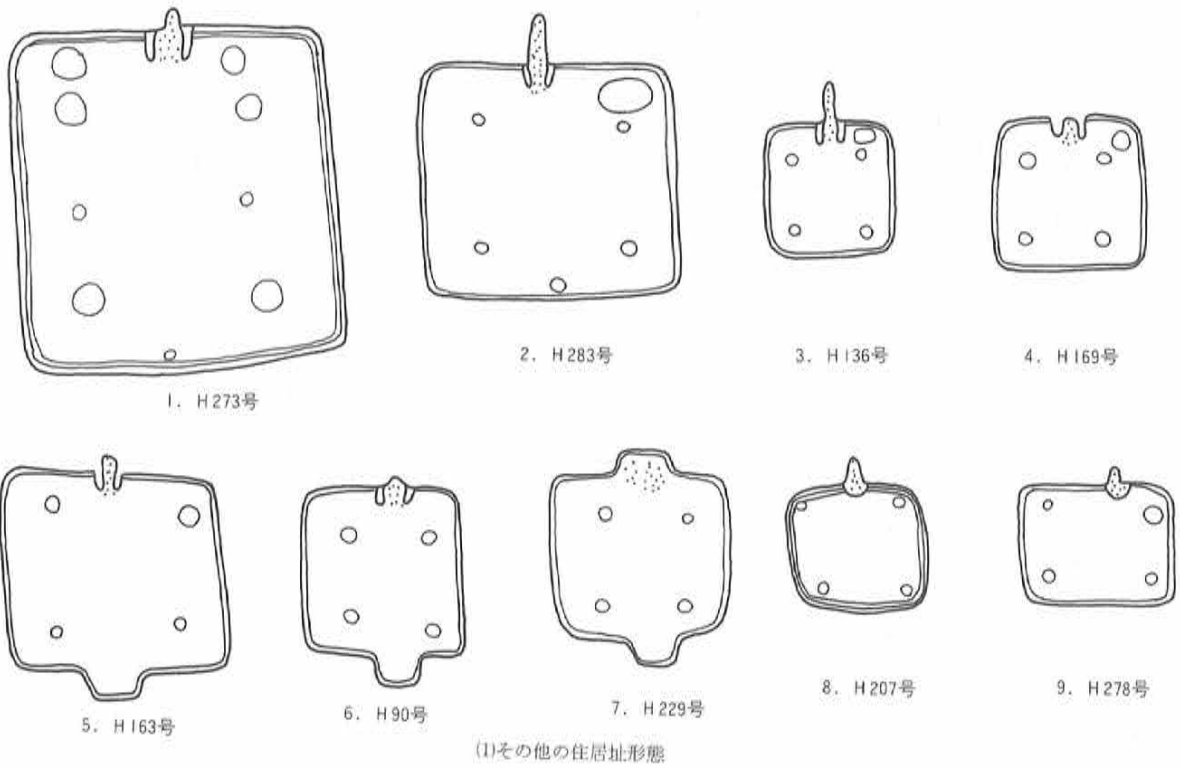
付図2 1期の住居址形態



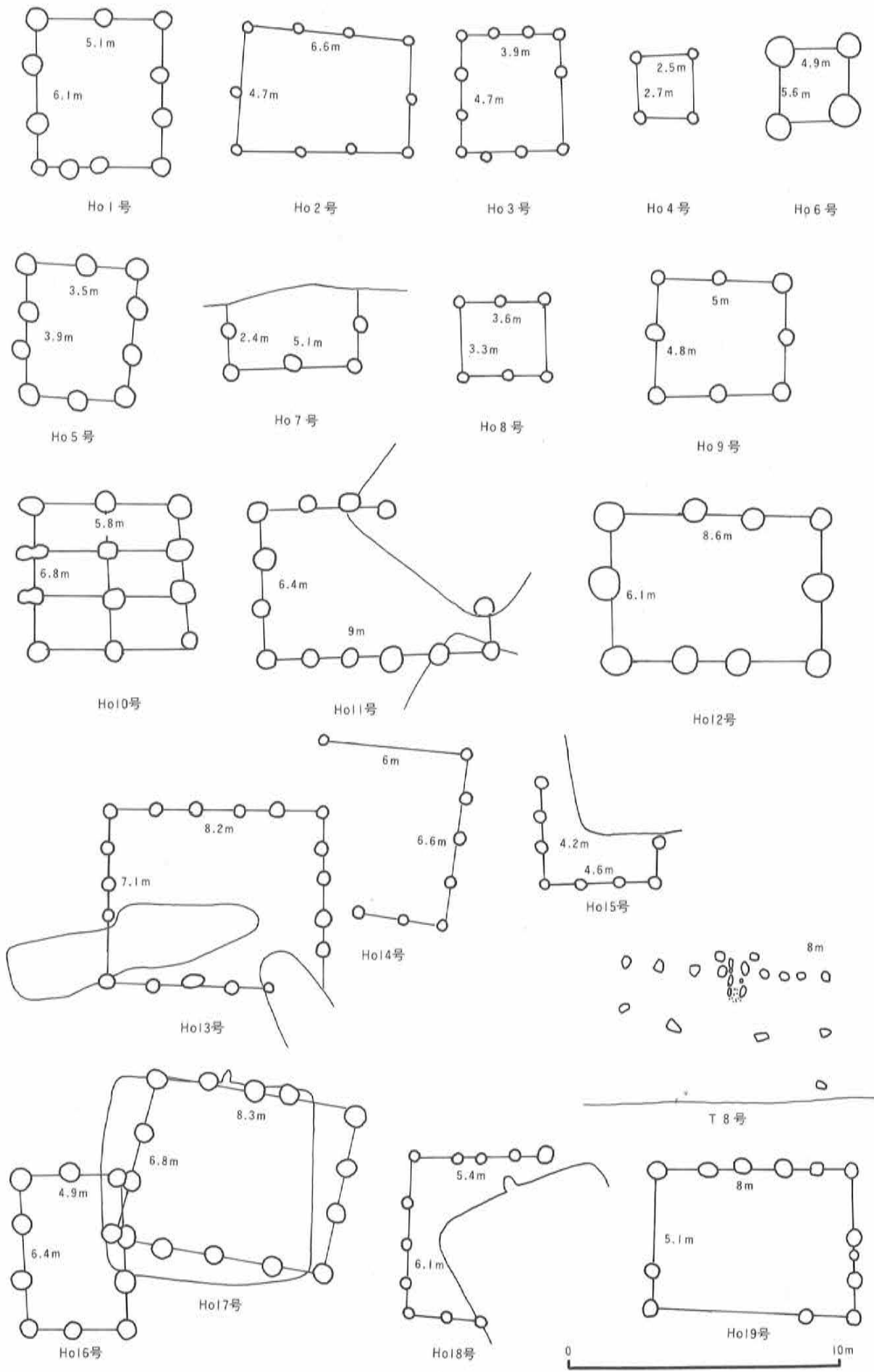
付図3 II期の住居址形態



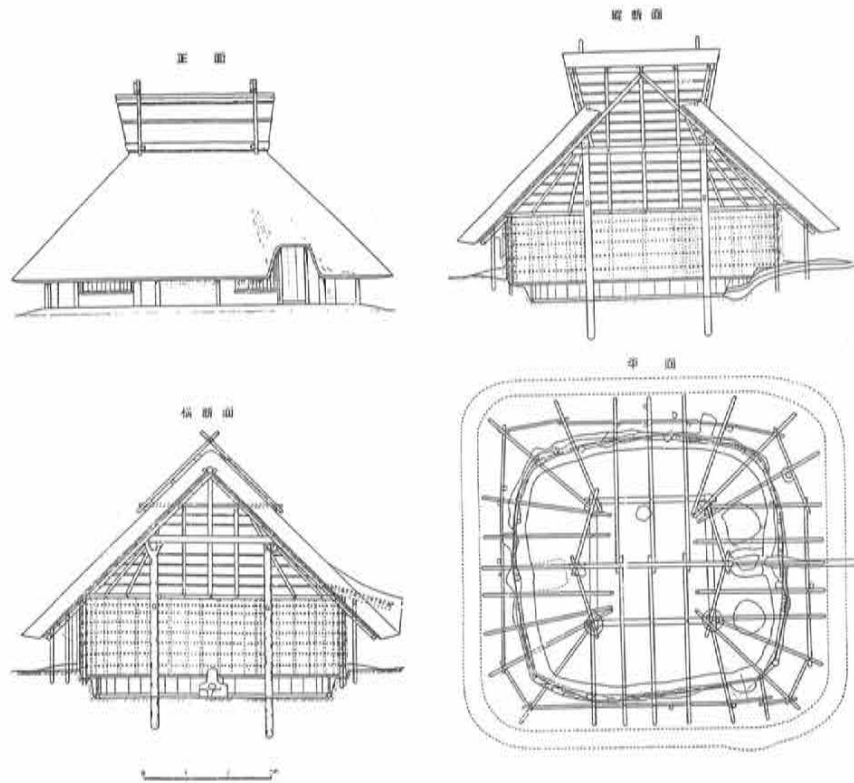
付図4 III期の住居址形態



付図5 (2)奈良時代(1~4)・平安時代(5~8)の住居址形態



付図6 掘立建物物址、T 8 特殊遺構一覽



付図7 平出遺跡第3号住居址復原図

4 樋村遺跡のカマド構造・形態

1) 古墳時代後期

本遺跡検出の住居址は、カマドを保有していたものが大半を占め、そのほとんどの遺残状態は極めて良好で、中には原形を保っていたカマドも見出された。地山土層が良好の強粘土層であったため、崩落の恐れが少なかったことが幸いしていたといえる。そのため、カマド構造の復原を可能な限り明確にすることに重点をおき、広範囲にわたる問題意識を持って断面観察をおこなった。

- ①カマド構造の存り方
- ②煙道の構造
- ③火床部と地下への焼けこみ状態
- ④袖部側面および内面への熱伝導と焼けこみ浸度
- ⑤支脚石、袖石、天井石の使用形態
- ⑥カマド内に遺存した土器の原位置を図でとらえる
- ⑦使用時における炎の伝わり方
- ⑧袖部の構築方法
- ⑨天井部の崩落状態（断面図に示した黄色焼土（ブロック・粒子状）が崩落の残存である）

以上9項目があげられる。

また、本遺跡のカマド形態および構築方法は、I期～III期を通じて特に顕著な変化はみられないが、住居址の規模によってカマド形態が決定されるという共通点が見出されている。このため、全期を一貫して、カマド形態を概観してみたい。尚、I～III期を中心に住居形態別に遺存の良好であったカマド平面図を付図7～13図に集めた。

○構築位置

構築位置は、そのほとんどが北壁中央に固定化されている。住居形態の中で明示しているように、I期は全て北壁中央に統一されているがII期に入ると僅かではあるが東壁カマドが顕れる。III期は、さらに北東コーナーに設置される類形もあらわれるが、その数値はII期、III期共に全体の5%にも満たない。特にIII期に入って、東壁・北東コーナーに設けられる例が顕れるようになるのは、前述した社会機構の変革による、家族体系の変化が起因することも考えられる。氏族崩壊による小家族制が住居規模の中にも実証的な現象となって顕れてくるように、カマドもまた多くの民俗例が示すように、これ等の要因によって、構築位置の設定に変化が生じてきたことが勘案される。

東壁カマドは、付図8、3、H118、付図9、1、H172、付図12、1、H173、8、H183の4例が図示されている。

○構材

本遺跡の基盤土層は、長い期間の沈殿によって形成された微粒子状の強粘土層であるため、構築粘土はこの地山粘質土を用いていることはいうまでもない。また、袖石、支脚石、天井石に使用した石材の石質は、遺跡東方の内山地区山間地から産出される、溶結凝灰岩（佐久石）を中心に、角閃安山岩、輝石安山岩、玄武岩、玢岩等（白倉盛男氏の鑑定による）であった。特に、天井石は溶結凝灰岩が多用され、炊口部の袖石は、角閃安山岩、輝石安山岩、玄武岩が大半を占めるが、溶結凝灰岩とセットで使用されているカマドが多い。袖石は、炊口部の袖先端に埋めこまれているものが普遍的であるが、稀には付図9、7、H33号、付図11、1、H139号のように袖全体に埋めこまれた例も見られる。補強材を必要としない程頑強な強粘土層でありながら、特にH139号のように多量の礫が使用されていることは、何等かの意図があつてのことと推察される。それは、袖部内に完形の小形甕が埋めこまれていたH179号、H136号、坏が埋めこまれていたH169号などからもいえることである。今後の課題として指摘にとどめておきたい。

支脚は、石が使用されているものが大半ではあるが、図示した第6図5、H210号にみられるコップ形を呈した土製支脚、円筒状支脚が炊口付近に横転していたH113号、カマド右脇に立てかけてあつたH227号等に土製がみられ、佐久平において土製支脚出土は本遺跡が初見である。支脚石が原形のまま埋めこまれた状態を示しているカマドは、図示した付図9、4、H243、5、H195、7、H33、付図10、1、H45、3、H91、付図11、1、H139、2、H125、付図12、3、H57、5、H173、6、H160、7、H112、付図13、4、H225、7、H168、9、H184等にみられる。大半は、玄武岩、輝石安山岩、佐久石等の石材が使用されている。また、H107の支脚石には完形の小形甕がかぶせてあつた。支脚に高坏を利用している例もみられることから、煮沸の際長胴甕をより安定させるための方策であると考えられる。この他にも多くのカマドが原形をとどめているが、各々の住居址と共に図示した平面図を参照されたい。

○構造・形態

全期を通して、基礎的構造、形態はほぼ同一であるが、次の2形態、3種に分けられる。

A形態 堅穴住居を構築する際、当初よりカマド設置の場所を定め、計画的にカマド袖部の地山層をかなり上部から残す。この内、2種類の構造が看取される。

- (a) 地山を利用した袖部先端の炊口に袖石を埋めこみ、両袖石上に天井石を高架させ、燃焼部中心に支脚石を埋める。（この構造は本遺跡のどのカマドも共通である。）

燃焼部先端を住居址の壁と同一線上まで掘りこむ。そのため、燃焼部の中心は壁に近づく。また、床面と炊口との境には段を有し、燃焼効率を高める工夫がなされている。規模は、70~90cm×80~100cmを測り、燃焼空間は30~50cm×70~100cmを計測する。小形住居址に比例した規模である。

- (b) aと大差はないが、変化として小さな煙道が設けられる。煙道部を壁外に20~30cm、半楕円状に掘りこ

み、燃焼部との境に僅かな段を設ける。床面と炊口部との段を合せて2段となる。規模は、煙道部が加わった分のみ縦長となる。

B形態 構造的変化としては、煙道部が壁外に、最長130cm、最短50cm、平均80~100cmを測る長さをもって、円柱状に掘りこまれ、煙道先端部に円形の穴を有す。住居址の壁中央よりこの円形状の穴までゆるやかな上り坂状に傾斜させながら空道にし、煙を外へ送り出す効果を取る。

袖部は、断面図に示してあるように、床面から20~30cmまで、いわゆるカマドの天井部を高架させる接合部までは、堅穴構築の過程で計画的に残した地山を利用している。また、僅少ではあるが土器・礫類を袖部に埋めこむため、それ以外においても、新たに地山の強粘土を固めて袖部を形成した2種が見られる。これ等の区分は、袖部断面図に図示したが黒色・黒褐色のしみこみを残した袖部で顕著にあらわれている。尚、A形態の地山利用の袖部は、遺構確認時点から明確に顕れていたが、B形態においては、袖部残存面（住居址プラン確認面より10~20cm下った面）でA形態と比較して不鮮明な色に変色していたが認められた。また、煙道部と燃焼部の段差は大きく、平均20~30cmを測り、より高い熱効率と空気の流通効果をねらったものと考えられる。平均的な規模は、80~130cm×100~130cmを測り、燃焼空間は、30~50cm×100~130cmを測る。袖と袖間の巾は、A形態の小形カマドと大差ないが、燃焼部の袖部側面は抉れた状態の立ち上りをみせている。この抉れた部分に焼土、炭化粒子が付着しており、これにより正確な袖部の検出を可能としてくれた。

B形態のカマドは、超小形~小形（一辺300cm内外）を除いた、全期の住居址に普遍的にみられる。

大雑把ではあるが以上が本遺跡においてみられるカマドの構造、形態分類である。以下、集成図を中心にその所属状況を追ってみたい。

A形態a類に属するカマドは、特に小形住居址に多く、II期~III期の住居址の小形化に共なって多くなる。集成に入らなかったI期では、H72・H138・H140・H266がこの部に属する。II期は付図9、4・5がこれにあたり、特に4のH243は6個体の土器がカマド内に遺残していた。III期は付図12、5・7・8がa類に、この他付図13、6・7・9は床面と炊口との境に段を形成している点で、良好な遺残状態を示している。これ等段の形成は、水はけの悪い土層である為、水分は土に浸透しないでそのまま残ることから、水分を残さないために設けられた方策であると共に、b類の2段を形成しているH48、H275のように、つくり付けカマドは須恵器製作の技術流入と共に朝鮮半島南部からわが国に伝った、登窯の構造と類似することを、『カマド出現に関する二・三の問題』（「歌舞伎遺跡」）の中で林博通氏は指摘している。構造的面において重視される指摘といえよう。

b類は、II期付図9、1~3・4、III期付図12、1~4・6、付図13、8・9がこれに属す。これ等の段を形成しているカマドは佐久平においても初見である。土層との関連において変化が生じたものであろうか。類例の増加を待ちたい。

B形態に属するカマドは、a類・b類にあげた以外のものが該当するので省略し、代表例として付図8、1の県下において最大級の住居址となった、H258のカマドを見てみたい。

超大形住居址にふさわしい大形カマドである。煙道部を壁外へ130cm、円柱状に掘り込み、カマドの規模は190×120cmを測る。燃焼空間は190×40cmを測り、袖と袖間の巾は、小形住居址と変化ないため、細長くのびて熱効率を高めている。火床は60cmの範囲にわたり焼土が堆積し、火床下の掘りくぼみはなく、焼けこみが礫層の直上まで5~6cmにわたって浸透している。住居址のプラン確認の時点で、すでに床面に達している部分もあり、上面がかなり破壊されていた関係から、煙道部と燃焼部の段差も僅か見られるのみである。袖石と支脚石はしっかりと土中に掘りこまれ、天井石は崩落して床面に横たわっている。また、炎の伝わり方はスクリントーンによって示されている焼土の付着によって、その範囲が看取される。ダイナミックなカマドであることに驚かされる。袖と袖間の巾が小形カマド~大形カマドまで数値に変化がみられないことは、土器形態が同一であるという要因が考えられる。

2のH220号はやはり大形住居址である。しかし、このカマド形態は普遍的にみられるB形態と異なる点が注目される。煙道部の掘りこみが壁外にみられず、袖部が住居址の壁まで連続している。このため、煙り出し施設は住居址の壁立ち上り位置に設けられたと考えられる。構造の基準は変化していない。規模は170×100cmを測り、燃焼部は70×45cmを測る。特にカマド周辺に多量の土器が散乱しており好資料となった。

なお、本遺跡においては、火床部の熱が火床下に浸透する状態も強粘土層であったため、観察が可能となり断面図に加えることができた。結果、本遺跡のカマド火床下は、僅かな例外を除いては、レベル的には床面より高いか、僅か掘りくぼめている。これは、住居址平面図でのカマドを通したエレベーションによっても、あらわれ、カマドに近づくに従ってゆるやかに床面が上る状態を示していることが観察される。

また、煙道が空道のままの状態となって原形を保っていた、II期付図10、H224、付図13、H207、H230も貴重な資料である。煤、焼土が全体に付着しており、断面観察の際の切解は、熱によりコチコチに固まった土の掘り下げは困難であった。特に、H207の煙道は深く33cmを測る。

この他、土器の遺残が良好であった、付図13、3、H284、4、H225、土製支脚が原形を保っていた、5、H210号も興味深い資料として提示した。佐久平では跡部町田遺跡のカマド形態が最も本遺跡に類似している。

○奈良・平安時代のカマド

古墳時代後期のカマドと対比するため、付図14、1・2・3の奈良時代、4、平安時代のカマドを明示した。構造的には奈良時代と平安時代との変化は見られないが、古墳時代後期との違いは大きい。

○煙道部の縮小 ○袖部は石組主体で粘土を固めた部分が僅少である。 ○燃焼空間の拡大

○煙道部と袖部の大半が壁外に出た状態で設置され、燃焼部の中心は壁際にある。

○天井石が認められない。

以上が観察される。

土器形態の変化、住居址の変化、社会構造の変化等、さまざまな要因によって生じた所産であると考えられるが、比較、検討の対象としての資料提出としたい。

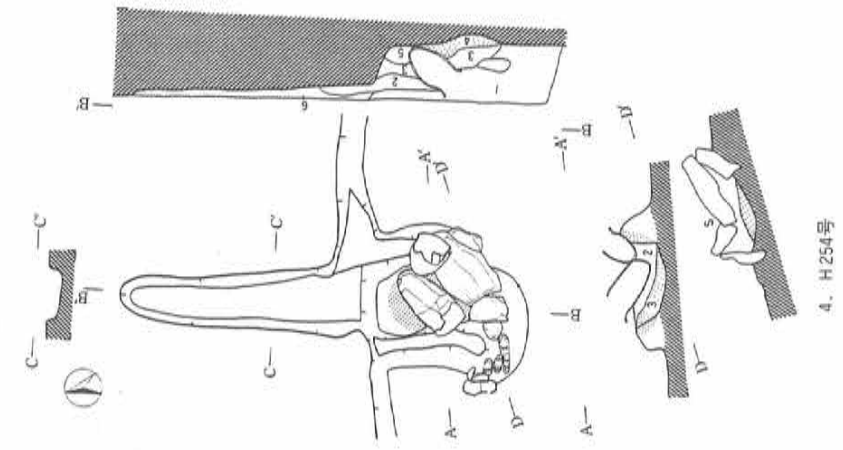
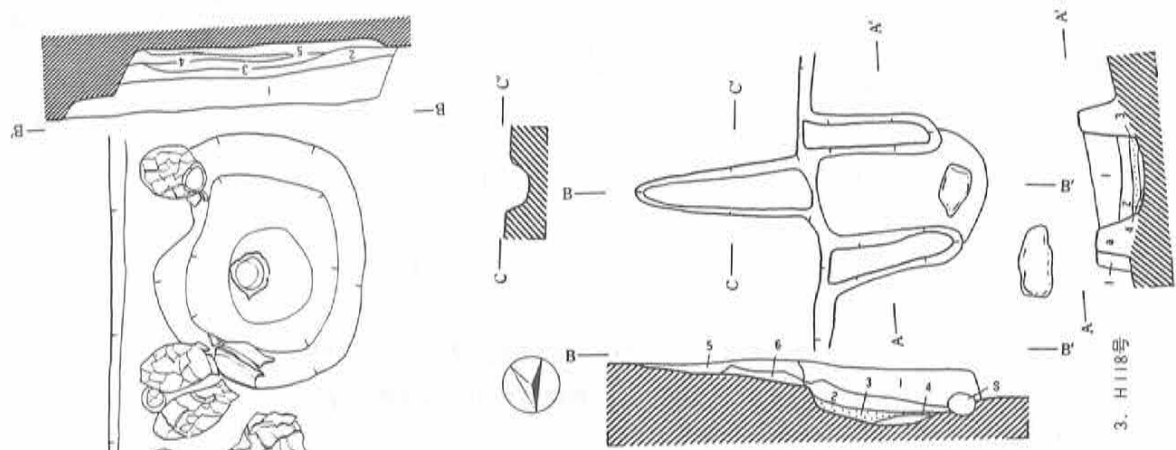
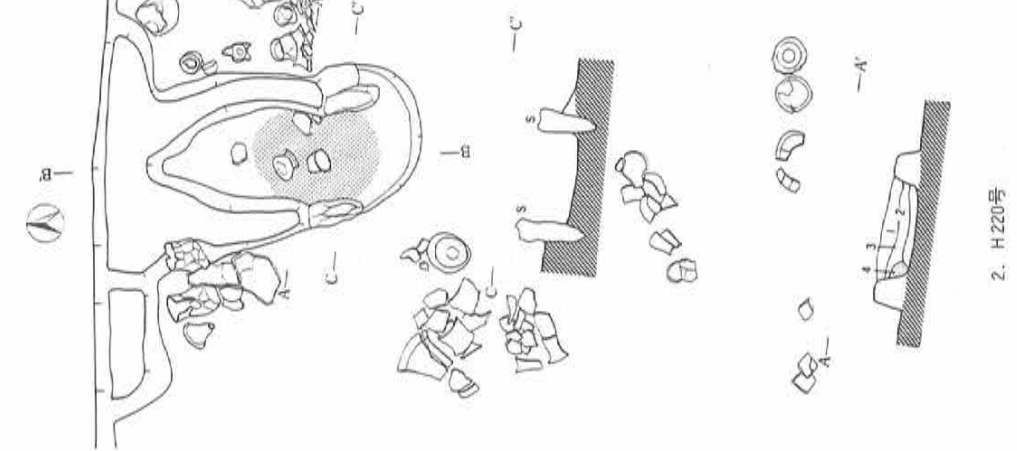
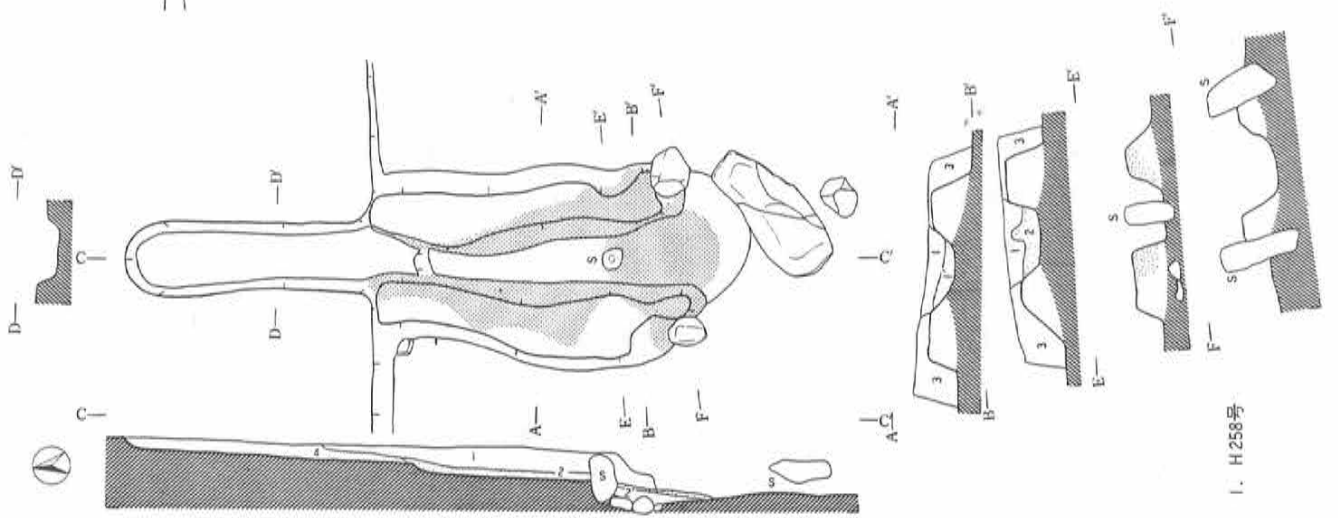
ここでは、樋村遺跡の古墳時代後期のカマドを中心に、形態、構造をみてきたが、佐久平のカマドについては、『若宮遺跡』で小山岳夫氏が詳細な論究を試みているので参照されたい。

なお、カマドの構造については、三石延雄、佐々木宗昭調査員と検討し、本稿を作成した。

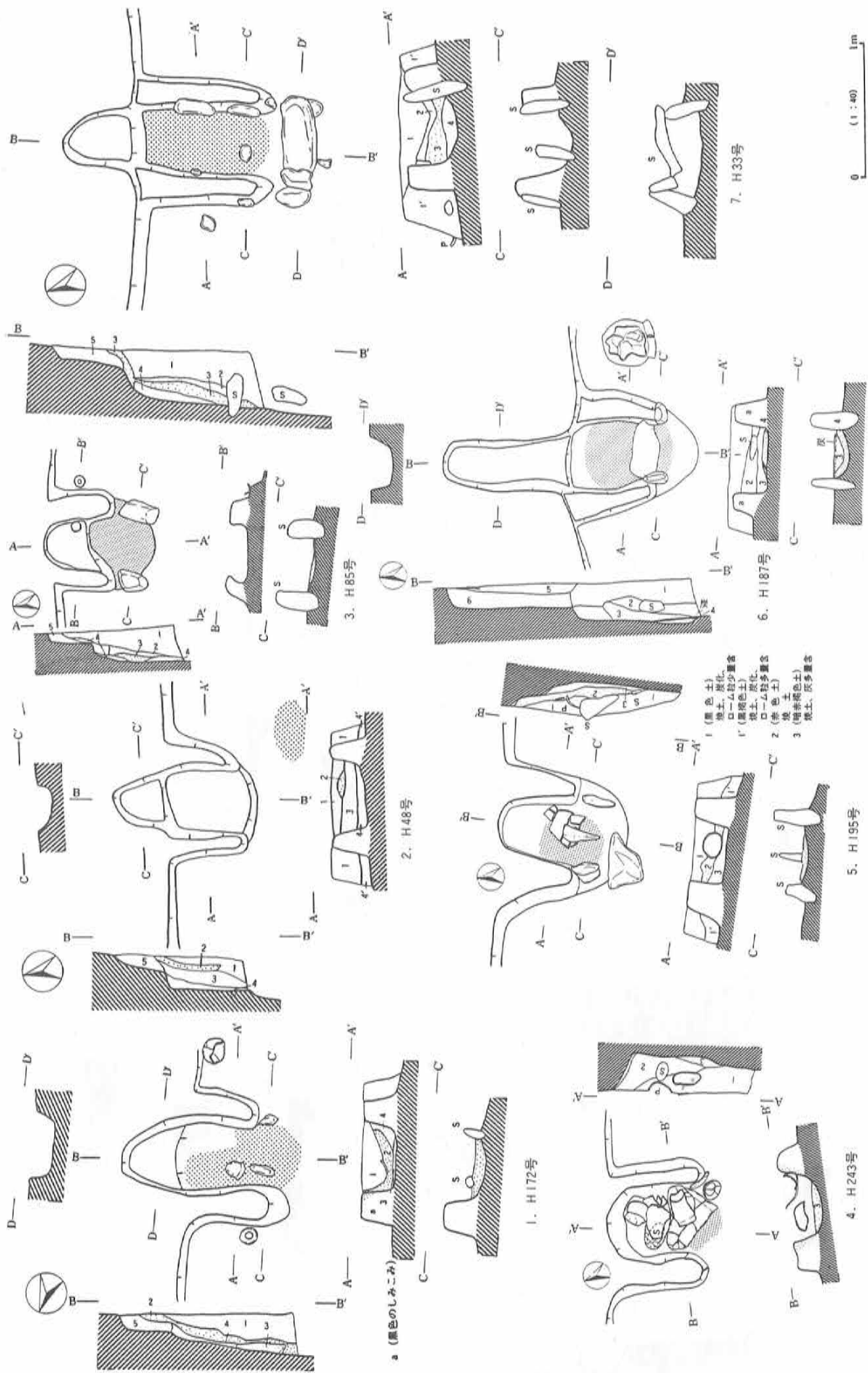
5 樋村遺跡出土の玉類（付図15）

本遺跡の住居址から出土した玉類を付図15にまとめた。さらに、全体図の中で出土した住居址に●印を入れて一見できるように図示した。玉の種類は、白玉、小玉、管玉、切子玉、勾玉、丸玉等があり、石材は滑石が主体を占めて、白玉をつくり出し、管玉、切子玉は碧玉岩を素材としている。また、丸玉類は土製品が多い。出土した住居址は総計70住で全体の25.6%を占める。特徴としては、△焼失住居から多量に出土。△床面直上・カマド付近から出土。が最も顕著である。特にH284住からは、カマド内に残存した甕の中から6個連なった状態で発見された。焼失住居址から多数出土している原因は、突然の火災に持ち出す余裕もなく、日常品がそのまま残存したものと考えられる。作りかけの製品も出土しており、これ等は孔が穿たれ、1×2cmの長方形や2.5×2.5cmの四角形を呈し、未だ白玉の形がつくり出されていない。孔の大きさから完成品を推測すると、直径約1cmの白玉となる。かなり大形の素材から作り出されていることが理解される。この作りかけにより作業工程もおのずと判断される。

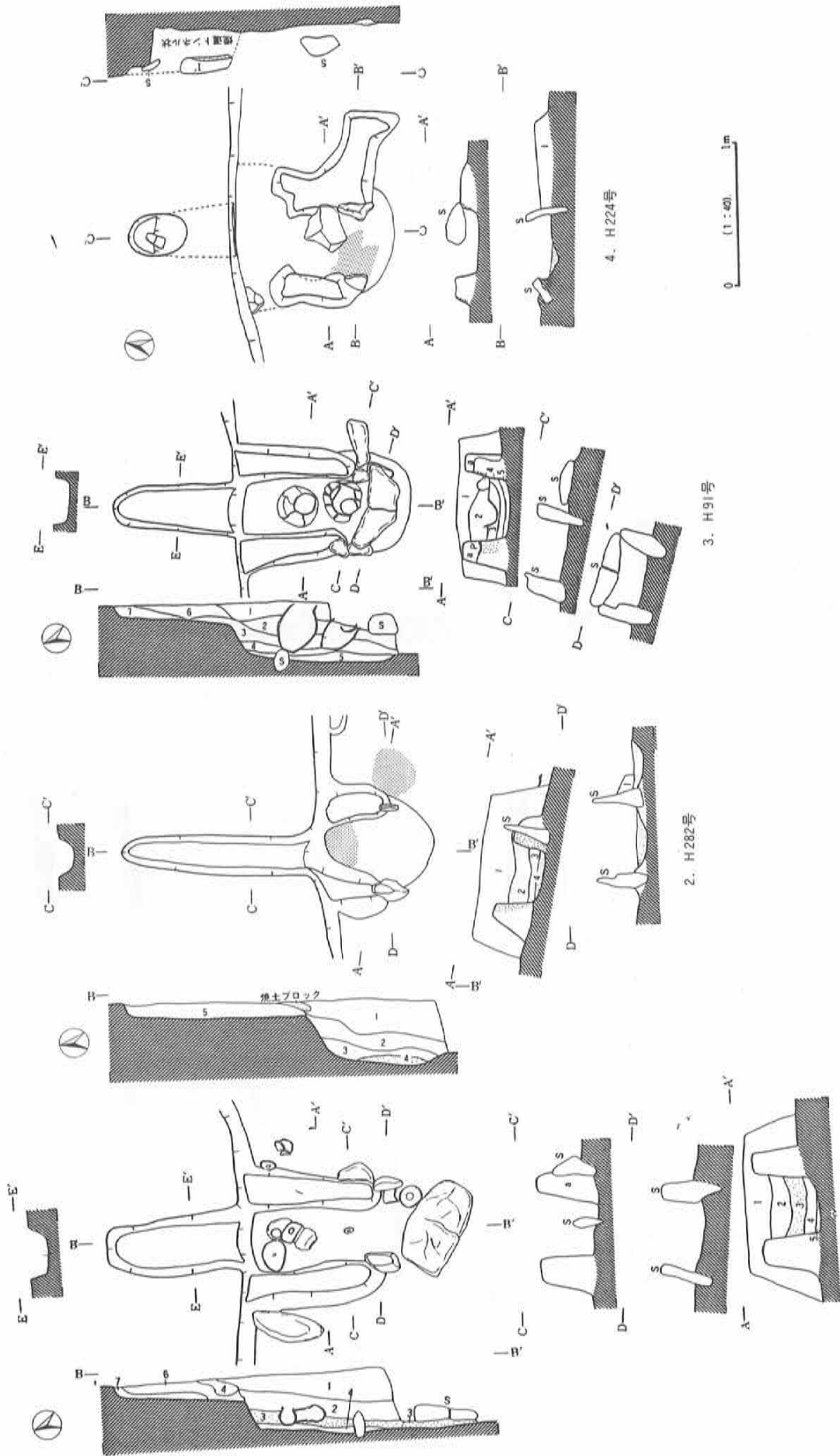
これ等の玉類が、25.6%の住居址から出土していることから、一般的な装飾品であったと推察される。勾玉、切子玉、管玉が出土した住居址も決して特別なつくりの住居址とおもわれぬ普通の住居であり、銅環が出土したH243号もごく一般的な竪穴住居である。また、樋村遺跡の集落の首長たる人物を埋葬したと推察される後家山



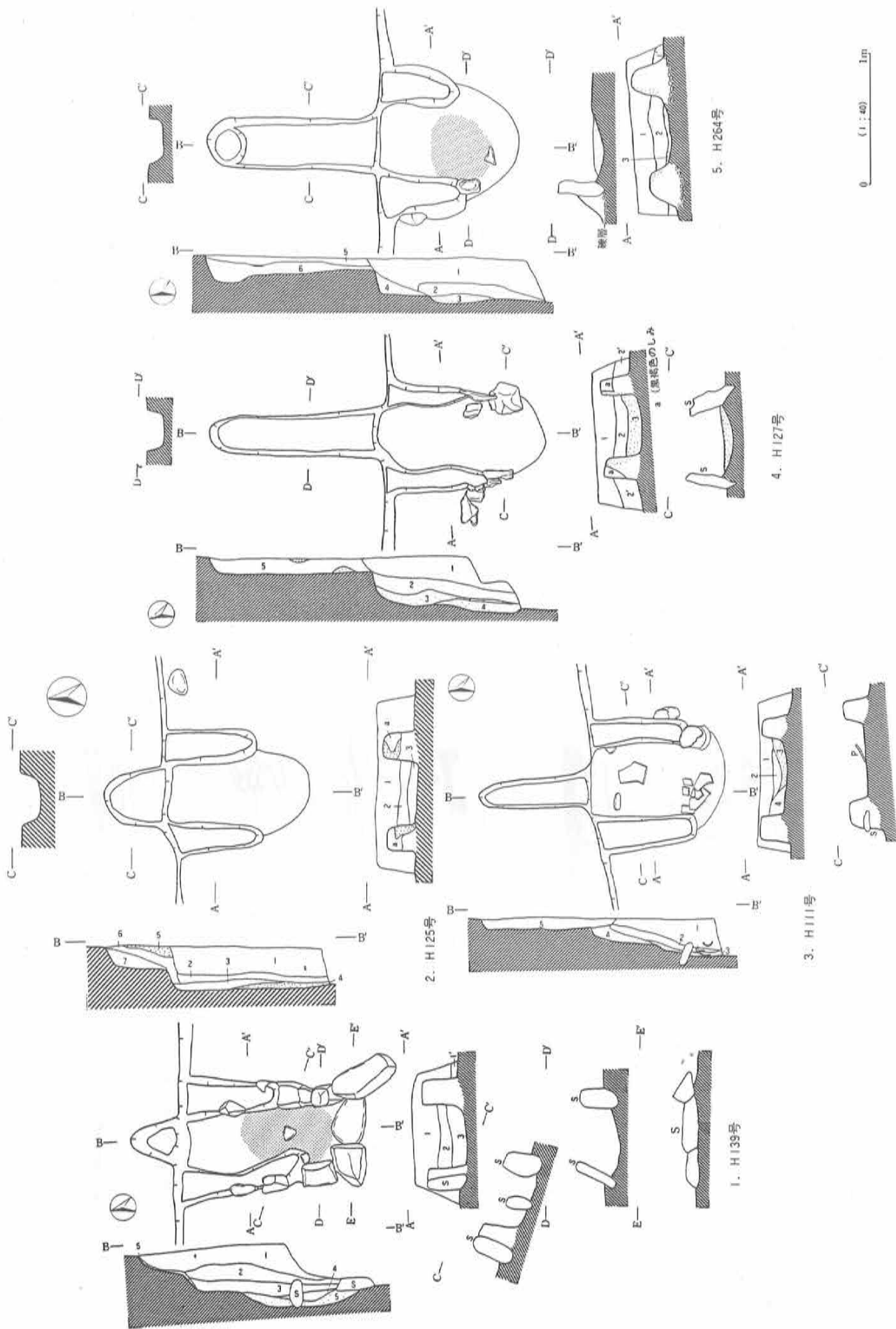
付図8 I期大形・小形住居址のカマド



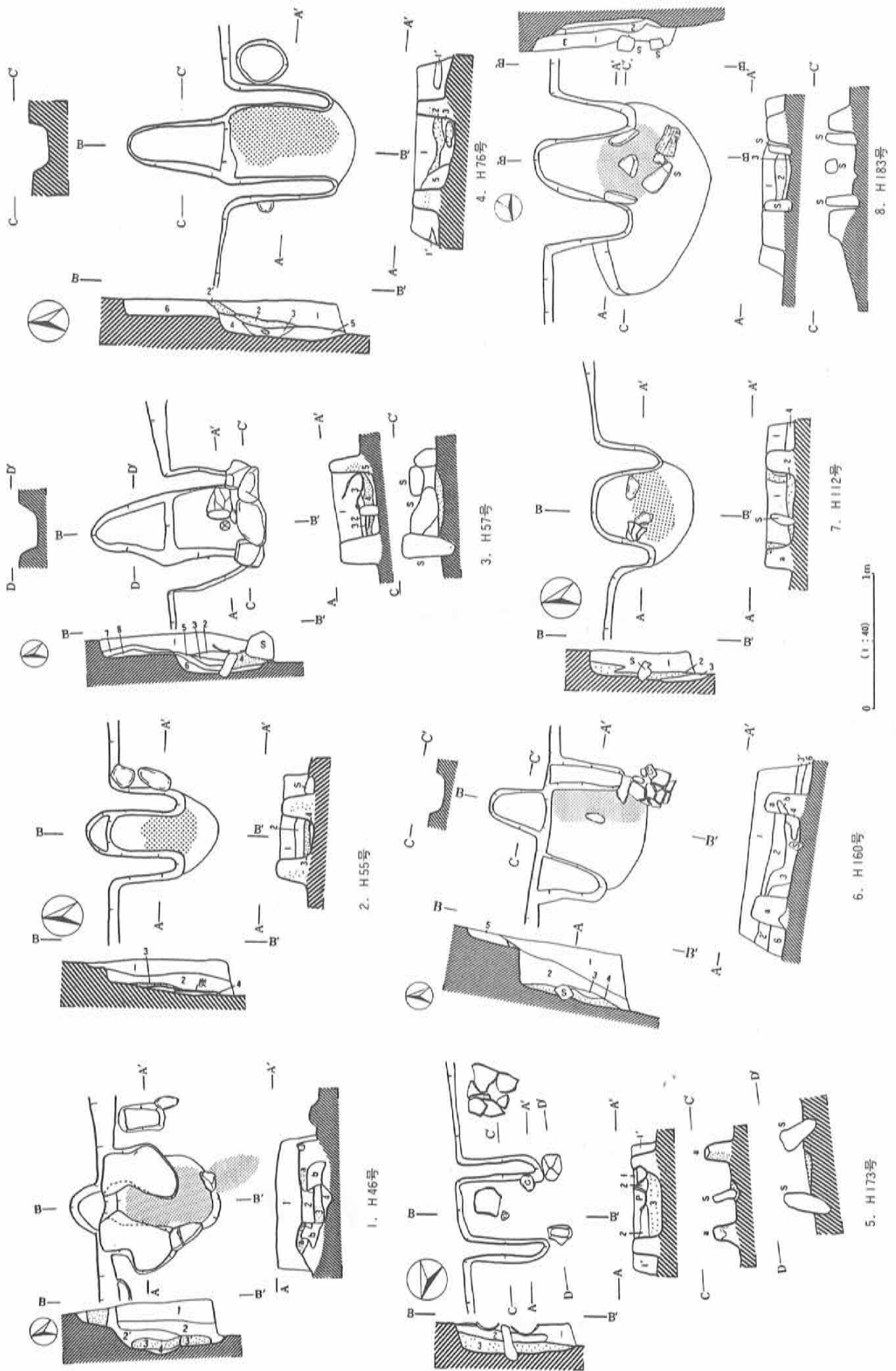
付図9 II期小形住居址のカムド



付図10 II期中形住居址のカマド

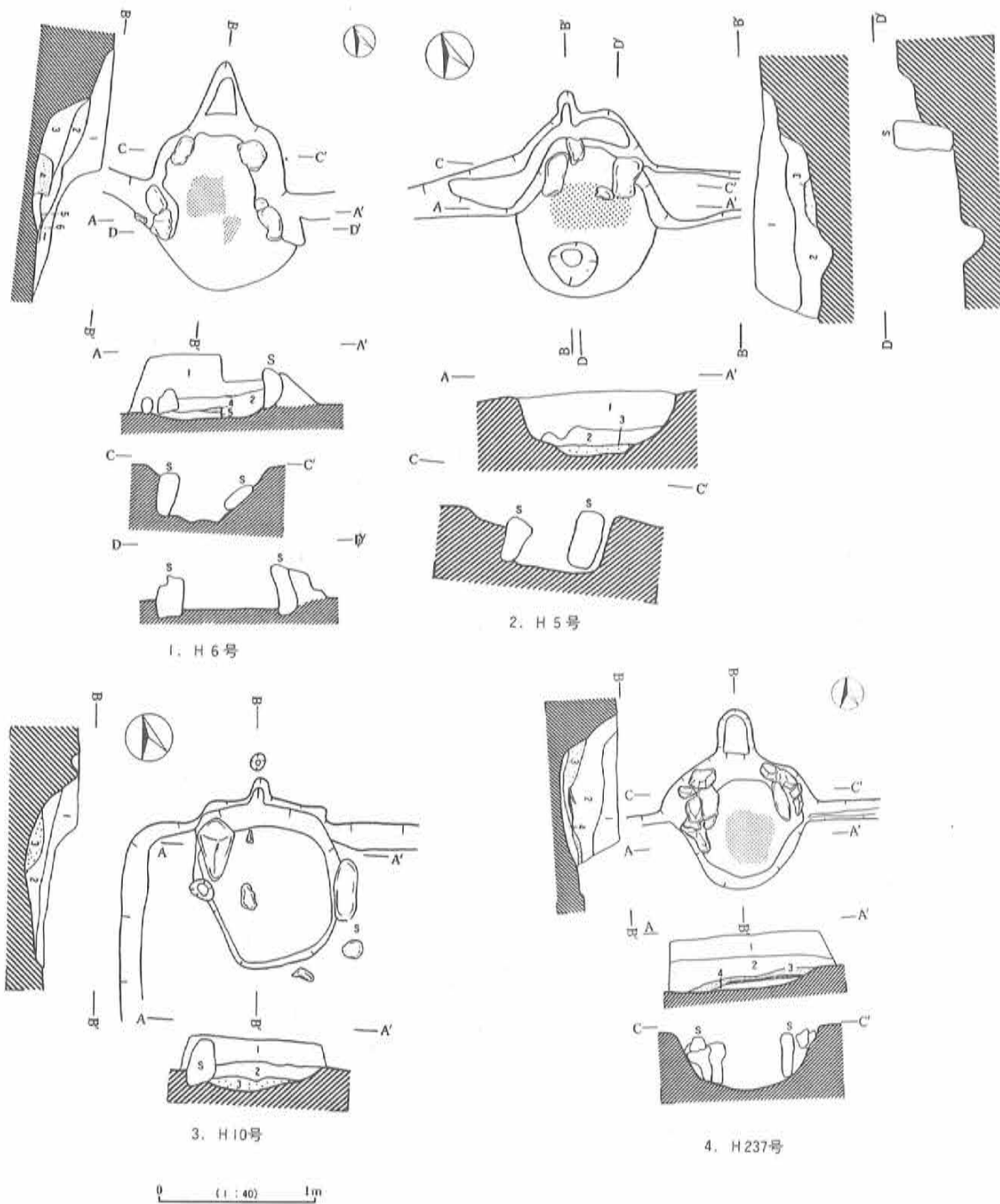


付図11 II期大形住居址のカマド



0 (1:40) 1m

付図12 Ⅲ期住居址のカマド



付図14 奈良時代・平安時代のカマド

古墳の石室から出土した装飾品は、切子玉8、管玉7、ガラス小玉14、小形白玉12等と同類のものが多いが、切子玉が水晶製であり、ガラス小玉も加わる。首長と一般庶民との差であろう。

本調査の中では、こうした玉類を作り出した工房とも言うべき住居址は発見されなかった。ただ、Tallの施設が特殊ではあったが、石材のくずが1片も見当たらないので判然としない。しかし、作りかけがH129、H211、H267、H273等の住居址から出土しており、特殊性も認められなかったことから、滑石による白玉類の簡単な製作は各住居址でおこなっていた可能性が強い。これ等も含め生活復原は今後の課題としたい。

貴重な資料を提供してくれた本遺跡は、調査期限および報告書作成の諸制約により、ここまでのまとめが最大の努力限界である。遺物整理が終了した時点において、早計な判断であった箇所は速かに訂正して、完成に向きたい。

(島田 恵子)

付図15 樋村遺跡玉類出土住居址一覧表

住居址No.	分類	素 材	個数	備 考	住居址No.	分類	素 材	個数	備 考
H11	丸玉	土 製	1	床面直上	H181	丸玉	土 製	1	床面直上
H17	白玉	滑石製	17	焼失住居、床面出土	H183	白玉	滑石製	3	〃
H22	〃	〃	1	床面直上	H190	〃	〃	7	焼失住居、北側のほぼ中央部寄り壁付近
H34	丸玉	土 製	1	〃	H192	丸玉	土 製	1	カマド付近
H41	白玉	滑石製	1	〃	H196	〃	〃	1	床面直上
41	丸玉	土 製	1	〃	H199	白玉	滑石製	1	〃
H42	管玉	碧玉製	1	〃	H202	丸玉	土 製	1	カマド内
H45	白玉	滑石製	1	カマド内	H208	白玉	滑石製	1	床面直上
H46	丸玉	土 製	1	床面直上	H210	〃	〃	6	焼失住居、南東寄り床面直上より出土
H48	〃	〃	1	〃	H211	〃	〃	1	カマド内
H64	白玉	滑石製	1	〃	211	〃	〃	1	作りかけ、床面直上
H66	丸玉	土 製	1	〃	H213	〃	〃	3	床面直上
H71	〃	〃	2	〃	H216	〃	〃	2	カマド内
H73	白玉	滑石製	1	〃	H218	〃	〃	11	焼失住居、南西コーナー寄り炭化材の中より出土
H86	〃	〃	4	カマド左側袖部の脇より出土	H219	〃	〃	2	床面直上
H98	〃	〃	1	床面直上	H222	勾玉	〃	1	〃
H104	〃	〃	4	北東、東南、南西の各コーナー寄りから各1個ずつ東側の北寄り壁面1個	H223	管玉	〃	1	〃
H105	〃	〃	1	床面直上	223	白玉	〃	2	〃
H106	管玉	土 製	1	〃	H228	〃	〃	1	〃
H107	白玉	滑石製	1	〃	H229	〃	〃	2	焼失住居
H110	〃	〃	1	〃	H230	〃	土 製	1	床面直上
H112	〃	〃	1	〃	230	丸玉	〃	1	〃
H114	〃	〃	1	〃	H232	管玉	滑石製	2	〃
H125	切子玉	〃	1	〃	H236	白玉	〃	2	〃
H127	白玉	〃	1	覆土	H238	〃	〃	1	〃
H129	〃	〃	1	作りかけ・トレンチ	H243	〃	〃	5	カマド内 3個、(銅環)トレンチ 東側、カマド右脇 2個
H132	丸玉	土 製	1	覆土	243	〃	〃	半分	カマド内の左脇より出土
H135	白玉	滑石製	1	床面直上	H248	〃	〃	18	カマド内 4個、東寄り床面14個
H146	〃	〃	1	〃	H258	〃	〃	4	カマド内の左側より出土
H150	〃	〃	1	カマド付近	H262	〃	〃	1	床面直上
H152	〃	〃	1	床面直上	H263	〃	〃	1	〃
H153	〃	〃	1	〃	263	丸玉	土 製	1	〃
H169	〃	〃	1	〃	H264	白玉	滑石製	10	カマド内 4個、西南寄り床面より 6個
H170	丸玉	土 製	1	〃	H267	〃	〃	2	床面直上
H171	白玉	滑石製	1	〃	267	〃	〃	2	作りかけ、床面直上
H172	管玉	〃	2	〃	H268	〃	〃	2	カマド内 1個、カマド付近1個
172	白玉	〃	1	〃	H273	丸玉	土 製	1	床面直上
H174	〃	〃	1	〃	273	〃	滑石製	2	作りかけ、床面直上
H175	〃	〃	2	〃	H284	〃	土 製	6	カマド内残存のカメの中より出土
H180	丸玉	土 製	1	〃					

引用参考文献

- | | | | |
|---------------------|-----------|----------------------------------|---------|
| 佐久市教育委員会 | 1967 | 『佐久平ゴルフ場古墳群調査報告書』 | |
| 〃 | 1972 | 『佐久市中込深掘遺跡発掘調査概報』 | |
| 〃 | 1974 | 『佐久市平賀後家山古墳緊急発掘調査報告書』 | |
| 〃 | 1978 | 『上桜井北』 | |
| 〃 | 1978 | 『跡部町田』 | |
| 〃 | 1984 | 『上の台』 | |
| 〃 | 1984 | 『佐久市遺跡詳細分布調査報告書』 | |
| 〃 | 1984 | 『若宮遺跡』 | |
| 駒沢大学考古学研究室 | 1982 | 『千葉・上ノ台遺跡』 | |
| 群馬県文化財保護協会 | 1974 | 『歌舞伎A遺跡』 | |
| 塩尻市教育委員会 | 1983 | 『吉田向井』 | |
| 平出遺跡調査会 | 1955 | 『平出』 | |
| 東筑摩郡・松本市・塩尻市郷土資料編纂会 | 1955 | 『東筑摩郡・松本市・塩尻市誌』 | |
| 小山 岳夫 | 1984 | 『V総括 佐久平におけるカマドについて』(『若宮遺跡』) | |
| 杉原荘介・大塚初重 | 1973・1974 | 『土師式土器集成 本編3・4』 | 東京堂 |
| 高群 逸枝 | 1966 | 『招婿婚の研究一』 | 理論社 |
| 町田 章 | 1979 | 『装身具』(『日本の原始美術9』) | 講談社 |
| 森嶋稔・小林孚・笹沢浩 | 1976 | 『上水内郡誌 歴史編』 | 上水内郡編纂会 |
| もろさわ ようこ | 1970 | 『おんなの歴史上』 | 未来社 |
| 樋口 清之 | 1979 | 『宮廷生活と庶民の日々』(『図説日本文化の歴史2 飛鳥・白鳳』) | 小学館 |

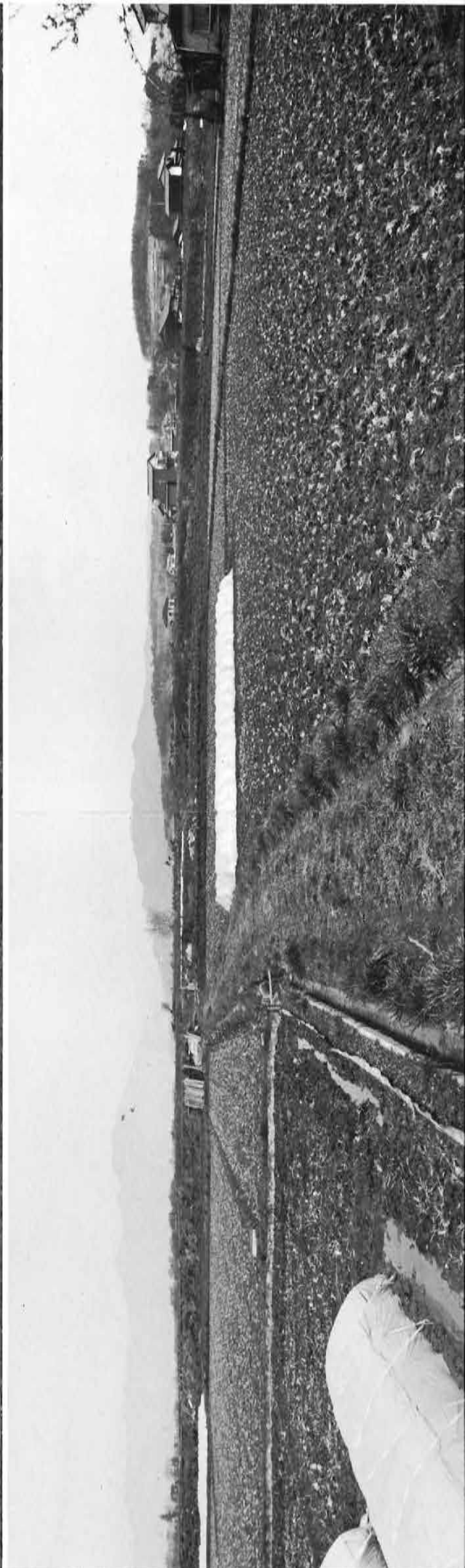
遺跡付近航空写真

- 1 樋村遺跡
- 2 後家山古墳
- 3 新町遺跡
- 4 中屋敷遺跡
- 5 久瀬添遺跡





- 1 58年度第二次
調査区遠景
(西より)
- 2 58年度第二次
調査区遠景
(南より)



1 57年度第一次
調査区全景
(東より)



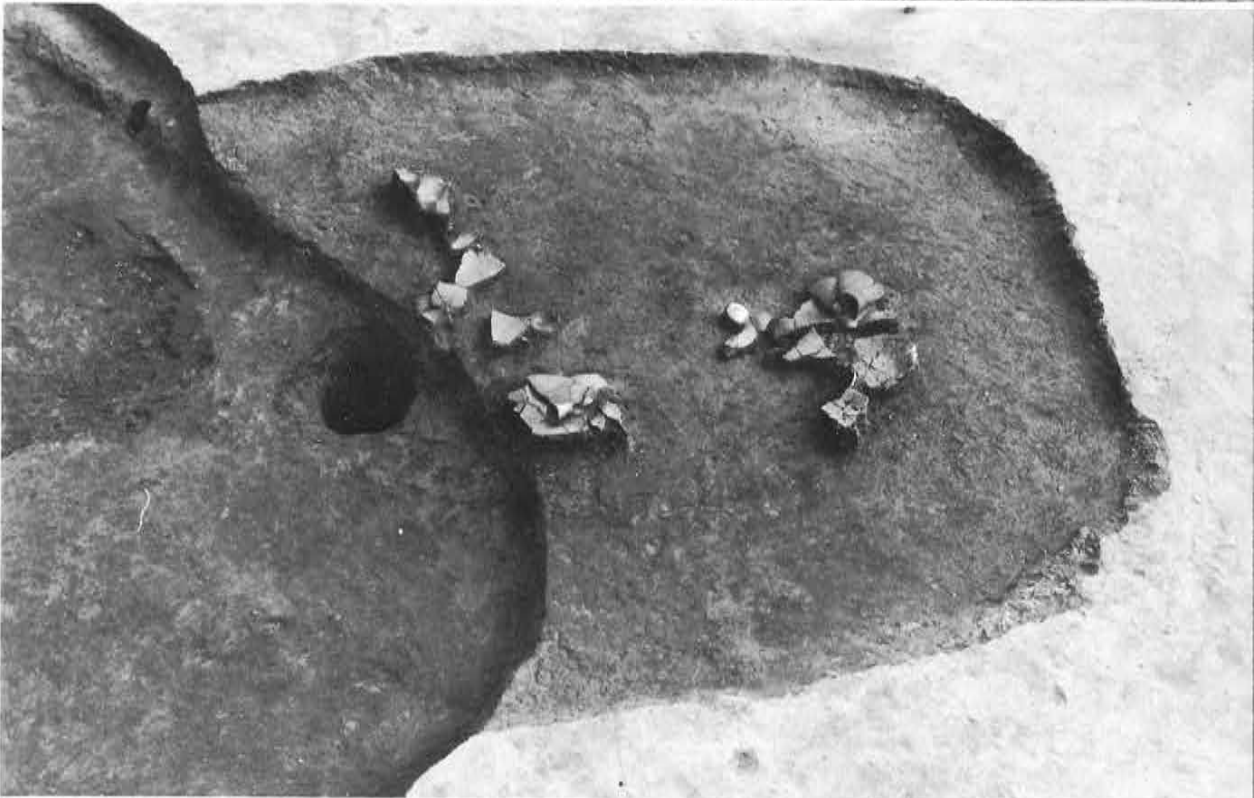
2 57年度第一次
調査区全景
(西より)



1 Y1号住居址
(東より)



2 Y2号住居址
(西より)



3 Y3号住居址
(南より)





1・2
Y 2号住居址
遺物出土状況



3 Y 3号住居址炉

4 Y 4号住居址炉



5 Y 4号住居址
炭化材出土状況



6 Y 4号住居址
(東より)

1 Y6号住居址
(南西より)



2 Y7号住居址
遺物出土状況



3 Y7号住居址
(東より)





1 Y8号住居址
(南より)



2・3
Y7号住居址
遺物出土状況



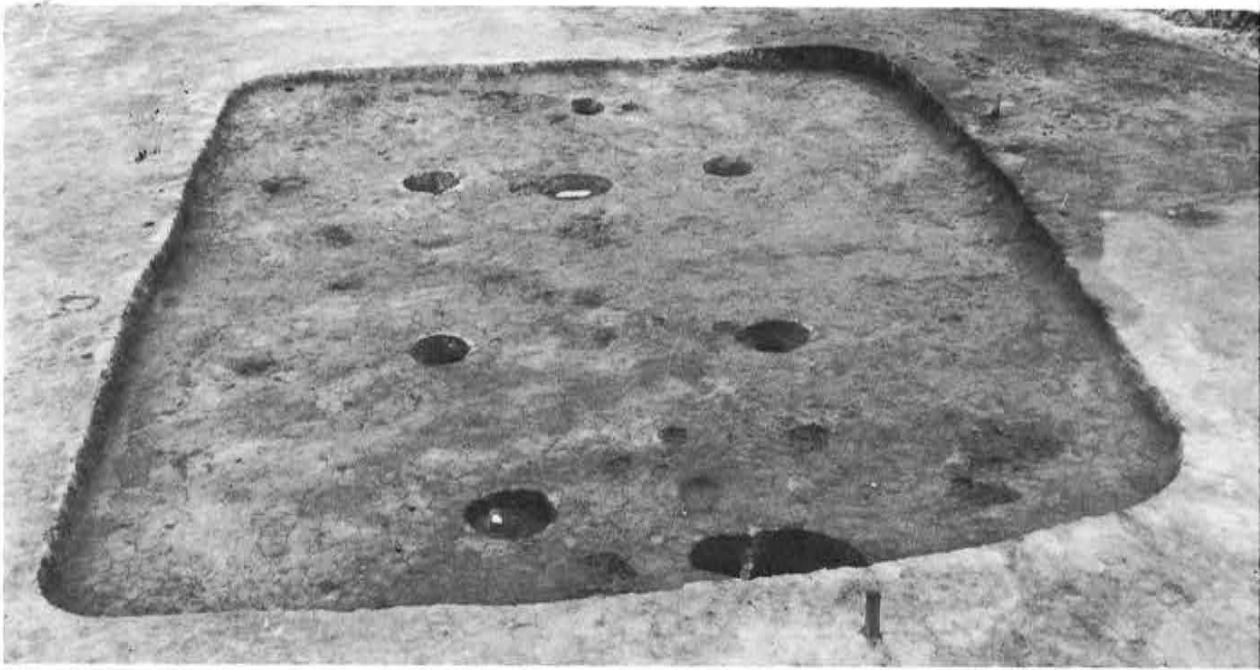
4 Y7号住居址炉

5 Y8号住居址炉



6 Y9号住居址
(南より)

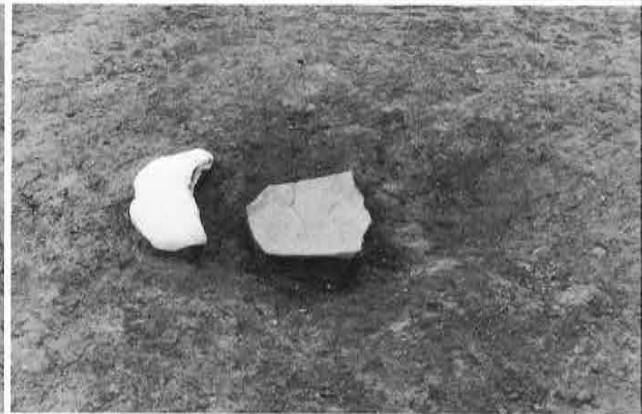
1 Y10号住居址
(南東より)



2 Y9号住居址
勾玉出土状況



3 Y9号住居址炉



4 Y10号住居址
遺物出土状況



5 Y10号住居址炉



6 Y11号住居址
(南より)



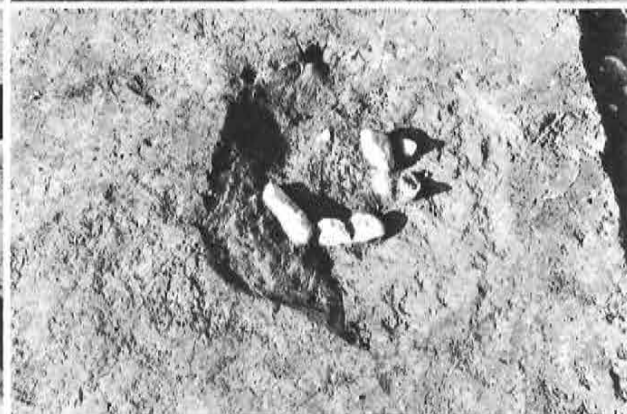
1 Y12号住居址
(南より)

2・3
Y11号住居址炉

4 Y12号住居址
出入口ピット
掘り方

5 Y12号住居址炉

6 Y13号住居址
(南より)



1 Y14号住居址
遺物出土状況



2 Y14号住居址
(南より)



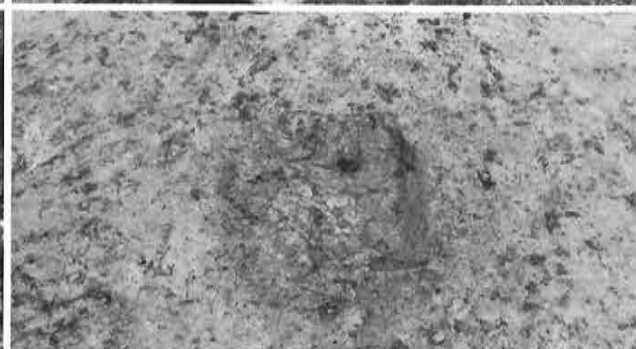
3・4 Y14号住居址
遺物出土状況



5 Y14号住居址
石礫出土状況



6 Y14号住居址





1 Y15号住居址
(東より)



2 Y16号住居址
(北より)



3 Y17号住居址
(北東より)

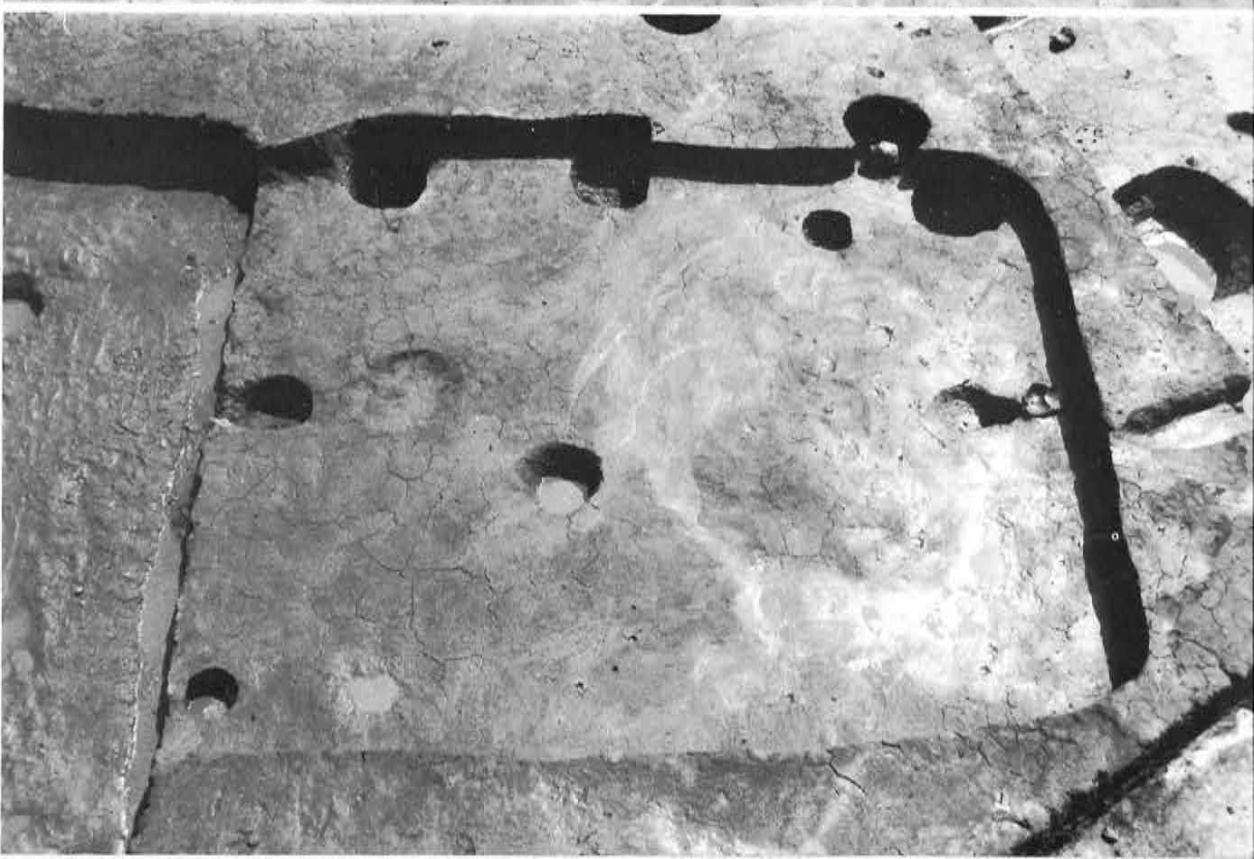
1 Y16号住居址
遺物出土状況



3 Y18号住居址
(北より)



4 Y19号住居址
(北東より)

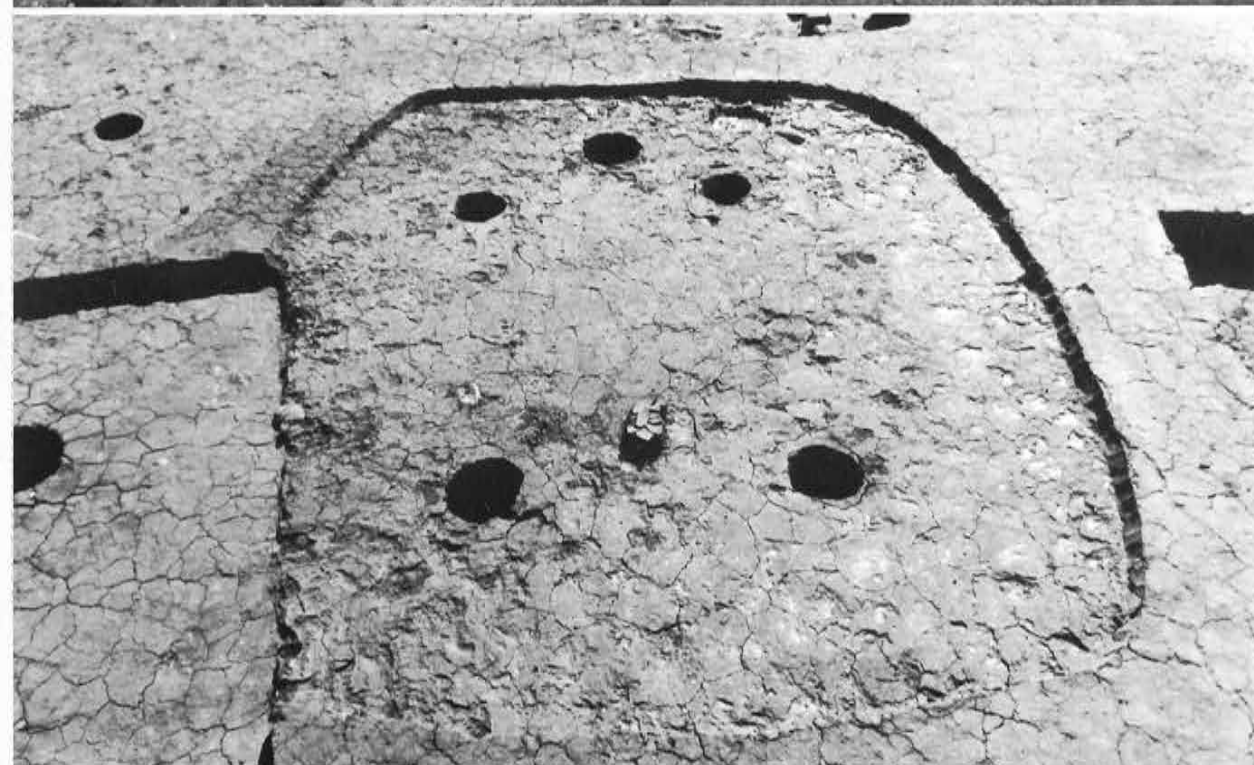




1 Y20号住居址
(北より)



2 Y21号住居址
(南より)



3 Y22号住居址
(北より)

1 A地区1全景
(東より)



2 A地区1全景
(西より)





1 H1号住居址
(東より)



2 H2号住居址
(北より)



3 H3号住居址
(東より)

1 H4号住居址
(西より)



2 H5号住居址
(南より)



3 H2号住居址
カマド



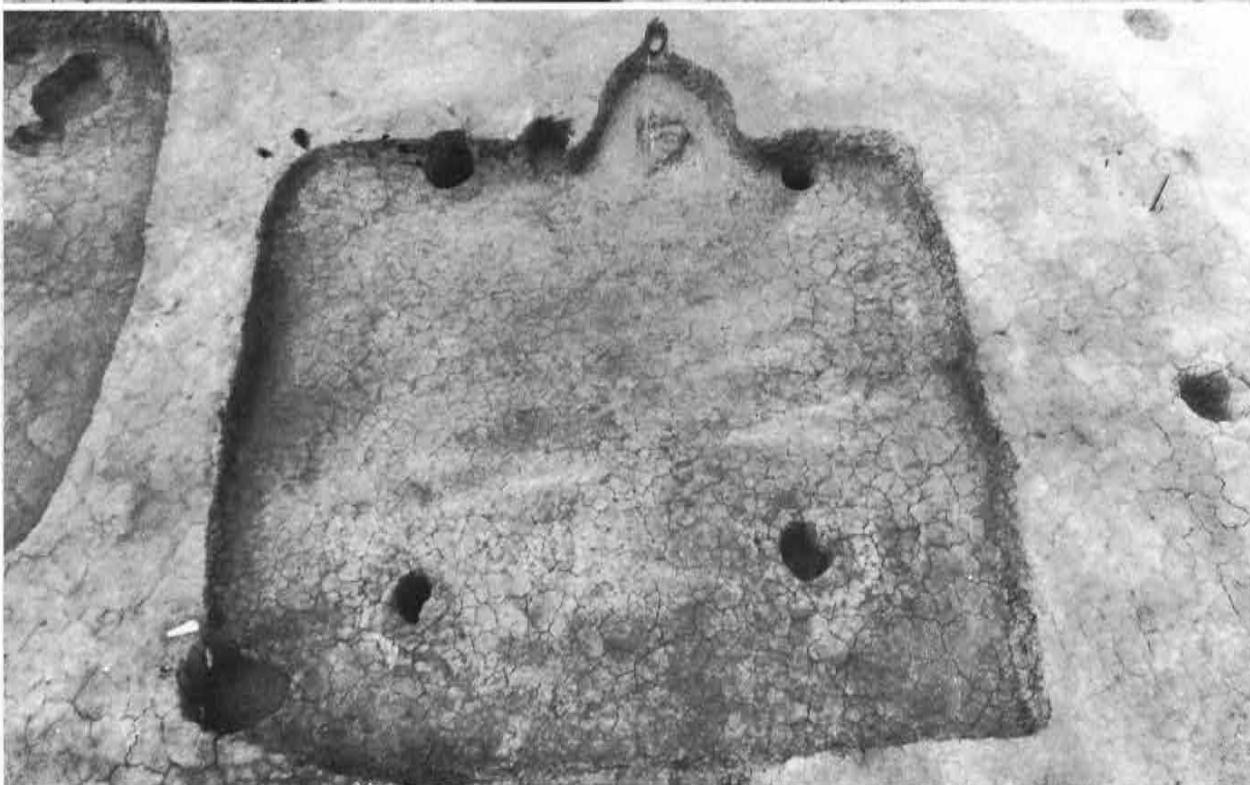
4 H5号住居址
カマド



1 H6号住居址
(南より)

2 H7号住居址
(北より)

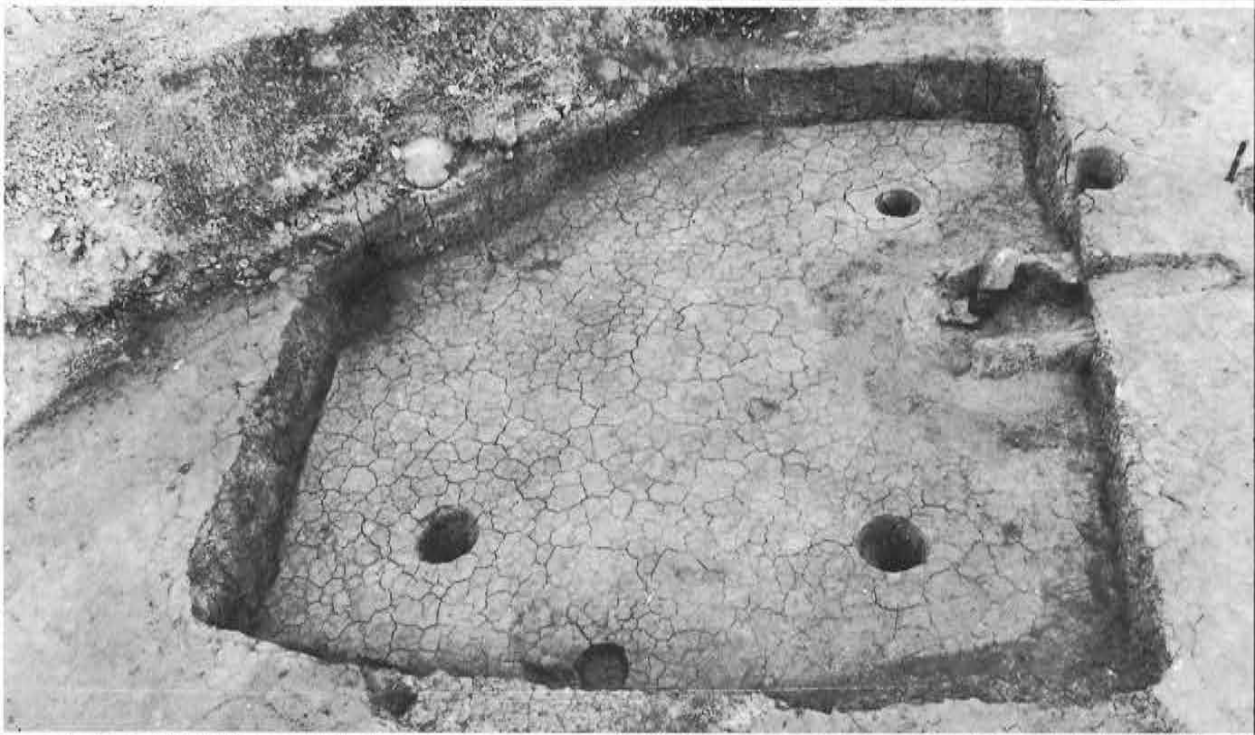
3 H8号住居址
(南より)



1 H9号住居址
遺物出土状況



2 H9号住居址
(北東より)



3 H9号住居址
遺物出土状況



4 H9号住居址
鉄鏃出土状況



5 H8号住居址
カマド

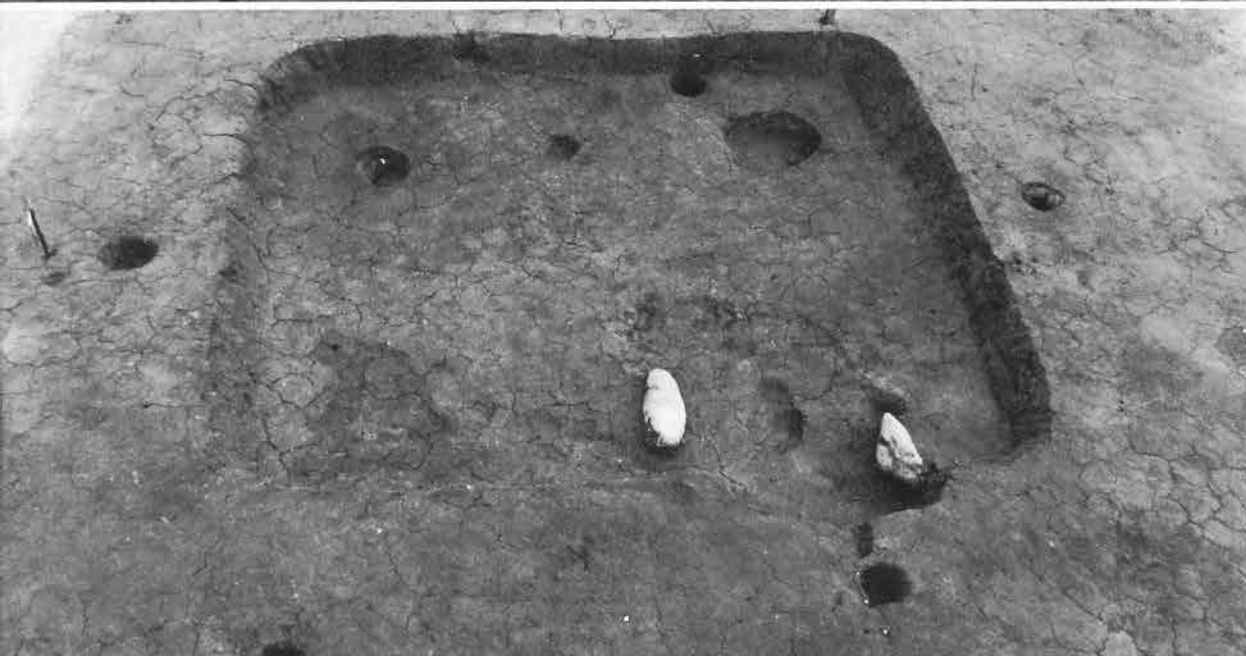


6 H9号住居址
カマド





1 H10号住居址
遺物出土状況



2 H10号住居址
(北より)



3 H10号住居址
カマド



4 H11号住居址
カマド



5・6
H11号住居址
遺物出土状況

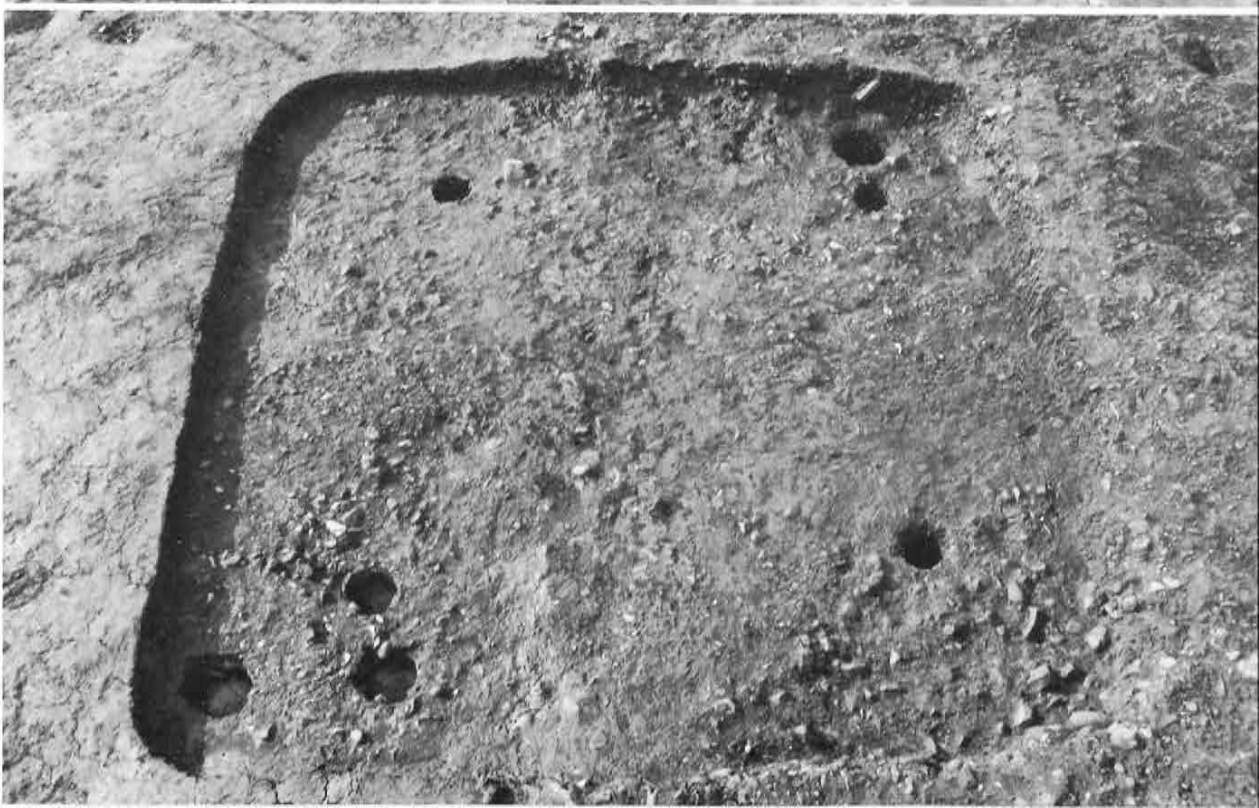
1 H11号住居址
遺物出土状況



2 H11号住居址
(北より)



3 H12号住居址
(南より)



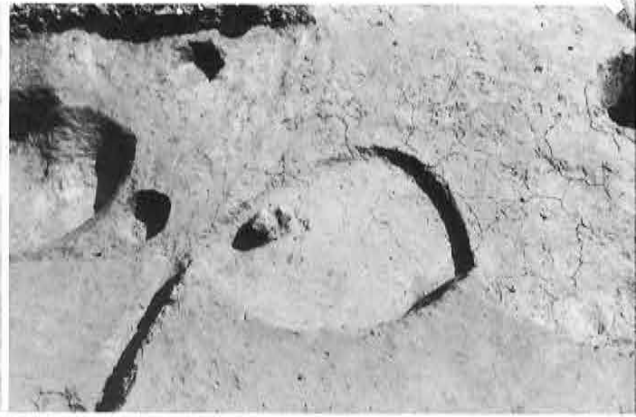
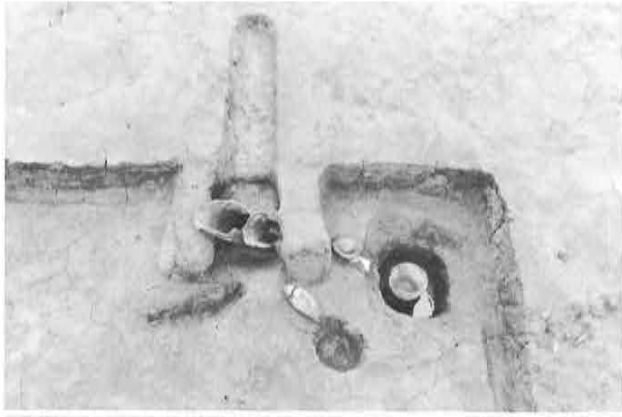
1 H13号住居址
遺物出土状況

2 H13号住居址
(北東より)

3・4
H13号住居址
遺物出土状況



1 H13号住居址
カマド



2 H14号住居址
カマド



3 H14号住居址
(西より)

4 H15号住居址
遺物出土状況



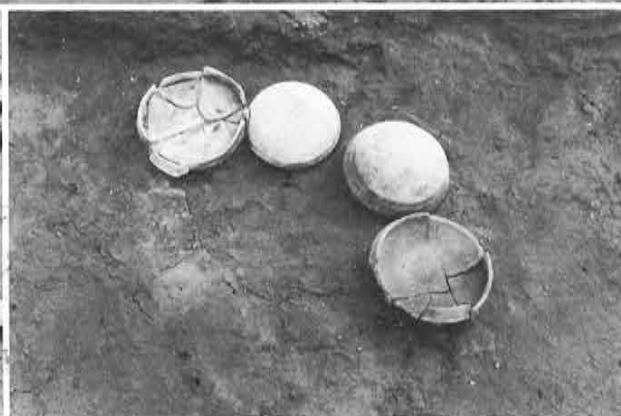
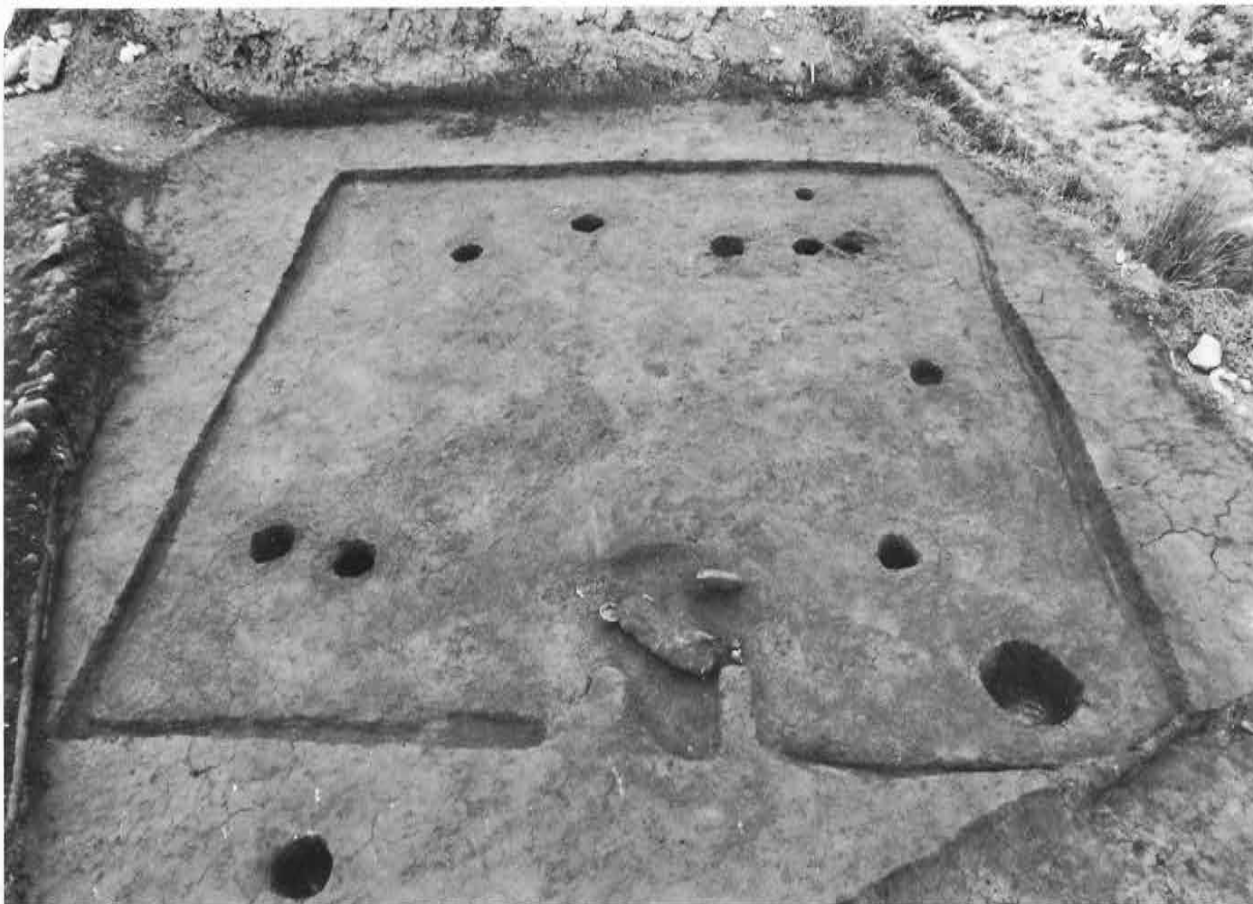
1 H15号住居址
(北西より)

2・3
H15号住居址
遺物出土状況

4・5
H15号住居址
遺物出土状況

6 H15号住居址
遺物出土状況

7 H15号住居址
カマド



1 H17号住居址
炭化材出土状況



2 H17号住居址
(東より)



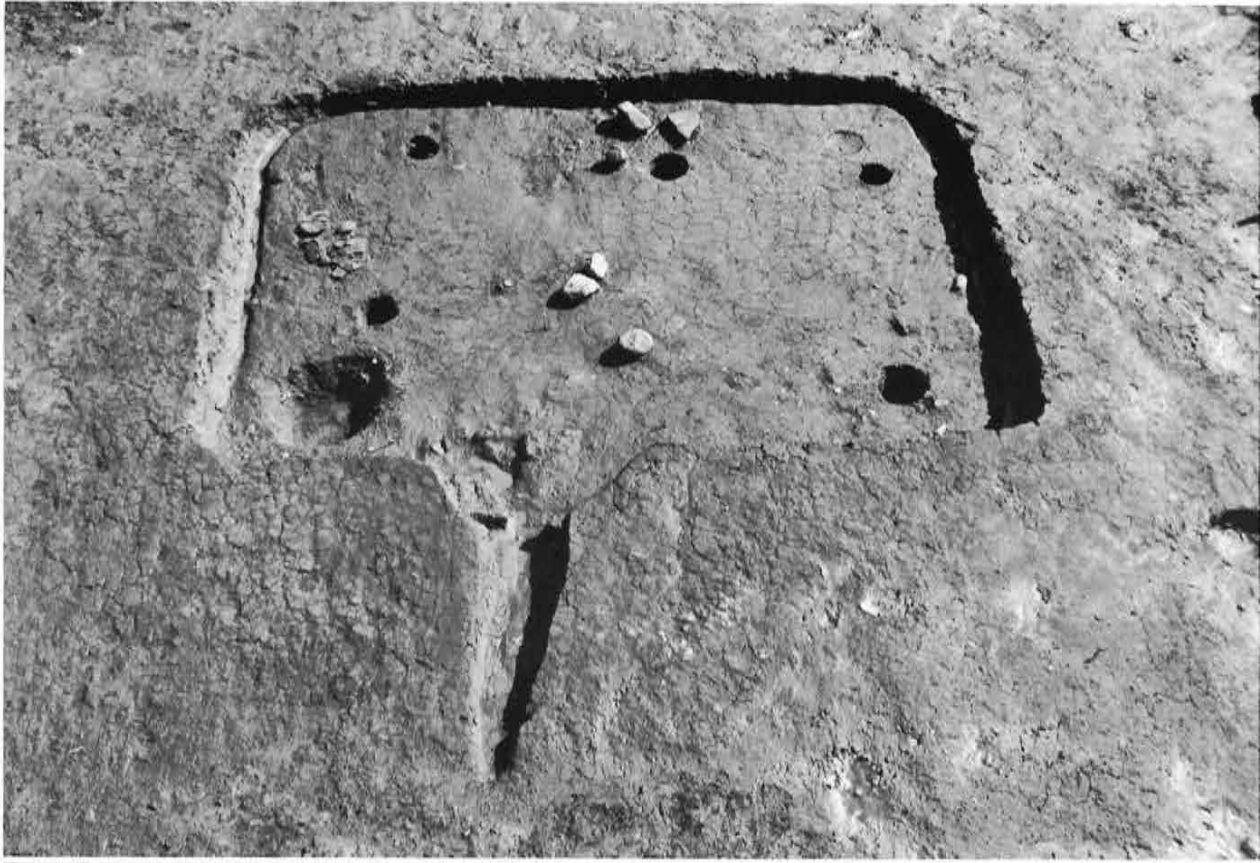
3 H17号住居址
炭化材出土状況



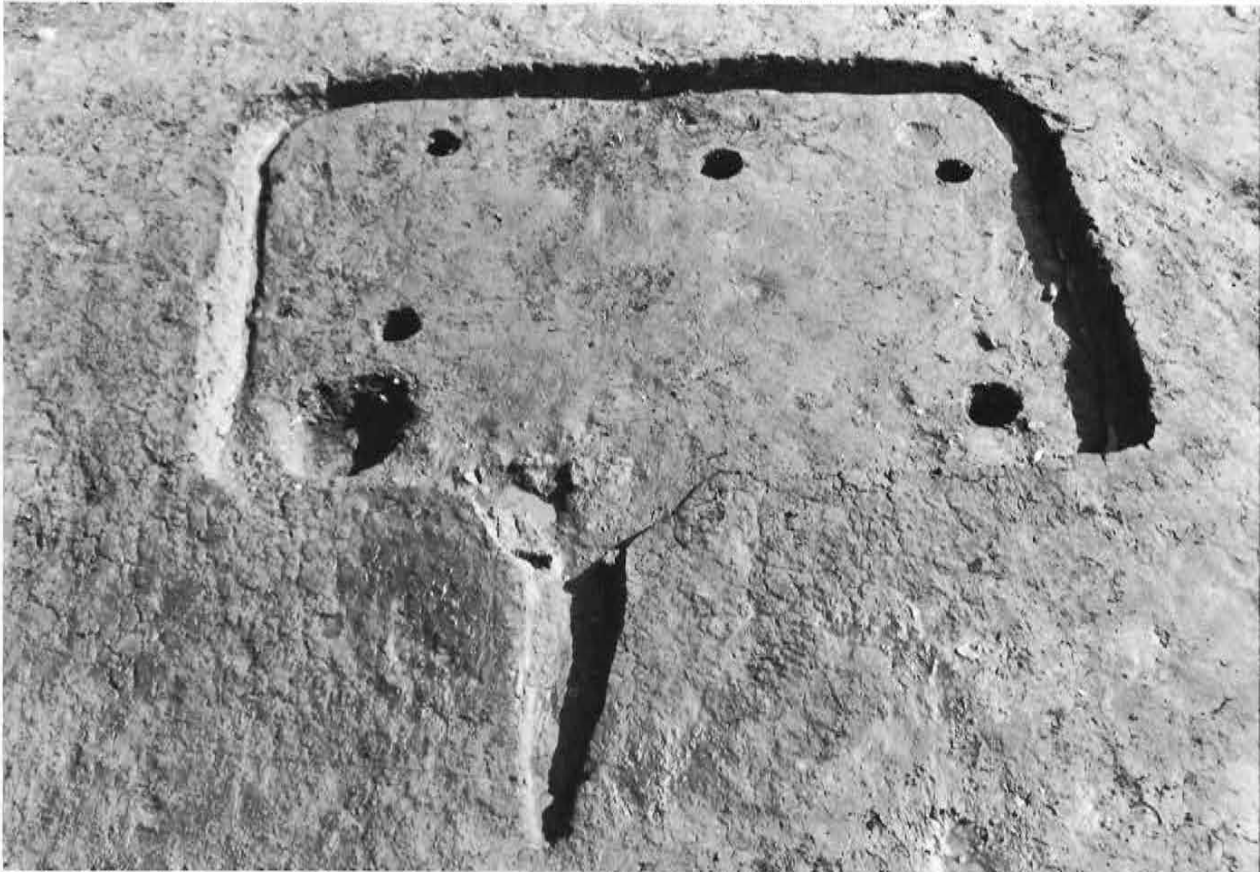


A地区2全景
(東より)

1 H18号住居址
遺物出土状況



2 H18号住居址
(北東より)

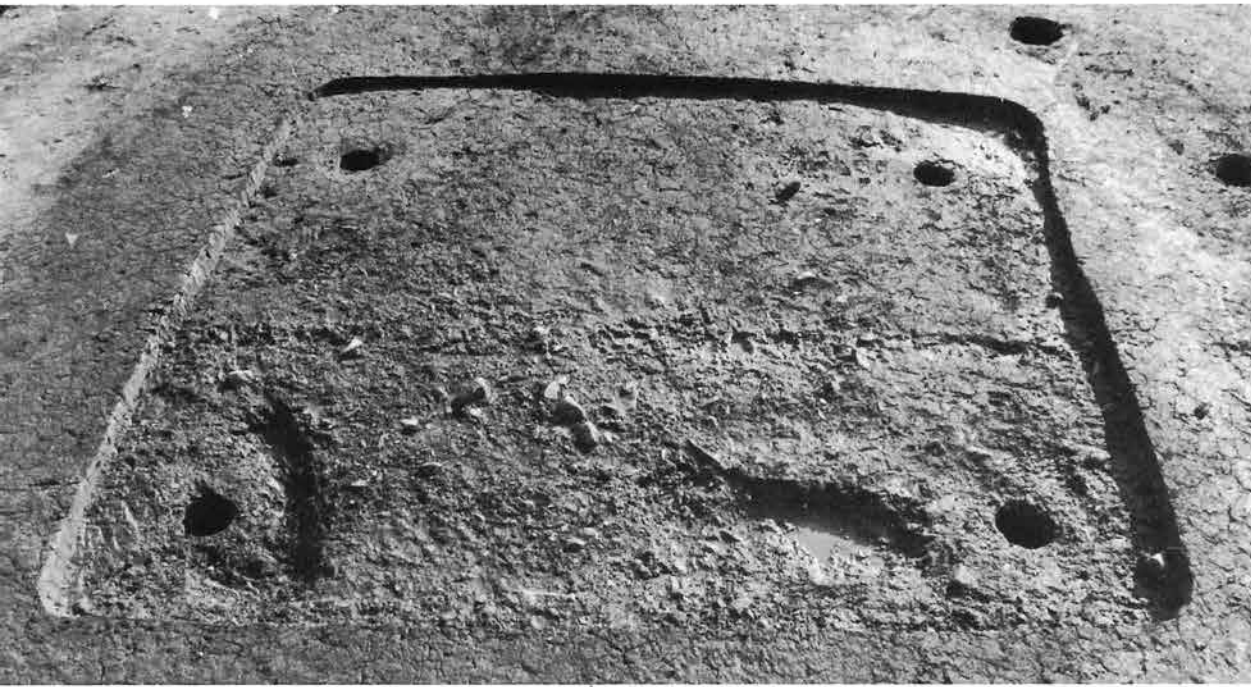


3 H18号住居址
カマド

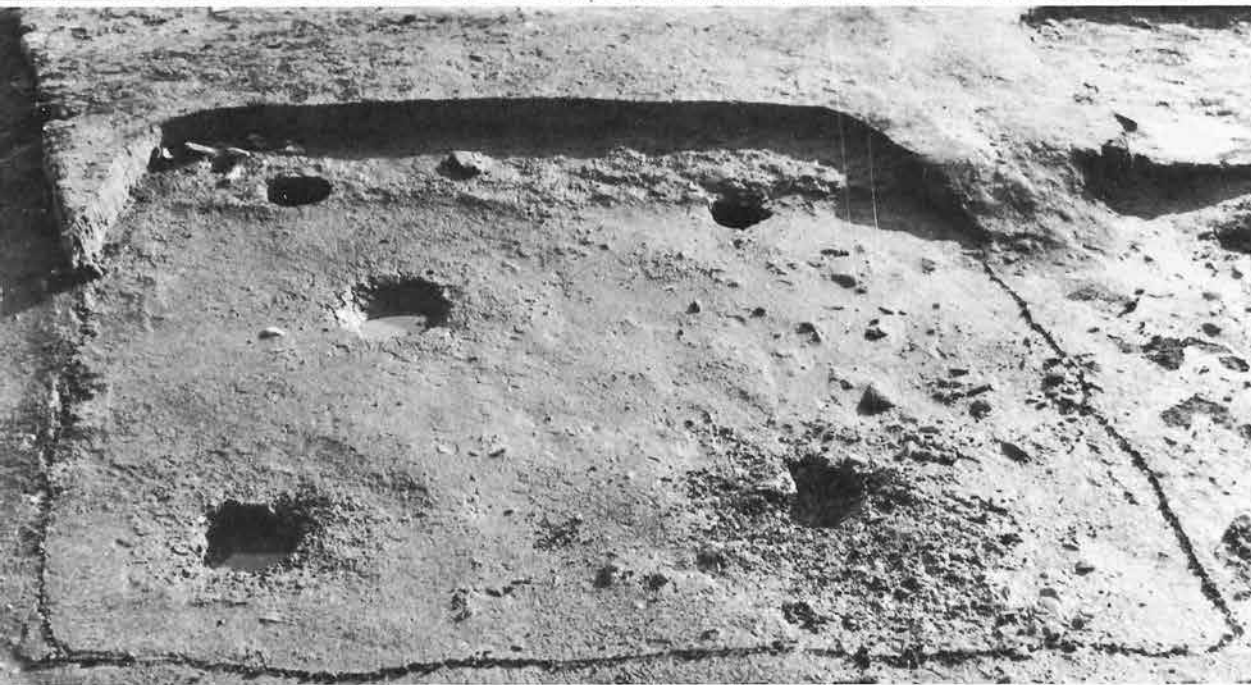


4 H22号住居址
カマド





1 H19号住居址
(北より)



2 H21号住居址
(北より)



3 H20・21・
22号住居址
(東より)

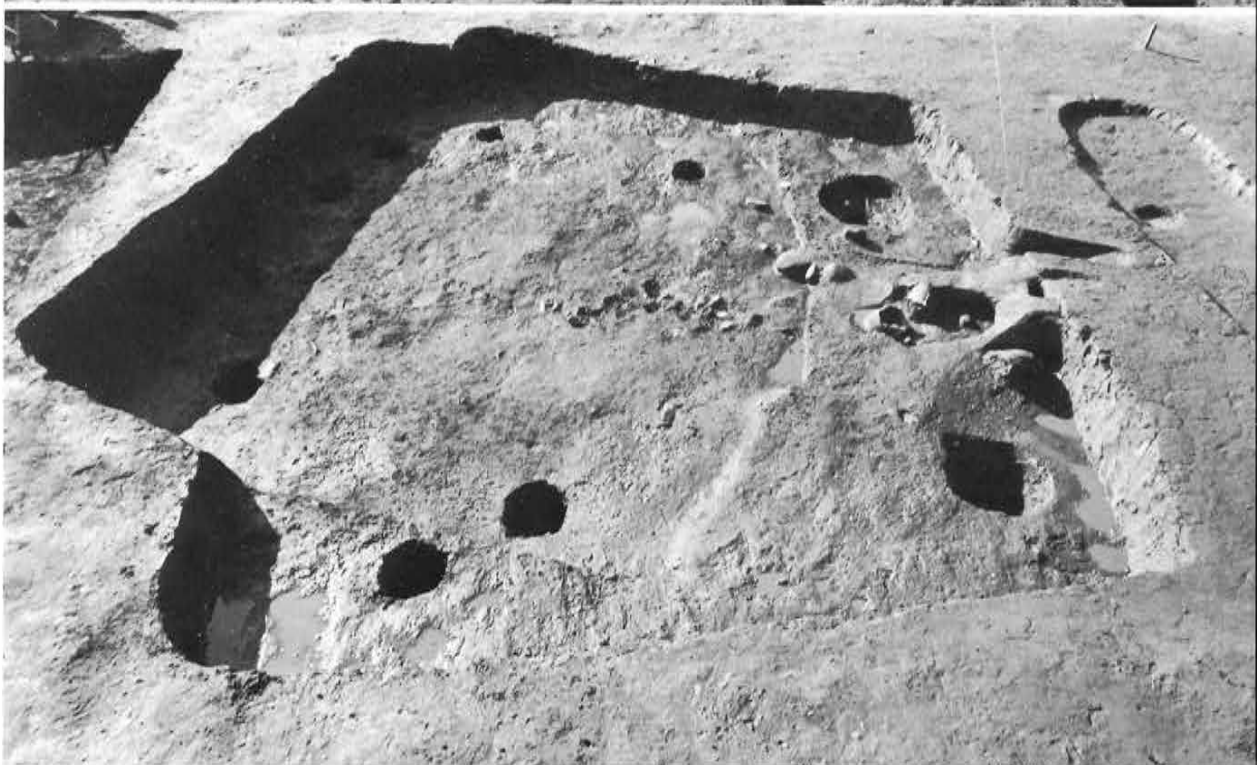
1 H22号住居址
(南より)



2 H24号住居址
(北東より)



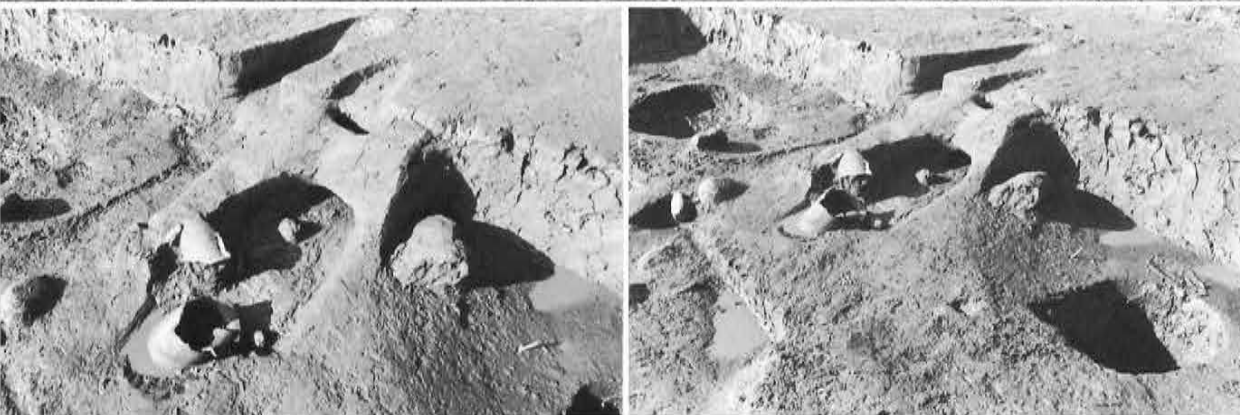
3 H25・26号
住居址
(東より)



1 H26号住居址
(南より)



2・3
H25号住居址
カマド



4 H26号住居址
遺物出土状況



5 H26号住居址
カマド



6 H27号住居址
(東より)

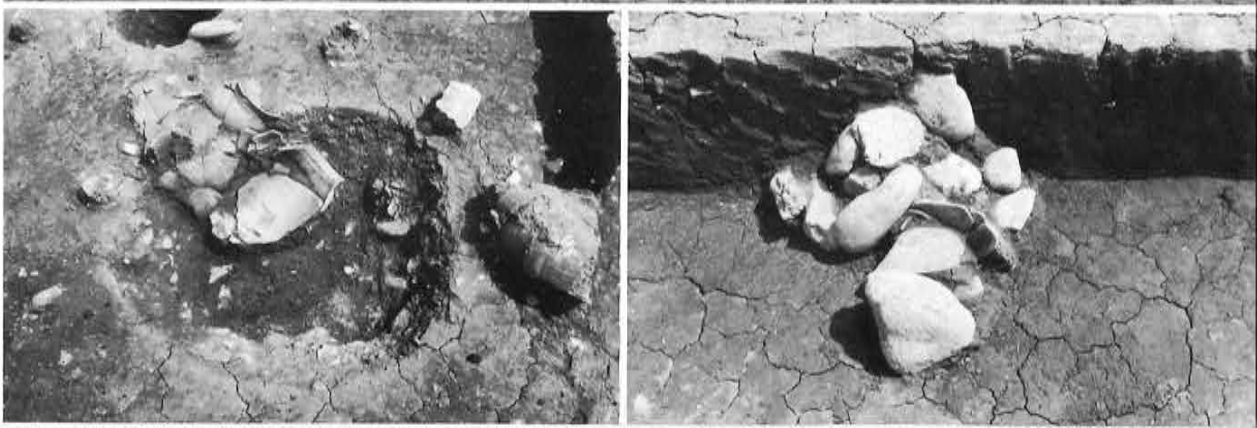
1 H28号住居址
(西より)

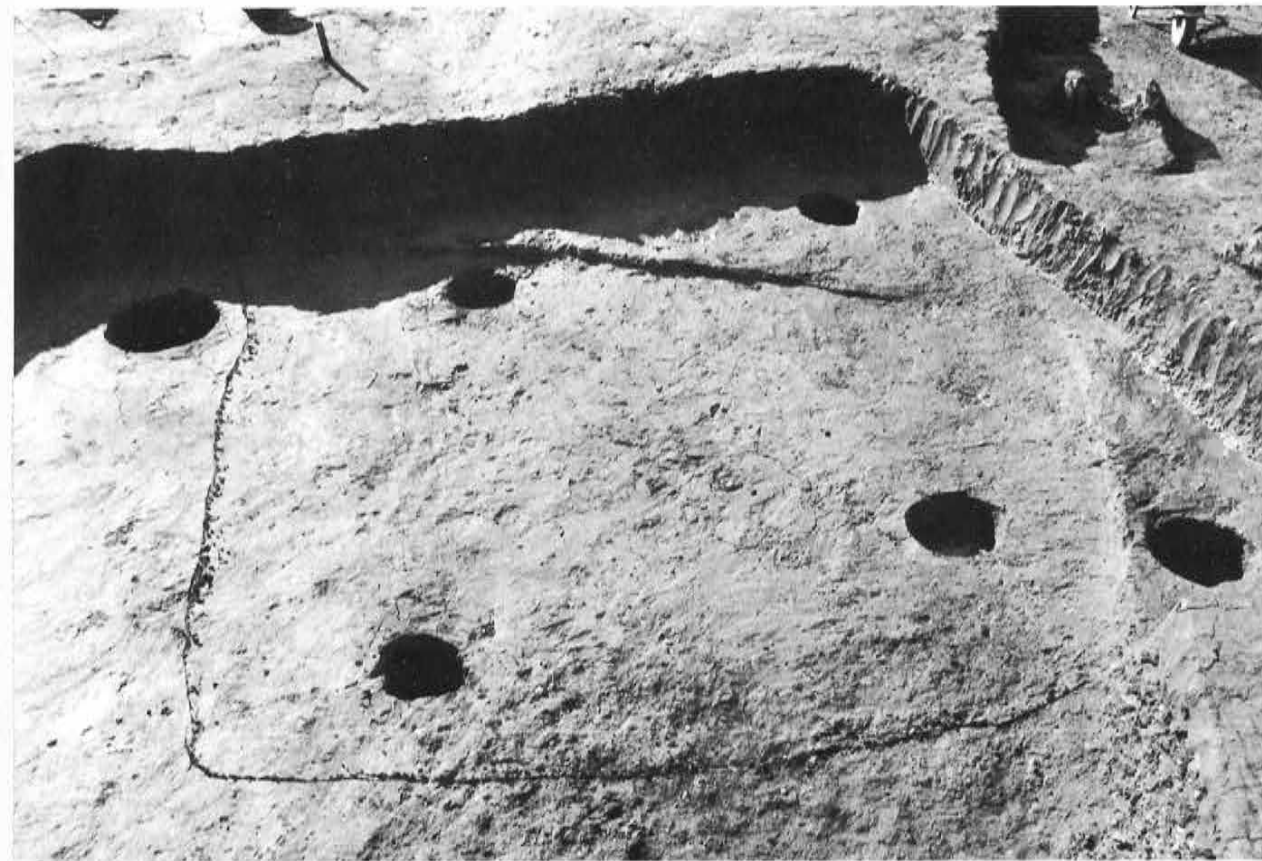


2 H29号住居址
(南より)



3・4
H29号住居址
遺物出土状況





1 H30号住居址
(北より)



2 H31号住居址
(南より)



3 H31号住居址
カマド



4 H32号住居址
カマド

1 H32号住居址
(南より)



2 H33号住居址
(南より)



3・4
H33号住居址
カマド



1 H34号住居址
(東より)

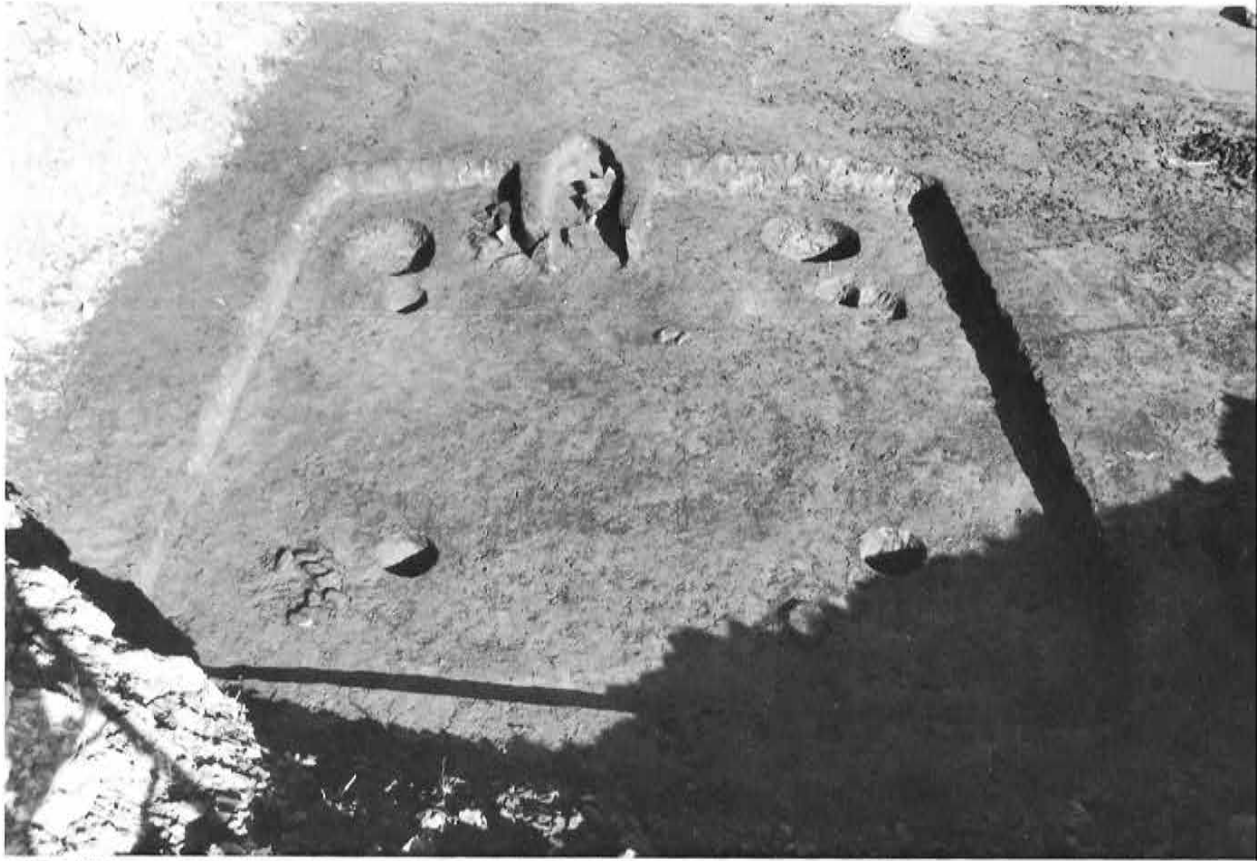
2 H35号住居址
(南より)

3 H34号住居址
カマド

4 H35号住居址
カマド



1 H36号住居址
(西より)



2 H37号住居址
(南より)



3 H36号住居址
カマド

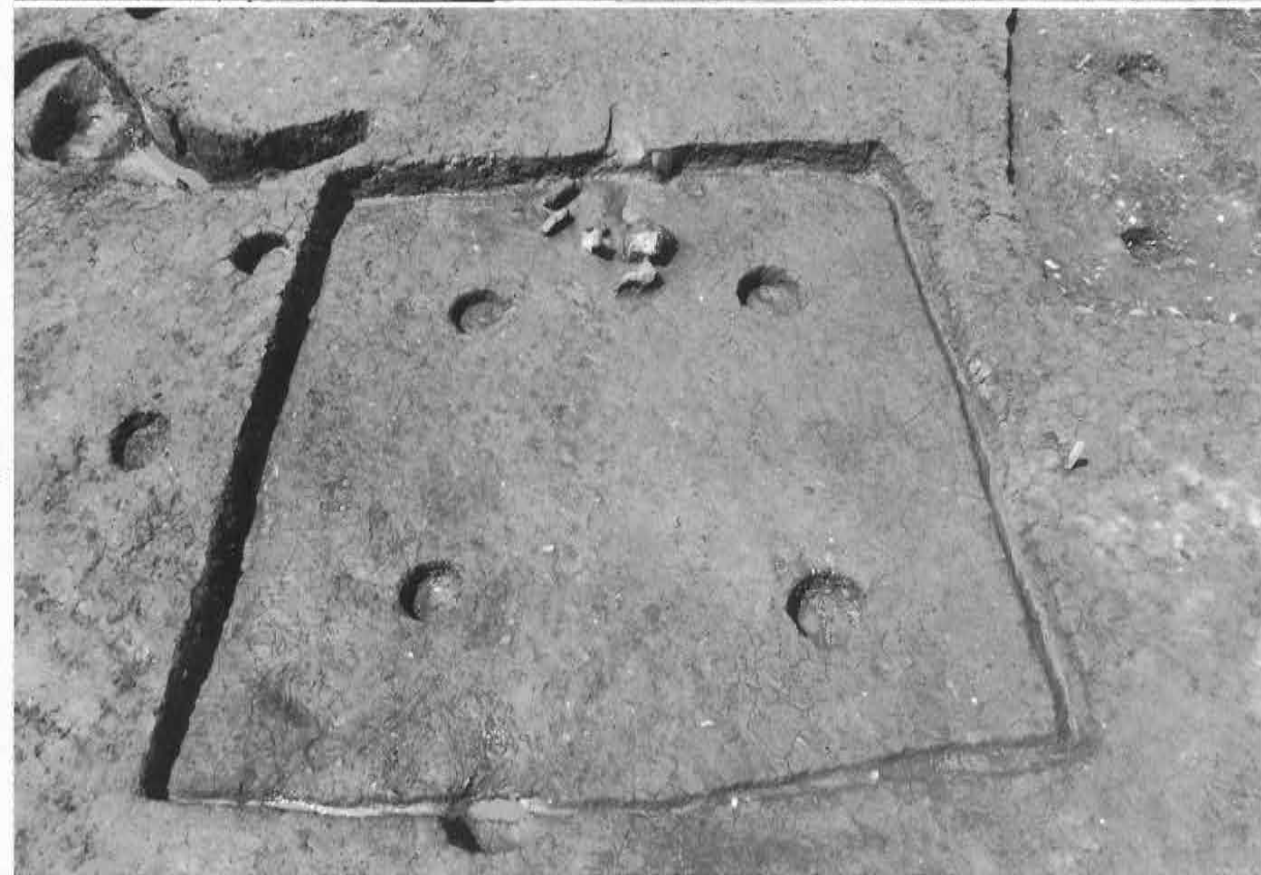


4 H37号住居址
遺物出土状況

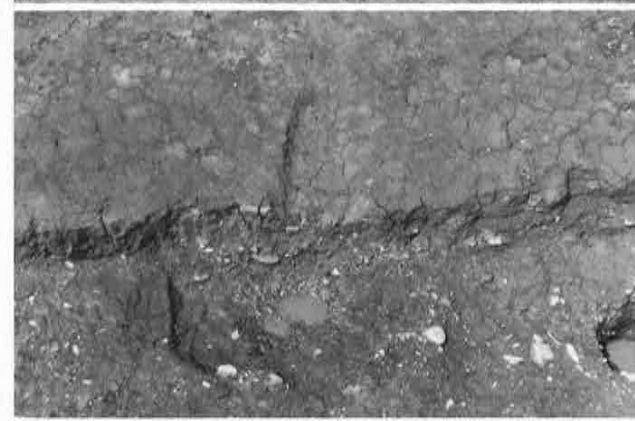




1 H38号住居址
(西より)



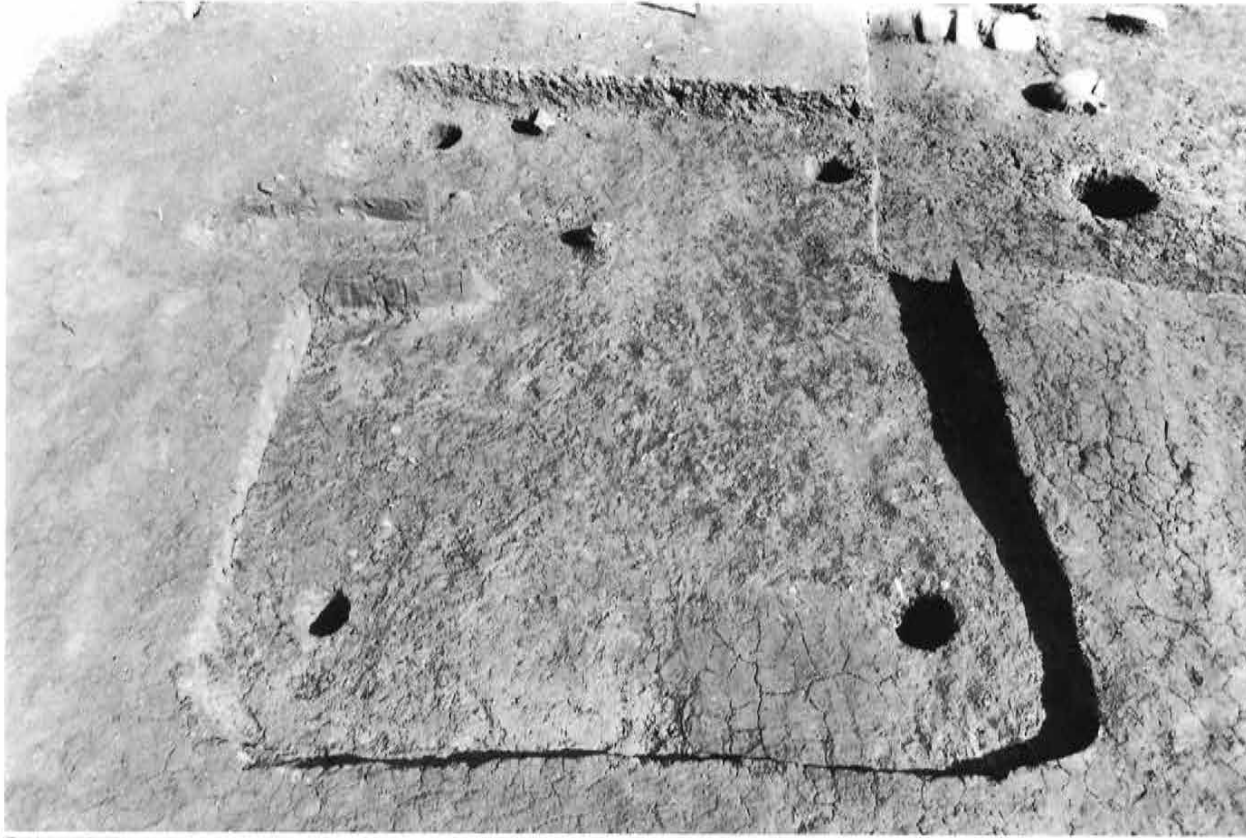
2 H39号住居址
(南より)



3 H37号住居址
カマド

4 H38号住居址
カマド

1 H138号住居址
(西より)



2 H135号住居址
カマド



3 H136号住居址
カマド

4 H137号住居址
カマド



5 H138号住居址
カマド

6 H139号住居址
(南より)



1 H40号住居址
(東より)



2 H41号住居址
(北より)

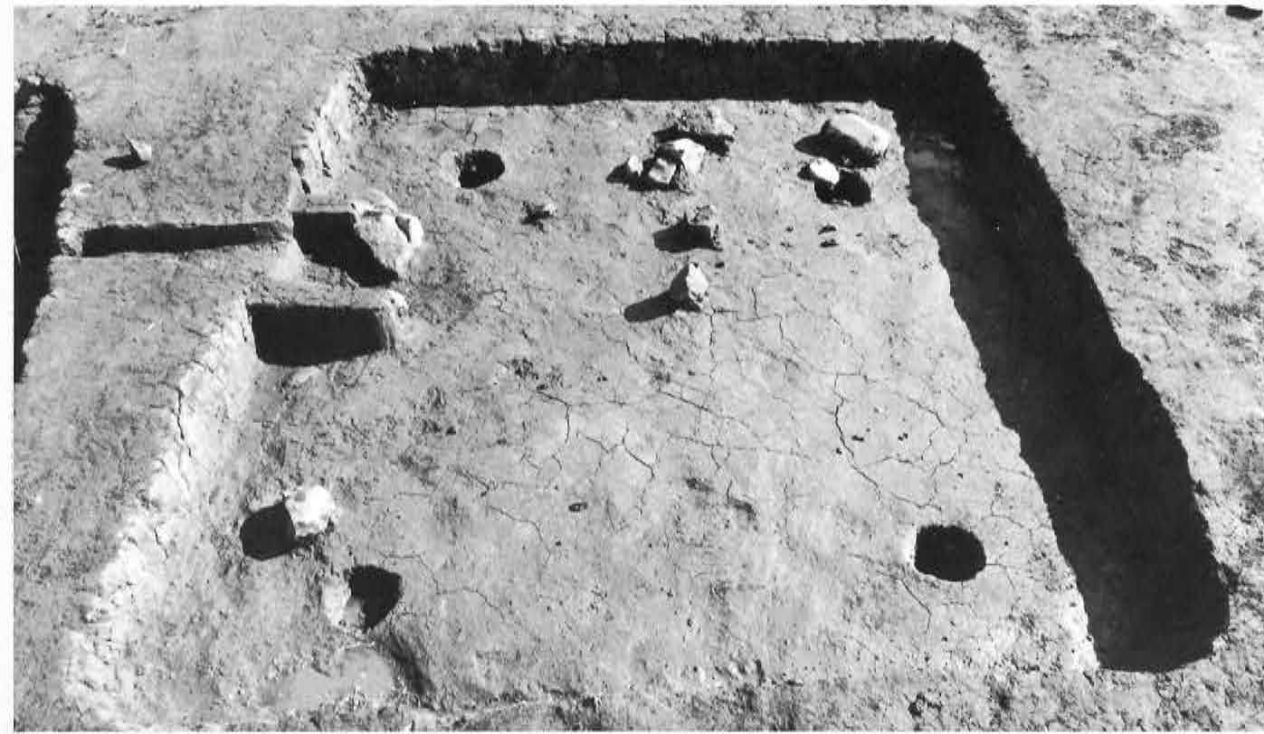


3 H39号住居址
カマド



4 H41号住居址
カマド





1 H42号住居址
(西より)



2 H43号住居址
(南東より)



3 H44号住居址
(南より)



4 H42号住居址
カマド

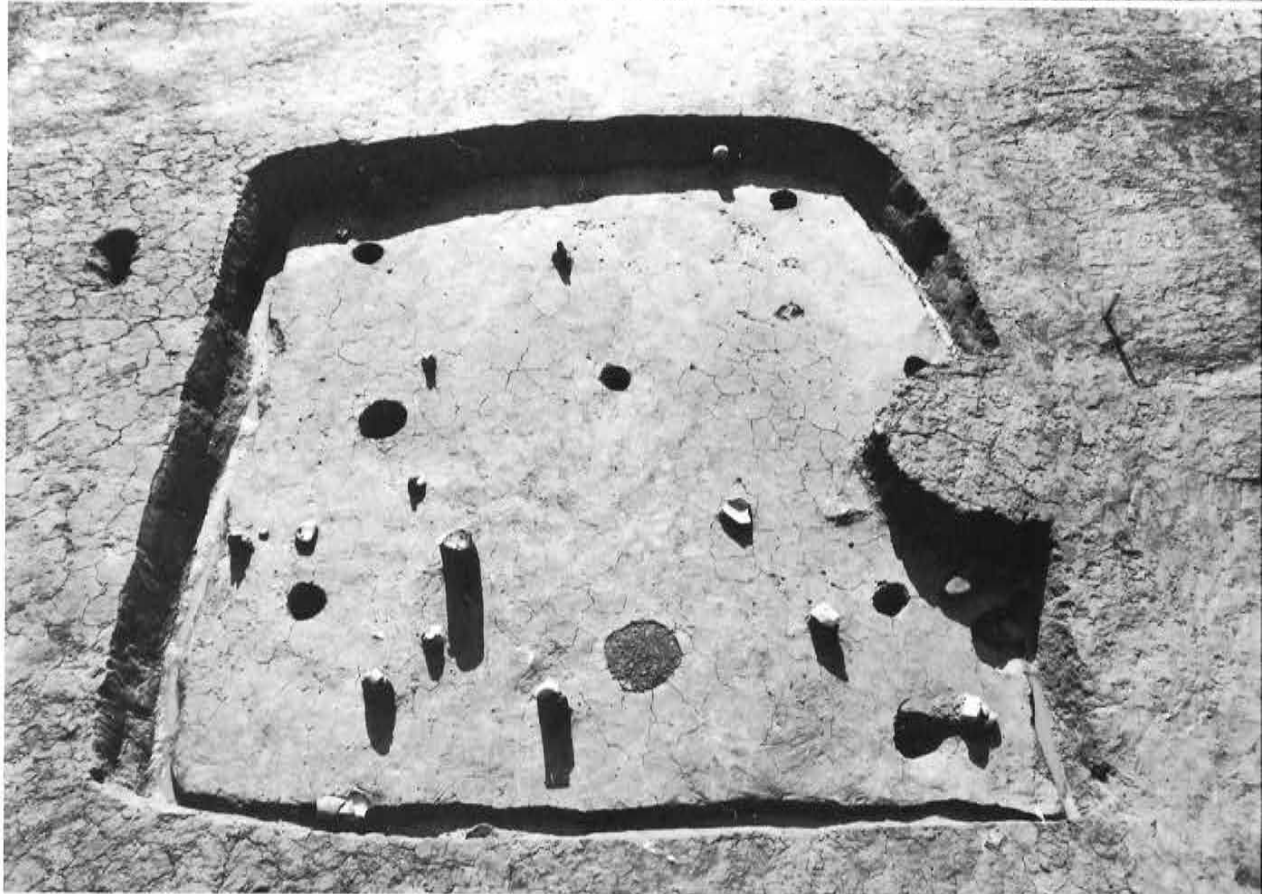


5 H44号住居址
カマド

1 H45号住居址
(南より)



2 H46号住居址
(東より)



3 H45号住居址
カマド



4 H46号住居址
カマド

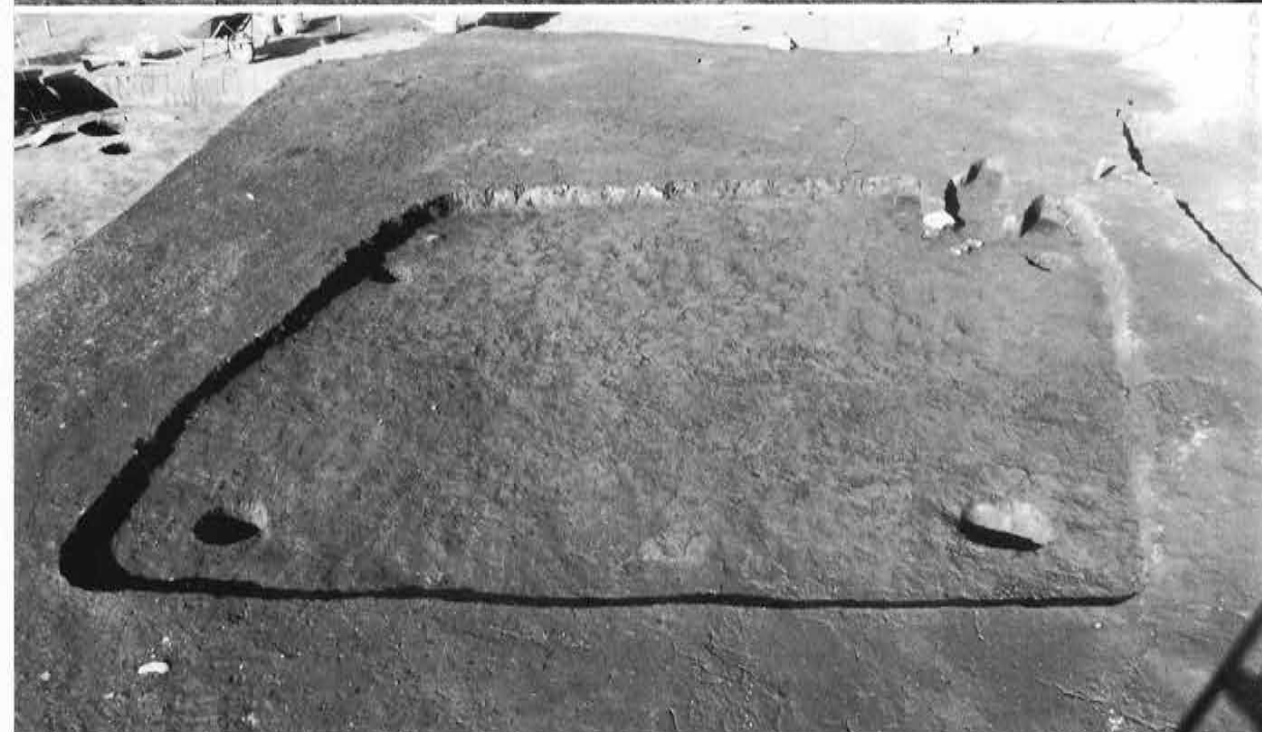




1 H47号住居址
(西より)



2 H48号住居址
(南より)



3 H201号住居址
(南より)

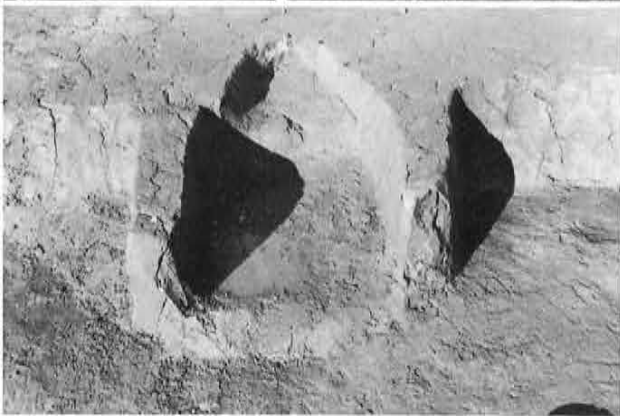
1 H49・201号
住居址
(南より)



2 H50号住居址
(南より)



3 H48号住居址
カマド



4 H49号住居址
カマド



5 H201号住居址
カマド



6 H50号住居址
カマド





1 H51号住居址
遺物出土状況



2 H51号住居址
(南より)



3 H52号住居址
(西より)

1 H53号住居址
(東より)



2 H55号住居址
(南より)



3 H51号住居址
カマド



4 H55号住居址
カマド



5 H56号住居址
(東より)





1 H54・55・57・
58号住居址
(東より)

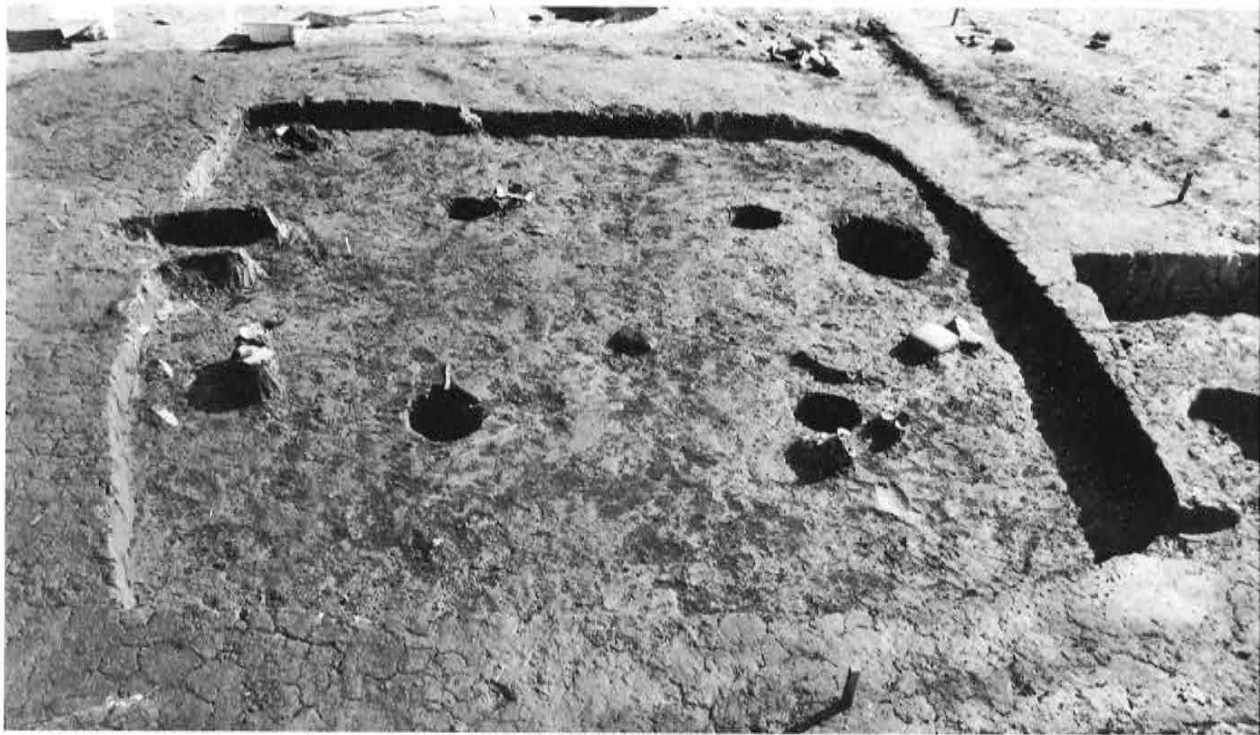


2 H58号住居址
(南より)

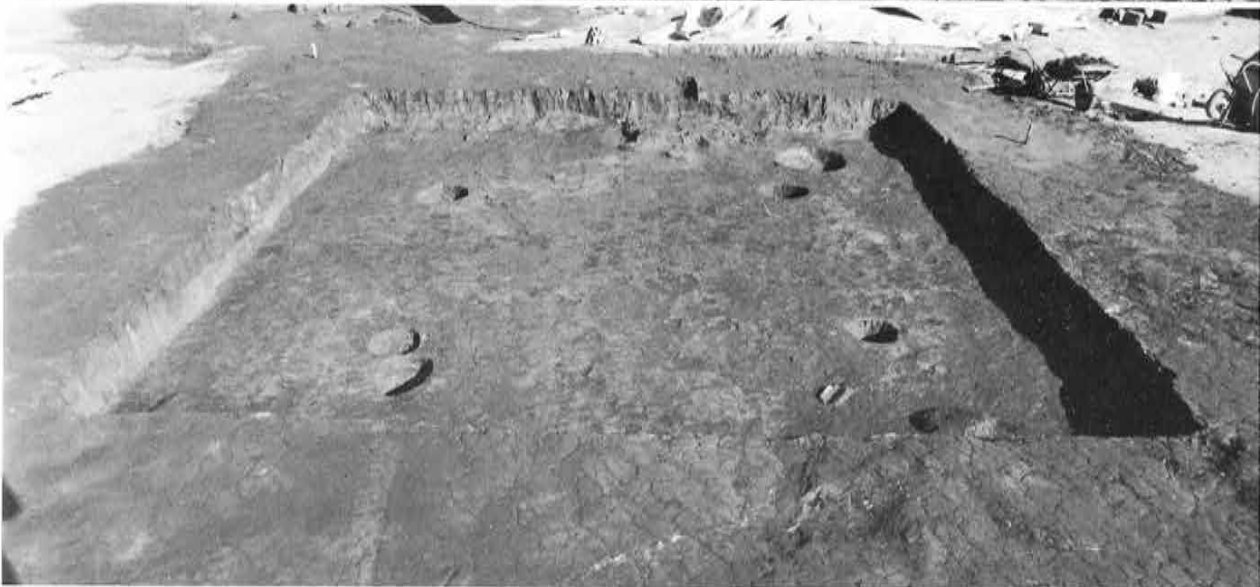


3 H59・61号
住居址
(南より)

1 H60号住居址
(西より)



2 H62号住居址
(西より)



3 H58号住居址
カマド



4 H59号住居址
カマド



5 H60号住居址
カマド



6 H62号住居址
カマド





1 H63号住居址
(南より)



2 H64号住居址
(南より)



3 H65号住居址
(西より)

1 H66号住居址
(西より)



2 H67号住居址
(南より)



3 H65号住居址
カマド



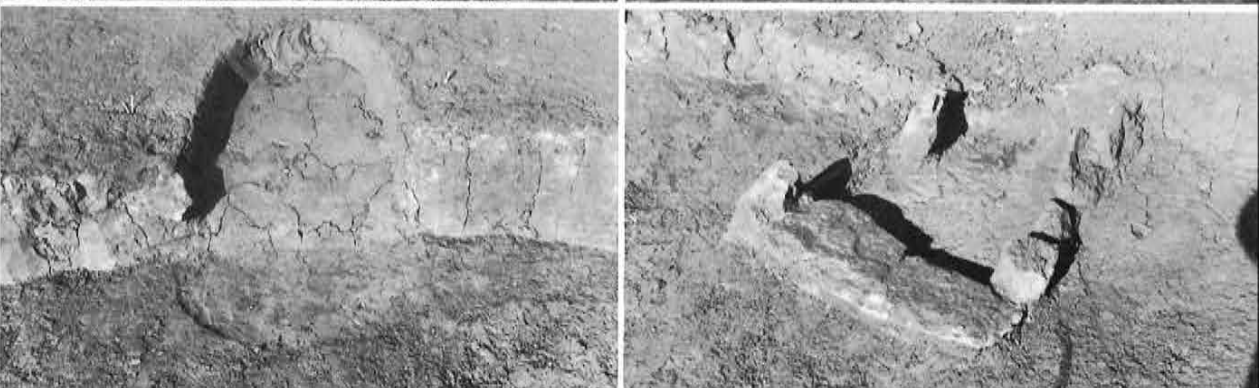
4 H66号住居址
カマド

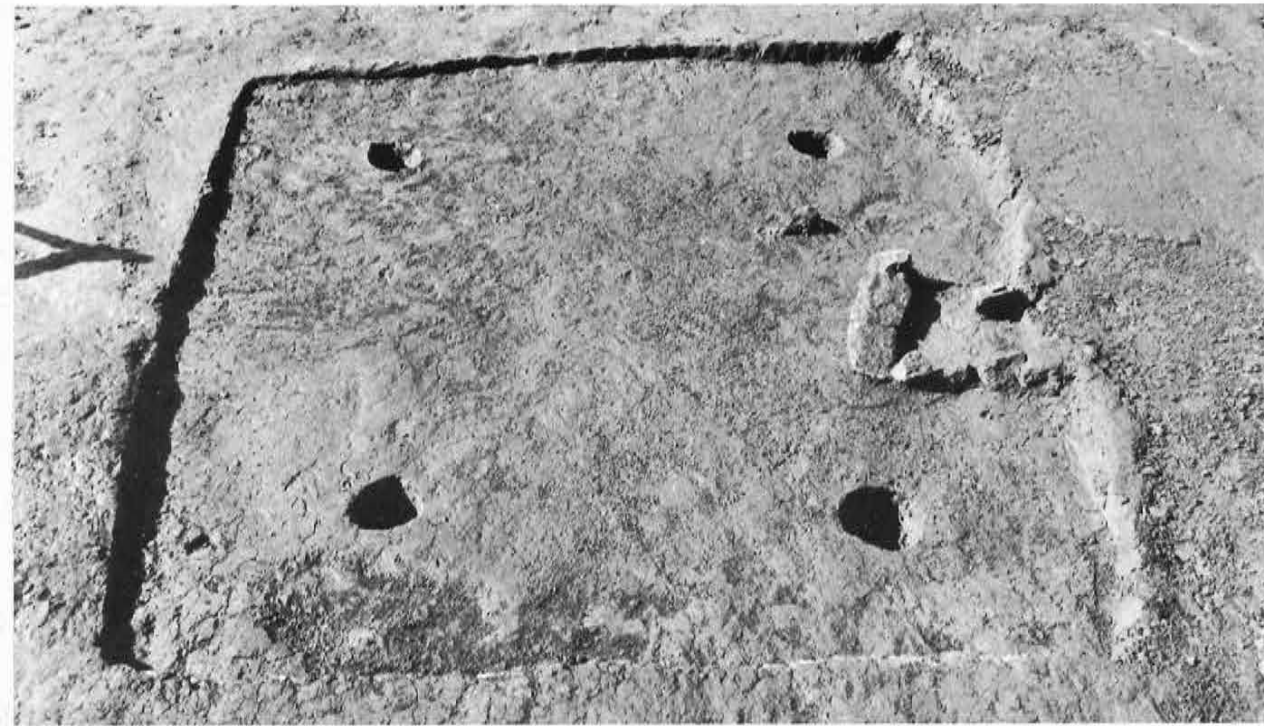


5 H67号住居址
カマド



6 H68号住居址
カマド





1 H68号住居址
(東より)



2 H69号住居址
(東より)

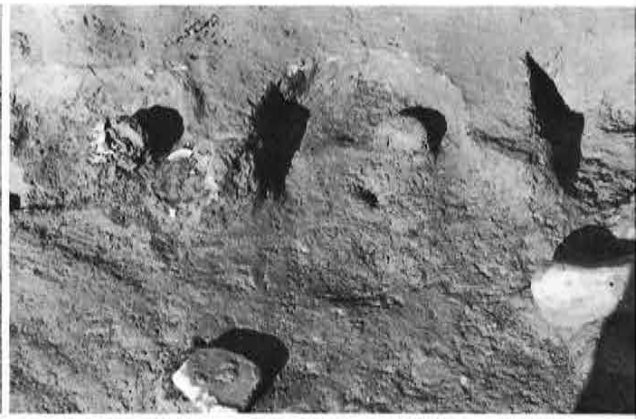


3 H70号住居址
(東より)

1 H69号住居址
カマド



2 H70号住居址
カマド



3 H71号住居址
(南より)



4 H72号住居址
(南より)



5 H71号住居址
カマド



6 H72号住居址
カマド





1 H73号住居址
(南より)



2 H74号住居址
(南より)



3 H75号住居址
(南より)

1 H76号住居址
(南より)



2 H73号住居址
カマド



3 H75号住居址
遺物出土状況



4・5 H75号住居址
カマド



6 H76号住居址
遺物出土状況



7 H76号住居址
カマド





1 H77号住居址
(南西より)



2 H78・79・
80号住居址
(南より)



3 H80号住居址
(南より)

1 H77号住居址
遺物出土状況



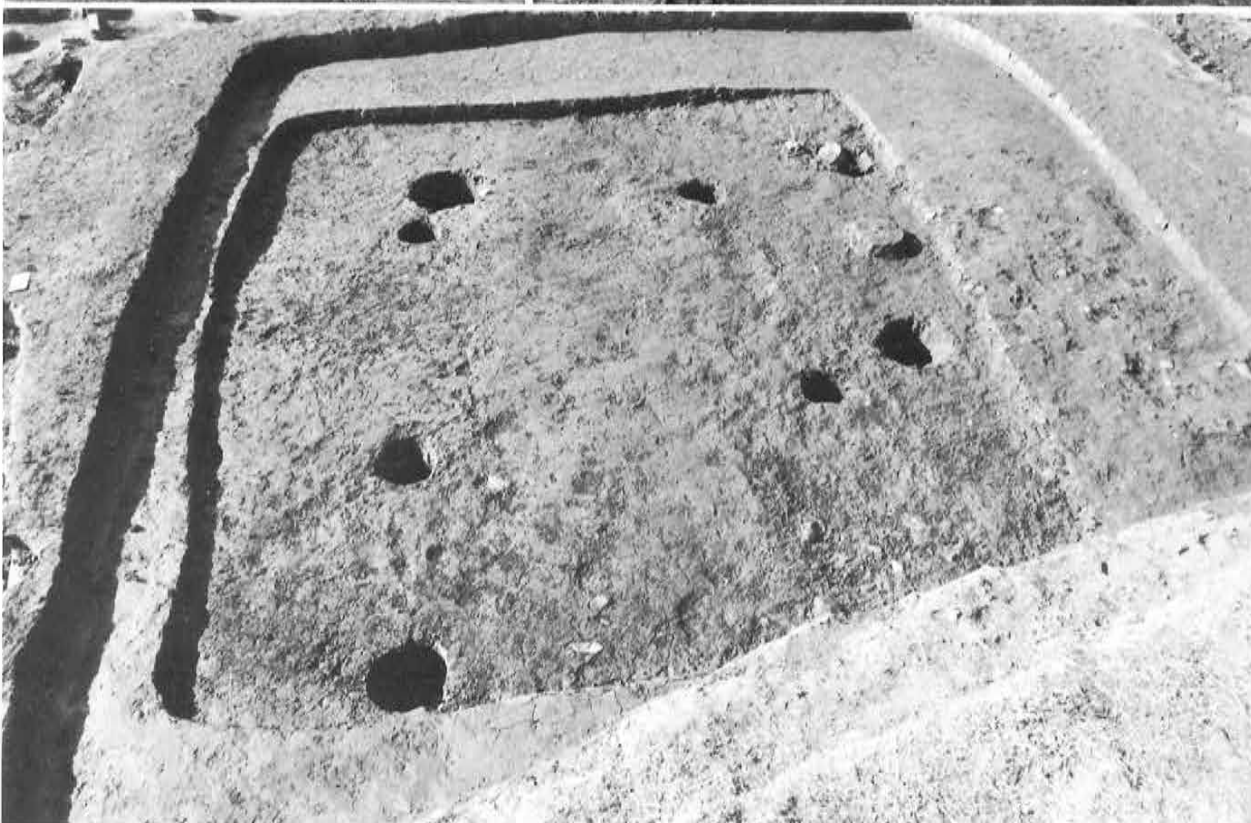
2 H79号住居址
カマド



3 H81号住居址
(東より)



4 H82・83号
住居址
(東より)

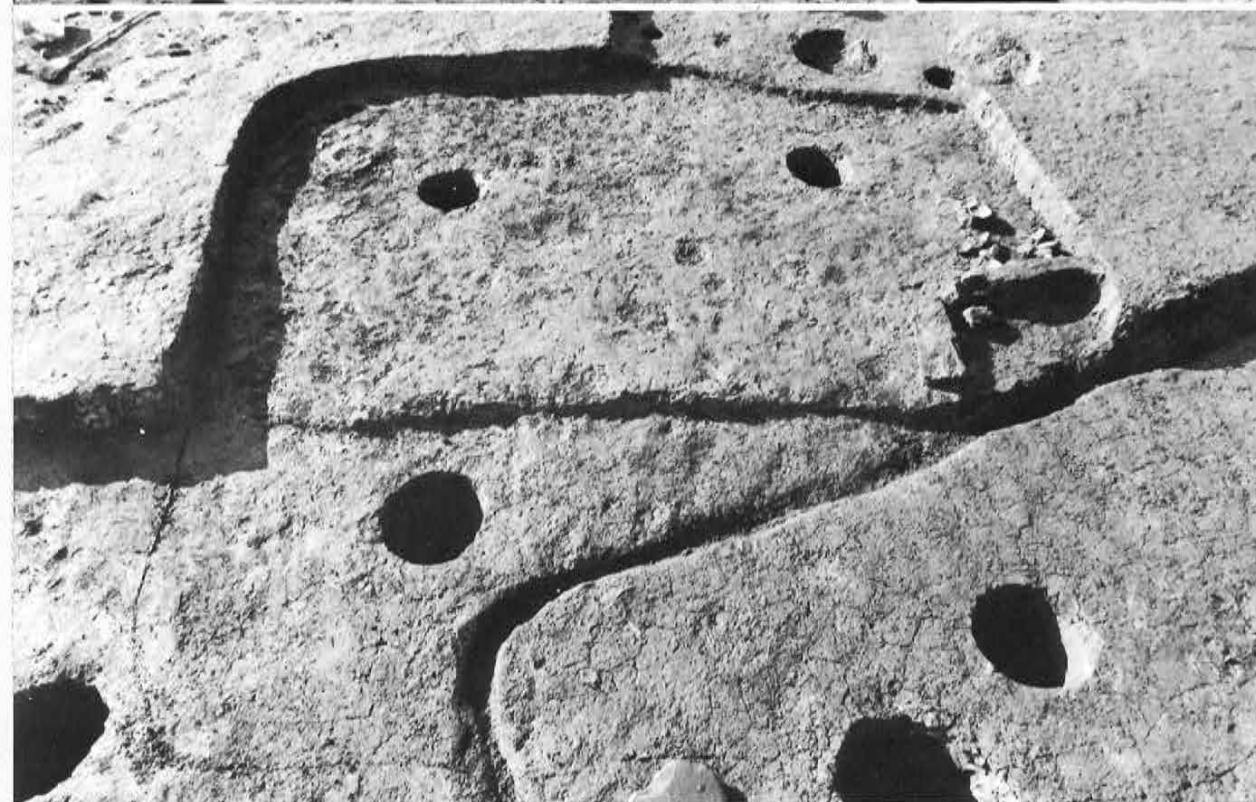


5 H83号住居址
(西より)





1 H85号住居址
(南より)



2 H86号住居址
(東より)



3 H87・88号
住居址
(南より)

1 H88号住居址
(西より)



2 H89号住居址
(南より)



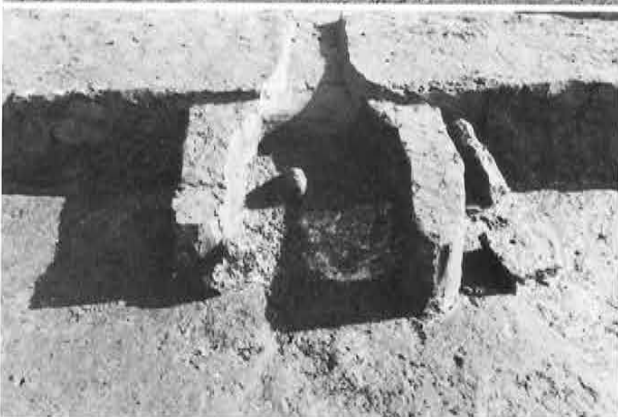
3 H85号住居址
カマド



4 H86号住居址
カマド



5 H88号住居址
カマド



6 H89号住居址
カマド





1 H90号住居址
(南より)



2 H91号住居址
(南より)



3 H92号住居址
(南より)



4 H90号住居址
カマド



5 H91号住居址
カマド

1 H93号住居址
(南より)



2 H94号住居址
(西より)



3 H95号住居址
(南より)



1 H96・97号
住居址
(南より)

2 H97号住居址
(南より)

3 H96号住居址
カマド

4 H97号住居址
カマド



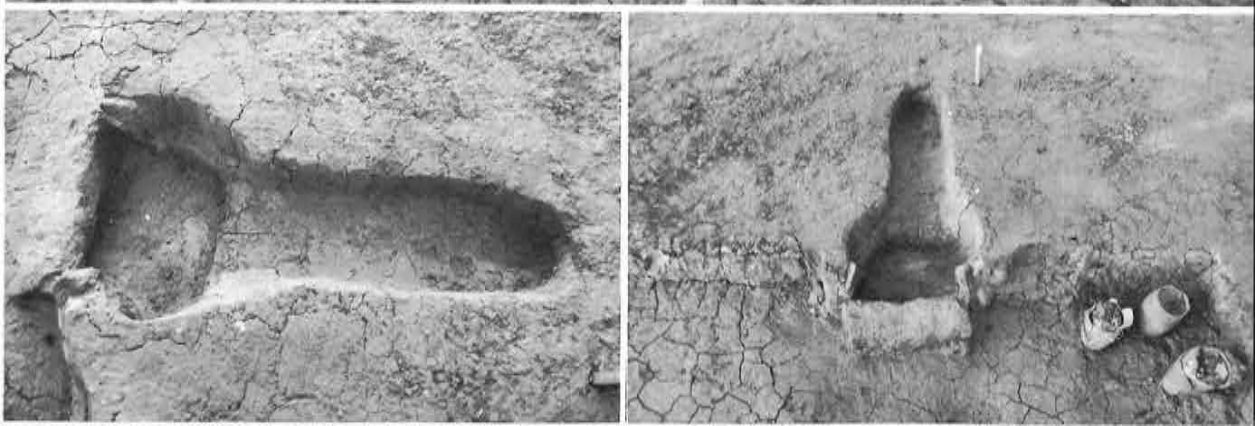
1 H96・97号
住居址
(西より)



2 H287号住居址
(南より)



3・4
H287号住居址
カマド



1・2
E地区1全景
(東より)



1 H98号住居址
(南より)



2 H99号住居址
(東より)



3 H98号住居址
カマド



4 H99号住居址
カマド



5 H100・102号
住居址
(東より)





1 H100・101・102・
103号住居址
(南より)



2 H101号住居址
(南より)



3 H102号住居址
(南より)

1 H103号住居址
(南より)



2 H101号住居址
カマド



3 H102号住居址
遺物出土状況



4 H102号住居址
カマド



5 H103号住居址
カマド



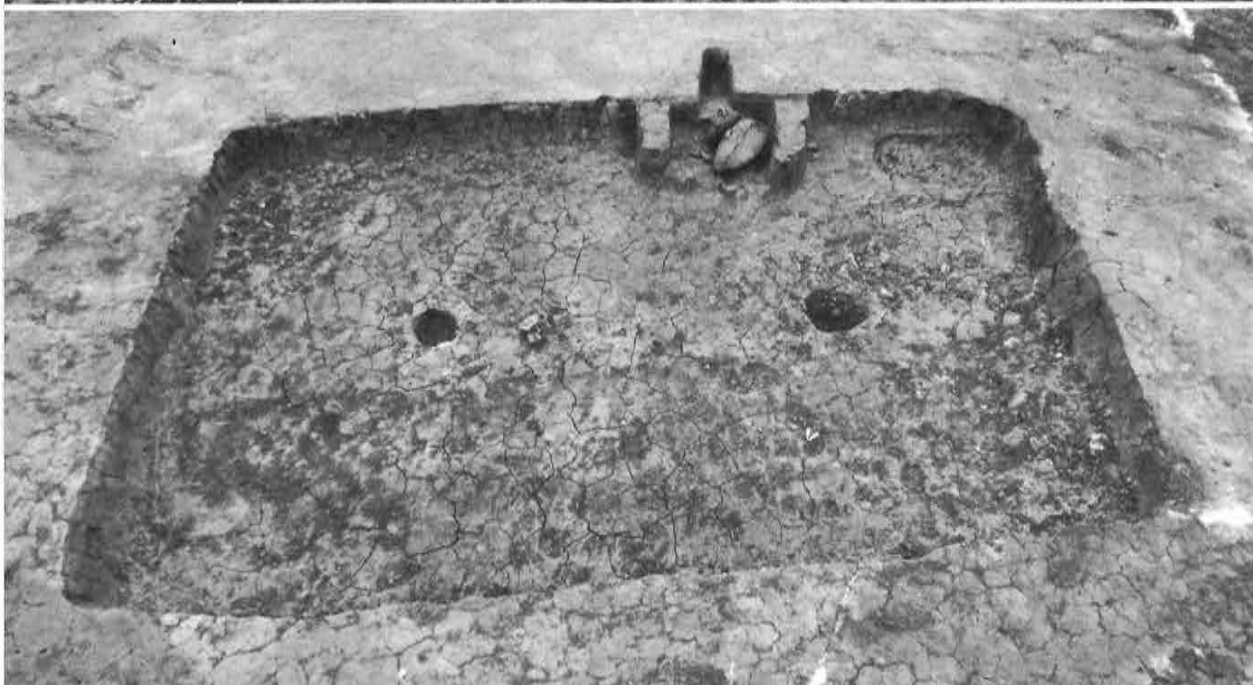
6 H104号住居址
(南より)



1 H104・105号
住居址
(北より)

2 H105号住居址
(南より)

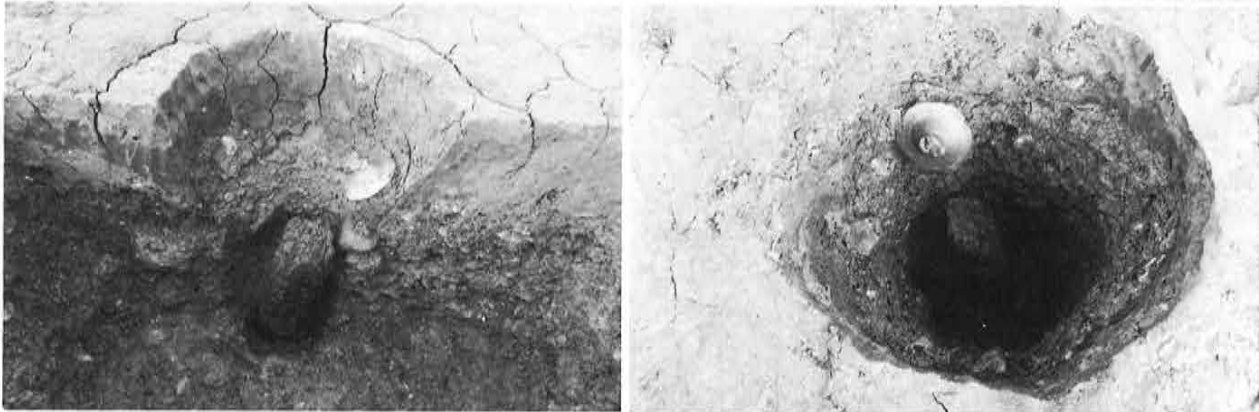
3 H106号住居址
(南より)



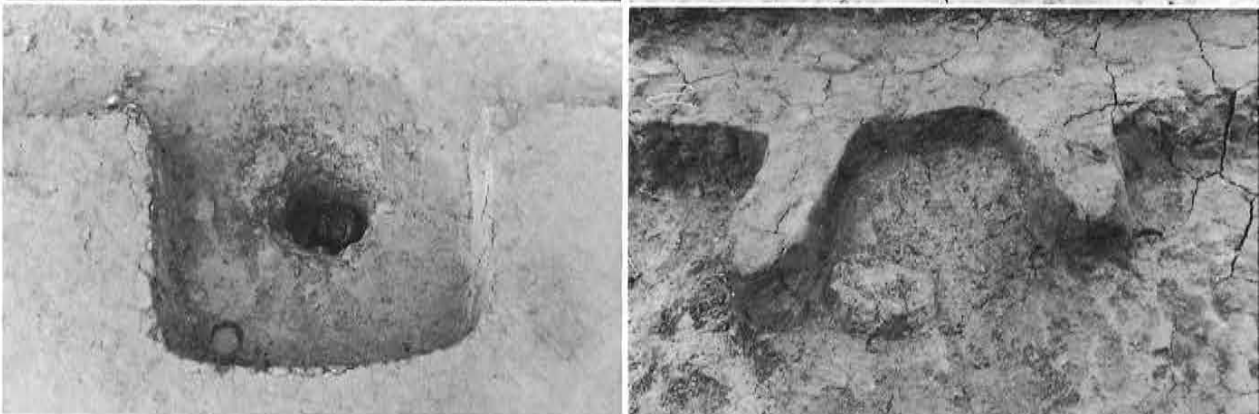
1 H107号住居址
(南より)



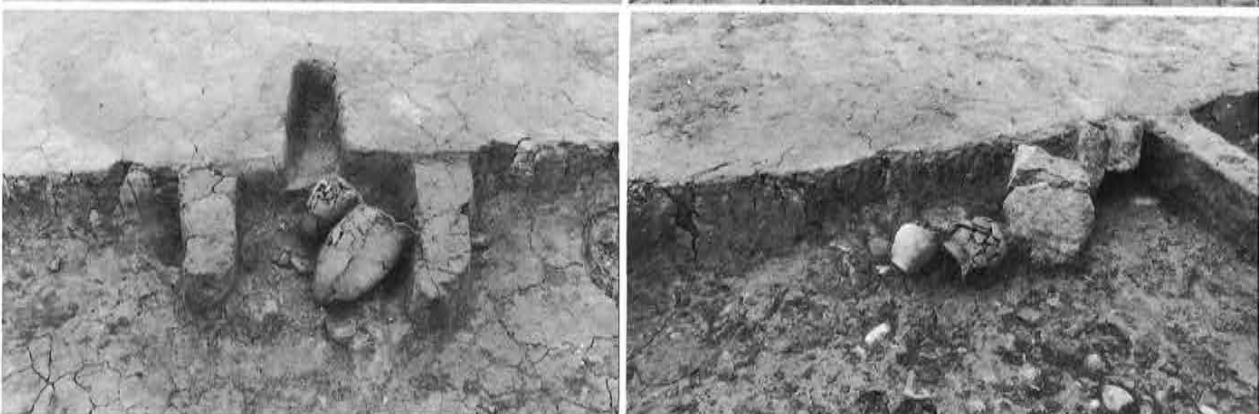
2・3
H104号住居址
柱痕残存状況



4 H104号住居址
張り出しビット



5 H105号住居址
カマド



6 H106号住居址
カマド

7 H107号住居址
遺物出土状況

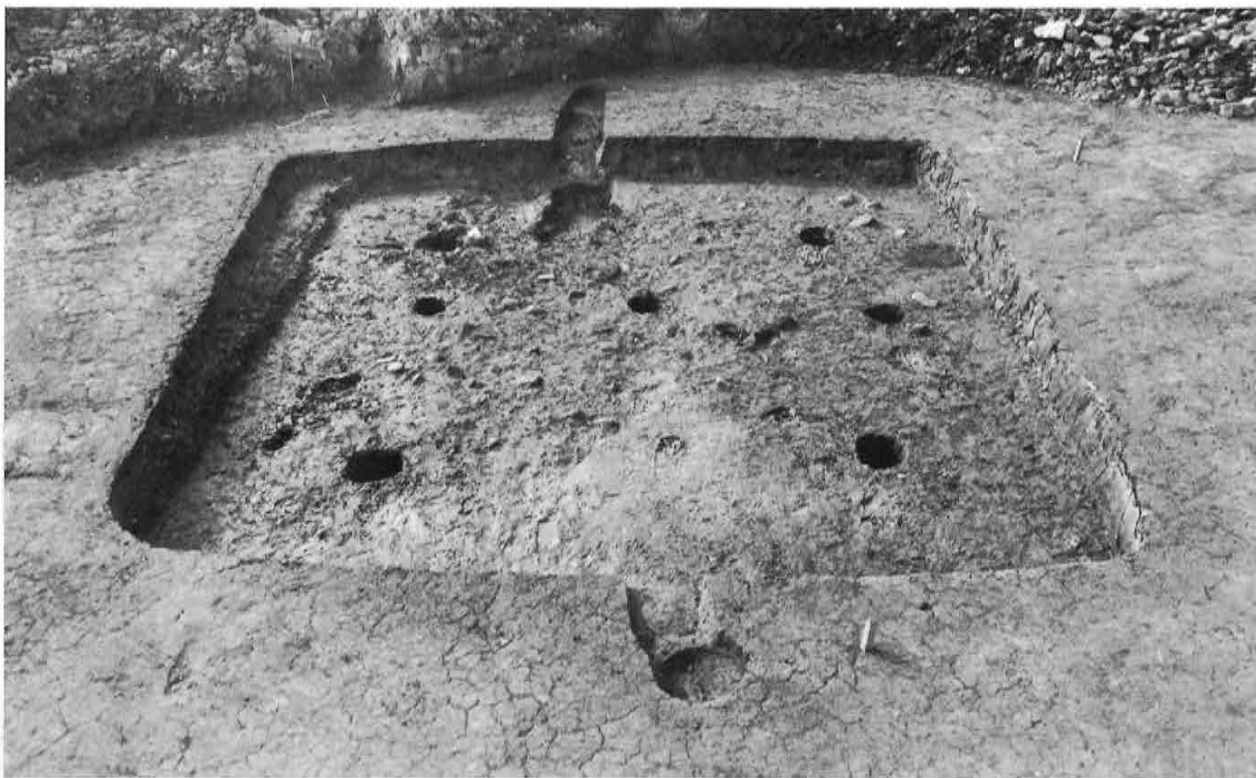


8・9
H107号住居址
カマド

1 H108号住居址
(北東より)

2 H109号住居址
(南西より)

3 H110号住居址
(南より)



1 H110・111号
住居址
(南より)



2 H112号住居址
(南より)



3 H108号住居址
遺物出土状況



4 H109号住居址
カマド



5 H110号住居址
遺物出土状況



6 H110号住居址
カマド



7 H111号住居址
カマド



8 H112号住居址
カマド



1 H113号住居址
(南より)



2 H114号住居址
(南より)



3 H115号住居址
(南より)



1 H116号住居址
(南より)



2 H113号住居址
遺物出土状況



3 H113号住居址
カマド



4 H114号住居址
カマド

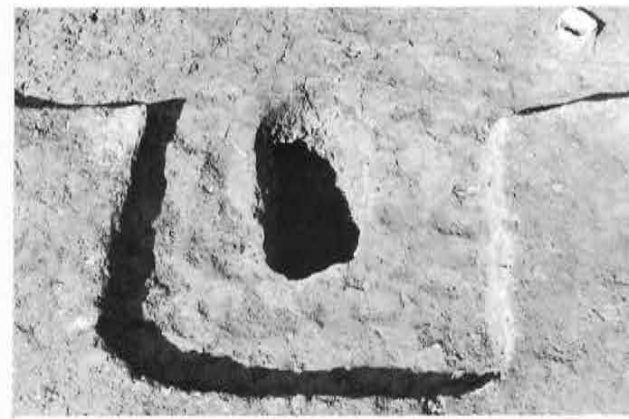


5 H116号住居址
カマド



6 H117号住居址
(南より)





1 H117号住居址
張り出しビット



2 H117号住居址
カマド



3 H118号住居址
(北より)



4 H119号住居址
(南より)



5 H118号住居址
カマド



6 H119号住居址
カマド

1・2
H119号住居址
遺物出土状況



3 H120号住居址
(南より)



4 H120号住居址
カマド



5 H120号住居址
遺物出土状況

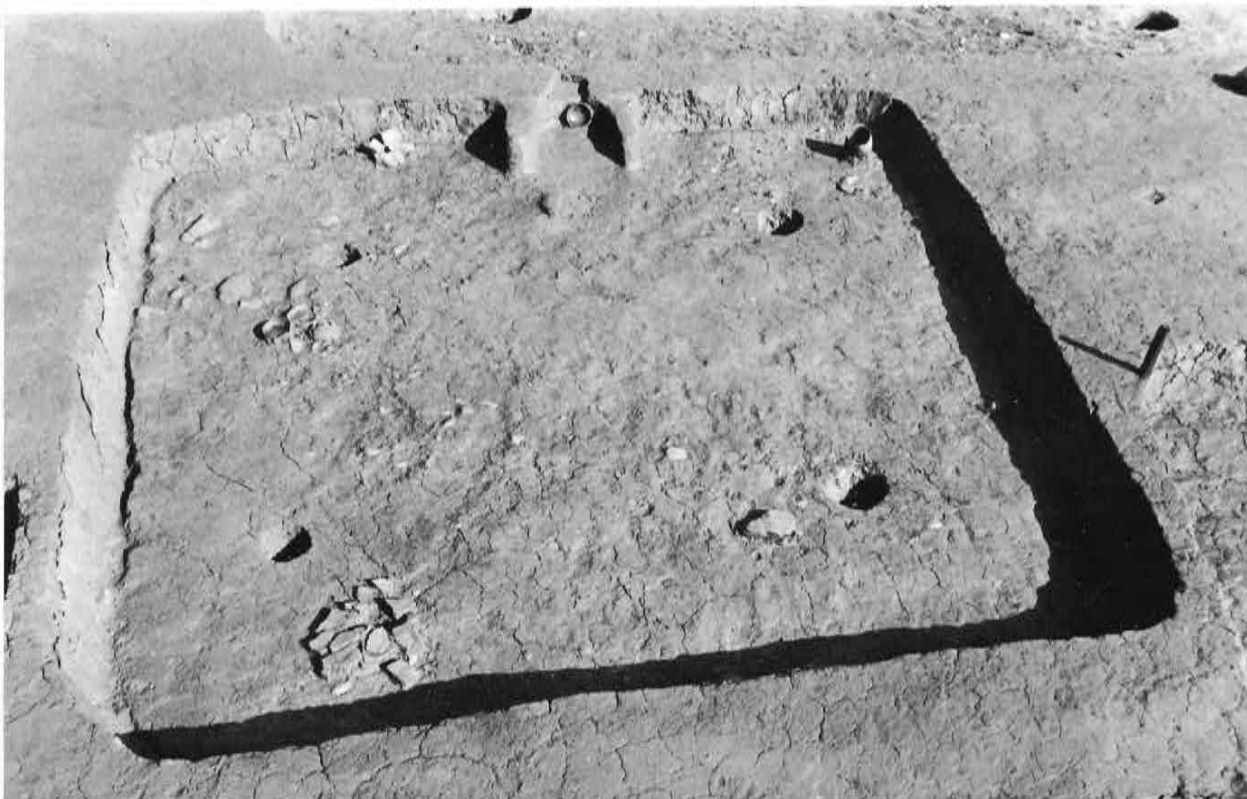


6 H121号住居址
(南より)

1 H122号住居址
(南より)

2 H123号住居址
(南より)

3 H125号住居址
(南より)



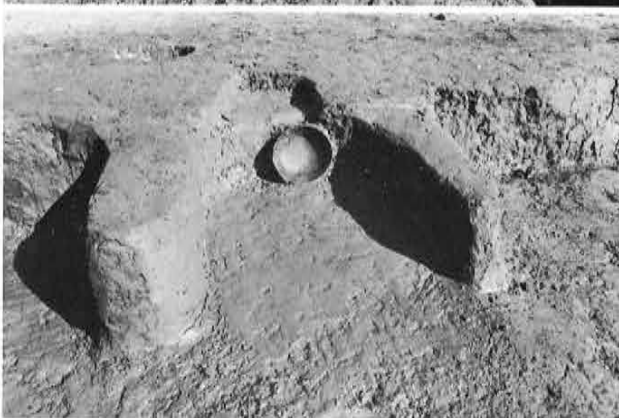
1 H126号住居址
(南より)



2・3
H122号住居址
遺物出土状況



4 H122号住居址
カマド



5 H123号住居址
カマド



6・7
H123号住居址
遺物出土状況

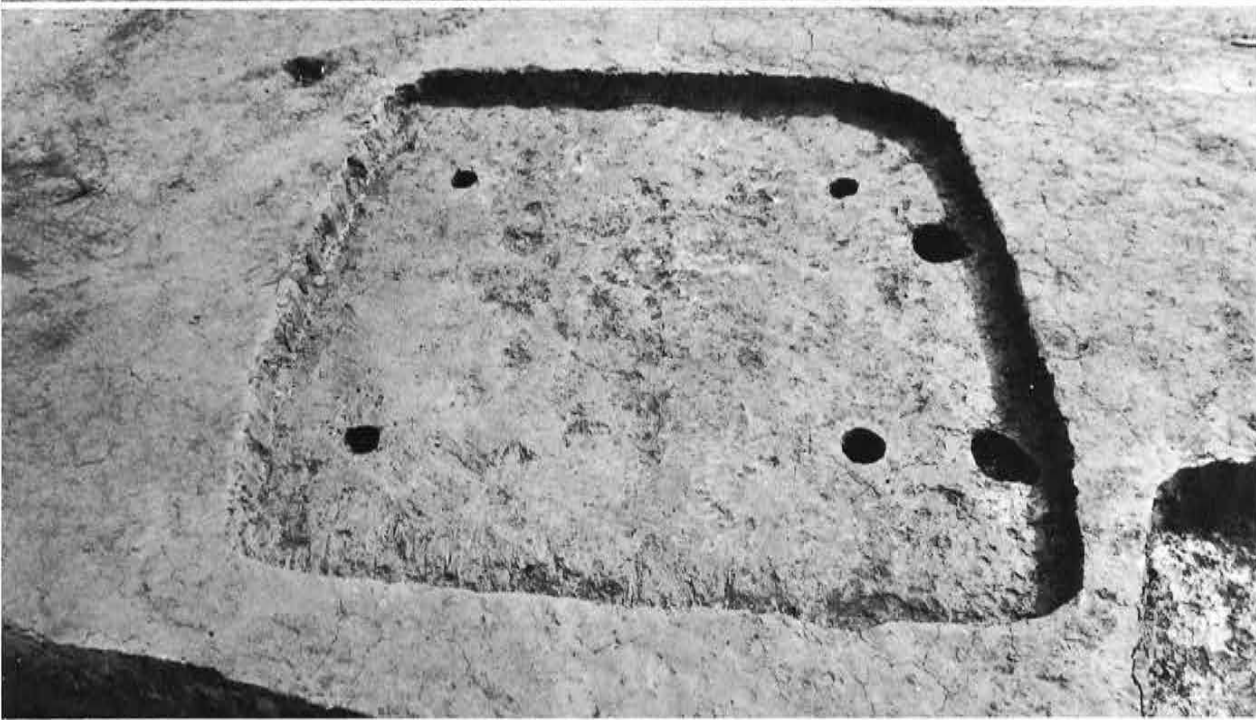


8 H125号住居址
カマド

9 H126号住居址
カマド



1 H127号住居址
(南より)



2 H128号住居址
(西より)



3 H129号住居址
(南より)

1・2
H127号住居址
遺物出土状況



3・4
H127号住居址
遺物出土状況



5 H127号住居址
カマド

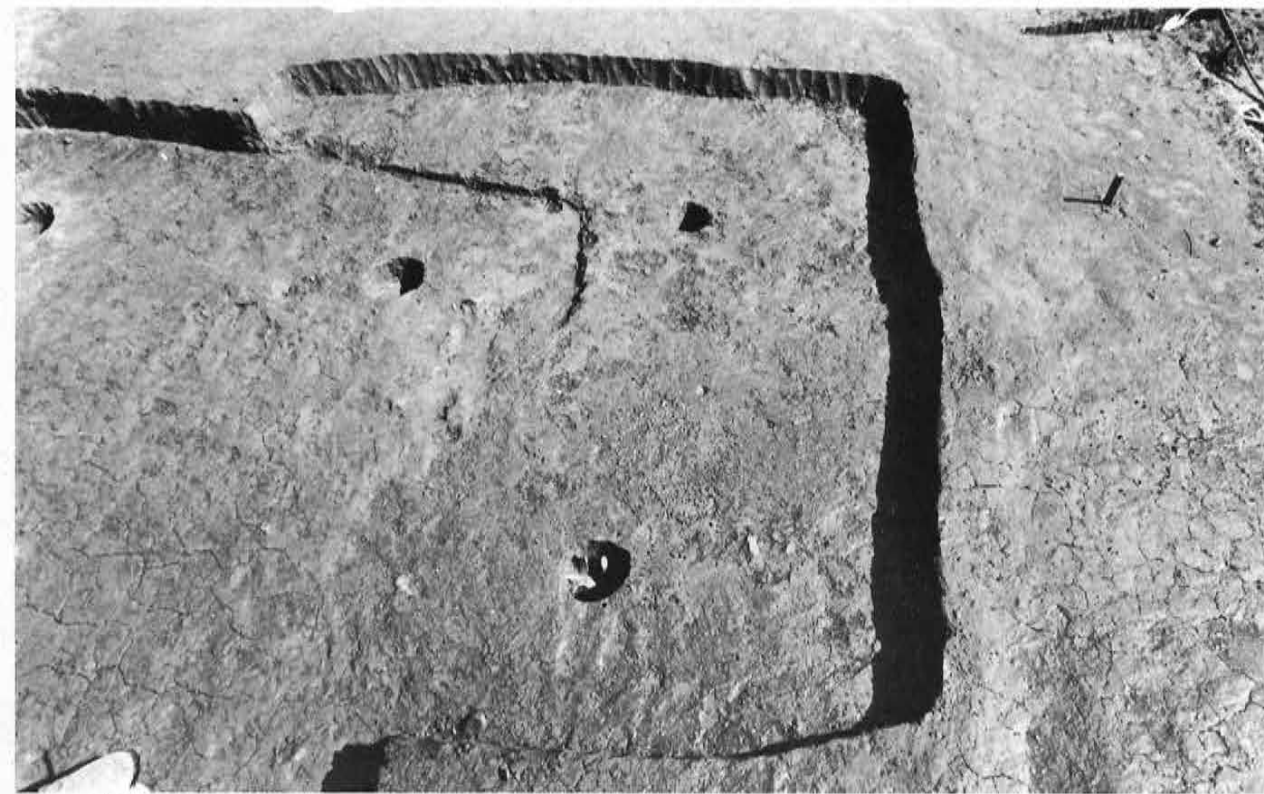


6 H129号住居址
カマド



7 H130号住居址
(南より)





1 H131号住居址
(西より)



2 H132号住居址
(南より)



3 H130・131・
132号住居址
(南より)

1 H133号住居址
(南より)



2 H134・135号
住居址
(南より)



3 H132号住居址
遺物出土状況



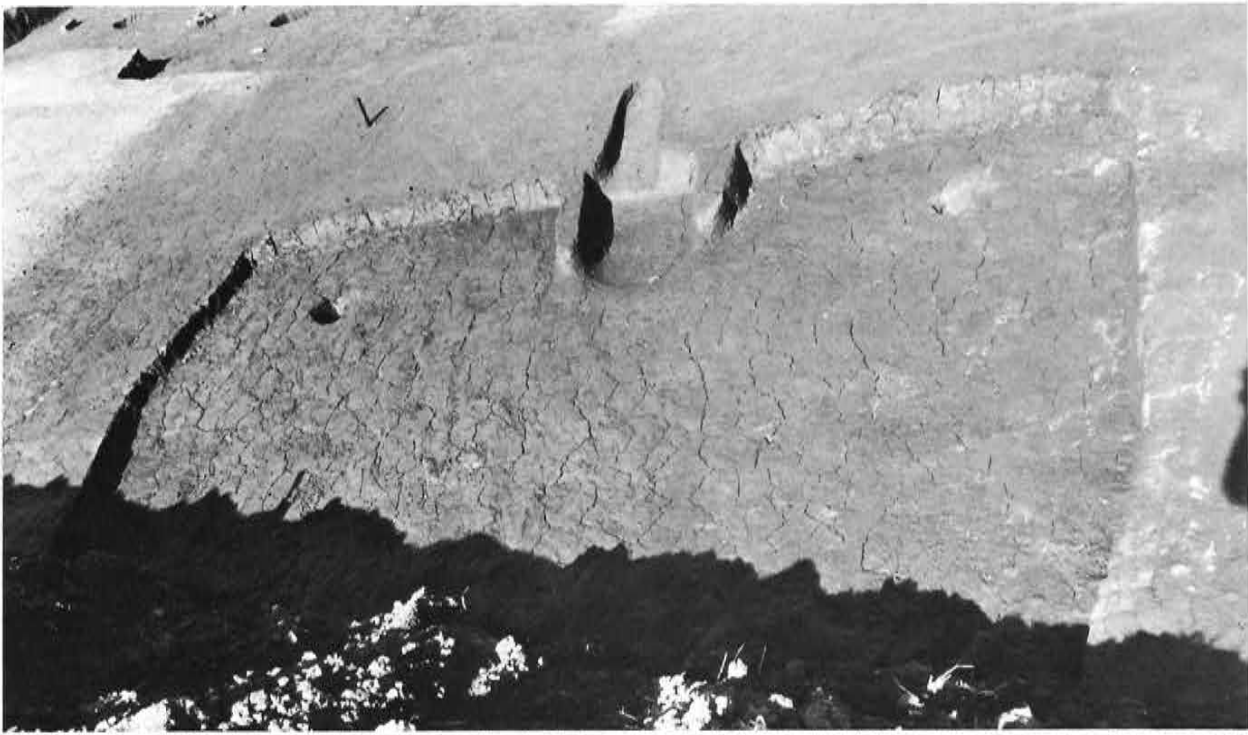
4 H132号住居址
カマド



5 H133号住居址
カマド

6 H134・135号
住居址
カマド





1 H135号住居址
(南より)



2 H136号住居址
(南より)

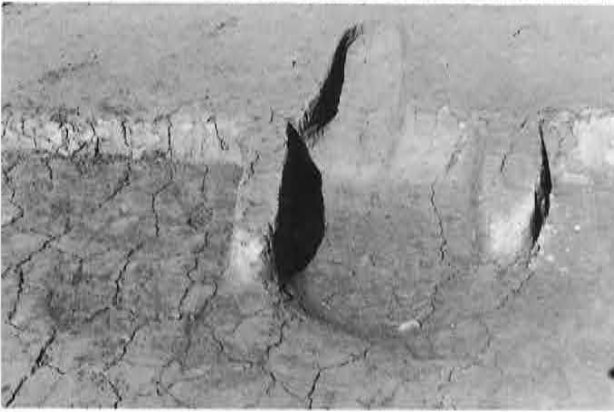


3 H137号住居址
(南より)

1 H138号住居址
(西より)



2 H135号住居址
カマド



3 H136号住居址
カマド

4 H137号住居址
カマド



5 H138号住居址
カマド

6 H139号住居址
(南より)





1・2
H139号住居址
遺物出土状況



3 H139号住居址
カマド

4 H140号住居址
カマド



5 H140号住居址
(南より)



6 H141号住居址
遺物出土状況

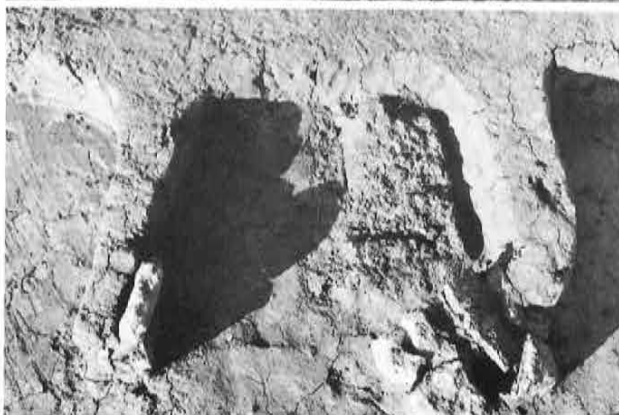
1 H141号住居址
(南より)



2 H142号住居址
(西より)



3 H141号住居址
カマド



4 H142号住居址
カマド

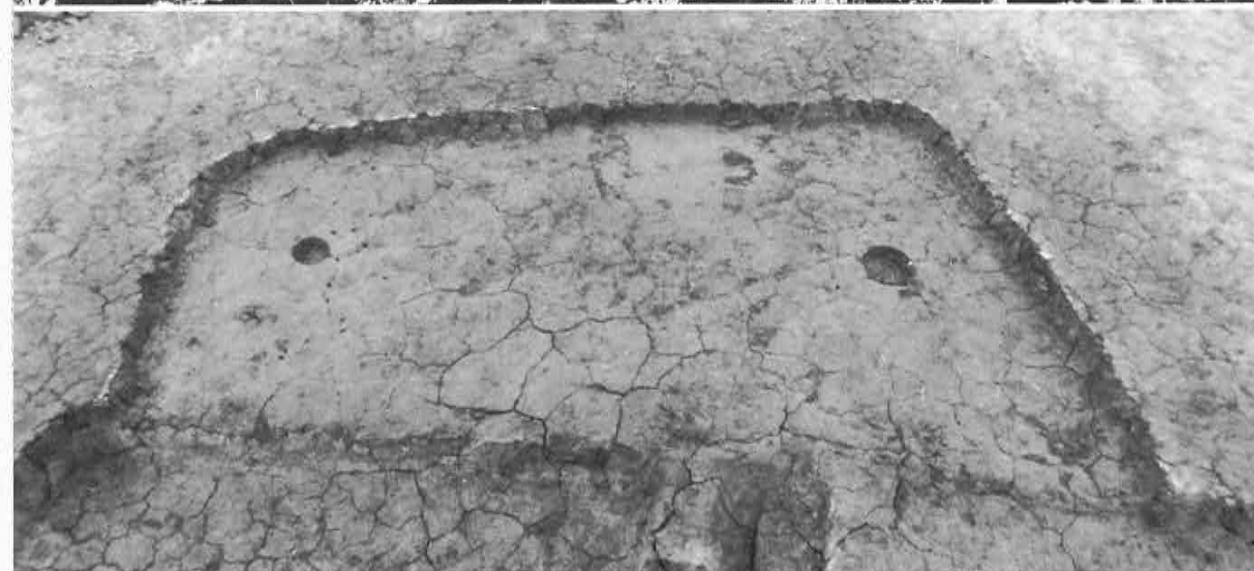




1 H143号住居址
(南東より)



2 H144号住居址
(南より)



3 H145号住居址
(南より)

1 H146号住居址
(南より)



2 H143号住居址
カマド



3 H144号住居址
遺物出土状況



4 H144号住居址
カマド



6 H146号住居址
カマド

7 H148号住居址
カマド



1 H147号住居址
(南より)



2 H148号住居址
(南より)



3 H149号住居址
(東より)

1 H150号住居址
(南より)



2 H147号住居址
遺物出土状況



3 H147号住居址
カマド



4・5 H150号住居址
カマド



6・7 H150号住居址
遺物出土状況

1 H151号住居址
(南より)



2 H152号住居址
(南より)



3 H153号住居址
(南より)



1 H151号住居址
カマド



2 H152号住居址
カマド



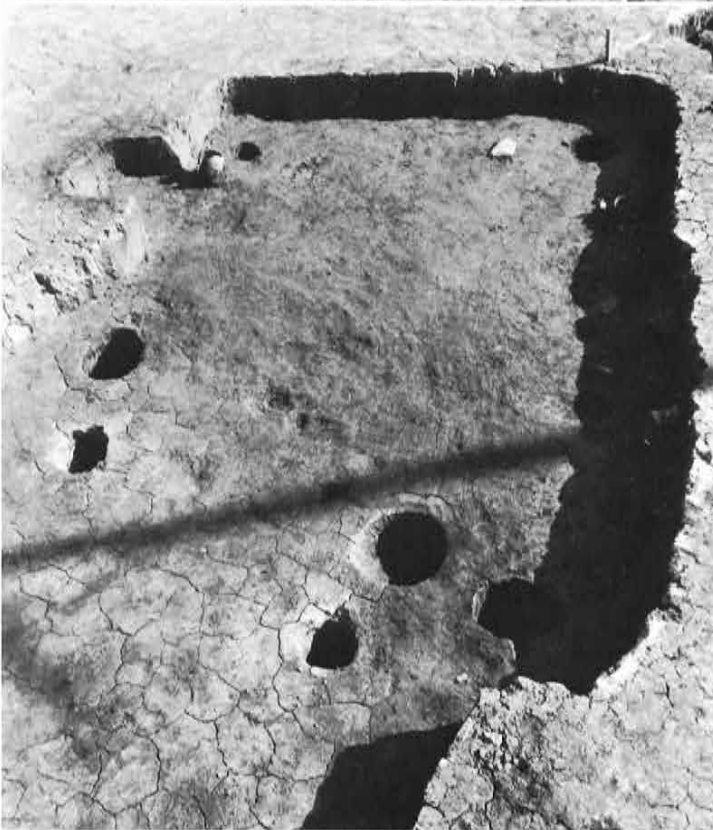
3 H153号住居址
遺物出土状況



4 H153号住居址
カマド



5 H155号住居址
(西より)



6 H155号住居址
カマド



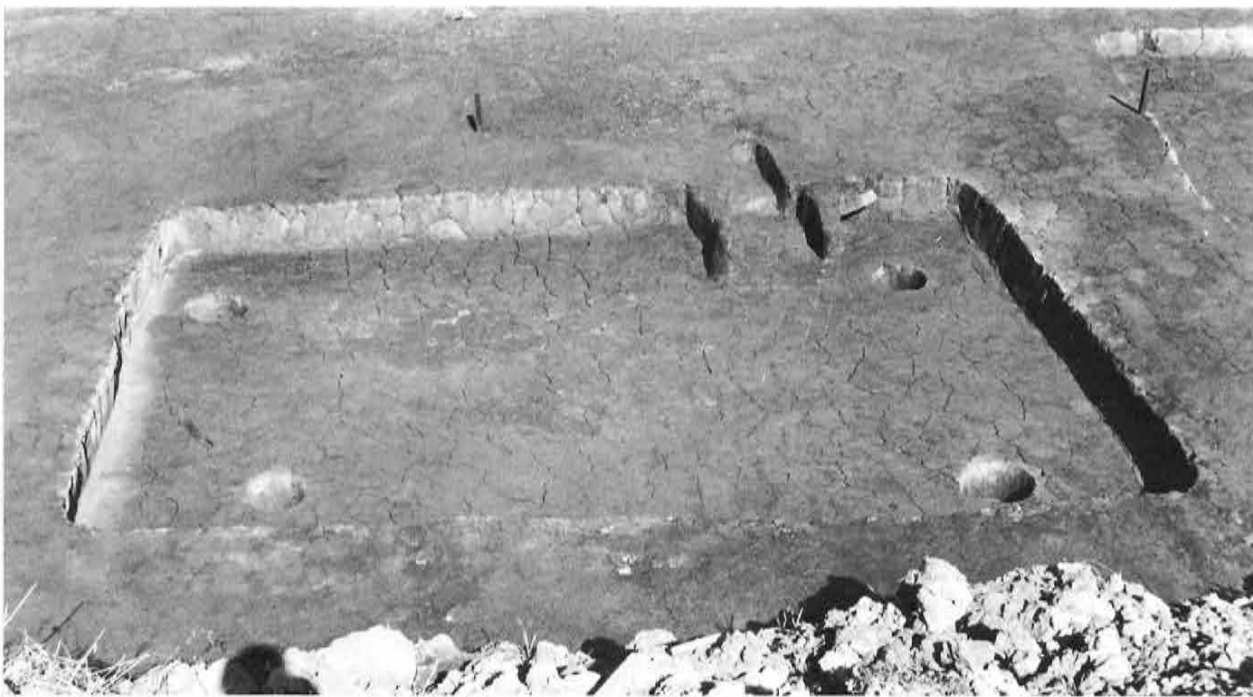
7 H156号住居址
カマド



8 H156号住居址
(南より)



1 H157号住居址
(南より)



2 H158・160号
住居址
(南より)



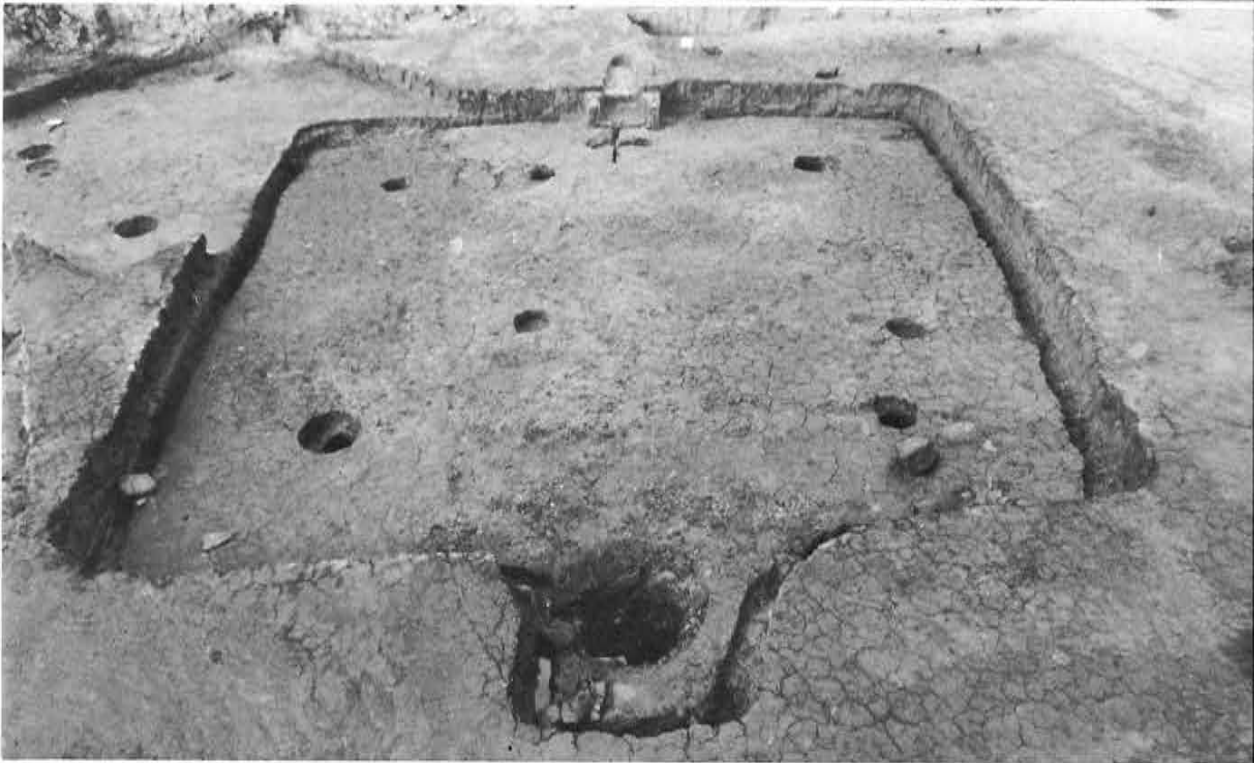
3 H159号住居址
(南より)



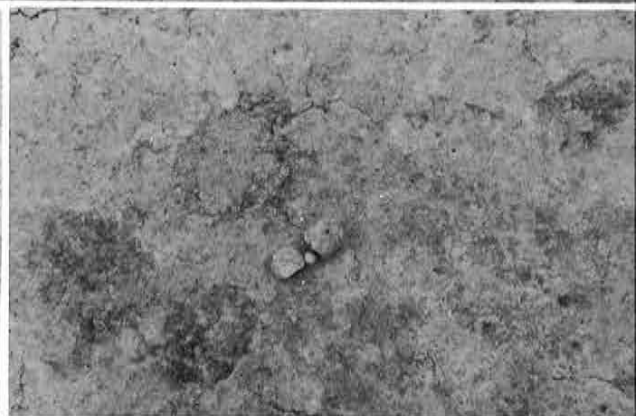
1 H160号住居址
(南より)



2 H161号住居址
(南より)



3 H158号住居址
カマド



4 H159号住居址
土鈴出土状況

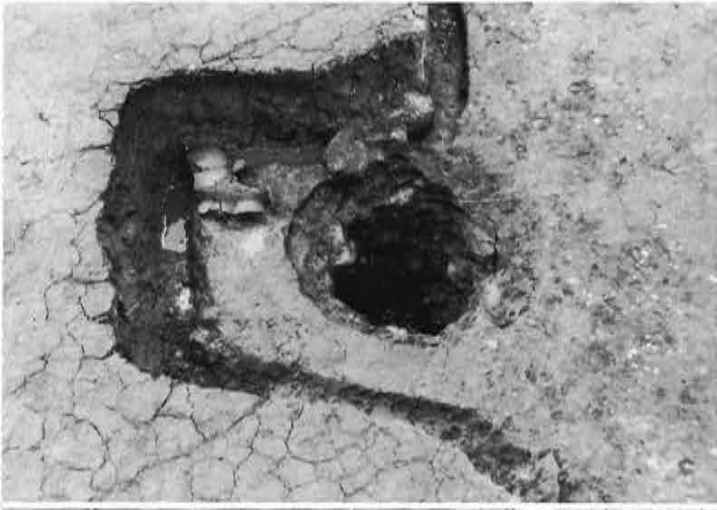


5 H160号住居址
カマド



6 H161号住居址
カマド





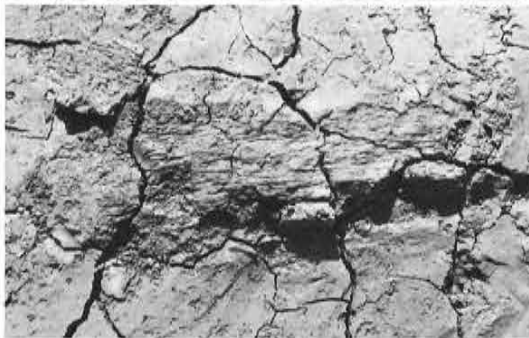
1 H161号住居址
張り出しシビット



2 H163号住居址
カマド



3 H162号住居址
カマド



4 H162号住居址
カヤ出土状況



5 H162号住居址
(南より)



6 H163号住居址
(西より)

1 H166号住居址
(南より)



2 H167号住居址
(北より)



3 H168号住居址
(南より)





- 1 H168号住居址
カマド
- 2 H169号住居址
炭化豆類
出土状況



- 3 H169号住居址
炭化材出土状況



- 4 H169号住居址
(南より)



- 5 H170号住居址
(西より)

1 H169号住居址
カマド



2 H170号住居址
カマド



3 H171号住居址
(北より)



4 H172号住居址
(西より)



5 H171号住居址
カマド



6 H172号住居址
カマド





1 H173号住居址
(西より)



2 H174号住居址
(南より)



3 H175号住居址
(南より)

1 H176号住居址
(南より)



2 H173号住居址
カマド



3 H174号住居址
カマド



4 H175号住居址
カマド



5 H176号住居址
カマド



6 H179号住居址
(南より)



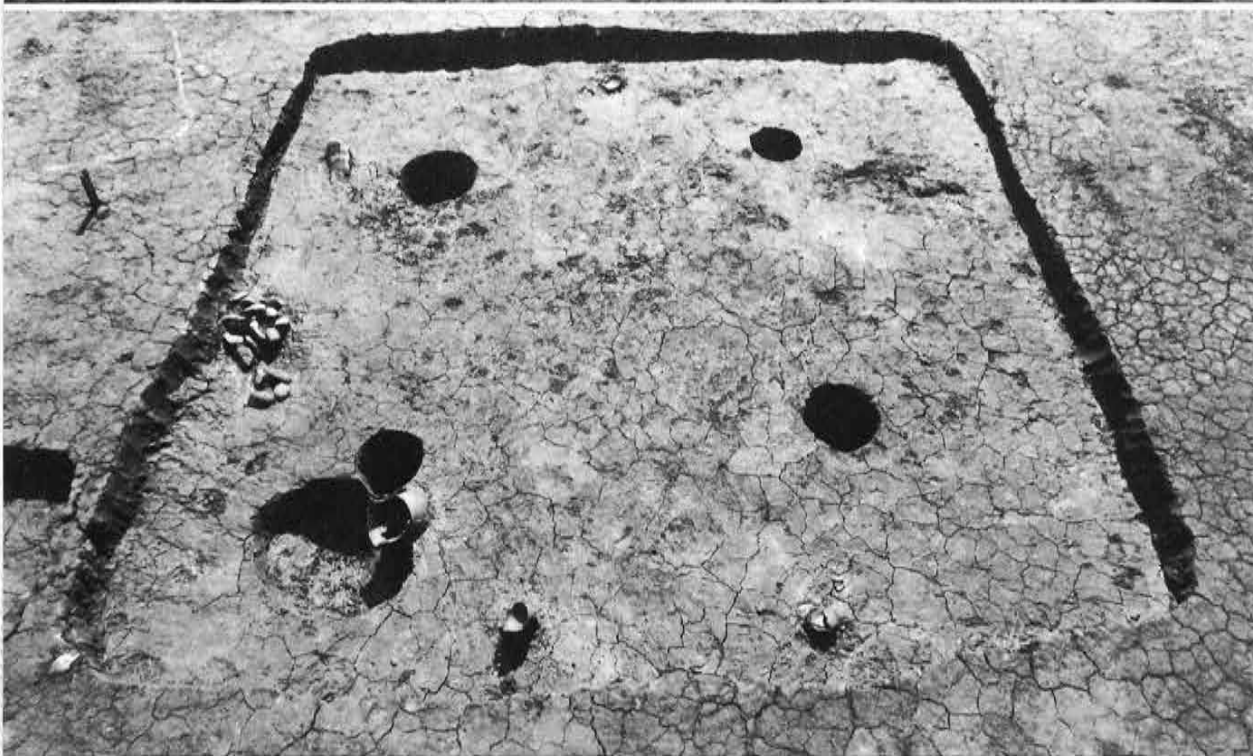


1 H179号住居址
遺物出土状況

2 H179号住居址
カマド



3 H180号住居址
(南より)



4 H181号住居址
(北より)



5 H180号住居址
カマド

6 H181号住居址
土鈴出土状況

1 H182号住居址
(西より)



2 H183号住居址
(西より)



3 H182号住居址
カマド



4 H183号住居址
カマド



5 H184号住居址
(西より)





1 H185号住居址
(南より)



2 H186号住居址
(南より)



3 H187号住居址
(西より)

4 H184号住居址
カマド

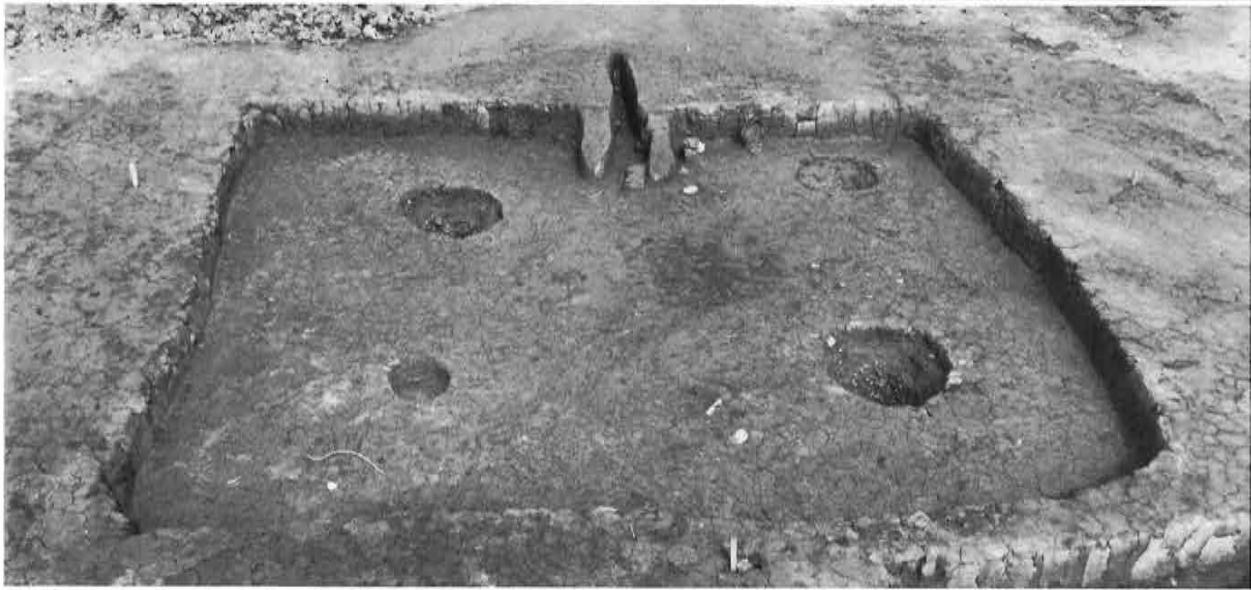


5 H186号住居址
カマド

1 H188号住居址
(南より)



2 H189号住居址
(南より)



3 H187号住居址
カマド

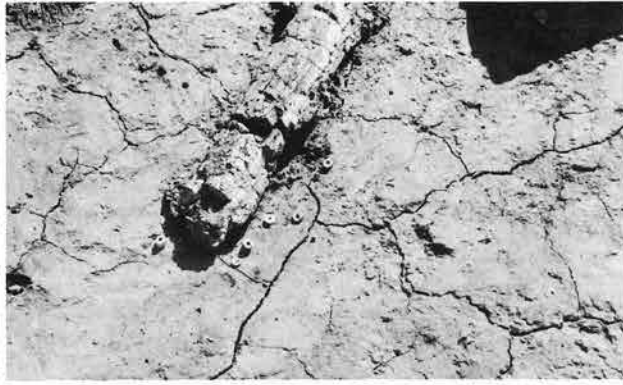


4 H189号住居址
カマド



5 H190号住居址
(南より)





1・2
H190号住居址
遺物出土状況



3 H190号住居址
カマド

4 H191号住居址
遺物出土状況



5 H191号住居址
(北より)



6 H192号住居址
(南より)

1 H192号住居址
遺物出土状況



2 H192号住居址
カマド



3 H193号住居址
(南より)



4 H194号住居址
(北より)



5 H193号住居址
カマド



6 H194号住居址
遺物出土状況





1 H194号住居址
カマド

2 H195号住居址
カマド



3 H195号住居址
(南より)



4 H196・197・
198号住居址
(東より)

1 H199号住居址
(南より)



2 H200号住居址
(南より)



3 H196号住居址
カマド



4 H198号住居址
遺物出土状況



5 H199号住居址
カマド



6 H200号住居址
カマド



1 B地区全景
(東より)



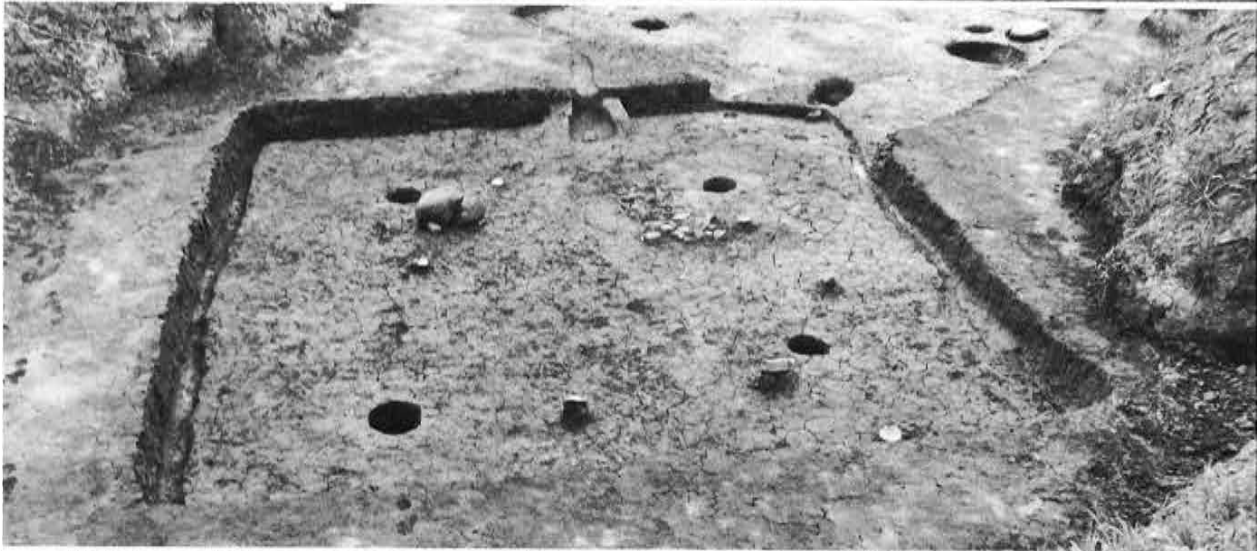
2 B地区全景
(西より)



1 H202号住居址
(南西より)



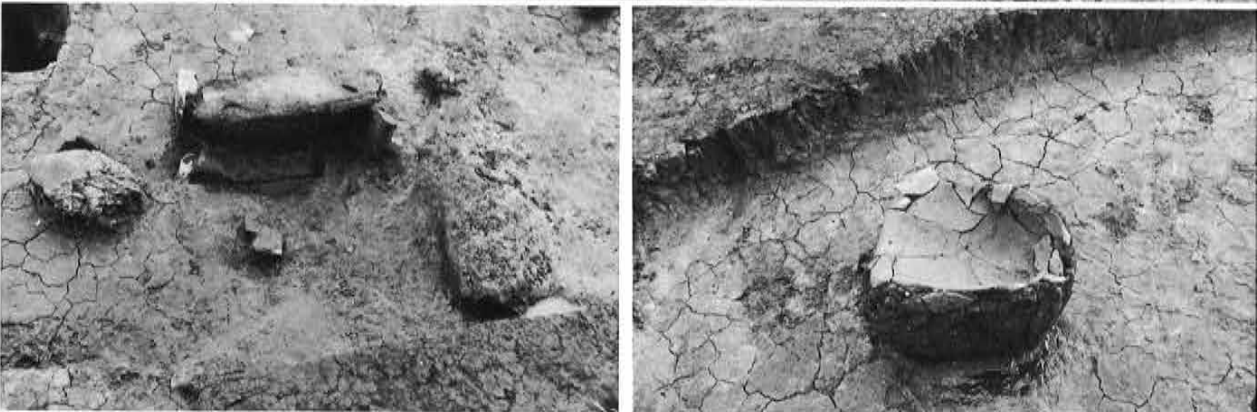
2 H203号住居址
(東より)



3 H202号住居址
カマド



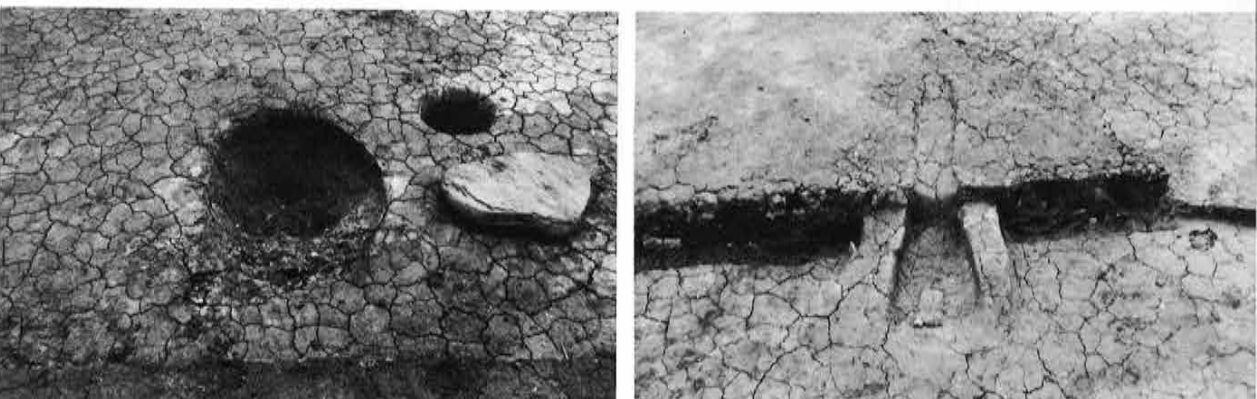
4 H202号住居址
遺物出土状況



5 H202号住居址
P₅

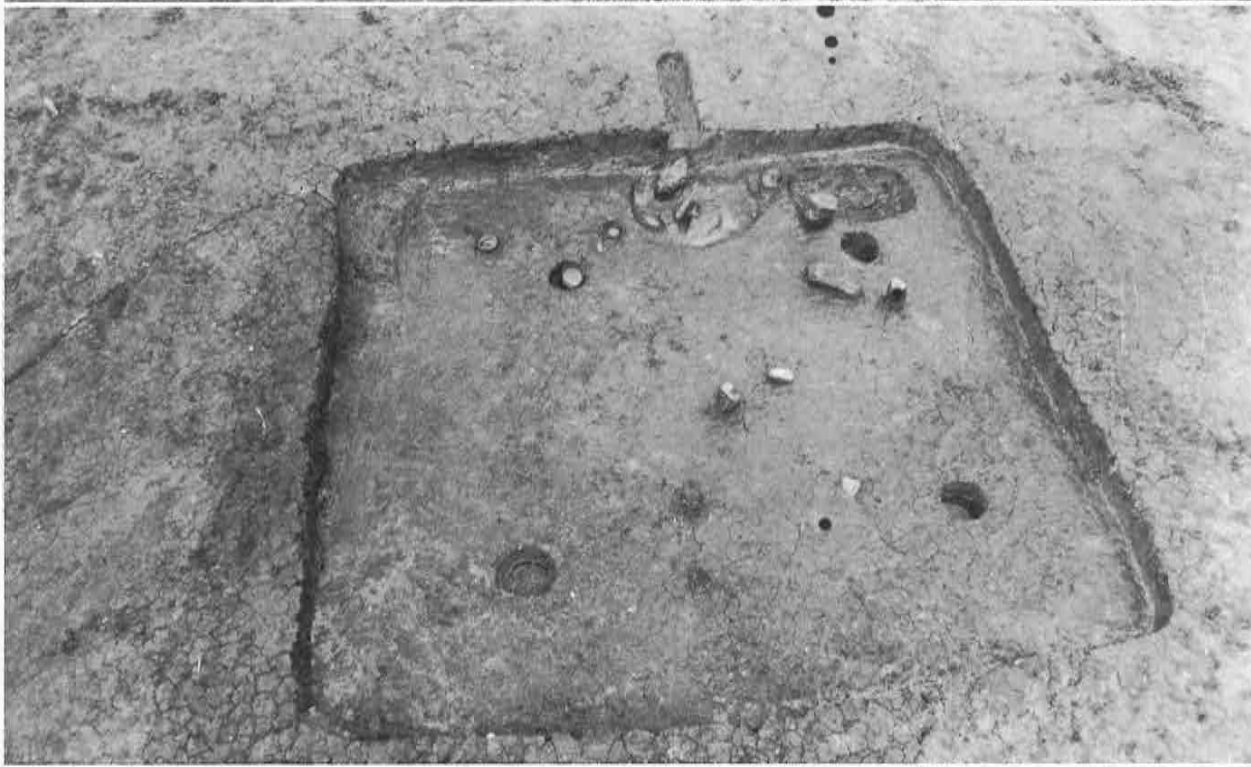


6 H203号住居址
カマド





1 H204・205号
住居址
(南西より)



2 H205号住居址
(南より)



3 H206号住居址
(南西より)

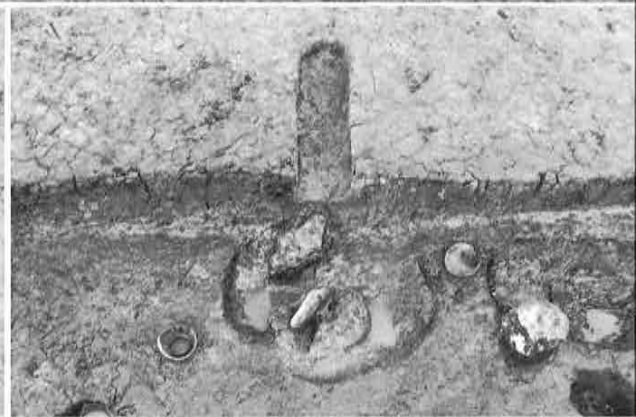
1 H207号住居址
(南より)



2 H204号住居址
遺物出土状況



3 H205号住居址
カマド



4 H206号住居址
遺物出土状況



5 H206号住居址
カマド



6・7
H207号住居址
カマド





1 H208号住居址
(南より)



2 H209号住居址
(南より)

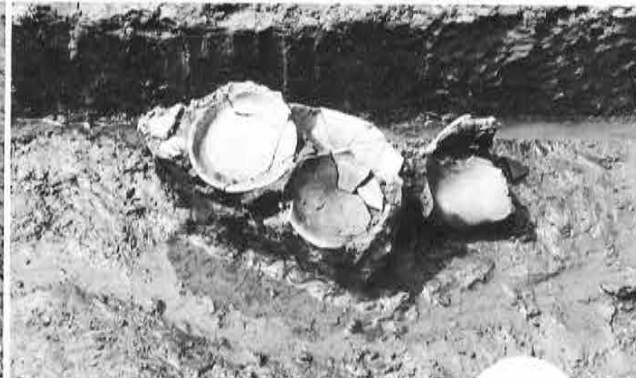


3 H210号住居址
炭化材出土状況

1 H210号住居址
(南より)



2・3
H208号住居址
遺物出土状況



4 H208号住居址
カマド



5 H209号住居址
遺物出土状況



6 H209号住居址
遺物出土状況

7 H210号住居址
カマド

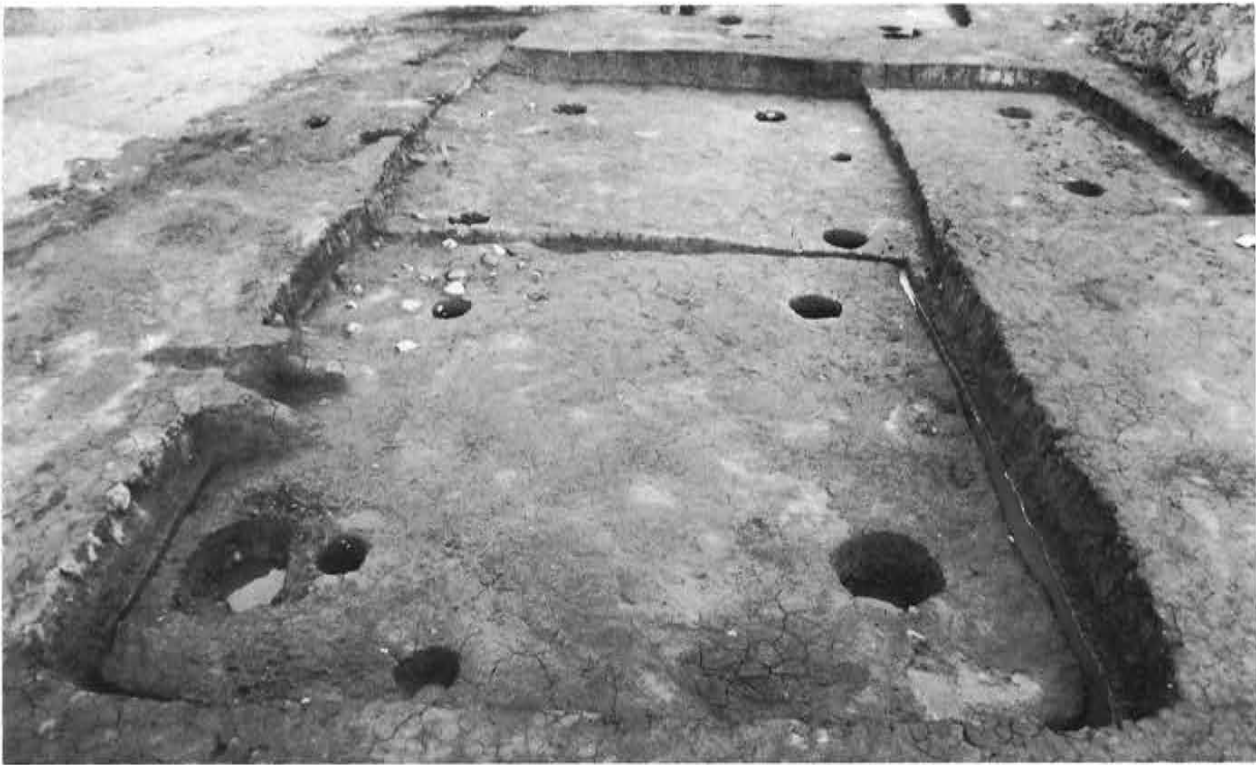


8・9
H210号住居址
カマド

1 H211・212・
213号住居址
(西より)

2 H211号住居址
(南より)

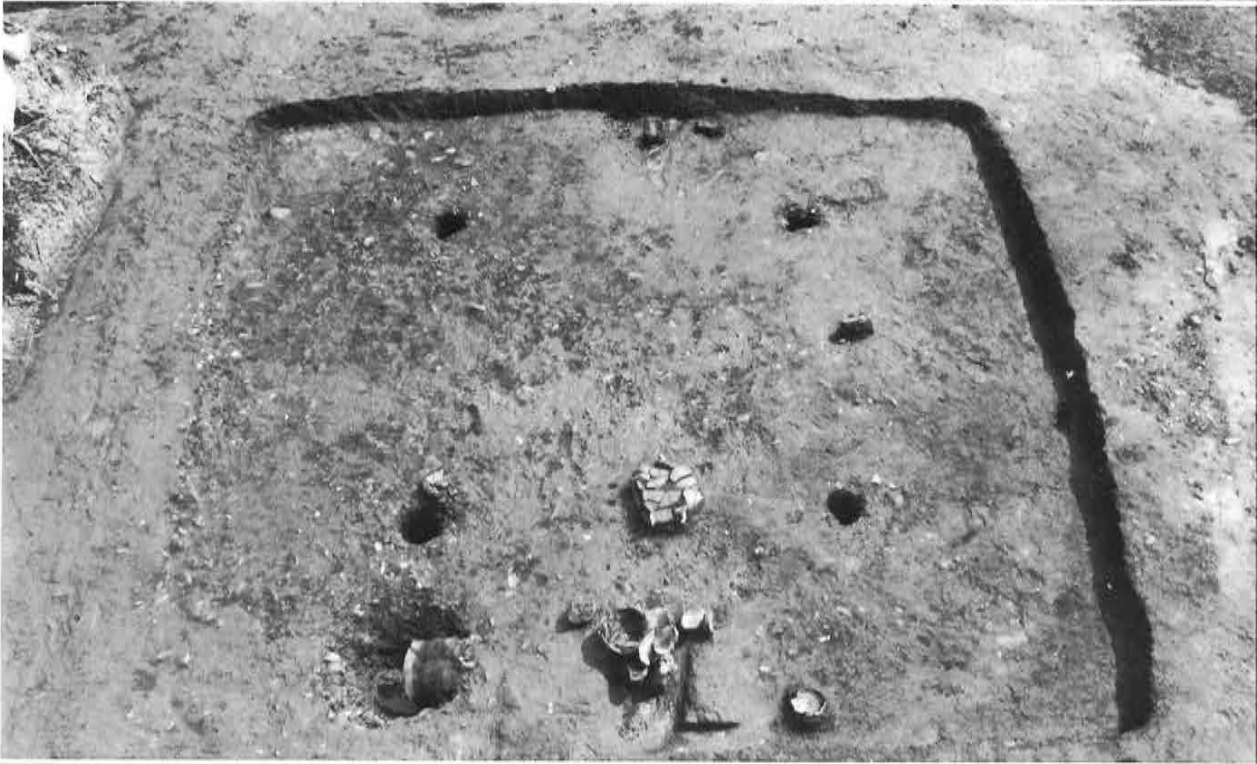
3 H212号住居址
(北より)



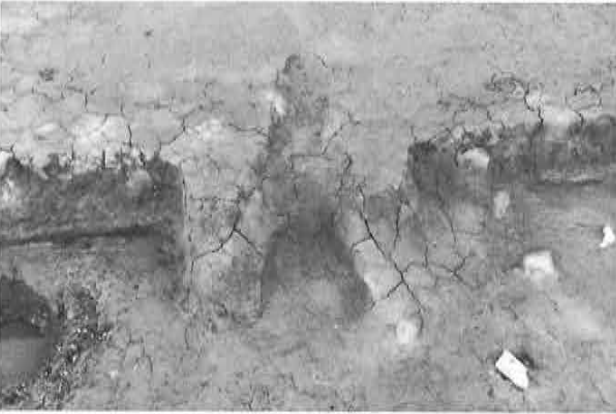
1 H213号住居址
(南より)



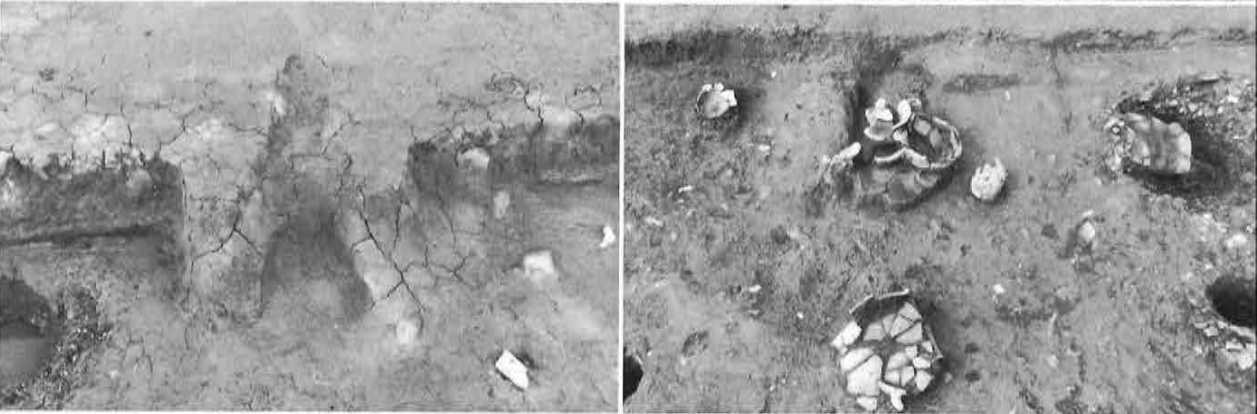
2 H214号住居址
(北より)



3 H213号住居址
カマド



4 H214号住居址
カマド



5・6
H214号住居址
遺物出土状況





1 H216号住居址
(南より)



2 H215・216号
住居址
(南より)



3 H216号住居址
カマド

1 E地区2全景
(東より)



2 E地区2全景
(西より)

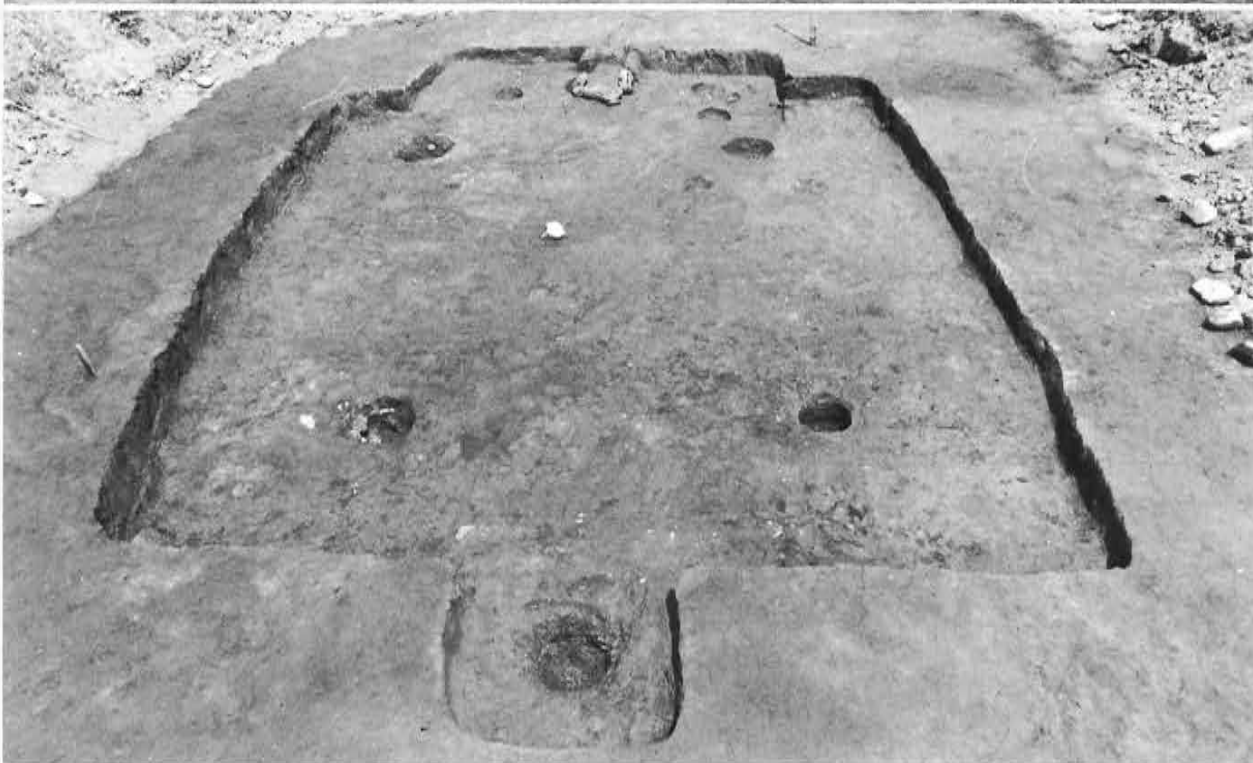




1 H217号住居址
(西より)

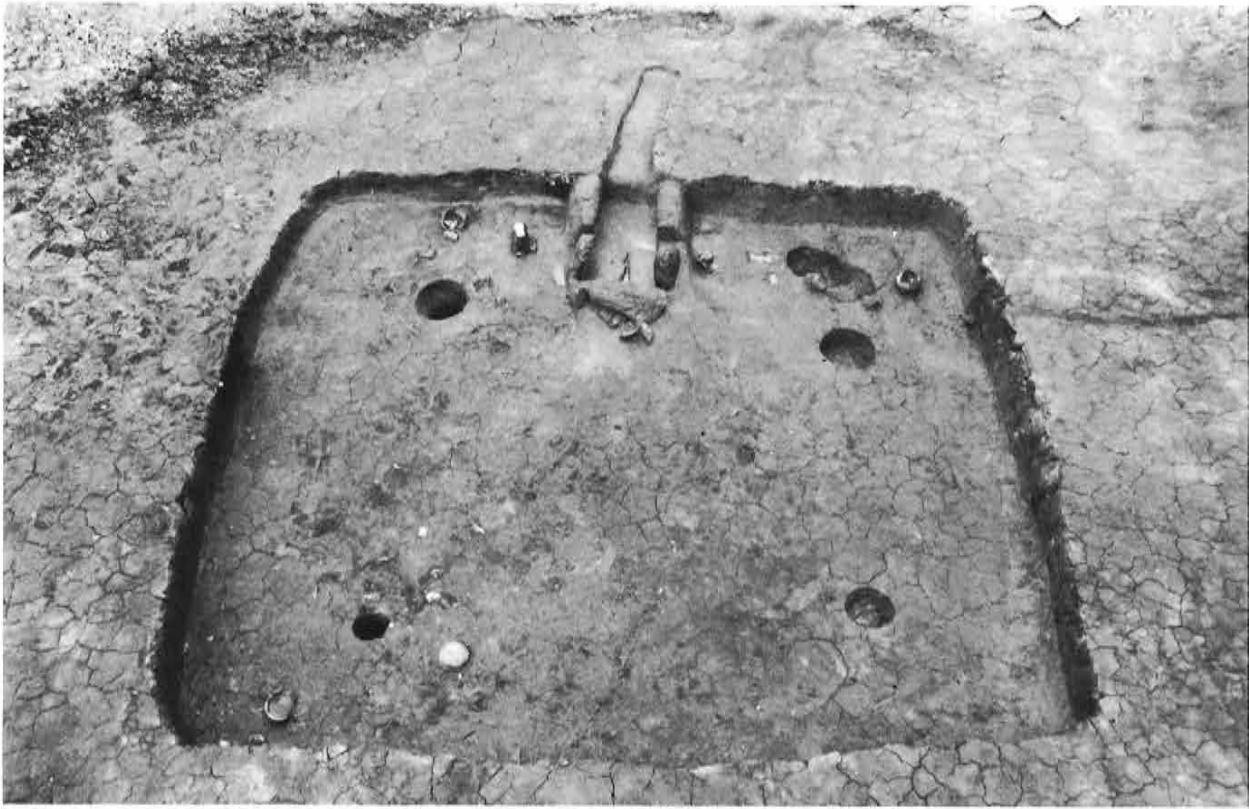


2 H218号住居址
炭化材出土状況



3 H218号住居址
(南より)

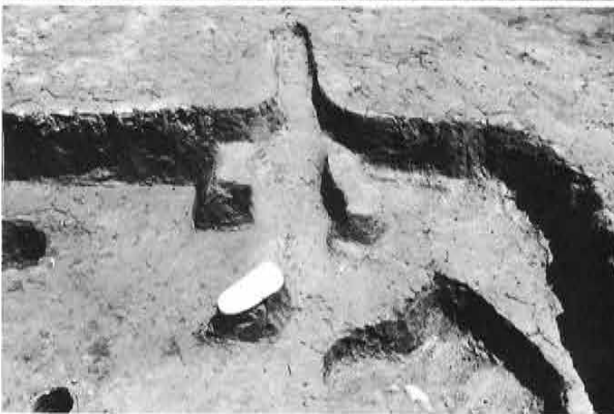
1 H219号住居址
(南より)



2 H220号住居址
(南より)



3 H217号住居址
カマド



4 H218号住居址
炭化材出土状況



5 H219号住居址
カマド



6 H220号住居址
カマド





1 H221号住居址
(南より)



2 H222号住居址
(南より)



3 H222号住居址
管玉出土状況



4 H222号住居址
遺物出土状況



5 H222号住居址
遺物出土状況



6 H222号住居址
カマド

1 H223号住居址
(南より)



2 H223号住居址
勾玉出土状況



3 H223号住居址
砥石出土状況



4 H223号住居址
張り出しシビット



6 H224号住居址
(南より)



1 H225号住居址
(南より)

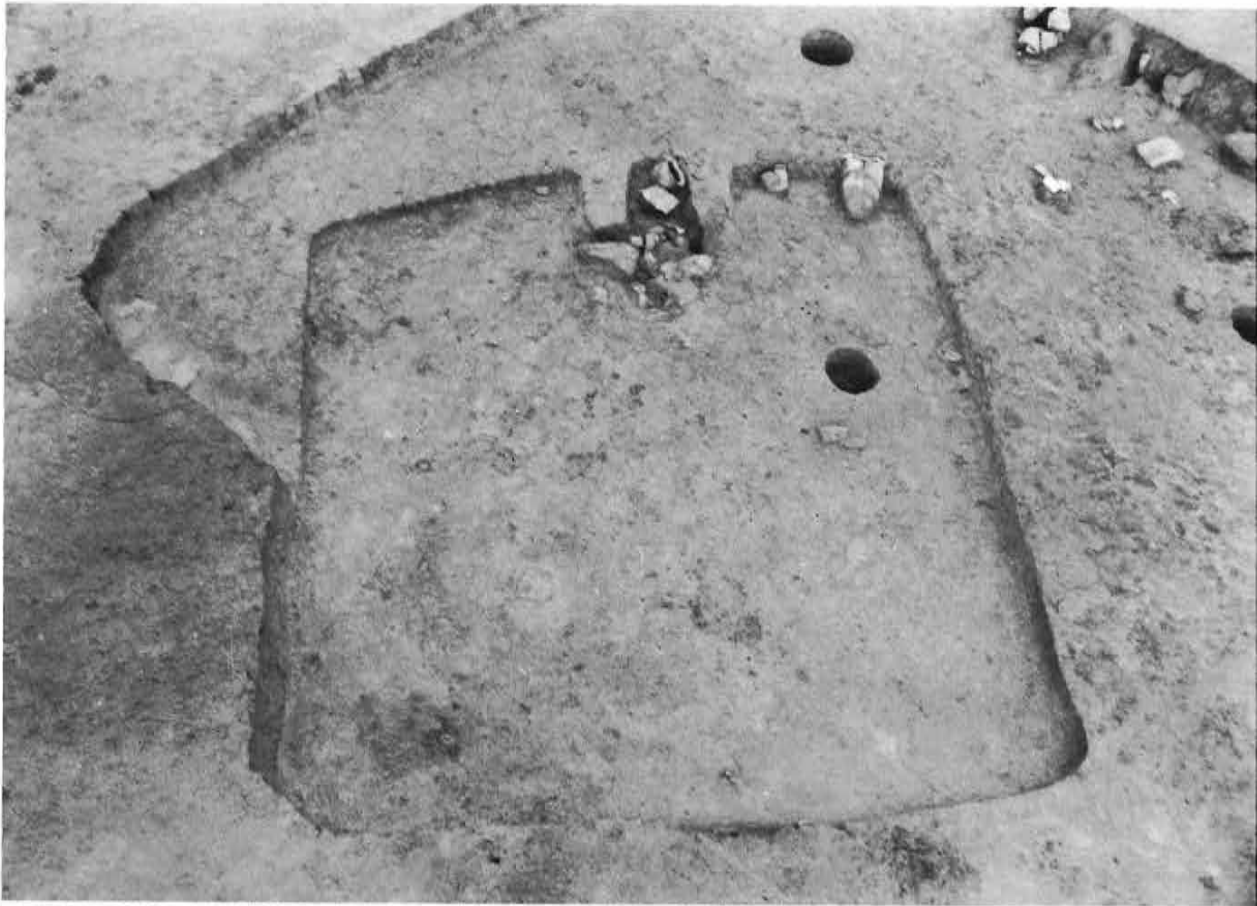


2 H226号住居址
(北西より)



3 H227・228号
住居址
(北西より)

1 H228号住居址
(西より)



2・3
H224号住居址
カマド



4 H225号住居址
カマド



5 H227号住居址
カマド土製支脚

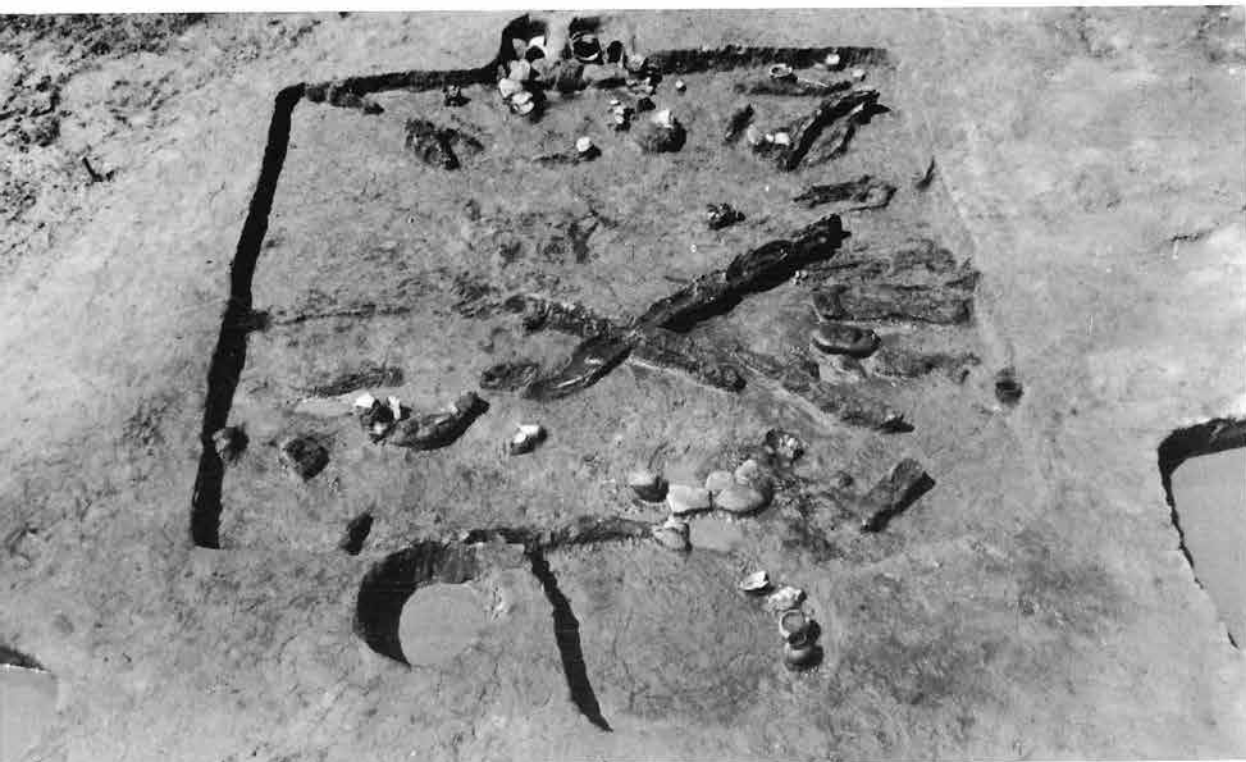


6 H227号住居址
カマド



7 H228号住居址
カマド





1 H229号住居址
炭化材出土状況



2 H229号住居址
(南より)



3 H229号住居址
出入口部施設



4 H229号住居址
遺物出土状況

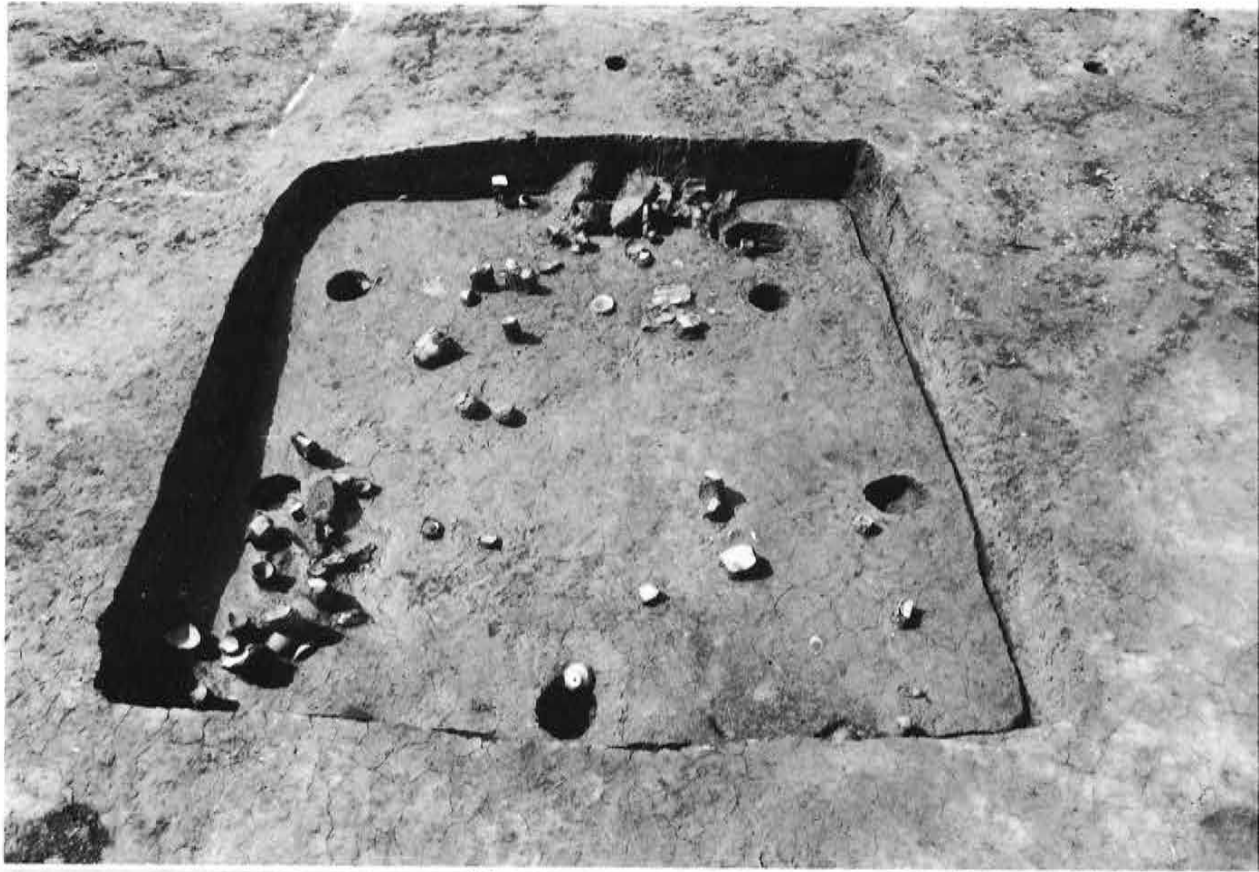


5 H229号住居址
紡錘車出土状況

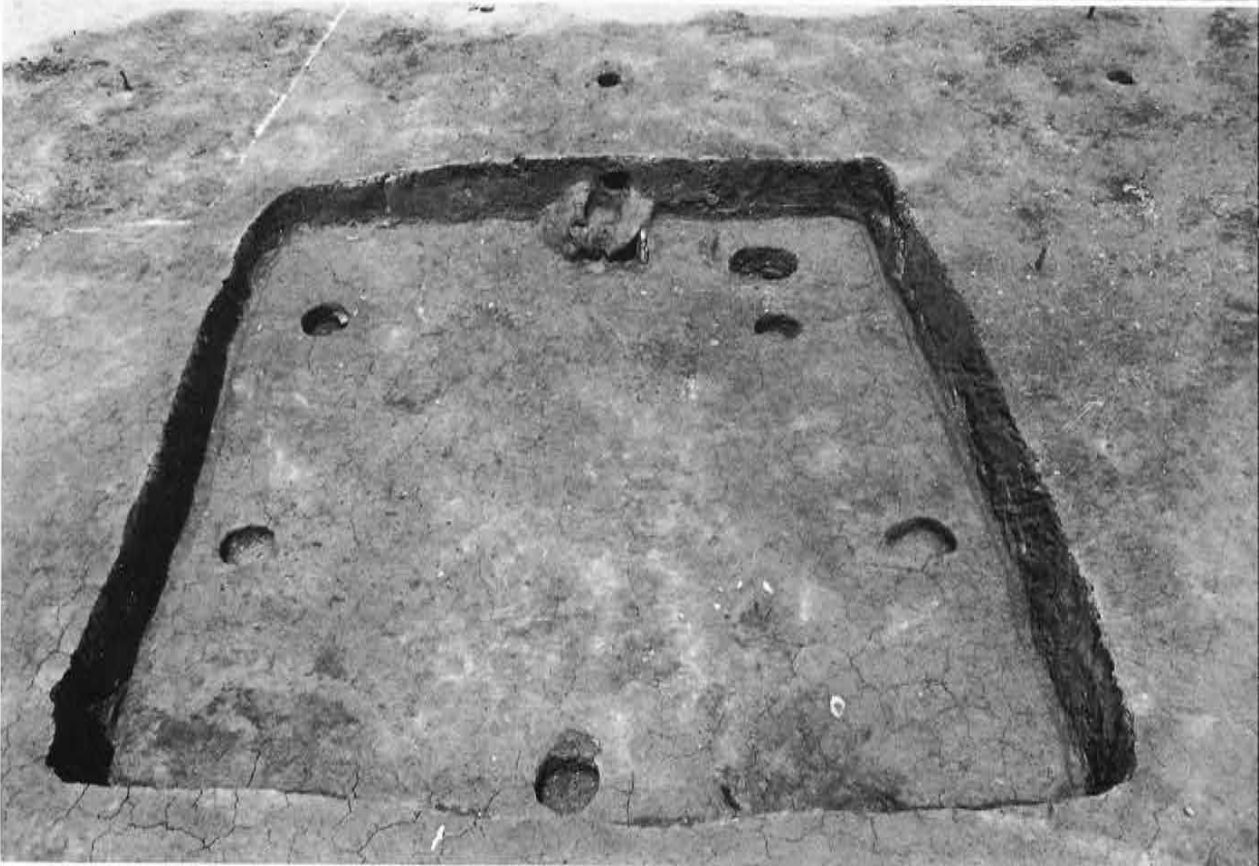


6 H229号住居址
カマド

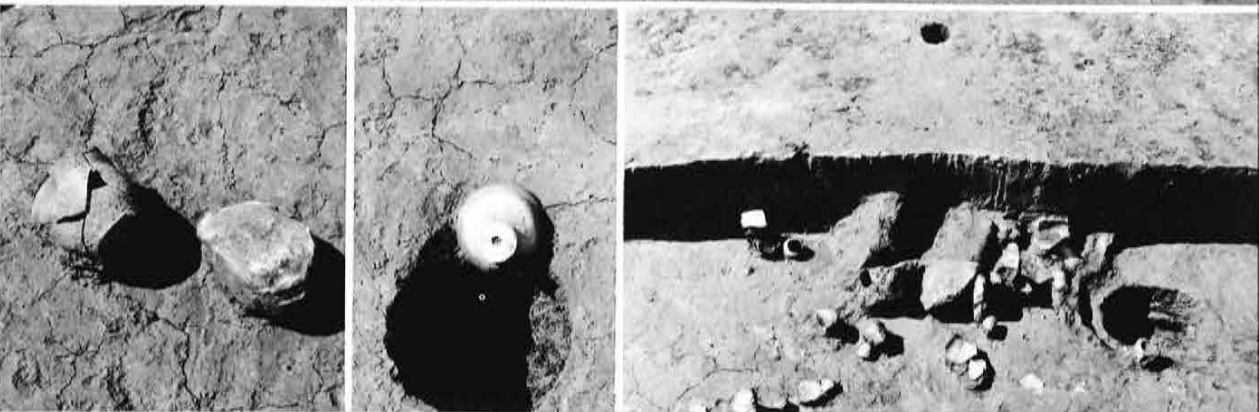
1 H230号住居址
遺物出土状況



2 H230号住居址
(南より)



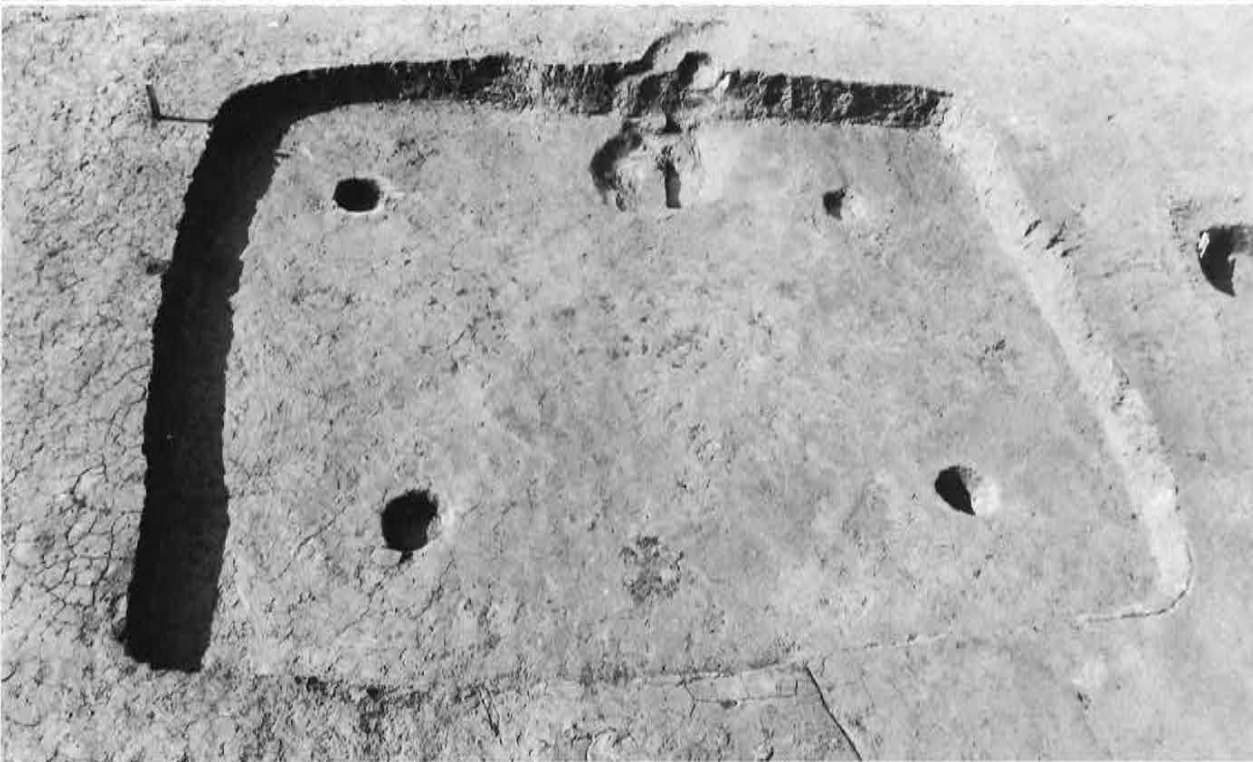
3・4 H230号住居址
遺物出土状況



5 H230号住居址
カマド



1 H231号住居址
(南より)



2 H232号住居址
(南より)



3 H234号住居址
(東より)

1 H235号住居址
(南より)



2 H236号住居址
(南より)



3 H231号住居址
カマド



4 H236号住居址
カマド



5 H236号住居址
砥石出土状況

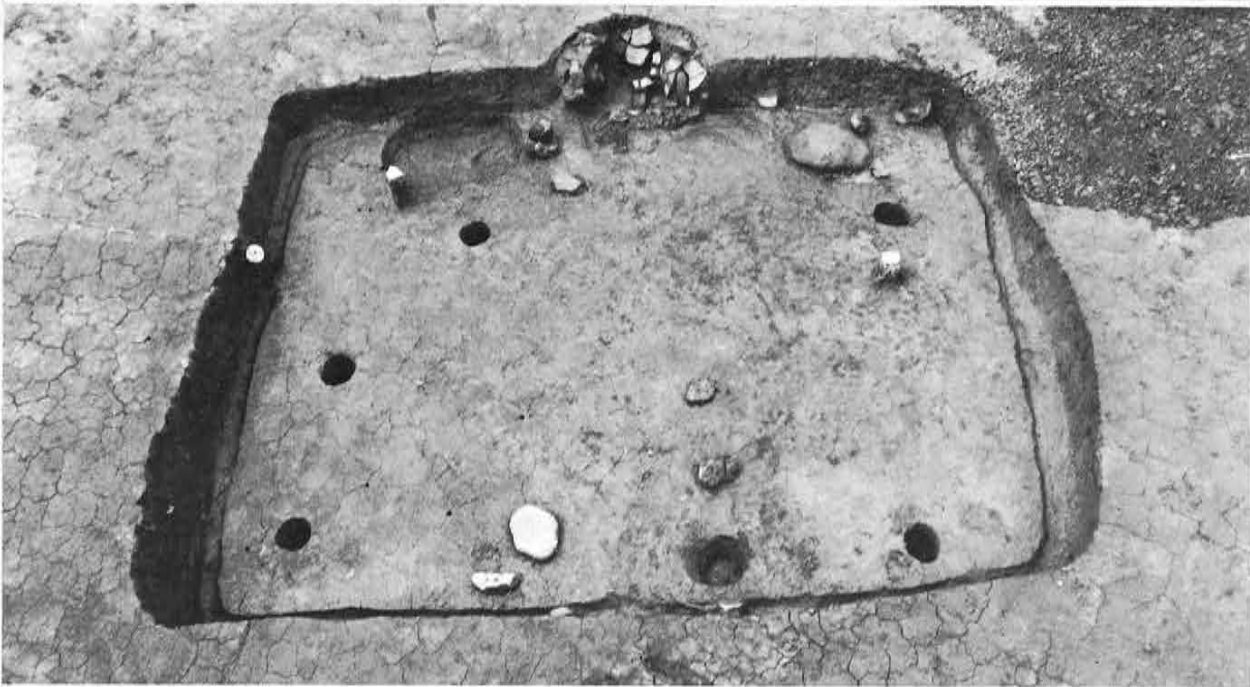


6 H236号住居址
錘り石出土状況





1 H236号住居址
(南より)



2 H237号住居址
(南より)



3 H238号住居址
(南西より)

1 H239号住居址
(南西より)



2 H237号住居址
遺物出土状況



3 H237号住居址
カマド



4 H237号住居址
紡錘車出土状況

5 H238号住居址
遺物出土状況



6 H238号住居址
遺物出土状況

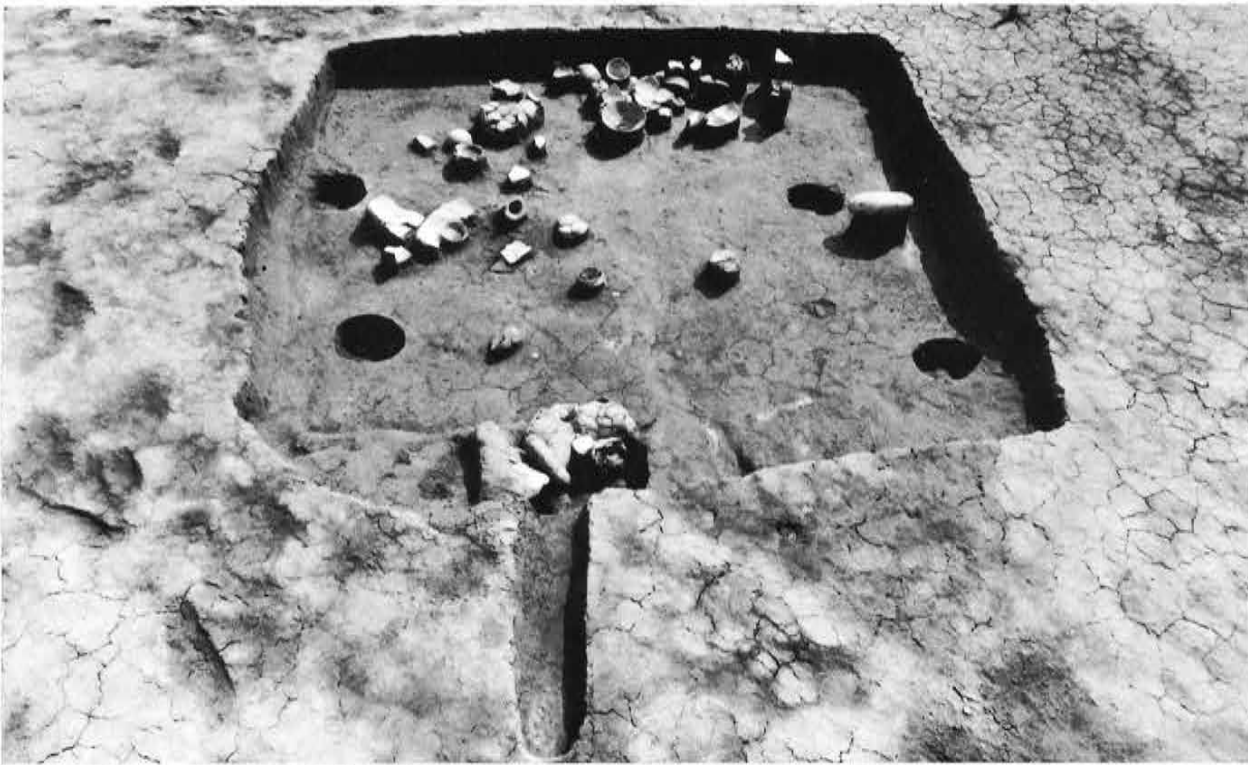
7 H238号住居址
カマド



8 H238号住居址
遺物出土状況

9 H239号住居址
カマド





1 H240号住居址
(北東より)

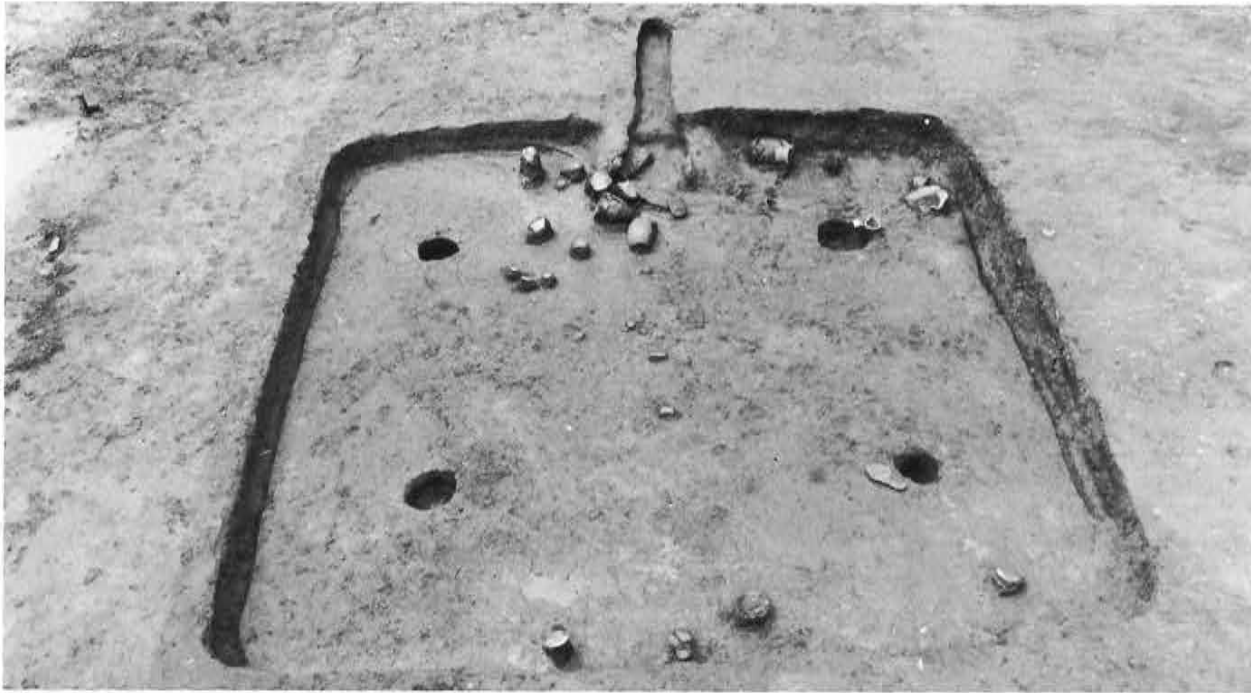


2 H241号住居址
(南より)



3 H243号住居址
(南西より)

1 H244号住居址
(南より)



2 H240号住居址
遺物出土状況



3 H240号住居址
カマド



4 H243号住居址
白玉出土状況



5 H243号住居址
貯蔵穴



6 H243号住居址
カマド



7 H244号住居址
カマド



8 H244号住居址
遺物出土状況



9 H244号住居址
打製石斧
出土状況



1 H245号住居址
(南より)



2・3
H245号住居址
遺物出土状況



4・5
H245号住居址
遺物出土状況



6 H245号住居址
カマド



1 E地区3全景
(東より)



2 E地区3全景
(西より)





1 H246号住居址
(西より)



2 H247号住居址
(西より)



3 H248号住居址
(南より)

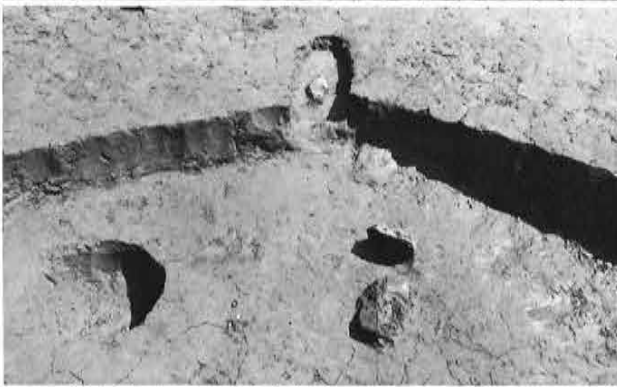
1 H249号住居址
(南西より)



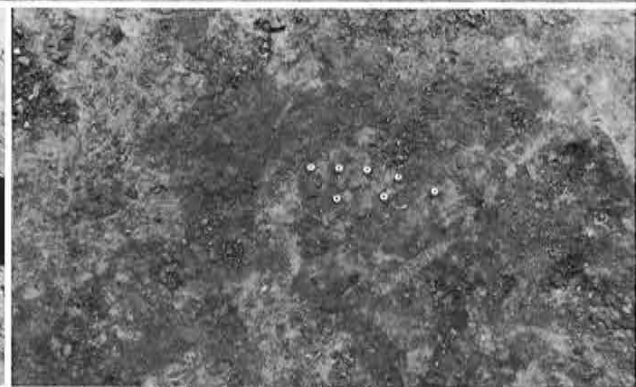
2 H250号住居址
(南西より)



3 H247号住居址
カマド



4 H248号住居址
白玉出土状況



5 H248号住居址
砥石出土状況



6 H248号住居址
カマド



7・8
H250号住居址
遺物出土状況





1 H251号住居址
(南より)



2 H252・253号
住居址
(南より)



3 H253号住居址
(南より)

1 H254号住居址
(南より)



2 H254・255号
住居址
(南より)



3 H252号住居址
遺物出土状況



4 H253号住居址
カマド



5・6
H254号住居址
カマド





1 H256号住居址
(東より)



2 H257号住居址
(西より)



3 H258号住居址
(南より)



4 H257号住居址
カマド



5 H258号住居址
カマド

1 H259号住居址
(南東より)



2 H260号住居址
(南西より)



3 H261号住居址
(南より)





1 H262号住居址
(南より)



2 H262号住居址
遺物出土状況

3 H262号住居址
カマド



4 H263号住居址
(南西より)



5 H264号住居址
(南より)

1 H265・267号
住居址
(南西より)



2 H266号住居址
(南より)



3 H263号住居址
遺物出土状況



4 H264号住居址
カマド



5 H264号住居址
白玉出土状況



6 H266号住居址
カマド





1 H267号住居址
(南より)

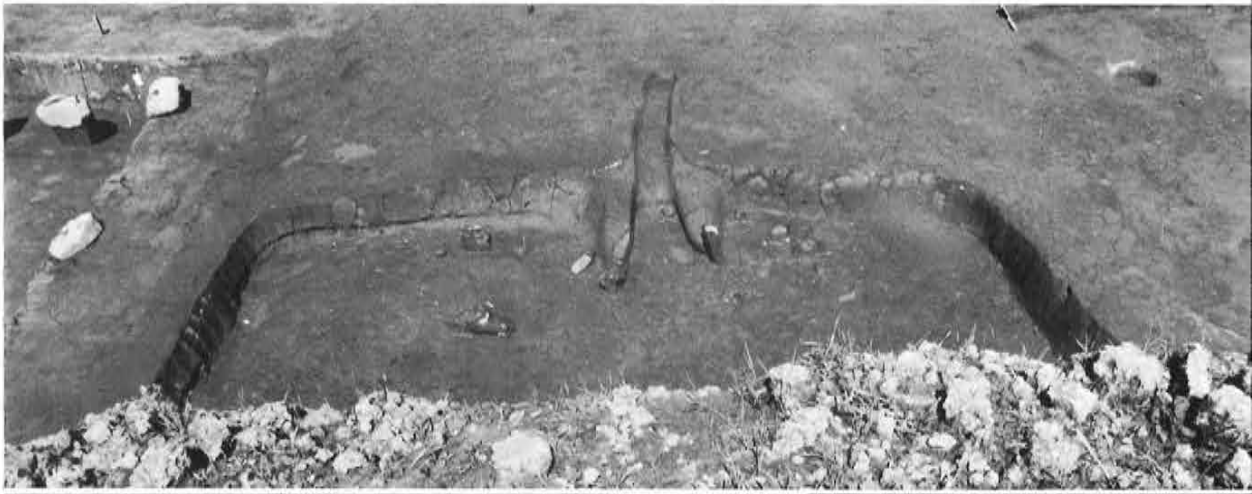


2 H268号住居址
(南より)



3 H269号住居址
(南より)

1 H272号住居址
(南より)



2 H267号住居址
カマド



3 H269号住居址
磨製石斧
出土状況



4 H269号住居址
カマド



5 H271号住居址
カマド



6・7
H272号住居址
遺物出土状況



8 H272号住居址
遺物出土状況

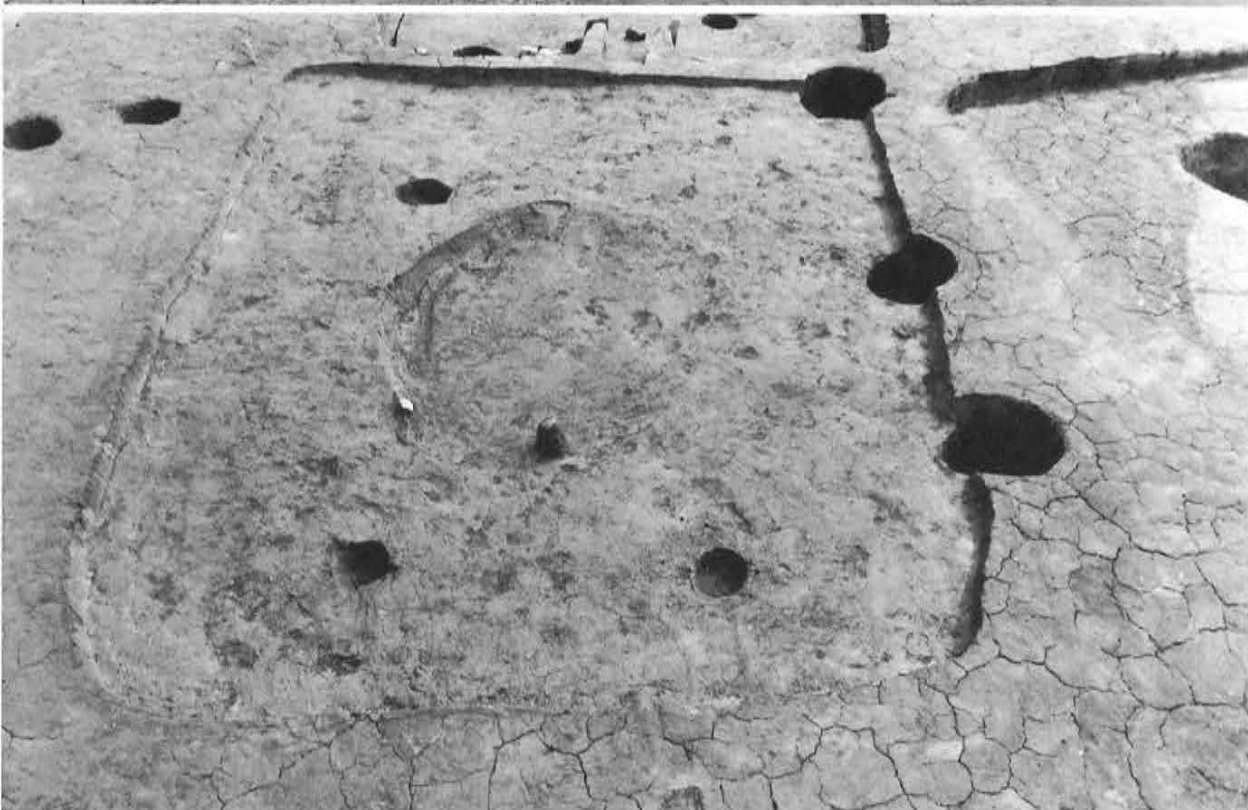


9 H272号住居址
カマド





1 H273号住居址
(南より)

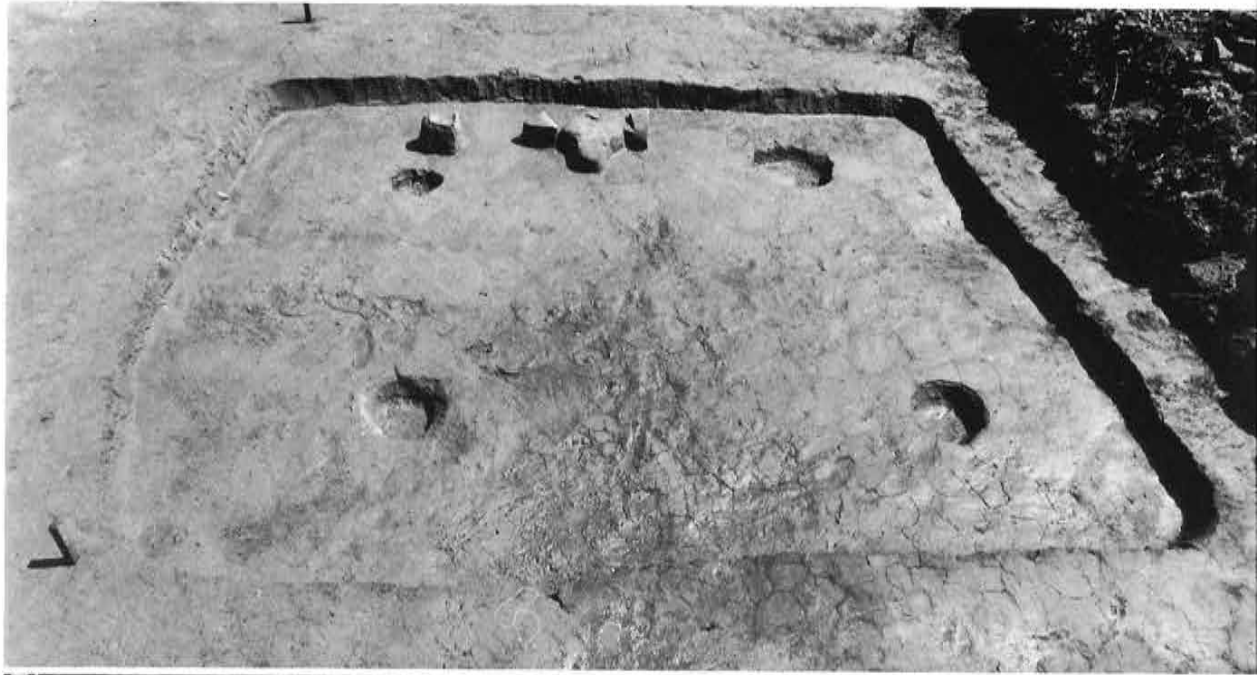


2 H274号住居址
(北より)



3 H275号住居址
(南より)

1 H276号住居址
(西より)



2 H277号住居址
(南西より)



3 H273号住居址
カマド



4 H275号住居址
カマド



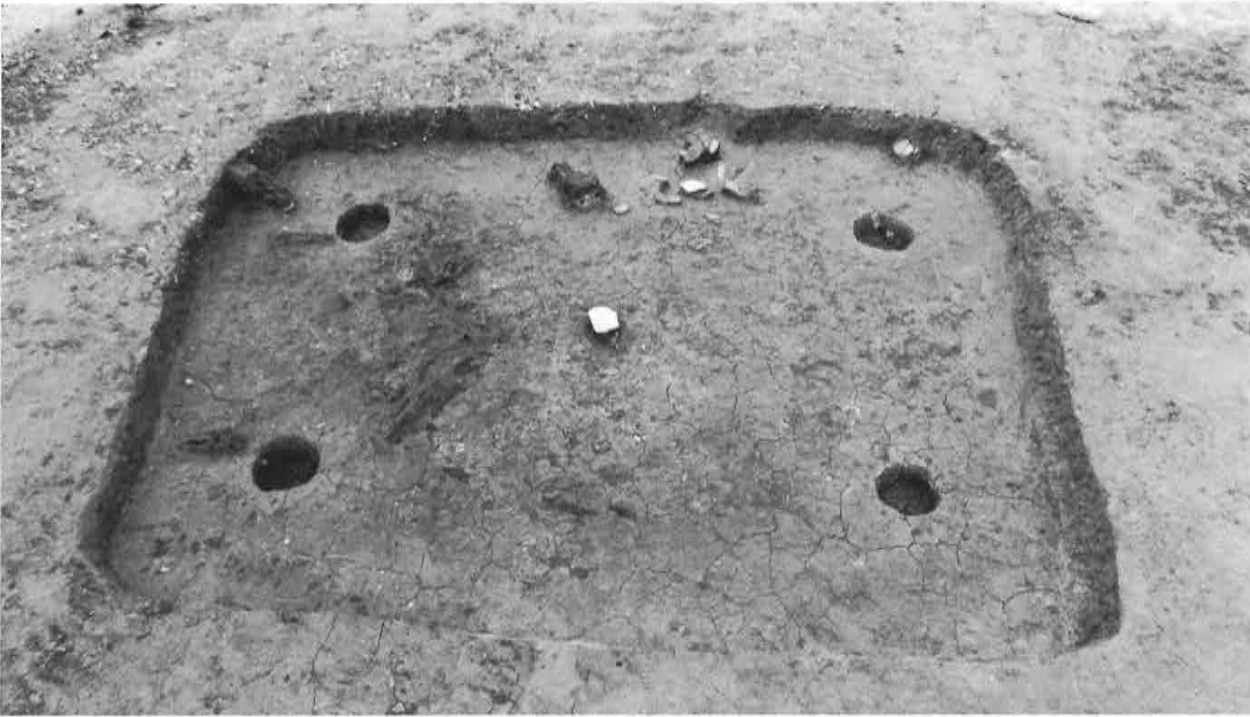
5 H277号住居址
遺物出土状況



6 H277号住居址
カマド



1 H278号住居址
(南より)



2 H279号住居址
(東より)



3 H280号住居址
(南より)



1 H281号住居址
(南より)



2 H282号住居址
(東より)



3 H278号住居址
カマド



4 H282号住居址
カマド



5・6
H281号住居址
遺物出土状況





1 H281・282号
住居址
(南より)



2 H283号住居址
(南西より)



3 H284号住居址
(南より)

1 H285号住居址
(西より)



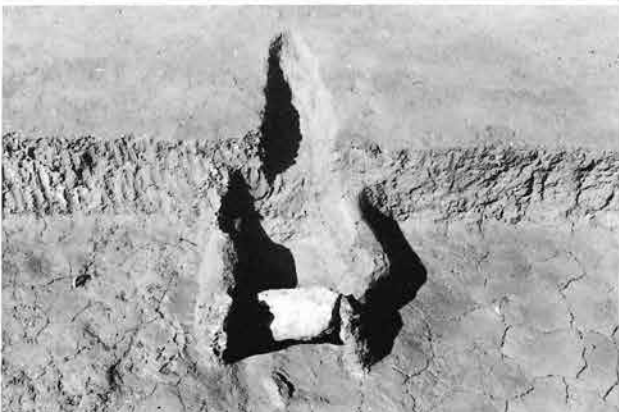
2・3
H283号住居址
カマド



4・5
H284号住居址
遺物出土状況



6 H284号住居址
カマド



7 H285号住居址
カマド





1 H286号住居址
(南より)



2 H288号住居址
(東より)



3 H286号住居址
カマド

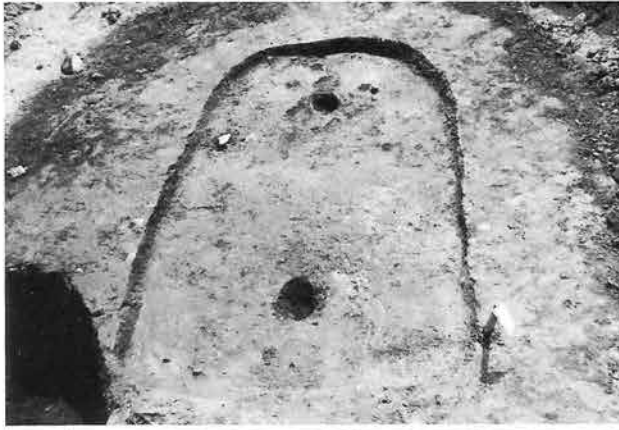


4 H288号住居址
遺物出土状況

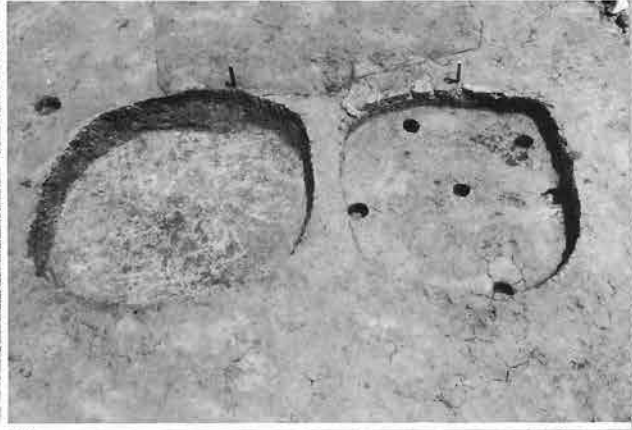


5・6 H288号住居址
カマド

1 Ta1号
竪穴状遺構



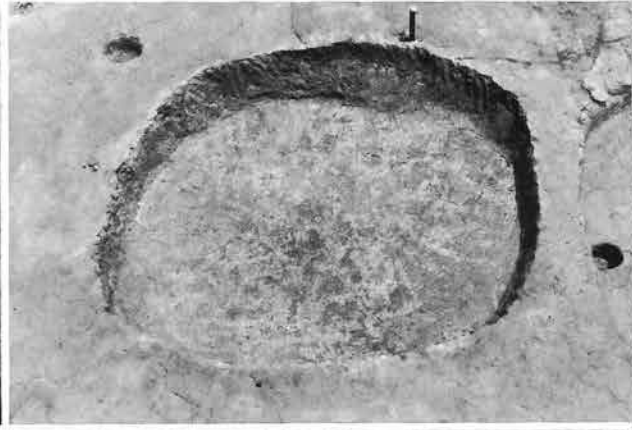
2 Ta2・3号
竪穴状遺構



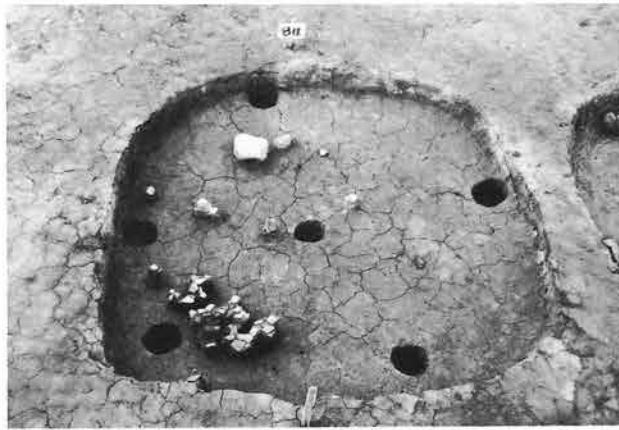
3 Ta2号
竪穴状遺構
遺物出土状況



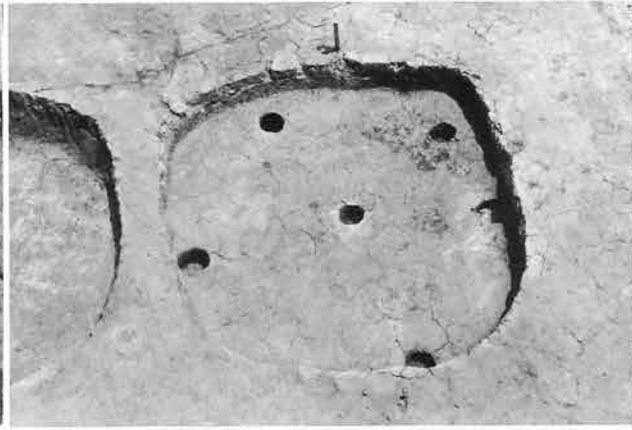
4 Ta2号
竪穴状遺構



5 Ta3号
竪穴状遺構
遺物出土状況



6 Ta3号
竪穴状遺構



7 Ta4号
竪穴状遺構



8 Ta5・6号
竪穴状遺構

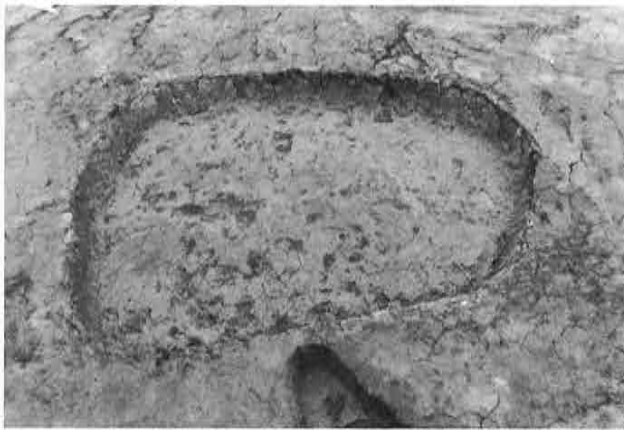


9 Ta5号
竪穴状遺構



10 Ta6号
竪穴状遺構





1 Ta7号
竖穴状遺構



2 Ta8号
竖穴状遺構



3 Ta9号
竖穴状遺構



4 Ta10号
竖穴状遺構



5 Ta11号
竖穴状遺構



6 Ta11号
竖穴状遺構内施設



7 Ta12号
竖穴状遺構

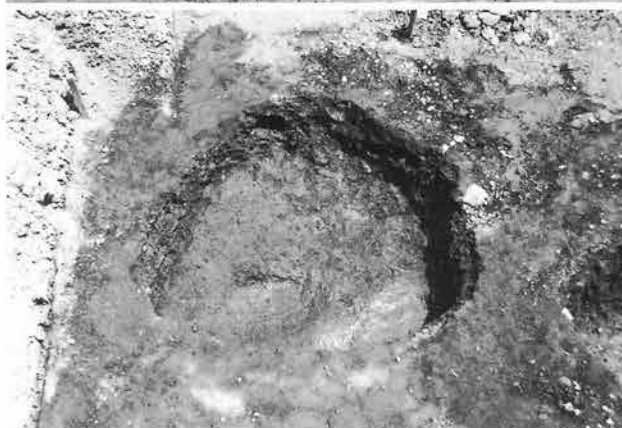
1 D 2号土坑



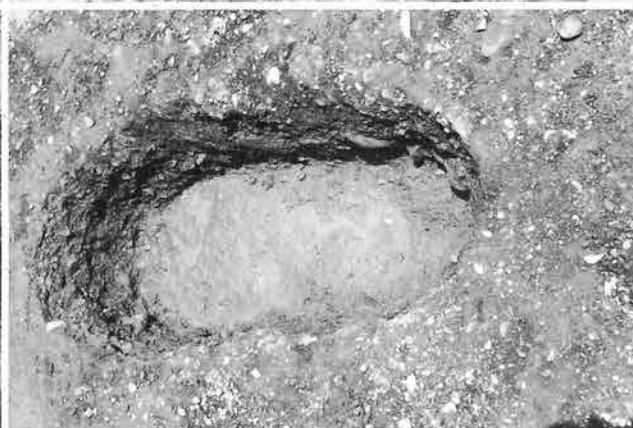
2 D 3号土坑



3 D 4号土坑



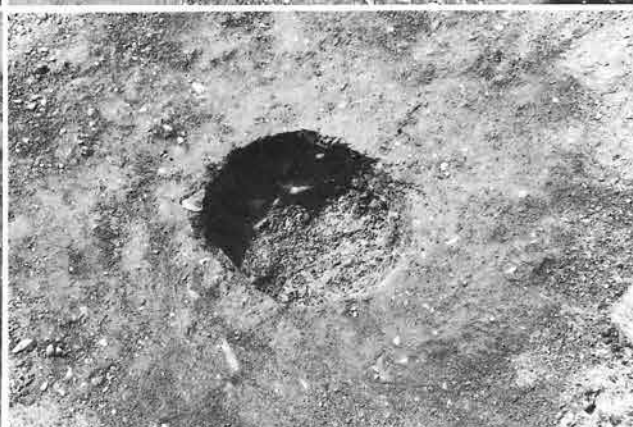
4 D 5号土坑



5 D 6号土坑



6 D 7号土坑



7 D 8号土坑



8 D 9号土坑



9 D 10号土坑



10 D 11号土坑



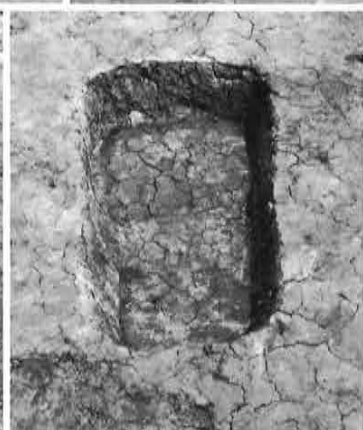
11 D 12号土坑





1 D13·14号
土坑

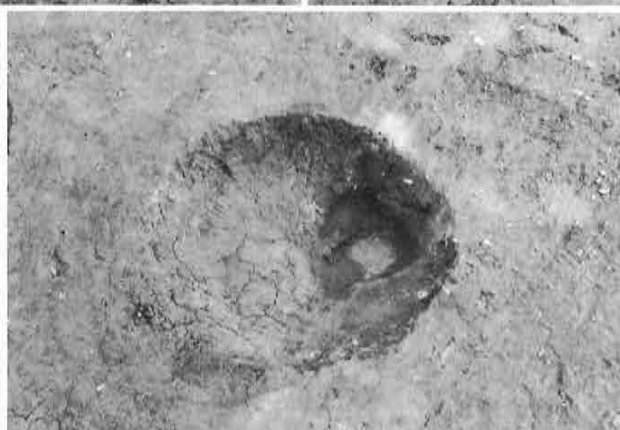
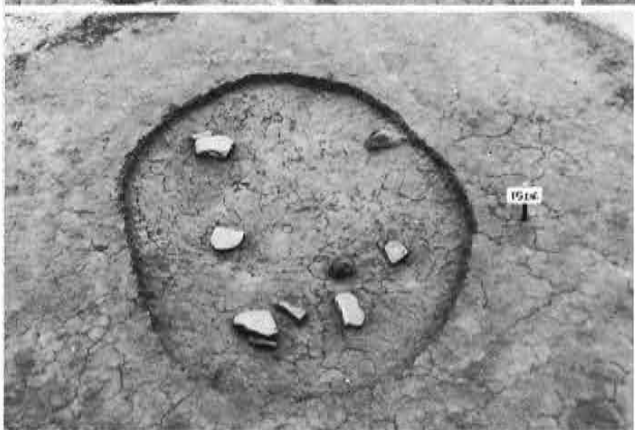
2 D15·16号
土坑



3 D18·19·
20号土坑

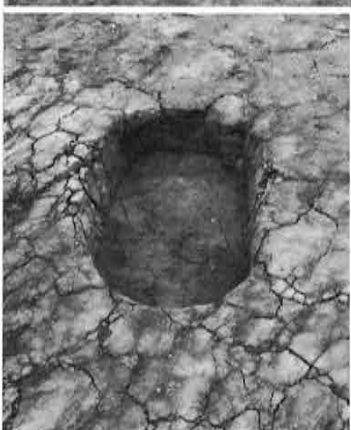
4 D19号土坑

5 D20号土坑



6 D22号土坑

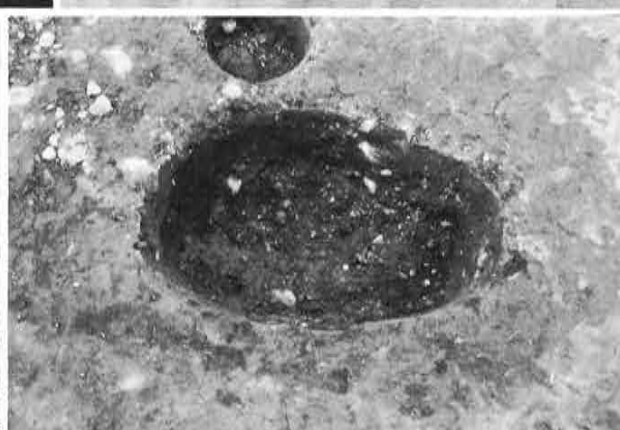
7 D25号土坑



8 D26号土坑

9 D28号土坑

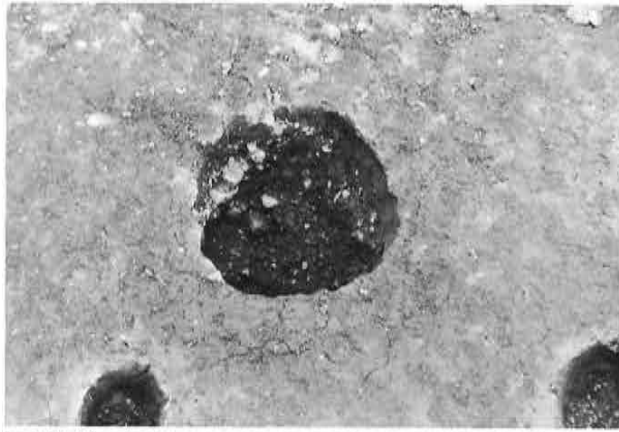
10 D30号土坑



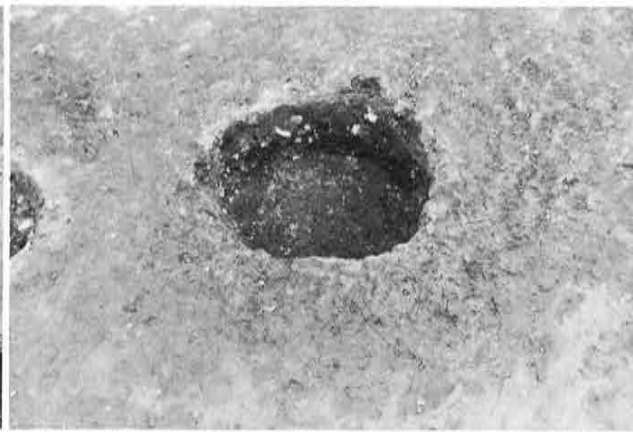
11 D31号土坑

12 D32号土坑

1 D33号土坑



2 D34号土坑



3 D35号土坑



4 D36·37号土坑



5 D38号土坑



6 D39·40号土坑



7 D41·42·43
44号土坑



8 D41号土坑

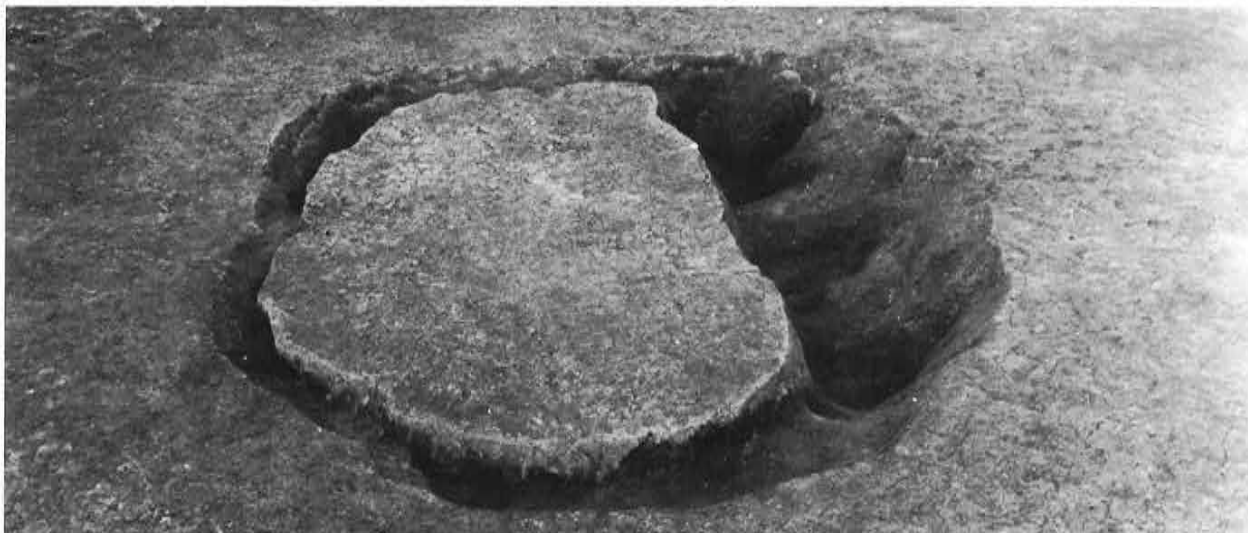


9 D42·43号土坑

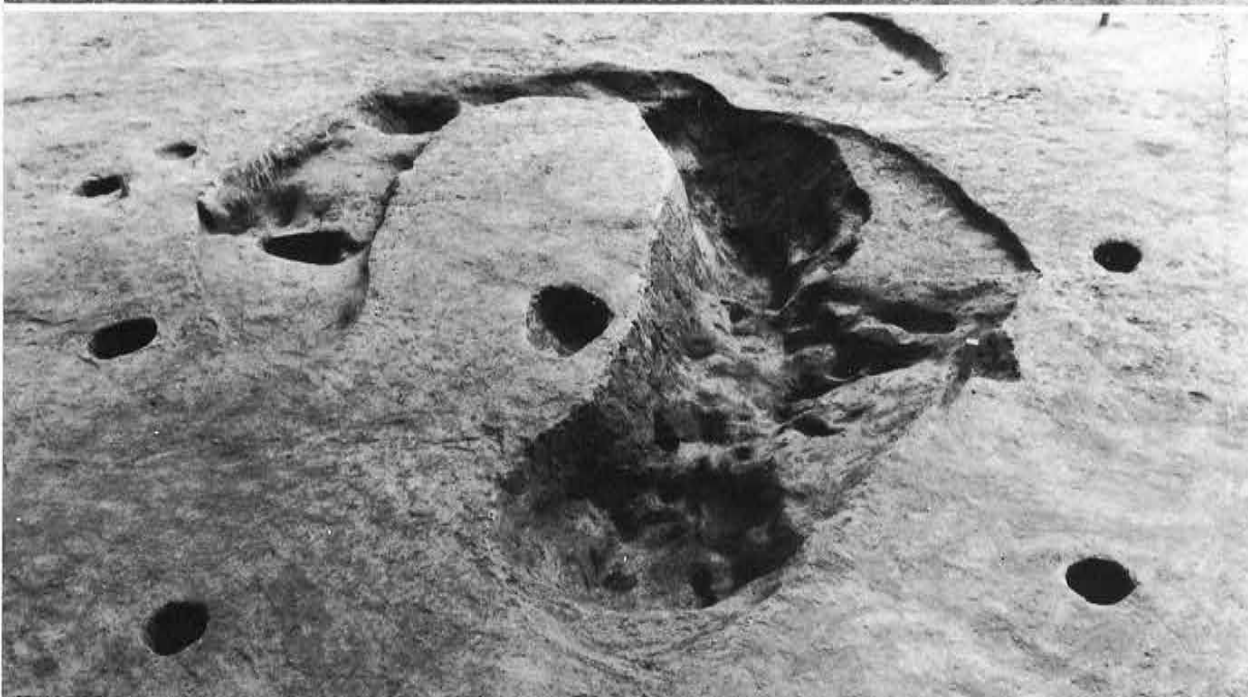


10 D44号土坑

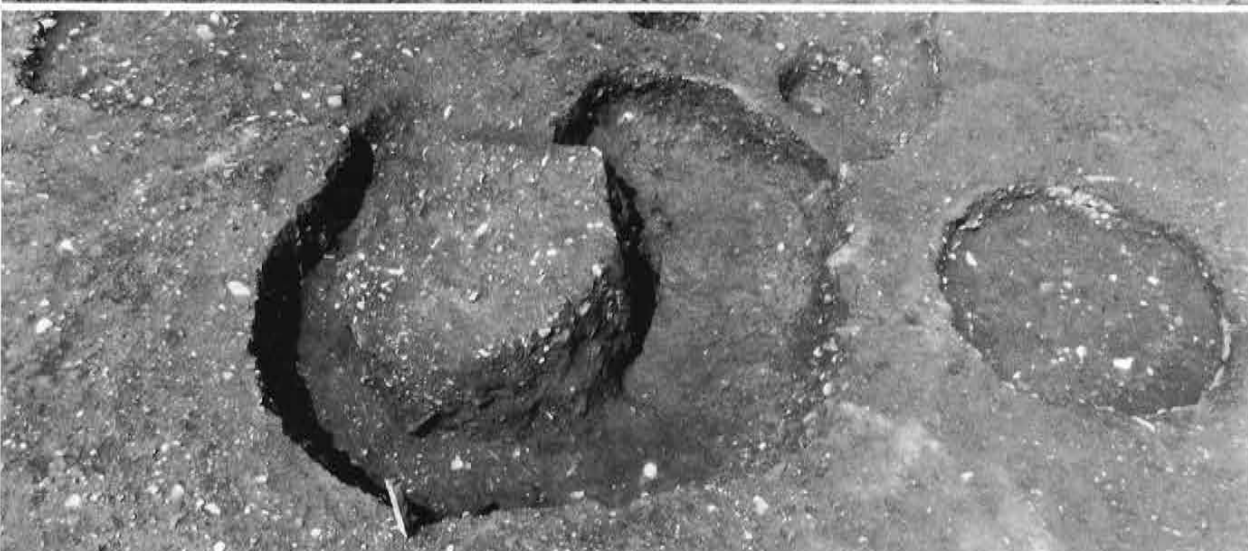




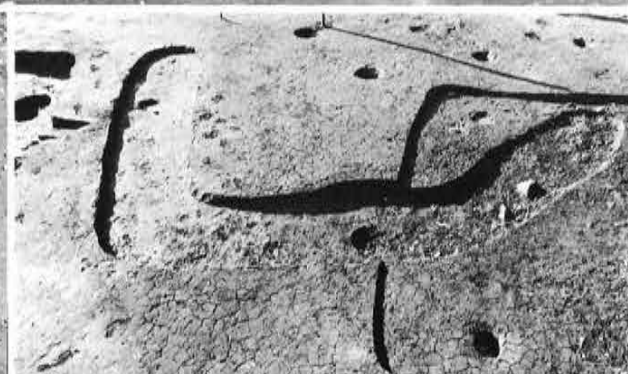
1 T1号
特殊遺構



2 T2号
特殊遺構



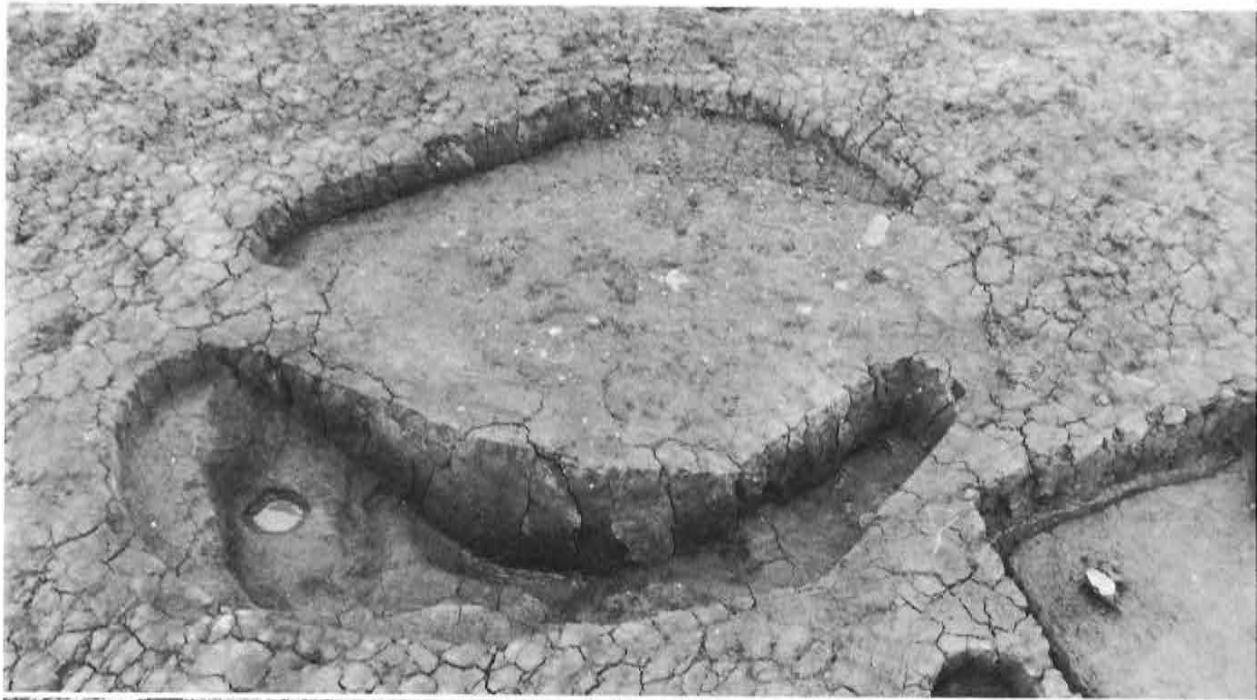
3 T3号
特殊遺構



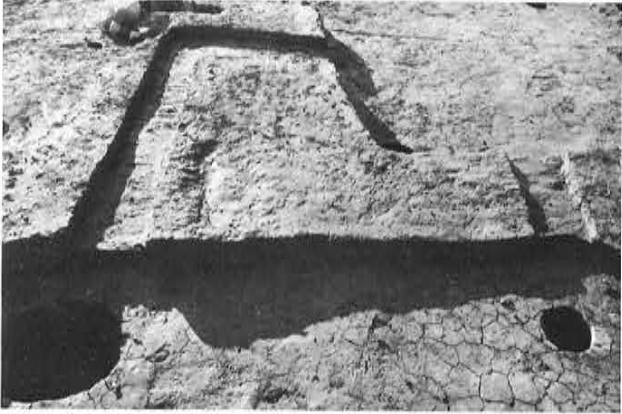
4 T4号
特殊遺構

5 T5号
特殊遺構

1 T6号
特殊遺構



2 T7号
特殊遺構



3 T8号
特殊遺構



4 T8号
特殊遺構



5 T9号
特殊遺構



6 T10号
特殊遺構

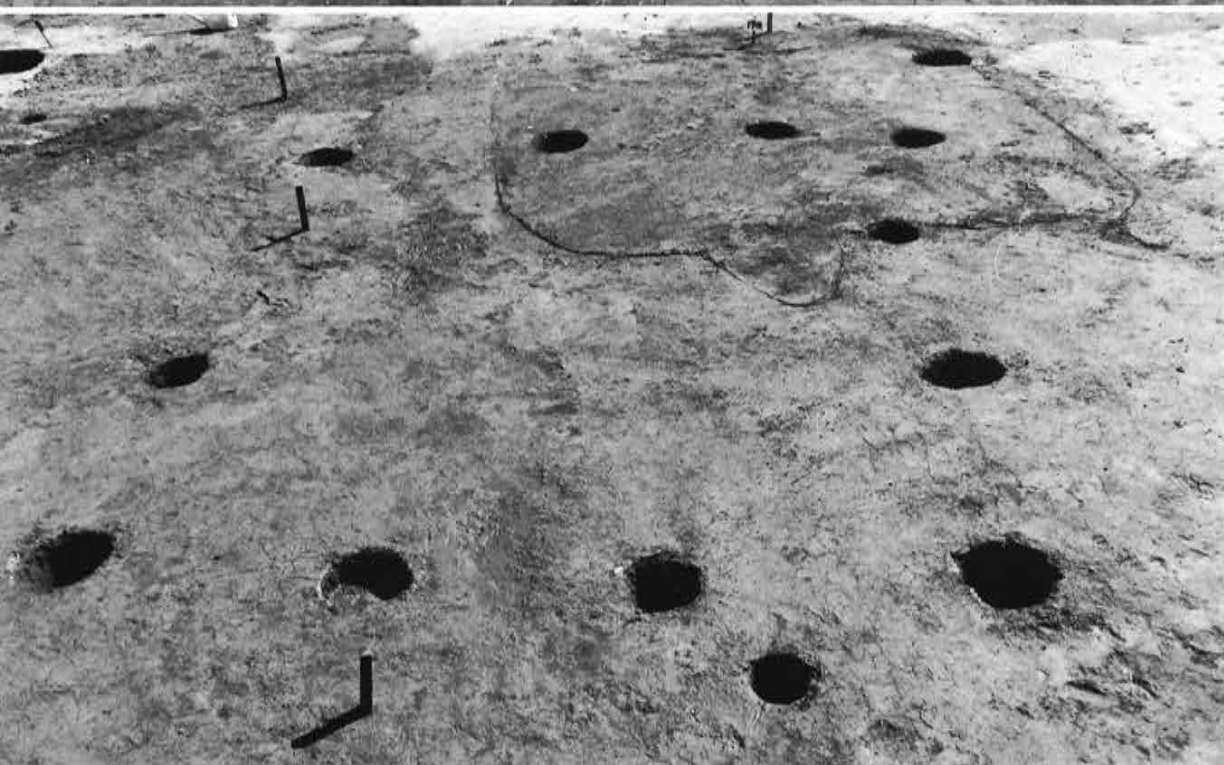




1 Ho1号
掘立柱建物址



2 Ho2号
掘立柱建物址



3 Ho3号
掘立柱建物址

1 Ho4号
掘立柱建物址



2 Ho5号
掘立柱建物址



3 Ho6号
掘立柱建物址





1 Ho7号
掘立柱建物址

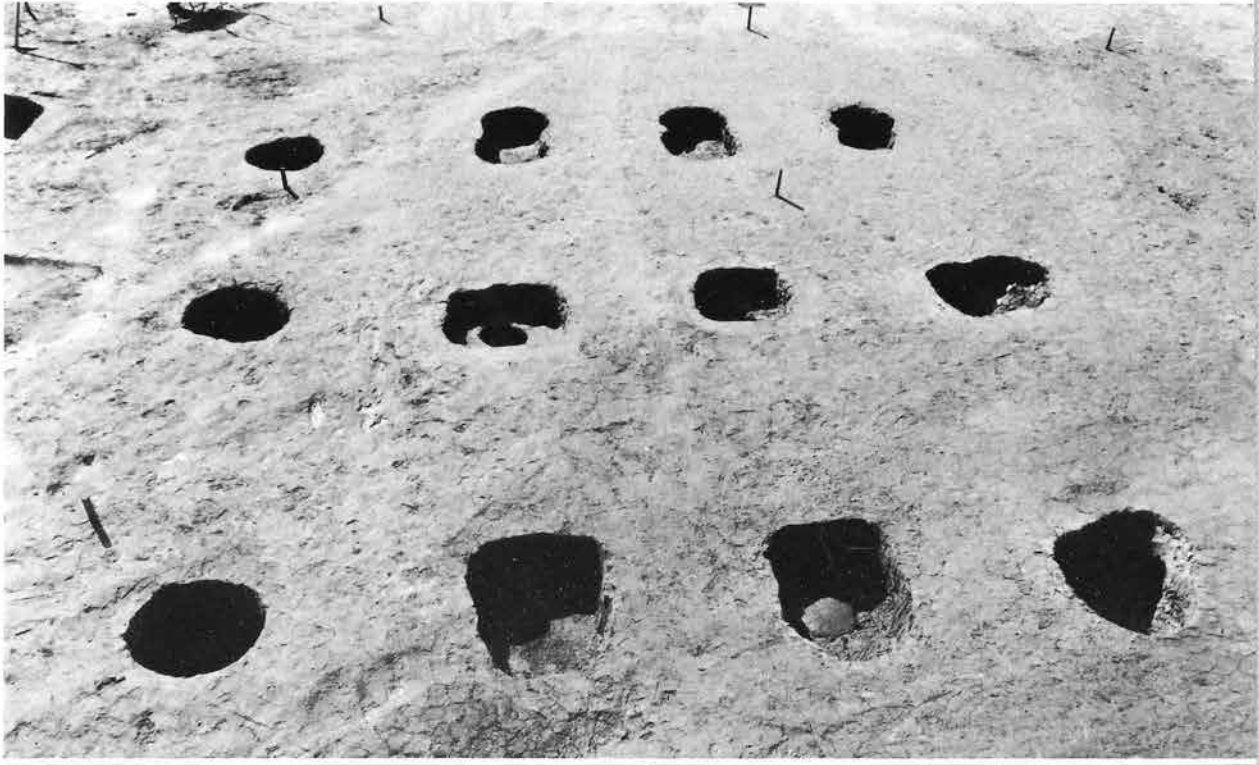


2 Ho8号
掘立柱建物址



3 Ho9号
掘立柱建物址

1 Ho10号
掘立柱建物址



2 Ho11号
掘立柱建物址

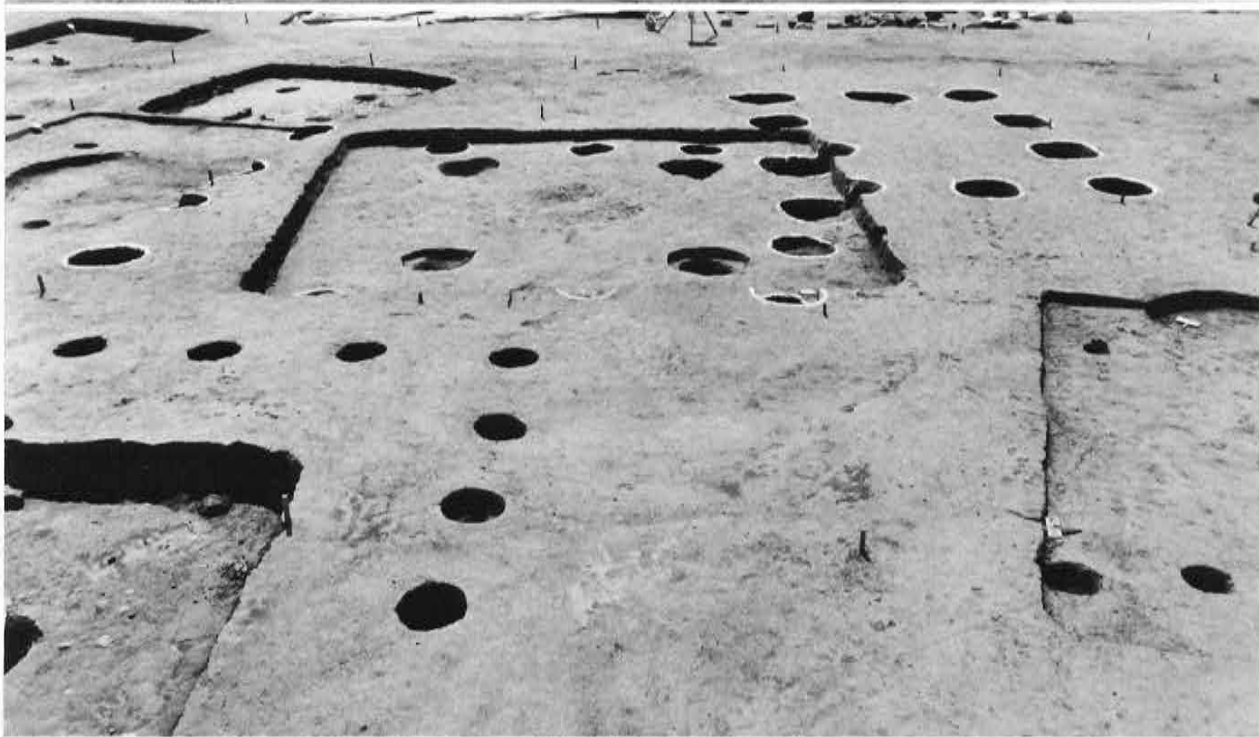


3 Ho12号
掘立柱建物址





1 Ho13・14号
掘立柱建物址



2 Ho15・16・17号
掘立柱建物址



3 Ho16・17号
掘立柱建物址

1 Ho16号
掘立柱建物址



2 Ho17号
掘立柱建物址

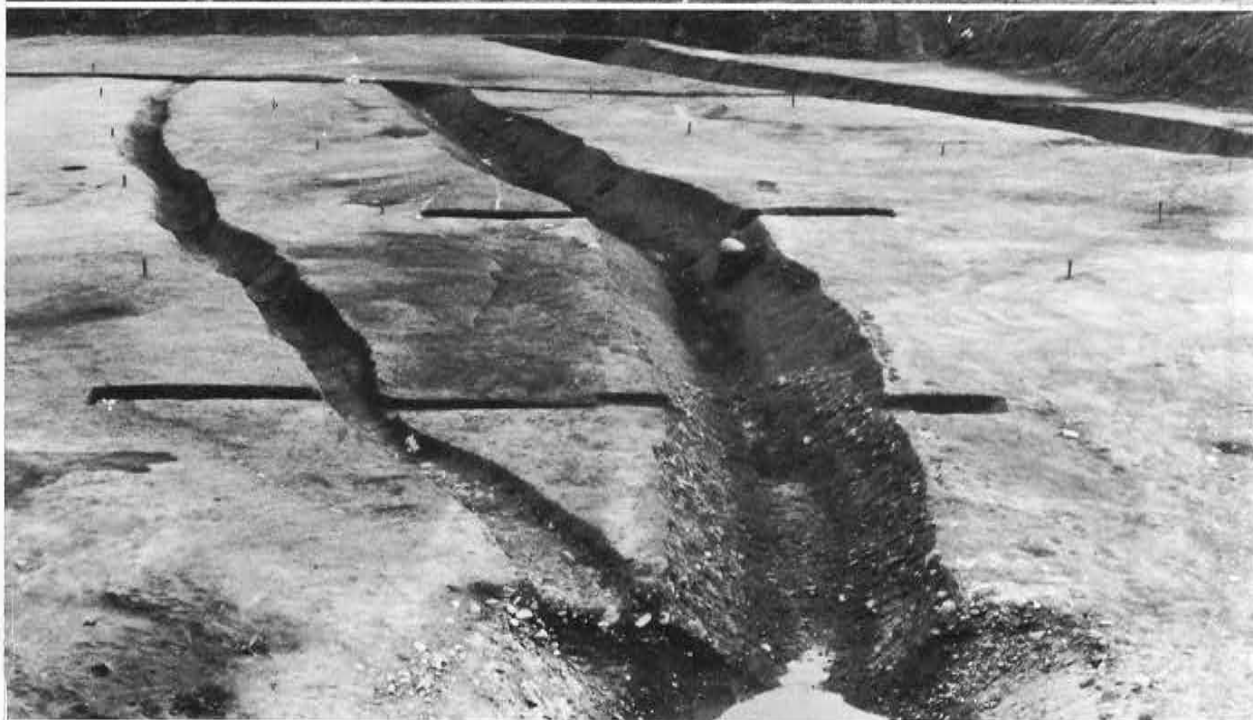


3 Ho18号
掘立柱建物址





1 環壕1



2 環壕2
溝



3 溝

発掘調査
スナップ





